

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業(JSPS 科研費)
平成 25 年度～28 年度採択課題 (基盤研究 (B) 課題番号 25283018)

性的マイリティについての意識 2015 年全国調査

報告書

釜野さおり・石田仁・風間孝・吉仲崇・河口和也

科学研究費助成事業
「日本におけるクィア・スタディーズの構築」研究グループ編
(研究代表者 広島修道大学 河口和也)

2016 年 6 月

※引用のさいは、以下の情報を含めていただきますようお願いいたします。

釜野さおり・石田仁・風間孝・吉仲崇・河口和也 2016『性的マイノリティについての意識—2015年全国調査報告書』科学研究費助成事業「日本におけるクィア・スタディーズの構築」研究グループ（研究代表者 広島修道大学 河口和也）編

謝辞

本報告書を作成するにあたっては、調査の設計段階から、多くの方々のご協力やご支援をいただきました。

本調査の設計・実施・解析は、科研費グループ「日本におけるクィア・スタディーズの構築」のなかの調査クラスタが主体となって行ったものではありませんが、その過程においては、同科研の理論クラスタや政策クラスタのメンバーからコメントや要望をつのり、可能な限り反映しました。質問項目を固めるための予備調査では中京大学・広島修道大学・中央大学の学生のみなさんにご協力をいただきました。また、社会調査の専門家の方々からは、折に触れて、学術的なコメントや参考になるご意見をいただきました。調査票を仕上げる最終段階では、一般の方々に模擬回答をお願いし、多角的な側面から忌憚のないご意見をいただくとともに、(株)マクロミルのウェブ・モニタの方々にも協力をお願いし、選択肢を洗練させることができました。

また何より、ご回答をお寄せいただきました全国の調査対象者のみなさまには厚く御礼申し上げます。調査票が正味 14 ページと長いうえに、性に関する質問がつづくなど、回答しづらい可能性のある質問項目が多く含まれていたにもかかわらず、お時間を割いてご協力くださいましたことに深く感謝いたします。

この調査は 2015 年の 3 月という一定の時期に、日本全国の住民を対象として、国勢調査区と住民基本台帳をもちいた層化二段無作為抽出法という学術的方法にのっとり実施したものです。調査の過程で生じる作業、たとえば調査対象者抽出・対象者訪問・調査票回収作業、データ入力については、調査会社である一般社団法人新情報センターにお願いしました。新情報センターの安藤昌代さんからは、調査票、調査法、調査時期などに関して適切なアドバイスをいただきました。また、新情報センターとの事務連絡等に関しては、研究代表の所属先である広島修道大学のひろしま未来協創センター（科研事務担当）の有田真理子さんに、円滑に進めていただきました。報告書を作成するにあたっての図表の整理やレイアウト作業では、国立社会保障・人口問題研究所（研究補助員）の片桐美恵さんに大変お世話になりました。こうした皆様のご協力のおかげで、研究グループは研究に集中することができました。

お名前を記すことができた方も、それがかなわなかった方も、みなさまの調査へのかかわりがなければ、本調査は実現できませんでした。調査クラスタメンバー一同、深く感謝しております。ありがとうございました。

※本報告書は JSPS 科研費 JP25283018 の助成を受けた「日本におけるクィア・スタディーズの構築」（研究代表者 広島修道大学 河口和也）（2013～2016 年度）の研究成果の一部です。

目次

序章	7
1. 調査実施の背景と研究体制	7
2. 調査プロジェクトのプロセス	8
3. 本調査の意義	8
第1章 結果の要約と留意点	11
1. 結果の要約	11
2. 本報告書を読むにあたっての留意点	18
第2章 調査の概要	21
1. 調査の目的	21
2. 調査の方法	22
3. 本調査とウェブ調査との違い	33
4. 回答者 1,259 人の基本属性	35
第3章 知識と認識	43
1. 性的マイノリティに関する知識	43
2. 性的マイノリティに関する認識	51
3. まとめ	57
第4章 メディア	59
1. 性的マイノリティの見聞き経験	60
2. 見聞きされている性的マイノリティ	60
3. 性的マイノリティを見聞きしているメディアの種類	63
4. まとめ	69
第5章 存在の認識	71
1. 「同性愛者」/「性別を変えた人」が、周りにいるか否かの認識	71
2. なんらかの性的マイノリティが周りにいるか否か	75
3. まとめ	77
第6章 行為・感情に対する嫌悪感と抵抗感	79
1. 手をつなぐこと/恋愛感情/性行為	79
2. 性別移行への認識	88
3. 恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係	91
4. まとめ	93

第7章 身近な人に対する嫌悪感.....	95
1. 身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感.....	95
2. 職場の同僚が性的マイノリティだった場合の就業者の嫌悪感.....	104
3. 子どもが性的マイノリティだった場合の、子どものいる人の嫌悪感.....	114
4. 性的マイノリティが周りにいると認識しているか否か別にみた反応.....	116
5. まとめ.....	123
第8章 友人に対する抵抗感.....	125
1. 仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感.....	125
2. 恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感の関係.....	130
3. 性別移行への抵抗感と友人への抵抗感の関係.....	131
4. まとめ.....	133
第9章 友人からのカミングアウト.....	135
1. 全体の傾向.....	137
2. 回答者の性別でみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応.....	138
3. 年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応.....	140
4. 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応.....	143
5. まとめ.....	147
第10章 同性婚.....	149
1. 同性婚の賛否.....	154
2. 同性婚への見解.....	167
3. まとめ.....	177
第11章 教育.....	183
1. 性的マイノリティについて義務教育で教えることの賛否.....	184
2. 性的マイノリティが小学校の教員になることについての抵抗感の有無.....	192
3. まとめ.....	200
コラム その1：戸籍上の性別と性自認に関する結果.....	203
コラム その2：性的指向に関する結果.....	205
コラム その3：社会調査によって性自認・性的指向を捉えることの困難と課題.....	206
コラム その4：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー「人口」..	207
調査票.....	209
付 表.....	227

序章

河口 和也

1. 調査実施の背景と研究体制

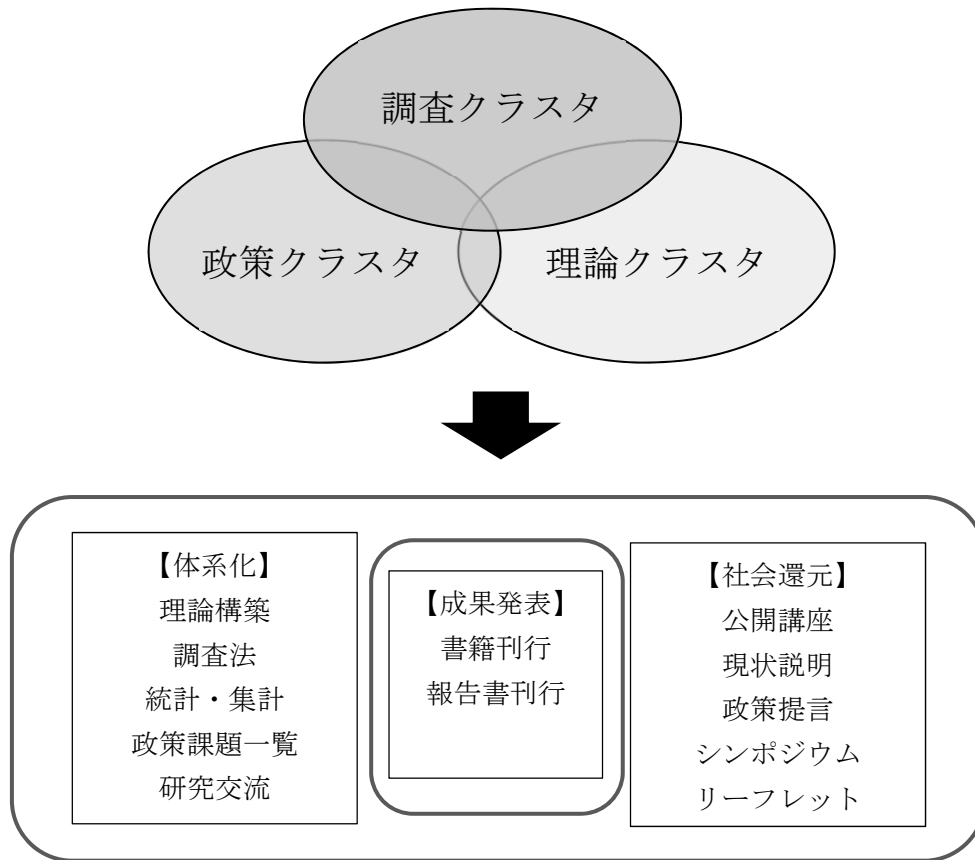
本調査は、「男女のあり方と社会意識に関する調査」という名称で、科学研究費「日本におけるクィア・スタディーズの構築」という研究課題の一環として行われたものである。本研究プロジェクトは2013～2016年度にかけて行われているものであるが、それ以前にも私たち研究グループは2期にわたり【第1期 2007～2009年度「日本におけるクィア・スタディーズの可能性」と【第2期 2010～2012年度「日本におけるクィア・スタディーズの展開」】で共同研究を行ってきた。したがって、この調査は、長期的にみれば、3つの時期にわたって行われた科学研究費による研究課題の成果とも言えるものである。

この調査立案は、第2期の研究過程のなかで構想された。性的マイノリティの生活実態等について調査研究していた「生活班」（第2期における一つの班）のなかで、性的マイノリティが置かれている状況を数量的なデータをとおして実証的に把握・理解する必要性があることが認識された。そこで、これまでに行われた国内外における調査（結果）のサーベイを行ったうえで、結果として、性的マイノリティに対する意識（社会意識）の調査を実施することとなり、ここでは「社会経済的属性」に注目する調査とすることが確認された。

第3期科学研究では、第2期科学研究の体制を見直し、3つの研究クラスタを設置した。その研究クラスタとは、理論クラスタ、調査クラスタ、政策クラスタである。各クラスタの目的については以下のように設定した。理論クラスタは、クィア理論の学術的蓄積の整理と紹介、日本や東アジアに関する日英両言語における学術研究の蓄積を踏まえた、英語圏を中心とする学術的議論への理論的介入を行うこと。調査クラスタは、社会調査をもちいて、日本における性的マイノリティ・性の多様性に関する意識およびその規定要因を明らかにすること。政策クラスタは、性的マイノリティに関連する政策課題の整理と類型化、さまざまな社会問題への実践的な政策提言を試みることである。

研究の過程において、各クラスタは独立して研究を行いつつも、それぞれの研究上の問題点や成果を共有して、可能な限り相互に関連性をもたせるように努めてきた。

図 「日本におけるクィア・スタディーズの構築」の研究体制（第3期 2013-2016）



2. 調査プロジェクトのプロセス

第2期の科学研究「日本におけるクィア・スタディーズの展開」のなかで、その後半にあたる2012年度に1回、また第3期の科学研究の初年度である2013年度に追加的に1回、大学生に向けた予備調査（中京大学、中央大学、広島修道大学）を実施した。第3期科学研究に入った2013年度には、「調査クラスタ」を中心に、大学生調査の解析をおこない、それに基づき本調査用質問項目の作成を開始した。中心の実施主体は科研プロジェクト内の「調査クラスタ」であったが、他の「理論クラスタ」および「政策クラスタ」からの意見を聴取し、調査票作成にそれらを組み入れた。2014年度には質問項目を作成・確定した。実際に、本調査を実施したのは2015年3月であった。

3. 本調査の意義

1990年代以降、エイズ問題等に関連して、性行動に関する調査は行われてきたが、対象はとくに男性同性愛者に限定される傾向が高かった。そうしたエイズ関連でも、一般向けの大規模調査が行われた経緯はあるが、エイズ/HIVに特化していたために、やはり性行動に対する意識に重点が置かれ、幅広く性に関する社会意識を浮かび上がらせるには限界があったとも言える（木原 2006）。また、NHK 日本人の性行動・性意識調査のように、性

意識に焦点を当てた調査は存在していたが、そのさいに性的マイノリティをあまり詳細には扱ってこなかった（NHK「日本人の性」プロジェクト 2002）。それは、新聞社等が実施する世論調査などでも、1、2項目のみを質問するというようなことから同じ傾向であった。

本調査は、性的マイノリティをとりまく社会意識に焦点を当てたものとしては、学術的な方法もちいて、日本全国（地域的にも年齢的にも）を網羅している点で、これまでほとんどなされてこなかったプロジェクトである。その意味では、現時点（調査時点である2015年3月）における日本社会のなかで、性的マイノリティに対してどのような社会意識がもたれていたかを表す基礎的なデータを供しているものと言える。このことと関連して、高年齢層も含めた意識調査の文脈においての性的マイノリティに対する意識のデータについては、これまで「日本版総合的社会調査」（JGSS）（岩井・佐藤 2002）や「世界価値観調査」（石原 2012）以外にはほとんどなかったが、この調査である程度捕捉することができたと考えている。また、近年、性的マイノリティに向けたさまざまな形での法整備や政策策定が行われるようになってきているが、その過程で参考となる数値データを供することが期待される。

最後に、本調査の結果は、日本全国の幅広い年齢層に向けて学術的な方法に則って行われた調査結果として意義あるものと考えているが、それでも、本調査結果は2015年3月の一時期に得られたものであるという限界も有している。したがって、年代や地域によって変化する性的マイノリティに対する社会意識を正確に把握していくためには十分ではないとも言える。本調査のように全国規模で行われる調査以外にも、これまでにもいろいろな地域において、さまざまな規模や手法で調査が行われてきており、そうした調査結果は本調査を行ううえでも依拠するための重要な参考資料となったことを申し述べておきたい。また、本調査結果だけではなく、これまでの、そしてこれから行われるさまざまな形態・規模で多くの地域で行われる調査結果の結集により、これまで明らかにされてこなかった性的マイノリティに対する社会意識や、ひいてはそれにより影響を受ける性的マイノリティの置かれている実情を明らかにすることができるものと考えている。したがって、本調査が、唯一の「定番」や「代表」とならないように、今後も多方面からの調査が継続的に行われていくことが期待される。

第3期 「クィア・スタディーズの構築」研究の研究代表者・分担者一覧

氏名	所属	クラスター	分担
河口和也	広島修道大学	調査＋政策	研究代表者＋クラスター調整
石田仁	明治学院大学	調査＋政策	調査立案・実施・解析＋政策
風間孝	中京大学	調査	調査立案・実施・解析
釜野さおり	国立社会保障・人口問題研究所	調査＋政策	調査クラスター統括＋調査立案・実施・解析＋政策
菅野優香	同志社大学	理論	理論・表象研究
清水晶子	東京大学	理論	理論クラスター統括
谷口洋幸	高岡法科大学	政策	政策クラスター統括
堀江有里	立命館大学	理論＋政策	理論研究＋政策
吉仲崇	横浜市立大学	調査	調査立案・実施・解析

上の表で挙げられている研究者一覧は、本調査結果報告時におけるものです。これまで3期にわたり行われた科研費のプロジェクトには、この一覧以外にも、海外留学や海外の大学への移籍により現行メンバーとしては氏名を記載していない研究者がいます。その氏名と現在の所属を以下に掲載しておきます。

マリィ クレア メルボルン大学
菅沼勝彦 タスマニア大学
川坂和義 東京大学（サセックス大学留学中）

文献

- 石原英樹, 2012, 「日本における同性愛に対する寛容性の拡大——世界価値観調査」から探るメカニズム」
『**相関社会科学**』22: 32-41.
- 岩井紀子・佐藤博樹編, 2002, 『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』, 有斐閣.
- 木原雅子, 2006, 『10代の性行動と日本社会——そして WYSH 教育の視点』, ミネルヴァ書房.
- NHK「日本人の性」プロジェクト編, 2002, 『データブック NHK 日本人の性行動・性意識』, 日本放送出版協会.

第1章 結果の要約と留意点

1. 結果の要約

この調査結果の報告書では、多くの調査項目から主要なトピックを設定し、それに基づきながら基本的には単純集計およびクロス集計の数値を紹介しています。それぞれの章は、そのトピックごとでまとめられています。各章をお読みいただくとわかるのですが、一つのトピックのなかでも、多くのグラフ（図）によって数値が並んでいるために、かなりの分量となっています。そこで、トピックごとの主要な結果やその傾向についての簡潔な要約を章ごとに掲載することにしました。以下が、その要約となっています。なお、第3章以下が各トピックの要約になっていますが、第2章の「本報告書を読むにあたっての留意点」もあわせてご覧ください。

第2章 調査概要

この章では、調査の目的、調査内容、調査手法、回収状況、回答者の属性などを示している。

本調査は、現在の日本社会において性的マイノリティがどのように捉えられているのかを把握することを目指して企画されたものである。調査には、同性愛や性別を変えることに関する知識や認識、メディアや人間関係の中での性的マイノリティとの接触、同性間の性愛や性別を変えるという行為に対する嫌悪感、友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感、カミングアウトされた場合の反応、身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感、性的マイノリティについて教えることへの賛否、性的マイノリティが教員になることに対する考え、同性婚への賛否と見解など、多岐にわたる内容を含めた。これらの性的マイノリティに関する項目に加え、ジェンダー・家族に関する考え方、外国人に対する考え方、政治意識、個人の生活経験・社会経済的属性を含めた。

調査実施の概要は以下のとおりである。

調査名：男女のあり方と社会意識に関する調査

調査地域：全国（130 地点）

調査対象：20 歳から 79 歳までの（戸籍上の）男女

抽出方法：住民基本台帳による層化二段無作為抽出法

調査方法：留置調査（訪問留置訪問回収法）※一部郵送による返却

調査実施時期：平成 27（2015）年 3 月

配布数・回収数（回収率）：配布 2,600 票

回収 1,259 票（回収率 48.4%）（郵送返却 61 票、回収票の 4.8%に相当）

質問数：全 59 問、157 項目

第3章 知識と認識

この章では、人びとが性的マイノリティについてどのようなことを知り、またどのようなように捉えているか、すなわち知識と認識について、全体の傾向、性別、年代別、最終学歴別にみた結果を示している。

・ 知識

同性愛の知識に関しては、半数以上の人々が正しい知識を有していた。他方、性同一性障害に関する知識に関しては、正しい知識をもっていた人の割合は、3割程度にとどまっている。その正答率は、年代では、60代以上で低くなった。性別で比較すると、正答率は女性のほうが顕著に高くなっている。

・ 認識

同性愛に関する認識については、「思春期の一時的なもの」と考える人は非常に少なく、「生まれつきのもの」と考える傾向は女性において高くなっている。「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」と考える人の割合は低く、半数以上の人々がそう考えないと回答している。性別によってみると、女性のほうがそう考えない傾向が強かった。また、7割以上の人々が、「性同一性障害と同性愛は同じである」とは考えていない。

第4章 メディア

この章では、テレビ、新聞、書籍、マンガ、インターネットなどのメディアを通じて、人びとがどの程度、性的マイノリティに関することを見たり聞いたり、あるいは読んだりしているのかについての結果を示している。

・ メディアで見聞きした経験・見聞きした性的マイノリティ

回答者のほとんどがメディアで性的マイノリティを見聞きしていた（全体の9割近く）。女性のほうが男性よりも、また若い人のほうが高齢者よりも、見聞きした人が多くなっていた。回答者の性別や年代別にかかわらず、もっとも見聞きされていないのは「女性の同性愛」であり、もっとも見聞きされているのは「男性から女性への移行」であった。

・ 性的マイノリティが見聞きされているメディア

性的マイノリティが見聞きされているのは、テレビがもっとも多く、中でも報道・教養番組のほうが、娯楽番組よりも多かった。メール・ウェブでは男性で、新聞・書籍と雑誌の活字系では60-70代の高齢者で、テレビでは40-50代で、インターネットやマンガでは20-30代の若い年代で、見聞き割合が高くなっていた。それぞれのメディアをふだんから利用する人に限って性的マイノリティについて見聞きした経験をもみても、やはりテレビでの見聞き割合がもっとも高かった。女性向けコミック・マンガは、全体で見ると見聞き割合が低くなっていたが、利用者だけに限ると高くなっていた。インターネット（メール・ウェブ）は男性で、雑誌は高齢者で、女性向けコミック・マンガ、テレビドラマ・映画、インターネット（メール・ウェブ）は若い人で、テレビは40-50代で見聞きした割合が高いという特徴がみられた。

第5章 性的マイノリティの存在の認識

この章では、日常の場面において、性的マイノリティの存在がどの程度認識されているかについての結果を示している。

職場の同僚、近しい友人、親せきや家族に性的マイノリティがいると認識している人は、ごく少数であった。「同性愛者」「性別を変えた人（あるいはそうしようと考えている人）」のいずれか、また少なくともどちらか一方について、周りに「いる」と認識している人は、全体でみても、性別でみても1～6%であった。若い人のほうが「いる」という割合が多く、どちらか一方でも「いる」という人は20代と30代では1割を超えていたが、50代以上では2～3%であった。「性別を変えた人」が「いる」と認識している人はとくに少なく、20代でも5%であった。どちらも「いない」という割合は、20代では3割台、30代から50代では4割台で半数に満たないが、60代では6割、70代では4分の3で、60代以上と、50代以下との間に大きな差があることがわかった。

第6章 行為・感情に対する嫌悪感と抵抗感

この章では、同性との性行為に加えて、手をつなぐこと、恋愛感情、性別を変えることに対する感情にかんする結果を示している。また、恋愛感情に対する認識と性行為に対する認識との関係についても、みている。

・手をつなぐこと／恋愛感情／性行為

全体の傾向：手つなぎでは、「男どうし」「女どうし」「男女間」を比べると、「男どうし」の手つなぎに対して嫌悪感を示す人が多かった。また、「女どうし」の手つなぎに対する嫌悪感は「男女間」の手つなぎに対するものと近い割合を示した。恋愛感情では、約4割の人が「男どうし」「女どうし」「男女両方」（と）の恋愛感情に抵抗感をもっていたが、半数以上の人は抵抗感を示していなかった。性行為では、「男女間」の性行為に対して嫌悪感をもち割合は顕著に少なかった一方で、「男どうし」「女どうし」「男女両方」（と）の性行為に対して嫌悪感をもち割合は6割以上であった。

性別による比較：手つなぎでは、「男どうし」に対して男性が嫌悪感を示す割合が高かった一方で、「男女間」と「女どうし」では男女間に差はみられなかった。恋愛感情では、「男どうし」「女どうし」「男女両方」において男性のほうが抵抗感をもつ割合が高かった。性行為では、男性のほうが「男どうし」「男女両方」（と）の性行為に嫌悪感をもち割合が高く、「女どうし」「男女間」では女性の割合が男性を上回った。女性の示す嫌悪感の割合は対象によって大きく変動しなかったのに対し、男性の示す割合は対象によって大きく異なっていた。

年代による比較：全体的に年代が上であるほど抵抗感や嫌悪感をもち人が多かったが、「男女間」および「女どうし」の手つなぎ、「男女間」の性行為に対する嫌悪感では、年代による顕著な差はみられなかった。

- ・性別移行

「男性から女性」、「女性から男性」への性別移行に嫌悪感をもつ人は約4割であり、両者に顕著な差はみられなかった。性別による比較では男性のほうが、年代による比較では高い年代のほうが抵抗感をもつ人が多かった。

- ・恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係

同性間もしくは両性に対する恋愛感情を容認した人のうち、約半数が同性間もしくは両性との性行為に嫌悪感をもっていた。恋愛感情の容認とは必ずしも性行為の容認を含むわけではなく、限定的な容認であることが示された。

第7章 身近な人に対する嫌悪感

この章では、身近な人—近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子ども—に注目し、これらの人びとが性的マイノリティであった場合の感じ方についての結果を示している。

- ・全体の傾向および性別、年代別にみた結果

近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子どもが同性愛者である場合と性別を変えた人の場合の反応は、関係が近いほど、嫌悪感を示す人が多かった。嫌悪感を示したのは、近所の人や同僚などの他人が同性愛者の場合には4割、性別を変えた人の場合には3割台で、どちらも半数に満たなかった。一方、自分の子どもの場合では、同性愛者の場合でも性別を変えた人の場合でも、7割が嫌悪感を示した。

回答者の性別によって

比較すると、男性のほうが女性よりも嫌悪感を示す人が多かった。性別による違いよりも年代による違いのほうが顕著で、全般に年代が若いと、嫌悪感をもつ人が少なかった。年代による開きは、きょうだいや子どもの場合のほうが近所の人や同僚の場合よりも小さかった。若い年代では近所の人や職場の同僚が性的マイノリティだとした場合、嫌悪感を示す人は2~3割の少数派であるが、自分の子どもの場合では、半数を超えていた。

- ・就業者の同僚が性的マイノリティだった場合の反応

就業者のうち、同僚が性的マイノリティだとした場合に嫌悪感を示したのは3人に1人であった。性別による違いをみると、嫌悪感を示す男性の割合は女性の約2倍であった。年代別にみると、20代から40代の就業者では嫌悪感を示すのは2割程度でほぼ一定であるが、50代以上では年代が上であるほど高く、70代では7割近くにのぼった。仕事の種類別でみると、男性では管理職と農林漁業職についている人びとで嫌悪感を示す人が多かった。40-50代の管理職では、同僚が同性愛者だった場合では約6割が、性別を変えた人だった場合では55%が嫌悪感を示していた。また60-70代の男性管理職で嫌悪感を示す割合は、同性愛者に対しては8割近く、性別を変えた人に対しては9割近くであった。女性では、農林漁業と技能・労務・作業系の仕事についている人で嫌悪感を示す割合が高かった。

- ・子どものいる回答者の、自分の子どもが性的マイノリティだった場合の反応

子どものいる回答者について、自分の子どもが性的マイノリティだった場合の反応をみ

ると、半数以上が「嫌だ」と答え、「どちらかといえば嫌だ」を含めれば4分の3以上が嫌悪感を示していた。男性のほうが女性より、また年代が上であるほど嫌悪感を示す傾向があった。ただし、20-30代の若い層でも、嫌悪感を示す割合は6割台、40-60代では7割台、70代では8割にのぼっていた。自分の子どもが性別を変えた人だとした場合でも、傾向はほぼ同じであった。

- ・性的マイノリティが周りにいるか否かと嫌悪感との関係

性的マイノリティが周りにいるか否かによって、同僚や自分の子どもが性的マイノリティだった場合の嫌悪感が異なるのかをみた結果、周りにいない、という人のほうが、いるという人より、嫌悪感をもち割合が高かった。同僚が同性愛者だった場合、周りにいないという人の半数以上が嫌悪感を示したが、いるという人では1割台であった。同僚が性別を変えた人の場合も同じ傾向で、周りにいないと嫌悪感をもち人が半数近く、いる場合では1割未満となり、こうした傾向はいずれの年齢層でもみられた。自分の子どもが同性愛者であっても性別を変えた人であっても、周りに性的マイノリティがいないという人のほうが、嫌悪感を示す傾向があり、その違いは若い人ほど顕著であった。

第8章 友人に対する抵抗感

この章では、仲の良い友人という、より身近かつ具体的な状況を設定し、その友人が男性の同性愛者、女性の同性愛者、男性の両性愛者、女性の両性愛者だった場合、および性別を男性から女性に変えた、あるいは性別を女性から男性に変えたことがわかった場合の6つに分けてたずねた性的マイノリティに対する態度についての結果を示している。

- ・友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感

友人が男性同性愛者、女性同性愛者、男性両性愛者、女性両性愛者、男性から女性へ性別を変えた者、そして女性から男性へ性別を変えた者だった場合、半数が抵抗感をもちと回答した。性別による比較では、男性同性愛者、男性両性愛者、男性から女性へ性別を変えた者、そして女性から男性へ性別を変えた者だった場合で、男性のほうが抵抗感をもち割合が高かった。女性同性愛および女性両性愛に関しては男女間に抵抗感の差はみられなかった。年代による比較では、年代が高い人ほど抵抗感を示す割合が高かった。

- ・恋愛感情の認識と友人への抵抗感の関係

「男どうし」もしくは「女どうし」の恋愛感情に抵抗感がないと答えた人のうち、3割の人が、仲の良い友人が男性同性愛者、女性同性愛者だった場合に抵抗感をもちと回答した。このことは、男性・女性同性愛一般については抵抗感がないと答えてつも、仲の良い友人が男性・女性同性愛者だとわかった場合には抵抗感をもち人が3割いることを示している。

- ・性別移行の認識と友人への抵抗感の関係

「男性から女性」、「女性から男性」への性別移行に抵抗感がないと答えた人のうち、3割の人が、仲の良い友人が「男性から女性」、「女性から男性」に性別移行していたことを

知った場合に抵抗感をもつと回答した。このことは、性別移行そのものについては抵抗感がないと答えつつも、仲の良い友人が性別を変えた場合には抵抗感をもつ人が3割いることを示している。

第9章 友人からのカミングアウト

この章では、仲の良い友人から「同性愛者」であるとカミングアウトをされたとしたら、どのように感じるかについて、同性の友人と異性の友人それぞれの場合の結果を示している。

・全体、および性別によってみた結果

仲の良い友人が異性でも同性も、同性愛者であるというカミングアウトへの反応は「理解したい」が6割台でもっとも多く、次いで多い反応は「言ってくれてうれしい」で、3割台であった。これらの選択肢はとくに女性で多く選ばれていた。一方「どうでもいい」や「聞かなかったことにしたい」という反応も2割前後あり、どちらも男性のほうが多かった。「気持ち悪い」を選択した割合も男女とも1割を超えていた。

・年代による比較

年代によって比較すると、仲の良い同性の友人からのカミングアウトへの反応として、「理解したい」と「言ってくれてうれしい」を選ぶのは若い人に多く、「かわいそう」、「気持ち悪い」、「聞かなかったことにしたい」を選ぶのは高齢の人に多かった。仲の良い異性の友人からのカミングアウトへの反応は、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「聞かなかったことにしたい」、「気持ち悪い」、「興味が出てくる」の5つがもっとも多く選ばれていた。仲の良い同性の友人からの場合と同様に「理解したい」と「言ってくれてうれしい」、それに加え、「興味が出てくる」を選ぶのは若い人に多かった。また、「聞かなかったことにしたい」と「気持ち悪い」を選ぶのは高齢の人に多かった。

・男女別の年代による比較

仲の良い友人から同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応を、男女に分けて年代による比較をすると、20-30代男性の2割弱が、男性からの場合では「身の危険を感じる」と答えており、他の年代や女性の回答との差がみられた。高齢の男性では、若い男性や女性全般に比べて否定的な反応が多く、とくに男性からのカミングアウトでこの傾向が顕著で、高齢の男性の3人に1人が「気持ち悪い」、5人に1人は「迷惑だ」を選択していた。ただし女性も4人に1人が男性の友人からのカミングアウトに対しては「気持ち悪い」を選んでいて、また、高齢の女性に多い反応は、「聞かなかったことにしたい」であった。

第10章 同性婚

この章では、同性婚へ賛否ならびにさまざまな見解について、全体の傾向、性別、年代別をはじめとするさまざまな属性別にみた結果を示している。

同性婚に賛成する、また、同性婚に肯定的な見解をもつ割合が高いのは、男性より女性、高齢者より若年者であった。

教育の面では、男子高校出身者より共学の高校・女子高出身者に、中学校を最後に卒業した者より専門・専修学校を最後に卒業した者に高かった。

宗教の面では、信仰や信心をもつ者よりもたない者の方に、宗教的な心をもつことを大切だと考える者よりそうは考えない者に高かった。

仕事の面では、自営業主や経営者・役員より正規・非正規の従事者に、管理職・労務職・農林漁業職についている者より専門・技術、事務・営業、販売・サービス業についている者に高かった。

教育の面では、男子高校出身者より共学の高校・女子高出身者に、中学を最後に卒業した者より専門・専修学校を最後に卒業した者に高かった。

宗教の面では、信仰や信心をもつ者よりもたない者のほうに、宗教的な心をもつことを大切だと考える者よりそうは考えない者に高かった。

仕事の面では、自営業主や経営者・役員より正規・非正規の従事者に、管理職・労務職・農林漁業職についている者より専門・技術、事務・営業、販売・サービス業についている者に高かった。

第11章 教育

この章では、性的マイノリティについて教育でとりあげることについて、一般的にどのように受け止められているのか、さらに性的マイノリティが教員になることへの賛否について、その回答者全体の傾向、性別、年代別、子どもの有無別での結果を示している。

・義務教育で教えることへの賛否

同性愛と両性愛を義務教育で教えることについては、賛成とやや賛成をあわせて半数をわずかに超えるが、体の性別を変えたいと望む人については、やや反対、反対が少しずつ高く、賛成とやや賛成をあわせても半数を割った。

男性より女性のほうが、賛成が多く、年齢が高いと反対が多く、年齢にかかわらず子どもがいる人よりいない人のほうが、賛成が多くなった。同性愛を教えることよりも、体の性別を変えたいと望む人のことを教えることへの反対のほうが多い傾向がみられた。

・性的マイノリティが小学校教員になることに対する意識

小学校教員になってほしくないなんらかの性的マイノリティが「いる」と回答した人は「いない」と回答した人より多く、半数を超えた。「同性愛男性」、「同性愛女性」、「両性愛の人」、「男性から女性に変えた人」、「女性から男性に変えた人」のうち、もっとも多くの回答者が小学校の教員になってほしくないと答えているのは、同性愛男性、逆にその回答がもっとも少ないのは性別を変えた人であった。これは義務教育で教えることの賛否とは逆の結果である。また、全般的に性的マイノリティが教員になることへの抵抗感を示すのは、女性より男性、若い人より高齢者であった。子どもがいる人は、子どもがいない人より、すべての性的マイノリティについて小学校教員になることに抵抗感を示す人が多く、この傾向は年代にかかわらずみられた。

2. 本報告書を読むにあたっての留意点

本報告書は、性的マイノリティについての意識に関する基礎資料を提供することを目的とし、今回調査した中で、性的マイノリティをめぐる意識にかかわる質問の単純集計結果（それぞれの選択肢を選んだ人の割合）、ならびに、性別と年齢層別（本文では「年代別」と表記）のクロス集計の結果（それぞれの選択肢を選んだ割合を、男女別と年齢層別に示したもの）を中心にまとめている。内容によっては、男女に分けたうえで、年代別にクロス集計した箇所もある。また質問によっては、これらにとどまらず、最終卒業学校（学歴）、子の有無、仕事の種類によるクロス集計の結果も含めている。また、同性婚についての意識をまとめた第10章では、近年の関心の高まりを考慮し、多くの社会経済的属性や生活経験によるクロス集計の結果をまとめている。

以下に、本報告書の全体に共通する方針を述べておく。

- ・ 性別について
 - ◇ 本報告書で示す性別（男女別）による分析では、とくに断りのない限り、回答者の性自認による性別をもちいている（「コラム」を参照）。
- ・ 「無回答」の扱い
 - ◇ 各章で示す集計結果では、与えられた選択肢の中から1つだけ選んで○をつける形式の質問（択一式）の場合は、とくに断りのない限り、その問いに回答しなかった人も含めている。参考までに、無回答を除いて行った集計結果を付表に掲載している。
 - ◇ あてはまる選択肢すべてに○をつける形式の質問（複数回答・複数選択式）では、その質問に回答しなかった人を除いたうえで、各選択肢に○をつけた人の割合を示している。「この中にあてはまるものはない」という選択肢を選んだ人については、その質問自体には回答しているため、集計に含めている。
- ・ 回答者数の表記
 - ◇ 各図の下に、集計にもちいた回答者の数を「回答者数」として記している。（図に示す割合（%）が「何人に対しての割合か」を示している。）一般的にn（またはN）、「集計客体数」などとして示されているものに相当する。
 - ◇ 回答者数を、同章内の文中や表に記している場合もある。
- ・ 巻末の付表
 - ◇ 各章で掲載した図のもととなった数値データを「第○章付表」として掲載している。
 - ◇ 原則として、①最左列に本文で言及した図に該当する回答の分布（%と人数）、②右隣の列に、無回答を除いて算出した回答分布（%と人数）および χ 二乗検定の結果を掲載している。さらに、③いくつかの選択肢をまとめた回答分布（%と人数）とその χ 二乗検定の結果を示した項目もある。（たとえば、「賛成」「やや賛成」「やや反対」「反対」「賛成」の4つの選択肢がある場合、「賛成」と「やや賛成」をあわせて<賛成>「やや反対」と「反対」をあわせて<反対>として、まとめている。）

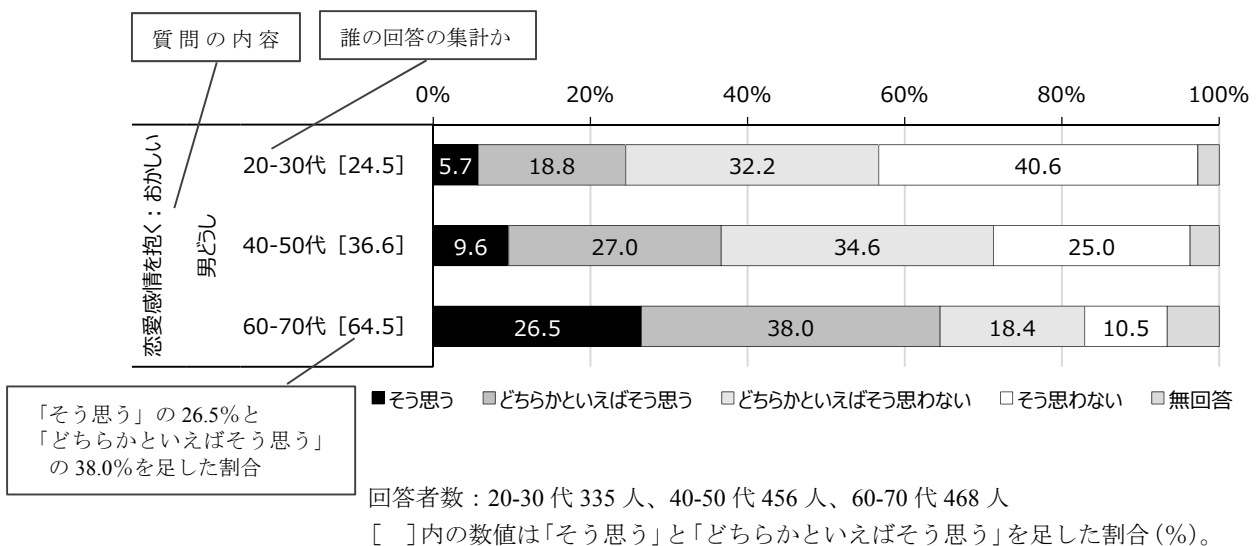
・ 四捨五入について

- ◇ 図および付表に示す割合（％）については、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計数値とその内訳が一致しない場合がある。たとえば、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と無回答の割合を合計しても、100 ちょうどにはならないこともある。同様に、下記の図例 1 のように、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足した値として示されている [] 内の数値と、図内に示した「そう思う」の割合と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計値とが一致するとは限らない。

図（グラフ）の読み方

・ 選択肢を 1 つだけ選ぶ形式の質問（択一式）の例

図例 1（第 6 章 図 6-6 より抜粋）：年代別、恋愛感情についての認識（男性どうし）



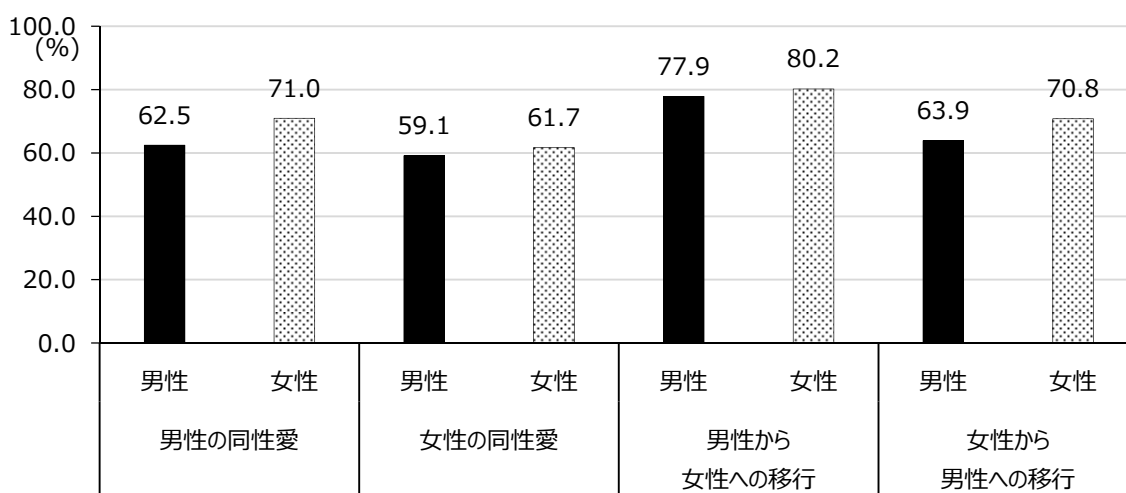
ここでは、「男性が男性に対して恋愛感情を抱くのはおかしい」に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の 4 つの選択肢から 1 つ選んでもらう質問を例に挙げる。図例 1 は、それぞれの選択肢を選んだ人の割合（％）を、20-30 代、40-50 代、60-70 代のそれぞれについて示したものである。たとえば、最下段の 60-70 代のグラフでは、60-70 代の回答者 468 人（注の「回答者数」を参照）の 26.5%が「そう思う」、38.0%が「どちらかといえばそう思う」、18.4%が「どちらかといえばそう思わない」、10.5%が「そう思わない」と回答したことを示す。数値の入っていない一番右の部分は、この問いに回答しなかった人（無回答）に該当する。無回答の割合は、数値は巻末の付表で確認できる。（合計の 100%から、残りの選択肢を選んだ人の割合を引き算しても求められる（100% - (26.5% + 38.0% + 18.4% + 10.5%) = 6.6%）。

60-70 代の横に記されている [64.5] は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を足したものである（26.5% + 38.0% = 64.5%）。これは、「男性が男性に対して恋愛

感情を抱くのはおかしい」に対して、程度は問わず、同意する方向の回答を示す人の割合が一目でわかるように記載したものである。

- あてはまる選択肢すべてに○をつける形式の質問（複数回答）の例
 ここでは、メディアで見聞きしたことのある性的マイノリティをたずねた問いを例に挙げる。選択肢は「男性の同性愛」、「女性の同性愛」、「男性から女性に変わった人・性同一性障害など」（図では「男性から女性への移行」と略記）、「女性から男性に変わった人・性同一性障害など」（図では「女性から男性への移行」と略記）」の4つであり、回答者はこの中からいくつでも○をつけることができる。図例2は、男性回答者と女性回答者それぞれについて、各選択肢に○をつけた人の割合を示している。

図例2：（第4章 図4-4より）性別でみた、それぞれの性的マイノリティの見聞き割合



回答者数：男性 565 人、女性 658 人

例として、一番左の「男性の同性愛」をみると、黒色のグラフでは、集計対象とした 565 人の男性の 62.5%が「男性の同性愛」に○をつけたことを示し、となりの網掛けのグラフでは、集計対象とした 658 人の女性の 71.0%が「同性愛男性」に○をつけたことを示している。

なお、このような複数回答の問いの場合は、それぞれの選択肢について、「○をつけた人」と「○をつけなかった人」の割合の合計が 100%となる。「男性の同性愛」の場合は、男性回答者で○をつけた人は図に示したように 62.5%、つけなかった人は図には示していないが $100.0\% - 62.5\% = 37.5\%$ である（付表には、両方の数値が記載されている）。言うまでもなく、図例1のような問いとは異なり、「男性の同性愛」、「女性の同性愛」、「男性から女性への移行」、「女性から男性への移行」のそれぞれを選んだ人の割合（62.5%、59.1%、77.9%、63.9%）を合計しても、100にはならない。

第2章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、現在の日本社会において性的マイノリティがどのように捉えられているのかを把握することを目指して企画されたものである。私たちはこの目標にたいし、(1)性的マイノリティに対する人びとの捉え方の全体像を把握すること、(2)性的マイノリティ間での捉えられ方の差異に注目すること、(3)人びとの社会経済的屬性・生活経験による違いを把握すること、(4)性的マイノリティの捉え方と、他のことがらに対する意識との関連を検証すること、の4つの段階に分けて取り組むこととした。

第1段階では、今の日本において、性的マイノリティに関する特定の意見を「どれくらい」の人びとが共有しているのかを調べる。性的マイノリティの当事者が日常的に経験しているかもしれないこと——気持ち悪い、おかしい、変だと言われる、ばかにされる、「いない」ことにされる、言うてはいけないことだと感じさせられる、話しても聞かなかったことにされる、「少子化」の原因だと言われる、同性に関心があると性転換をしたいのだと思われる、体の性別がいやなら手術すればいいと言われる——など、例を挙げればきりが無いが、このような経験の背景には、性的マイノリティに対する人びとの考え方が存在している。今回のような調査を一つ行ったからといって、当事者にかかわるすべての意見をすることはできないが、若者から高齢者までを含めた、日本の人びとの意識の全体像を捉えることで、その理解を一步進めることができると考える。

第2段階では、人びとの意識の中での、異なる性的マイノリティの間の差異に注目する。すなわち、同性愛と両性愛、男性同性愛と女性同性愛、トランスジェンダーと同性愛などが、それぞれどのように捉えられているのか、捉えられ方にどういった差異があるのかを把握する。最近では「LGBT」という表現がマスコミでも頻繁に使われており、あたかも「LGBT」という一つの集団が存在するような印象を与えているが、その中には、多種多様な経験がある。したがって、人びとの捉え方の調査でも、可能な限り分けてみていくことが重要である。

第3段階では、人びとの年齢や性別、住んでいる地域、学歴、結婚状況といった社会経済的屬性や、海外滞在経験などの生活経験によって、性的マイノリティの捉え方が異なるのかどうかを調べる。違いがあることや、どのように違うのかを把握することに加え、逆に、違いがないことを明らかにすることにも意味がある。たとえば、性的マイノリティについて、若者にも高齢者にも支持される意見はどのようなものか、逆に年齢によって違いがみられるのはどのようなものかを区別することで、性的マイノリティの捉えられ方を多角的に描写できる。

第4段階では、性的マイノリティに対する意識について、国内外の先行研究で得られた知見や、性的マイノリティのコミュニティで議論されてきたことに基づくさまざまな仮説の検証を試みる。他のマイノリティに対する意識、ジェンダー・家族にかかわる考え方、当事者との接触、メディアでの接触、同性愛の「原因」の捉え方といったこととの関連性を確認しながら、人びとの性的マイノリティの捉え方に対する理解を深めていく。

この調査は、特定のテーマを詳細に分析するには向いていないが、ここで得られた結果が今後、さまざまな研究に発展していくきっかけとなり、また、性的マイノリティに対する社会的対応、法的保障などを検討するさいの、現状把握の参考となることを目指した。

この報告書では、第1段階の全体像の把握と第2段階の性的マイノリティ間の違いを記述する。また、第3段階の社会経済的屬性による意識の比較として、主に性別と年代に注目した比較を中心にまとめている。

2. 調査の方法

(1) 調査の内容

① 調査項目

1. で述べた目的に合わせ、この調査には、同性愛や性別を変えることに関する知識や認識、メディアや人間関係の中での性的マイノリティとの接触、同性間の性愛や性別を変えるという行為に対する嫌悪感、友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感、カミングアウトされたとした場合の反応、身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感、性的マイノリティについて教えることへの賛否、性的マイノリティが教員になることに対する考え、同性婚への賛否と見解など、多岐にわたる内容を含めている。

これら性的マイノリティに関する項目に加え、ジェンダー・家族に関する考え方、外国人に対する考え方、政治意識などをたずねた。個人の生活経験・社会経済的屬性として、生育環境、家族生活への満足度、ソーシャル・サポートの有無、海外生活経験、メディア利用、結婚状況、同棲経験、世帯人数、同居者、最終卒業学校、通った学校の男女共学・別学の別、階層帰属意識、就業の有無、仕事の種類、収入、年齢、戸籍上の性別と自認する性別などをたずねている。

この調査では「性的マイノリティ」のうち、同性愛、両性愛、トランスジェンダー（性別を変える・変えること、変えた人）に焦点を当てた。可能な限り、同性愛と両性愛については男性と女性に、性別を変えることに関しては、男性から女性への移行と、女性から男性への移行に、分けてたずねた。ただし一つの調査で扱える質問数には限りがあるため、同性愛のみについてたずねた項目や、男女に分けずにたずねた質問も多々ある。

② 調査票策定の手順

調査票を作成するにあたっては、主に1970年代から英語圏で蓄積されてきた先行研究、日本における先行研究、当事者や当事者を含む団体等による書籍やミニコミ紙等を参考にし、調査で扱う内容ならびに質問項目を検討した。調査票の原型がある程度固まったところで、大学生を対象とした予備調査を2012年秋と2013年春に実施した。その分析結果を参照し、調査内容と質問項目を大幅に修正した。その後、研究チームで再度、この調査を通じて何を知りたいのかを自問しながら協議を重ね、「一般向け」の質問として通用する調査票に向けた検討を行った。懸念されたのは、大学生なら回答できる調査項目であっても、全国のさまざまな地域に住む背景の異なる人びと、とくに60代や70代の人々が、理解して回答できるものになっているのかということであった。そこで、研究メンバーの知り合い

を通じて、年代、性別、職業、学歴等の異なる 30 人余りの人たちに依頼し、調査票に回答してもらったうえで質問文や選択肢へのコメントや調査全体に対する印象を聞き取り、それらも考慮しながら修正を行った。調査票検討のどの過程においても、性的マイノリティの研究に携わっていない社会調査の専門家たちにもコメントをもらった。調査票の確定前には、いくつかの質問で設定した回答選択肢が対象者にとって意味のあるものなのか、抜けているものはないのかを検討するために、これらの項目を入れたウェブ調査を行い、選択肢を検討した。ウェブ調査の結果を受けて、追加したり除外したりした選択肢もある。

こうした検討過程を経て、2014 年 12 月末に調査票を確定し、2015 年 3 月に本調査を実施した。最終調査票は質問数 59、項目数 157 からなり、表紙を除くと両面 (A4) で 14 ページであった。使用した調査票は、本報告書の巻末に掲載している。

(2) この調査で扱う性的マイノリティについての補足

① 調査票における「性的マイノリティ」の表現

この調査でとりあげた同性愛、両性愛、トランスジェンダーに関しては、ゲイ、レズビアン、ホモセクシュアル、バイセクシュアル、トランスジェンダー、FtM、MtF、FtX、MtX、X ジェンダー、性別違和、性別適合手術など、このテーマにある程度関心のある人であれば知っているだろう用語・捉え方・括り方が多数ある。研究グループでは、どのような表現をもちいて質問するかの議論を重ねた結果、事前知識の有無にかかわらず理解できるだろうと思われる、「同性愛 (者)」、「両性愛 (の人)」、「性別を変えた人」という表現に統一することとした¹。トランスジェンダーにかかわる表現の決定はとくに難しく、さまざまな用語・表現を検討したが、最終的には「性別を変えた人」「性別を変えること」という表現を採用した。そのため、トランスジェンダーに関しては、ごく限られた側面に対する意識が調査されていることも述べておきたい。

このような表現の問題に加え、本調査で対象、もしくは言及されなかった性的マイノリティの存在があることも、承知している。「性的マイノリティ」ということばが本調査で扱っているものに限定されえないことは、あらかじめ断っておく必要がある。ここで他の性的マイノリティをとりあげることや性的マイノリティの多様性を描写する表現をもちいることを断念した理由は、質問数、質問文の長さ、選択肢の数の制約に加え、これらの性的マイノリティ・表現が、調査票という道具によって信頼性のある回答を得られるほど、「一般的」に認知されているか否かが確認できなかったという点が大きい。多様で複雑な「性的マイノリティ」の存在を捉えつつ、さまざまな人びとを対象とした社会調査を行うための条件を満たす調査票のあり方については、研究グループで引き続き模索していく必要がある。

¹ 調査票に定義や説明を含めることも検討したが、回答者の負担がさらに増えることに加え、説明を読んで理解したうえで回答したかの検証ができないため、今回は回答者が理解している範囲内で回答してもらうことに調査の意義があると考え、あえて定義は入れなかった。例外として「両性愛」は、視覚的に「同性愛」との見間違える可能性もあるため、「男女両方に恋愛感情を持つ」という簡単な説明を含めた。調査の理解度と回答傾向の関連性については、調査の最後に、これらの質問をよく理解できたか、興味をもてる内容だったか、をたずねているので、今後、考察をしていく予定である。

② この調査で捉える、性的マイノリティについての考え方

今回の調査では、性的マイノリティについての意識を知るにあたって、否定的な感情、たとえば抵抗感や嫌悪感といった側面から性的マイノリティを捉えようとする質問文や選択肢を多くもちいている。(性的マイノリティの権利にかかわる項目については、この限りではない。)

否定的な感情の質問文を中心とした調査票を使うことになったのは、研究グループ内でも、議論や試行を重ねた結果である。調査票の策定過程では、否定的な感情にこだわらず、たとえば、性的マイノリティや同性間の恋愛感情や性行為をよしとする項目や、教員になることや教えることに対して肯定的な意識を前提とした項目、あるいは、否定肯定にかかわらず、あらゆる表現を挙げてあてはまるものを選んでもらう形式などが、幾度ともなく検討された。しかしいくつかの理由から、本調査では抵抗感や嫌悪感といった否定的な感情をストレートに聞くことにした。

第一には、先行研究の多くが大学生を対象にし、否定的な感情をたずねるか、もしくは肯定的/否定的な感情をまぜて調査しており、否定的な感情は無視できないものであることを示している。そこで、今回、一般社会において回答の分布を調べることは、意義があると考えたためである。

第二には、たとえば「同性愛者には繊細な人が多い」「同性愛は純粋なものである」などの「ポジティブ」なイメージを捉える項目を入れて結果を得たとしても、ある種のステレオタイプを確認するにとどまるのではないか(石丸 2008)という懸念があったためである。肯定的なものであれ否定的なものであれ、イメージを捉える調査にステレオタイプの表出は必然であるため、肯定的なものや否定的なものを公平に混ぜて形式上「中立」を保った調査にするより、現実的な困難をより鮮明に浮き彫りにする否定的な表現の項目に絞るほうが、性的マイノリティの現状把握に必要な情報を捉えることができる、と判断したことも重要な理由である。

第三に、今回の社会調査は、さまざまな年齢や属性の人を対象にしており、そうした調査の場合、調査票は、その多様な回答者が質問文を精読しなくても答えられるように作られていることが望ましいとされているためである。この調査のように対象者になじみのないテーマを扱うさいは、とくにこの点が重要であるとされている。たとえば、性的マイノリティを肯定的に捉える表現を中心にたずねた場合や、中立を保つために否定的な文章と肯定的な文章を混在させた場合、矛盾回答など読み違い・つけ違いと思われる回答が多々起きることが知られている。

事実、一般の回答者を対象とした予備調査後のヒアリングでは、性的マイノリティを肯定的に捉える表現を使った項目について、とくに高齢の協力者から、読み違えているのかと思って何度も読み直す必要があった、といった意見が寄せられた。また、「否定的感情」と「肯定的感情」、「否定的感情」と「否定的感情の否定」、あるいはこの三者が混在しているものについては、答えにくい、何度か読み直さないとわかりにくい、読み直しているうちに余計わからなくなった、というコメントが寄せられた。後者の点については、「調査慣れ」をしている大学生ならば、否定的な感情の質問文(おかしい、抵抗がある)と、否定的な感情を否定する質問文(おかしくない、抵抗がないなど)、さらに肯定的な感情からなる質

問を混ぜたとしても、問題なく回答できると予想した。しかし実際は、大学生を対象にした予備調査でも、読み違い・つけ違いと思われるものが見受けられた。どのような調査・項目においても読み違い・つけ違いは起こりえるものだが、今回のように経験上予測できる間違いについては、できる限り避けることで、集めたデータの精度を保つことが重要だと考えた。

こうしたことをさまざまな観点から総合的に検討した結果、この調査では、否定的な感情に対する反応を中心に、あいまいな表現を避けてストレートにたずねることにした。

しかしながら、こうした質問がなされることで、あるいは調査結果が公表されることで、人びとの性的マイノリティに対しての否定的な見解・イメージを強化・再構築するのではないか、という疑念を払拭できないのもまた事実である。また、性的マイノリティの当事者にとっては、そうした調査の実施や調査の公表によって、傷ついたり自信をなくしたり、不快な思いをもたらしたりする可能性についても、研究グループで議論した。実際、この調査の最後に設けた調査に対する感想を述べる自由記入欄には、質問の内容が否定的なのでこの調査を行うこと自体が差別的なのではないか、という意見が数件寄せられた。覚悟の上とはいえ、このような影響をもたらす調査であることを、本研究グループは改めて実感せざるをえなかった。

このような限界があるとはいえ、調査や研究活動は、単独で存在するのではなく、社会的な文脈の中に置かれているということは強調しておきたい。今回、この調査の実施に踏み切ったのは、当事者もそうでない人びとも、この種の調査とその結果が示すメッセージ一たとえそれが否定的なものであっても一を受け止めて、その結果を原動力として社会の改善へとつなげていく土壌が、今の日本社会にはできつつあると感じたからである。これまでの地道な運動を経て、今では性的マイノリティについての信頼できる情報も増え、性的マイノリティを支援するさまざまな活動や研究は現に多く存在する。お笑いの対象として消費されるだけでなく、等身大の当事者の日常を紹介する報道があり、その存在や生き方を肯定するメッセージが発せられている。また、当事者に対する調査も蓄積しつつある流れの中に、本調査は位置づけられていると言える。本調査は、性的マイノリティに対して向けられている否定的なイメージや、みえないものとされている状況が、どれほど多くの割合の人や、あるいはどのような属性の人によって感じとられているのかについて明らかにすることで、その否定的な感情とどのように対峙していくかを検討していくための、基礎資料にもなりうると考えた。

社会情勢の面から考えると、10年前には全国レベルでこのような調査を行うことは考えられなかった。2、3年前ですら、可能であったかはわからない。しかし全国調査を行う計画を全面的に打ち出した本研究プロジェクトが科研費の課題として採択され、調査の委託先候補となる複数の調査会社が、この内容での調査が実施可能だと判断した。また、130の自治体が、この調査票を確認したうえで住民基本台帳閲覧に許可を出した。同様の手法をもちいた他の学術的な社会調査と比べて回収率に大きな差はなく、調査の実施期間中に寄せられる対象者からの苦情は他の社会調査と比較しても多くなく、またその内容に目立った違いはなかった。こうした事実は、性的マイノリティについての意識を中心とした社会調査が、全国レベルで実施できるという社会状況の現われであると解釈している。

本研究グループでは、否定的な質問項目がもつ問題や調査票全体が醸し出す否定的なイメージに対しては、引き続き検討・反芻を続ける予定である。今後性的マイノリティの可視化がさらに進み、人権を求める声が大きくなればなるほど、潜在下にある否定的な捉え方は表面化していく可能性があるが、そうした時に、今回の調査結果が一つのいしずえになることを願っている。

(3) 調査手法

本調査は、「男女のあり方と社会意識に関する調査」という名称のもと、全国の全地域において、住民基本台帳に登録している 20 歳から 79 歳の 2,600 人を対象に実施した。調査実施に必要な業務は、一般社団法人新情報センター（以下、新情報センター）に委託した。研究メンバーは準備の段階からデータの納品までの全プロセスにおいて、新情報センターと密に連絡を取り合いながら実施した。

調査実施の概要は以下のとおりである。

調査名：男女のあり方と社会意識に関する調査

調査地域：全国（130 地点）

調査対象：20 歳から 79 歳までの（戸籍上の）男女

抽出方法：住民基本台帳による層化二段無作為抽出法

調査方法：留置調査（訪問留置訪問回収法）※一部郵送による返却

調査実施時期：平成 27（2015）年 3 月

配布数・回収数（回収率）：配布 2,600 票

回収 1,259 票（回収率 48.4%）（郵送返却 61 票、回収票の 4.8%に相当）

質問数：全 59 問、157 項目

① 抽出方法

日本の 20 歳～79 歳の全人口から、この調査への回答を依頼する 2,600 人を選ぶために、住民基本台帳に基づく層化二段無作為法をもちい、第一次抽出では調査地点（平成 22 年国勢調査区）を 130 地点抽出し、第二次抽出では 130 の各地点の住民基本台帳から無作為で地点毎に決めた標本数を抽出した。

手順を詳しく述べると、第一次抽出では、全国の市町村を、都道府県を単位とした 11 地域に分け、各地域をさらに都市規模別（平成 25 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳に基づく人口による）に、「大都市」（政令指定都市と東京 23 区）、「人口 10 万人以上の市」、「人口 10 万人未満の市・郡部」の 3 つに分類し、合計 31 の層を設定した。次に本調査の対象である 20 歳～79 歳の人口に応じて 2,600 の標本数を 31 の各層に比例配分し、各調査地点の標本数が 14～23 になるようにそれぞれの層での調査地点数を決めた。たとえば東北地域の「人口 10 万人未満の市・郡部」に割り当てる標本数は、当該層の人口 3,395,045 を、総人口 96,534,893 で割り、全体の標本数 2,600 を掛けた 91（91.4 を四捨五入）となる。この層から抽出するのは 91 標本となり、調査地点数は 5 地点とした。他の層についても同様の方法で標本数と地点数を決めた。

次に、この方法で抽出された 130 の市区町村宛に、本調査の目的や意義、個人情報取り扱い等を記した文書と実際に使用する調査票を送付し、住民基本台帳の閲覧を依頼した（130 のうち閲覧が認められなかったのは 1 自治体であり、その自治体と同地域・都市規模の自治体に差し替えた）。公式の許可が得られた後、新情報センターの担当者たちが 130 の市区町村に出向き、住民基本台帳を閲覧して、あらかじめ定めた数の標本を台帳から等間隔で抜き出し、氏名、住所、性別、生年月日を書き写し、調査対象者名簿を作成した。

表 2-1 に平成 25 年の住民基本台帳に基づく 31 の各層の人口を、表 2-2 に 31 の層に配分された標本数と地点数を示す。

② 調査票の配布と回収方法

調査票の配布にあたっては、上記①の方法で抽出した 2,600 人の対象者それぞれに、担当の調査員が調査協力依頼のはがきを送付した。担当調査員は、はがきが届いた頃合いを見計らって対象者を訪問し、調査票と密封用封筒を手渡した。配布時に打ち合わせた回収日時に調査員が再度対象者を訪問し、記入済みの調査票を密封した封筒を回収し、謝礼として 500 円の図書カードを渡した。不在の場合は、時間や曜日を変えて調査期間中、複数回訪問した。記入済みの調査票を郵送で返却を希望する対象者には、返信用の封筒を渡した。郵送回答があれば、新情報センターから郵送で謝礼を送付した。

表 2-1 31 の層における 20～79 歳の人口（平成 25 年住民基本台帳による）

地域	地域に分類された都道府県	大都市 (23 区含む)	人口 10 万 以上の市	人口 10 万未満 の市・郡部	計
北海道	(北海道)	1,490,505	1,155,597	1,503,704	4,149,806
東北	(青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島)	793,610	2,625,913	3,395,045	6,814,568
関東	(茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川)	13,315,571	13,777,578	5,884,374	32,977,523
北陸	(新潟 富山 石川 福井)	603,164	1,644,457	1,742,437	3,990,058
東山	(山梨 長野 岐阜)	0	1,573,383	2,180,733	3,754,116
東海	(静岡 愛知 三重)	2,866,026	4,451,499	2,534,502	9,852,027
近畿	(滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山)	4,982,522	6,921,110	3,904,682	15,808,314
中国	(鳥取 島根 岡山 広島 山口)	1,403,464	2,591,899	1,551,423	5,546,786
四国	(徳島 香川 愛媛 高知)	0	1,525,356	1,402,498	2,927,854
北九州	(福岡 佐賀 長崎 大分)	1,847,782	1,971,512	2,511,868	6,331,162
南九州	(熊本 宮崎 鹿児島 沖縄)	536,428	1,717,986	2,128,265	4,382,679
計		27,839,072	39,956,290	28,739,531	96,534,893

表 2-2 31 の層における抽出人数（〔 〕内）と調査地点数

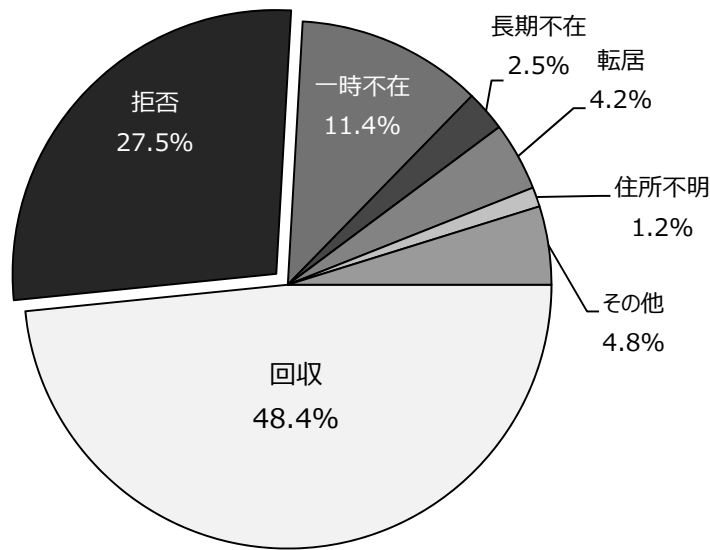
地域	大都市(23 区含む)	人口 10 万以上の市	人口 10 万未満の市・部	計
北海道	2 [40]	2 [31]	2 [40]	2 [111]
東北	1 [21]	4 [71]	5 [91]	9 [183]
関東	18 [360]	19 [372]	8 [158]	44 [890]
北陸	1 [16]	2 [44]	2 [47]	5 [107]
東山	0 [0]	2 [42]	3 [59]	5 [101]
東海	4 [77]	6 [120]	3 [68]	13 [265]
近畿	7 [134]	9 [187]	5 [105]	21 [426]
中国	2 [38]	3 [70]	2 [42]	7 [150]
四国	0 [0]	2 [41]	2 [38]	4 [79]
北九州	2 [50]	3 [53]	3 [68]	9 [171]
南九州	1 [14]	2 [46]	3 [57]	6 [117]
計	37 [750]	54 [1,077]	39 [773]	130 [2,600]

(4) 回収状況

① 全体の回収状況

上記の手続きを踏んだ結果、配布数 2,600 のうち 1,259 票が回収された(回収率 48.4%)。郵送で返送されたものは 61 票で、回収された票の 4.8%に相当する。回収できなかったものの内訳をみると、「拒否」が全体の 4 分の 1 (27.5%) でもっとも多く、次いで「一時不在」が 1 割程度であった。転居、長期不在、住所不明はそれぞれ 5%未満であった。(図 2-1)

図 2-1 回収状況の内訳 (配布数 2,600 票)



② 性別と年代別にみた回収状況

次に、性別と年代別にみた、回収状況を示す。調査票の回収ができなかった人については、調査対象者名簿(上記の(2)①のとおり)から得られる、住民基本台帳に掲載された戸籍上の性別と年齢の情報もちいる。

まず、性別で見ると、回収率は女性のほうが高く、半数(51.1%)を超えている。(図 2-2) 年代別で見ると、上の年代のほうが、回収率が高い傾向にある。もっとも低い 20 代と 30 代では 40%台前半、もっとも高い 50 代と 60 代では 50%台前半で、10 ポイント程度の差がある。(図 2-3)

図 2-2 性別(戸籍上)でみた回収状況

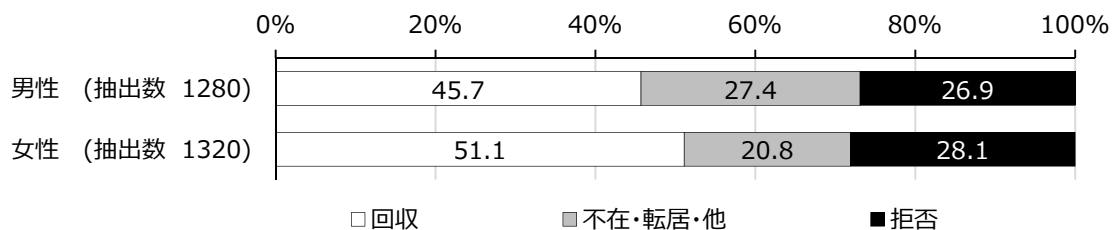
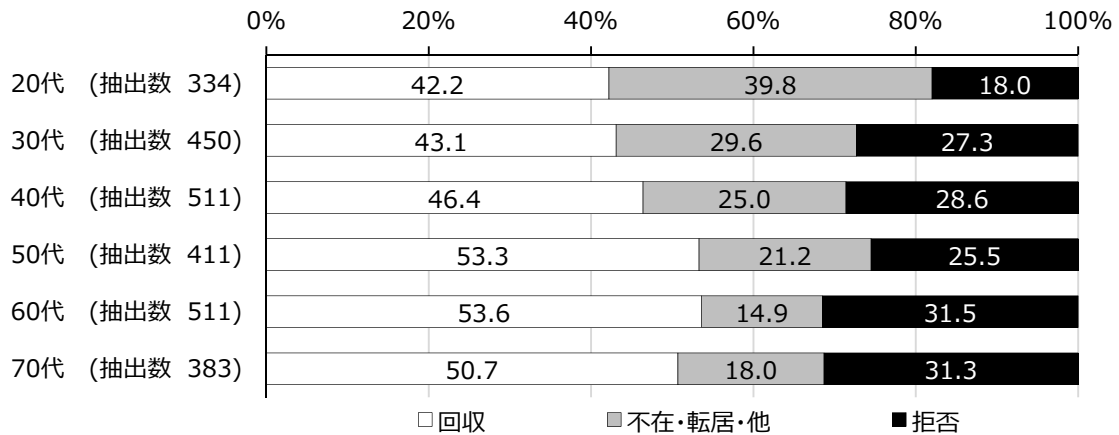
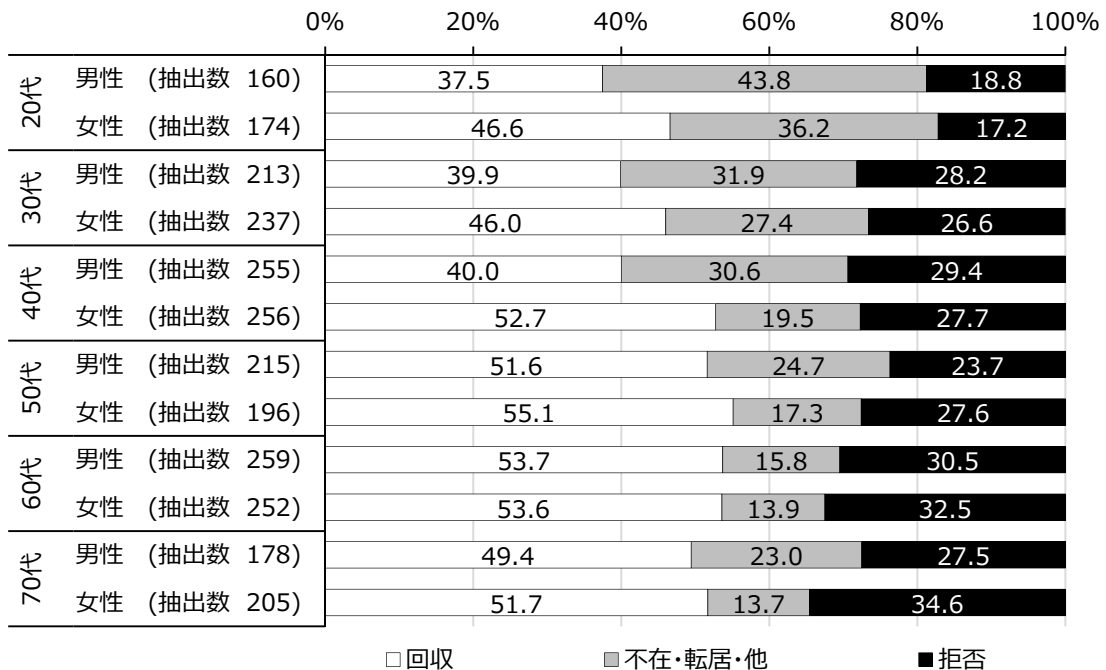


図 2-3 年代別にみた回収状況



年代別の回収率を、さらに性別（戸籍上）に分けて回収状況をみると、男女とも年代が上であるほど、回収率が高い傾向がある。とくに50代と60代の回収率は高く、20代では低い。男性で回収率5割を超えたのは50代と60代のみであるが、女性では40代以上のすべてで超えている。一方、男性の20代と30代の回収率は40%に満たず、40代でも40%と低めである。女性の方はもっとも低い20代と30代でも46%台である。男女の差は若い年代で大きい、とくに40代でとくに大きく12ポイント以上の開きがある。また、不在・転居といった「拒否」以外の理由で回収できなかった票が20代の男性では4割超もある。同割合は20代女性と、30代と40代の男性では3割台であり、これらはそもそも曜日や時間を変えて調査員が自宅を訪問しても対象者と会うことのできなかったケースである。若い年代、とくに男性は家を不在にしがちであることが読み取れる。(図 2-4)

図 2-4 年代・性別（戸籍上）にみた回収状況



③ 都市規模別にみた回収状況

都市規模別の回収状況をみると、回収率は「大都市」のほうが低く41.3%、「人口10万人以上の市」では半数超の50.3%、「人口10万人未満の市・郡部」ではさらに高く52.7%である。「大都市」と「人口10万人未満の市・郡部」では約10ポイントの差がある。(図2-5)

男女別に分けて都市規模別にみると、傾向は全体でみた場合と同様であるが、「都市部」の男性は4割未満、「人口10万人未満の市・郡部」の女性は57.4%と大きな開きがある。男性ではもっとも回収率の高い「人口10万人未満の市・郡部」でも5割に満たない。(図2-6)

図 2-5 都市規模別にみた回収状況

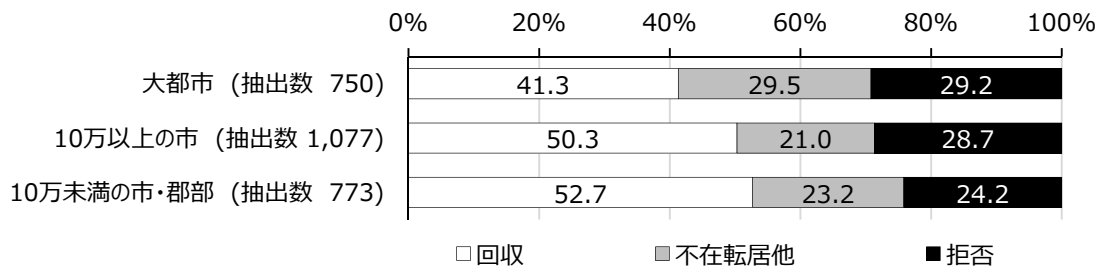
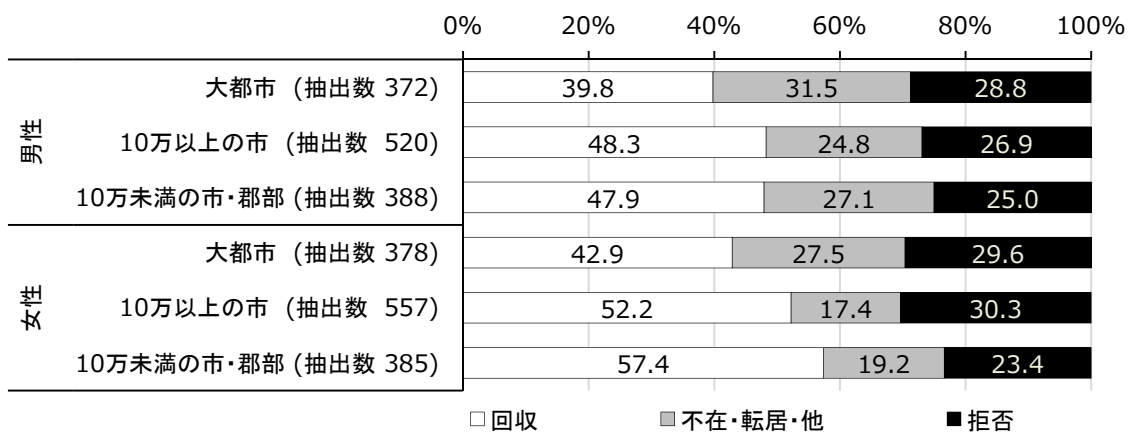


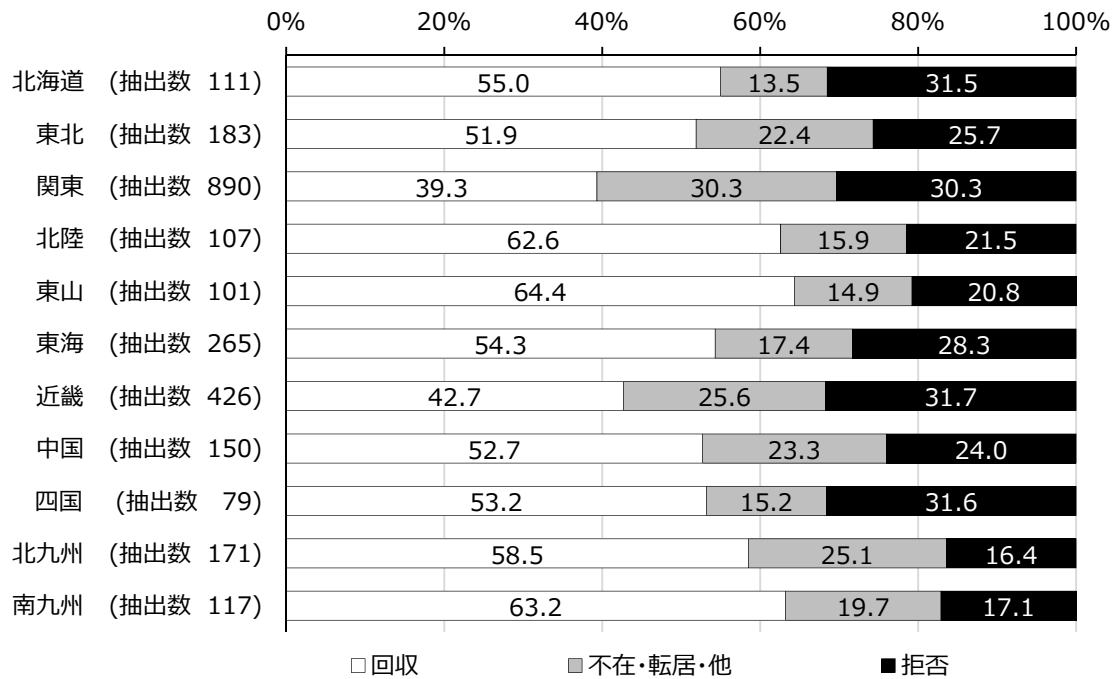
図 2-6 性別（戸籍上）・都市規模別にみた回収状況



④ 地域別にみた回収状況

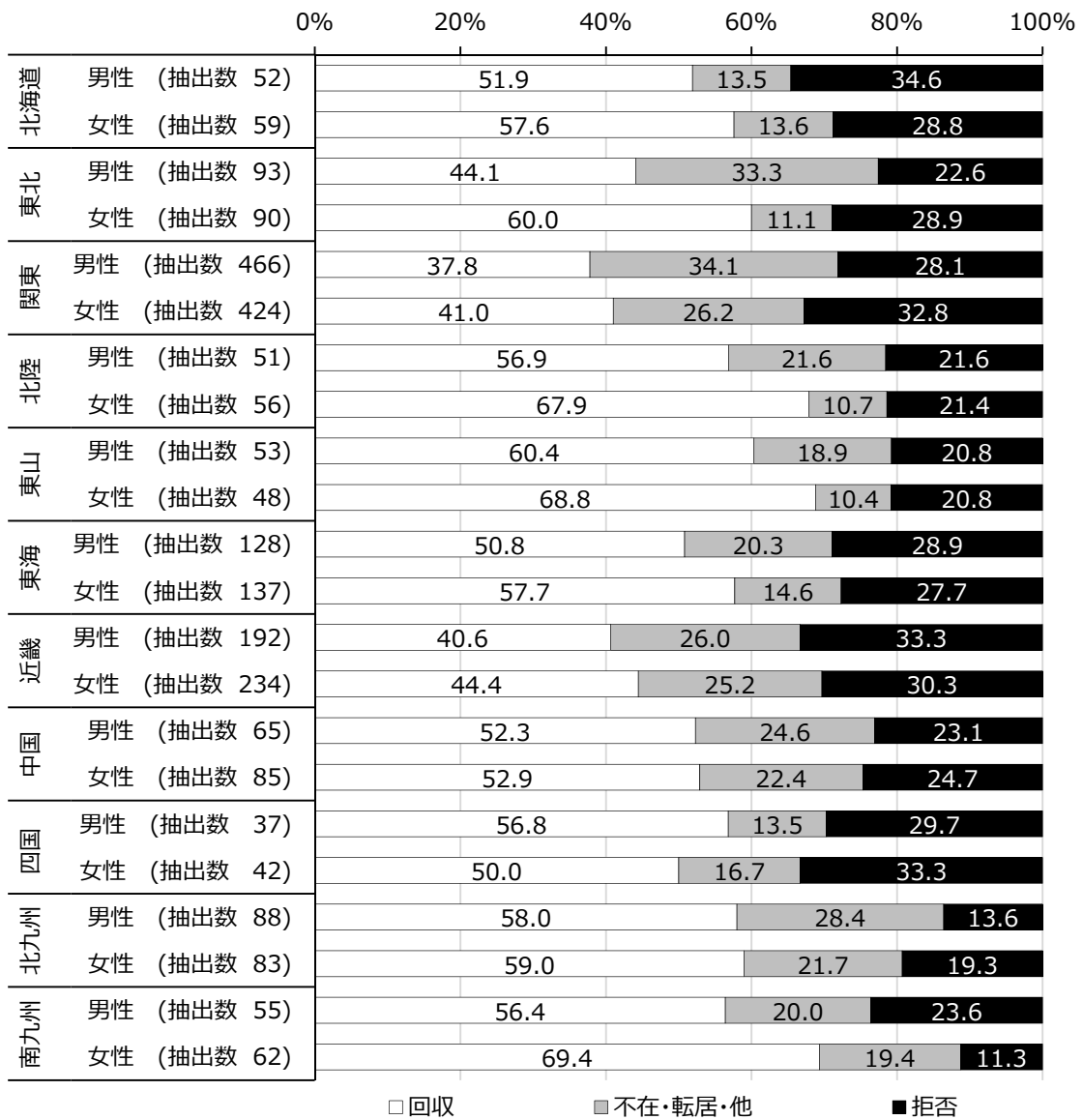
地域別の回収状況をみると、回収率は「北陸」(新潟、富山、石川、福井)、「東山」(山梨、長野、岐阜)、「南九州」(熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)で高く、6割を超えている。北九州(福岡、佐賀、長崎、大分)でも6割に近い58.5%である。回収率がもっとも低いのは関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)で4割未満(39.3%)、次いで近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の42.7%である。他の地域はすべて5割台である。関東では3割が「不在・転居・その他」の理由で調査ができなかった。拒否が3割を超えたのは北海道、関東、近畿、四国(徳島、香川、愛媛、高知)である。(図2-7)

図 2-7 地域別にみた回収状況



次にそれぞれの地域の回収状況を戸籍上の性別に分けてみると、回収率が60%を超えたのは、「東山」の男性と女性、ならびに「東北」（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）「北陸」「南九州」の女性である。回収率の低い方をみると、男女とも5割に満たなかったのは、「関東」と「近畿」、男性のみでは「東北」である。「関東」の男性の回収率は37.8%でもっとも低い。回収率は、「四国」以外の地域で女性のほうが高く、男女差が10ポイント以上と大きいのは、「東北」「北陸」「南九州」である。(図 2-8)

図 2-8 地域別、性別（戸籍上）にみた回収状況



3. 本調査とウェブ調査との違い

近年、性的マイノリティを対象（の一部）にした調査において、ウェブ・ブラウザを回答の手段にもちいる調査がさかんに実施されている。本節では、こうしたウェブ調査と、今回の調査との手法の違いについて説明する。

（1） オープン型／クローズド型ウェブ調査

ウェブ・ブラウザをもちいた調査はひとくりに「ウェブ調査」と呼ばれることが多いが、調査会社の関与や分析の方向性・回答者の特性などを考慮すると、少なくとも「セルフアンケート」と「モニタ調査」とに分けて考えたほうがよいと思われる。本多則恵・本川明（2005：18）の分類をもとに、前者を「オープン型ウェブ調査」後者を「クローズド型ウェブ調査」と言うこともできる。

セルフアンケート、すなわちオープン型ウェブ調査は、調査を企画・実施する側が、みずから行う広報で、協力者を広くつる。この、調査の告知を必ず行うことになる「オープン」型ウェブ調査の場合、調査会社（あるいはウェブサービスの提供会社）の関与は最低限であり、調査画面の構築とデータの格納のみを担当する場合が多い。例として、虹色ダイバーシティの「LGBTに関する職場環境アンケート」や、エイズ対策研究事業の「REACH Online」、NHKの「LGBT当事者アンケート調査」などを挙げることができる。

これに対し、モニタ調査、すなわちクローズド型ウェブ調査は、調査会社が自社に「モニタ」（登録者）として登録をしている者のみを調査の対象とし、モニタのみへメールなどの手段を通じて協力を要請する。したがって調査期間中、実施は公に告知されない（「クローズド」）。例として、電通ダイバーシティ・ラボの「LGBT調査」を挙げることができる。

費用の点から両調査を比べると、モニタ調査のほうがセルフアンケートより割高である。理由は、モニタ調査の場合、モニタの募集と維持、基本情報の定期的な収集と更新、協力者へのポイントの付与といったランニング・コストがかかるためである。それでも質問紙をもちいた従来の調査の十分の一程度の金額で行うことができる。

性的マイノリティ当事者の行動や意識が可視化されにくい状況にある現在、その実態を少額の費用で効果的に浮かび上がらせるためには、セルフアンケートが適している。回答者の完全な自発性にまかされることが多いこの調査では、回答者は調査に肯定的である場合が多く、回答意欲も高い。この調査の方式は、マイノリティのニーズや希少なケースを捉えることができるため、質的な分析の準備のための調査や社会運動のための調査としてよく機能する。ただし、このセルフアンケートという方式は、協力者に対して謝礼品を渡すシステムの構築が難しく、この問題に関心がない同じマイノリティ集団の人びとや、マジョリティ集団との比較を試みようとする場合、そうした無関心層や非当事者の票を集めることが難しい。

これに対しモニタ調査は、謝礼は通常、調査会社からポイントとして付与される仕組みが整っている。このためセルフアンケートより、無関心層や非当事者に訴求しやすい。関心層／無関心層、当事者／非当事者の比較を意図した調査の場合は、モニタ調査のほうが有用なことがある。ただし、モニタ調査において分析に必要な程度の数のマイノリティの回答者を集めるためには、全体として相当の集票が必要である。たとえば、2012年の電通

調査では、電通によって「LGBT」と分類された 490 人とそうでない 300 人とを年代別で比較できるようにするために、3,629 人の「LGBT」とされるモニタの票が集められた。また、その 3,629 人の票を集めるためには、69,789 人のモニタの回答を必要とした。約 7 万人の集票は、モニタ調査の中でもかなり大規模な部類に属する。

このように、セルフアンケートとモニタ調査は、公に告知するか否か、モニタを使うか否か、その調査によって何を詳しくみようとするかといった点において異なるため、さしあたりは分けて考え、目的に応じてよい方式を利用すべきである。

(2) 「ウェブ調査」の共通点：非確率標本

とはいえ、セルフアンケート（オープン型ウェブ調査）とモニタ調査（クローズド型ウェブ調査）には、共通点もある。それは、「回答者集団は社会全体におけるその集団の意見を代表するとは言えない」ということである。その理由は、回答意欲との関係、ウェブ・モニタの特性、確率標本ではないといった少なくとも 3 つの点から説明できる。

セルフアンケートは、謝礼のない場合がほとんどであり、調査テーマに比較的強い関心をもつ回答意欲の高い者が回答をする。このため、たとえばそこで集票された「レズビアン」の回答傾向は、レズビアンという集団全体の回答傾向を表しているとは断定できないところがある。

モニタ調査の場合はポイントが支払われるためその点は若干緩和されるが、それでも、その調査会社のモニタ（あるいは回答者）像が社会の全体像に近似しているとは、一概に言えない。たとえばある同一のテーマの調査を、A 社と B 社のウェブ調査会社のモニタに対し同じ時期に行ったところ、A 社調査の協力者の男性比率は 60.1%だったのに対し、B 社調査のそれは 49.3%であったなど、回答者の男女比に 10%以上の開きがあった（三浦 2015：7）。また、ウェブ・モニタの年代構成は、一般的に 30-45 歳周辺をピークとするベル型のカーブを描き、55 歳以上が極端に少なくなることが多く、日本の人口ピラミッドで 60 代後半と 40 代前半とが 2 つの頂点として表されるような「ひょうたん型」とは大きく異なる。（付言すれば、このようにウェブ調査に回答した人びとの全体像が、社会を構成する全体像と大きく異なる可能性がある以上、ウェブ調査の結果をもとに、たとえば「社会における LGBT 人口が〇%」と言う人口の推計はできないはずである。）

そもそも、セルフアンケートやモニタ調査における対象者集団は、その社会全体における集団の縮図になるような確率論の手続きに基づいて選ばれたものではない。そのような手続きを踏まずに得られた対象者のことを「非確率標本」と言い、手続きを踏んで得られた対象者のことを「確率標本」と言う。

こうした「非確率標本」の集団を、全体社会におけるその集団の構成に近づけるために、工夫をする場合がある。もっとも簡単な一つの方法として、「割り付け法」がある。たとえば、全体社会の年代別人口において 65 歳以上が 25%の比率を占めるとしたら、ウェブ調査の回答者の年代比も 65 歳以上を 25%にする（「割り付ける」）などである。たしかにこうすれば標本を構成する年代比は全体社会の年代比と一致する。しかし割り付けを行った場合、年代以外の属性や回答の分布が全体社会のそれと一致するとは限らず、むしろ属性や回答の分布は大きくゆがむ可能性があることが、理論的・経験的に指摘されている。

こうした複数の理由から、現時点においてはいずれのウェブ調査の方式を取るにせよ、回答者は社会全体でのその集団の意見を代表しているとは必ずしも言えない状況にある。

もっとも、とりわけマイノリティに関して言えば、社会全体におけるその集団の構成が判然としない場合が多いため（「暗数」問題）、そもそもどういった証拠があれば標本と母集団が一致していると言えるのかという論点はつきまとう。また、質問紙調査における近年の顕著な回収率の低下から、今や質問紙調査でも回答意欲の高い者（たとえば時間のある高齢者）のみが残り、そのような回答者の意見は必ずしも社会の世論を反映していないのではないかという疑念もだされている。それは一面では当たっているだろう。だが、だからと言ってウェブ調査の結果が社会全体の世論や人口比を反映しているとは言えないのもまた事実である。

（3） 本調査の特徴：確率標本

これに対し本調査は、都市規模と地域で分けた日本全国の層の実際の人口比率にあわせて、対象者を無作為に選ぶように設計してある（確率標本）。このため、理論的には日本在住者の 20 歳～79 歳の世論を映しだせるようになっている。ただし、実際の回収票については、地域ごとに年代別や性別で確認すると、回収票に「偏り」がみられたことも確かである。この「偏り」については、本章最後でもう一度振り返ることとする。

4. 回答者 1,259 人の基本属性²

ここでは、前述の方法で選ばれた対象者のうち、調査に回答した 1,259 人がどのような特徴があるのかを示す。

（1） 回答者の性別と年齢（戸籍上の性別と性自認による性別）回答者の年齢

① 回答者の性別

戸籍上の性別による回答者の内訳は男性 585 人（46.5%）、女性 674 人（53.5%）である。性自認による回答者の内訳も同じく「男性」585 人、「女性」674 人であるが、戸籍上の男性の 1 人が性自認では「女性」、戸籍上の女性の 1 人が性自認では「男性」と回答したため、この 2 人が入れ替わって、「男性」と「女性」の数が、戸籍上でも性自認でも同じになっている。（なお、性別のたずね方と回答の扱いについては、「コラム」を参照。）本報告書ではとくに断りのない限り、自認する性別による集計を示す。

② 回答者の年齢

回答者の年齢は平均 51.3 歳、中央値は 52.0 歳である。10 歳刻みで見ると、20～29 歳が 141 人、30～39 歳が 194 人、40～49 歳が 237 人、50～59 歳が 219 人、60～69 歳が 274 人、70～79 歳が 194 人である。この報告書では、10 歳刻みの年齢層を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代、20 歳刻みの年齢層を 20-30 代、40-50 代、60-70 代と表記する。（表 2-3）

² この節の集計表については、「第 2 章付表」を参照。

③ 性別（自認）でみた、年齢分布

男性の年齢は平均 52.0 歳（中央値は 53.0 歳）、20 代が 10.3%、30 代が 14.5%、40 代が 17.6%、50 代が 18.8%、60 代が 23.8%、70 代が 15.0%である。女性の年齢は平均 50.7 歳（中央値は 50.5 歳）、20 代が 12.0%、30 代が 16.2%、40 代が 19.9%、50 代が 16.2%、60 代が 20.0%、70 代が 15.7%である。（表 2-3）

表 2-3 回答者の性別（性自認による）でみた年齢の分布

年齢層	年代	男性		女性		合計	
		%	人数	%	人数	%	人数
20～29 歳	20 代	10.3	60	12.0	81	11.2	141
30～39 歳	30 代	14.5	85	16.2	109	15.4	194
40～49 歳	40 代	17.6	103	19.9	134	18.8	237
50～59 歳	50 代	18.8	110	16.2	109	17.4	219
60～69 歳	60 代	23.8	139	20.0	135	21.8	274
70～79 歳	70 代	15.0	88	15.7	106	15.4	194
	計	100.0	585	100.0	674	100.0	1,259

（2）居住地と都市規模

居住地域を抽出時にもちいた地域区分別にみると、回答者の 27.3%が関東、近畿が 14.5%、東海が 11.4%である。（図 2-9）

都市規模別では回答者のおよそ 4 分の 1(24.6%)が大都市（東京 23 区と政令指定都市）、43.1%が人口 10 万人以上の市、3 分の 1（32.3%）が人口 10 万人未満の市あるいは郡部に居住している。図では参考までに、性別と年代別による割合も示している。（図 2-10）

図 2-9 回答者の居住地域（全体、性別、年代別）

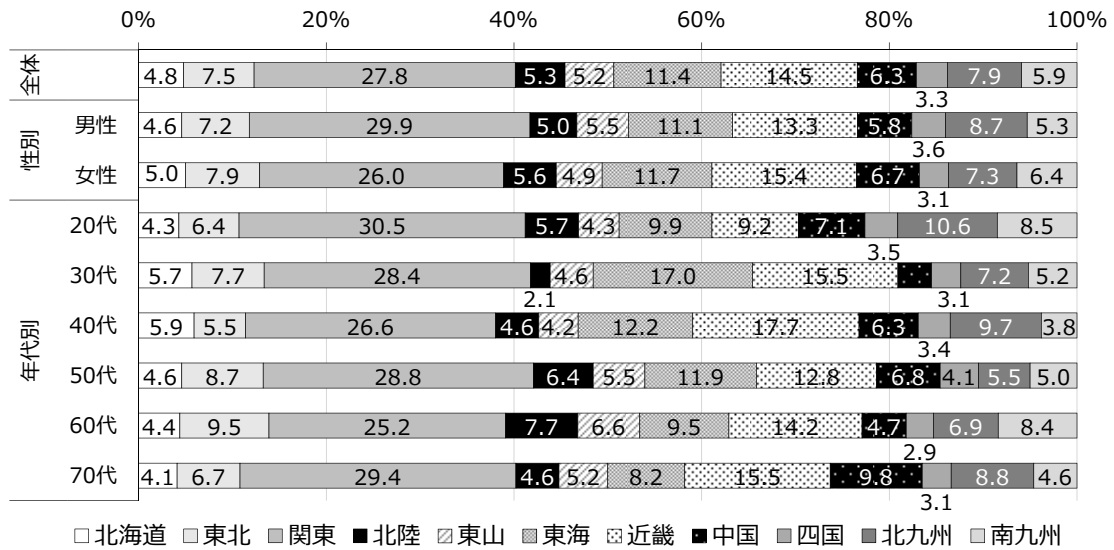
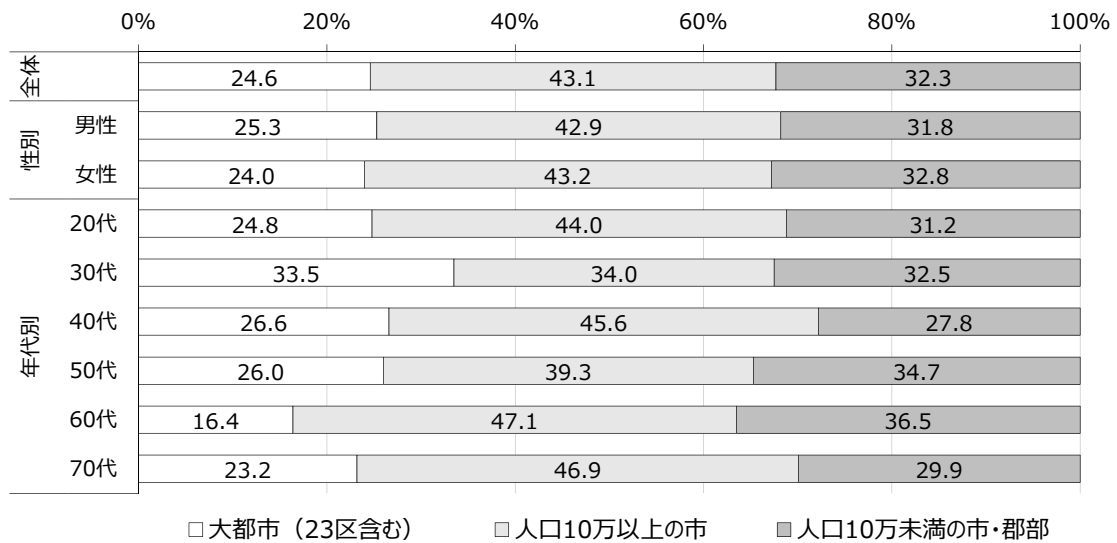


図 2-10 回答者の居住地の都市規模（全体、性別、年代別）



(3) 結婚状況・経験と子の有無

全体では7割近く（68.2%）が調査時点で結婚しており、結婚したことのない人は2割未満である。離別は6%、死別は4%である。男女別では男性のほうが結婚したことのない割合が高く、離別も死別も女性のほうが多い。年代別では、20代の2割、30代では3分の2（64.4%）、40代以降では4人中3人が結婚している。離別は40代と50代では8%前後である。（図 2-11）

子の有無をみると、子をもっている人が全体の7割を占め、男性（68.0%）よりも女性（73.3%）のほうがその割合が高い。年代別でみると、子のいる割合は、20代では15.6%、30代では約6割、50代では約8割、60代では85%、70代では9割である。（図2-12）

図 2-11 回答者の結婚状況・経験（全体、性別、年代別）

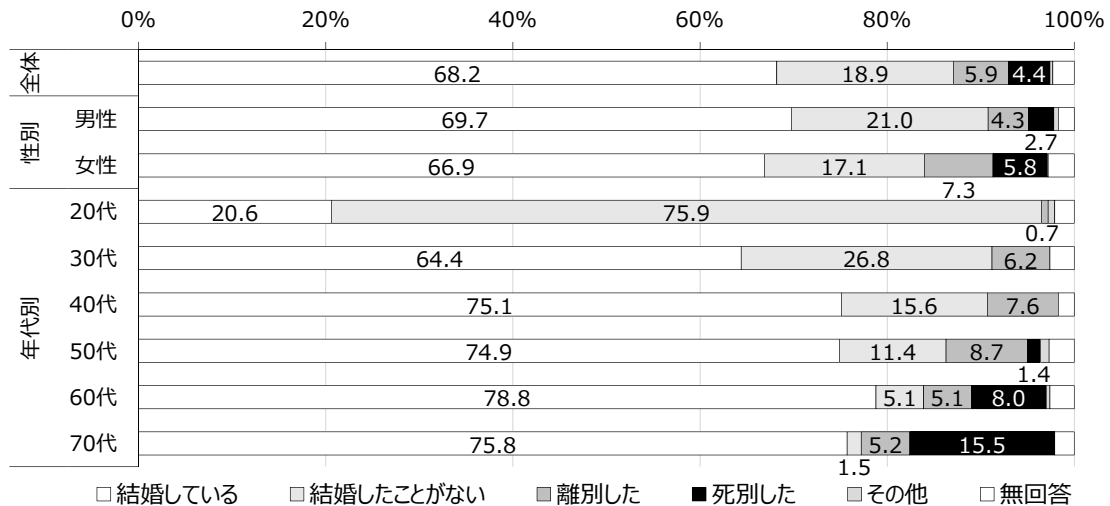
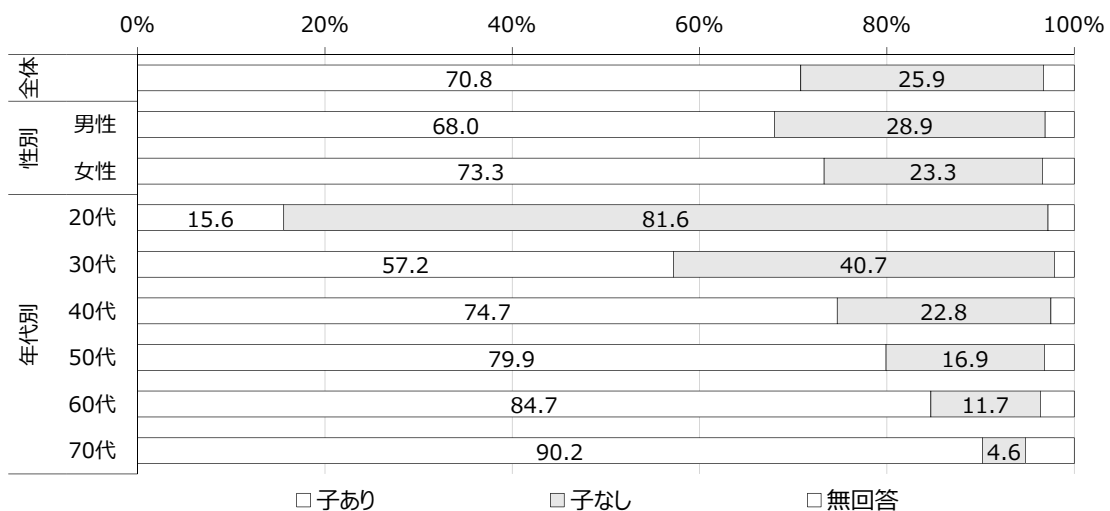


図 2-12 回答者の子の有無（全体、性別、年代別）



（4）最後に卒業した学校（学歴）

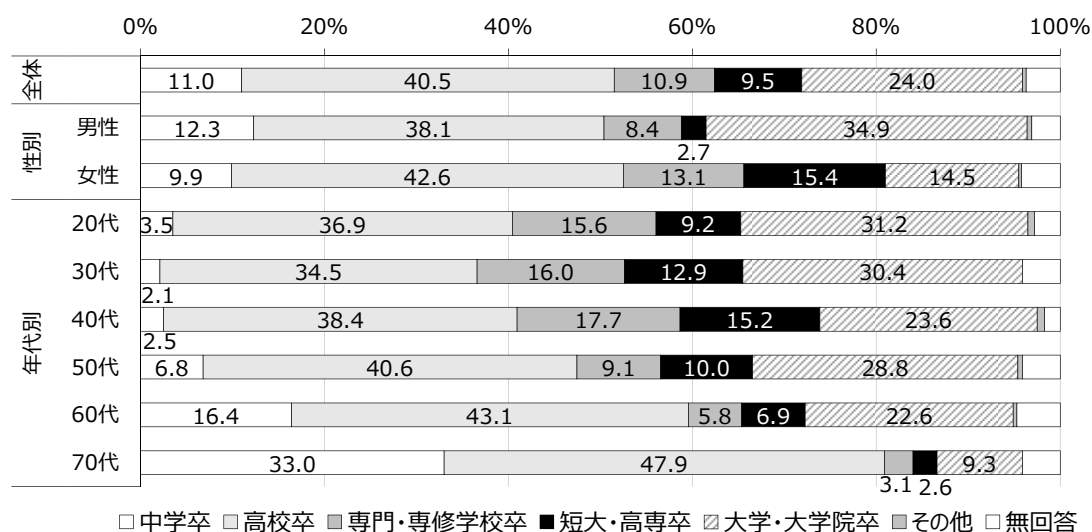
調査では「最後に在籍したあるいは在籍中の学校」（選択肢は小学校、中学校、高等学校・旧制中学校、専修・専門学校（高卒後）、短大・高専、大学、大学院、その他）と、「卒業・中退・在籍中」の別をたずねている。ここでは卒業した学校による回答者の内訳を示す。以下では、高等学校・旧制中学校卒を「高校卒」と表記する。また、「大学院卒」の数は少ないため、「大学卒」とあわせて集計する。小学校卒と答えた回答者はいなかった。

全体では、「中学校卒」が1割、「高校卒」が4割、「専門・専修学校卒」、「短大・高専卒」

が1割前後、「大学・大学院卒」が4人に1人である。男性では「高校卒」がもっとも多く38.1%、次いで「大学・大学院卒」の34.9%、女性でも「高校卒」がもっとも多く42.6%、「専門・専修学校卒」、「短大・高専卒」、「大学・大学院卒」がそれぞれ13~16%程度である。年代別では、70代以上では3人に1人が「中学校卒」、20代と30代では3割が「大学・大学院卒」である。どの年代でも「高校卒」がもっとも多い。(図2-13)

なお、参考までに「在籍中」の回答者は27人で、「専修・専門学校」に在籍中の回答者は1人(「高校卒」として集計)、「大学」在籍中は20人(「高校卒」として集計)、「大学院」が5人(「大学・大学院卒」として集計)、その他が1人(「その他」として集計)である。

図 2-13 回答者の最後に卒業した学校 (全体、性別、年代別)



(5) 仕事の状況

この調査ではまず、現在収入のともなう仕事についているかをたずね、ついている人(休職中も含む)には現在の仕事について、過去についていた人には、これまでについた主な仕事での就業形態と仕事の種類を質問した。調査時点で仕事についている人の割合は6割台(62.6%)、性別でみると、男性が7割(72.1%)、女性が54.3%である。年代別でみると、仕事についている割合は40代でもっとも高く84.8%、20代、30代、50代では7割台、60代では約半数、70代では1割台である。(図2-14)

就業形態をみると、全体では「常時雇用されている従業者」(以下、常勤)が半数近く(48.0%)、「臨時雇い・パート・アルバイト」(以下、パート)の人が23.3%である。性別では男性の6割が「常勤」、女性では「パート」が4割近く(38.9%)、「常勤」は3人に1人(34.5%)である。年代別では20代と30代で「常勤」が60%前後、40代では4割台、50代では約半数(51.8%)、60代では3割(31.7%)、70代では15.6%である。「自営業主・自由業者」は高齢者に多く、60代では約2割(19.0%)、70代では3割近く(28.1%)にのぼる。(図2-15)

次に、仕事の種類をみると、「販売・サービス系」が4分の1、「専門・技術系」と「技能・労務・作業系」の仕事についている人が2割、「事務・営業系」も約2割（18.6%）である。男性では「技能・労務・作業系」がもっとも多く約3割（29.7%）、女性に多いのは「販売・サービス系」で36.6%である。年代によってみると、「専門・技術系」は20代と30代、「事務・営業系」は30代と40代、「販売・サービス系」は20代、「技能・労務・作業系」は70代で割合が高い。また「管理的職業」の割合がもっとも高いのは50代で1割超（14.3%）である。「農林漁業」は60代と70代でもっとも多くみられ、6~7%である。（図2-16）

図 2-14 回答者の現在の仕事の有無（全体、性別、年代別）

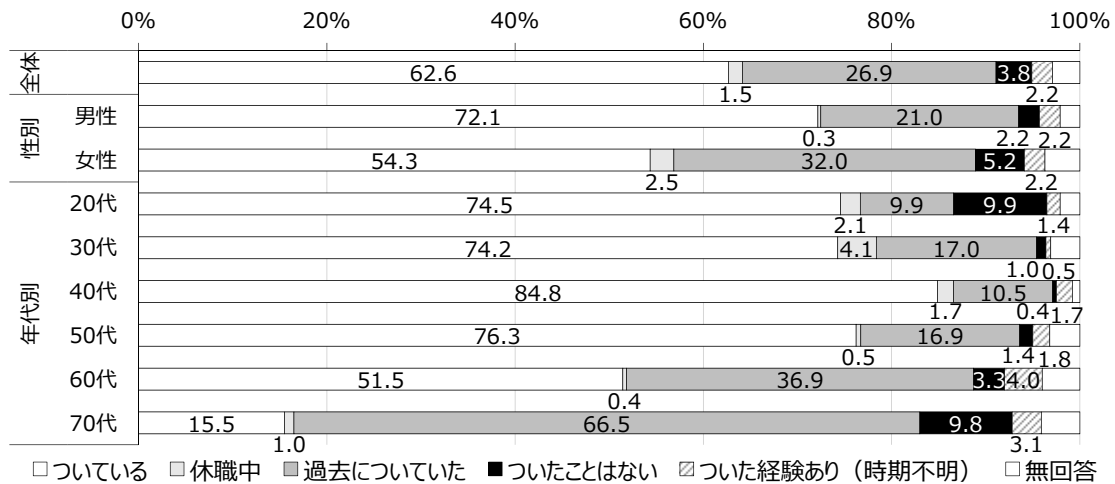


図 2-15 現在仕事についている回答者の就業形態（全体、性別、年代別）

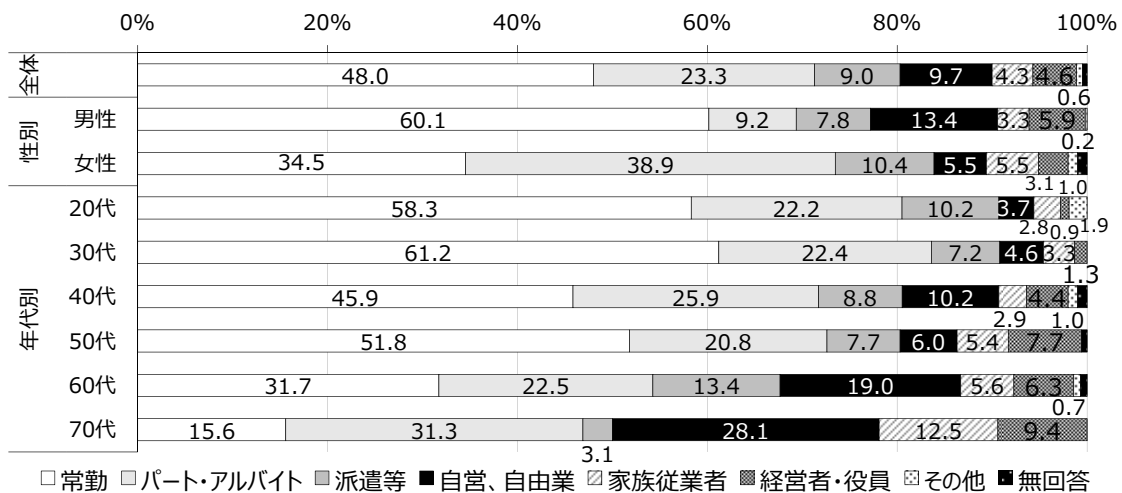
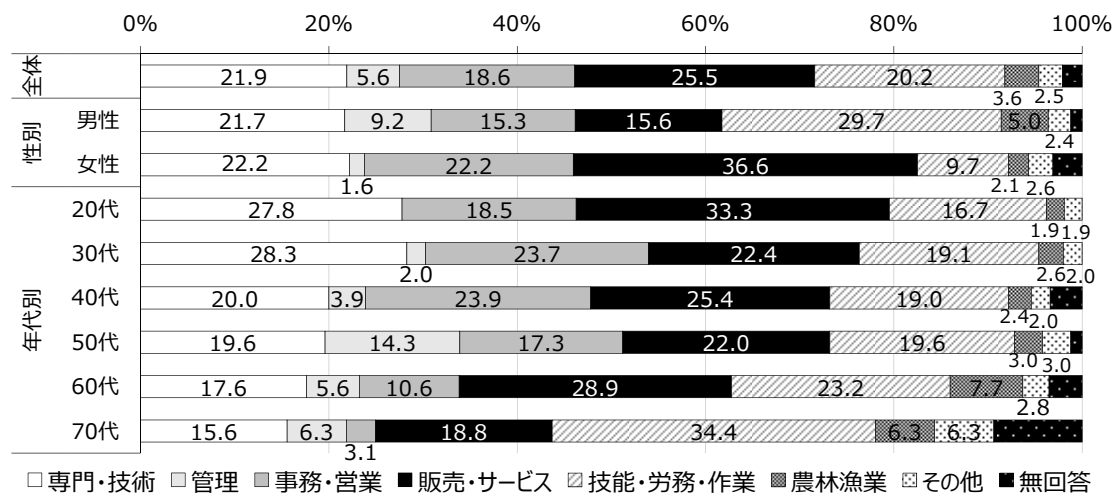


図 2-16 現在仕事についている回答者の仕事の種類（全体、性別、年代別）



(6) 回答者の「偏り」

本調査の回答者の年齢の偏り、すなわち全国の20～79歳の人口全体と比べると、若い年代が少なく、上の年代が多くなっている傾向は、日本版総合的社会調査(JGSS)など、本調査と同様に無作為抽出で対象者を選んだ学術的調査においてもみられるものである(吉仲他 2015)。したがって、本調査の扱う内容によって生じたものとは言い難い。しかしながら、本調査の回答者の年代、性別、地域の内訳を2010年の国勢調査のデータと照らしあわせてみると、いくつかの地域・年代・性別による層では、違いがみられた(吉仲他 2015)。そのため、この調査の結果を日本全国の20歳以上79歳以下の人を代表するものとして報告するさいは、慎重になる必要がある。なお、本調査の回答者の結婚状況、学歴、就業状況などの内訳を、無作為抽出による他の調査や、調査時期に近い2015年国勢調査の結果と比較して評価する試みは、今後の課題としたい。

文献

石丸径一郎, 2008, 『同性愛者における他者からの拒絶と受容——ダイアリー法と質問紙によるマルチメソッド・アプローチ』ミネルヴァ書房。

本多則恵・本川明, 2005, 「インターネット調査は社会調査に利用できるか——実験調査による検証結果」労働政策研究報告書第17号, 労働政策研究・研修機構。
<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2005/documents/017.pdf>

三浦麻子・小林哲, 2015, 「オンライン調査モニタの satisfice はいかに実証的知見を毀損するか」『社会心理学研究』32(1): 1-12.

吉仲崇・風間孝・石田仁・河口和也・釜野さおり, 2015, 「セクシュアル・マイノリティに対する意識の属性による比較——全国調査と大学生調査の先行研究を中心に」『新情報』103: 20-32。
http://www.sjc.or.jp/kikanshi/vol103_3.pdf

第3章 知識と認識¹

河口 和也

一般的に、性的マイノリティをめぐる知識はこれまでさまざまな領域で生み出され、普及されてきたと考えられる。学問研究の広がりやアクティビズムにおける啓発活動、さらにメディアをとおしての言及や露出などによっても、人びとが性的マイノリティに対して有する知識や認識は変化するものと考えられる。そこで、性的マイノリティをめぐる、「知識」と「認識」のあり方について現時点で把握するために、調査票のなかに、いくつかの質問を含めることにした。

知識に関しては、「日本では、同性愛は精神病とされている」という項目を含めたが、これに関連する社会的な事実として、日本精神神経学会が、1995年にICD-10（国際疾病分類第10版）という基準に照らし、「同性愛（同性に対する性的指向）」を「精神異常」とみなさないという判断をしたことが挙げられる。

他方、性同一性障害に関する知識として、「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」という項目を含めた。これについては、2003年に成立し2004年から施行されている「性同一性障害特例法」における事実を依拠した。

性的マイノリティに関する「認識」についても、さまざまな項目が考えられる。同性愛に関する「認識」については、とくに同性愛をどのようにみているかという観点から、「同性愛は思春期の一時的なものである」「同性愛は、生まれつきのものである」「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という3つの質問項目を設定した。これらの項目は、「同性愛原因論」に近いものであり、社会認識として、どのように捉えられているかについて、把握することを目的としている。

性同一性障害に関する「認識」については、セクシュアリティの啓発教育などで、「同性愛」と「性同一性障害」の違いについて強調されることがあるが、調査では、そのような違いについて、人びとはどの程度認識しているかを把握しようとした。

1. 性的マイノリティに関する知識

本調査では、性的マイノリティに関する知識が、一般にどのように、またどれほど普及しているかについて、下記の2問をたずねている。問20の設問（ア）は同性愛に関する知識、設問（イ）は性同一性障害に関する知識である。

問20 次のアとイについて述べられていることは正しいと思いますか、正しくないと思いますか。それぞれについて1、2、3から1つ選んで○をつけてください。

¹ この章の集計表については、「第3章付表」を参照。

(ア)「日本では、同性愛は精神病とされている」(○は1つ)

1. 正しい	2. 正しくない	3. わからない
--------	----------	----------

(イ)「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」(○は1つ)

1. 正しい	2. 正しくない	3. わからない
--------	----------	----------

(1) 全体の回答傾向：同性愛についての正答率は半数以上、性同一性障害については3割

「日本では同性愛は精神病とされている」という質問に対する正解は「正しくない」という回答であるが、全体では55%、すなわち半数以上の人々が「正しくない」を選択している。したがって半数以上の人々が正しい知識を有していると言える。また、「正しい」という間違った回答を選択した人は3%で、かなり少ない。(図3-1)

「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」という質問項目については、正解は「正しい」という選択となるが、全体の30%が正しい知識を有していると言える。「正しくない」を選択した人は、誤答であり間違った知識を有している人となるが、その割合は21%となっている。(図3-2)

同性愛と性同一性障害の知識に関する正答率を比較してみると、同性愛に関する知識の正答率のほうが25ポイント高くなっていることがわかる。また、誤答率については、性同一性障害に関する知識のほうが、18ポイント高くなっている。「わからない」と回答した人の割合を同性愛と性同一性障害で比較してみると、性同一性障害に関する知識のほうが9ポイント高くなっている。

図3-1 同性愛に関する知識：
「日本では同性愛は精神病とされている」

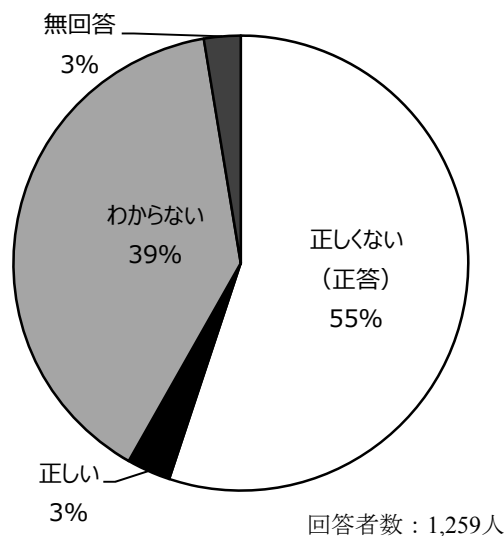
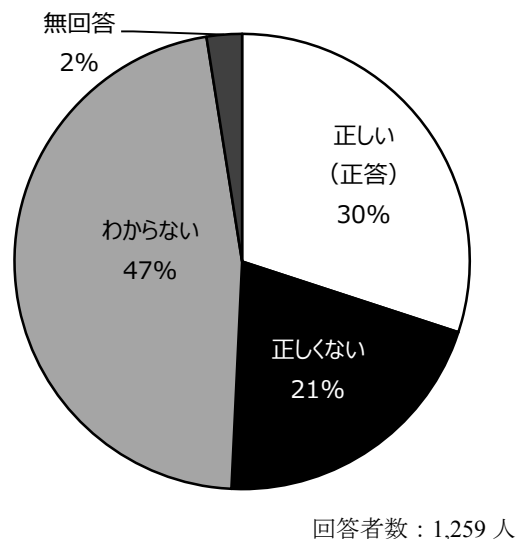


図3-2 性同一性障害に関する知識：
「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」

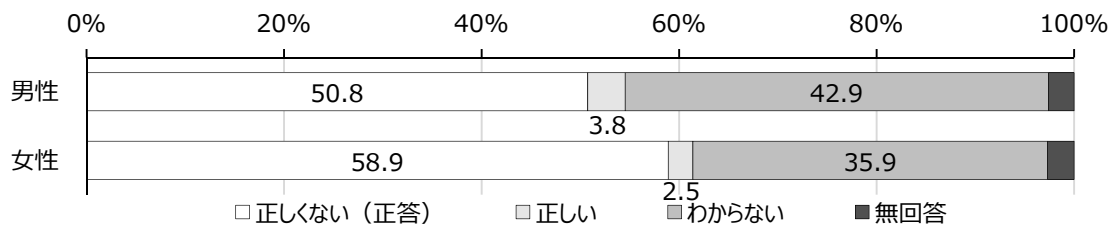


(2) (自認する) 性別による回答傾向：正答率は女性のほうが男性よりも高い

同性愛に関する知識を性別で見ると、男性では 50.8%、女性では 58.9%と、いずれにおいても半数以上の人々が正答を選んだ。ただし、男性より女性のほうが、10 ポイント近く正答率が高い。また、「同性愛が精神病である」と誤答を選んでいる人は、男性で 3.8%、女性で 2.5%となっており、間違った知識をもっている人はいずれの性別でも比較的少ない。(図 3-3)

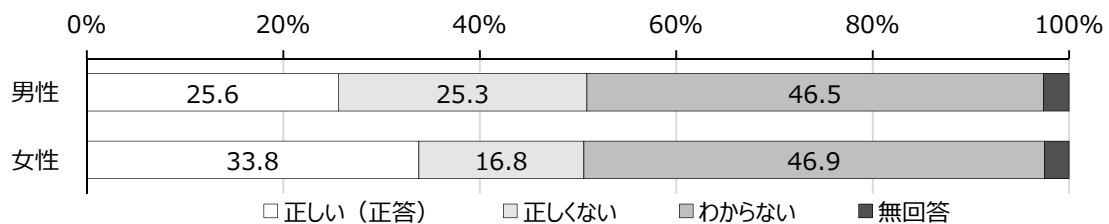
性同一性障害に関する知識を性別で見ると、正答を答えたのは、男性では 25.6%、女性では 33.8%と、正答者割合は 2 割から 3 割程度で推移している。正答した割合を比較してみると、男性に比べ女性のほうが 10 ポイント近く高くなっている。誤答を回答した人の割合は、男性で 25.3%、女性で 16.8%であるが、誤答割合は男性のほうが 10 ポイント近く高くなっている。また、「わからない」と回答した人の割合は男性で 46.5%、女性で 46.9%となっており、男女ともに拮抗している。性同一性障害に関する知識について、不明(「わからない」を選択)と誤答を合計すると男性で約 7 割、女性で 6 割強の人が正しい知識を有していないことになり、このことは注目に値する。(図 3-4)

図 3-3 性別でみた、同性愛に関する知識：「日本では同性愛は精神病とされている」



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

図 3-4 性別でみた、性同一性障害に関する知識：「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

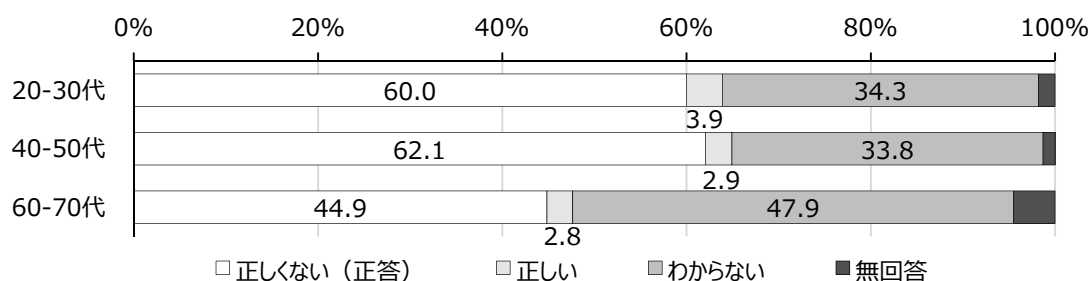
(3) 年代による回答傾向：同性愛に関しては 60 代以上で正答率が低く、性同一性障害に関しては年代が上がるほど正答割合が低くなる

同性愛に関する知識を年代別にみても、正答を回答した人は、20-30 代で 60.0%、40-50 代で 62.1%、60-70 代で 44.9%である。誤答については、それぞれの年代で、3.9%、2.9%、2.8%でいずれの年代においても比較的低いと言える。また、60-70 代の高齢者層で

は、「わからない」と回答した人の割合が5割近くにのぼり、他の年代に比較して高くなっている。(図3-5)

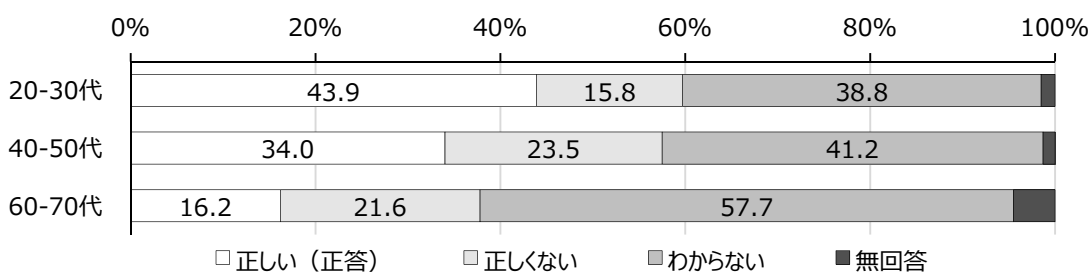
性同一性障害に関する知識を年代別にみると、正答を回答した人は、20-30代で43.9%、40-50代で34.0%、60-70代で16.2%となり、年齢層が上がるにしたがって正答者の割合は低くなっていることがわかる。誤答を回答した人は、若い層から順に、15.8%、23.5%、21.6%となっており、年齢層では若い層の誤答割合は低いものの、年代が上がるにつれて誤答割合が高くなっているわけではない。「わからない」と回答した人の割合は、若い層から順に、38.8%、41.2%、57.7%となっており、「わからない」人の割合は、どの年代においても約4割以上であるものの、とくに60-70代の高齢者層では高く、6割近くにのぼっている。(図3-6)

図3-5 年代別にみた、同性愛に関する知識：「日本では同性愛は精神病とされている」



回答者数：20-30代335人、40-50代456人、60-70代468人

図3-6 年代別にみた、性同一性障害に関する知識：「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」



回答者数：20-30代335人、40-50代456人、60-70代468人

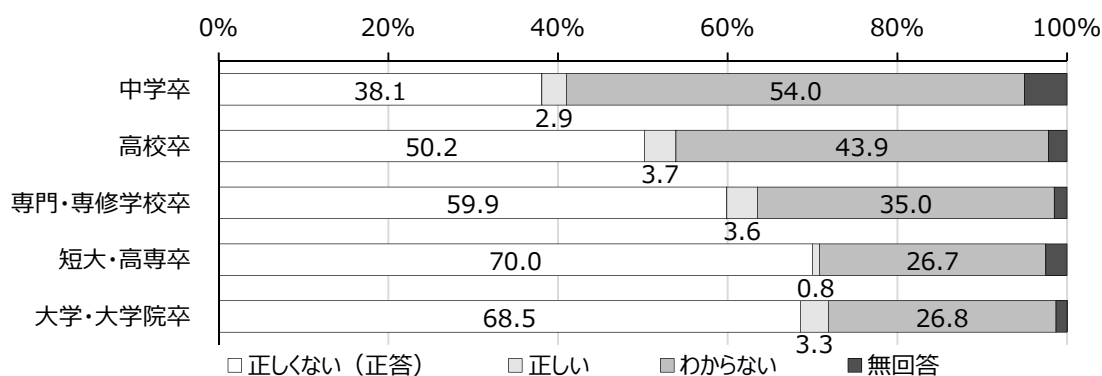
(4) 学歴（最後に卒業した学校）による回答傾向：正答率は、おおむね教育歴が長いほうが高い

同性愛に関する知識と学歴との間のある関係性をみる。学歴については、大学院卒の人数が少ないために、大学卒とあわせて集計をした。同性愛に関する知識の問いで正答を選んだ人の割合は「中学校卒」では38.1%、「高校卒」では50.2%、「専門・専修学校卒」では59.9%、「短大・高専卒」では70.0%、「大学・大学院卒」では68.5%となっており、教育歴が長くなればなるほど正答率が高くなるとおおむね言えるが、「短大・高専卒」と「大学・大学院卒」では、正答率が若干逆転している。(図3-7)

性同一性障害に関する知識について学歴別で正答割合をみると、「中学校卒」では12.2%、「高校卒」では26.9%、「専門・専修学校卒」では39.4%、「短大・高専卒」では38.3%、「大卒・大学院卒」では38.1%となっており、「中学校卒」から「高校卒」を経て「専門・専修学校卒」までは徐々に増えている。「専修・専門学校卒」「短大・高専卒」「大学・大学院卒」の3つの間では正答率が4割近くでほぼ拮抗しているが、厳密には「専修・専門学校卒」がもっとも高い。(図3-8)

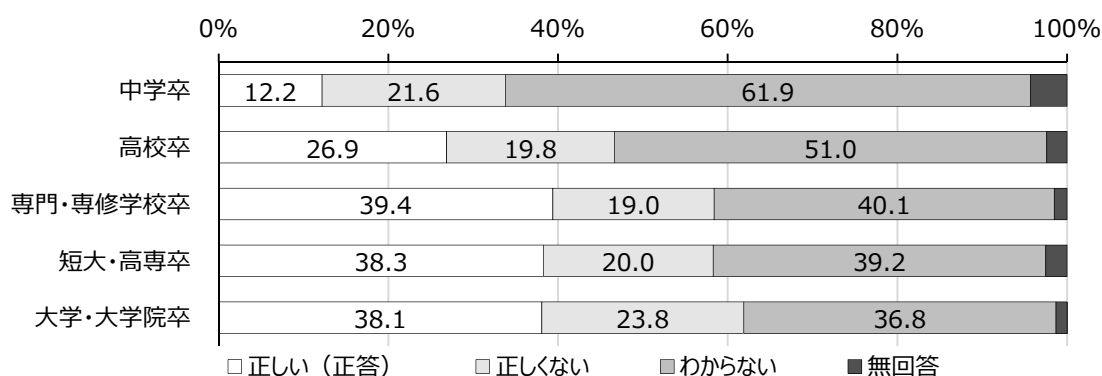
ここでみられた、学歴の高いほうが正しい知識をもっているという傾向は、「中学校卒」が高年齢層に集中しているため、「学歴」という要素のみに関連しているわけではなく、「年齢」という要素も入り込んでいる可能性があることに注意することが必要である。同様に、「短大・高専卒」で正答率が高い傾向も、「短大・高専卒」の8割以上が女性であるため、「女性」のほうが、正答率が高い

図 3-7 学歴別にみた、同性愛に関する知識：
「日本では同性愛は精神病とされている」



回答者数：中学校卒 139 人、高校卒 510 人、専門・専修学校卒 137 人、短大・高専卒 120 人、大学・大学院卒 302 人

図 3-8 学歴別にみた、性同一性障害に関する知識：
「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」



回答者数：中学校卒 139 人、高校卒 510 人、専門・専修学校卒 137 人、短大・高専卒 120 人、大学・大学院卒 302 人

(5) 年代別にみた、学歴（最後に卒業した学校）による回答傾向：いずれの年代においても高学歴のほうが同性愛に関して正しい知識をもつ傾向、性同一性障害の知識については、傾向は明確でない

図 3-9 および図 3-10 は、同性愛と性同一性障害に関する知識について、それぞれの年代別データごとで最終学歴別に見たものである。

同性愛に関する知識については、20-30 代のデータでは、「中学校卒」「高校卒」「専門・専修学校卒」「短大・高専卒」「大学・大学院卒」の順でみると、それぞれ 33.3%、52.1%、58.5%、71.1%、71.8%となっている。同じように、40-50 代では、それぞれ 42.9%、57.2%、62.9%、74.1%、71.4%となっている。60-70 代では、それぞれ 37.6%、43.1%、54.5%、58.3%、60.0%となっている。40-50 代では、「短大・高専卒」が「大学・大学院卒」よりも高い正答割合を示してはいるものの、傾向としては、いずれの年代においても、最終学歴が高くなるにしたがって、正答率が上昇していることがわかる。また、60-70 代の高学歴層、たとえば「短大・高専卒」および「大学・大学院卒」においては、他の年代と比較すると正答率が 10 ポイント程度低くなっている。(図 3-9)

性同一性障害に関する知識については、20-30 代のデータでは、「中学校卒」「高校卒」「専門・専修学校卒」「短大・高専卒」「大学・大学院卒」の順でみると、それぞれ 22.2%、42.0%、41.5%、47.4%、49.5%となっている。同じように、40-50 代では、それぞれ 23.8%、30.6%、41.9%、41.4%、35.3%となっている。60-70 代では、それぞれ 9.2%、15.2%、27.3%、16.7%、27.5%となっている。性同一性障害に関する知識について年代別の傾向をみてみると、20-30 代では学歴が高くなると正答率が高くなっていると言える。他方、40-50 代では、「専門・専修学校卒」がもっとも高い正答割合を示しているが、それ以後学歴が高くなると正答割合が順次下がっている。60-70 代では、「大学・大学院卒」がもっとも高い正答割合を示してはいるが、「短大・高専卒」は「専門・専修学校卒」に比べると正答割合は低くなっている。したがって、性同一性障害に関する知識については、高い年代においては、学歴が高くなればなるほど正しい知識を有しているとい概に言うことは難しい。(図 3-10)

図 3-9 年代・学歴別にみた、同性愛に関する知識：「日本では同性愛は精神病とされている」

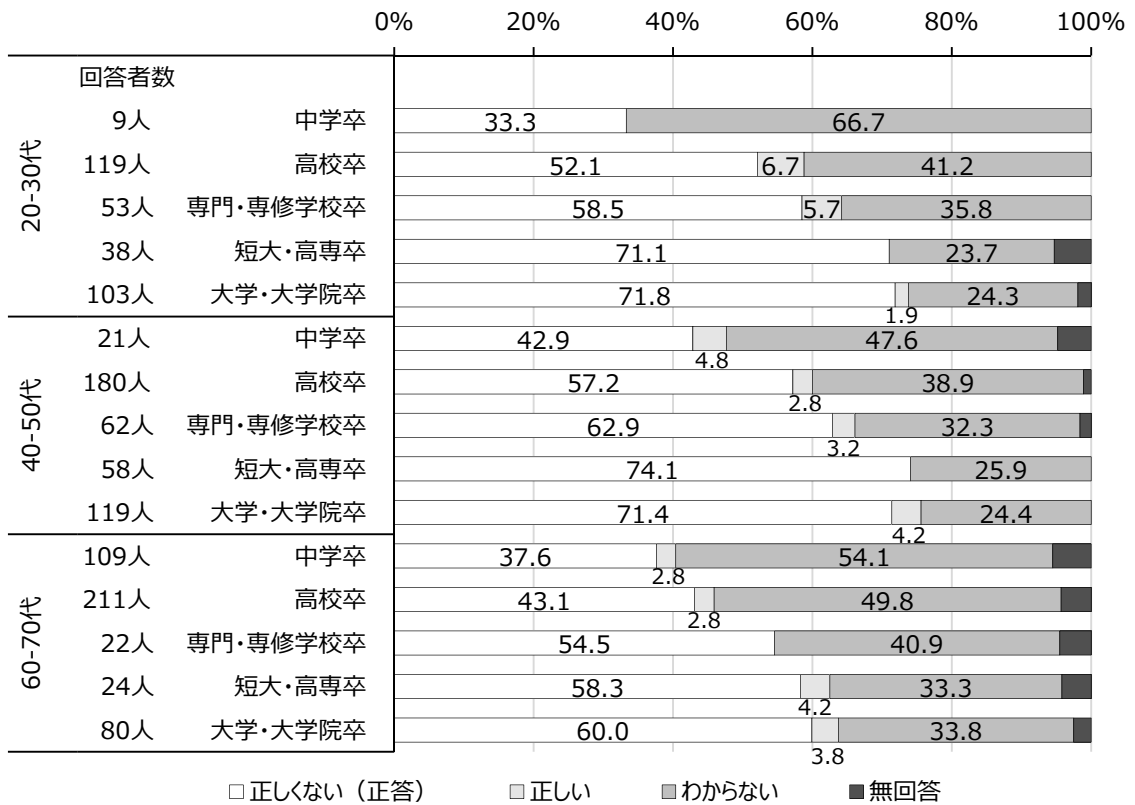
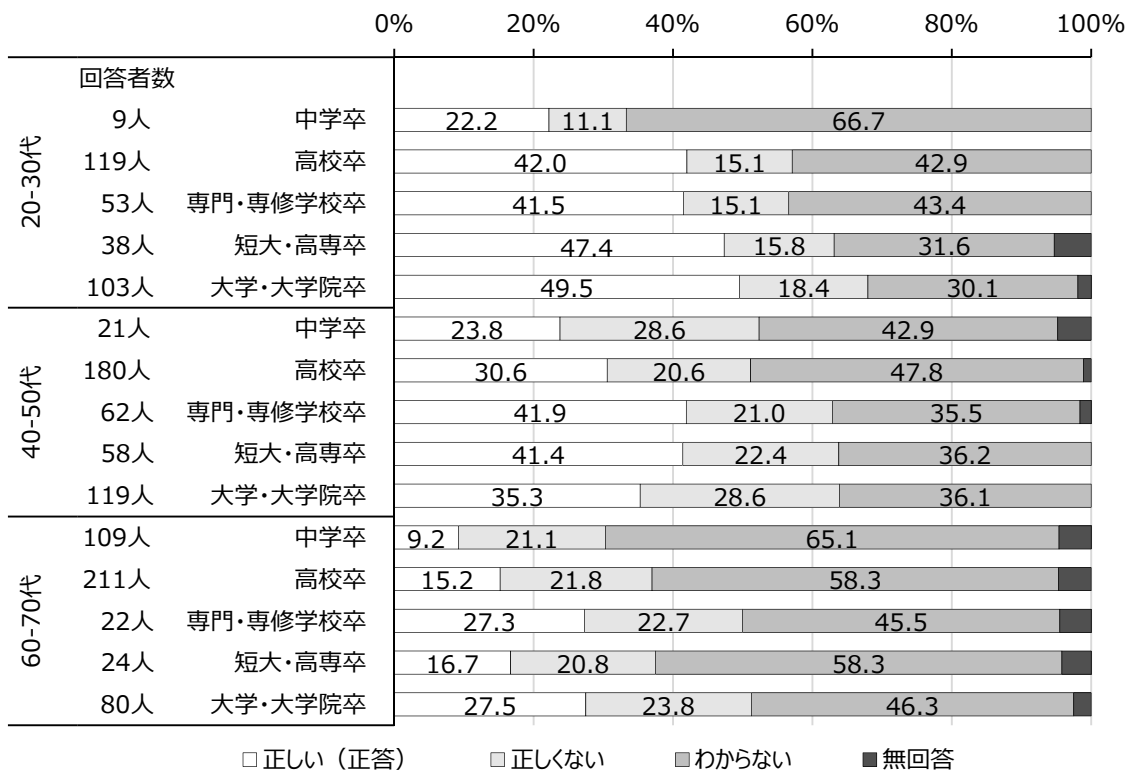


図 3-10 年代・学歴別にみた、性同一性障害に関する知識：「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」



(6) まとめ

同性愛の知識については、おおむね正答率が高いが、年代別では、60代以上で正答率が低くなっている。また、性同一性障害の知識については、性別では女性のほうが、顕著に正答率が高い。年代別では、年齢が高くなるにしたがって、正答率は低くなる。最終学歴でみると、おおむね教育歴が長くなると正答率は高くなるものの、同性愛の知識については、「短大・高専卒」で、また性同一性障害の知識については、「専門・専修学校卒」でもっとも正答率が高くなる。年代別の学歴でそれぞれの知識の正答率についてみると、同性愛の知識に関しては、いずれの年代においても学歴が高くなるにつれて知識を有する傾向にあったが、性同一性障害の知識については、高年齢層では、最終学歴が高いからといって知識を有しているとは必ずしも言えないということがわかった。

2. 性的マイノリティに関する認識

本調査では、性的マイノリティに関する認識が、一般にどのように、またどれほど普及しているかについて、下記の4問をたずねている。問22の(ア)(イ)(ウ)は同性愛に関する認識、問22の(カ)は性同一性障害に関する認識である。

問22 次のア～クについてのあなたのお考えをおたずねします。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 そう 思う	2 ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	3 ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い
(ア) 同性愛は思春期の一時的なものである	1	2	3	4
(イ) 同性愛は、生まれつきのものである	1	2	3	4
(ウ) 同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある	1	2	3	4
.....				
(カ) 性同一性障害と同性愛は同じである	1	2	3	4

(1) 全体の回答傾向：同性愛について、「生まれつき」と考えるのは半数、「育てられ方の影響」というのは4人に1人、「一時的なもの」とみなすのは1割未満

「同性愛は思春期の一時的なものである」という質問については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせて賛同意見、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせて反対意見とすると、同性愛を「思春期の一時的なものである」と思うかという質問については、賛同意見が9.3%、反対意見が83.8%となり、そう思っていない、すなわちそうした認識については反対意見が支配的であることがわかる。

「同性愛は、生まれつきのものである」という質問については、先の質問と同様に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせて賛同意見、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせて賛同意見とすると、賛同意見が46.8%、反対意見が46.2%であり、ほぼ同じ割合で拮抗していると言える。

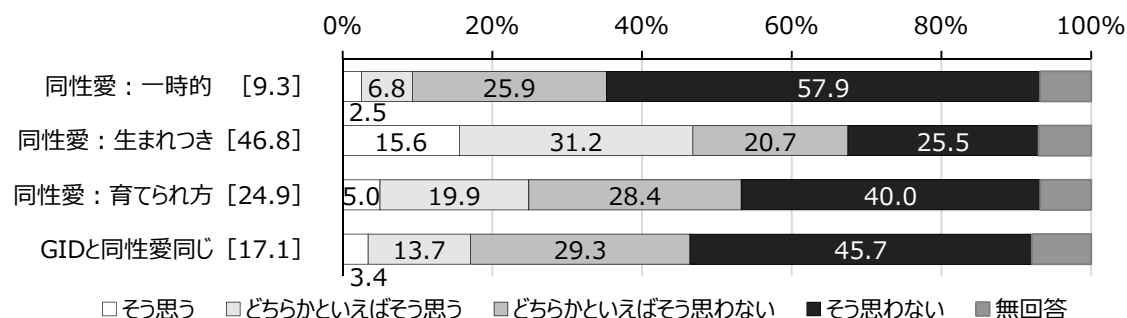
「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という質問については、同様に賛同意見が24.9%、反対意見が68.4%となり、「育てられ方の影響ではない」と考える人の割合のほうが約40%多い。

「性同一性障害と同性愛は同じである」と考えるかどうかの質問については、賛同意見、すなわち「同じである」と考える人の割合は17.1%であり、反対意見、すなわち「同じで

はない」と回答した人の割合は75%となった。

全体的には、ここでの4つの認識について比較をしてみると、「同性愛者は生まれつきのものである」と認識される傾向がもっとも高く、「同性愛は思春期の一時的なものである」と認識される傾向がもっとも低いということがわかった。(図3-11)

図3-11 同性愛と性同一性障害に関する認識



回答者数：1,259人。図では性同一性障害を「GID」と表記している。

[]内は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

(2) 性別による回答傾向：同性愛は「生まれつき」、「育てられ方の影響による」への賛同意見は、男性のほうが多い

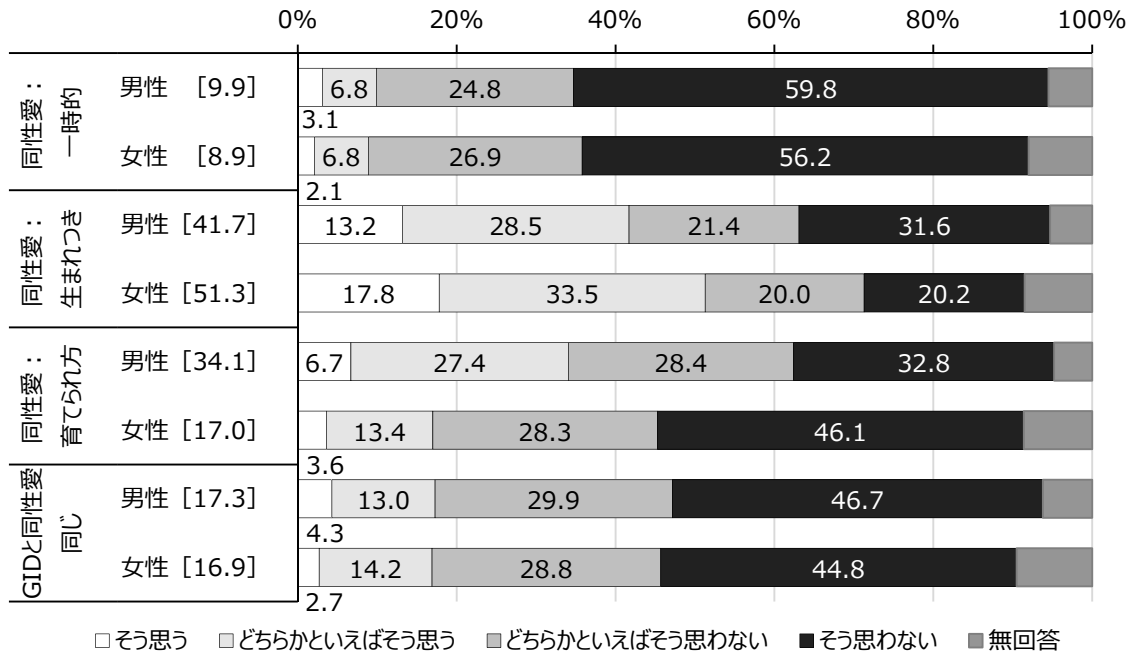
「同性愛は思春期の一時的なものである」という質問に対する回答を性別で見ると、反対意見を示す割合は男性では84.6%、女性で83.1%となり、およそ8割の人が「思春期の一時的なものである」とは思っていない。

「同性愛は、生まれつきのものである」という質問に対する回答を性別で見ると、男性で賛同意見は41.7%、反対意見が53.0%となり、女性では賛同意見は51.3%、反対意見は40.2%である。男性に比べると女性のほうが生まれつきだと考える割合が10ポイント以上高くなっている。

「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という質問の回答を性別で見ると、男性では賛同意見は34.1%、反対意見は61.2%となっている。女性では、賛同意見は17%、反対意見は74.4%である。この回答をみると、概して反対意見が大きな割合を占めているが、男女別にみても、同性愛者は生育環境の影響を多く受けると考える傾向は女性より男性のほうが高いことがわかる。

「性同一性障害と同性愛は同じである」という質問に対する回答をみると、男性では賛同意見は17.3%、反対意見が76.6%となっている。女性では賛同意見が16.9%、反対意見が73.6%となっている。この質問に対する回答割合では、性別による差はほぼないといえ、いずれの性別においても、7割以上の人が「同性愛と性同一性障害は同じ」ではないと考えている。(図3-12)

図 3-12 性別でみた、同性愛と性同一性障害に関する認識



回答者数：男性 585 人、女性 674 人。図では性同一性障害を「GID」と表記している。
 [] 内は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(3) 年代による回答傾向：同性愛は「一時的なもの」「育てられ方の影響」「性同一性障害とおなじ」への賛同は 50 代以下より 60-70 代で多く、同性愛は「生まれつきのもの」への賛同は 20-30 代と 60-70 代より、40-50 代が多い

「同性愛は思春期の一時的なものである」という質問について、その回答を年代別にみると、20-30 代で賛同意見は 4.8%、反対意見は 92.5%となっている。40-50 代では、賛同意見が 6.6%、反対意見が 89.7%、60-70 代では、賛同意見が 15.4%、反対意見が 71.8%となっている。しがたって、いずれの年代においても、「同性愛を思春期の一時的なものである」と考える人の割合は少ないが、20-30 代および 40-50 代に比べると 60-70 代の高齢者層ではその割合は 15%以上にのぼる。

「同性愛は生まれつきのものである」という質問に対する回答を年代別にみると、20-30 代では賛同意見は 47.4%、反対意見は 49.6%、40-50 代では、賛同意見が 53.0%、反対意見が 43.0%となっている。60-70 代では、賛同意見が 40.4%、反対意見が 46.8%となった。全体の傾向としては、いずれの年代においても、賛同意見と反対意見がほぼ拮抗していると言ってよいが、なかでも 40-50 代において「同性愛は生まれつきのものである」と考える割合は半数を超えている。

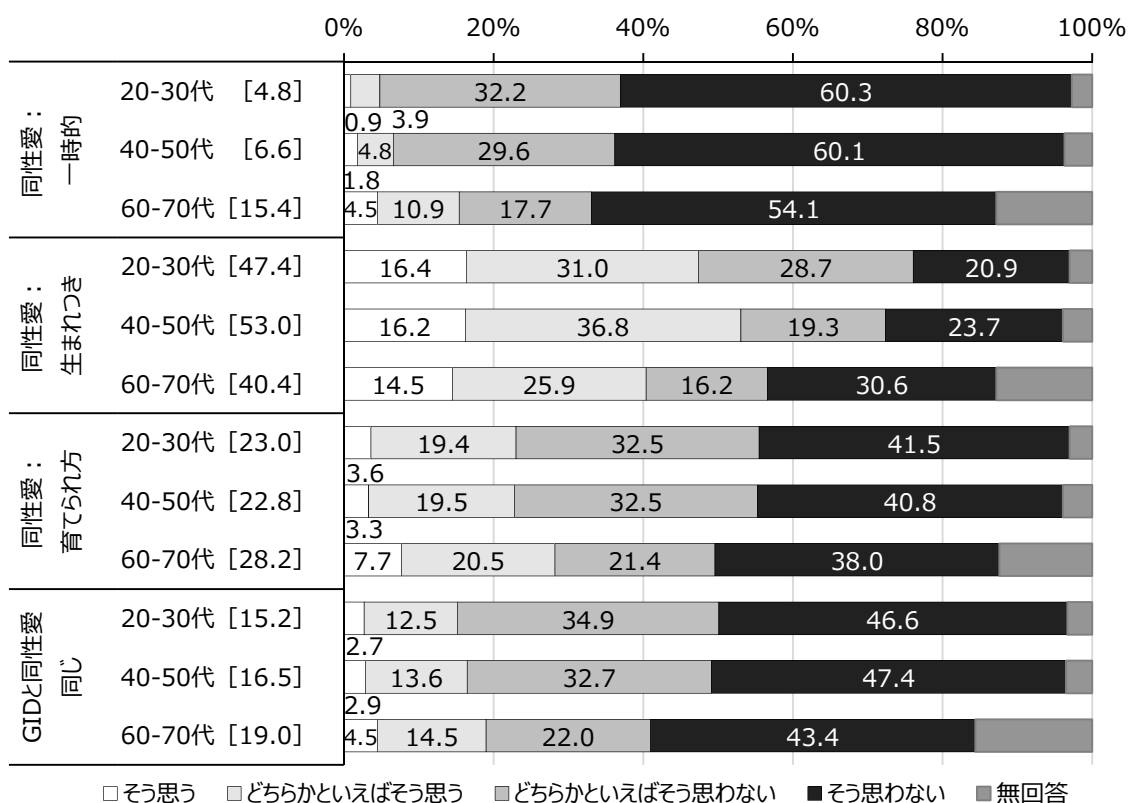
「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という質問に対する回答を年代別にみると、20-30 代では賛同意見が 23.0%、反対意見が 74.0%、40-50 代では賛同意見が 22.8%、反対意見が 73.3%、60-70 代では、賛同意見が 28.2%、反対意見が 59.4%である。20-30 代および 40-50 代では、いずれも賛同意見が 20%台前半、反対意見が 70%台半ばになっているが、60-70 代では賛同意見が 3 割弱、反対意見が 6 割弱となり、他の年代に比

較して「育てられ方の影響がある」という意見により傾いていると言える。

「性同一性障害と同性愛は同じである」という質問に対する回答については、20-30代では賛同意見が15.2%、反対意見が81.5%、40-50代では賛同意見が16.5%、反対意見が80.1%となっている。60-70代では賛同意見が19%、反対意見が65.4%となっている。全般的には、「性同一性障害と同性愛は同じである」と考えている人の割合は、1割から2割と少ないが、そのなかでも60-70代では他の年代と比較してその割合が2割ともっとも高くなっている。

60-70代では、これらの問いに回答しなかった人（無回答）の割合が10%を超えており（「性同一性障害と同性愛は同じである」ではとくに高く、15.6%）、50代以下の無回答割合よりもきわだって高い。またこれらは、この報告書の他の章で扱う問いの大半でみられる60-70代の無回答割合と比べても高いことも記しておきたい。1. でまとめた「知識」をたずねる問いでは、「わからない」と回答する60-70代が多かったことをかんがみると、ここで述べた「認識」に対する無回答も、「わからない」を意図していると解釈することが可能である。（図3-13）

図3-13 年代別にみた、同性愛と性同一性障害に関する認識



回答者数：20-30代 335人、40-50代 456人、60-70代 468人

図では性同一性障害を「GID」と表記している。

[] 内は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合（%）。

- (4) 学歴(最後に卒業した学校)による回答傾向: 同性愛について、「一時的なもの」は「中学校卒」と「専門・専修学校卒」で多く、「生まれつき」は「中学校卒」で少なく、「育てられ方による」は「短大・高専」で多く、「性同一性障害と同じ」は「中学校卒」で多く「大学・大学院卒」で少ない

同性愛と性同一性障害に関する認識について、それぞれの質問への回答を最終学歴(最後に卒業した学校)別にみてもみた。「同性愛思春期の一時的なものである」という質問への回答について、「中学校卒」では賛同意見は15.9%、反対意見は70.5%となった。以下、同様に「高校卒」では、それぞれ9.2%と84.3%、「専門・専修学校卒」では、それぞれ10.9%と85.4%。「短大・高専卒」では、それぞれ6.6%と88.3%。「大学・大学院卒」では、それぞれ5.9%と91.7%となった。同性愛を一時的なものであると考える傾向は、概して低いと考えられるが、最終学歴別では、「中学校卒」と「専門・専修学校卒」で高く、その他の学歴では低くなっている。

「同性愛は、生まれつきのものである」という質問への回答について、「中学校卒」では賛同意見は33%、反対意見は54.7%となった。以下、同様に「高校卒」では、それぞれ47.5%と46.3%。「専門・専修学校卒」では、それぞれ53.2%と41.6%。「短大・高専卒」では、それぞれ53.3%と41.7%、「大学・大学院卒」では、それぞれ49.4%と48.0%となった。「同性愛は生まれつき」かどうかの質問については、学歴別の全体傾向としては、賛同意見と反対意見はほぼ拮抗しているといえるが、詳細にみると「中学校卒」では他の学歴と比べると「生まれつき」と考える割合が少ないと言える。

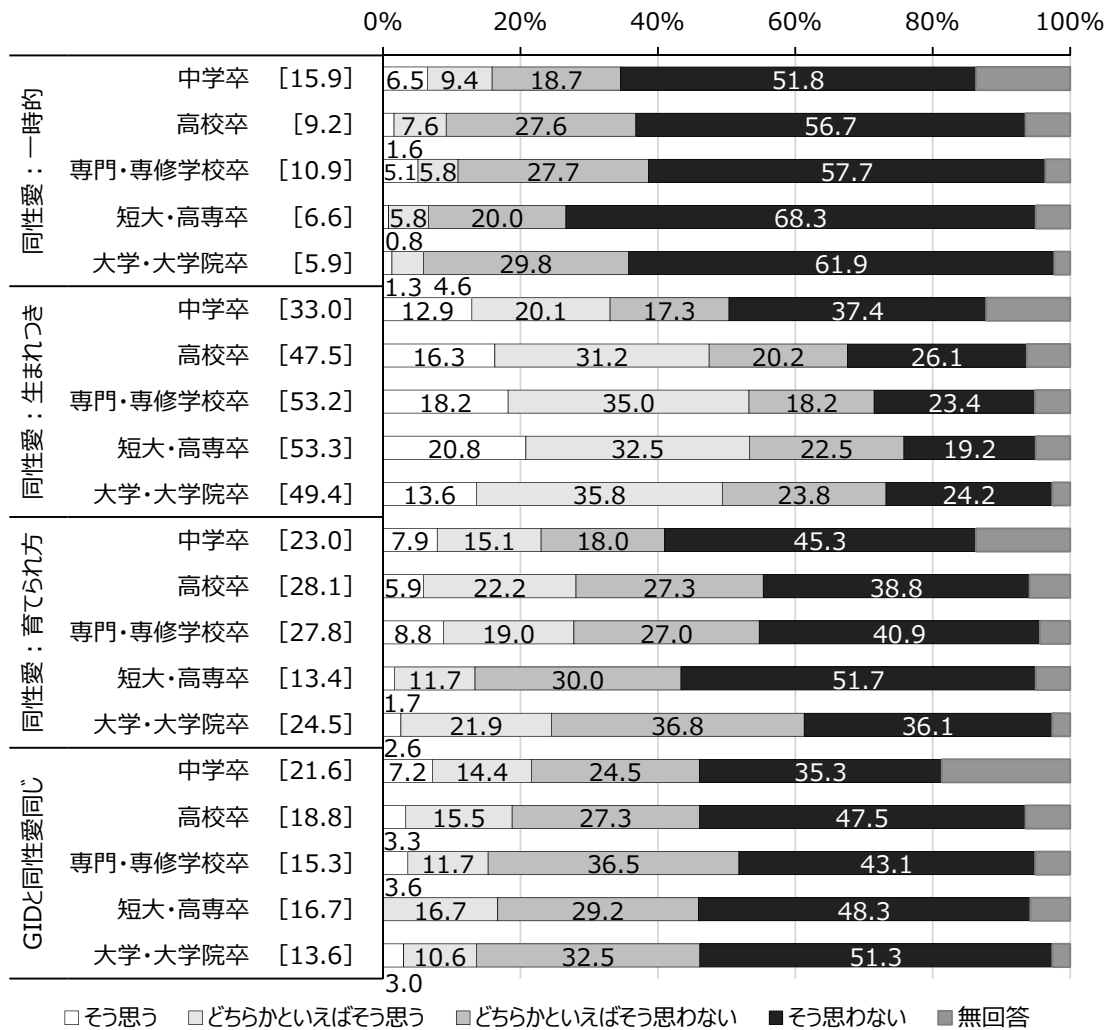
「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という質問への回答について、「中学校卒」では賛同意見は23.0%、反対意見は63.3%である。以下、同様に「高校卒」では、それぞれ28.1%と66.1%、「専門・専修学校卒」では、それぞれ27.8%と67.9%、「短大・高専卒」では、それぞれ13.4%と81.7%、「大学・大学院卒」では、それぞれ24.5%と72.9%である。「短大・高専卒」以外の学歴では、賛同意見が2割台半ばで反対意見が6割強から7割台前半であるが、「短大・高専卒」では、賛同意見が1割台前半で反対意見が約8割となっている。

「性同一性障害と同性愛は同じである」という質問に対する回答について、「中学校卒」では賛同意見は21.6%、反対意見は59.8%である。以下、同様に「高校卒」では、それぞれ18.8%と74.8%、「専門・専修学校卒」では、それぞれ15.3%と79.6%、「短大・高専卒」では、それぞれ16.7%と77.5%、「大学・大学院卒」では、それぞれ13.6%と83.8%となっている。性同一性障害を同性愛と同じものであると認識している人は、いずれの学歴においても1割から2割程度で、その割合は大きくはないと言える。とはいえ、「中学校卒」を除いて、賛同意見は1割台半ばから後半であったが、「中学校卒」のみで2割を超えていた。

「中学校卒」では、問いに回答しなかった人の割合(無回答割合)が、同性愛に関する3つの項目では12~13%台、性同一性障害と同性愛は同じかをたずねた項目では18%台と、他の学歴に比べて高かったことも記しておきたい。

なお、「中学校卒」の大半は60-70代であることから(139人中109人)、ここでみられた「中学校卒」の特徴全般は、無回答割合に限らず、60-70代にも共通する特徴であるとも言える。(図3-14)

図 3-14 同性愛と性同一性障害に関する認識：学歴別



回答者数：中学校卒 139 人、高校卒 510 人、専門・専修学校卒 137 人、短大・高専卒 120 人、大学・大学院卒 302 人。

図では性同一性障害を「GID」と表記している。

[] 内は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(5) まとめ

「同性愛は思春期の一時的なものか」という質問については、男女ともおよそ 9 割の回答者がそう思っていない。年代別では、「一時的なものである」と考える人はいずれの年代でも少ないが、年齢が低くなればなるほど、少なくなる傾向にある。「同性愛は生まれつきのものである」という質問については、そう考える人とそう考えない人の割合はほぼ拮抗しているものの、女性のほうが「生まれつき」と考える傾向が高い。「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」という質問については、男女とも「そう考えない」という人の割合が高いが、女性のほうが、男性に比べて、「そう考えない」という傾向が顕著に高い。年代別では、60 代以上になると「そう考える」人の割合が若干高くなる。

「性同一性障害と同性愛は同じである」という質問については、男女とも「同じでない」と考える人の割合が顕著に高く、男女で差はほぼないと言える。年代別では、60 代以上に

なると「同じでない」と考える人の割合が若干減少してくる。

認識に関する質問では、60代以上で「無回答」の割合が1割以上おり、年齢別データにおける割合では、無回答割合が影響を及ぼしている可能性もある。

3. まとめ

同性愛の知識に関しては、おおむね正答率は高く、社会においては比較的普及していた。他方、性同一性障害の知識については、60代以上では正答率が低くなっていた。性同一性障害の知識に関しては、同性愛の知識に比べて、正答率が低くなった。性別では、女性のほうが、顕著に正答率が高くなった。双方の知識に関して、教育歴が長くなるほど、すなわち学歴が高くなればなるほど、おおむね正答率は高くなる傾向にあった。

同性愛に対する認識に関しては、男女ともに8割以上が、「同性愛は思春期の一時的なものである」とは考えていない。女性のほうが、「同性愛は生まれつきのものである」と考える傾向が高かった。「同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある」については、男女ともに半数以上がそう考えていなかったが、女性のほうがそう考えない傾向は強かった。7割以上の人が「性同一性障害と同性愛は同じである」とは考えていなかった。

第4章 メディア¹

釜野 さおり

近年、性的マイノリティがメディアでよくとりあげられるようになった、と言われているが、メディアで扱われること自体は昨今にはじまったことではない。戦後だけをみても、今でいう性的マイノリティに関連する記事が雑誌や新聞にしばしばみられ（中央大学社会科学研究所 2014）、同性愛者等が登場する映画やドラマも、放映されてきている。男どうしの性愛を主題とする漫画も 1970 年代から一定の層に読まれてきている。「ゲイブーム」といわれた 1990 年代には、テレビのゴールデンタイムに男性同性愛をテーマとしたドラマ『同窓会』が放映されたり、性的マイノリティの「当事者」が自分たちの経験を伝えるための書籍が出版されたりする動きもあった。また、ニューハーフなど女装・女性化男性については戦後、断続的にブームが起こっていたことが指摘されている（三橋 2006a, 2006b）。異性装がお笑いの対象になったり、同性愛が究極の「純愛」として描かれたりしてきたことは、よく知られていることである。他方で、それにとどまらない動きもあり、たとえばテレビドラマのシリーズ『三年 B 組金八先生』では、2001 年の放映において、クラスに性同一性障害役の生徒を登場させ話題となった。2000 年代半ばになると NHK の教育番組『ハートでつながろう』で、性同一性障害、LGBT、ゲイ・レズビアン、バイセクシュアルをテーマに放映された。近年では、諸外国でのパートナーシップ制度や同性婚に関するテレビ・新聞のニュースもよく見聞きするところである。なによりこの調査が実施された 2015 年 3 月は、まさに東京都渋谷区の「パートナーシップ条例」がニュースになっていた時期でもある。

このように、これまでも性的マイノリティはさまざまなメディアにおいて、多かれ少なかれ、多様な観点からとりあげられてきた。しかし、「とりあげられる」ことが、人びとが「同性愛、性別を変えた人、あるいは性同一性障害などを、メディアを通じて見聞きし、それを記憶している」ということに必ずしもつながっているとは限らない。また、性的マイノリティといっても、同性愛と性同一性障害や性別移行に関するもの、あるいは女性同性愛と男性同性愛、同性愛と両性愛では、とりあげられ方もその頻度も異なる。

この章では、テレビ、新聞、書籍、マンガ、インターネットなどのメディアを通じて、人びとがどの程度、性的マイノリティに関することを見たり聞いたり、あるいは読んだりしているのかについての結果をみていく。メディアで見聞きしたり読んだりしたことがあるか（以下、「見聞き」と表記）に加え、見聞きしたのはどの性的マイノリティなのか、そして、どのメディアを通じて見聞きしたのかについて、全体の傾向を示し、（自認する）性別と年代による比較を行う。

¹ この章の集計表については、「第4章付表」を参照。

1. 性的マイノリティの見聞き経験：全体では9割近くが見聞きしたが、性別では女性のほうがやや高め、年代では60-70代で約8割と低め

メディアでの性的マイノリティの見聞き経験を調べるためにもちいた質問は、次のとおりである。ここでは、この問いに「ある」と回答した人を、性的マイノリティをメディアで見聞きした経験がある人、とみなす。

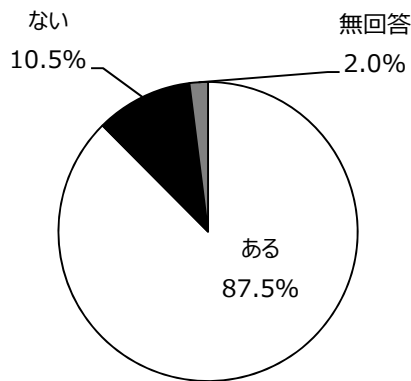
問 14 あなたは、テレビ、新聞、書籍、雑誌、ラジオ、マンガ、インターネットなどで、同性愛、性別を変えた人、性同一性障害などが扱われているのを見聞きしたり読んだりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

回答者 1,259 人のうち、性的マイノリティをメディアで見聞きしているのは 9 割近く (87.5%) である。(図 4-1)

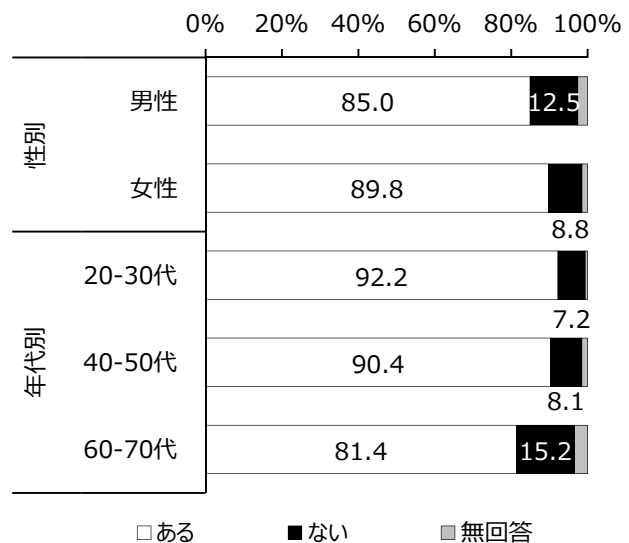
見聞き割合を性別で見ると、女性のほうが男性よりも見聞きした割合が約 4 ポイント高い。年代別にみると、若い人のほうが高齢の人よりも見聞きした割合が高く、20 代から 50 代では 9 割台であるのに対し、60-70 代では 8 割である。(図 4-2)

図 4-1 メディアで性的マイノリティを見聞きしたか否か



回答者数：1,259 人

図 4-2 性別/年代別にみた、メディアで性的マイノリティを見聞きしたか否か



回答者数：男性 585 人、女性 674 人、20-30 代 335 人、40-50 代 456 人、60-70 代 468 人

2. 見聞きされている性的マイノリティ

では、メディアで見聞きされているのは、どのような性的マイノリティなのだろうか。上の問い(問 14)で、見聞きしたことが「ある」と答えた人に対し、見聞きしたことがある人・事を、次の問いでたずねた。

問 16 そこで見聞きしたり読んだりしたのは、どのような人・事ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

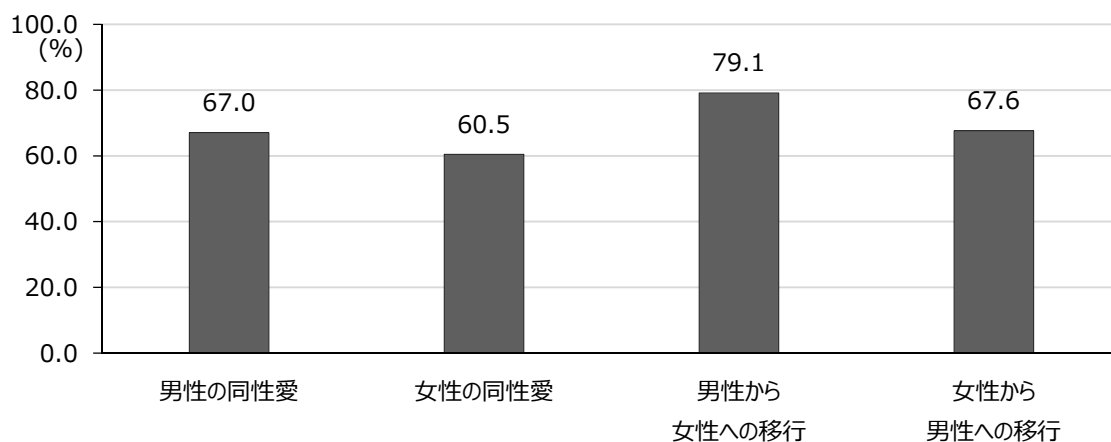
- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1. 男性の同性愛 | 3. 男性から女性に変わった人・性同一性障害など |
| 2. 女性の同性愛 | 4. 女性から男性に変わった人・性同一性障害など |

まず見聞き経験の有無(問 14)に回答し、この問い(問 16)にも回答した 1,223 人に対し、それぞれの性的マイノリティを見聞きした人の割合を示す。そもそもメディアで性的マイノリティを見聞きしたことがない人(問 14に「いいえ」と回答した人)は、どの性的マイノリティについても「見聞きしていない」として扱う。

(1) 全体の傾向:メディアでの見聞きがもっとも多いのは「男性から女性への移行」、少ないのは「女性の同性愛」

性的マイノリティの中で、もっとも多く見聞きされているのは「男性から女性への移行」で、見聞きされた割合は約 8 割(79.1%)、次いで「女性から男性への移行」と「男性の同性愛」で約 3 分の 2(それぞれ 67.6%、67.0%)である。見聞き割合がもっとも低いのは「女性の同性愛」で、6 割である(60.5%)。言いかえれば 4 割の人は、「女性の同性愛」をメディアで見聞きしたことがないことになる。(図 4-3)

図 4-3 それぞれの性的マイノリティの見聞き割合

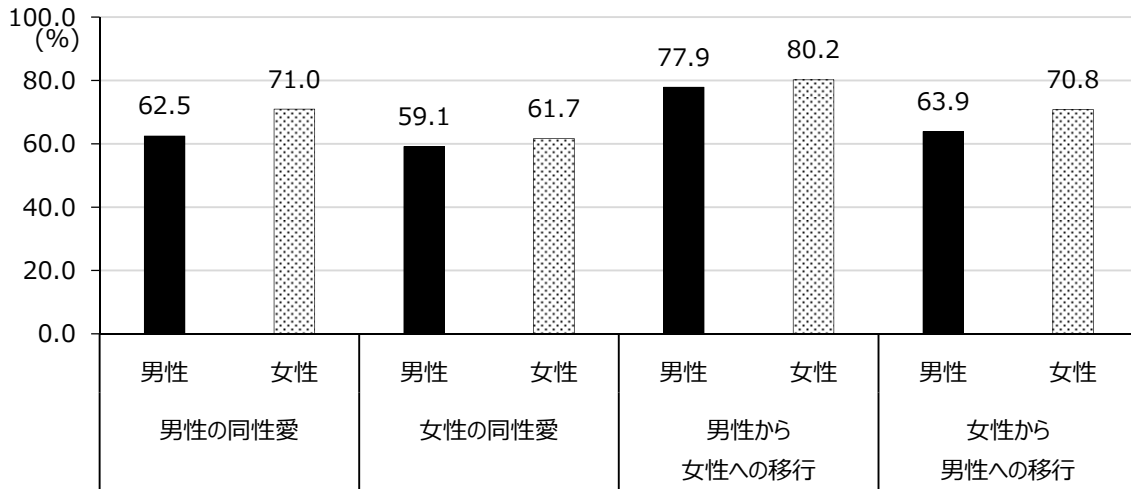


回答者数: 1,223 人

(2) 性別でみた、メディアで見聞きした性的マイノリティ:「男性の同性愛」の見聞き割合は女性で高い

回答者の性別による違いをみると、どの性的マイノリティでも見聞き割合は女性のほうが高く、「男性の同性愛」ではその差が 8.5 ポイントでもっとも大きい。見聞き割合の低い「女性の同性愛」については男女差がほとんどなく、いずれも 6 割前後である。(図 4-4)

図 4-4 性別でみた、それぞれの性的マイノリティの見聞き割合



回答者数：男性 565 人、女性 658 人

(3) 年代別にみた、見聞きした性的マイノリティ：20-50代で高い「男性の同性愛」「女性の同性愛」「男性から女性への移行」の見聞き割合

見聞きされている性的マイノリティを回答者の年代別にみると、どの性的マイノリティでも60-70代の見聞き割合がもっとも低い。「女性から男性への移行」「女性の同性愛」「男性の同性愛」の見聞き割合は、20-30代と40-50代でほぼ同じで、60-70代のみで低くなっている。一方「男性から女性への移行」では、40-50代での見聞き割合がもっとも高い。

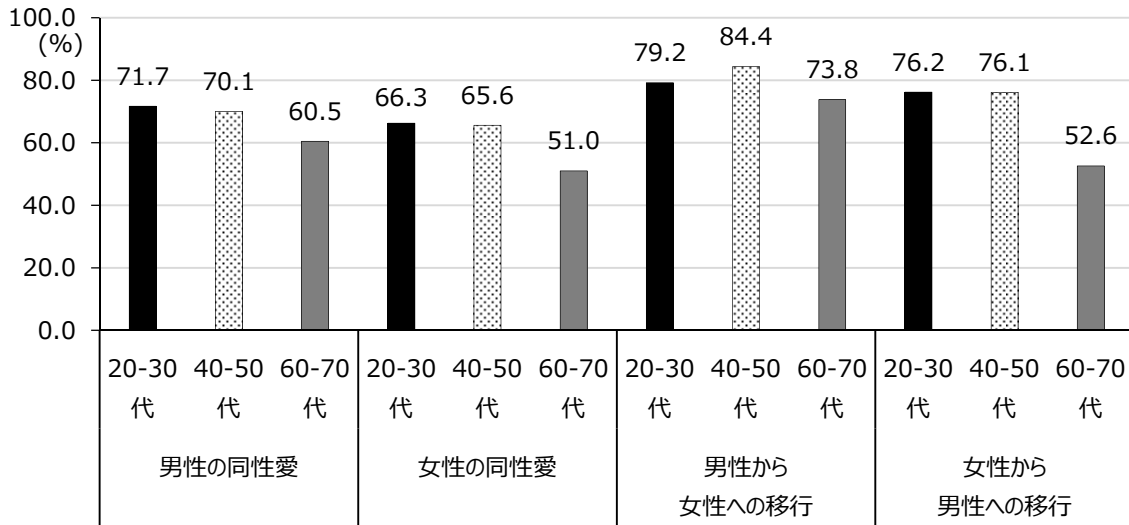
より詳しくみると、年代による差がもっとも大きいのは、「女性から男性への移行」で、20-30代と40-50代では約4分の3(76%台)であるのに対し、60-70代では約半数(52.6%)で、20ポイント以上の差がある。「女性の同性愛」の見聞き割合も、20-30代と40-50代では3人中2人(65~66%)であるが、60-70代では約半数(51.0%)で、差は15ポイントである。「男性の同性愛」については20-30代と40-50代では7割、60-70代では6割で、もっとも低い60-70代でも6割を超えているのが特徴的である。

「男性から女性への移行」については、他と傾向が異なり、40-50代での見聞き割合が84.4%でもっとも高い。なお、この割合は、他の性的マイノリティを見聞きしたどの年代に比べても高い。(図4-5)

(4) まとめ

「男性の同性愛」「女性の同性愛」「男性から女性への移行」「女性から男性への移行」を比べると、メディアでもっとも見聞きされていないのは「女性の同性愛」である。この傾向は、性別で分けても、年代別で分けてもみられ、60-70代では5割ととくに低かった。一方、「男性から女性への移行」は男性でも女性でも、またどの年代でもっとも多く見聞きされており、40-50代でもっとも高く、また、60-70代でも唯一7割を超えていた。

図 4-5 年代別にみた、それぞれの性的マイノリティの見聞き割合



回答者数：20-30代 332人、40-50代 448人、60-70代 443人

3. 性的マイノリティを見聞きしているメディアの種類

次に、回答者がどのメディアを通じて性的マイノリティやそれに関することを見聞きしているのかを調べるために、見聞き経験のある人（問 14 で「ある」と答えた人）に、11の選択肢から、性的マイノリティを見聞きしたメディアをすべて選んでもらう形式でたずねた。

[問 14 で「ある」と答えた方に]

問 15 それはどのようなものですか。次の中からあてはまるものはいくつでも○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1. テレビ（報道・教養番組） | 7. 女性向けマンガ・コミック |
| 2. テレビ（娯楽番組） | 8. 男性向けマンガ・コミック |
| 3. テレビドラマ・映画 | 9. インターネット（メール、ウェブなど） |
| 4. 新聞・書籍 | 10. インターネット（フェイスブック、ツイッター、LINE など） |
| 5. 雑誌 | 11. その他（ ） |
| 6. ラジオ | |

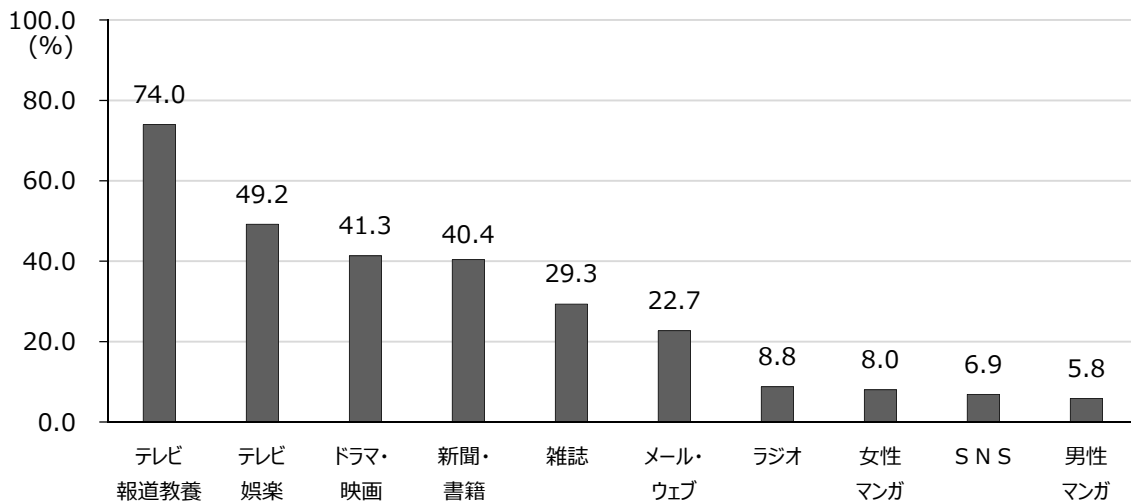
（1）メディア別の見聞き割合

まず、回答者全体に対し、それぞれのメディアで性的マイノリティを見聞きした人がどれくらいの割合でいるのかをみていく。具体的には、各メディアに「性的マイノリティを見聞きした」として○をつけた人の数を、性的マイノリティの見聞き経験をたずねる問い（問 14）に答えた 1,234 人で割った結果をみていく。たとえば「テレビ（報道・教養）」での見聞き割合 74.0%は、「テレビ（報道・教養）」に○をつけた 913 人を 1,234 人で割ったものがある。

① 全体の傾向：見聞きしている人がもっとも多いのは、テレビの報道・教養番組

上の方法で求めたメディア別の見聞き割合をみると、「テレビ（報道・教養番組）」が4分の3（74.0%）、「テレビ（娯楽番組）」がほぼ半数（49.2%）、「テレビドラマ・映画」と「新聞・書籍」が4割（それぞれ41.3%、40.4%）、「雑誌」が3割（29.3%）、「インターネット（メール・ウェブ）」が2割（22.7%）である。「ラジオ」、「女性向けマンガ・コミック」、「インターネット（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」（以下「SNS」）、「男性向けマンガ・コミック」での見聞き割合は10%に満たない。（図4-6）

図4-6 メディア別、性的マイノリティの見聞き割合

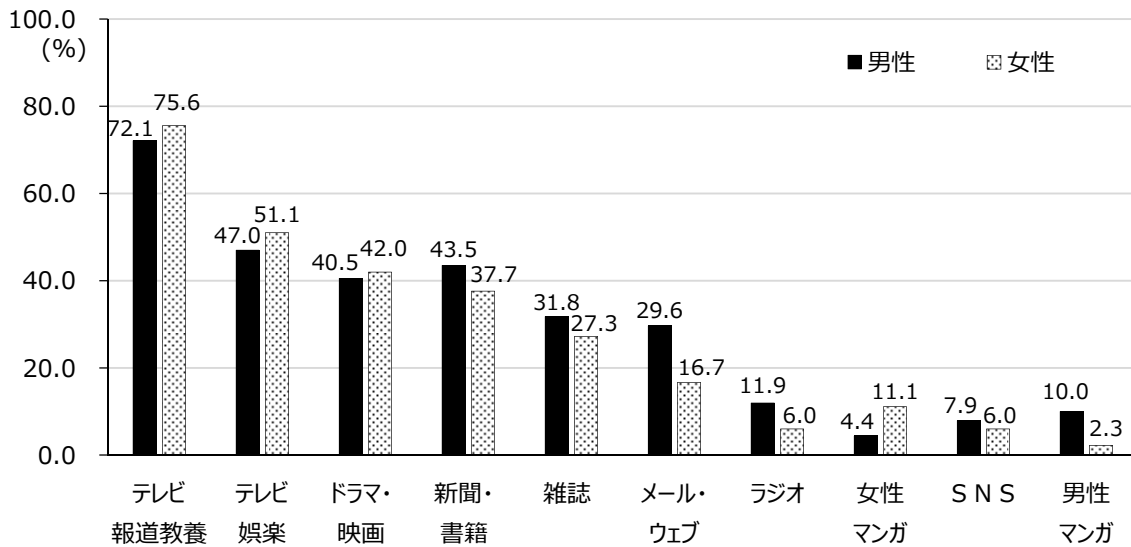


回答者数：1,234人

② 性別でみたメディア別の見聞き割合：男女ともテレビの報道・教養番組で見聞きしている人がもっとも多く7割超、男性のほうが女性よりメール・ウェブでの見聞き割合が高い

図4-7に、男女別に各メディアでの性的マイノリティの見聞き割合を示す。見聞き割合がもっとも高いのは男女ともに「テレビ（報道・教養番組）」で、70%を超えている。男女を比べると、「新聞・書籍」、「ラジオ」、「男性向けマンガ・コミック」、「インターネット（メール・ウェブ）」では男性のほうが高く、「女性向けマンガ・コミック」では女性のほうが高い。男女の見聞き割合の差は「インターネット（メール・ウェブ）」でもっとも大きく、男性では約3割であるのに対し女性では16.7%で、13ポイントの開きがある。（図4-7）

図 4-7 性別でみた、各メディアにおける性的マイノリティの見聞き割合

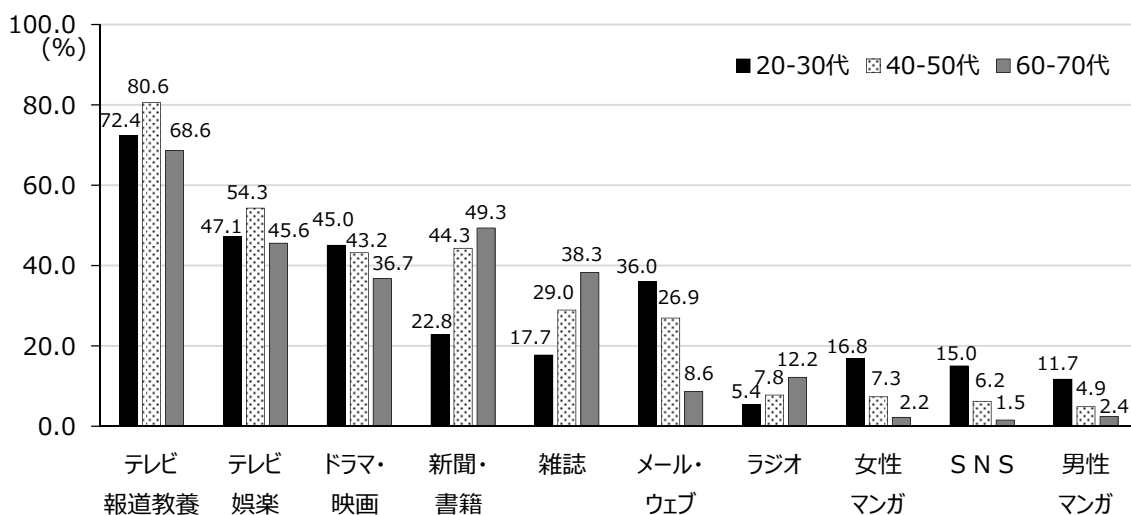


回答者数：男性 570 人、女性 664 人

③ 年代別にみたメディア別の見聞き割合：新聞・書籍と雑誌では高齢者、テレビでは中年層、ネットやマンガでは若い年代で高い

年代別でみると、各メディアで見聞きした割合は、「新聞・書籍」、「雑誌」、「ラジオ」では上の年代のほうが高く、「テレビ（報道・教養番組）」、「テレビ（娯楽番組）」は40-50代でもっとも高い。「テレビドラマ・映画」、「インターネット（メール・ウェブ）」、「女性向けマンガ・コミック」、「SNS」、「男性向けマンガ・コミック」での見聞き割合は、若い年代のほうが高い。（図 4-8）

図 4-8 年齢別にみた、各メディアにおける性的マイノリティの見聞き割合



回答者数：20-30代 333 人、40-50代 449 人、60-70代 452 人

④ まとめ

性的マイノリティが見聞きされているメディアは、主にテレビであり、4人に3人が報道・教養番組、2人に1人が娯楽番組をあげている。一方、男性向けや女性向けのマンガ・コミックで見聞きした割合は1割未満と少ない。性別で比較した場合、どのメディアでも全般に男性のほうが、見聞き割合が高く、とくにメール・ウェブで高い。年代別では新聞・書籍と雑誌は高齢者、テレビは中年層、インターネットやマンガは若い年代で高い。

(2) ふだんから利用するメディアにおける、性的マイノリティの見聞き割合（[利用者見聞き割合]）

上で示した各メディアでの見聞き割合では、ふだん、それぞれのメディアがどの程度利用されているのかを考慮していなかった。たとえば、新聞・書籍を読む人のほうがラジオを聴く人よりも多いが、仮に性的マイノリティを見聞きした人の数は、新聞・書籍とラジオとで同じだったとすると、ラジオという媒体は利用している人は少ないが、「効率良く」性的マイノリティの見聞きにつながっている、ということができる。そこで、以下では、調査で別途たずねた「ふだんから利用するメディア」の回答を参照し、あるメディアをふだんから利用している人のうち、どれくらいの人があるメディアで性的マイノリティを見聞きしているか（以下、[利用者見聞き割合]）、をみていく。（ふだん利用しているメディアについては、「次にあげるメディアや通信手段で、ふだんから利用するものにすべて○をつけてください」とたずね、性的マイノリティを見聞きしたメディアをたずねた問と同じ選択肢を設けた。）

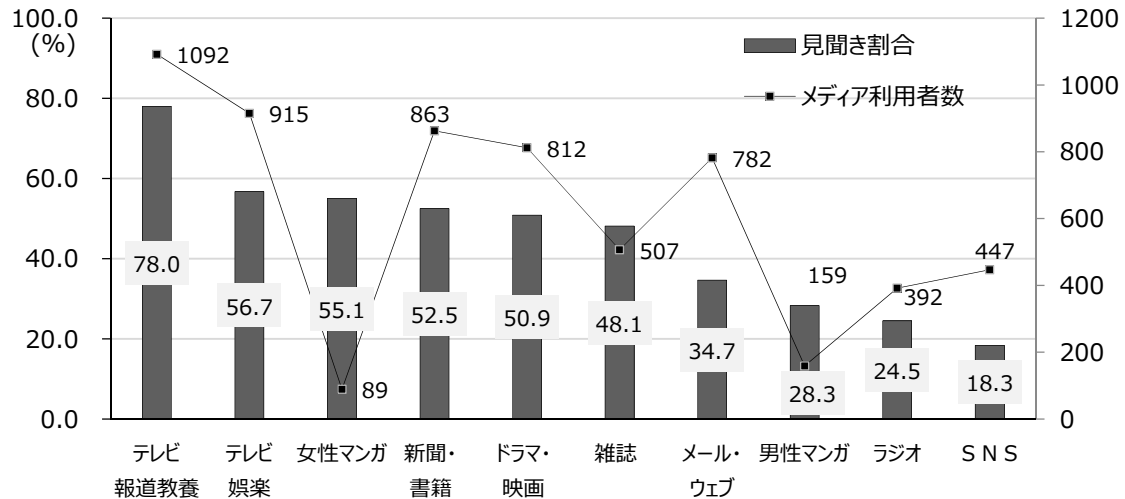
① 全体の傾向：ふだん利用するメディアのうち、もっとも性的マイノリティが見聞きされているのは、テレビの報道・教養番組で約8割

図 4-9 に棒グラフで利用者見聞き割合を、折れ線で各メディアをよく利用するという人数を示す。この図から、「テレビ（報道・教養番組）」での[利用者見聞き割合]が他のメディアに比べて圧倒的に高いことが読み取れる。「テレビ（報道・教養番組）」をふだんから利用する1,092人（「テレビ（報道・教養番組）」をふだんからよく利用する1,112人から問14のメディアでの性的マイノリティの見聞き経験に回答しなかった20人を除いた数）のうち、性的マイノリティを見聞きしたメディアとして「テレビ（報道・教養番組）」を選択した人は852人で、割合にすると約8割（78.0%）である。これは、次に割合の高い「テレビ（娯楽番組）」の56.7%を20ポイント以上上回っている。「テレビ（娯楽番組）」以外で利用者見聞き割合が5割前後なのは、「女性向けマンガ・コミック」（55.1%）、「新聞・書籍」（52.5%）、「テレビドラマ・映画」（50.9%）、「雑誌」（48.1%）である。

全般に、利用者数の多いメディアでは、[利用者見聞き割合]も高いが、例外もある。「女性向けマンガ・コミック」の利用者は89人で最小であるが[利用者見聞き割合]は50%を超えている。「男性向けマンガ・コミック」のふだんからの利用者は159人でやはり比較的少数だが、利用者の3割近くがそこで性的マイノリティを見聞きしている。一方、「インターネット（メール・ウェブ）」利用者は782人と比較的多数だが、[利用者見聞き割合]

は3割台にとどまる。「SNS」の利用者も447人であるが、[利用者見聞き割合]は2割に満たない。(図4-9)

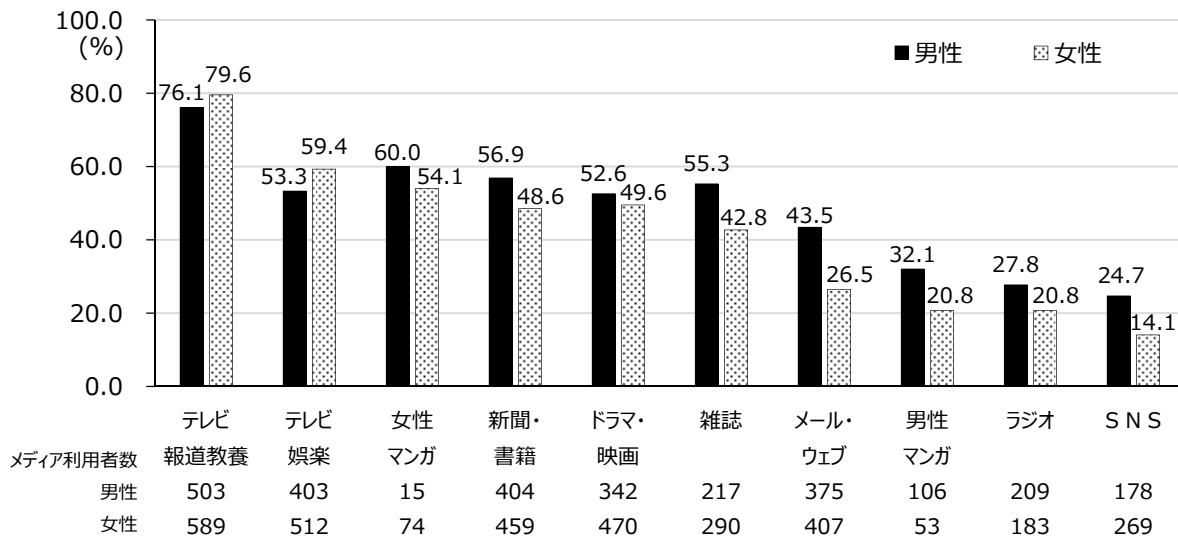
図4-9 各メディアのふだんからの利用者のうち、そのメディアで性的マイノリティを見聞きした割合[利用者見聞き割合](棒グラフ)およびそのメディアをふだん利用する人数(折れ線)



② 性別でみた、利用者見聞き割合：男性ではメール・ウェブで高割合

ふだんよく利用するメディア別の見聞き割合(利用者見聞き割合)を性別でみると、「テレビ(報道・教養)」と「テレビ(娯楽)」以外のすべてで、男性のほうが女性よりも割合が高い。男女の差がもっとも大きいのは「インターネット(メール・ウェブ)」で、差は16.9ポイントである。また、「新聞・書籍」、「雑誌」、「男性向けマンガ・コミック」、「SNS」でも[利用者見聞き割合]は男性のほうが高く、女性との差は10ポイント以上である。(ただし、「男性向けマンガ・コミック」については、統計的な有意差はみられなかった(「第4章付表」を参照。)(図4-10)

図 4-10 性別でみた、各メディアのふだんからの利用者のうち、そのメディアで性的マイノリティを見聞きした割合（利用者見聞き割合）



メディアの下の数字（メディア利用者数）は各メディアをふだんから利用する人数（上：男性、下：女性）。

③ 年代別にみた、利用者見聞き割合：60-70代では雑誌で高割合

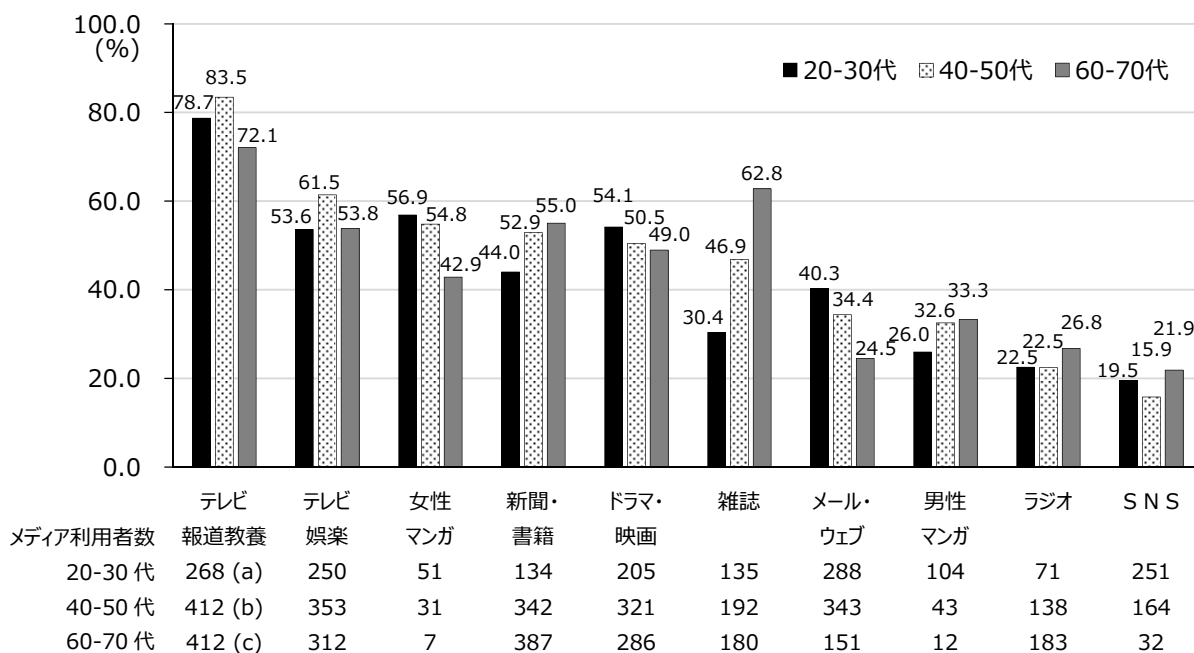
年代別にみると、年代が上のほうが「雑誌」での「利用者見聞き割合」が高く、20-30代では3割、40-50代では4割台であるのに対し、60-70代では6割（62.8%）で20-30代の2倍以上である。「新聞・書籍」での「利用者見聞き割合」も年代が上のほうが高い。逆に、「女性向けマンガ・コミック」、「テレビドラマ・映画」、「インターネット（メール・ウェブ）」の「利用者見聞き割合」は、若い人のほうが高い。また、「テレビ（報道・教養）」、「テレビ（娯楽）」の「利用者見聞き割合」は、40-50代でもっとも高い。ここでみられた年代による差は、同じメディアを利用していても、年代によって性的マイノリティを見聞きしているか否かが異なっていることを示している。（ただし年代との関連が統計的に有意だったのは、「テレビ（報道・教養）」、「雑誌」、「インターネット（メール・ウェブ）」のみである（「第4章付表」を参照。）（図4-11）

④ まとめ：各メディアのふだんからの利用者の、性的マイノリティの見聞き割合

ここでは、それぞれのメディアをふだんから利用する人の中での性的マイノリティの見聞き割合（「利用者見聞き割合」）をみてきた。「利用者見聞き割合」はテレビ（教養・報道番組）でもっとも高かった。またインターネット（メール・ウェブ）では男性のほうが女性よりも高く、雑誌では高齢者のほうが高かった。女性向けマンガ・コミック、ドラマ・映画、インターネット（メール・ウェブ）では、若い人のほうが高かった。テレビの報道・教養番組と娯楽番組では、40-50代がもっとも高かった。同じメディアを利用していても、年代によって性的マイノリティを見聞きしているか否かの度合いが異なっていることがわかった。

また、単にそのメディアで性的マイノリティを見聞きしているか否か((1)で報告)と、ふだんよく利用するメディアで見聞きしているかの違いは、女性向けのマンガ・コミックでもっとも大きかった。前者では8%と低い、後者では5割を超えている。女性向けコミックで性的マイノリティを見聞きした人は、全体に占める人数としては少ないが、ふだん読む人の中で性的マイノリティを見聞きした人の割合は高いということを意味する。

図 4-11 年代別にみた、各メディアのふだんからの利用者のうち、そのメディアで性的マイノリティを見聞きした割合（利用者見聞き割合）



(a)は「テレビ（報道教養）」をふだんから利用する 20-30 代の人数、(b)は同 40-50 代の人数、(c)は同 60-70 代の人数。他のメディアについても同様。

4. まとめ

回答者の9割近く、つまりほとんどの人がメディアで性的マイノリティを見聞きしていることがわかった。女性のほうが男性よりも、また年齢の若い人のほうが高齢者よりも、性的マイノリティを見聞きした、という人が多い。回答者の性別や年代別にかかわらず、性的マイノリティの中でもっとも見聞きされているのは「男性から女性への移行」、されていないのは「女性の同性愛」である。これまで各方面で指摘されてきた女性の同性愛の不可視性と合致する結果だと言える。

いろいろなメディアがある中で、どのメディアで性的マイノリティを見聞きしたかを調べると、テレビという回答がもっとも多く、その中でも報道・教養番組のほうが、娯楽番組よりも多い。マンガ・コミックで見た人は、女性向けでも男性向けでも1割未満と少ない。メール・ウェブでは男性、新聞・書籍と雑誌の活字系では高齢者、テレビでは中年層、インターネットやマンガ・コミックでは若い年代での見聞き割合が高かった。

それぞれのメディアをふだんから利用する人に限って性的マイノリティの見聞き経験を

みると、やはりテレビでの見聞き割合がもっとも高かった。女性向けマンガ・コミックについては、利用者だけに限るとその中で性的マイノリティを見聞きした人の割合が比較的高かった。ふだんからの利用者だけに限ってみても、インターネット（メール・ウェブ）は男性、雑誌は高齢者、女性向けマンガ・コミック、テレビドラマ・映画、インターネット（メール・ウェブ）は若い人、テレビは 40-50 代で見聞き割合が高いという特徴がみられた。同じメディアの利用者の中で比べても、性別や年代によって性的マイノリティを見聞きしているか否かが異なっていることがわかった。

文献

- 中央大学社会科学研究所研究チーム「セクシュアリティの歴史と現在」編, 2004, 『異性装・同性愛書誌目録——戦後日本<トランスジェンダー>社会史 VI』中央大学社会科学研究所調査研究資料集, 第 3 号, 中央大学社会科学研究所.
- 三橋順子, 2006a, 『『性転換』の社会史(1) ——日本における『性転換』概念の形成とその実態, 1950-60 年代を中心に』矢島正見編著『戦後日本女装・同性愛研究——中央大学社会科学研究所研究叢書 16』中央大学出版部, 397-435.
- , 2006b, 『『性転換』の社会史(2) ——『性転換』のアンダーグラウンド化と報道, 1970-90 年代を中心に』矢島正見編著『戦後日本女装・同性愛研究——中央大学社会科学研究所研究叢書 16』中央大学出版部, 436-471.

第5章 存在の認識¹

釜野 さおり

性的マイノリティはみえない存在であるといわれているが、メディアでは、性的マイノリティであることが公になっているタレントや、一般の当事者が登場する番組も少なくない。現にこの調査でも、メディアで性的マイノリティを見聞きしたことがあるという人は9割近くにのぼる（第4章参照）。しかし、メディアではなく日常の場面において、性的マイノリティの存在は、どの程度認識されているのだろうか。ここでは、周りに性的マイノリティがいるかどうかの人びとの認識をみていく。全体の傾向に加え、回答者が自認する性別（以下、性別）と回答者の年代別にみた傾向も示す。

この調査で捉えるのは、「性的マイノリティが実際に周りにいるか」という事実ではなく、周りの性的マイノリティの存在について回答者が認識しているかである。現在の日本社会においては、人は異性愛者で、出生時の性別と性自認が同じであることが前提となっているため、性的マイノリティが周りにいても本人がそれを明かさなければ、知らずにいることも多々あるのが現状である。したがって、ふだん交流のある人の中に性的マイノリティがいるかもしれないが、回答者がそれを知っているとは限らない。下記で示す調査項目の選択肢に「そうかもしれない人がいる」というあいまいさを含んだものを入れたのは、本人からカミングアウトされたり伝えられたりしてはいないが、間接的に知っている、あるいは、さまざまな情報から「そうではないか」と回答者が判断することもあることを浮きぼりにさせるためである。また、「いないと思う」という選択肢を入れたことにより、わからない、あるいは、性的マイノリティはいるかもしれないが、自分は知らない可能性があることを意識した回答を可能としている。

1. 「同性愛者」/「性別を変えた人」が、周りにいるか否かの認識

回答者の周りに性的マイノリティがいるか否かは、次の2つの問いでたずねた。問18と問19の選択肢はどちらも下の四角囲みの4つである。

問18 あなたのまわりの人びとについておたずねします。職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に同性愛者はいますか。（○は1つ）

問19 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。（○は1つ）

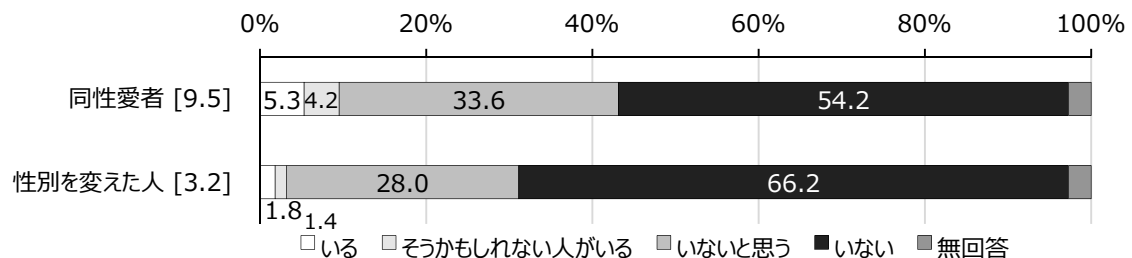
1. いる	2. そうかもしれない人がいる	3. いないと思う	4. いない
-------	-----------------	-----------	--------

¹ この章の集計表については、「第5章付表」を参照。

(1) 全体の傾向：周りには「いない」という人が全体の半数以上、「いる」はわずか

「同性愛者」や「性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人」（以下、「性別を変えた人」）が周りにはいるかどうかの回答をみると、「いない」という人が圧倒的に多い。「同性愛者」については全体の半数以上（54.2%）、「性別を変えた人」についてはさらに多い3分の2（66.2%）である。「いないと思う」と答えた人は「同性愛者」についても「性別を変えた人」についても3割程度である（「同性愛者」33.6%、「性別を変えた人」28.0%）。一方、「いる」という人は、「同性愛者」については5.3%、「性別を変えた人」についてはさらに少なく1.8%で、非常に少ない。「そうかもしれない人がある」の割合は「同性愛者」については4.2%で、「いる」とあわせると約1割である（9.5%）。「性別を変えた人」については、「そうかもしれない人がある」の回答も1.4%と低く、「いる」とあわせても3.2%である。（図5-1）

図5-1 周りに「同性愛者」/「性別を変えた人」がいるか否かの回答分布



回答者数：1,259人。[]内は「いる」と「そうかもしれない人がある」を足した割合（%）。

(2) 性別でみた、「同性愛者」/「性別を変えた人」が周りにはいるか否か：男女共「いない」が最多、「いないと思う」は男性に多く、「いる」と「いない」は女性に多い

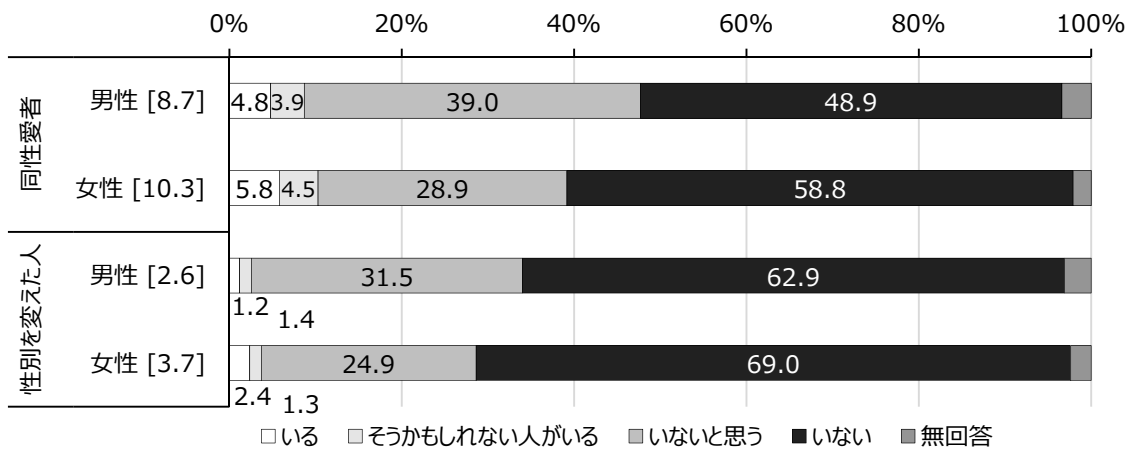
「同性愛者」と「性別を変えた人」のそれぞれが周りにはいるか否かを、回答者の性別でみると、「同性愛者」については、男女とも5%程度が「いる」、4%前後が「そうかもしれない人がある」と答えている。

詳しくみると、「同性愛者」が「いる」という割合は男性4.8%、女性5.8%、「そうかもしれない人がある」の割合は男性3.9%、女性4.5%である。「いる」と「そうかもしれない人がある」をあわせると、男性では8.7%、女性では1割超（10.3%）である。また、「いない」は男女とも4つの選択肢の中でもっとも多く、男性では半数弱（48.9%）、女性では6割弱（58.8%）である。「いないと思う」をみると、男性の約4割（39.0%）、女性の約3割（28.9%）である。「いる」と「いない」のはっきりとした回答が女性に多く、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」というあいまいさを含む回答が男性に多いことも特徴的である。

「性別を変えた人」についても、男女の違いは「同性愛者」の場合とほぼ同様であるが、「同性愛者」の場合に比べ、さらに「いる」と答える割合が低く、男性では1%台、女性では2%台、「そうかもしれない人がある」をあわせても男女とも20人に1人にも満たない（男性2.6%、女性3.7%）。逆に「いない」の割合は男女とも6割台（62.9%、69.0%）

で、「同性愛者」に比べると高い。「いないと思う」は男性では3割、女性では4人に1人で、「同性愛者」の場合と比べても低い。(図5-2)

図5-2 性別でみた、周りに「同性愛者」/「性別を変えた人」がいるか否かの回答分布



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

[] 内は「いる」と「そうかもしれない人がある」を足した割合 (%)。

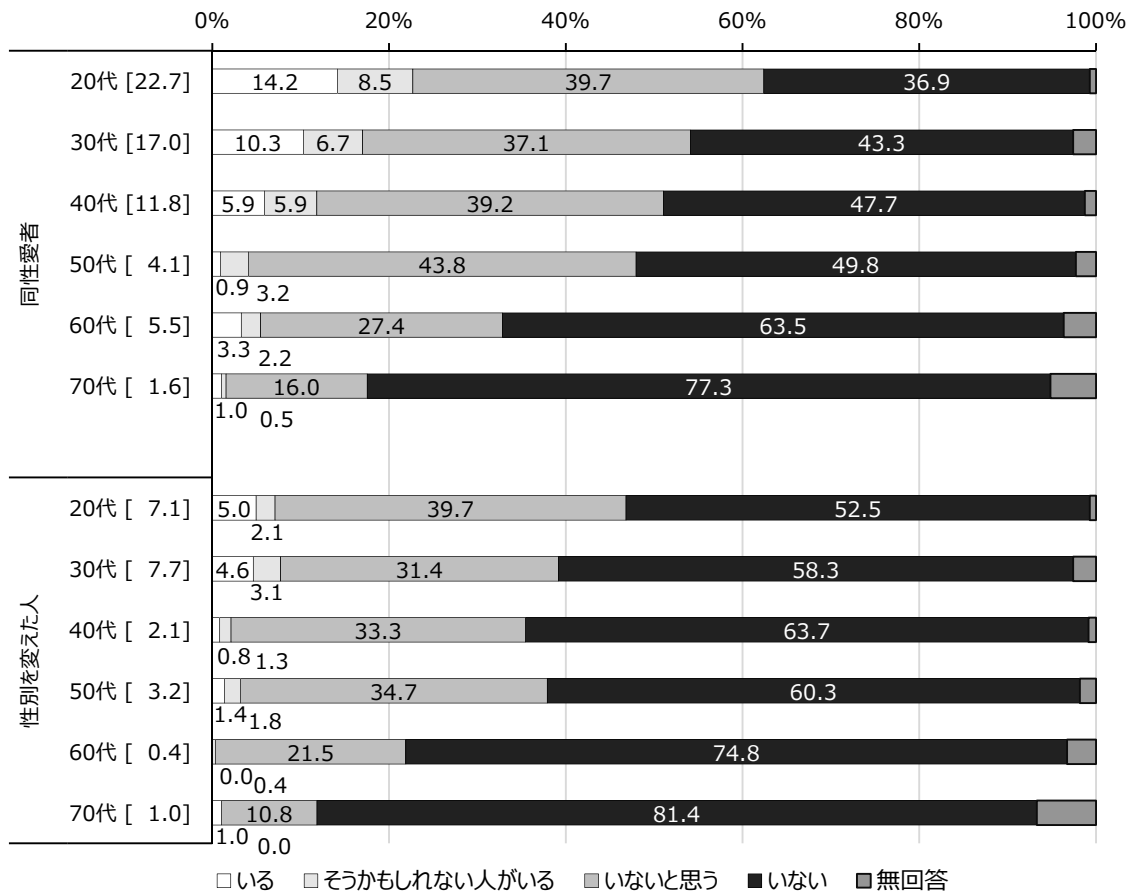
(3) 年代別にみた、「同性愛者」/「性別を変えた人」が周りにいるか否か：どの年代でも「いない」が最多でとくに高齢者に多く、「いる」は若い人に多い

自分の周りに性的マイノリティがいるか否かは、回答者の年代によって大きく異なっている。「同性愛者」についても「性別を変えた人」についても、年代が上であるほど、「いない」の割合が高く、「いる」の割合は低い。逆に年代が下であるほど、「いる」の割合が高く「いない」の割合が低い。

詳しくみていくと、20代と30代では「同性愛者」が周りに「いる」と答えている人が1割台(20代14.2%、30代10.3%)だが、40代では6%、50代以上になると1-3%とさらに低くなっている。「いる」と「そうかもしれない人がある」をあわせると、やはり年代が上であるほど割合が低く、20代では2割、30代と40代では1割台、50代と60代では5%程度、70代では1%台である。

「性別を変えた人」についても同様の傾向がみられるが、全体で「いる」と答えた人が少ないこともあり、20代と30代でも5%程度(5.0%、4.6%)と少ない。「いる」と「そうかもしれない人がある」をあわせても、7%台と低い。またどの年代でも半数以上が「いない」と答えている。年代が上のほうが「いない」の割合が高く、20代と30代では5割台であるが、40代と50代では6割、60代では7割、70代では8割にのぼる。(図5-3)

図 5-3 年代別にみた、周りに「同性愛者」と「性別を変えた人」がいるか否かの回答分布



回答者数：20代 141人、30代 194人、40代 237人、50代 219人、60代 274人、70代 194人
 [] 内は「いる」と「そうかもしれない人がいる」を足した割合 (%)。

(4) まとめ

職場の同僚や、近い友人、親せきや家族に、「同性愛者」や「性別を変えた人（あるいはそうしようと考えている人）」がいるという人は非常に少なく、全体で見ても、性別で分けてみても 1~6%である。「いる」という人は、女性のほうが男性よりも、また、若い人のほうが高齢の人よりも多い。「同性愛者」のほうが「性別を変えた人」よりも、「いる」の割合が高い。「同性愛者」が周りにいるという人は 20代では 14%で、最多である。高齢であるほど「いない」の割合が高く、とくに 50代と 60代、60代と 70代の間の差がきわだっている。

2. なんらかの性的マイノリティが周りにいるか否か

- (1) 周りに「同性愛者」がいるか否かと、「性別を変えた人」がいるか否かとの関連性：両方いる人は全体の1%、「性別を変えた人」がいる人の半数以上は「同性愛者」も「いる」が、「同性愛者」がいる人で「性別を変えた人」もいるという人は2割

「性別を変えた人」の存在を認識していれば、「同性愛者」の存在も認識し、またその逆もあると考えられる。そこで、周りに「同性愛者」がいるか否かの問いへの回答と、「性別を変えた人、あるいはそうしようと考えている人」がいるかどうかの問いへの回答の組み合わせをみていく。

「同性愛者」と「性別を変えた人」の少なくともどちらか一方に「いる」と回答したのは77人（灰色部分）である。どちらも「いる」という人は13人（1%）と非常に少ない。「同性愛者」も「性別を変えた人」も「いない」と回答した人は648人で半数を超え、どの回答の組み合わせに比べても最多である。（表 5-1）

表 5-1 「同性愛者」/「性別を変えた人」が周りにいるか否かに対する回答の組み合わせ

		問 19「性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人」					合計
		いる	そうかもしれない人がある	いないと思う	いない	無回答	
問 18 「同性愛者」	いる	13	10	23	21	0	67
	そうかもしれない人がある	1	7	31	13	1	53
	いないと思う	5	0	271	147	0	423
	いない	4	0	26	648	4	682
	無回答	0	0	1	4	29	34
	合計	23	17	352	833	34	1,259(人)

「性別を変えた人」が周りに「いる」と回答した人で、「同性愛者」については「いる」以外の回答をした人は10人であるのに対し、その逆は54人だった。別の言い方をすれば、「性別を変えた人」がいる人の半数以上は「同性愛者」も「いる」が「同性愛者」が「いる」人で「性別を変えた人」も「いる」という割合は2割にすぎない。「性別を変えた人」に対し「そうかもしれない人がある」や「いないと思う」と答える割合は、逆よりも多い。

図 5-4

周りに「性別を変えた人」が「いる」と答えた 23 人の「同性愛者」がいるか否かへの回答

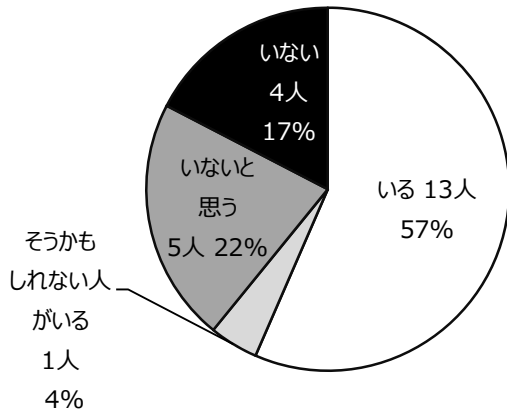
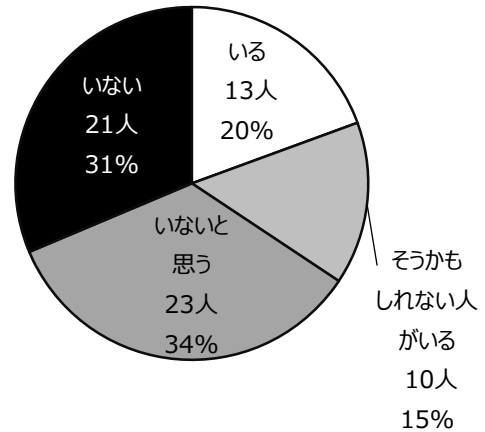


図 5-5

周りに「同性愛者」が「いる」と答えた 67 人の、「性別を変えた人」がいるか否かへの回答



(2) なんらかの性的マイノリティが周りにいるか否か：周りに [いる] という人は 1 割に満たず、[いない] という人は半数以上

ここでは「同性愛者」か「性別を変えた人」の少なくともどちらか一方が周りにいるかどうかについてみていく。表 5-1 で示した「同性愛者」、「性別を変えた人」のそれぞれについての回答の組み合わせから、以下の 2 グループに分類した。

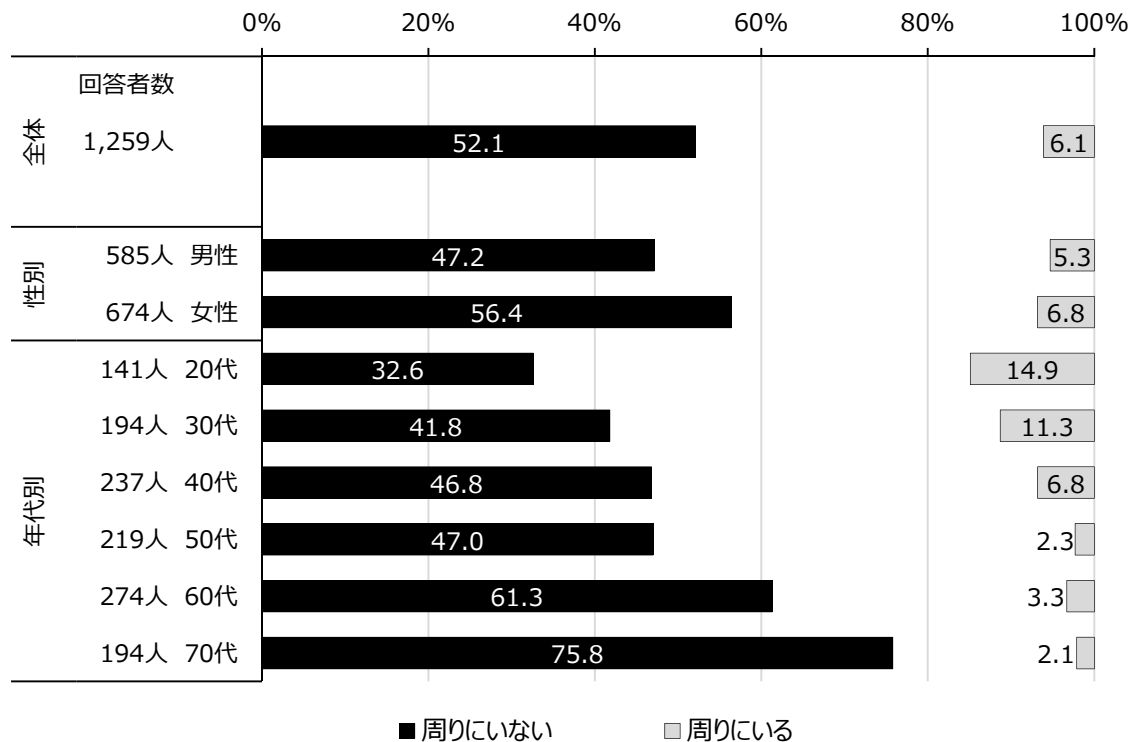
- (a) [いる]：「同性愛者」と「性別を変えた人」の少なくともどちらか一方について、「いる」と回答した人（合計 77 人、表 5-1 の灰色部分）
- (b) [いない]：「同性愛者」についても、「性別を変えた人」についても「いない」と回答した人 648 人と、一方に「いない」と回答し、もう一方には回答しなかった 8 人（合計 656 人、表 5-1 の黒色部分）

以下では、上記の周りに [いる] と周りに [いない] に該当する人びとに注目して集計をする。

図 5-6 にはなんらかの性的マイノリティが周りに [いる] 割合と [いない] 割合のみを示している。[いる] 人は全体の 6.1% (77 人) で、男性 (5.3%) よりも女性 (6.8%) のほうが多い。

年代別では、若い人のほうが [いる] 割合が高く、20 代と 30 代では 1 割を超えているが、50 代以上では 2~3% である。[いない] 人は全体の 52.1% であり、20 代では 3 割台、30 代から 50 代では 4 割台で半数に満たないが、60 代では 6 割、70 代では 4 分の 3 と高く、60 代以上と、50 代以下との間に大きな差がみられる。

図 5-6 性的マイノリティが周りに [いない] 人と [いる] 人の割合
(全体、性別、年代別)



3. まとめ

職場の同僚や、近い友人、親せきや家族に性的マイノリティがいると認識している人は、ごく少数である。「同性愛者」「性別を変えた人(あるいはそうしようと考えている人)」のそれぞれ、あるいは少なくともどちらか一方が周りにいるという人は、全体で見ても、性別で分けてみても1~6%である。若い人のほうが「いる」という人が多く、どちらか一方でもいるという人は20代と30代では1割を超えているが、50代以上では2~3%である。「性別を変えた人」が「いる」と認識している人はとくに少なく、20代でも5%である。どちらも「いない」という割合は、20代では3割台、30代から50代では4割台で半数に満たないが、60代では6割、70代では4分の3で、60代以上と、50代以下との間に大きな差があることがわかった。

第6章 行為・感情に対する嫌悪感と抵抗感¹

風間 孝

近年では性的マイノリティが、マスメディア等で頻繁にとりあげられるようになってい
る。誰を好きになるのか、性別を移行するのは「個人の自由」として肯定する風潮もある。
こうした社会的な状況は、性的マイノリティの恋愛感情や性行為、そして性別移行への認
識にどのような影響を及ぼしているだろうか。

これまで性的マイノリティについての認識に関する調査では、同性愛について焦点が当
てられ、同性間の性行為についてたずねられることが多かった。この章では、同性との性
行為に加えて、手をつなぐこと／恋愛感情／性別を変えることの認識／恋愛感情への認識
と性行為への認識の関係、を検討する。また同性愛とともにメディアにおいてとりあげら
れることの多い「性別移行」への態度についてもたずねている。

この章で検討する項目のうち、性行為については、日本性教育協会が2011年に中学・高
校・大学生を対象として、「同性と性的行為をすること」についての認識を、「かまわない」
「どちらかといえばかまわない」「どちらかというともよくない」「よくない」「わからない」
の中から選択するかたちで調査している。「かまわない」「どちらかといえばかまわない」
の合計は、中学男子11.1%、中学女子19.6%、高校男子17.4%、高校女子32.5%、そして
大学男子は41.7%、大学女子は51.0%となっている（日本性教育協会2013）。この合計を
容認層とみなせば、50%を上回るのは大学女子のみであり、中学／高校／大学のいずれで
も男子のほうが同性間の性行為に対する抵抗感が強いことがわかる。ちなみに、同性愛者
に対する態度に性差がみいだされ、男性により抵抗感が強いことはこれまでの多くの研究
で指摘されている（石丸2008; 和田1996, 2008）。

日本性教育協会の調査結果は同性間の性行為に対する大学生の男女別の認識を明らかに
しているが、本章の分析にあたっては、全体の傾向および性別による集計に加えて、年代
ごとの比較をおこなった。同性愛・両性愛および性別移行に対する嫌悪感は現在の日本に
おいてどのような形で表出され、それが性別および年代によってどのように異なっている
のだろうか。なお、本章は「行為・感情に対する嫌悪感と抵抗感」を明らかにすることを
目的としているが、「気持ちが悪い」を嫌悪感、また「おかしい」を抵抗感とみなして分析
を行っている。またこれらの否定的な感情についてたずねているのは、性的マイノリティ
への嫌悪感や抵抗感を明らかにするためである。

1. 手をつなぐこと／恋愛感情／性行為

調査では、(1) 手をつなぐことへの認識、(2) 恋愛感情についての認識、(3) 性行為
についての認識を調べた。設問は以下に示したとおりである。

¹ この章の集計表については、「第6章付表」を参照。

問 29 次のア～コについてのあなたのお考えやお気持ちをおたずねします。それぞれについて、あなたのお気持ちやお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
(ア) 街なかで男女が手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(イ) 街なかで男性どうしが手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ウ) 街なかで女性どうしが手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(エ) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(オ) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(カ) 男女両方に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(キ) 男性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ク) 女性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ケ) 異性と性行為をすることもあれば、同性と性行為をすることも、というのは気持ちが悪い	1	2	3	4
(コ) 男と女の間での性行為は気持ちが悪い	1	2	3	4

(1) の手をつなぐことへの認識では「男女」、「男どうし」、「女どうし」のそれぞれについて、「街なかで手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い」かどうかをたずねた。(2) の恋愛感情についての認識では、「男性が男性に」、「女性が女性に」、そして「男女両方に」について、「恋愛感情を抱くのはおかしい」かどうかをたずねた。そして(3) の性行為についての認識では、「男どうし」、「女どうし」、そして「異性と性行為する場合もあれば同性と性行為する場合」、そして「男と女の間」の「性行為は気持ちが悪いか」をたずねた。結果は、回答者全体の傾向に加えて、年代および(自認する)性別によって回答がどのように異なるのかを示している。

分析にあたっては(ア)～(ウ)、(キ)～(コ)の設問における回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を[気持ち悪い]に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を[気持ち悪くない]として表記する。また(エ)～(カ)の設問に対する回答のうち、「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」

を「おかしい」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「おかしくない」と表記する。ただし図ではもともとの選択肢である「そう思う」「そう思わない」等で表記している。

(1) 全体の傾向

① 手をつなぐことについての認識：「男どうし」が手をつなぐことに嫌悪感をもつ割合がもっとも高い

手をつなぐことについての認識は、「男女間」、「男どうし」、「女どうし」の間で大きな違いがみられた。「男どうし」が街なかで手をつなぐことへの嫌悪感をもつ人がもっとも多く、「男女」が手をつなぐことに嫌悪感をもつ人はほとんどいなかった。

「手をつないでいるのをみたら気持ち悪い」の質問に「気持ち悪い」と答えた割合は、「男どうし」が65%を超えたのに対し、「男女」の場合は5%、「女どうし」では20%を下回った。「そう思う」と答えた割合でも、「男どうし」が25%を超え、他の2つを大きく引きはなしていた。(図 6-1)

② 恋愛感情についての認識：「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」の恋愛感情に対する抵抗感の割合は大きく変わらない

①で述べたように手をつなぐことに対して「気持ち悪い」と答えた割合では「男どうし」と「女どうし」の間に大きな差がみられたが、恋愛感情への抵抗感の割合では「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」に大きな差はみられなかった。

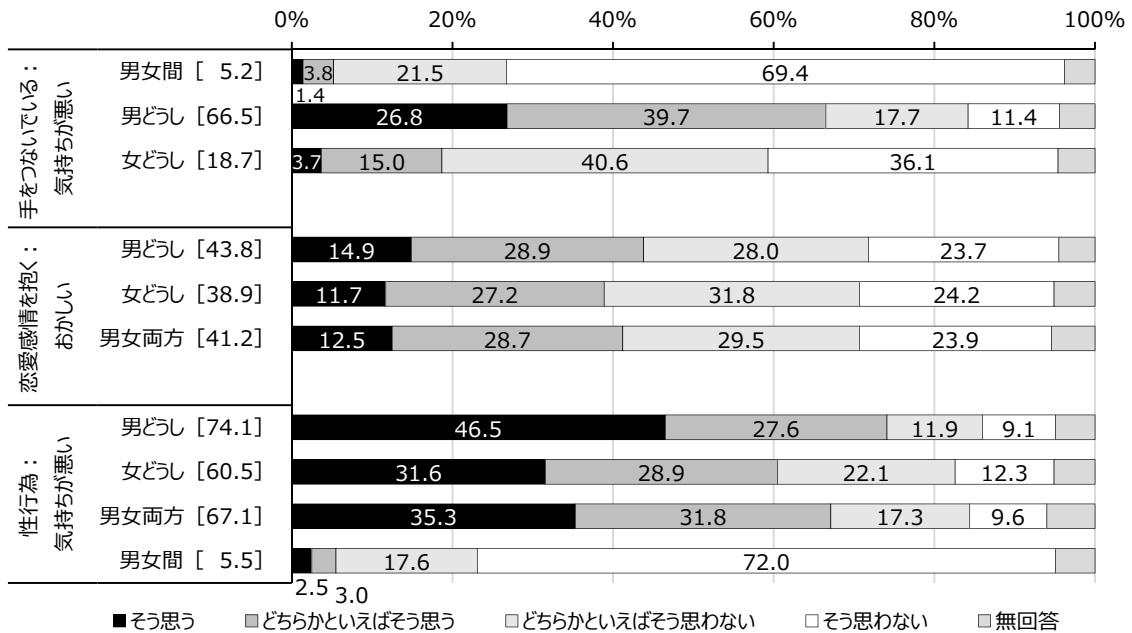
「恋愛感情を抱くのはおかしい」との質問に、「おかしい」と答えた割合は、「男どうし」で約45%、「女どうし」「男女両方」ともに約40%であった。また、同様の質問に対する「おかしくない」の割合は、「男どうし」「女どうし」「男女両方」のいずれにおいても5割を超えていた。(図 6-1)

③ 性行為についての認識：「男どうし」の性行為に対して嫌悪感をもつ割合がもっとも高い

「男女間」の性行為に比べ、「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」(と)の性行為に対して嫌悪感をもつ人が多かった。なかでも「男どうし」の性行為に嫌悪感をもつ人の割合がもっとも高かった。

「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」、そして「男女間」の性行為について、「気持ち悪い」と答えた割合は、「男女間」では5%だった一方、「男どうし」で74%、「女どうし」で60%、「男女両方」で67%であった。また、約半数(46.5%)が「男どうし」の性行為に対して「そう思う」(=気持ち悪い)と答えており、「男どうし」の性行為に対して抵抗感をもつ人がもっとも多かった。一方で、「女どうし」の性行為に「そう思う」(=気持ち悪い)と回答した者は約3割で、「男女間」を除けばもっとも抵抗感をもつ人が少なかった。(図 6-1)

図 6-1 手をつなぐこと／恋愛感情／性行為についての認識



回答者数：1,259人。[]内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

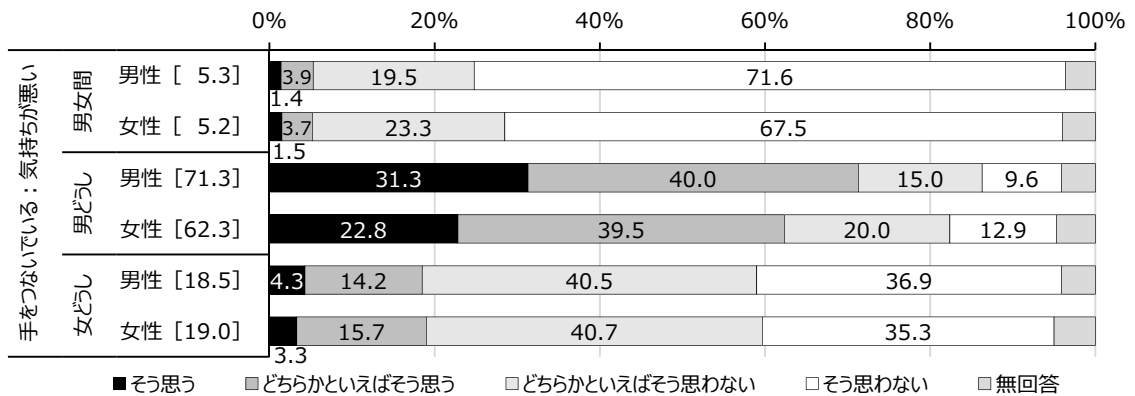
(2) 性別による比較

① 手つなぎ：「男どうし」の手つなぎに対して男性が嫌悪感をもつ割合が高い

街なかで手をつなぐことに対しては、「男女間」と「女どうし」では男女間で回答傾向に大きな差はみられなかったが、「男どうし」に対しては男性に嫌悪感をもつ人が多かった。

「街なかで手をつなぐのは気持ち悪い」の設定に、「気持ち悪い」と答えた割合は、「男女間」では男女ともに5%であり、「女どうし」では男女ともに2割弱と、男女の回答傾向に顕著な差はみられなかったが、「男どうし」では、男性が7割であった一方で、女性は6割であった。(図 6-2)

図 6-2 性別による比較：手をつなぐことについての認識



回答者数：男性 585人、女性 674人

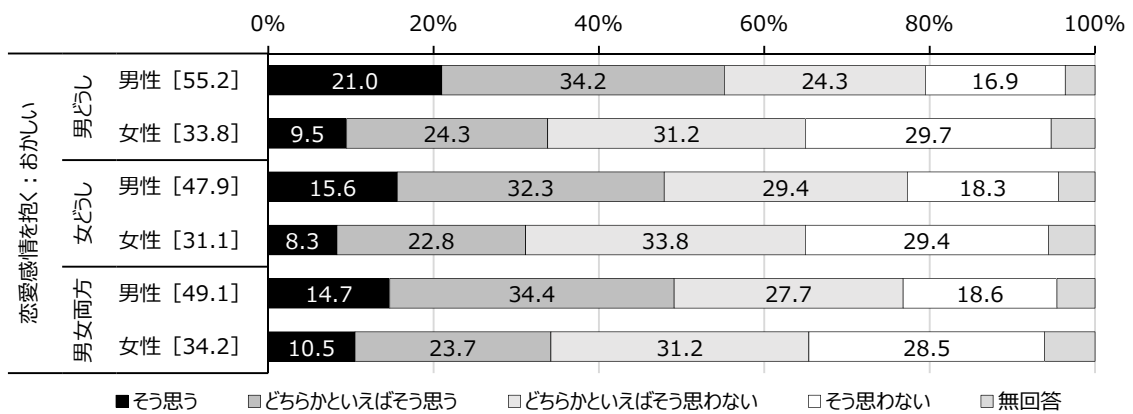
[]内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

② 恋愛感情：男性のほうが「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」の恋愛感情に抵抗感をもつ人が多い

「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」の恋愛感情のいずれにおいても、男性のほうが抵抗感をもつ人が多く、女性のほうが少なかった。

「恋愛感情を抱くのはおかしい」の質問に、「おかしい」と答えた割合は、男性では「男どうし」で55%、「女どうし」、「男女両方」はともに5割弱であった。一方、女性では「男どうし」「女どうし」「男女両方」のすべてにおいて3割台であり、この3つの間に大きな差はみられなかった。(図6-3)

図6-3 性別による比較：恋愛感情についての認識



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

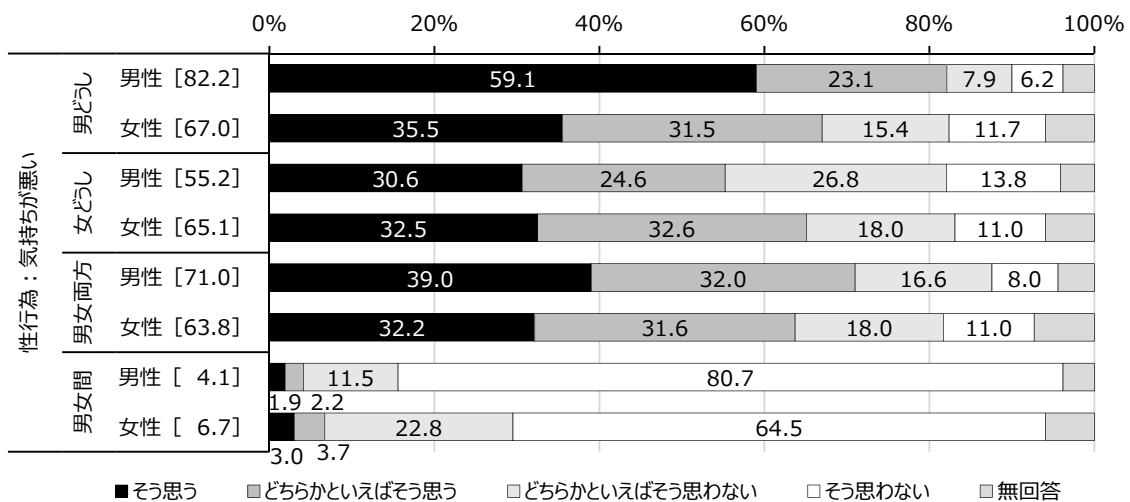
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

③ 性行為：女性の示す嫌悪感の割合は一定なのに対し、男性の示す嫌悪感の割合は対象によって変動

「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」、そして「男女間」の性行為に対する嫌悪感の割合を性別で比較したところ、「男どうし」、「男女両方」では男性のほうが嫌悪感を示す割合が高かったが、「女どうし」、「男女間」では嫌悪感を示す割合は女性のほうが高かった。また、「男どうし」「女どうし」「男女両方」(と)の性行為に対して女性から示された嫌悪感の割合がほぼ一定であったのに対し、男性の割合は対象により変動した。

[気持ち悪い]の割合に注目すると、男性では、「男どうし」で8割、「女どうし」で5割、「男女両方」で7割、「男女間」で約5%であったのに対し、女性では「男どうし」「女どうし」「男女両方」でいずれも6割台であり、「男女間」で約5%であった。(図6-4)

図6-4 性別による比較：性行為についての認識



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

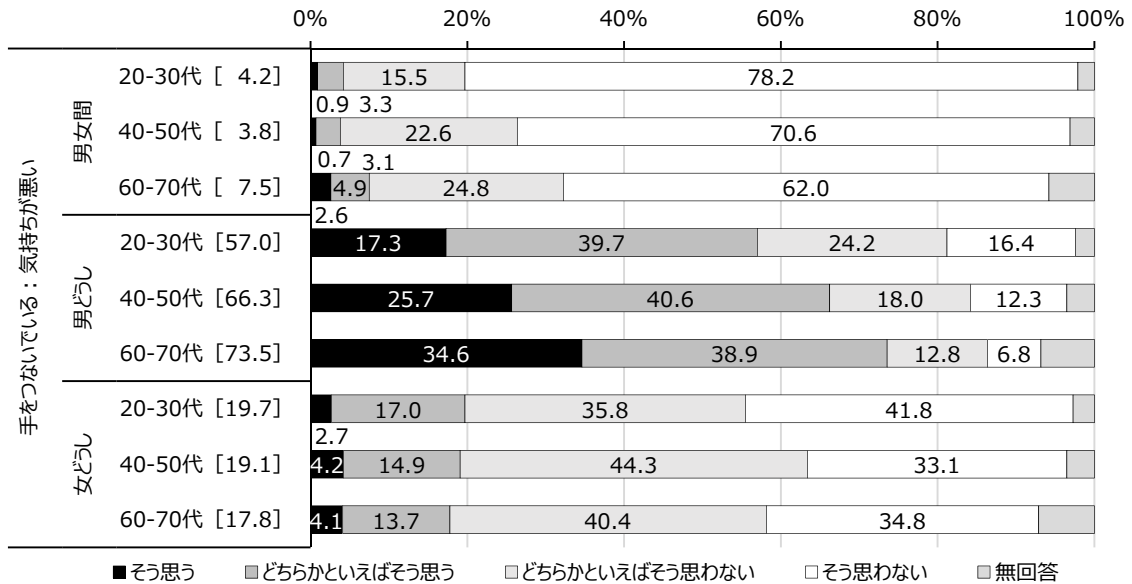
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(3) 年代別による比較

① 手つなぎ：「男女間」および「男どうし」が手をつなぐことに嫌悪感をもつ人が、年代が上がるにつれて多くなる

「男女間」および「男どうし」の手つなぎでは年代が上がるにつれて嫌悪感をもつ人が多くなったが、「女どうし」では年代による差はほとんどみられなかった。「手をつないでいるのをみたら気持ち悪い」の質問に、「気持ち悪い」と答えた割合は、「男女間」の手つなぎでは20-30代、40-50代は5%弱であったが60-70代は7%を超えた。「男どうし」の手つなぎではどの年代も50%を超え、60-70代では70%を超えていた。「女どうし」の手つなぎでは、どの年代でも2割を下回った。(図6-5)

図6-5 年代別による比較：手つなぎについての認識



回答者数：20-30代 335人、40-50代 456人、60-70代 468人

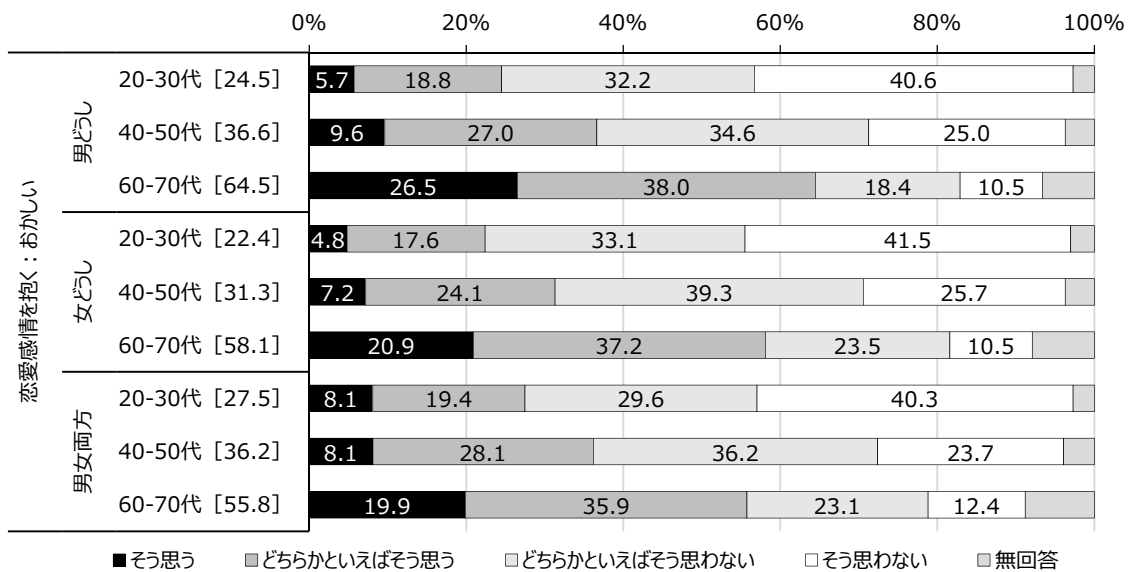
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

② 恋愛感情：年代が上がるにつれて「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」の恋愛感情に抵抗感をもつ人が増加

年代別に「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」の恋愛感情への抵抗感を比較したところ、いずれにおいても年代が上がるにつれて抵抗感をもつ人が多くなった(図6-6)。

「おかしい」の割合に着目すると、20-30代は「男どうし」で約25%、「女どうし」で約20%、「男女両方」で30%弱であったのに対し、40-50代は「男どうし」で約35%、「女どうし」で約30%、「男女両方」で約35%、60-70代は「男どうし」で約65%、「女どうし」で約60%、「男女両方」で約55%であった。(図6-6)

図6-6 年代別による比較：恋愛感情についての認識



回答者数：20-30代 335人、40-50代 456人、60-70代 468人

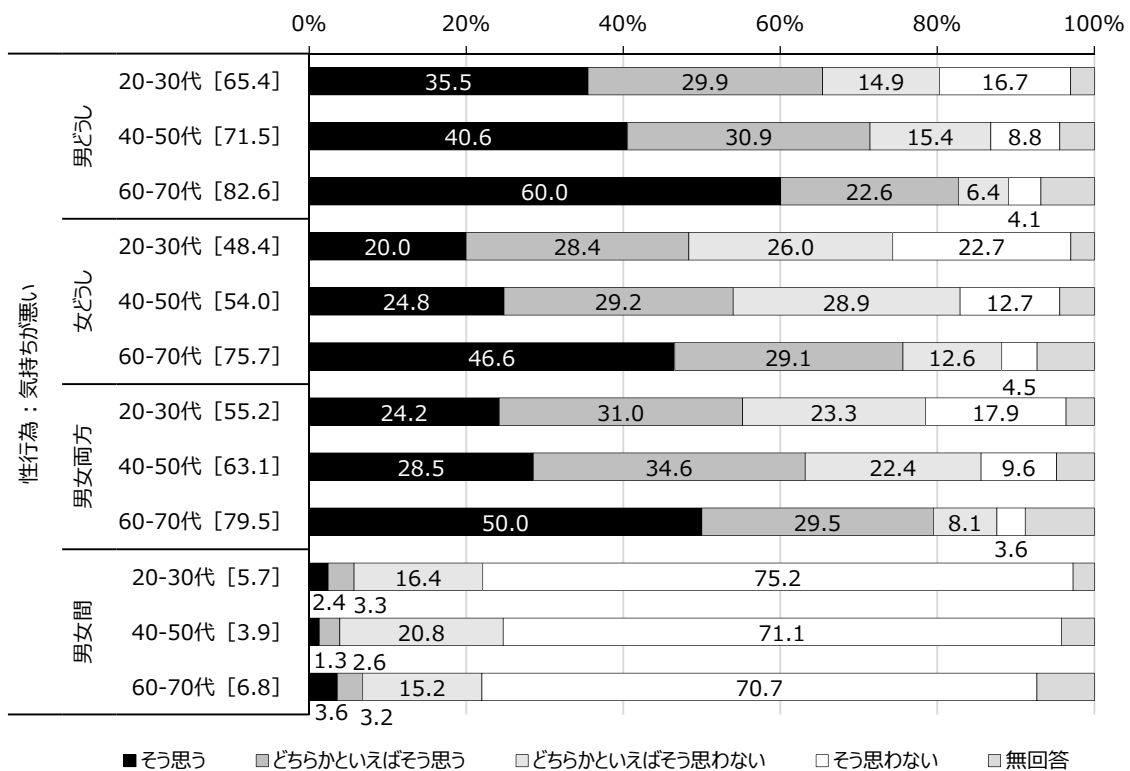
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

③ 性行為：「男女間」の性行為に対しては年代による差はみられなかったが、「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」の性行為では年代が上であるほどと嫌悪感をもつ人が多い

「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」、そして「男女間」の性行為に対する年代別の嫌悪感は、「男女間」の性行為では年代別による顕著な差はみられなかった一方で、「男どうし」、「女どうし」、「男女両方」の性行為では年代が上昇するにつれて抵抗感をもつ割合が高くなった。なかでも「男どうし」の性行為に対する嫌悪感、どの年代でも6割を超えていた。

「性行為は気持ち悪い」の質問に「気持ち悪い」と答えた割合は、20-30代では、「男どうし」で約65%、「女どうし」で約50%、「男女両方」で約55%、「男女間」で約5%であり、40-50代では、「男どうし」で約70%、「女どうし」で約55%、「男女両方」で約60%、「男女間」で約5%だった。60-70代においては、「男どうし」で80%強、「女どうし」で約75%、「男女両方」で80%弱、「男女間」で約5%であった。(図6-7)

図6-7 年代別による比較：性行為についての認識



回答者数：20-30代 335人、40-50代 456人、60-70代 468人
 [] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(4) まとめ

手をつなぐこと：全体の傾向では、「男どうし」が手をつなぐことについて嫌悪感をもつ人の割合が「男女間」および「女どうし」で手をつなぐことよりも高かった。性別による比較では、「男どうし」が手をつなぐことに対して、男性の嫌悪感を示す割合が高かった。また年代による比較では、「男女間」および「男どうし」の手つなぎに対し年代が上がるにつれて嫌悪感を示す割合が高くなった。

恋愛感情：全体の傾向では「男どうし」、「女どうし」および「男女両方」への恋愛感情に対する抵抗感の割合に大きな差はみられなかった。性別による比較では、「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」の恋愛感情のいずれにおいても、男性のほうがより抵抗感を示す割合が高かった。年代別では、「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」への恋愛感情のいずれにおいても年代が上がるにつれて抵抗感を示す割合が高くなった。

性行為：全体の傾向では、「男女間」の性行為に比べ、「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」との性行為に対して嫌悪感を示す割合が高かった。なかでも「男どうし」の性行為に対する嫌悪感の割合がもっとも高かった。性別による比較では、「男女間」の性行為に嫌悪感を示す割合は男女ともにごくわずかであったが、「男どうし」、そして「男女両方」との性行為では男性の嫌悪感を示す割合が高く、「女どうし」、「男女間」では女性のほうが高い割合を示した。また女性の割合は対象によって変化がなかったのに対し、男性の割合は対象により変動していた。年代別の比較では、「男女間」の性行為への嫌悪感の示す割合が一定だったのに対し、「男どうし」、「女どうし」、そして「男女両方」（と）の性行為に対しては、年代が上昇するにつれて抵抗感を示す割合が高くなった。

2. 性別移行への認識

この調査では、身体の性別を変えることについての認識を調べるために、以下の設問をもちいた。ここでは、移行する性別によって認識が異なる可能性を考慮して、性別を「男性から女性に変える」場合と「女性から男性に変える」場合に分けてたずねている。

問 30 身体の性別を変えることについておたずねします。次のア～オについて、あなたのお気持ちや お考えにもっとも近いものを1、2、3、4 から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

		1	2	3	4
		そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない
(ア)	性別を男性から女性に変えるのはおかしい	1	2	3	4
(イ)	性別を女性から男性に変えるのはおかしい	1	2	3	4

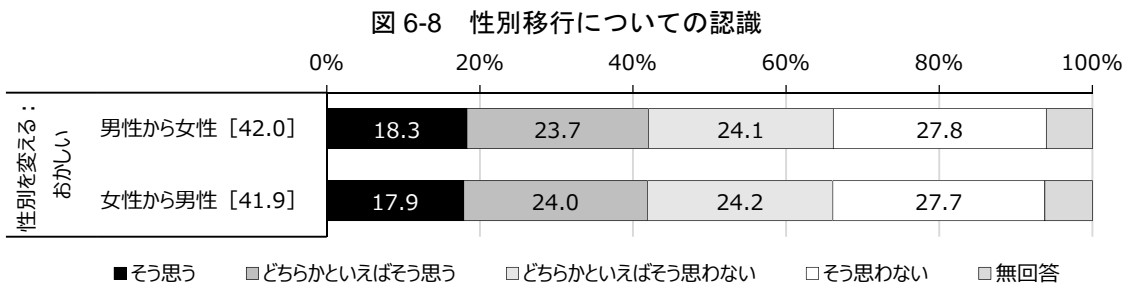
結果は、1. と同様に回答者全体の傾向に加えて、年代および（自認する）性別によって回答がどのように異なるのかを示している。

また設問に対する回答のうち、「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「おかしい」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「おかしくない」と表記する。ただし図ではもともとの選択肢である「そう思う」「そう思わない」等で表記している。

(1) 全体の傾向：約4割が性別移行に抵抗を示す

約4割の人が「男性から女性」への性別移行、「女性から男性」への性別移行に抵抗を感じており、両者の間に大きな差はみられなかった。

「性別を変えるのはおかしい」の質問に「おかしい」と答えた割合は「男性から女性」が42.0%、「女性から男性」が41.9%でほぼ同じであった。(図6-8)



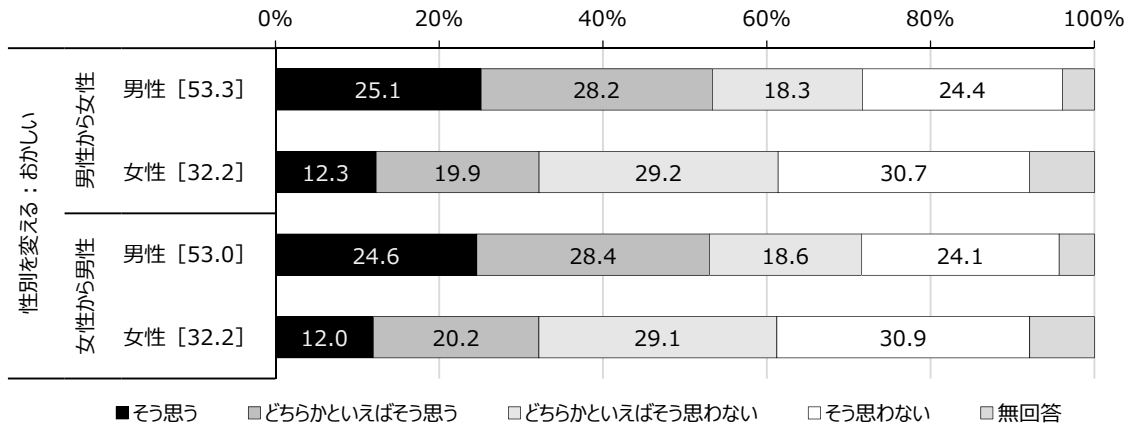
回答者数：1,259人。[]内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

(2) 性別による比較：男性の半数以上、女性の約3割が抵抗感を示す

性別移行に関する男女の抵抗感を比較すると、男性では半数以上が、女性では約3割が抵抗感を示し、男性に抵抗感をもつ割合が高かった。(図6-9)

「性別を変えるのはおかしい」の質問に、「おかしい」と答えた割合は、男性では「男性から女性」が53.3%、「女性から男性」が53.0%であり、いずれにおいても約5割だったが、女性では「男性から女性」、「女性から男性」がともに32.2%であり両者ともに約3割であった。女性のほうが2割ほど、抵抗感をもつ割合が低かった。

図 6-9 性別による比較：性別移行についての認識



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

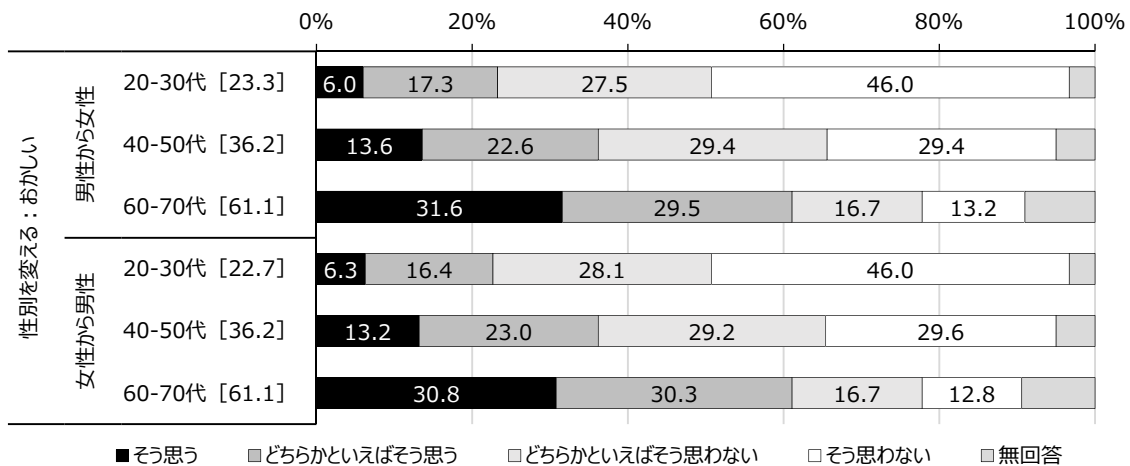
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(3) 年代別による比較：年代が上であるほど性別移行に抵抗感を示す割合が多い

年代が上がるにつれて「男性から女性」、「女性から男性」へ性別移行することに対する抵抗感をもつ割合が高くなった。「男性から女性」および「女性から男性」に対する年代別の回答傾向はほぼ同じであった。(図 6-10)

「性別を変えるのはおかしい」との質問に、[おかしい]と答えた割合は、「男性から女性」「女性から男性」とともに、20-30代では2割強であり、40-50代では約3割5分、60-70代では約6割であった。

図 6-10 年代別による比較：性別移行についての認識



回答者数：20-30代 335 人、40-50代 456 人、60-70代 468 人

[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(4) まとめ

性別を「男性から女性」、および「女性から男性」に移行することに抵抗感を示した割合は、ともに約4割であり、両者の間に大きな差はみられなかった。

男女間における抵抗感の比較では、「男性から女性」、「女性から男性」のいずれも男性のほうが抵抗感をもつ割合が高く、半数以上が抵抗感を示した。年代別の比較では、年代が上がるにつれて性別を変えることへの抵抗感をもつ割合が高くなった。

3. 恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係

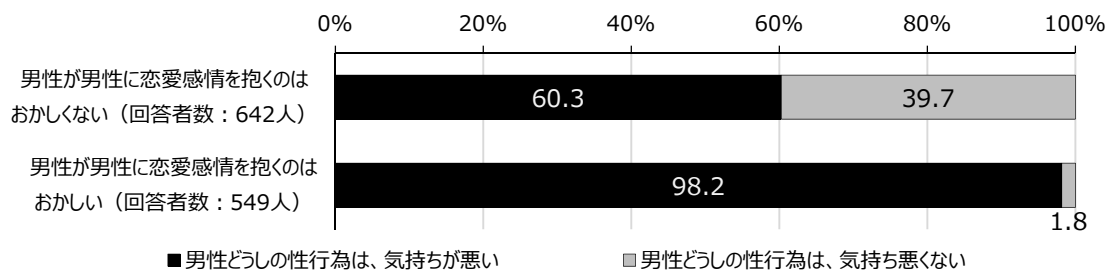
恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感との関連をみるため、1. で示した「恋愛感情」および「性行為」の設問をもちいてクロス集計を行った（問29）。分析にあたっては問29（エ）～（カ）における回答選択肢のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「おかしい」に、そして「3. どちらかといえばおかしくない」と「4. おかしくない」を「おかしくない」に、また、（キ）～（ク）における「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「気持ち悪い」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「気持ち悪くない」に統合して表記している。

(1) 男どうし：男どうしの恋愛感情を容認した人の6割が男どうしの性行為に嫌悪感

「男どうしの恋愛感情」への抵抗感と「男どうしの性行為」への嫌悪感の関係をみたところ、「男どうしの恋愛感情」に「おかしくない」と答えた人のうち、6割が「男どうしの性行為」に「気持ち悪い」と答えていた。（図6-11）

男性が男性に恋愛感情を抱くのは「おかしい」と答えた人のうち、男どうしの性行為は「気持ち悪い」と答えた人は98.2%であり、恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感はほぼ重なっていた。一方で、男性が男性に恋愛感情を抱くのは「おかしくない」と答えた人のうち、「男どうしの性行為」は「気持ち悪くない」と答えた人は39.7%に過ぎず、「気持ち悪い」と答えた人が60.3%であり、「気持ち悪い」と答えた人のほうが多かった。

図6-11 男どうし：恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係

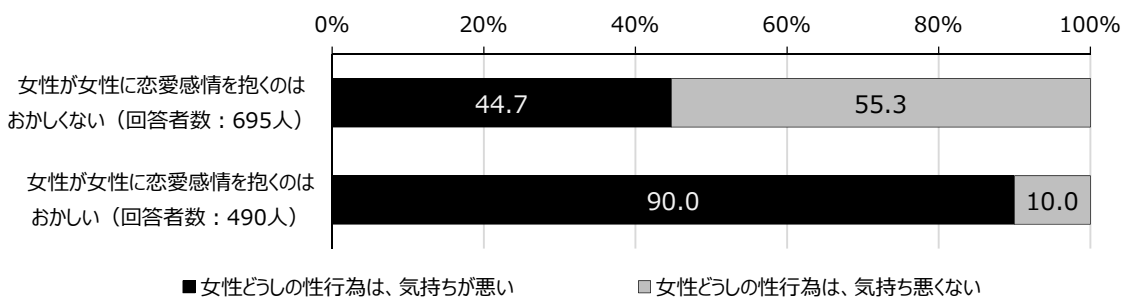


(2) 女どうし：女どうしの恋愛感情を容認した人の4割強が、女どうしの性行為に嫌悪感

「女どうしの恋愛感情」は「おかしくない」と答えた人のうち4割強が「女どうしの性行為」は「気持ち悪い」と答えた。(図6-12)

女性が女性に恋愛感情を抱くのは「おかしい」と答えた人のうち、「女どうしの性行為」は「気持ち悪い」と答えた人は90.0%だった。他方、女性が女性に恋愛感情を抱くのは「おかしくない」と答えた人のうち、女どうしの性行為は「気持ち悪くない」が55.3%、「気持ち悪い」が44.7%であった。女性どうしの恋愛感情は「おかしくない」と答えた人のうち、半数近くが女性どうしの性行為を「気持ち悪い」と答えていた。

図6-12 女どうし：恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係

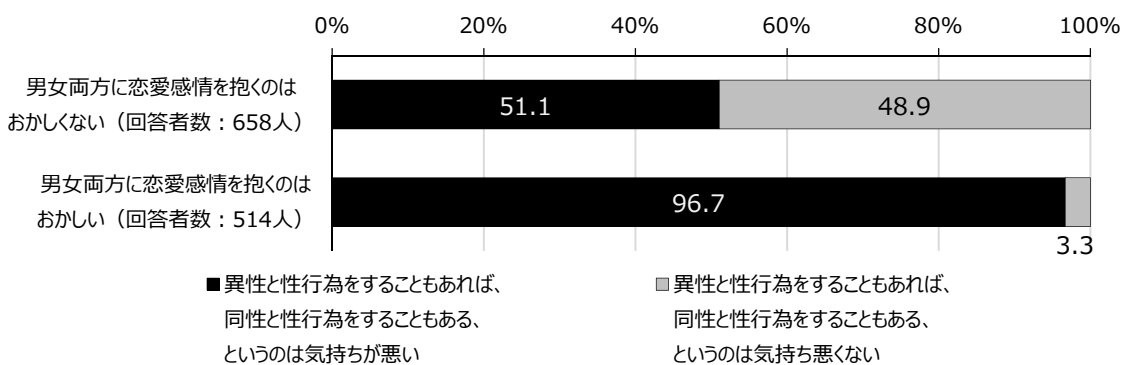


(3) 男女両方：男女両方への恋愛感情を容認した人の約半分が男女両方との性行為に嫌悪感

「男女両方への恋愛感情」を「おかしくない」と容認しつつも、約5割の人が「男女両方との性行為」は「気持ち悪い」と答えた。(図6-13)

男女両方への恋愛感情と男女両方との性行為についての認識の関係では、男女両方に恋愛感情を抱くのは「おかしい」と答えた人のうち、男女両方との性行為は「気持ち悪い」と答えた人は96.7%であり、恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感はほぼ重なっていた。他方で、男女両方に恋愛感情を抱くのは「おかしくない」と答えた人のうち、男女両方との性行為は「気持ち悪い」と答えた人は51.1%であった。

図6-13 男女両方：恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係



(4) まとめ

同性どうし、および男女両方への恋愛感情を「おかしくない」と答えた人の半数近くが同性間および男女両方との性行為を「気持ち悪い」と回答した。

4. まとめ

(1) 手をつなぐこと／恋愛感情／性行為

全体の傾向：手つなぎでは、「男どうし」「女どうし」「男女間」のうち、「男どうし」の手つなぎに対して嫌悪感を示す人が多かった。「女どうし」の手つなぎが「男どうし」の手つなぎよりも「男女間」の手つなぎに近い割合を示したのは、「男どうし」の手つなぎが性的な行為とみなされる一方で、「女どうし」の手つなぎがそのようにはみなされないというジェンダーによる違いを示していると考えられる。つぎに、恋愛感情では、「男どうし」「女どうし」「男女両方」(と)の恋愛感情に抵抗感を示したのは約4割で、半数以上の人は抵抗感を示していなかった。性行為では、「男女間」に対して嫌悪感をもつ割合は顕著に少なかった一方で、「男どうし」「女どうし」「男女両方」(と)の性行為に対して嫌悪感をもつ割合は6割以上であった。「男女間」の性行為と「男どうし」「女どうし」「男女両方」(と)の性行為の間には、依然として大きな格差が存在し、同性愛や両性愛への嫌悪感の根強さが確認された。

性別による比較：手つなぎでは、「男どうし」の手つなぎに対して男性が嫌悪感を示す割合が高かった一方で、「男女間」と「女どうし」の手つなぎでは男女間に差はみられなかった。恋愛感情では、「男どうし」「女どうし」「男女両方」(と)の恋愛感情に対し、男性のほうが抵抗感をもつ割合が高かった。性行為では、男性のほうが「男どうし」「男女両方」(と)の性行為に嫌悪感をもつ割合が高く、「女どうし」と「男女間」では女性の抵抗感の割合が男性を上回った。女性の示す嫌悪感の割合は対象によってあまり変動しなかったのに対し、男性の示す割合は対象によって大きく異なっていた。

年代による比較：全体的に年代が上であるほど抵抗感や嫌悪感をもつ人が多かったが、「男女間」および「女どうし」の手つなぎ、「男女間」の性行為では年代による顕著な差はみられなかった。

(2) 性別移行

「男性から女性」、「女性から男性」への性別移行に嫌悪感をもつ人は約4割であり、両者に顕著な差はみられなかった。性別による比較では男性のほうが、年代による比較では高い年代のほうが抵抗感をもつ人が多かった。

(3) 恋愛感情への抵抗感と性行為への嫌悪感の関係

同性間もしくは両性に対する恋愛感情を容認した人のうち、約半数が同性間もしくは両性との性行為に嫌悪感をもっていた。恋愛感情の容認とは性行為の容認を含まず、限定的な容認であることが示された。

文献

- 石丸径一郎, 2008, 『同性愛者における他者からの拒絶と受容——ダイアリー法と質問紙によるマルチメソッド・アプローチ』ミネルヴァ書房.
- 日本性教育協会(編), 2013, 『「若者の性」白書——第7回青少年の性行動調査報告』, 小学館.
- 和田実, 1996, 「青年の同性愛に対する態度——性および性役割タイプによる差異」『社会心理学研究』12: 9-19.
- , 2008, 「同性愛に対する態度の性差——同性愛についての知識、同性愛者との接触、およびジェンダー・タイプとの関連」『思春期学』26(3): 322-334.

第7章 身近な人に対する嫌悪感¹

釜野 さおり

第6章では、同性間の性関係や恋愛感情、あるいは性別を変えるなどの、行為や感情に対する抵抗感と嫌悪感を捉えた。しかしこれらの感情や行為に対する感じ方と、身近な人が同性愛者であったりトランスジェンダーであったりする場合は、必ずしも同じではないだろう。そこで本章では、身近さが段階的に異なる4つの関係性—近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子ども—に注目し、これらの人びとが性的マイノリティだった場合の感じ方をみていく。

以下の1.では、近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子どものそれぞれが、性的マイノリティだとしたらどう思うかを、回答者全体の傾向と、性別（回答者が自認している性別、以下同様）と年代別に分けた場合の結果を示す。そのさい、それぞれの関係にある人びとが性的マイノリティだったら「嫌だ」と思う感情・意識を、「嫌悪感」と捉えて分析していく。また、同僚と子どもに関しては、実生活で該当する人がいる回答者に限定した集計も行う。すなわち2.では職場の同僚について、現在仕事をもっている人を、3.では子どもについて、子どものいる人を取り出して、嫌悪感の傾向をみていく。さらに、同僚に対する嫌悪感については、回答者の仕事の種類（管理職、専門職、事務職、労務職など）による集計も示す。本調査では、性的マイノリティに対する否定的な感情がどの程度存在するのかを明らかにすることを全体の目的としている（詳細は第2章参照）。そのため、この章でもあえて「嫌悪感」を示す回答に着目する。

最後の4.では、身近な性的マイノリティに対する嫌悪感が、周りに性的マイノリティがいるかどうかの認識によって、どのように異なるのかをみていく。人びとの経験からも、また学術研究でも、性的マイノリティの知り合いがいる人のほうが、性的マイノリティに対する否定感が弱いことが指摘されている（和田 2008）。この関係性の背景には、性的マイノリティを実際に知っているとな否定的な感情が軽減されるのみでなく、性的マイノリティに否定的でない人のほうが、周りの性的マイノリティの存在に気づきやすい、あるいは当事者からカミングアウトされやすいため、結果的に周りに性的マイノリティがいるとの認識につながっている可能性もあるだろう。ここでは、こうした関係性がどのように生じるかまでは踏み込めないが、その関係性がみられるのかを明らかにする。

1. 身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感

この調査では、身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感を、以下の問いをもちいてたずねた。

¹ この章の集計表については、「第7章付表」を参照。

問 25 次の(1)と(2)について、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(1) 以下の人が同性愛者だったら、
あなたはどう思いますか。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、
あなたはどう思いますか。

	1 嫌 では ない	2 嫌 では ない ど ち ら か と	3 い ど ち ら か と い え ば 嫌 だ	4 嫌 だ
同性愛者 だったら、				
近所の人	1	2	3	4
職場の同僚	1	2	3	4
きょうだい	1	2	3	4
自分の子ども	1	2	3	4

	1 嫌 では ない	2 嫌 では ない ど ち ら か と	3 い ど ち ら か と い え ば 嫌 だ	4 嫌 だ
性別を変え た人だっ たら、				
近所の人	1	2	3	4
職場の同僚	1	2	3	4
きょうだい	1	2	3	4
自分の子ども	1	2	3	4

この問いは、同性愛者や性別を変えた人に対し、否定的な感情・嫌悪感をもつ人がどれくらいの割合でいるのかを捉えることを目的としている。したがって、選択肢には嫌悪感(嫌さ)の度合いを設定し、肯定的な意味をもつもの(たとえば、「好ましい」から「好ましくない」、「いいと思う」から「嫌だと思う」など)は含めなかった。身近な人が性的マイノリティだったら嫌だという反応には、困る、面倒だ、心配だ、どうしたらいいかわからない、といったさまざまな感情・意識が含まれると思われるが、ここでは、問いに対する「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」との回答を「嫌悪感」の現れだと捉えることとする。また、以下の記述では、「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」の回答をあわせて「嫌だ」と表記する場合もある。関係性については、「近所の人」と「職場の同僚」を他人、「きょうだい」と「自分の子ども」を身内として述べることもある。また、グラフで表記するさいは、嫌悪感の割合をわかりやすくするため、調査票上での選択肢の並び順を逆転させ、「嫌だ」から「嫌ではない」の順で表示する。

(1) 全体の傾向：近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子どもの順に「嫌だ」の割合が高く、きょうだいでは3分の2、子どもでは約4分の3が嫌悪感を示す

まず「近所の人」、「職場の同僚」、「きょうだい」、「自分の子ども」のそれぞれが、「同性愛者」だった場合と、「性別を変えた人」だった場合の回答者全体の回答傾向をみていく。嫌悪感を示す人は、「近所の人」や「同僚」のような他人に対しては少なく、「きょうだい」「子ども」のような身内に対しては多い。「嫌だ」という人は、少ない順から「近所の人」(3割台)、「職場の同僚」(3~4割台)、「きょうだい」(6割台)、「自分の子ども」(7割台)である。

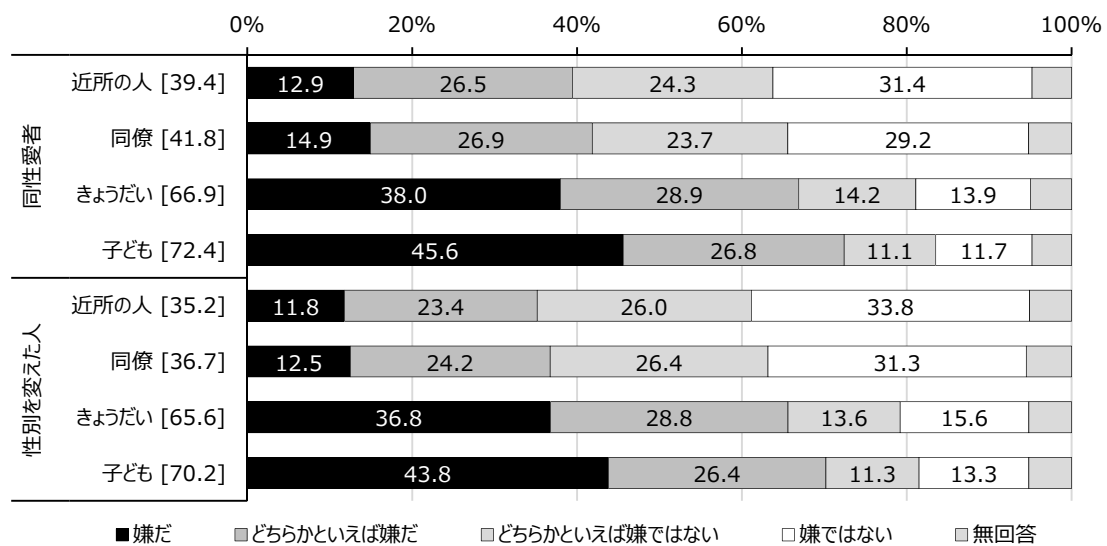
詳しくみていくと、他人が性的マイノリティだったら「嫌だ」と答えた割合は「同性愛者」であっても「性別を変えた人」であっても1割台(「近所の人」が「同性愛者」の場合は12.9%、「性別を変えた人」では11.8%、「同僚」ではそれぞれ14.9%と12.5%)である。「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」をあわせた「嫌だ」の割合は、「同性愛者」の場合は4割前後(「近所の人」39.4%、「同僚」41.8%)、「性別を変えた人」の場合は3割台(「近

所の人」35.2%、「同僚」36.7%)で、嫌悪感を示す人はいずれも半数に満たない。

一方、身内の場合は「嫌だ」と答える割合が3~4割で、「きょうだい」では3割台(「同性愛者」38.0%、「性別を変えた人」36.8%)、「自分の子ども」ではさらに高く4割台(「同性愛者」45.6%、「性別を変えた人」43.8%)である。[嫌だ]の割合は「きょうだい」では3人中2人程度(66.9%、65.6%)、「自分の子ども」では7割台(72.4%、70.2%)である。

全般に、「同性愛者」と「性別を変えた人」の場合の割合の差は小さいが、「同性愛者」の場合のほうが嫌悪感を示す人が若干多い。(図7-1)

図7-1 近所の人/職場の同僚/きょうだい/自分の子どもが「同性愛者」/「性別を変えた人」だった場合の反応



回答者数：1,259人。[]内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合(%)。

(2) 性別でみた、身近な人が性的マイノリティだった場合の反応：男性のほうが女性より嫌悪感を示す人が多く、自分の子どもでは男性の半数が「嫌だ」と回答

次に、身近な人が性的マイノリティだった場合どう思うかを、回答者の性別によってみていくと、男性のほうが女性よりも嫌悪感を示す割合が高い。この傾向は「同性愛者」の場合も「性別を変えた人」場合も、またどの関係性についてもみられる。

他人が「同性愛者」の場合に嫌悪感を示す人([嫌だ])の割合は、男性では半数前後(「近所の人」47.0%、「同僚」50.6%)であるが、女性では3割台(「近所の人」32.9%、「同僚」34.3%)である。「性別を変えた人」の場合は、「同性愛者」の場合よりも割合がやや低く、男性では4割台(「近所の人」42.1%、「同僚」44.6%)、女性では30%前後(「近所の人」29.2%、「同僚」30.0%)である。

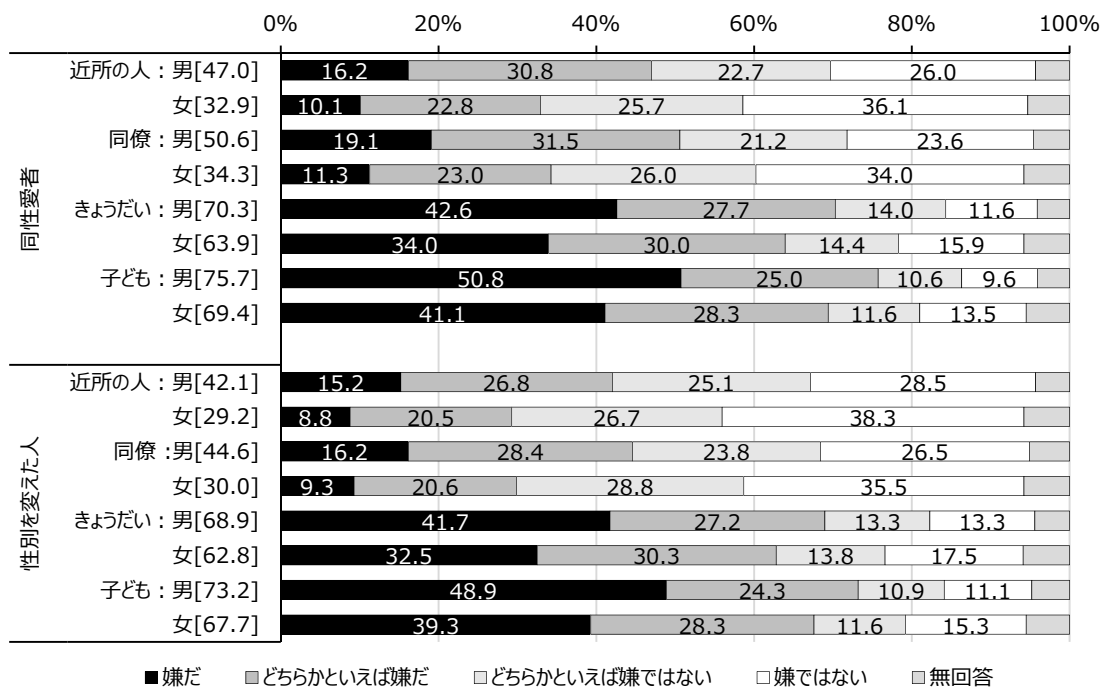
一方、身内が「同性愛者」の場合、男性の7割台(「きょうだい」70.3%、「子ども」75.7%)、女性の6割台(「きょうだい」63.9%、「自分の子ども」69.4%)が嫌悪感を示し、いずれも他人の場合より多い。「性別を変えた人」でも同じ傾向がみられ、男性の約7割(「きょうだい」68.9%、「子ども」73.2%)と、女性の6割台(それぞれ62.8%、67.7%)が嫌悪感

をもっている。身内よりも他人の場合のほうが、性別による「嫌だ」の割合の差が大きく、たとえば「同性愛者」では、「同僚」での差がもっとも大きく16ポイント、「自分の子ども」と「きょうだい」ではもっとも小さく6ポイントである。

「嫌だ」と答えた人の割合をみると、唯一半数を超えているのは、自分の子どもが「同性愛者」の場合の男性回答(50.8%)である(「性別を変えた人」の場合は半数未満の48.9%)。逆に「嫌ではない」という回答に注目すると、「同性愛者」でも「性別を変えた人」でも、女性の回答は「近所の人」(36.1%)と「同僚」(34.0%)で30%を超えているが、男性ではすべて2割台である。「きょうだい」や「自分の子ども」の場合は、男女ともすべてで1割台であるか、1割を下回る。

このように男女とも、「近所の人」、「職場の同僚」、「きょうだい」、「自分の子ども」の中では、近い関係にあるほうが、嫌悪感を示す人が多い。「自分の子ども」が性的マイノリティの場合、男性の半数前後、女性の4割前後が「嫌だ」と答えている。(図7-2)

図7-2 性別でみた、近所の人/職場の同僚/きょうだい/自分の子どもが「同性愛者」/「性別を変えた人」だった場合の反応



回答者数：男性585人、女性674人

[]内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合(%)。

(3) 年代別にみた、身近な人が性的マイノリティだった場合の反応

次に、回答者の年代別に、身近な人が性的マイノリティだった場合の反応について述べる。①では「近所の人」、「同僚」が「同性愛者」だった場合、②では「きょうだい」、「子ども」が「同性愛者」だった場合、③では「近所の人」、「同僚」が「性別を変えた人」だった場合、④では「きょうだい」、「子ども」が「性別を変えた人」だった場合をみていく。

① 年代別にみた、近所の人/職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応：年代が上であるほど、嫌悪感を示す人が多い

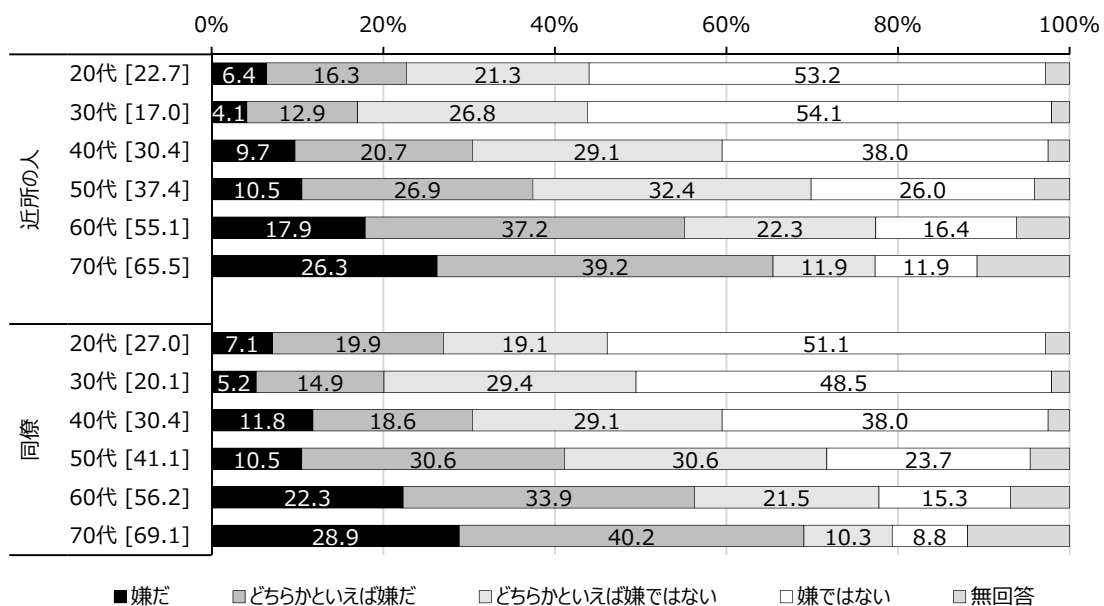
「近所の人」や「同僚」が「同性愛者」だったらどう思うのかを、年代別にみると、おおむね、年代が上であるほど嫌悪感を示す割合（「嫌だ」の割合）が高い。例外として 20 代のほうが 30 代よりも嫌悪感を示す割合が若干高い。

「近所の人」が「同性愛者」の場合では、20 代の 2 割台と 30 代の 1 割台後半、30 代と 40 代の 3 割台、60 代の 5 割台、70 代の 6 割台が嫌悪感を示している。「同僚」の場合もほぼ似た結果であり、嫌悪感を示す割合は 20 代と 30 代では 2 割台、40 代では 3 割、50 代では約 4 割、60 代では 5 割台、70 代では約 7 割である。「近所の人」でも「同僚」でも嫌悪感をもつ人の割合が半数を超えるのは 60 代以降である。

「嫌だ」を選択した人の割合は、「近所の人」、「同僚」のいずれでも、すべての年代で 3 割未満であり、20 代から 50 代までは 5%から 12%の範囲内である。「近所の人」の場合では、20 代から 50 代では 4%から 11%の範囲内であるが、60 代では 50 代より 7.4 ポイント高い 17.9%、70 代では 60 代より 8.4 ポイント高い 26.3%で、高齢であるほうが、年代による差が顕著である。「同僚」についても同様の傾向がみられ、割合の差は 20 代から 50 代では数パーセントであるが、50 代の 10.5%に対して、60 代ではその倍以上の 22.3%、70 代では約 3 割（28.9%）である。

「近所の人」と「同僚」を比べると、40 代の同値を除き後者のほうが嫌悪感を示す割合がどの年代でも高い。「近所の人」より「同僚」とのほうが、普段の交流や空間の共有が多いとすると、かかわりが多い人のほうが、嫌悪感を生じさせる傾向があると言える。（図 7-3）

図 7-3 年代別にみた、近所の人/職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応



回答者数：20 代 141 人、30 代 194 人、40 代 237 人、50 代 219 人、60 代 274 人、70 代 194 人
 [] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

② 年代別にみた、きょうだい/自分の子どもが「同性愛者」だった場合の反応：自分の子どもでは20代でも半数以上が嫌悪感を示し、30代では6割、40-50代では約7割、60-70代では8割と、年代が上であるほど高い

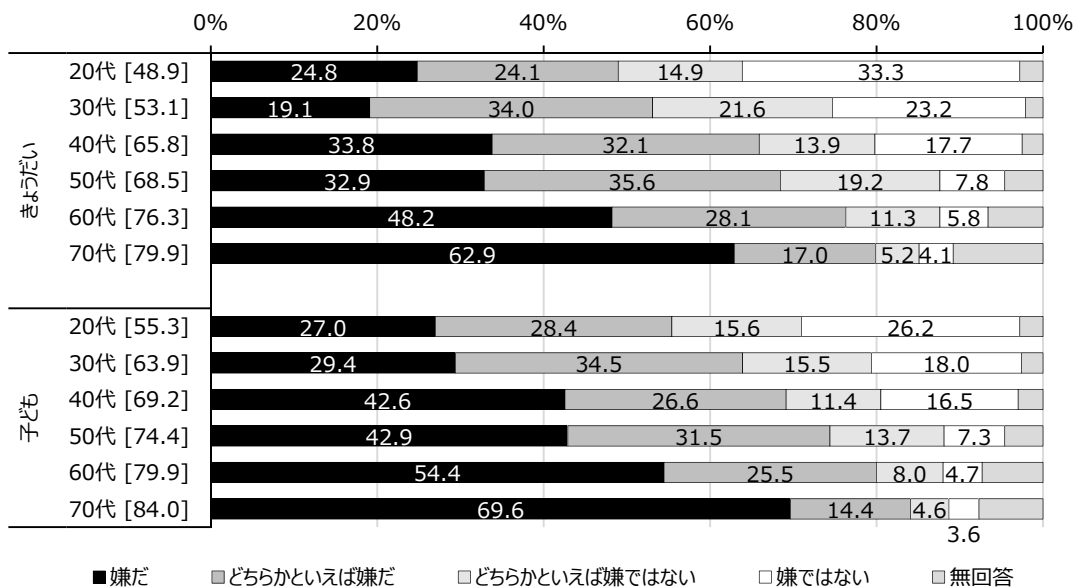
「きょうだい」や「自分の子ども」が「同性愛者」だった場合の反応をみると、どちらについても年代が上であるほど、嫌悪感を示す人が多い。

「きょうだい」が「同性愛者」だった場合に嫌悪感を示す割合（[嫌だ]の割合）は、20代では半数未満（48.9%）であるのに対し、30代では半数超（53.1%）、40代と50代では6割台（65.8%、68.5%）、60代では7割台（76.3%）、70代ではほぼ8割（79.9%）で、年代が上であるほど高い。「子ども」が「同性愛者」の場合は、嫌悪感を示す割合は20代でも半数を超えている（55.3%）。やはり年代が上であるほど、嫌悪感を示す割合も高い傾向があり、30代では6割台（63.9%）、40代ではほぼ7割（69.2%）、50代では7割台（74.4%）、60代では8割（79.9%）、70代では8割台（84.0%）にのぼる。

「きょうだい」が「同性愛者」だった場合の「嫌だ」のみの回答をみると、例外的に20代（24.8%）のほうが30代（19.1%）より割合が高い。その上の年代では、40代と50代では3割（33.8%、32.9%）、60代では約半数（48.2%）、70代では62.9%と、段階的に高くなる。「自分の子ども」が「同性愛者」だった場合でもほぼ同じ傾向がみられ、20代と30代では3割弱（27.0%、29.4%）、40代と50代では4割台（42.6%、42.9%）、60代は5割台（54.4%）、70代では7割近く（69.6%）が「嫌だ」と答えている。

「きょうだい」と「自分の子ども」の場合を比べると、どの年代でも「自分の子ども」の場合のほうが、嫌悪感を示す人が多い。30代、40代、50代では、「自分の子ども」の場合と「きょうだい」の場合の差が9～10ポイントで他の年代よりも大きい。（図7-4）

図7-4 年代別にみた、きょうだい/自分の子どもが「同性愛者」だった場合の反応



回答者数：20代141人、30代194人、40代237人、50代219人、60代274人、70代194人
 []内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合（%）。

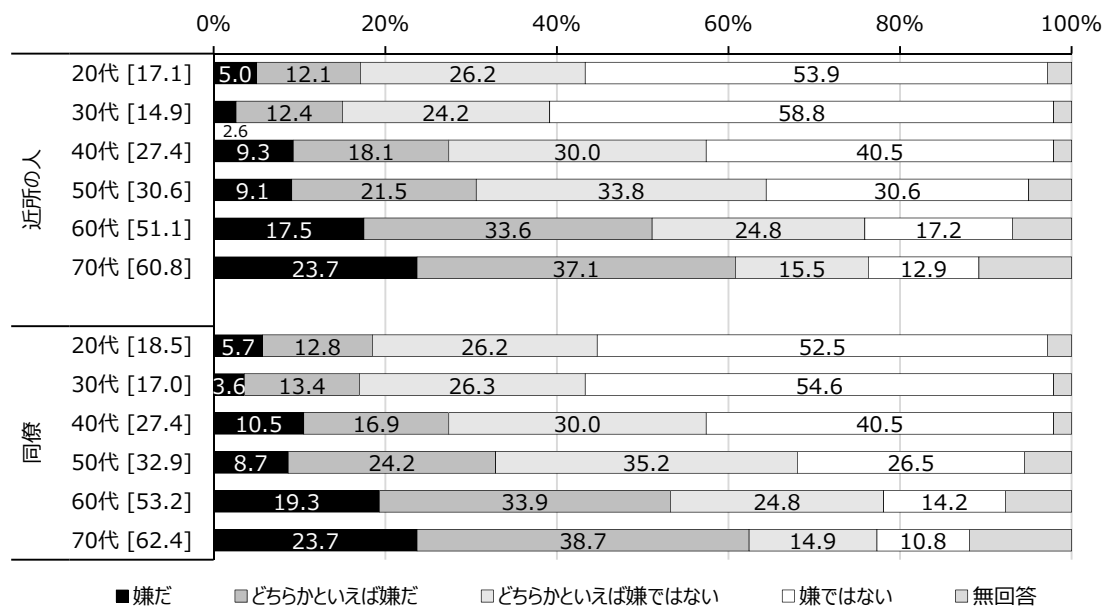
- ③ 年代別にみた、近所の人/職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の反応：年代が上であるほど嫌悪感を示す人が多く、50代以下では3割台、60代で半数超、70代では6割

「近所の人」および「職場の同僚」が「性別を変えた人」である場合の反応を年代別にみると、年代が上であるほど嫌悪感を示す割合（「嫌だ」の割合）が高く、20代と30代では1割台、40代では2割台後半、50代では3割台、60代では半数を超え、70代では6割にのぼる。

「嫌だ」のみの割合は、「近所の人」と「同僚」のいずれでも、20代と30代で5%前後、40代と50代で1割前後、60代で10%台後半、70代で約4人に1人である。

「性別を変えた人」が「近所の人」の場合と「同僚」の場合とを比べると、年代にかかわらず、「同僚」の場合のほうが嫌悪感を示す割合が若干高い。「近所の人」よりも「同僚」とのほうが日常的な交流や空間の共有などが多いと想定すると、かかわりの多い関係性にある場合のほうが、嫌悪感を生じさせるのかもしれない。ただし差はすべて数ポイント以内である。（図7-5）

図7-5 年代別にみた、近所の人/職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の反応



回答者数：20代141人、30代194人、40代237人、50代219人、60代274人、70代194人
 [] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

- ④ 年代別にみた、きょうだい/自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合：嫌悪感を示す割合は20代でも半数超、さらに年代が上であるほど高く、70代では8割前後

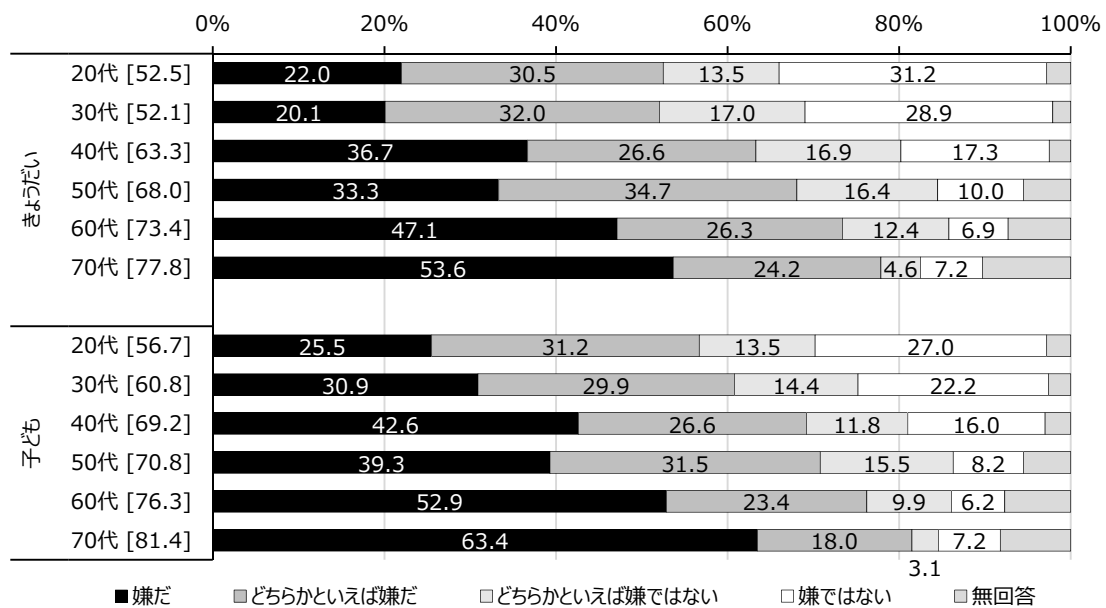
「きょうだい」や「自分の子ども」が「性別を変えた人」の場合の反応をみると、これまで示してきた傾向と同様に、年代が上であるほど嫌悪感（「嫌だ」）を示す人が多い。

「きょうだい」が「性別を変えた人」だった場合では、20代と30代では半数以上(52.5%、52.1%)、40代と50代では6割台(63.3%、68.0%)、60代と70代では7割台(73.4%、77.8%)が嫌悪感を示す。「自分の子ども」の場合に嫌悪感を示す割合は、20代では半数以上(56.7%)、30代では6割(60.8%)、40代、50代、60代では7割前後から7割台(69.2%、70.8%、76.3%)、70代では8割(81.4%)にのぼる。

「きょうだい」が「性別を変えた人」だった場合に「嫌だ」と答える人の割合をみると、20代と30代では2割台、40代と50代では3割台、60代では4割台、70代では5割台である。「嫌だ」の割合は30代でもっとも小さく20.1%で、すぐ上の40代の36.7%との差は16.6ポイント、また50代(33.3%)と60代(47.1%)の差は13.8ポイントである。もっとも低い30代でもっとも高い70代との間には33.5ポイントの差があり、年代によって大きく異なることが明らかである。

「自分の子ども」が「性別を変えた人」だったとしたら「嫌だ」と答える割合は、20代でも4人中1人(25.5%)、30代では3割(30.9%)、40代と50代では4割前後(42.6%、39.3%)、60代になると半数を超え(52.9%)、70代では6割台(63.4%)である。50代と60代の差が13.6ポイントでもっとも大きく、次いで30代と40代の差の11.7ポイントである。(図7-6)

図7-6 年代別にみた、きょうだい自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合の反応



回答者数：20代141人、30代194人、40代237人、50代219人、60代274人、70代194人
 []内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合(%)。

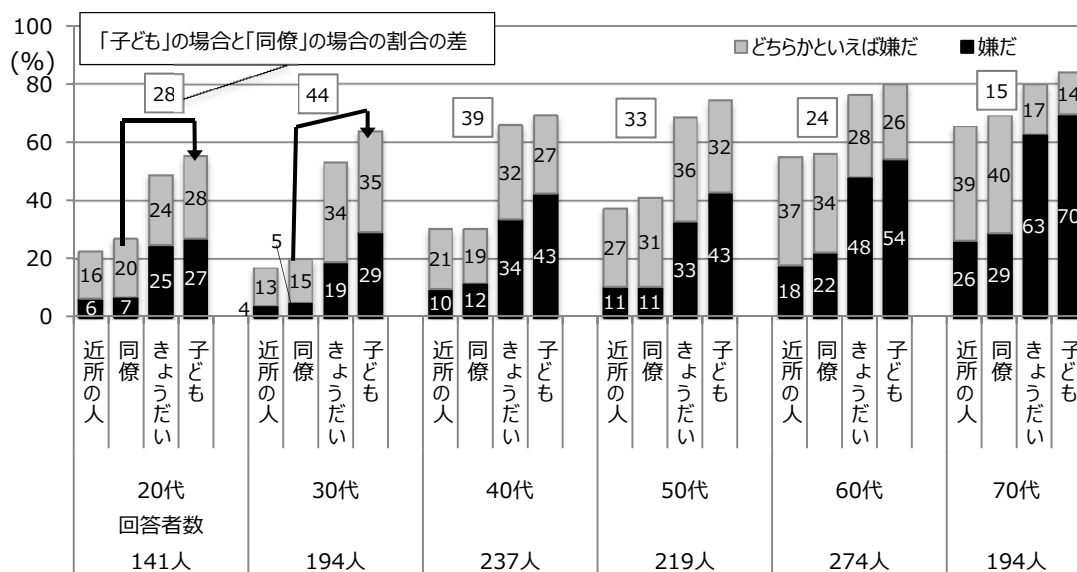
⑤ 年代別にみた身近な人が「同性愛者」/「性別を変えた人」だった場合の嫌悪感：
若い年代では、他人に対しては嫌悪感をもち人が少なく、身内に対しては多い

上記①～④では、「近所の人」、「職場の同僚」、「きょうだい」、「自分の子ども」のそれぞれが「同性愛者」である場合と「性別を変えた人」である場合の回答を年代によって示した。ここでは傾向をよりつかみやすくするために、同じ結果を回答者の年代ごとに「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」の割合のみを示す。参考までに「同僚」の場合と、「子ども」の場合の[嫌だ]の割合の差を「同僚」の棒グラフの上部に表示する。「同僚」と「子ども」の差を示すのは、他人の中では比較的交流や空間の共有が多い「同僚」と、身内の中で関係性が長期にわたる「自分の子ども」についての捉え方の違いに注目するためである。

まず「同性愛者」の場合について示した図 7-7 をみると、関係が近いほど、嫌悪感をもち割合が高いことが一目できる。ただし年代によって、身内と他人の捉え方の違いの傾向が異なっており、他人と身内の差は中年層でもっとも大きい。たとえば「同僚」と「自分の子ども」の差は中年層でとくに大きく、30代では44ポイント、40代では39ポイント、50代では33ポイントである。一方、60代と70代では「子ども」であっても「同僚」であっても嫌悪感をもち割合が高い。また、20代では、他人に対しては嫌悪感を示す人が少ないが、身内の場合にはより多くの人嫌悪感をもちことがわかる。(図 7-7)

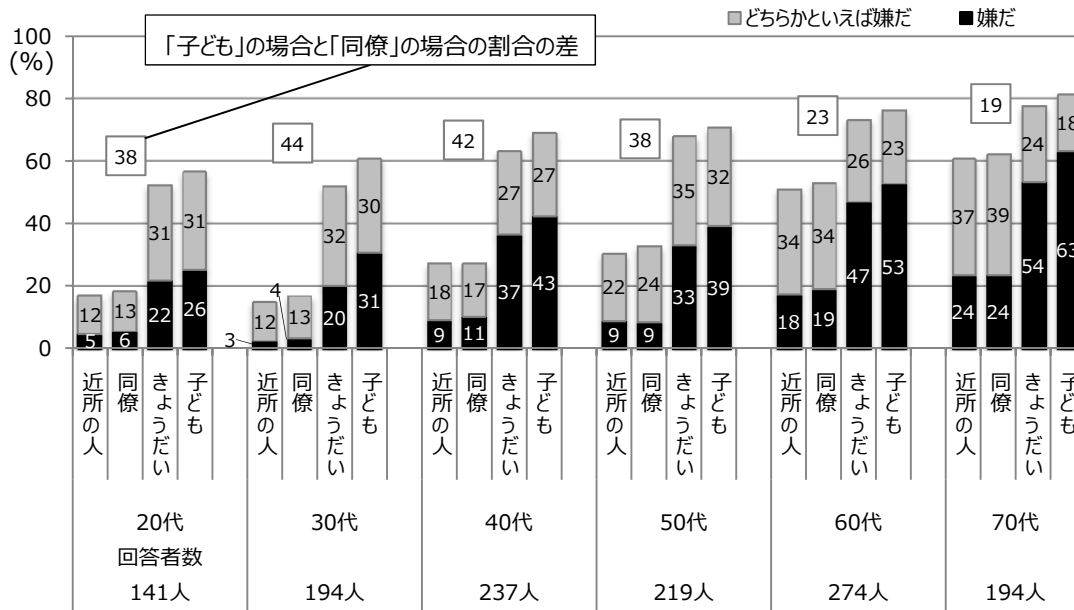
「性別を変えた人」についても同様の傾向がみられる。身内と他人に対する反応の違いは、60代と70代では比較的小さく、50代未満では比較的大きい。たとえば、図に提示している「同僚」と「子ども」の差は60代と70代では25ポイント未満であるが、若い年代では40ポイント前後で、もっとも差が大きいのは30代と40代である。「性別を変えた人」についても、若い年代はそれが他人であれば嫌悪感をもち人が少ないが、子どものように身内になると嫌悪感を示す人が多いと言える。(図 7-8)

図 7-7 年代別にみた、近所の人/職場の同僚/きょうだい/自分の子どもが「同性愛者」だった場合の「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」の割合



%は小数点以下を四捨五入し整数で表示。

図 7-8 年代別にみた、近所の人/職場の同僚/きょうだい/自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合の「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」の割合



%は小数点以下を四捨五入し整数で表示。

(4) まとめ：身近な人が性的マイノリティだった場合の嫌悪感

近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子どもが同性愛者である場合と性別を変えた人の場合の反応をみた結果、関係の近い人に対してのほうが、嫌悪感を示す人が多かった。嫌悪感を示したのは、近所の人や同僚などの他人が、同性愛者の場合は4割、性別を変えた人の場合は3割台で、どちらも半数に満たない。一方、自分の子どもの場合は同性愛者でも性別を変えた人でも7割が嫌悪感を示した。

回答者の性別によって比較すると、男性のほうが女性よりも嫌悪感を示す人が多かった。性別による違いよりも年代による違いのほうがさらに顕著で、全般に年代が若いと、嫌悪感をもつ人が少ない。嫌悪感を示す人の割合の年代による開きは、きょうだいや子どもの場合のほうが、他人の場合よりも小さかった。若い年代では、他人が性的マイノリティだった場合に嫌悪感を示す人は2~3割の少数派であるが、自分の子どもが性的マイノリティだった場合では、半数を超えていた。

2. 職場の同僚が性的マイノリティだった場合の就業者の嫌悪感

上では実生活で同僚にあたる人がいない人びとも含めて、同僚が性的マイノリティだった場合の嫌悪感に関する結果を示した。この節では、性的マイノリティが直面する状況をより明確に浮かび上がらせるために、実際に同僚がいると想定される、現在仕事をもっている回答者（就業者）を取り出し、同じ項目を集計した結果をみていく。また、就業者の嫌悪感を、ついでに仕事の種類別に分けてみた結果も示す。具体的には、まず（1）で同僚が「同性愛者」/「性別を変えた人」の場合の全体、性別、年代別の反応を示し、（2）で仕事の種類別にみた場合の反応を性別に分け、年代別にみていく。

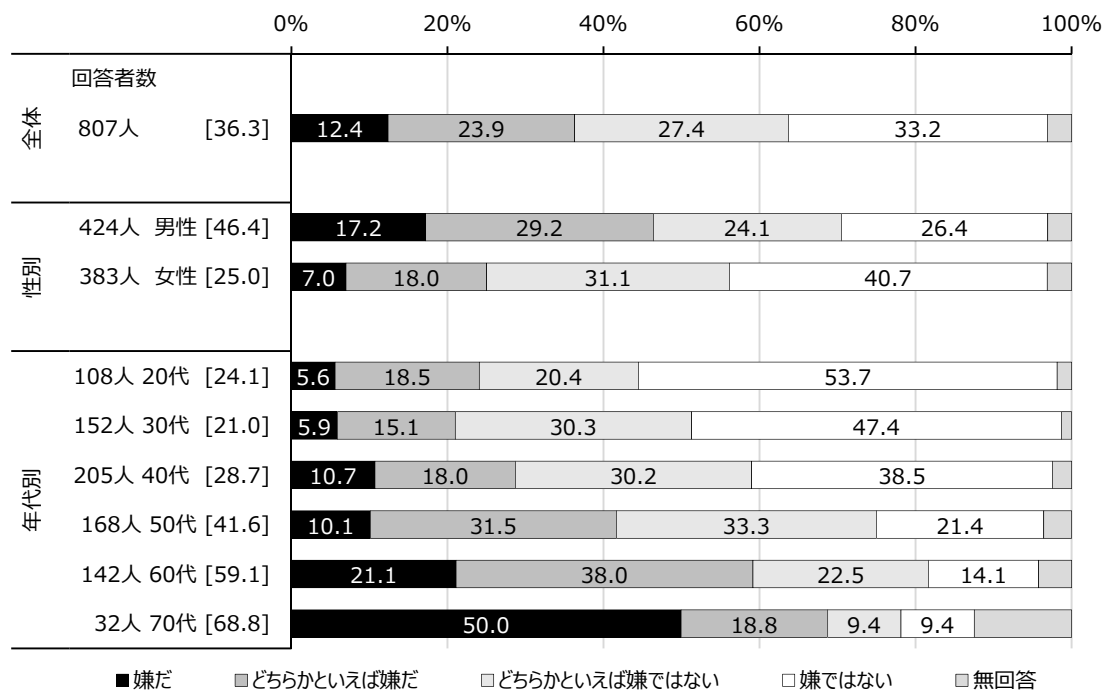
(1) 職場の同僚が「同性愛者」/「性別を変えた人」だった場合の嫌悪感：嫌悪感を示す就業者は3人中1人以上、男性は女性の約2倍、50代以上は年代が上であるほど高割合

調査時点で仕事についている（休職中も含む）回答者について、「同僚」が「同性愛者」だった場合（図7-9）と、「性別を変えた人」だった場合（図7-10）の回答分布を示す。それぞれ全体と、性別と年代で分けて集計したものをまとめて表示している。

「同僚」が「同性愛者」だった場合、嫌悪感を示す割合（[嫌だ]の割合）は3人中1人を超える36.3%である。また、就業者全体の12.4%が「嫌だ」と回答している。

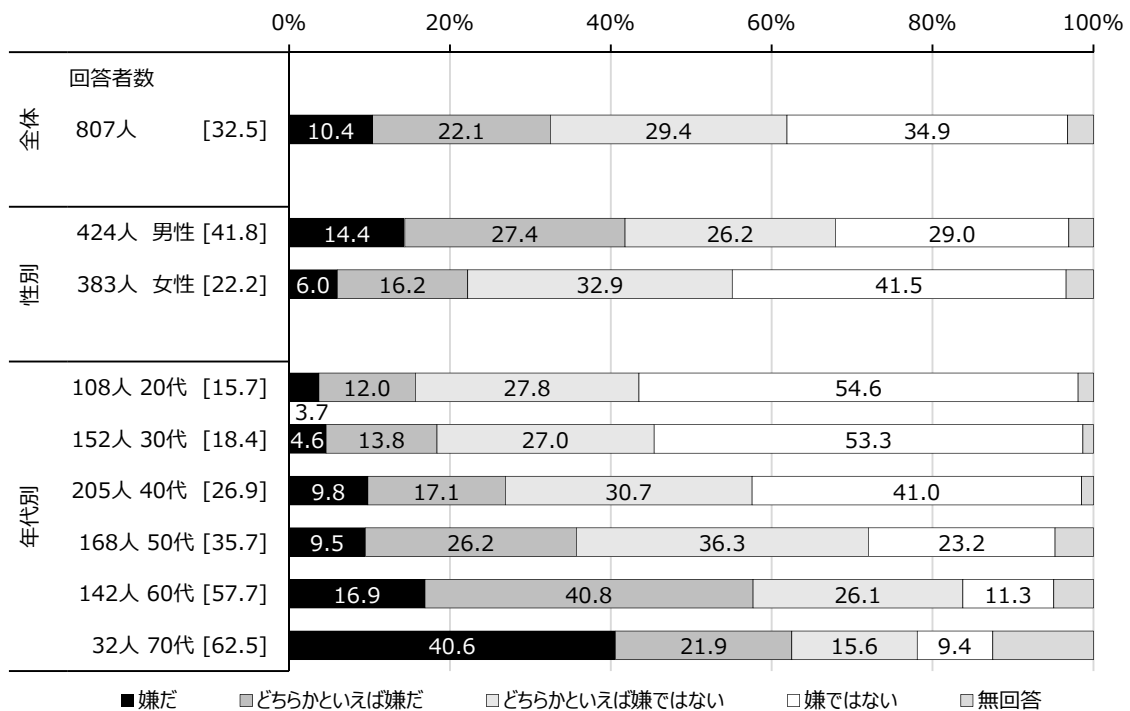
性別による違いもみられ、嫌悪感を示す割合は女性では4人中1人（25%）であるが、男性では、半数には満たないものの46.4%で、女性の2倍近くである。年代別にみても違いが明らかで、20代から40代までは2割台であるのに対し、50代では4割、60代ではほぼ6割、70代では7割近く（68.8%）にのぼる。同僚が「性別を変えた人」である場合でも同様の傾向がみられるが、「同性愛者」である場合と比べると、全体、男性と女性、それぞれの年代のほぼすべて、数ポイント低い。

図7-9 職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応
(就業者全体、性別、年代別)



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合(%)。

図 7-10 職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の反応
(就業者全体、性別、年代別)



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

(2) 回答者の仕事の種類別にみた、同僚が性的マイノリティだった場合の反応

ここでは、引き続き仕事についている就業者（休職中も含む）に焦点を当て、仕事の種類別に、同僚が性的マイノリティだった場合の反応をみていく。

仕事の種類による回答をみるにあたって、まず、性・年代別の人数の内訳を示しておく。これまでの図では、注に回答者数を記載しているが、ここでは記載内容が多く、煩雑になるため、表 7-1 によって該当する回答者数を記すこととした。

表 7-1 性・年代別にみた、仕事の種類別の人数

仕事の種類	男性				女性			
	20-30代	40-50代	60-70代	合計	20-30代	40-50代	60-70代	合計
専門・技術系の職業	37	33	22	92	36	41	8	85
管理的職業	1*	29	9	39	2*	3*	1*	6
事務・営業系の職業	21	34	10	65	35	44	6	85
販売・サービス系の職業	24	23	19	66	46	66	28	140
技能・労務・作業系の職業	36	51	39	126	11	21	5	37
農林漁業職	4*	7	10	21	2*	3*	3*	8
その他**	2	4	4	10	3	5	2	10
無回答**	0	3	2	5	0	6	6	12
合計 (人)	125	184	115	424	135	189	59	383

*: 該当人数が5人未満の場合、性・年代・仕事の種類別の集計は省略した。 **:集計は省略。

以下の①では同僚が「同性愛者」だった場合の男性就業者の反応、②では同僚が「性別を変えた人」だった場合の男性就業者の反応、③では同僚が「同性愛者」だった場合の女性就業者の反応、④では同僚が「性別を変えた人」だった場合の女性就業者の反応を、年代別にみていく。

① 職場の同僚が「同性愛者」だった場合の男性就業者の反応：管理職では 6 割台、農林漁業職では 7 割台が嫌悪感を示す

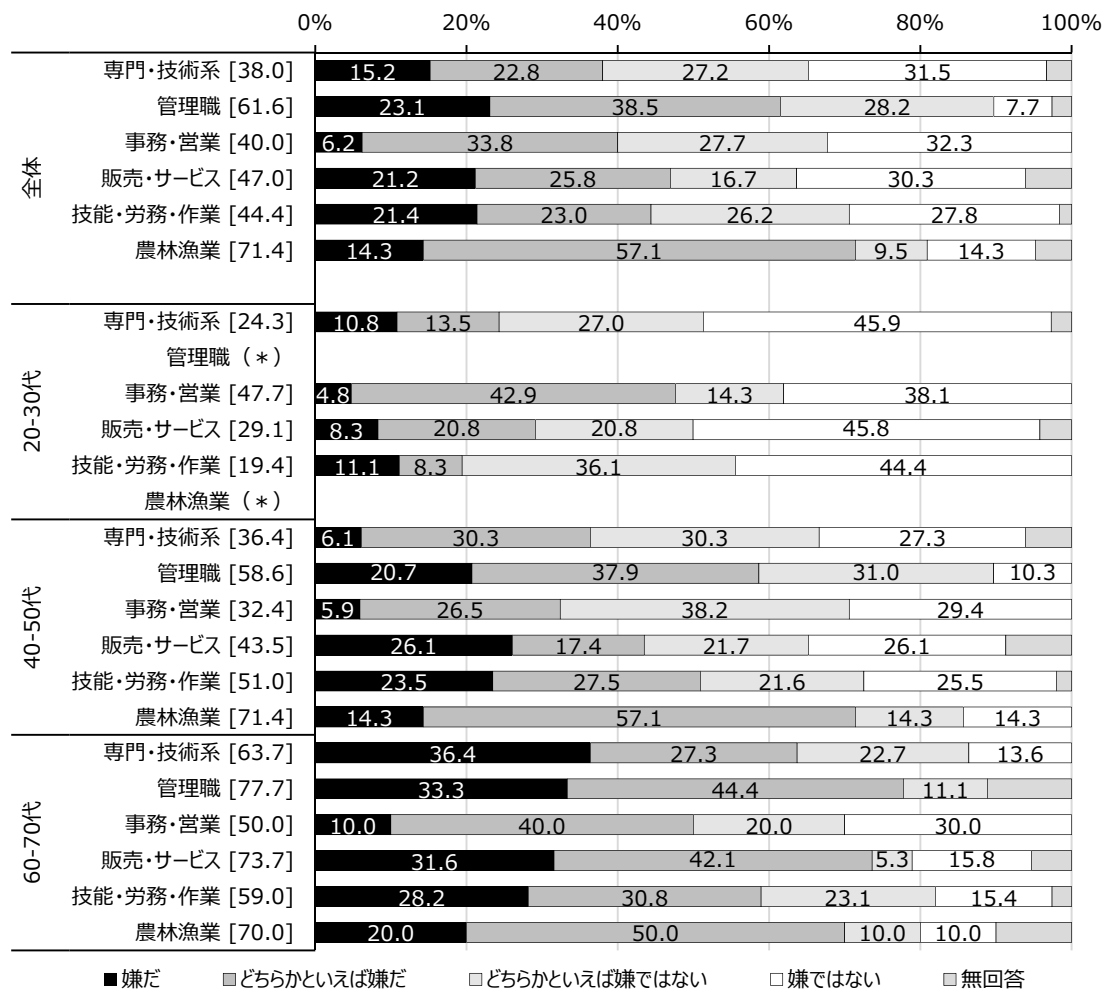
引き続き仕事についている就業者（休職中も含む）に焦点を当て、仕事の種類別に、同僚が「同性愛者」だった場合の男性の回答を仕事の種類別にみると（図 7-11：全体）、嫌悪感（「嫌だ」）を示した割合は〔管理職〕（61.6%）と〔農林漁業職〕（71.4%）で高く、同割合が半数に満たない他の仕事との差がきわだつ。また、〔管理職〕、〔販売・サービス系〕、〔技能・労務・作業系〕では「嫌だ」と回答した人が 2 割台で、他の仕事についている者よりも高い。〔事務・営業系〕で嫌悪感を示す人は 1 割に満たず（6.2%）、もっとも低い。また、〔専門・技術系〕、〔事務・営業系〕、〔販売・サービス系〕では 3 割程度が「嫌ではない」と答えていることも特徴的である。

上では仕事の種類によって同僚が「同性愛者」だった場合の嫌悪感が異なることを示したが、嫌悪感を示す割合の高い管理的職業や農林漁業職についているのは、40 代以上の人に多いことがわかっている（表 7-1 参照）。先の節で示したとおり、年代が高いほうが嫌悪感をもつ割合も高いため、年代による回答の違いが、ここでは仕事の種類による違いのようにみえている可能性がある。そこで 20-30 代、40-50 代、60-70 代に分けたうえで、仕事の種類別に集計した結果を、同じ図に示す。

20-30 代で嫌悪感を示すのは、〔事務・営業系〕では半数近く（47.7%）でもっとも高く、〔技能・労務・作業系〕では 5 人に 1 人に満たず（19.4%）、もっとも低い。（20-30 代の〔管理職〕と〔農林漁業職〕は該当者が 5 人未満と少数であるため、結果は省略した。）40-50 代をみると、全体でみたときと同様の傾向が観察され、〔農林漁業職〕で 7 割、〔管理職〕では約 6 割（58.6%）が嫌悪感を示している。20-30 代では嫌悪感を示す割合の低かった〔技能・労務・作業系〕でも、40-50 代では半数以上が嫌悪感を示している。一方、40-50 代の〔事務・営業系〕と〔専門・技術系〕で嫌悪感を示す割合は 3 割台で比較的低い。

60-70 代ではどの仕事でも 5 割以上が嫌悪感を示し、〔管理職〕と〔農林漁業職〕に加え、〔販売・サービス系〕でも 7 割台にのぼる。〔農林漁業職〕についている数は全体で 21 人と少ないが、40-50 代でも 60-70 代でも嫌悪感を示す割合は比較的高い。また〔管理職〕についている人も全体で 39 人であるが、40-50 代と 60-70 代では嫌悪感を示す割合は高い。（図 7-11）

図 7-11 仕事の種類別にみた、職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応
(男性就業者)



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。
年代・仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

② 職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の男性就業者の反応：管理職と農林漁業職の 6 割台が嫌悪感を示す

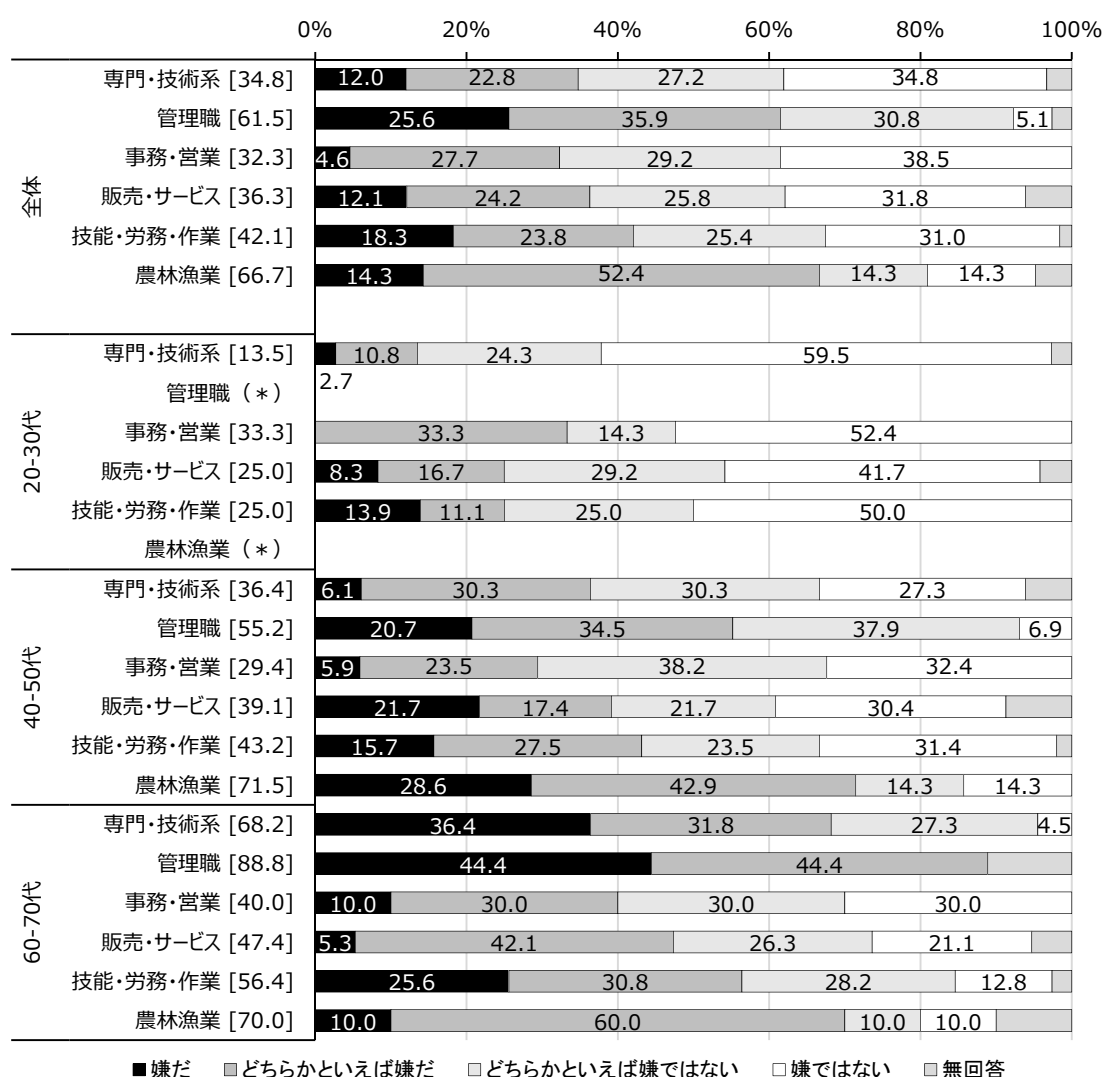
同僚が「性別を変えた人」だった場合の男性の回答を仕事の種類別にみると、「同性愛者」の場合とほぼ同じ傾向がみられる。嫌悪感を示す割合（「嫌だ」の割合）が比較的高いのは「農林漁業職」と「管理職」で、ともに 6 割台である（図 7-12：全体）。同僚が「性別を変えた人」だったら「嫌だ」と答えた人の割合は「管理職」でもっとも高く 25.6%で、次いで割合の高い「技能・労務・作業系」（18.3%）との差は 6 ポイントである。「嫌ではない」と答えた割合は「管理職」で 5.1%、「農林漁業職」では 14.3%であるのに対し、他の仕事ではすべて 3 割台である。

年代が上の人の方が嫌悪感をもつ割合が高いことはすでに示したが、「管理職」や「農林漁業職」についている人には、若い人が少ないため、年代による反応の違いが、仕事の種類による違いとしてみえている可能性が考えられる。そこで 20-30 代、40-50 代、60-70 代

に分けたうえで、仕事の種類別に集計した結果を、同じく図 7-12 に示す。

20-30 代で嫌悪感を示すのは [事務・営業系] では 3 人に 1 人、[販売・サービス系] と [技能・労務・作業系] では 4 人に 1 人であるが、[事務・営業系] では 1 割台と低い。40-50 代をみると、嫌悪感を示す割合は [農林漁業職] で 7 割台ともっとも高く、次いで [管理職] の 55.2% である。40-50 代で嫌悪感をもち割合がもっとも低いのは [事務・営業系] で、3 割未満である (29.4%)。60-70 代では [管理職] の約 9 割が嫌悪感を示し、他の仕事と比べて高い (ただし 60-70 代の管理職は 9 人)。60-70 代であっても、[事務・営業系] では 40.0%、[販売・サービス系] でも 47.4% でいずれも半数未満である。(図 7-12)

図 7-12 仕事の種類にみた、職場の同僚が「性別を変えた人」の場合の反応
(男性就業者)

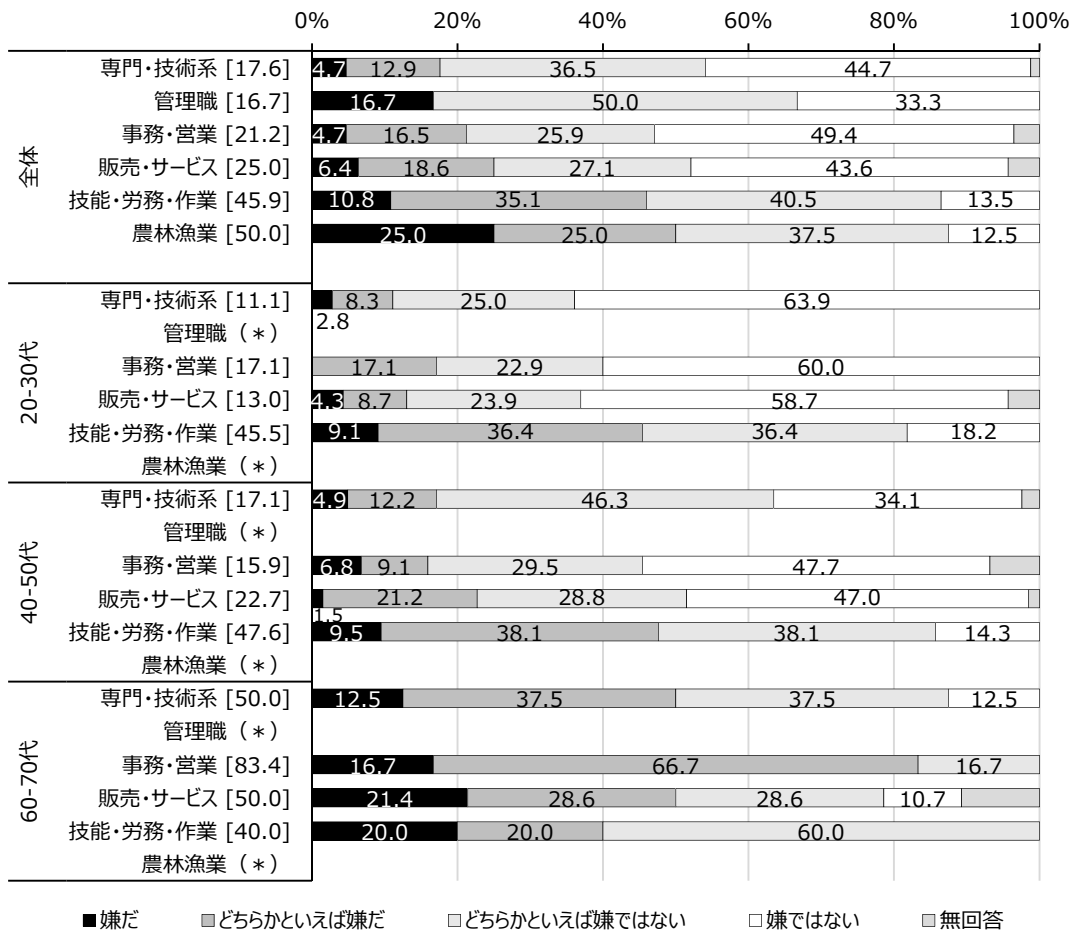


[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。
年代・仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

③ 仕事の種類別にみた、職場の同僚が「同性愛者」だった場合の女性就業者の反応：
 [農林漁業職] と [技能・労務・作業系] 職の約半数が嫌悪感を示し、20-30代と
 40-50代では [技能・労務・作業系] 職の嫌悪感割合が高い（4割台）

ここでは、就業している女性について、同僚が「同性愛者」だった場合の反応を仕事の種類別にみていく。嫌悪感を示す割合（「嫌だ」の割合）は、[農林漁業職]（50.0%）と [技能・労務・作業系]（45.9%）で他の仕事よりも高い。年代で分けてみると、20-30代と40-50代ともに [技能・労務・作業系] で嫌悪感を示す割合が他の仕事よりも高い（それぞれ45.5%、47.6%）。そのほかの仕事については20-30代と40-50代で嫌悪感を示す割合をみると、40-50代の [販売・サービス系] では2割台であるが、他の仕事ではいずれも1割台である。60-70代では [販売・サービス系] 以外、ついでいる人数がすべて10人未満であるが、その中では [事務・営業系] の嫌悪感が8割台で、他の仕事の4~5割台と比べて高い。なお、管理職はすべての年代をあわせて6人、農林漁業職は8人と少ないため、年代別の集計結果は示していない。（図7-13）

図7-13 仕事の種類別にみた、職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応
 （女性就業者）

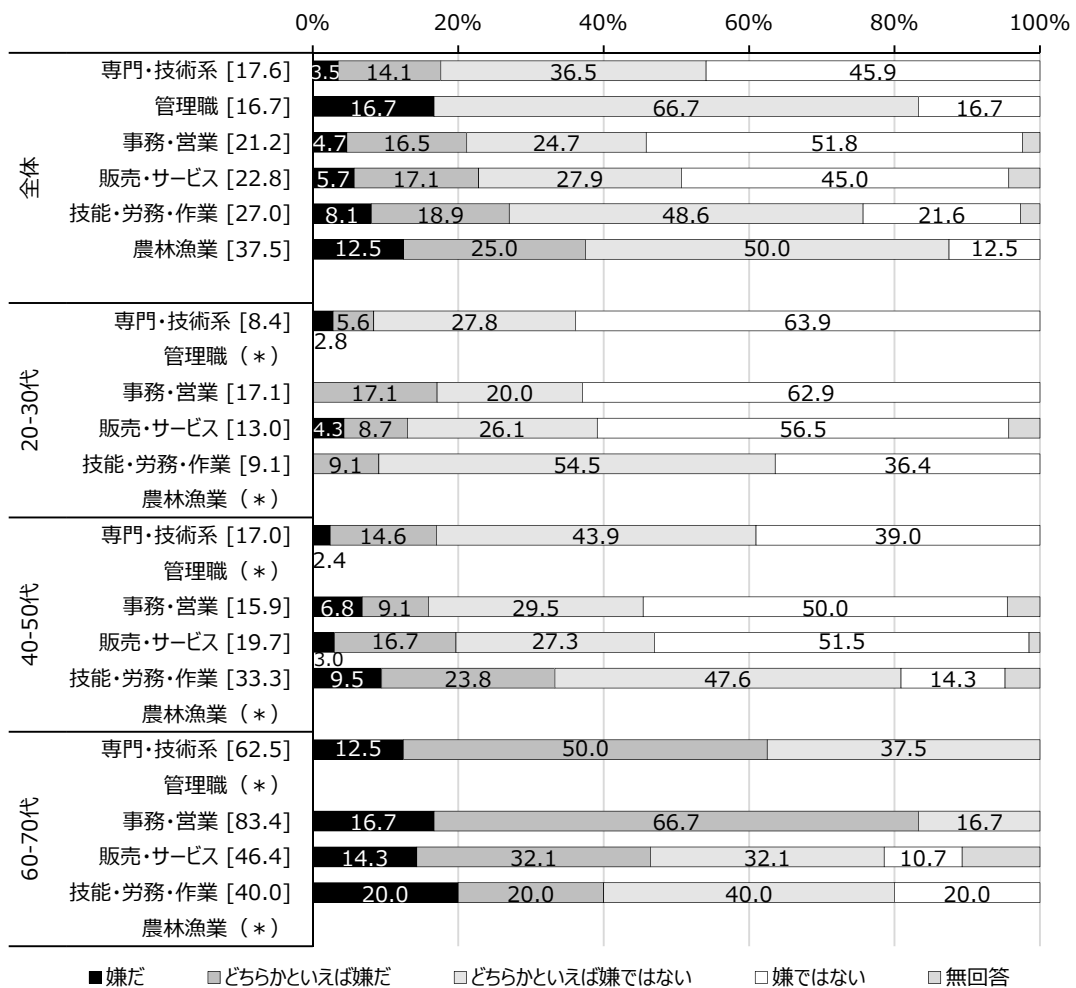


[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。
 年代別の仕事の種類別の回答者数は、表7-1を参照。 *: 該当人数が5人未満の場合は省略。

④ 職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の女性就業者の反応：嫌悪感を示すのは20-30代ではどの職でも2割未満、40-50代では[技能・労務・作業系]が3割台で他より高い

ここでは、同僚が「性別を変えた人」だった場合の女性就業者の反応を、仕事の種類別に示す。嫌悪感を示す割合（[嫌だ]の割合）が高いのは[農林漁業職]（37.5%）と[技能・労務・作業系]（27.0%）である。年代別に分けてみると、20-30代ではどの仕事でも嫌悪感をもつ割合が2割未満であるが、その中では[事務・営業系]の17.1%がもっとも高い。40-50代で嫌悪感を示す割合がもっとも高いのは[技能・労務・作業系]の33.3%（他の仕事では2割未満）、60-70代では[事務・営業系]の83.4%（総数6人中4人）、次いで[専門・技術系]の62.5%（8人中5人）である。なお[管理職]はすべての年代をあわせて6人、[農林漁業職]は8人と少ないため、年代別の集計結果は示していない。（図7-14）

図7-14 仕事の種類別にみた、職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の反応（女性就業者）

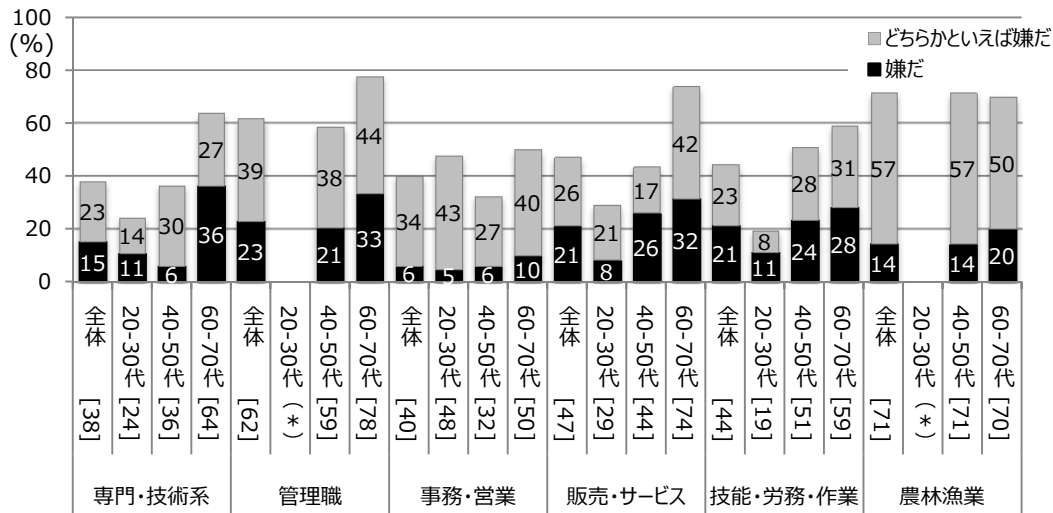


[]内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。年代別の仕事の種類別の回答者数は、表7-1を参照。*: 該当人数が少ないため、集計は省略。

⑤ 仕事の種類別に見た、職場の同僚が「同性愛者」/「性別を変えた人」だった場合の「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」の割合

ここでは①～④でみてきた仕事の種類別の結果について、「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」のみの回答を示す。図 7-15 は同僚が「同性愛者」だった場合の男性回答、図 7-16 は同僚が「性別を変えた人」だった場合の男性回答である。図から読み取れる傾向についてはすでに上記で述べたとおりである。

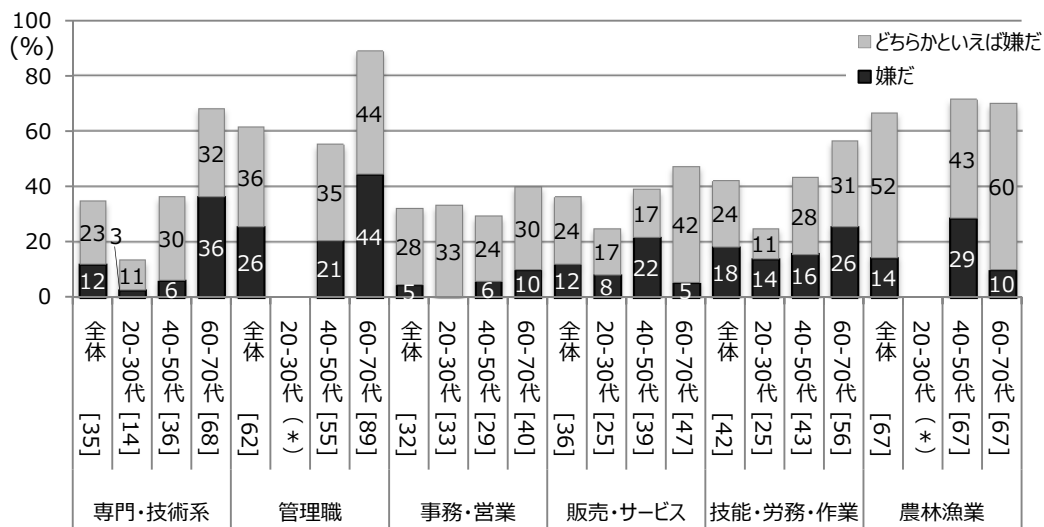
図 7-15 年代・仕事の種類別に見た、職場の同僚が「同性愛者」の場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合（男性就業者）



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

年代別の仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

図 7-16 年代・仕事の種類別に見た、職場の同僚が「性別を変えた人」の場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合（男性就業者）

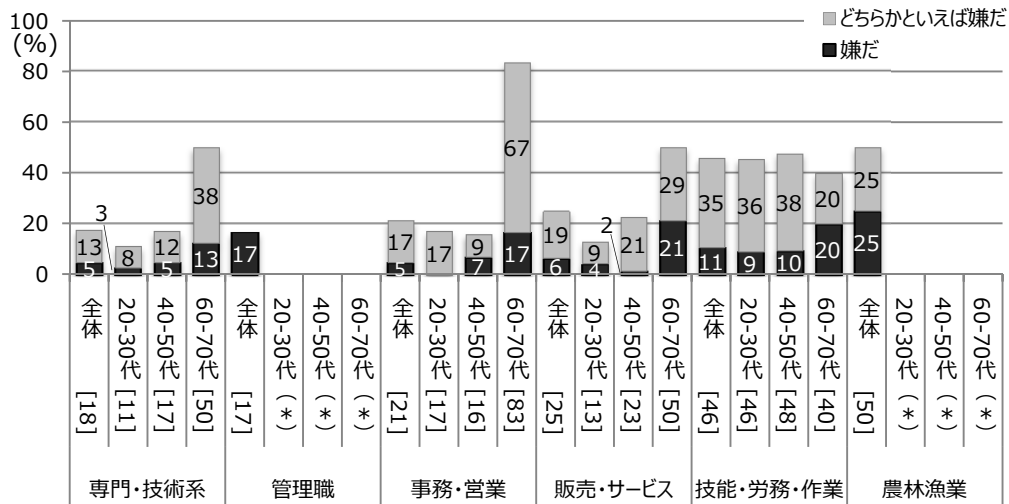


[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

年代別の仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

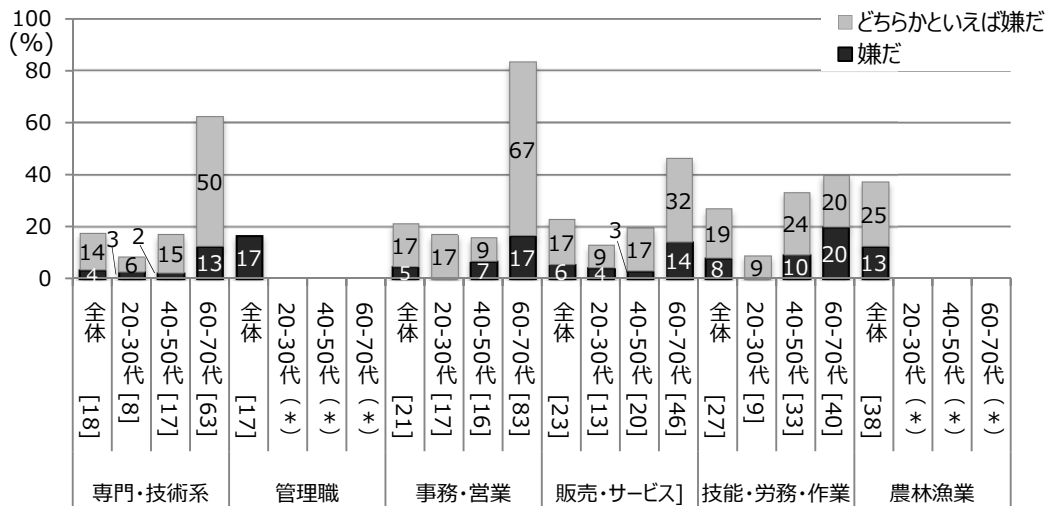
図 7-17 は同僚が「同性愛者」だった場合の女性回答、図 7-18 は同僚が「性別を変えた人」だった場合の女性回答である。図から読み取れる傾向についてはすでに上記で述べたとおりである。

図 7-17 年代・仕事の種類別にみた、職場の同僚が「同性愛者」の場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合（女性就業者）



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。年代別の仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

図 7-18 年代・仕事の種類別にみた、職場の同僚が「性別を変えた人」の場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合（女性就業者）



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。年代別の仕事の種類別の回答者数は、表 7-1 を参照。*：該当人数が少ないため、集計は省略。

⑥ まとめ：同僚が性的マイノリティだった場合の就業者の嫌悪感

この節では、調査時点で仕事をしている人が示す、同僚が性的マイノリティだった場合の嫌悪感をみてきた。同僚が性的マイノリティだったら「嫌だ」あるいは「どちらかといえば嫌だ」と考える、つまり嫌悪感を示すのは全体では3人中1人である。性別による違いもあり、嫌悪感を示す男性の割合は女性の約2倍である。嫌悪感を示す割合を年代別にみると、20代から40代では2割程度でほぼ一定であるが、50代以上では年代が上であるほど高く、70代では7割近くにのぼる。仕事の種類別でみると、男性回答では管理職と農林漁業職についている人びとに嫌悪感を示す人が多い。女性回答では、技能・労務・作業系で嫌悪感を示す割合が高かった。

会社のような組織では、人びとの働きやすさが管理職の考え方によって左右されやすいことは既知のとおりである。性的マイノリティの働きやすさも同様に、管理職の態度によって多少なりとも影響されると思われる。性的マイノリティの働きやすさに対しても重要な役割を担っているだろう40-50代の男性管理職の回答者の約6割が、同僚が同性愛者だった場合に嫌悪感を示している（性別を変えた人の場合は55%）。同様に、この調査に回答した60-70代の男性管理職のうち、嫌悪感を示すのは、同性愛者については8割近く、性別を変えた人については9割近くである。

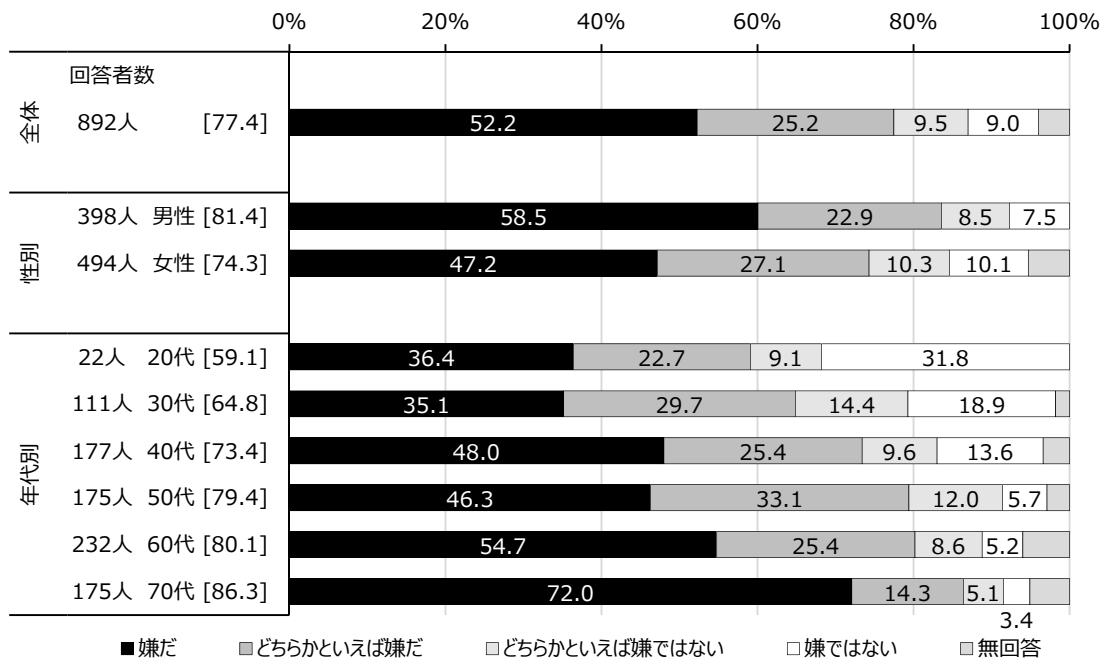
3. 子どもが性的マイノリティだった場合の、子どものいる人の嫌悪感：嫌悪感を示すのは4人中3人以上、年代が上であるほど多いが、20-30代でも6割前後

上の1.では、回答者に子どもがいるかいないかにかかわらず、子どもが同性愛者や性別を変えた人の場合、どう思うかについての結果を示したが、ここでは実際に子どものいる回答者に限定した結果をみていく。子どものいる人は、自分の子どものことを想像して答えていると思われ、これらの回答者に限定してみることで、より現実的な反応を捉えられると考えられる。子どものいる人全体に加え、性別ならび年代別に分けて回答をみていく。

自分の子どもが「同性愛者」だったらどう思うかとの問いには、子どものいる回答者の半数以上（52.2%）が「嫌だ」と答え、「どちらかといえば嫌だ」を含めれば4分の3以上（77.4%）が嫌悪感を示している。性別でみると、男性のほうが嫌悪感を示す割合が高い。嫌悪感を示す「嫌だ」の割合は女性では7割台、男性では8割を超えている。「嫌だ」の回答だけをみても、その割合は男性では半数以上（58.5%）であるが、女性では半数に満たない（47.2%）。年代別でみると、年代が高いほど嫌悪感を示す割合が高い。20-30代の若い層でも、嫌悪感を示す割合は約6割から6割台、40-50代では7割台、60-70代は8割にのぼる。「嫌だ」の回答のみでも、20-30代で3割台である。（図7-19）

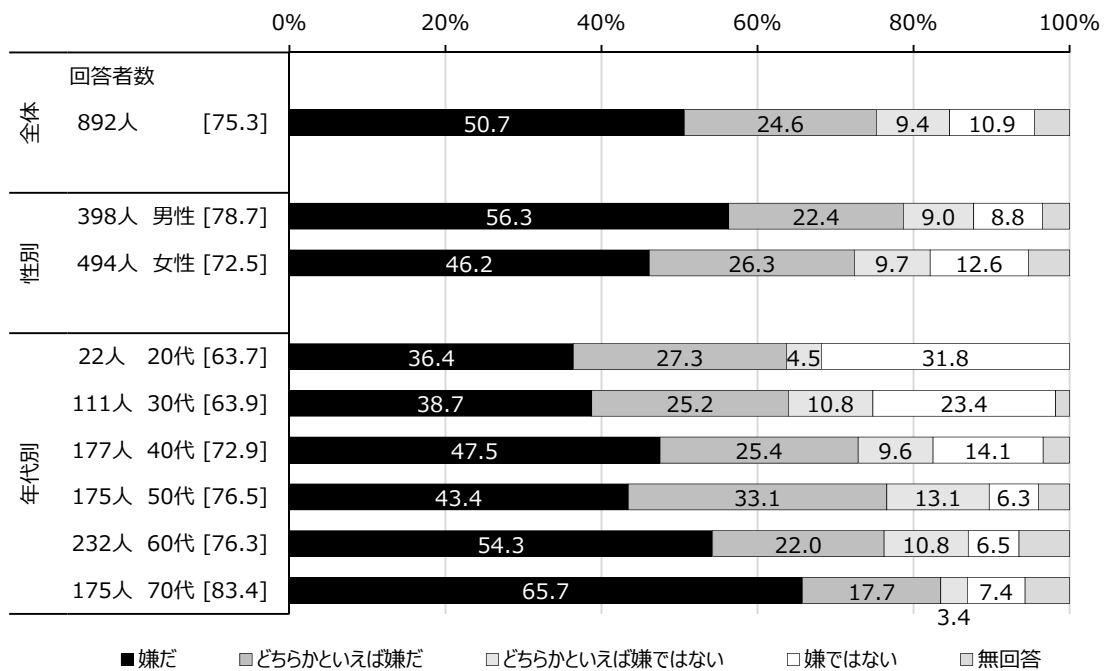
自分の子どもが「性別を変えた人」の場合の嫌悪感の割合は、「同性愛者」の場合より20代が少し多かったが、それ以外の年代は数ポイントずつ低く、傾向はほぼ同じである。（図7-20）

図 7-19 自分の子どもが「同性愛者」だった場合の反応
(子どものいる回答者全体、性別、年代別)



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

図 7-20 自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合の反応
(子どものいる回答者全体、性別、年代別)



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

4. 性的マイノリティが周りにいると認識しているか否か別にみた、職場の同僚/自分の子どもが性的マイノリティだった場合の反応

ここでは、性的マイノリティに対する嫌悪感が、身近に性的マイノリティがいるか否かによって異なるのかをみていく。「職場の同僚」と「自分の子ども」をとりあげ、性的マイノリティだったらどう思うかの回答を、性的マイノリティが周りにいるという人といないという人で比較する。性的マイノリティがいるか否かは、職場の同僚や、近しい友人、親せきや家族に同性愛者はいるか、の問いへの回答と、「性別を変えた人、あるいはそうしようと考えている人はいますか」という問いへの回答を組み合わせ、以下の3つに分類し、その分類別に、「同僚」と「子ども」が性的マイノリティだったらどう思うかの集計を行う。ここで「同僚」と「子ども」をとりあげるのは、他人の中では比較的交流や空間の共有が多い「同僚」と、身内の中で実際的な関係性が長期にわたって継続する「自分の子ども」の特徴に注目するためである。

第5章でも述べたが、回答者の周りに性的マイノリティがいるか否かの認識は、次の2つの問いでたずねた。選択肢は問18と問19ともに、下の四角囲みの4つである。

問18 あなたのまわりの人びとについておたずねします。職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に同性愛者はいますか。（○は1つ）

問19 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。（○は1つ）

1. いる	2. そうかもしれない人がいる	3. いないと思う	4. いない
-------	-----------------	-----------	--------

回答者の周りに性的マイノリティがいるか否かの3分類は次のとおりである。

- (a) [いない]：どちらについても「いない」と回答したグループ（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- (b) [わからない]：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がいる」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がいる」と答えた回答者のグループ（aとc以外のすべての組み合わせ）
- (c) [いる]：「同性愛者」と「性別を変えた人」の少なくともどちらか一方に「いる」と答えたグループ

なお、「同性愛者」と「性別を変えた人」の問いのいずれにも回答しなかった人は集計から除外している。

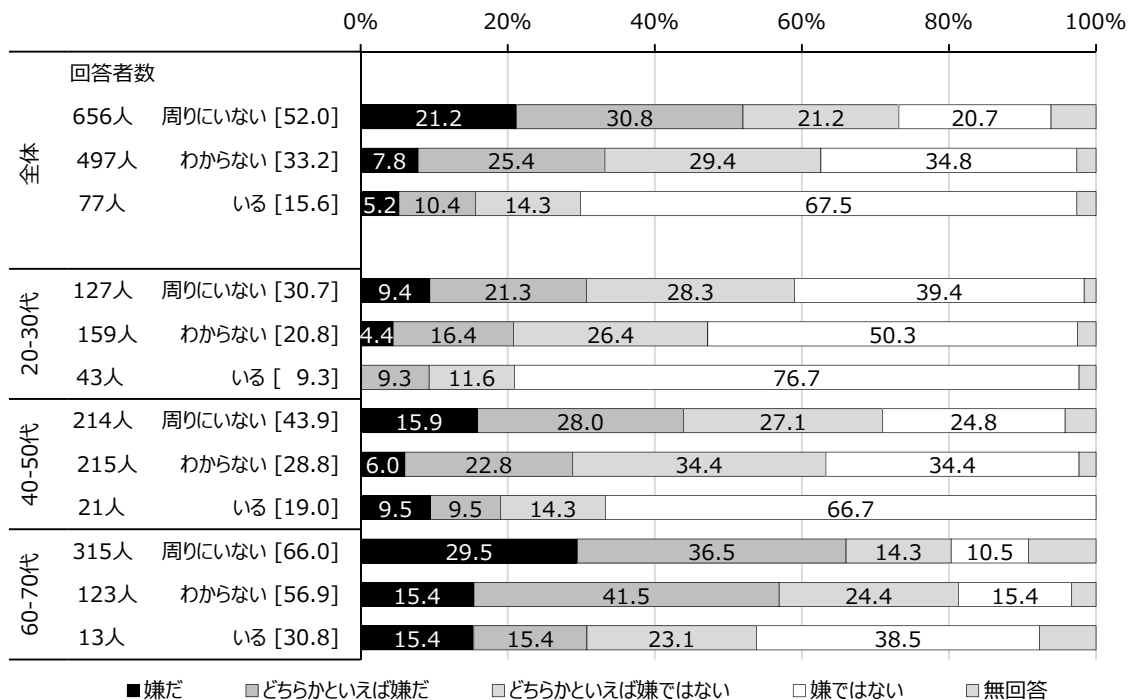
(1) 性的マイノリティが周りにいるか否かによってみた、「職場の同僚」が性的マイノリティだった場合の反応

- ① 性的マイノリティが周りにいるか否かによってみた、職場の同僚が「同性愛者」だった場合の嫌悪感：周りに [いない] 場合は半数以上が嫌悪感を示すが [いる] 場合は1割台、どの年代でも同傾向

回答者全体を上記の3つのグループに分けて嫌悪感（「嫌だ」）を比べると、性的マイノリティが周りに [いない] グループで嫌悪感を示す人がもっとも多く、次いで [わからない] のグループ、そして [いる] グループの順となった。「職場の同僚」が「同性愛者」だったら「嫌だ」という回答をみると、その割合は周りに性的マイノリティが [いない] グループでは21.2%、[いる] グループでは5.2%で、[いる] ほうが15ポイント以上も多い。「どちらかといえば嫌だ」をあわせた割合は、[いない] グループでは半数以上（52.0%）であるが、[いる] グループでは15.6%で、嫌悪感を示す割合には36ポイントもの差がある。

年代別にみても、すべての年代で周りに性的マイノリティが [いない] グループのほうが [いる] グループよりも嫌悪感を示す人が多い。20-30代と40-50代では [いない] と [いる] の差が20ポイント台、60-70代ではその差が35ポイントである（ただし60-70代で [いる] 人は13人）。また、周りに性的マイノリティが [いる] 場合でも、年代が上であるほど嫌悪感を示す割合が高く、20-30代では1割、40-50代では約2割、60-70代では3割である。（図7-21）

図7-21 性的マイノリティが周りにいるか否か別、職場の同僚が「同性愛者」だった場合の反応（全体、年代別）



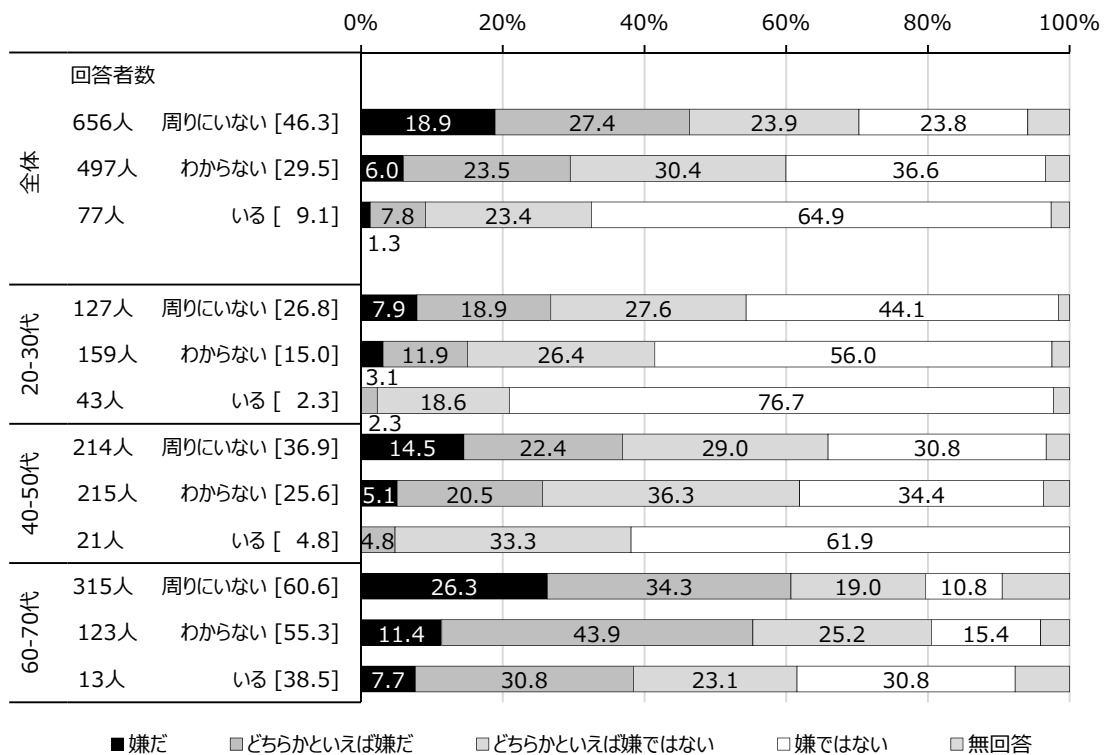
[] 内の数値は「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」を足した割合。

② 性的マイノリティが周りにいるか否かによってみた、職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の嫌悪感：周りに [いない] 場合は半数以上が嫌悪感を示すが [いる] 場合は1割台、どの年代でも同傾向

「同僚」が「性別を変えた人」だった場合をみると、「同性愛者」の場合と同様に嫌悪感を示す [嫌だ] の割合は、周りに性的マイノリティが [いない] と高く、[いる] と低い。嫌悪感を示す割合は、[いない] では46.3%、[いる] では1割に満たず、その差は37ポイントである。

年代別にみると、周りに性的マイノリティが [いない] グループと比べると、[いる] グループでは、どの年代でも20ポイント以上嫌悪感をもち割合が低くなっている。40-50代で差がもっとも大きく32ポイント ([いる] 4.8%、[いない] 36.9%)、20-30代で24ポイント、60-70代で22ポイントである。このように、嫌悪感を示す割合がもっとも高い60-70代でも、周りに性的マイノリティが [いる] 場合は、[いない] 場合より嫌悪感が20ポイント以上も少ないことがわかる。(図7-22)

図7-22 性的マイノリティが周りにいるか否か別、職場の同僚が「性別を変えた人」だった場合の反応（全体、年代別）



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

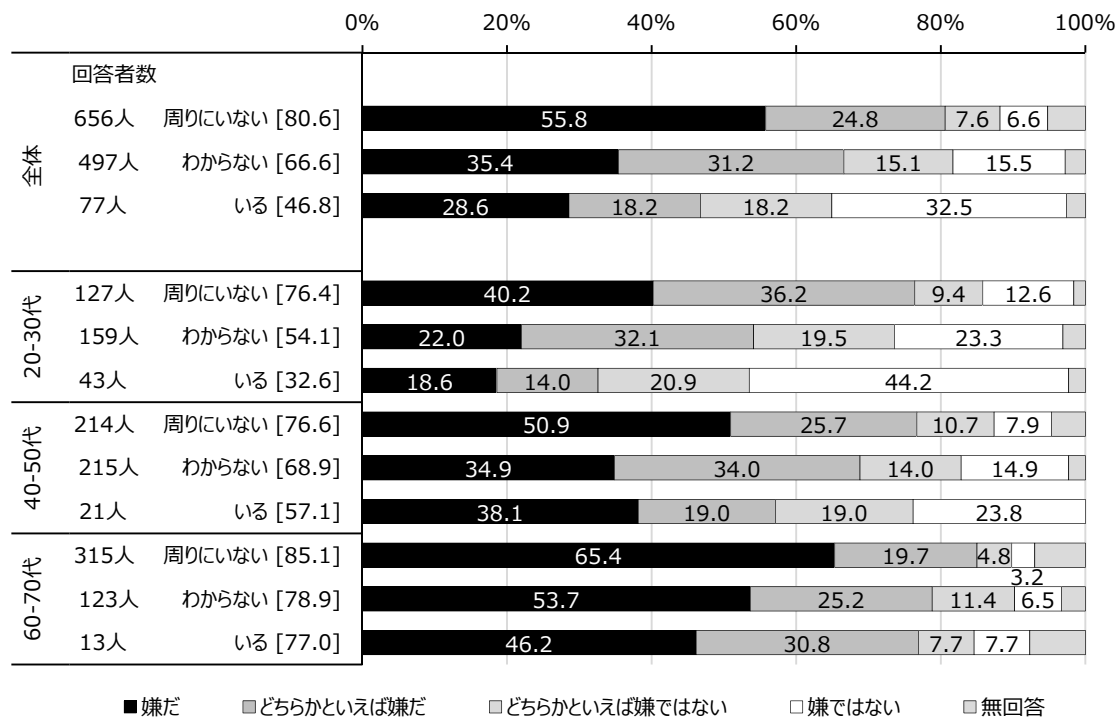
(2) 性的マイノリティが周りにいるか否かによってみた、「自分の子ども」が性的マイノリティだった場合の反応

(1) では、他人である「同僚」が性的マイノリティだった場合の嫌悪感が、周りに性的マイノリティがいるか否かによってどのように異なるのかをみたが、ここでは、身内である「自分の子ども」の場合をみしてみる。

① 自分の子どもが「同性愛者」だった場合：周りに [いない] ほうが、自分の子どもが「同性愛者」だった場合の嫌悪感割合が高く、いるか否かでの差は年代が若いほど大きく、20-30代では44ポイント

全体でみても、年代別でも、周りに性的マイノリティが [いる] グループより [いない] グループのほうが、自分の子どもが「同性愛者」だった場合、嫌悪感を示す割合（「嫌だ」の割合）が高い。グループ間の差は20-30代でとくに大きく、44ポイントである。しかし40-50代での差はその半分未満の20ポイント、60-70代ではさらにその半分未満の8ポイントである。このように、「自分の子ども」の場合は、周りに性的マイノリティがいることによる嫌悪感の違いは、若い年代では大きい、高齢者ではほとんどみられないことが特徴的である。ただし年代が上のほうが、周りに性的マイノリティが [いる] 人数が少ない、ということも、差がみられないことに関連している可能性もある。（図7-23）

図7-23 性的マイノリティが周りにいるか否か別、自分の子どもが「同性愛者」だった場合の反応（全体、年代別）

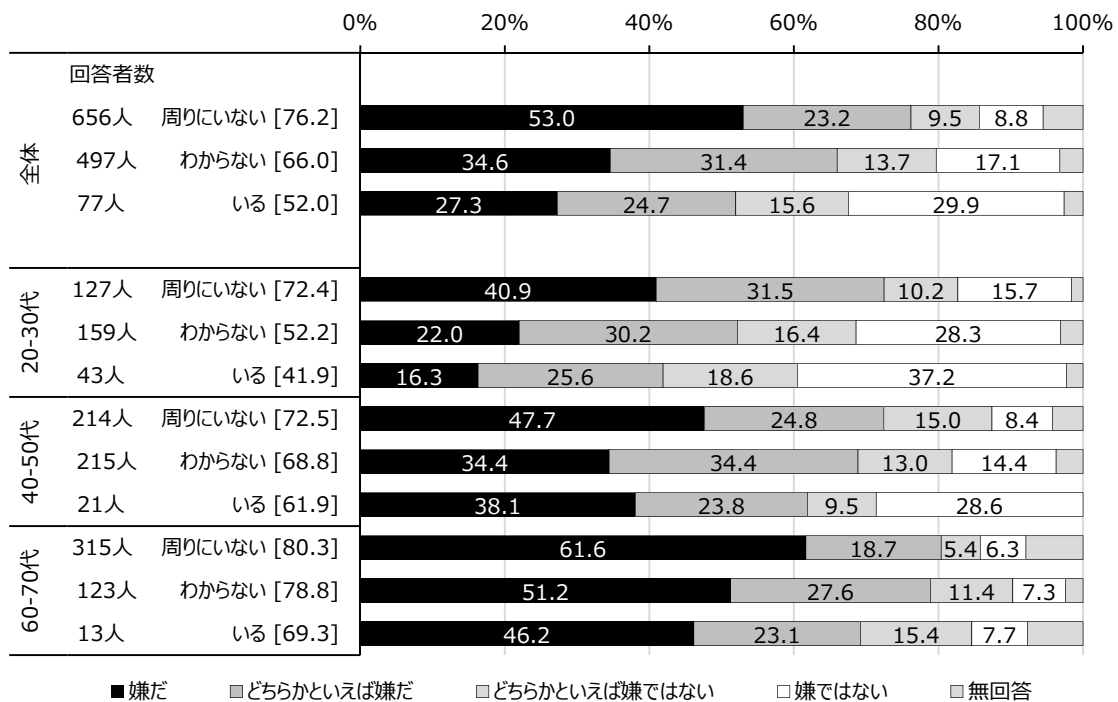


[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

- ② 自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合：周りに [いない] ほうが、自分の子どもが「同性愛者」だった場合の嫌悪感の割合が高く、いるか否かでの差は若い年代ほど大きく、20-30代では30ポイント以上

全体でも、年代別でも、周りに性的マイノリティが [いる] グループより [いない] グループのほうが、自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合に嫌悪感を示す [嫌だ] の割合が高い。いるか否かによる差は、20-30代でもっとも大きく31ポイントであるが、40-50代と60-70代での差はその3分の1程度の10ポイント前後と比較的小さい。つまり、「自分の子ども」の場合は周りに性的マイノリティがいることによる嫌悪感の違いは、若い年代のみで大きく、中年層と高齢層ではそれほど顕著ではない。ただし年代が上のほうが、周りに性的マイノリティが [いる] 人数が少ない、ということも差がみられないことに関連している可能性もある。(図7-24)

図7-24 性的マイノリティが周りにいるか否か別、
自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合の反応（全体、年代別）



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合(%)。

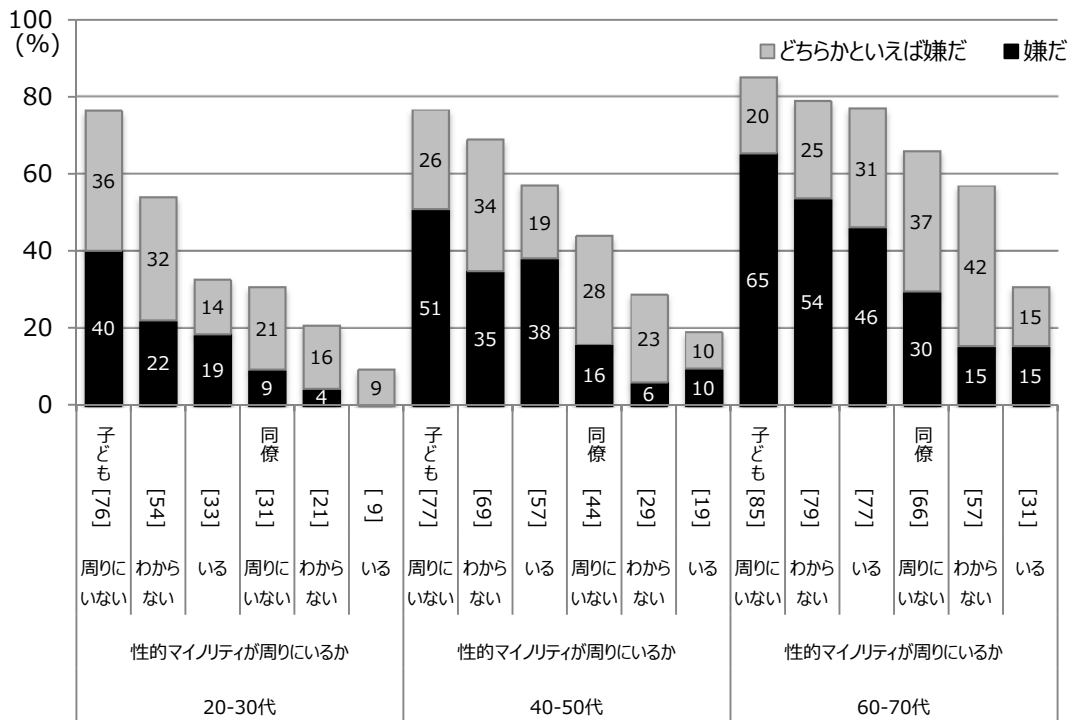
- (3) 年代・性的マイノリティが周りにいるか否か別にみた、「職場の同僚」と「自分の子ども」が性的マイノリティだった場合の「嫌悪感」

(1)と(2)では、性的マイノリティが周りにいるか否かによって嫌悪感を示す割合が異なることがわかった。そこで、結果を一覧するために、「職場の同僚」と「自分の子ども」が性的マイノリティだった場合に嫌悪感をもつ人の割合のみを取り出して図に示す。

- ① 周りに性的マイノリティがいるか否かしてみた、職場の同僚および自分の子どもが「同性愛者」だった場合の嫌悪感：周りにいても、子どもが同性愛者だった場合の嫌悪感、同僚に対する嫌悪感を上回る

「子ども」が同性愛者だった場合の嫌悪感の割合（「嫌だ」の割合）は、どの年代でも、性的マイノリティが周りに「いない」「わからない」「いる」の順に低くなるが、もっとも低くても「同僚」に対する嫌悪感の割合を上回っている。また、「同僚」に対する嫌悪感も、「いない」「わからない」「いる」の順に低くなっている。「子ども」については20-30代とくに性的マイノリティがいるか否かによる違いが目立つが、60-70代では違いが小さいことが、グラフの傾きからも読み取れる。「同僚」の場合と比べると、「自分の子ども」の場合は、いるか否かによる違いの傾向が年代で大きく異なっていることもわかる。(図7-25)

図7-25 年代・性的マイノリティが周りにいるか否か別、自分の子ども/同僚が「同性愛者」だった場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合



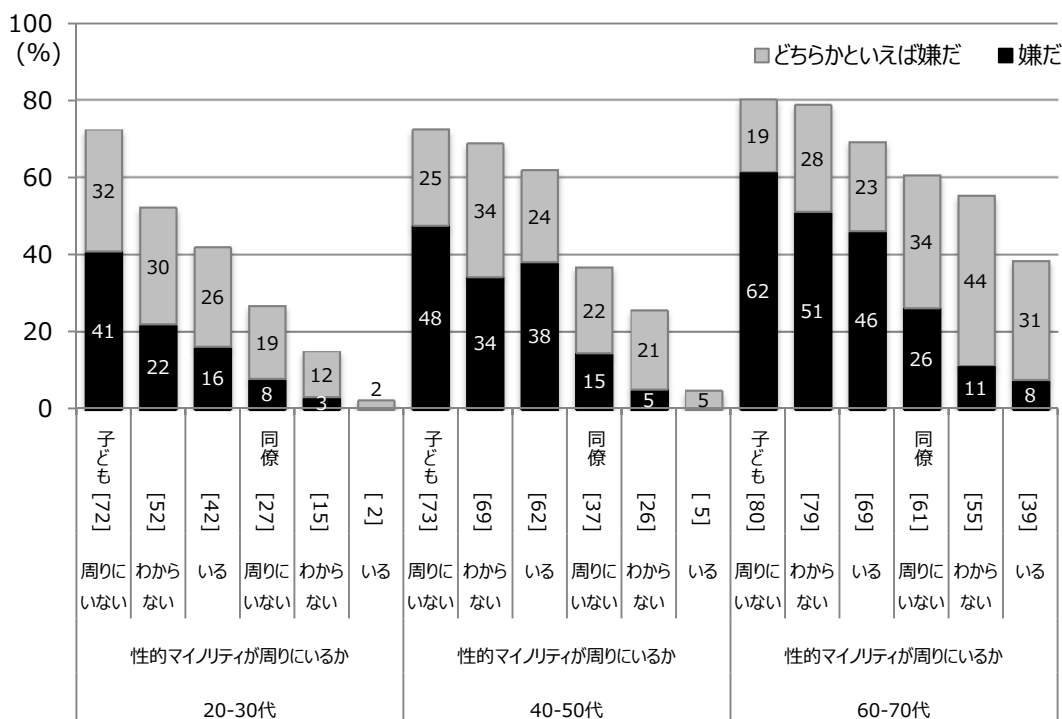
[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

- ② 周りに性的マイノリティがいるか否かしてみた、職場の同僚および自分の子どもが「性別を変えた人」だった場合の嫌悪感：周りにいても、子どもが性別を変えた人だった場合の嫌悪感、同僚に対する嫌悪感を上回る

①と同様に、「同僚」と「自分の子ども」が「性別を変えた人」だった場合について、嫌悪感をもつ人の割合のみを示すと、どの年代でも、「自分の子ども」に対する嫌悪感、性的マイノリティが周りに「いない」ともっとも高く、次いで「わからない」、[「いる」]の順である。ただし、「自分の子ども」の場合はもっとも低くても同僚に対する嫌悪感の割合を上

回る。「同僚」に対する嫌悪感の割合も、高い順から、周りに性的マイノリティが[いない]、[わからない]、[いる]である。「子ども」については、20-30代では性的マイノリティがいるか否かでの違いが大きく、60-70代ではその違いが小さいことが、グラフの傾斜からも読み取れる。(図 7-26)

図 7-26 年代・性的マイノリティが周りにいるか否か別、自分の子ども/同僚が「性別を変えた人」だった場合の「嫌だ」「どちらかといえば嫌だ」の割合



[] 内の数値は「嫌だ」と「どちらかといえば嫌だ」を足した割合 (%)。

(4) まとめ：性的マイノリティが周りにいるか否かのみた、職場の同僚/自分の子どもが性的マイノリティだった場合の嫌悪感

性的マイノリティが周りにいるか否かによって、性的マイノリティに対する嫌悪感がどのように異なるのかを、同僚と自分の子どもの場合についてみた結果、周りにいない、という人のほうが、いる人より、嫌悪感をもつ割合が高いことがわかった。同僚が同性愛者だった場合、性的マイノリティ周りにいないという人の半数以上が嫌悪感を示したが、いる、という人では1割台であった。同僚が性別を変えた人の場合も同じ傾向で、周りにいないと嫌悪感をもつ人が半数近く、いると1割未満で、この違いはどの年代でもみられた。自分の子どもの場合も、同性愛者であっても性別を変えた人であっても、周りに性的マイノリティがいないという人のほうが、嫌悪感を示す割合が高く、いるかいないかでの違いは、年代が若いほど顕著であった。

5. まとめ

近所の人、職場の同僚、きょうだい、自分の子どもが性的マイノリティだったとした場合の反応をみると、関係が近いほど、嫌悪感を示す人が多かった。嫌悪感をもち人の割合は近所の人や同僚などの他人が同性愛者の場合は約4割、性別を変えた人の場合は3割5分であるのに対し、子どもの場合は同性愛者でも性別を変えた人でも7割以上が嫌悪感を示した。性別によってみると、男性のほうが女性よりも嫌悪感を示す人が多かった。年代による違いはさらに顕著で、全般に年代が若いと、嫌悪感をもち人が少なかった。年代による開きは、きょうだいや子どもの場合のほうが、近所の人や同僚の場合よりも小さかった。若い年代では他人が性的マイノリティであった場合は嫌悪感を示す人は多くないが、子どもとなると、半数を超えていた。

就業者にしぼって、同僚が性的マイノリティだった場合の反応をみると、3人に1人が嫌悪感を示し、性別でくらべると男性は女性の約2倍であった。年代別では、40代までは嫌悪感をもち割合は2割程度でほぼ一定だが、50代以上では年代が上であるほど高く、70代では6割以上にのぼる。仕事の種類別でみると、男性では管理職と農林漁業職についている人びとに嫌悪感を示す人が多い。40-50代でも60-70代でも同僚が同性愛者の場合、管理職の6割近くが嫌悪感を示した（性別を変えた人の場合は55%）。また60-70代の男性管理職では同性愛者については8割近く、性別を変えた人については9割近くが嫌悪感を示した。女性では、[農林漁業職]と[技能・労務・作業]で嫌悪感を示す割合が高かった一方で、[管理職]ではもっとも低く、男性管理職との差がきわだっていた。ただし、回答者のうち女性管理職の数は6人のみであるため、この結果は参考として述べるにとどめる。

子どものいる回答者が示す、自分の子どもが同性愛者だった場合の反応をみると、半数以上が「嫌だ」と答え、「どちらかといえば嫌だ」の回答を含めれば4分の3以上が嫌悪感を示した。男性のほうが女性より、また年代が上であるほど嫌悪感を示す傾向があった。ただし、20-30代の若い層でも、嫌悪感を示す割合は6割台、40から60代では7割台、70代では8割にのぼる。性別を変えた人の場合でも、傾向はほぼ同じである。

性的マイノリティが周りにいるか否かによって、性的マイノリティに対する嫌悪感がどのように異なるのかを、同僚と自分の子どもの場合についてみた結果、周りにいない、という人のほうが、いる人より、嫌悪感をもち傾向がみられた。同僚が同性愛者だった場合、周りにいないという人の半数以上が嫌悪感を示したが、いる、という人では1割台であった。同僚が性別を変えた人の場合も同じ傾向で、周りにいない場合嫌悪感をもち人が半数近く、いる場合は1割未満で、この傾向はどの年代でもみられた。自分の子どもの場合も、同性愛者であっても性別を変えた人であっても、周りに性的マイノリティがいないという人のほうが、嫌悪感を示す割合が高く、違いは年代が若いほど顕著であった。

文献

和田実, 2008, 「同性愛に対する態度の性差——同性愛についての知識、同性愛者との接触、およびジェンダー・タイプとの関連」『思春期学』26(3): 322-334.

第8章 友人に対する抵抗感¹

風間 孝

第6章では行為および感情に対する嫌悪感と抵抗感をみてきたが、この章ではこうした性的マイノリティにかかわる全般的な認識ではなく、仲の良い友人という、より身近かつ具体的な状況を設定し、重要な他者に対してどのような態度がとられるかを検討した。状況設定としては、その友人が男性の同性愛者、女性の同性愛者、男性の両性愛者、女性の両性愛者だった場合、および性別を男性から女性に変えた、あるいは性別を女性から男性に変えたことがわかった場合の6つに分けてたずねている。自らにかかわりのある場合とない場合とでは、性的マイノリティに対する態度はどのように異なるだろうか。

自らにかかわりのある場合という設定によって、性的マイノリティについての一般的な認識がどのような変化をもたらすかについては、2とおりの可能性が想定できる。まず、仲の良い友人が性的マイノリティであった場合、その関係性を維持するためにこれまで抱いていた（否定的な）認識を再考する可能性が考えられるだろう。その一方で、自分とは関係のないという前提に基づき肯定していた場合、性的マイノリティが身近な他者であるという設定により、その認識がくつがえされ、否定的な認識として表出される可能性もある。

また本章では、1.の「仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の認識」に加えて、2.において「恋愛感情の認識と友人への抵抗感の関係」、および3.において「性別移行の認識と友人への抵抗感の関係」について検討している。2.では同性間の恋愛感情について容認した者・しなかった者のうち、仲の良い友人が同性愛者だとわかった場合に抵抗感を示す・示さない割合、3.では性別移行について容認・容認しなかった者のうち、仲の良い友人が性別移行をした者だとわかった場合に抵抗感を示す・示さない割合、を検討している。

なお、本章の設問では「友人に対する抵抗感」を明らかにするため、「抵抗がある」「おかしい」の両方を抵抗感の表出とみなし分析を行っている。またこれらの否定的な感情についてたずねている理由は、嫌悪感や抵抗感を明らかにするためであることを断っておく。

1. 仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感

調査では、仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感を調べるために、以下の設問をもちいた。

問26 あなたの仲の良い人が、仮に、同(両)性愛者だったり性別を変えたりした場合についておたずねします。次のア～カのそれぞれについて、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

¹ この章の集計表については、「第8章付表」を参照。

		1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらかといえ ばそう思わない	4 そう思わない
(ア)	仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(イ)	仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(ウ)	仲の良い男性の友人が両性愛者（男女両方に恋愛感情を抱く男性）だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(エ)	仲の良い女性の友人が両性愛者（男女両方に恋愛感情を抱く女性）だとわかったら、抵抗がある	1	2	3	4
(オ)	仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら抵抗がある	1	2	3	4
(カ)	仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら抵抗がある	1	2	3	4

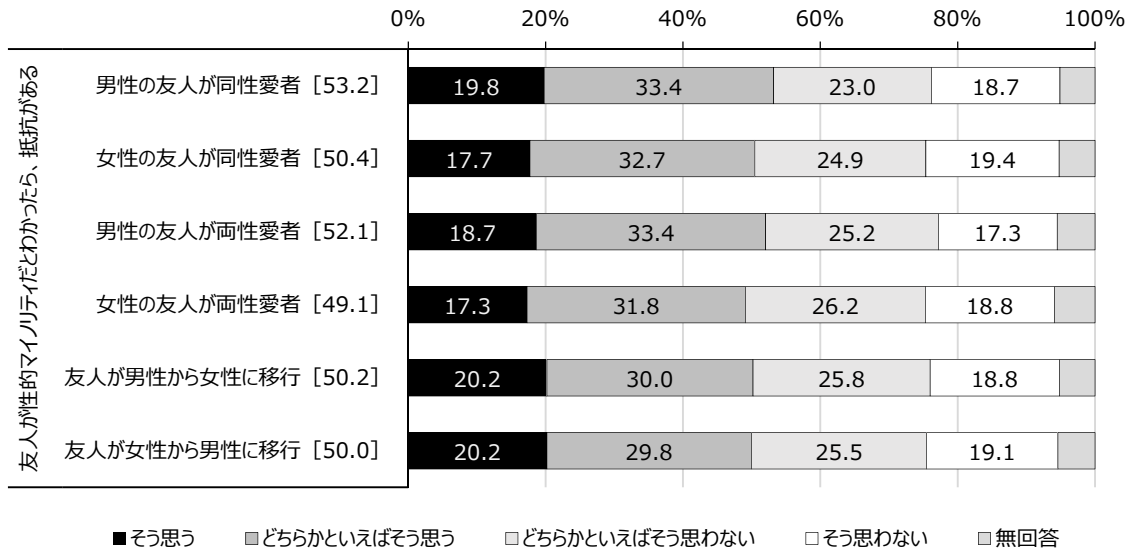
以下では、回答者全体の傾向に加えて、年代および（自認する）性別によって回答がどのように異なるのかの結果を示している。

分析にあたっては各々の設問における回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえ
ばそう思う」を〔抵抗がある〕に、そして「3. どちらかといえ
ばそう思わない」と「4. そう思わない」を〔抵抗がない〕として表記する。ただし図ではもともとの選択肢である「そう思う」「そう思わない」等で表記している。

(1) 全体の傾向：半数の人が、仲の良い友人が性的マイノリティだった場合に抵抗を感じる

仲の良い友人が性的マイノリティだとわかった場合に〔抵抗がある〕と答えた割合は、仲の良い友人が男性同性愛者、女性同性愛者、男性両性愛者、女性両性愛者だった場合、および性別を男性から女性に変えた場合、女性から男性に変えた場合、のいずれにおいても約5割であった。（図8-1）

図 8-1 仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感



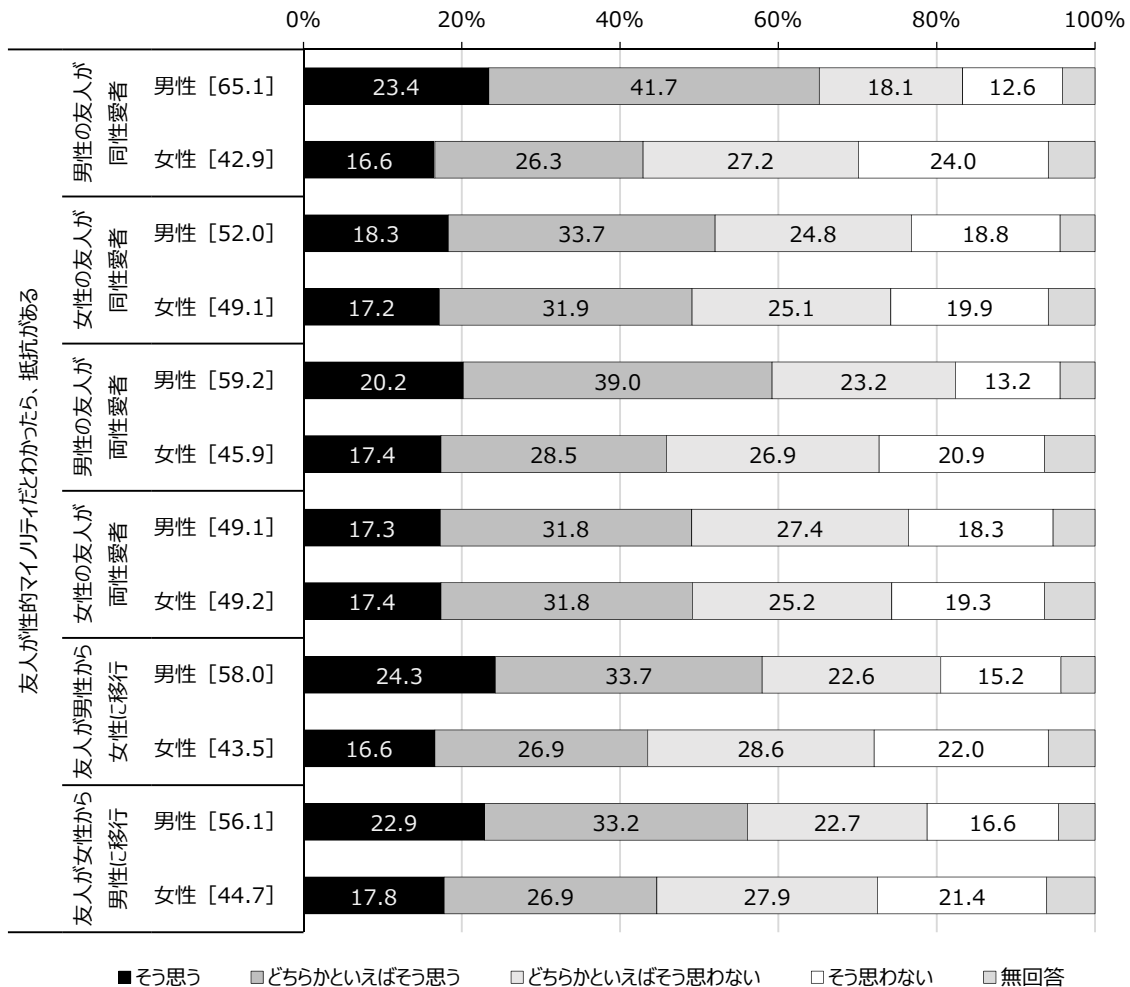
回答者数：1,259 人。[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

- (2) 性別による比較：男性のほうが、仲の良い友人が男性同性愛者、男性両性愛者、男性から女性・女性から男性への性別移行していた場合に抵抗感を示す割合が高い

友人が性的マイノリティだった場合の、男女別の抵抗感では、男性同性愛と男性両性愛、男性から女性への性別移行、女性から男性への性別移行では男性のほうが「抵抗がある」と答えた割合が高かったが、女性同性愛と女性両性愛では男女間に大きな差はみられなかった。(図 8-2)

まず、仲の良い友人が「男性同性愛者」および「男性両性愛者」だった場合に「抵抗がある」と答えた割合は、男性のほうが約 2 割多く、抵抗感をもつ割合が高かった。「女性同性愛者」と「女性両性愛者」で「抵抗がある」と答えた割合は男女の間に大きな差はみられなかった。つぎに性別移行にかかわる質問では、「女性から男性への性別移行」と「男性から女性への性別移行」では、男性のほうが「抵抗がある」と答えた割合が約 1 割以上高かった。

図 8-2 性別による比較：仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感



回答者数：男性 585 人、女性 674 人

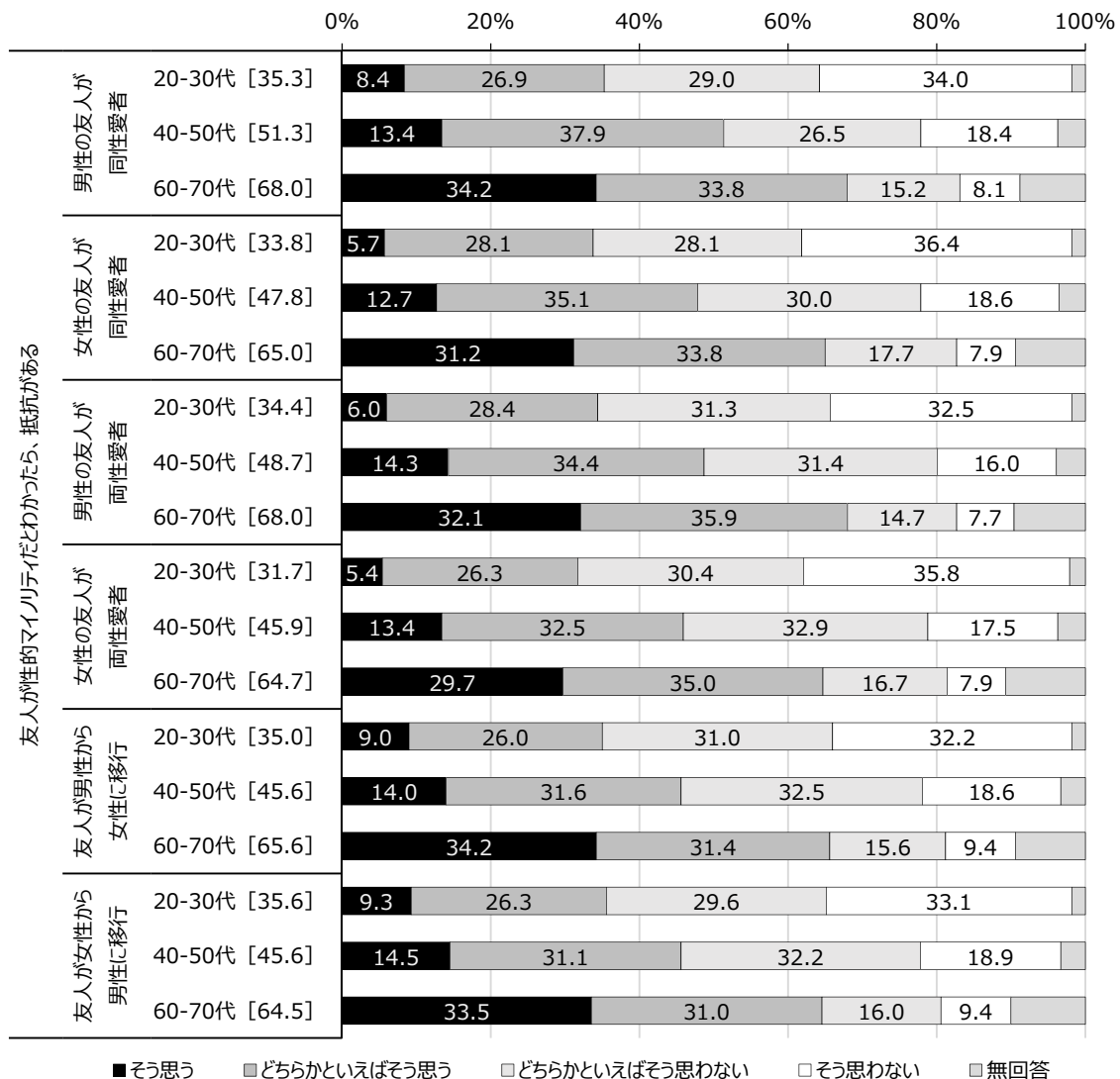
[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合 (%)。

(3) 年代による比較：年代が上であるほど、性的マイノリティが友人であった場合に抵抗感を示す割合が多い

性的マイノリティが友人であった場合の、年代別の抵抗感では、いずれの性的マイノリティにおいても、年代が上がるにつれて「抵抗がある」と答えた割合が高くなっていった。(図 8-3)

仲の良い友人が性的マイノリティだったら「抵抗がある」と答えた割合はどの性的マイノリティにおいても、20-30代は3割強、40-50代は5割前後、60-70代は7割前後であり、年代が上がるにつれて抵抗をもつ人の割合が増加していた。

図 8-3 年代別による比較：仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感



回答者数：20-30代 335人、40-50代 456人、60-70代 468人

[] 内の数値は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した割合(%)。

(4) まとめ

半数以上の人々が、仲の良い友人が性的マイノリティだとわかった場合に「抵抗がある」と答えた。性別による比較では、男性同性愛、男性両性愛、女性から男性、そして男性から女性への性別移行では、男性の方は「抵抗がある」と答えた割合が高かったが、女性同性愛と女性両性愛では男女間に大きな差はみられなかった。年代別の比較では、年代が上であるほど「抵抗がある」と答える割合が高かった。

2. 恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感の関係

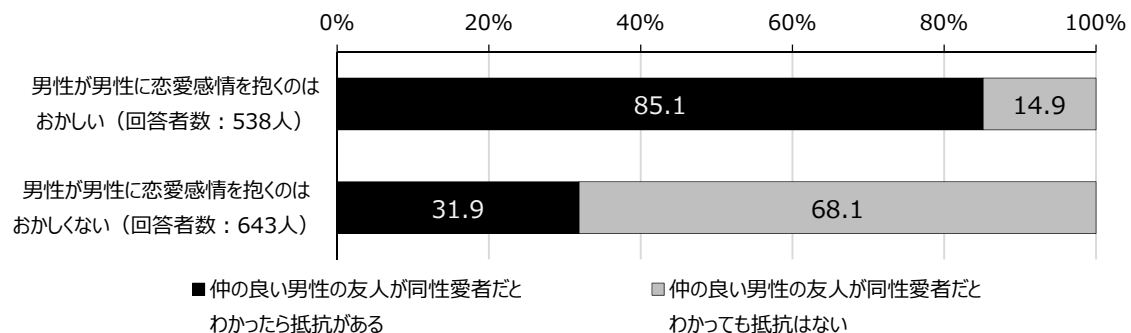
恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感との関係について検討するため、恋愛感情への抵抗感をたずねた設問（問 29；第 6 章参照）と仲の良い友人が同性愛者だとわかった場合の設問（問 26；本章 1. 参照）をもちいてクロス集計を行った。分析にあたっては問 29（エ）～（カ）の設問における回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「おかしい」に、「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「おかしくない」に統合した。同様に、問 26 の「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「抵抗がある」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「抵抗がない」と統合して表記した。

（1）男どうし：男性間の恋愛感情に抵抗感を示さない人の 3 割が男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗感をもつ

男どうしの恋愛感情と仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかった場合の抵抗感との関係では、男どうしの恋愛感情に「おかしくない」と容認した人の 3 割が男性同性愛者と友人になることに「抵抗がある」と答えていた。（図 8-4）

男性が男性に恋愛感情を抱くのは「おかしい」と答えた人のうち、仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら「抵抗がある」と答えた人は 85.1%であり、恋愛感情への抵抗感と友人になることへの抵抗感は約 8 割強、重なっていた。一方で、男性が男性に恋愛感情を抱くのは「おかしくない」と答えた人のうち、約 3 割の人が仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら「抵抗がある」と答えていた。

図 8-4 男どうし：恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感の関係



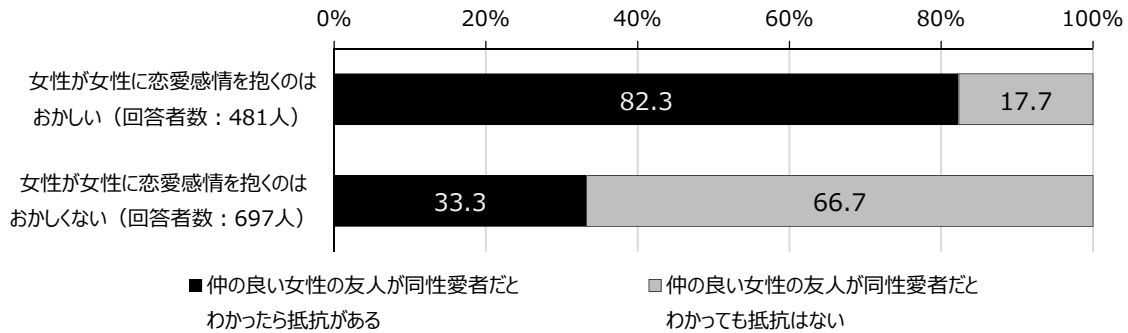
（2）女どうし：女性間の恋愛感情に抵抗感を示さない人の約 3 割が、女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗感をもつ

女どうしの恋愛感情に「おかしくない」と容認した人のうち、約 3 割が仲の良い友人が女性同性愛だった場合に「抵抗がある」と答えた。（図 8-5）

女性が女性に恋愛感情を抱くのは「おかしい」と答えた人のうち、仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら「抵抗がある」と答えた人は 82.3%であり、恋愛感情への抵抗感と友人になることへの抵抗感は 8 割ほど重なっていた。他方で、女性が女性に恋愛感情

を抱くのは「おかしくない」と答えた人のうち、仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら「抵抗がある」と答えた人は7割弱（66.7%）であった。

図 8-5 女どうし：恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感の関係



(3) まとめ

男どうし・女どうしの恋愛感情を「おかしくない」と容認した人の約3割が、仲の良い友人が男性・女性同性愛者だった場合、「抵抗がある」と回答した。このことは、男性・女性同性愛一般については「おかしくない」と答えつつも、仲の良い友人が男性・女性同性愛者だとわかった場合には抵抗感をもつ人が3割いることを示している。また、同性どうしの恋愛感情に「おかしい」と答えた人のうち、2割弱の人が仲の良い友人が同性愛者だった場合に「抵抗はない」と答えたことは、同性間の恋愛感情そのものについては否定的でも身近な人が同性愛者の時に抵抗を示さない人もまた2割弱程度いることを示している。

3. 性別移行への抵抗感と友人への抵抗感の関係

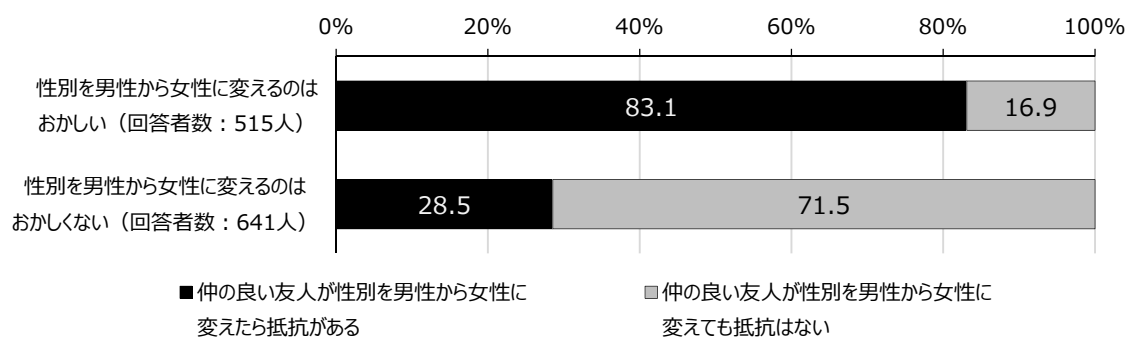
性別移行についての認識と友人への抵抗感の関係について検討するため、身体の性別を変えることへの抵抗感をたずねた設問（問 30、第 6 章参照）と仲の良い友人が性別を変えたことがわかった場合の設問（問 26、本章 1. 参照）をもちいてクロス集計を行った。分析にあたっては問 30 における回答選択肢のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「おかしい」に、「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「おかしくない」へと統合した。同様に、問 26 における「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「抵抗がある」に、「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「抵抗がない」に統合して表記する。

(1) 男性から女性：男性から女性への性別移行に抵抗感を示さなかった人の約3割が友人の男性から女性への性別移行に抵抗感

男性から女性に性別移行することへの抵抗感と、仲の良い友人が男性から女性に性別移行したことがわかった場合の抵抗感についての関係では、男性から女性への性別移行を「おかしくない」と容認した人のうち、友人が男性から女性に性別移行することに「抵抗がある」人が約3割いることがわかった。（図 8-6）

性別を男性から女性に変えるのは「おかしい」と答えた人のうち、仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら「抵抗がある」と答えた人は83.1%であり、性別移行への抵抗感と友人になることへの抵抗感は8割ほど重なっていた。一方、性別を男性から女性に変えるのは「おかしくない」と答えた人のうち、仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら「抵抗がある」と答えた人は3割弱（28.5%）であった。

図 8-6 男性から女性：性別移行への抵抗感と友人への抵抗感の関係

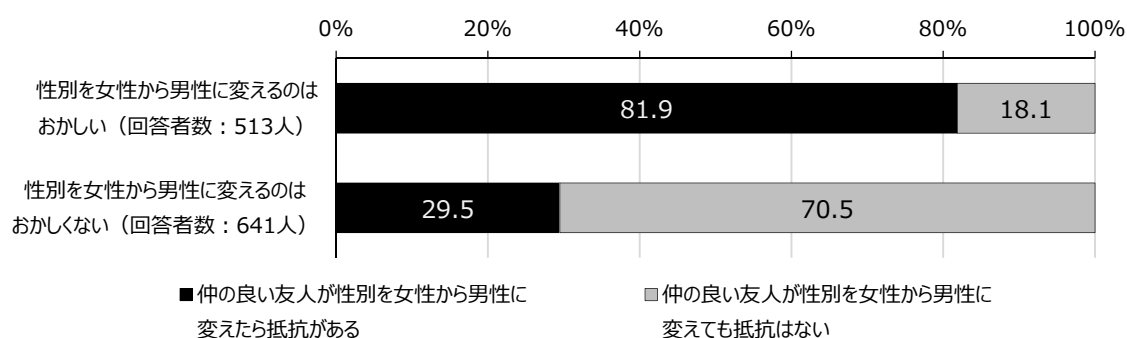


(2) 女性から男性：女性から男性への性別移行を容認した人のうち、約3割が友人の女性から男性への性別移行に抵抗感

女性から男性への性別移行に「おかしくない」と容認した人のうち、約3割は友人が女性から男性に性別移行することに「抵抗がある」と答えた。(図 8-7)

性別を女性から男性に変えるのは「おかしい」と答えた人のうち、仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら「抵抗がある」と答えた人は81.9%であり、性別移行への抵抗感と友人になることへの抵抗感は8割ほど重なっていた。一方で、性別を女性から男性に変えるのは「おかしくない」と答えた人のうち、仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたとわかったら「抵抗がある」と答えた人は3割弱（29.5%）であった。

図 8-7 女性から男性：性別移行への抵抗感と友人への抵抗感の関係



(3) まとめ

男性から女性、女性から男性への性別移行を容認した人のうち、約3割の人が、仲の良い友人が男性から女性、女性から男性への性別移行していた場合に抵抗感をもつことがわかった。このことは、性別移行そのものについては「おかしくない」と答えつつも、仲の良い友人が性別を変えた場合には抵抗感をもつ人が3割いることを示している。また、性別移行に「おかしい」と答えた人のうち、2割弱の人が仲の良い友人が性別移行した場合に「抵抗はない」と答えたことは、性別移行そのものについては否定的でも身近なひとが性別移行することに抵抗を示さない人もまた2割弱程度いることを示している。

4. まとめ

(1) 友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感

友人が男性同性愛者、女性同性愛者、男性両性愛者、女性両性愛者、男性から女性への性別を変えた者、そして女性から男性への性別を変えた者だった場合、半数が「抵抗がある」と回答した。性別による比較では、男性同性愛者、男性両性愛者、男性から女性への性別を変えた者、そして女性から男性への性別を変えた者に関して男性のほうが「抵抗がある」と答えた割合が高かった。女性同性愛および両性愛に関しては男女間に抵抗感の差はみられなかった。年代による比較では、年代が高くなるにつれて「抵抗がある」と答える割合が高くなった。

(2) 恋愛感情への抵抗感と友人への抵抗感の関係

「男どうし」もしくは「女どうし」の恋愛感情に抵抗感がないと答えた人のうち、3割の人が、仲の良い友人が男性同性愛者、女性同性愛者だった場合に抵抗感をもつと回答した。このことは、男性・女性同性愛一般については「おかしくない」と答えつつも、仲の良い友人が男性・女性同性愛者だとわかった場合には抵抗感をもつ人が3割いることを示している。

(3) 性別移行への抵抗感と友人への抵抗感の関係

「男性から女性」、「女性から男性」への性別移行に抵抗感がないと答えた人のうち、3割の人が、仲の良い友人が「男性から女性」「女性から男性」に性別移行していたことを知った場合に抵抗感をもつと回答した。このことは、性別移行そのものについては「おかしくない」と答えつつも、仲の良い友人が性別を変えた場合には抵抗感をもつ人が3割いることを示している。

第9章 友人からのカミングアウト¹

釜野 さおり

第5章では、ほとんどの回答者が自分の周りに性的マイノリティはいないと思っていることが示された。それは、実際に性的マイノリティがいたとしても、人びとはそのことを知らずにいる場合が多いためである。性的マイノリティにとって、カミングアウトは生活上の課題となっており、当事者は、いつ、誰に、どのような形で伝えるのか・伝えないのか、なぜ伝えるのか・伝えないのか、伝えたとしたらその相手の反応とどう向き合うのか、といったことを多かれ少なかれ考えながら生きている。カミングアウトそのものが問題となる背景には、性的マイノリティといわれる人のみがカミングアウトについて考えなければならない状況を作っている社会、すなわち異性愛が当然とされ、性別には「男」と「女」しかなく、出生時の性別と性自認が同じであることが疑問視されない社会がある。

前章では、仲の良い友人が性的マイノリティだった場合の抵抗感についての結果を示した。ここでは少し視点を変え、仲の良い友人から実際にカミングアウトをされたとしたら、どのように感じるかについてみていく。仲の良い友人からカミングアウトされたという特定の状況を想像してもらうことで、一般的にどう感じるかということとは、異なる角度から、同性愛者に対する感じ方を捉えようとするものである。

この調査では、友人からカミングアウトされた場合の反応を、次の設問でたずねた。

問 27 あなたが仮に、仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら（カミングアウトされたとしたら）、どのような気持ちになると思いますか。仲の良い同性からと異性からの場合のそれぞれについて、①～⑭の選択肢の中から3つまで選び、その番号を回答欄に書いてください。

【選択肢】 (右の回答欄に番号を記入)

① 言ってくれてうれしい	⑧ 気持ち悪い
② 理解したい	⑨ 迷惑だ
③ かわいそう	⑩ 大変なことになった
④ 同情する	⑪ 自分なら治してあげられる
⑤ 興味が出てくる	⑫ 聞かなかったことにしたい
⑥ 寄り添いたい	⑬ どうでもいい
⑦ 身の危険を感じる	⑭ この中にあてはまるものはない

回答欄		
仲の良い同性からの場合		
仲の良い異性からの場合		

¹ この章の集計表については、「第9章付表」を参照。

この問いでは、カミングアウトされたと想定する友人が、同性の場合と異性の場合とでは回答者の反応が異なる可能性を考慮し、それぞれについて答えてもらった。カミングアウトに対する反応を示す選択肢を設けるにあたっては、先行研究(桐原・坂西 2003a, 2003b)や雑誌(『Pe=Po』 2010)などを参照しつつ、本調査に先立つウェブ調査での回答傾向を参考にした。

ここでは、どの選択肢も選ばなかった人を除き、同性の友人の問いでは 1,153 人、異性の友人の問いでは 1,138 人について、「3 つまで」の中に各選択肢を選んだ人の割合をみていく。どの選択肢も選ばなかったのは、同性の友人については 106 人(全体の 8.4%)、異性の友人については 121 人(全体の 9.6%)である。第 8 章でみた友人への抵抗感をたずねた質問に比べると、この問いに回答しなかった人の数は比較的多く、高齢者では 10%を超えている。60-70 代の回答者でこの問いに答えなかった割合はとくに高く、異性の友人についての質問では男性の 13.7%、女性の 21.2%であった。とくに高齢者に無回答が多かった理由としては、実際の場面を想像できないために答えることができなかったことや、この問いは他の項目と異なり、選択肢をすべて読んでその数字をマスに書き入れる手間にかかる形式だったことなどが考えられる。なお、質問には回答したが、「この中にあてはまるものはない」を選んだ回答者は全体の 2%であった。

以下では、全体の傾向と回答者の性別(性自認、以下同様)と年代別に、仲の良い友人から同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応をみていく。さらに男女で分けたうえで年代別にみた結果も、いくつか抜粋して示す。

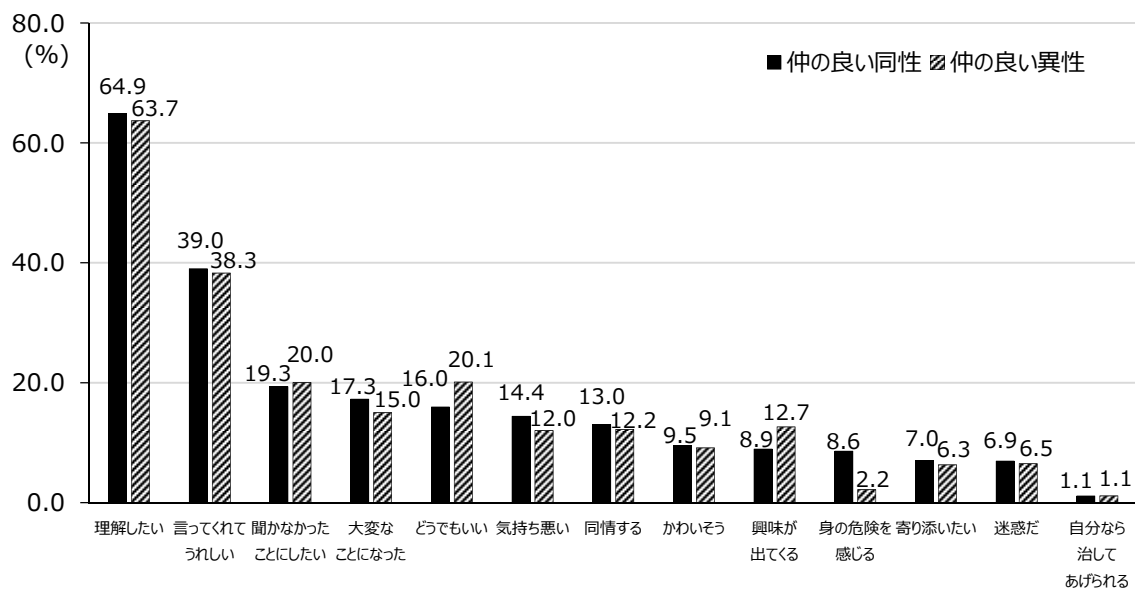
1. 全体の傾向：仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応は、その友人が同性でも異性でも、「理解したい」と「言ってくれてうれしい」がもっとも多い

仲の良い友人から同性愛者であるとカミングアウトされた場合の反応として、もっとも多くの人を選択したのが「理解したい」である。これは友人が同性でも異性でも6割台で（それぞれ64.9%、63.7%）、次に多い「言ってくれてうれしい」の4割近く（同性39.0%、異性38.3%）を大きく上回っている。次いで多いのが「聞かなかったことにしたい」（同性19.3%、異性20.0%）と、「どうでもいい」（同性16.0%、異性20.1%）で、どちらも約2割の回答者に選ばれている。

「気持ち悪い」、「身の危険を感じる」といった否定的な反応や、「同情する」「かわいそう」といった同情的な選択肢を選ぶ人も、1割前後みられる。「気持ち悪い」は1割台（同性14.4%、異性12.0%）、「同情する」も1割台（同性13.0%、異性12.2%）である。「身の危険を感じる」は、友人が同性の場合は1割弱（8.6%）である。同性にカミングアウトした結果、その相手から、自分が性愛の対象となるのではないかと思われた、という当事者の経験はめずらしくない。「身の危険を感じる」という反応には、そうした恐怖心も含まれると思われる。また、「大変なことになった」を選んだ人の割合は1割強（同性17.3%、異性15.0%）である。

同性愛者だとカミングアウトされた友人が異性なのか同性なのかによる回答の違いをみると、同性からの場合のほうが異性からの場合よりも割合が高いのは「身の危険を感じる」で、その差は6ポイントである。その他の項目での差はすべて5ポイント未満である。（図9-1）

図9-1 仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応：
同性からの場合と異性からの場合



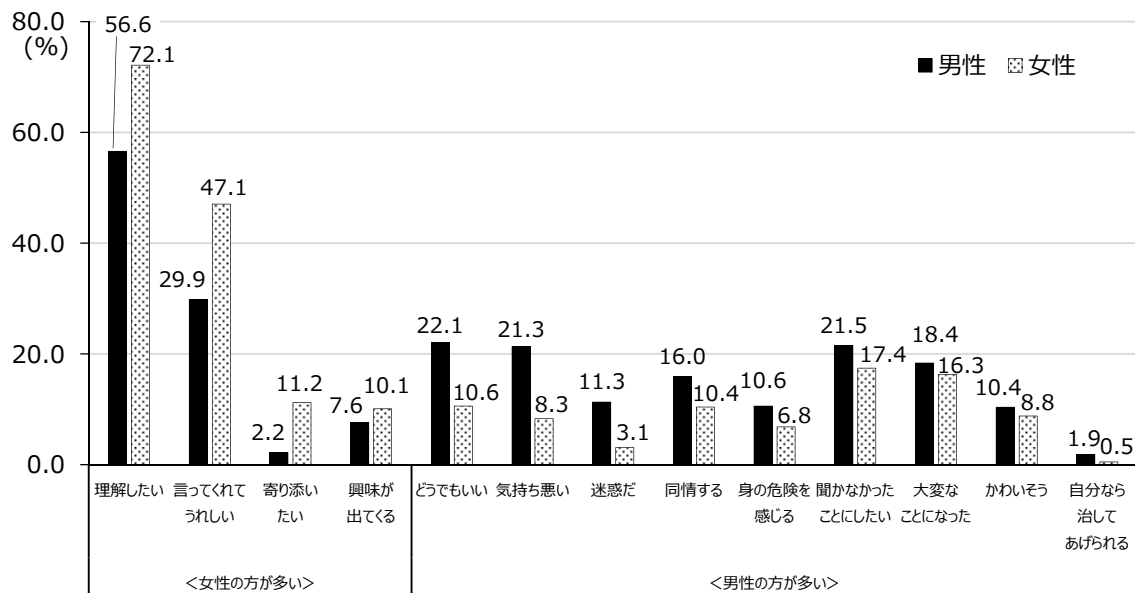
回答者数：「仲の良い同性の友人」1,153人、「仲の良い異性の友人」1,138人

2. 回答者の性別でみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応

- (1) 仲の良い同性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応:「理解したい」、「言ってくれてうれしい」は女性に多く、「気持ち悪い」、「どうでもいい」、「迷惑だ」の否定的反応は男性に多い

仲の良い同性の友人から「同性愛者」だとカミングアウトされた場合の反応のうち、女性が男性より多く選ぶのは「理解したい」(女性7割台、男性5割台)、「言ってくれてうれしい」(女性半数弱、男性約3割)、「寄り添いたい」(女性1割、男性2%)の3つである。男性との差は「理解したい」と「言ってくれてうれしい」で16~17ポイントである。男性に多いのは、「どうでもいい」、「気持ち悪い」、「迷惑だ」、「同情する」、「身の危険を感じる」の否定的な反応で、「気持ち悪い」と「どうでもいい」では11~13ポイント程度女性より多い。(図9-2)

図9-2 回答者の性別でみた、仲の良い同性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応

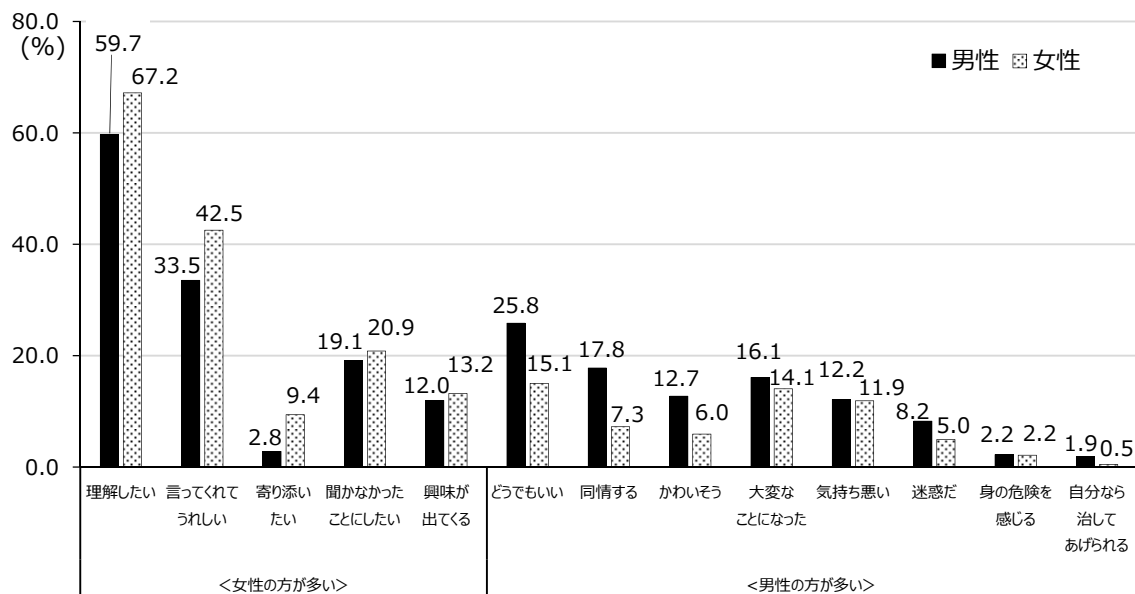


回答者数：男性 539 人、女性 614 人

(2) 仲の良い異性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応：「どうでもいい」と「同情する」は男性で多く、「言ってくれてうれしい」は女性に多い

仲の良い異性の友人から同性愛者だとカミングアウトされたとした場合の反応も、男女で異なる。「どうでもいい」と「同情する」では 10 ポイント以上、「かわいそう」では 7 ポイント男性のほうが高い。一方、「言ってくれてうれしい」、「理解したい」、「寄り添いたい」では 7~9 ポイント女性のほうが高い。全般に、仲の良い異性からの場合の男女の差は、同性の友人からの場合よりも小さい。男性が男性からカミングアウトされた場合の反応の傾向が、女性が女性からされた場合や男女それぞれが異性からされた場合とは異なることが読み取れる。(図 9-3)

図 9-3 回答者の性別でみた、仲の良い異性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応



回答者数：男性 534 人、女性 604 人

(3) まとめ：全体および回答者の性別でみた、仲の良い友人からのカミングアウトへの反応

全体では、友人が異性でも同性も、同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応は、「理解したい」がもっとも多く 6 割台、次いで「言ってくれてうれしい」の 3 割台である。これらの選択肢はとくに女性で多く選ばれている。一方「どうでもいい」や「聞かなかったことにしたい」という反応も 2 割前後みられる。「気持ち悪い」を選択した割合は、男女とも 1 割を超えている。

同性の友人からカミングアウトされた場合の反応で女性のほうが多く選んだのは、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「寄り添いたい」で、男性よりも 9~17 ポイント高い。カミングアウトされた同性愛者の友人が異性の場合も、これらを選ぶのは女性のほうが多いが、男性との差は同性の友人からの場合よりも小さい。

男性のほうが多く選ぶのは、友人が異性か同性かにかかわらず「どうでもいい」(2割台)で、女性との差は10~12ポイント程度である。「同情する」を選んだ割合も男性のほうが多く、女性との差は同性愛者の友人が異性の場合は10ポイント、同性の場合は6ポイントである。「気持ち悪い」と「迷惑だ」は、同性の場合のみで、女性との差が8~9ポイントである。同性と異性への反応の違いが目立つのは、男性の「気持ち悪い」と「身の危険を感じる」で、同性からカミングアウトされたとした場合のほうが多い。

3. 年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応

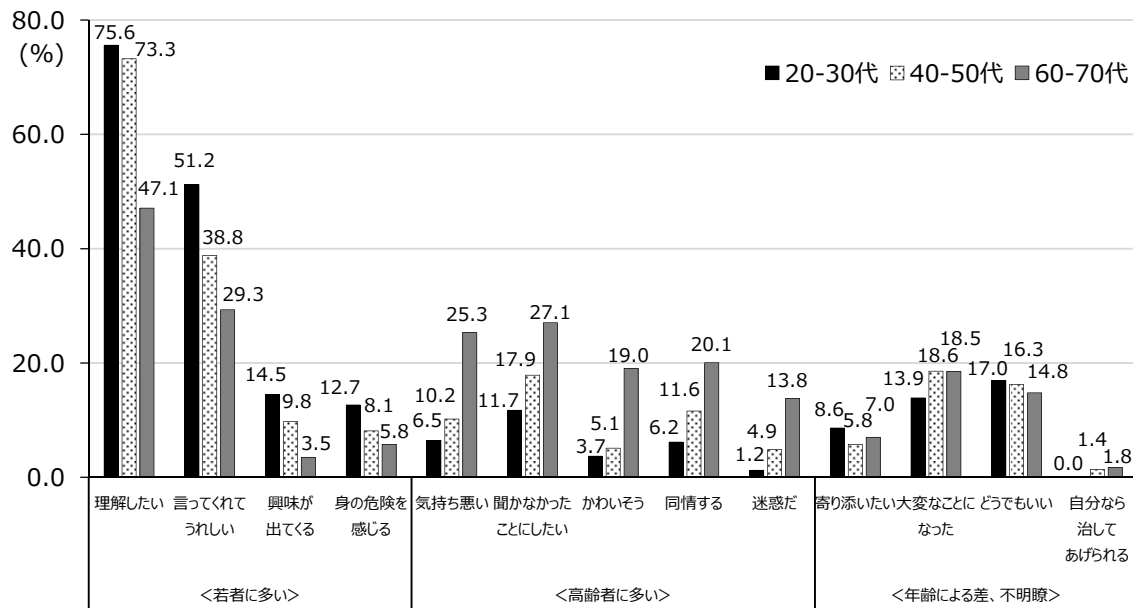
(1) 年代別にみた、仲の良い同性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応：「理解したい」と「言ってくれてうれしい」は若者に多く、「気持ち悪い」、「かわいそう」、「聞かなかったことにしたい」は高齢者に多い

次に、仲の良い同性の友人からのカミングアウトへの反応が回答者の年代によってどう異なるのかをみていく。年代による差が15ポイント以上の選択肢について、差の大きい順に挙げると、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「気持ち悪い」、「かわいそう」、「聞かなかったことにしたい」である。若い人が多く選ぶのは、「理解したい」(20-30代と60-70代との差は29ポイント)と「言ってくれてうれしい」(同22ポイント)である。一方、同情的・否定的な反応である「かわいそう」、「気持ち悪い」、「聞かなかったことにしたい」を選ぶのは高齢の人に多く、20-30代と60-70代との差は15~19ポイントである。また、年代による差が10ポイント以上で若者のほうが多い反応は、「興味が出てくる」と「身の危険を感じる」、逆に高齢者のほうが多い反応は、「同情する」と「迷惑だ」である。「寄り添いたい」、「大変なことになった」、「自分なら治してあげられる」、「どうでもいい」を選択する割合の年代による差は顕著でない。

上で述べた違いを詳しくみていくと、「理解したい」を選んだ割合はどの年代でももっとも高いが、年代による差も大きく、20-30代と40-50代では7割台(75.6%、73.3%)なのに対し、60-70代では5割に満たない(47.1%)。「言ってくれてうれしい」は、20-30代では5割(51.2%)、40-50代では4割近く(38.8%)、60-70代では3割(29.3%)で、年代が上であるほど段階的に割合が低くなる。「気持ち悪い」を選んだ割合は、60-70代では4人に1人(25.3%)で、40-50代の1割(10.2%)や20-30代の6.5%と比べて高い。「聞かなかったことにしたい」も、60-70代では27.1%で、40-50代の17.9%より10ポイント近く、また20-30代の11.7%より16ポイント高い。「かわいそう」という反応も20-30代(3.7%)と40-50代(5.1%)では低割合であるが、60-70代では2割近く(19.0%)にのぼる。

それぞれの年代で割合の高い順に注目すると、どの年代でも「理解したい」が1番目、「言ってくれてうれしい」が2番目に多く選ばれている。3番目、4番目、5番目に選ばれるのは、20-30代では「どうでもいい」、「興味が出てくる」、「大変なことになった」、40-50代では「大変なことになった」、「聞かなかったことにしたい」、「どうでもいい」、60-70代では「聞かなかったことにしたい」、「気持ち悪い」、「同情する」である。(図9-4)

図 9-4 年代別にみた、仲の良い同性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応



回答者数：20-30代 324人、40-50代 430人、60-70代 399人

- (2) 年代別にみた、仲の良い異性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応：「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「興味が出てくる」は若者に多く、「気持ち悪い」と「聞かなかったことにしたい」は高齢者に多い

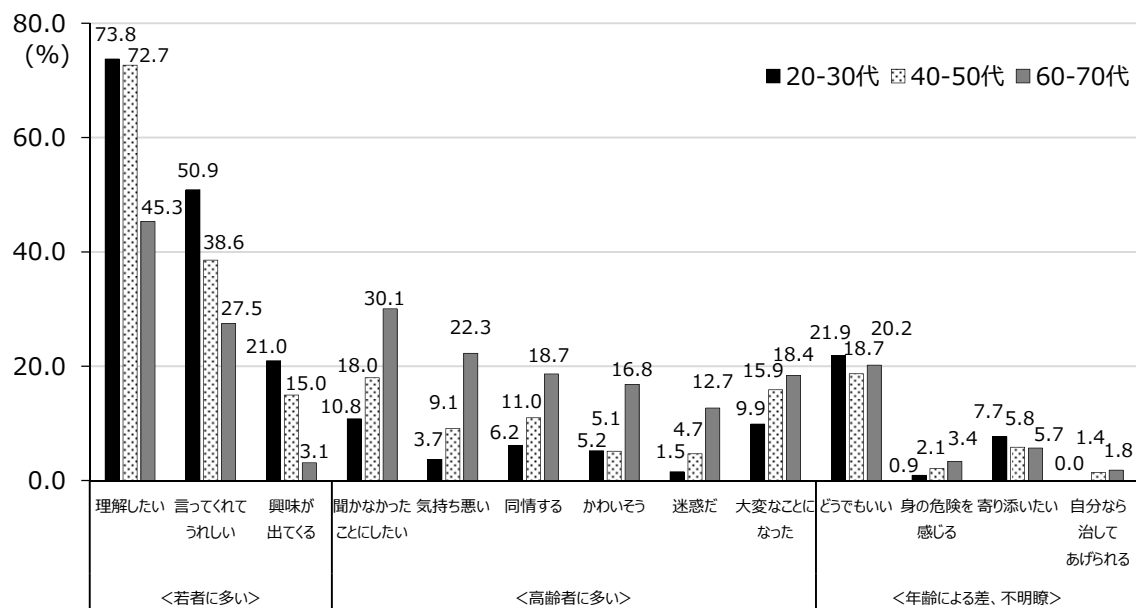
次に、仲の良い異性の友人から同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応を、回答者の年代別にみていく。年代によって15ポイント以上の差があるものを、差の大きい順に挙げると、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「聞かなかったことにしたい」、「気持ち悪い」、「興味が出てくる」である。若い人に多い回答は、同性の友人からの場合と同様に「理解したい」(20-30代と60-70代の差は28ポイント、以下同様)、「言ってくれてうれしい」(同24ポイント)、「興味が出てくる」(同18ポイント)である。逆に、「聞かなかったことにしたい」と「気持ち悪い」を選ぶ割合は高齢者に多く、60-70代と20-30代の差はどちらも19ポイントである。そのほかに年代による差が10ポイント以上あり、高齢者のほうに多いのは「同情する」、「かわいそう」、「迷惑だ」である。「どうでもいい」、「身の危険を感じる」「寄り添いたい」、「自分なら治してあげられる」を選択する割合の年代による差は、顕著でない。

これらの年代による回答の傾向を詳しくみていくと、同性の友人からのカミングアウトの場合と同様に、「理解したい」を選んだ割合はどの年代でももっとも高いが、年代による差も大きく、20-30代と40-50代では7割台(73.8%、72.7%)であるのに対し、60-70代では5割に満たない(45.3%)。「言ってくれてうれしい」を選択した割合は、20-30代では5割(50.9%)、40-50代ではほぼ4割(38.6%)、60-70代ではおよそ4人に1人(27.5%)で、年代が上であるほど段階的に選択割合が低くなる傾向がある。「聞かなかったことにしたい」は60-70代では3割(30.1%)で、40-50代の18.0%より12ポイント、20-30代の10.8%より20ポイント近く高い。「気持ち悪い」を選んだ割合は、60-70代では2割台(22.3%)で、

40-50代の約1割(9.1%)や20-30代の3.7%と比べて高い。「興味が出てくる」という反応は、20-30代でもっとも高く2割台(21.0%)、40-50代では15.0%であるのに対し、60-70代では3.7%とかなり少ない。

それぞれの年代で選択された割合の高いものをみると、どの年代でも「理解したい」がもっとも高い。20-30代と40-50代では「言ってくれてうれしい」が2番目に多く選ばれ、「どうでもいい」が3番目であるが、60-70代では「聞かなかったことにしたい」が2番目、「言ってくれてうれしい」が3番目である。4番目と5番目は、20-30代では「興味が出てくる」、「聞かなかったことにしたい」、40-50代では「聞かなかったことにしたい」、「大変なことになった」、60-70代では「気持ち悪い」、「どうでもいい」である。(図9-5)

図9-5 年代別にみた、仲の良い異性の友人から同性愛者だと告げられた場合の反応



回答者数：20-30代324人、40-50代428人、60-70代386人

(3) まとめ：年代別にみた仲の良い友人からのカミングアウトへの反応

仲の良い同性の友人から同性愛者であると告げられた場合の反応として、「理解したい」と「言ってくれてうれしい」を選ぶのは若い人に多く、「かわいそう」、「気持ち悪い」、「聞かなかったことにしたい」を選ぶのは高齢者に多い。これらの5項目ほどの年代差はないが、「興味が出てくる」と「身の危険を感じる」も若者に多く選ばれ、「同情する」と「迷惑だ」は高齢者に多く選ばれていた。異性の友人から同性愛者であると告げられた場合の反応では、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「聞かなかったことにしたい」、「気持ち悪い」、「興味が出てくる」の5つが多く選ばれている。同性の友人からの場合と同様に「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「興味が出てくる」を選ぶのは若い人に多い。「聞かなかったことにしたい」と「気持ち悪い」を選ぶのは高齢の人に多い。

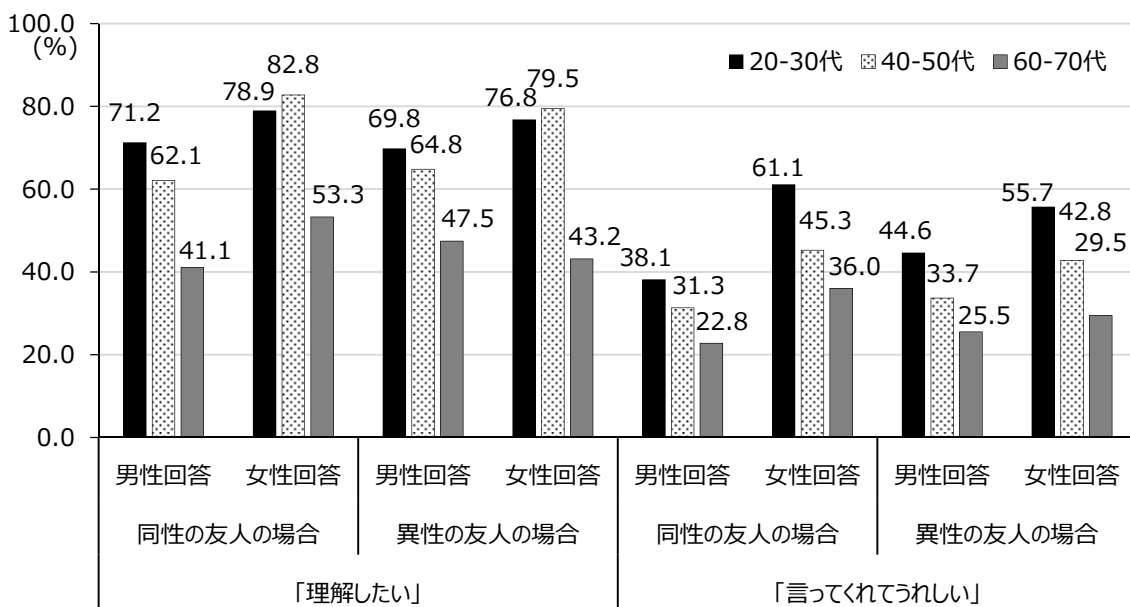
4. 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応

上記2.では性別、3.では年代別にみた結果を示したが、選択肢によっては、男性では年代で大きく異なるが、女性ではどの年代でもほぼ同じであるといった形で、年代による違いが男女で異なる可能性もある。そこで、男性と女性それぞれについて年代別に分けて集計し、きわだった傾向を述べることにする。(すべての選択肢の男女・年代別の選択割合については「第9章付表」を参照。)

(1) 性・年代別にみた「理解したい」と「言ってくれてうれしい」の選択割合：友人が同性でも異性でも、男女ともに年代による差があり、50代以下と60代以上の間の「理解したい」の差はとくに大きい

まず、全体でみた場合でも、性別と年代別のそれぞれでみた場合でも、選択された割合が高かった「理解したい」と「言ってくれてうれしい」についてみると、男女に分けても、年代による差がみられた。ただし、女性では友人が同性でも異性でも、「理解したい」を選ぶ割合に、20-30代と40-50代の間の差がほとんどない。男性では友人が異性の場合のみ、20-30代と40-50代の間の差が小さい。「言ってくれてうれしい」については、男性でも女性でも、同性愛者だと告げられた友人が異性か同性かにかかわらず、年代が上であるほど、選択割合が低い傾向がみられる。(図9-6)

図9-6 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の「理解したい」と「言ってくれてうれしい」の選択割合

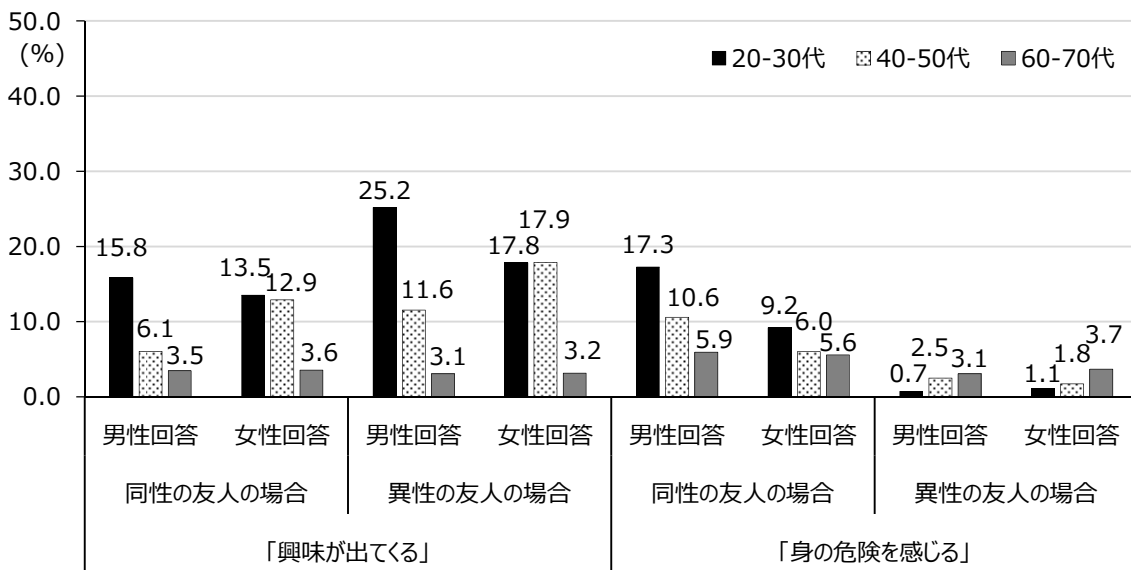


「同性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代 139人、40-50代 198人、60-70代 202人
 〔女性〕：20-30代 185人、40-50代 232人、60-70代 197人
 「異性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代 139人、40-50代 199人、60-70代 196人
 〔女性〕：20-30代 185人、40-50代 229人、60-70代 190人

(2) 性・年代別にみた「興味が出てくる」と「身の危険を感じる」の選択割合：女性に対しては「興味が出てくる」、男性に対しては「身の危険を感じる」が 20-30 代男性で高割合

次に仲の良い友人から同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応として、若い人に比較的多い「興味が出てくる」と「身の危険を感じる」についてみる。男女それぞれを年代別にみると、「興味が出てくる」を選択する割合は男性でも女性でも若い人のほうが高いが、女性の場合は 20-30 代と 40-50 代がほぼ同割合で、60-70 代のみで極端に低い。また、男性の 20-30 代では、友人が異性の場合は 25.2%で、男性の他の年代、女性のすべての年代、友人が同性の場合と比べて高い。つまり「興味が出てくる」は、女性同性愛者に対する若い男性の反応として比較的多いと言える。「身の危険を感じる」は、カミングアウトされたのが同性からの場合は、若い男性で割合が高く、高齢者では低い。20-30 代では 17.3%、40-50 代では 10.6%に対し、60-70 代では 5.9%である。異性の友人からのカミングアウトへの反応で「身の危険を感じる」を選ぶ割合は、男女とも年代にかかわらず 4%未満と低い。つまり、「身に危険を感じる」は、若い男性が男性の同性愛者からのカミングアウトに対して示す反応として、比較的多いものだと言える。(図 9-7)

図 9-7 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の「興味が出てくる」と「身の危険を感じる」の選択割合



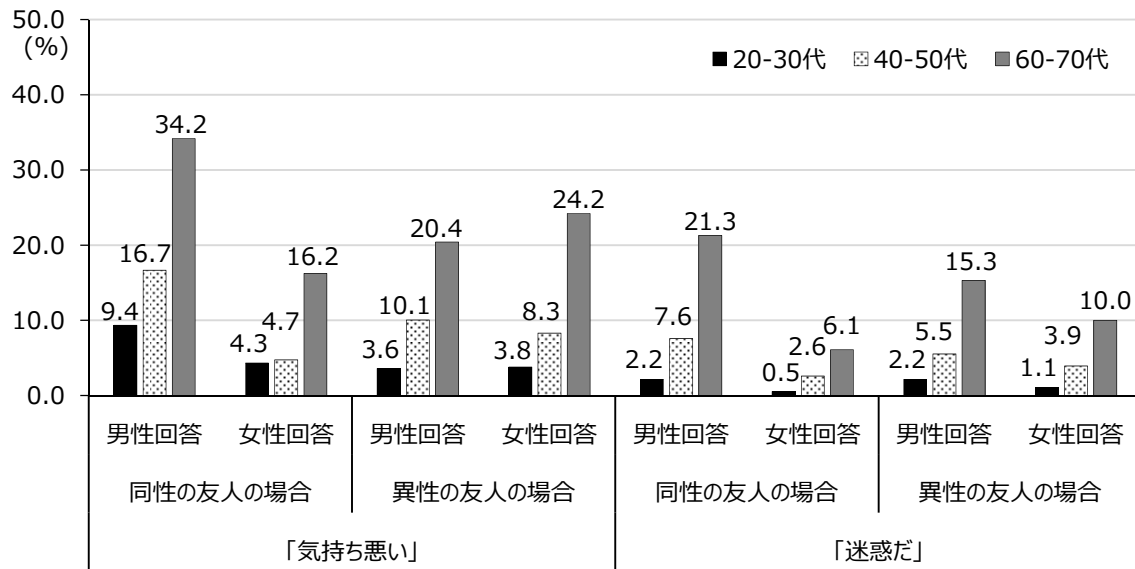
「同性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30 代 139 人、40-50 代 198 人、60-70 代 202 人
 〔女性〕：20-30 代 185 人、40-50 代 232 人、60-70 代 197 人
 「異性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30 代 139 人、40-50 代 199 人、60-70 代 196 人
 〔女性〕：20-30 代 185 人、40-50 代 229 人、60-70 代 190 人

(3) 性・年代別にみた「気持ち悪い」と「迷惑だ」の選択割合：60-70 代では男女とも、男性からのカミングアウトに「気持ち悪い」の反応が多い

高齢者に比較的多い「気持ち悪い」と「迷惑だ」の選択割合を男女に分けて年代別にみると、同性の友人から同性愛者だと告げられた場合、20-30 代男性では 1 割未満 (9.4%)、

40-50代男性では16.7%、60-70代男性では3割台（34.2%）が「気持ち悪い」を選んでおり、年代が上であるほど高割合である。また、女性で「気持ち悪い」を選ぶのは60-70代のみで高く6人に1人程度（16.7%）である。「気持ち悪い」を選ぶ割合がとくに高い60-70代をみると、異性の友人からのカミングアウトの場合は、男性でも女性でも2割台であるが、同性の友人からの場合は男性では34.2%、女性では16.2%で差が18ポイントである。男性の友人からカミングアウトされると気持ち悪いという感覚が高齢者の間では男性にも女性にもあることがうかがえる。「迷惑だ」を選択する割合も男性では高齢者で高く、同性の場合は2割台、異性の場合は15%である。女性では高くても60-70代の異性の友人の場合の1割である。（図9-8）

図9-8 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の「気持ち悪い」と「迷惑だ」の選択割合



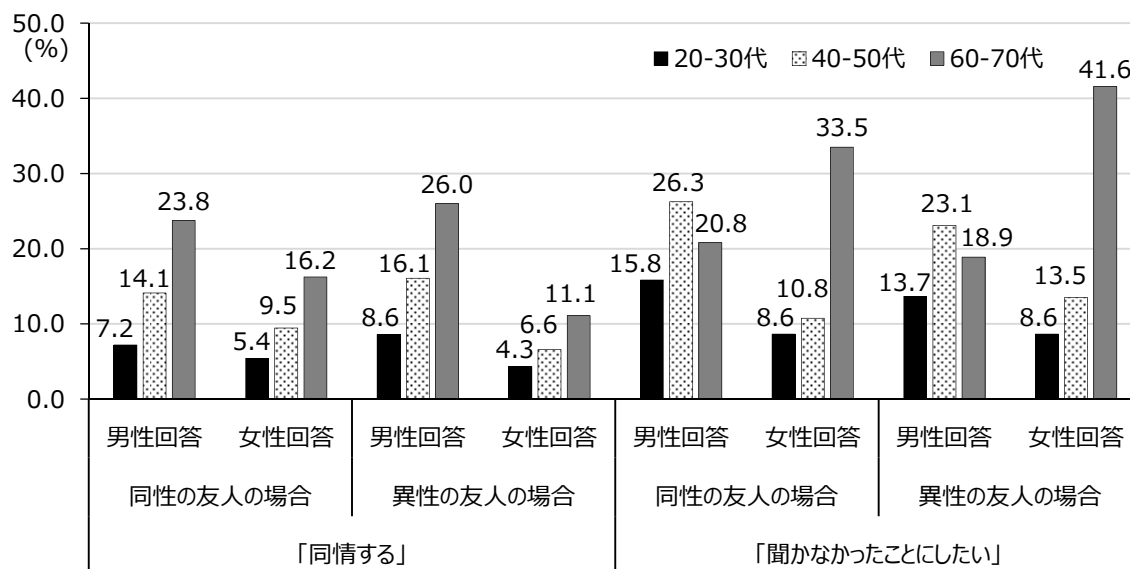
「同性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代139人、40-50代198人、60-70代202人
 〔女性〕：20-30代185人、40-50代232人、60-70代197人
 「異性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代139人、40-50代199人、60-70代196人
 〔女性〕：20-30代185人、40-50代229人、60-70代190人

（4） 性・年代別にみた「同情する」と「聞かなかったことにしたい」の選択割合：年代による差が大きい男性の「同情する」、60-70代女性に多い「聞かなかったことにしたい」

仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応のうち、「同情する」と「聞かなかったことにしたい」も、全体でみたときに年代が上であるほど選択割合が高いが、性別に分けたうえで年代別にみても、男女ともに若い年代に比べ高齢者で多く選択されている。ただし、この傾向からはずれるものもある。「聞かなかったことにしたい」の選択割合は男性では異性の友人でも同性の友人でも、40-50代がもっとも高い。「同情する」は、同性の友人からの場合も異性の友人からの場合も、男性の60-70代は2割台で、すべての年代で男女別にみた場合より高い。一方「聞かなかったことにしたい」は、女性では60-70代で

とくに高く、友人が同性の場合は 33.5%、異性の場合は 46.1%で、20-30 代との差はそれぞれ 33 ポイント、25 ポイントと大きい。男性の「聞かなかったことにしたい」の選択割合はカミングアウトされた友人が異性の場合も同性の場合も、40-50代でもっとも高い。(図 9-9)

図 9-9 性・年代別にみた、仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の「同情する」と「聞かなかったことにしたい」の選択割合



「同性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代 139人、40-50代 198人、60-70代 202人
 〔女性〕：20-30代 185人、40-50代 232人、60-70代 197人
 「異性の友人」の問いへの回答者数：〔男性〕：20-30代 139人、40-50代 199人、60-70代 196人
 〔女性〕：20-30代 185人、40-50代 229人、60-70代 190人

(5) まとめ：性・年代別にみた仲の良い友人から同性愛者だと告げられた場合の反応

仲の良い友人からカミングアウトされた場合の反応を、男女に分けたうえで年代別にみると、いくつかの特徴が浮かび上がった。まず、「興味が出てくる」は、女性の友人からカミングアウトされた場合に、20-30代男性の4人に1人が選択している。また、女性の20代から50代でも2割弱が「興味が出てくる」を選んでいる。男性の20-30代では、男性からのカミングアウトに対し、1割以上が「身の危険を感じる」と答えており、他の年代や女性回答との差が目立つ。高齢の男性では、否定的な反応が若い男性や女性全般に比べて多い。とくに男性からのカミングアウトでこの傾向が顕著である。男性からのカミングアウトに対して高齢男性の3人に1人が「気持ち悪い」、5人に1人が「迷惑だ」を選択している。ただし女性も4人に1人が男性からのカミングアウトに対しては「気持ち悪い」を選択している。「同情する」という反応は、高齢男性に多く、4人に1人程度が選んでいる。高齢の女性に顕著な反応は、「聞かなかったことにしたい」であり、女性からのカミングアウトの場合は3人に1人、男性からの場合は5人中2人が選択している。

5. まとめ

仲の良い友人が異性でも同性も、同性愛者であるというカミングアウトへの反応は「理解したい」が6割台でもっとも多く、他を大きく引き離している。次いで多いのは「言ってくれてうれしい」で、3割台である。これらの選択肢はとくに女性で多く選ばれている。一方「どうでもいい」や「聞かなかったことにしたい」という反応も2割前後あり、どちらも男性のほうが多い。「気持ち悪い」を選択した割合も男女とも1割を超えている。

仲の良い同性の友人からのカミングアウトへの反応として、「理解したい」と「言ってくれてうれしい」を選ぶのは若い人に多く、「かわいそう」、「気持ち悪い」、「聞かなかったことにしたい」を選ぶのは高齢の人に多い。仲の良い異性の友人からのカミングアウトに対する反応は、「理解したい」、「言ってくれてうれしい」、「聞かなかったことにしたい」、「気持ち悪い」、「興味が出てくる」の5つがもっとも多く選ばれている。仲の良い同性の友人からの場合と同様に「理解したい」と「言ってくれてうれしい」、それに加え、「興味が出てくる」を選ぶのは若い人に多い。また、「聞かなかったことにしたい」と「気持ち悪い」を選ぶのは高齢の人に多い。

仲の良い友人から同性愛者だとカミングアウトされた場合の反応を、男女に分けて年代によって比較すると、20-30代の男性の2割弱が、男性の友人からされた場合では「身の危険を感じる」と答えており、他の年代や女性の回答との差が目立つ。高齢の男性では、若い男性や女性全般に比べて否定的な反応が多く、とくに同性（男性）からのカミングアウトでこの傾向が顕著である。男性からのカミングアウトに対して高齢の男性の3人に1人が「気持ち悪い」、5人に1人は「迷惑だ」を選択している。ただし女性も4人に1人が男性からのカミングアウトに対しては「気持ち悪い」を選んでいる。また、高齢の女性に多い反応は、「聞かなかったことにしたい」である。

文献

- 『Pe=Po』, 2010年01号, 「特集 誰に?いつ?どうやって?何を?カムアウト アンケート結果発表」.
- 桐原奈津・坂西友秀, 2003a, 「セクシャル・マイノリティに対するセクシャル・マジョリティの態度とカミング・アウトへの反応」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』52: 55-80.
- , 2003b, 「セクシャル・マイノリティとカミング・アウト」『埼玉大学紀要教育学部(教育科学)』52: 121-141.

第10章 同性婚¹

石田 仁

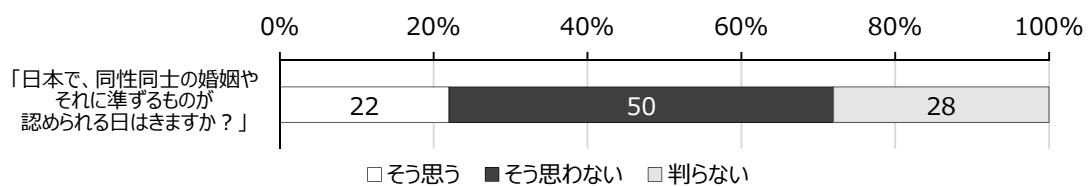
2015年2月12日に、東京都の渋谷区議が同性間のパートナー関係を証明する条例の法案提出を検討しているという報道がなされると、社会において同性パートナーシップや同性婚が広く議論されることになった。論点は多岐に渡り、異性愛者と同等の権利享受に向けた賛成論、同区の野宿者排除と比較したマイノリティ政策の二重基準を指摘する懸念論、あるいは戸籍制度を強化させる点からの反対論、より素朴には、伝統的な家族制度や種の存続の危機を理由とするヘイト・スピーチや政治家の発言などであった。

同条例に関しては、条例そのものの比較法な論点があること、条例制定をめぐる動きには、経済効果、たとえば「LGBT市場」の有望性やオリンピックとの関連も指摘されていることなどから、社会科学において多面的かつ十分な検討を要するテーマであると言える。とはいえ言説を概観する限りでは、現段階において同性パートナーシップ制度と同性婚とは厳密に分けて論じられているわけではなく、渾然一体となって捉えられている。

(1) 先行する意識調査

日本における「同性婚」に対する意識調査には、どのようなものがあるだろうか。いわゆる当事者調査に関しては、ここ20年ほどの間に少なくとも4件が確認できる。1995年から96年にかけて、パソコン通信の「GAVIE」(ガービィ)はゲイ/MSM男性向けにアンケートを行った。当事者向け調査としては長らくもっともサンプル数が多かった(890名から集票)。この調査では同性婚(とそれに準じる制度)の実現可能性をたずねる設問が含まれており、2割程度の回答者がその制度が認められる日がくると答えていた。(図10-1)

図10-1 同性婚・同性婚等の実現に対する見解：GAVIE(1995-96)の調査

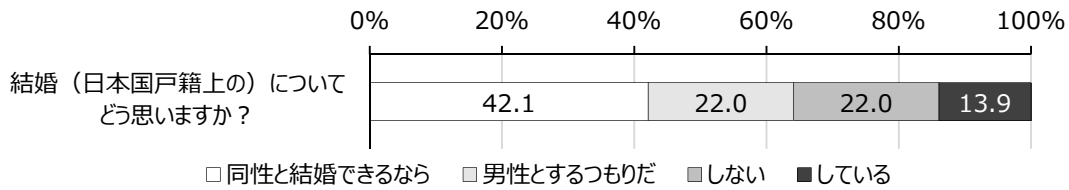


『薔薇族』(1997:132)。なお、回答者の7割強が関東地区からの、8割強が20-30代からの回答である。

同じ頃に、レズビアン・バイセクシュアル女性のための雑誌『アニス』も同性婚の問いを含めた読者調査を行っている。「結婚(日本国戸籍上の)についてどう思いますか?」という問いに対し、273人の回答者中、4割強が同性との結婚を望むと答えていた。(図10-2)

¹ この章の集計表については、「第10章付表」を参照。

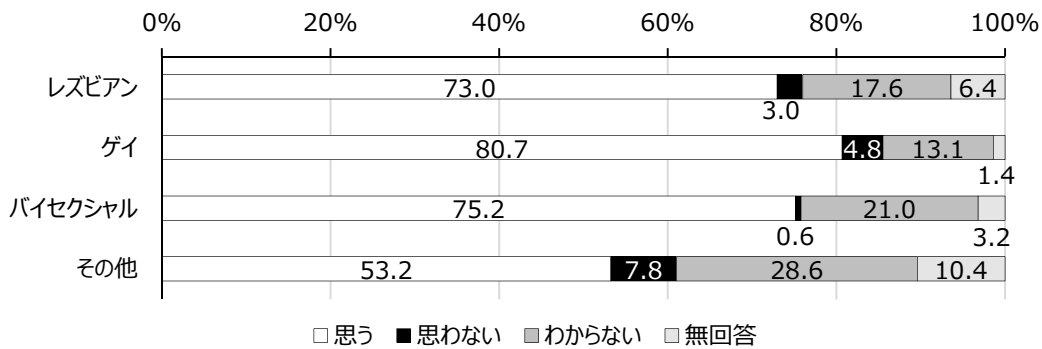
図 10-2 結婚に対する見解：『アニース』（1997）の調査



『アニース』（1997 冬号：23）の数値から作成。「している」は「すでに男性と結婚している」の意味。

2004 年には「血縁と婚姻を越えた関係に関する政策提言研究会」（政策研）が、同性間パートナーシップの法的保障に関する当事者ニーズ調査を行った。質問は多岐に渡るが、1 つだけ挙げると「あなたは将来同性間のパートナーシップを保証する新しい制度ができたなら、利用したいと思いますか？」という問いに対して、「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシャル」の者のうち 7 割から 8 割程度が、そう「思う」と答えていた。（図 1-3）

図 10-3 パートナーシップ制度を利用したいか：政策研（2004）の調査



政策研（2004：13）の数値から作成。回答者の内訳は、「レズビアン」296 名、「ゲイ」145 名、「バイセクシャル」157 名、「その他」77 名、無回答 8 名であった。「その他」と無回答はグラフから省略。

2015 年には NHK が当事者を対象にウェブ調査を行い、2,600 名の回答を得た。結婚相当の証明書を申請したいかについては、4 割近くの回答者が「申請したい」と答え、別の 4 割の回答者は「パートナーができれば申請したい」と答えていた。同性間の結婚に関しては、回答者の 3 人に 2 人が法律を作って欲しいと回答し、4 人に 1 人が結婚ではなくパートナー関係の登録制度を国が作って欲しいと回答した。（図 10-4、図 10-5）

図 10-4 パートナー証明書を申請したいか：NHK（2015）の調査

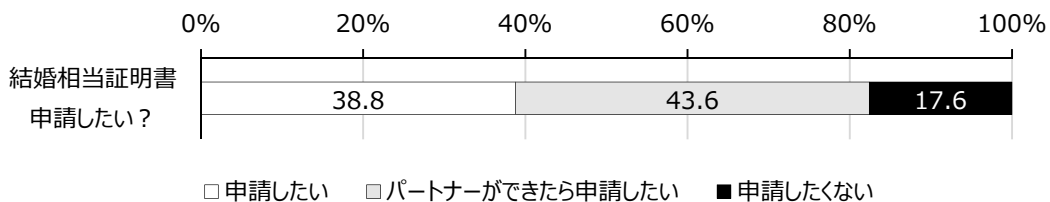
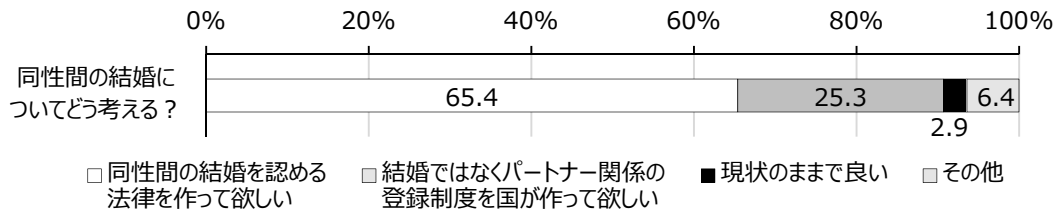


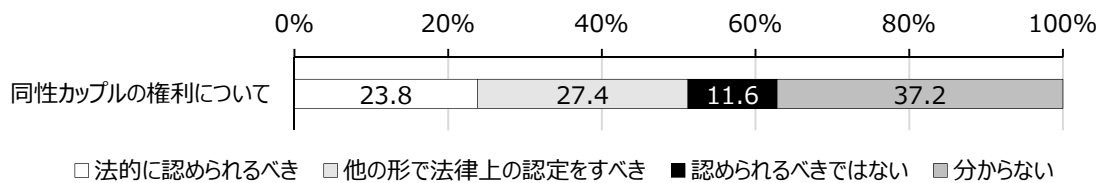
図 10-5 同性間の結婚をどう思うか：NHK（2015）の調査



NHK ウェブサイト（2015）より。

当事者に限定せず、世論調査までひろげれば、まず、フランスの市場調査会社 Ipsos (2013) の、同性婚に関する 16 カ国間の国際比較調査が挙げられる。「同性カップルの権利について、ご自身の意見にもっとも近いものは以下のうちどれですか？」という質問に対して、日本の回答者（サンプル数 500 名）のうち、119 名（23.8%）が「同性カップルの結婚は法的に認められるべきである」を、137 名（27.4%）が「同性カップルは結婚ではなく、他の形で法律上の認定を受けられるようにすべきである」を選択していた。また、58 名（11.6%）が「同性カップルの結婚やその他の形で法律上の認定は認められるべきではない」を選択し、残りの 186 名（37.2%）が「分からない」と回答していた。（図 10-6）

図 10-6 同性カップルの権利について：Ipsos（2013）の国際比較調査（日本のみ）



Ipsos（2013）table of contents 13 ページの数値から作成。

この他、日本世論調査会（以下、世論調査会）が 2014 年 3 月に、毎日新聞社が 2015 年 3 月に、それぞれ行った世論調査で「同性婚」について人びとの意識をたずねている。

当事者向けの調査は当事者のニーズや意識を知るうえで大変貴重なデータであることは確かだが、日本在住者の世論であるとは言いがたい。これに対し、世論調査会や毎日新聞社の調査は、サンプルが代表性をもち、世の意見の傾向を表していると言える。ただ、これらの世論調査の結果からは、男女や年齢による回答の違いを知ることができるものの、結果として公開されている情報は限定的であるため、第三者がさまざまな属性と関連づけて検討するには限界もある。

そこで、このたび行った社会調査の中に、同性婚の賛否を問う項目や同性婚への見解を問う項目を含めたので分析を行いたい。

(2) 回答傾向の単純集計

① 2つの設問

本調査では、「同性どうしの結婚を法で認めること」(以下、同性婚)についての意識を知るために、下記の2問をもちいてたずねている。

問 23 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

		1 賛成	2 やや 賛成	3 やや 反対	4 反対
(エ)	同性どうしの結婚を法で認めること	1	2	3	4

問 21 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどう思いますか。あなたの気持ちやお考えにあてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい	4. 伝統的な家族のあり方が失われる
2. 誰にも平等に、結婚する権利がある	5. 生殖にむすびつかないから好ましくない
3. 海外で認められているから、 日本でもあってよい	6. 海外ではあり得るかもしれないが、 日本の社会にはそぐわない
	7. この中にあてはまるものはない

② 全体の回答傾向

問 23 は同性婚に対する直接的な賛否をたずねる設問であり、択一式の形式を採る。この設問を以下、「同性婚の賛否」と呼んでおく。

「同性婚の賛否」に対する回答は、1,259 人の回答者中、「賛成」が 186 人 (14.8%)、「やや賛成」が 458 人 (36.4%)、「やや反対」が 319 人 (25.3%)、「反対」が 201 人 (16.0%)、無回答が 95 人 (7.5%) であった。以下では、「賛成」と「やや賛成」をあわせた回答を [賛成] と表記し、「反対」と「やや反対」をあわせた回答を [反対] と表記する。[賛成] と [反対] は、それぞれ 51.2%、41.3% であった。なお、無回答の 95 人を除いた場合の比率は、[賛成] が 55.3%、[反対] が 44.7% であり、いずれも [賛成] が半数を上回った。

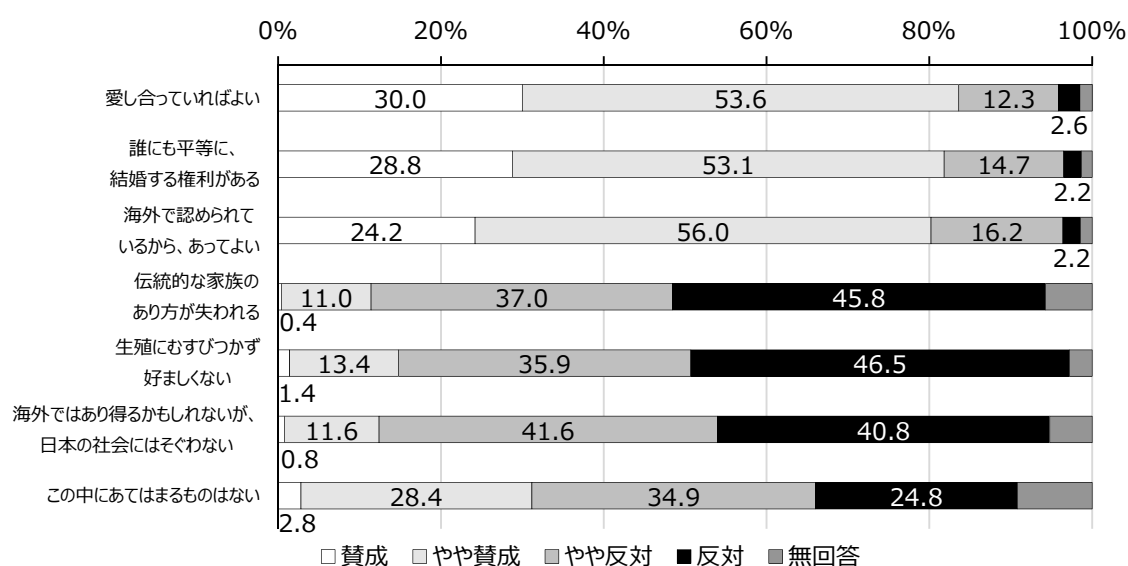
問 21 は、同性婚に対してさまざまな意見がある中で、回答者自身の見解と合致するものについてたずねる設問であり、複数選択の形式を採る。この設問を、以下「同性婚への見解」と呼んでおく。この設問の選択肢は、同性婚に対するさまざまな見解が想定される中で、主要そうなものを研究チーム内で討議して定めた。選択肢を決めるにあたっては網羅的でありつつ、他の選択肢と意味が重なりすぎないものを目指したが、この6つにおさまらない見解があることもかんがみて、7番目に「この中にあてはまるものはない」を設けた。この問いすべてに無回答だったのは 61 人 (4.8%) であった。選択肢ごとの集計結果は、「愛し合っていればよい」を選んだのが 457 人 (36.3%)、「誰にも平等に、結婚する権

利がある」が 552 人 (43.8%)、「海外で認められているから、日本でもあってよい」が 277 人 (22.0%)、「伝統的な家族のあり方が失われる」が 227 人 (18.0%)、「生殖にむすびつかないから好ましくない」が 142 人 (11.3%)、「海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」が 250 人 (19.9%)、「この中であてはまるものはない」が 109 人 (8.7%) であった。

③ 「同性婚への見解」の選択肢

図 10-7 は問 21 の各「同性婚への見解」項目で○印をつけた者が、問 23 エの「同性婚の賛否」でどのような回答をしているのかを示した結果である。

図 10-7 各「同性婚への見解」に「はい」と答えた者の「同性婚の賛否」の回答内訳



縦の項目が問 21 の「同性婚への見解」(複数回答)、横軸が問 23 のエの「同性婚の賛否」(4 択)。「同性婚への見解」すべてに無回答だった 61 名は、集計と図から省略した (以下同様)。

問 21 の「愛し合っていればよい」「誰にも平等に結婚する権利がある」「海外で認められているから、あってよい」に○をつける者は、問の 23 エの同性婚の賛否についても 8 割以上の者が「賛成」「やや賛成」を選んでいる。これに対し、問 21 の「伝統的な家族のあり方が失われる」「生殖にむすびつかず好ましくない」「海外であり得るかもしれないが、日本の状況にそぐわない」に○をつける者は、その逆で、問 23 では 8 割以上の者が「やや反対」「反対」を選んでいる。したがって回答傾向としては、「愛し合っていればよい」「誰にも平等に結婚する権利がある」「海外で認められているから、あってよい」と、「伝統的な家族のあり方が失われる」「生殖にむすびつかず好ましくない」「海外であり得るかもしれないが、日本の状況にそぐわない」とに二分して考えることができる。そこで、この結果をもとに、問 21 の前者の選択肢を「同性婚肯定関連項目」、後者の選択肢を「同性婚否定関連項目」と呼んでおく。

付言すれば、社会調査における回答者は、一般的に、さまざまな価値観から回答している。問 21 に対しても問 23 エに対しても同様である。たとえば、「生殖にむすびつかないか

「ら好ましくない」という項目は、理由と価値観が接続されている点で、調査者と被調査者の間に生ずるかもしれない解釈のずれは比較的少ないと思われる。しかし、「伝統的な家族のあり方が失われる」に関しては、「伝統的な家族」に対して否定的な見地からでも肯定的な見地からでも選択されうる項目である。（「尊重すべき伝統的な家族のあり方が失われるからいけない」／「問題を含んでいる伝統的な家族のあり方が失われるのでよい。」）この点、解釈は慎重になるべきであろう。

1. 同性婚の賛否

この第1節では、問23の「同性婚の賛否」について、さまざまな属性別にみた回答の傾向をみていく。

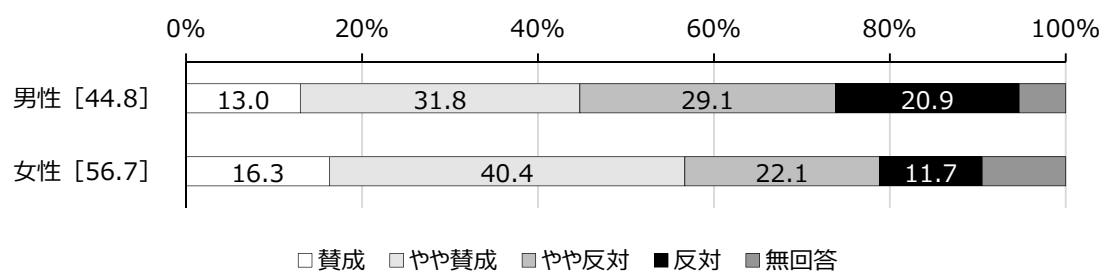
(1) 回答の傾向

① 性別：男性の半数が同性婚に〔反対〕、女性の過半数が〔賛成〕

本章での性別の分析における変数は、回答者の自認する性別（詳細はコラム参照）をもちている。この性別で集計した場合、男性は585人（46.5%）、女性は674人（53.5%）であった。

図10-8は「同性婚の賛否」について性別にみたグラフである。男性では〔反対〕は〔賛成〕より5.2%多く、女性では〔反対〕より〔賛成〕のほうが22.9%多く、女性の〔賛成〕の多さが指摘できる。なお、本設問に対する無回答（7.5%）は、男性の中で5.3%、女性の中で9.5%を占めた。

図10-8 同性婚の賛否：性別



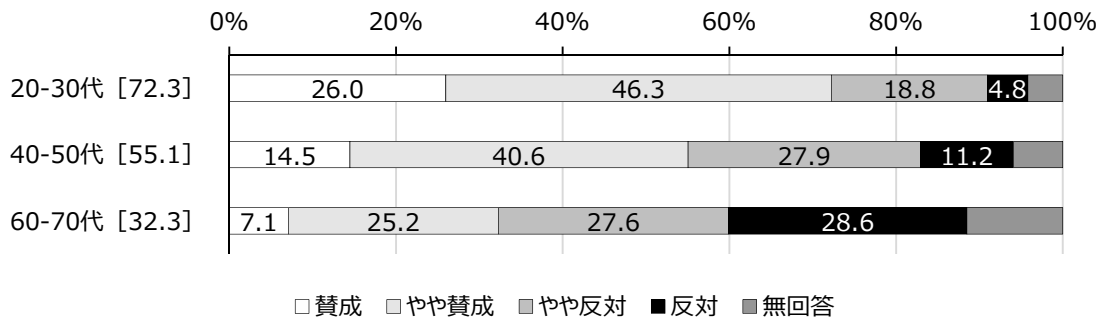
[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合（%）。

② 年代別：高齢になるほど同性婚に〔反対〕する割合が多い

本調査は、回答者の満年齢をたずねている。20歳代ごとの回答結果は、20-30代が335人（26.6%）、40-50代が456人（36.2%）、60-70代が468人（37.2%）であった。

図10-9は「同性婚の賛否」について年代別にみたグラフである。

図 10-9 同性婚の賛否：年代別



[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

「賛成」と「反対」の二分法でみる場合、高齢になるほど「反対」の割合が多くなる。明確な「反対」、つまり「やや反対」ではなくあえて「反対」を選ぶ者の多さの割合をみても、年齢が上がるにつれて多くなる。ただし、「やや反対」を選ぶ者の割合は、40-50代と60-70代の間でほとんど差がない。したがって高齢者の「反対」は、明確な「反対」を選ぶ者の多さによって特徴づけられている。

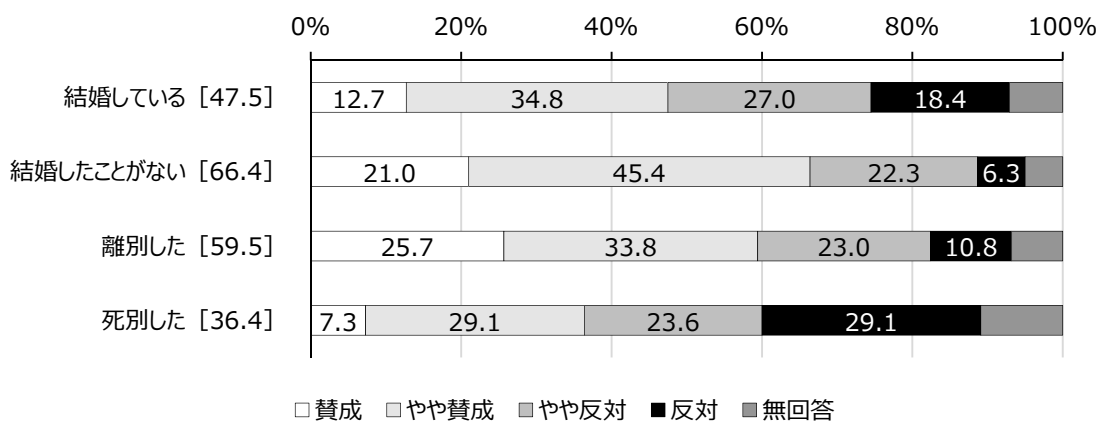
「賛成」は、高齢になるほど少なくなる。「やや賛成」は20-30代、40-50代の間であまり差がなかった。なお、無回答は年代が高くなるにつれ多くなった(60-70代で11.5%)。

③ 結婚状況・経験：未婚者と離婚者の過半数が同性婚に「賛成」

本調査は、結婚状況・経験についてたずねており、質問文は「あなたは現在ご結婚されていますか。(○は1つ)」、選択肢は「結婚している」「結婚したことがない」「離別した」「死別した」「その他」の5つである。単純集計の結果は、順に、859人(68.2%)、238人(18.9%)、74人(5.9%)、55人(4.4%)、4人(0.3%)、無回答が29人(2.3%)であった。

図 10-10 は、同性婚の賛否の「結婚状況・経験」別のグラフである。

図 10-10 同性婚の賛否：結婚状況・経験別



結婚状況・経験：「その他」と無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

[賛成]が過半数を超える層は、「結婚したことがない」人びと（うち66.4%）と「離別した」人びと（59.5%）である。無回答を除くと、「結婚をしている」人びとでもわずかに[賛成]が[反対]を上回った。[賛成]の層は、「結婚したことがない」→「離別した」→「結婚している」→「死別した」の順に少なくなった。

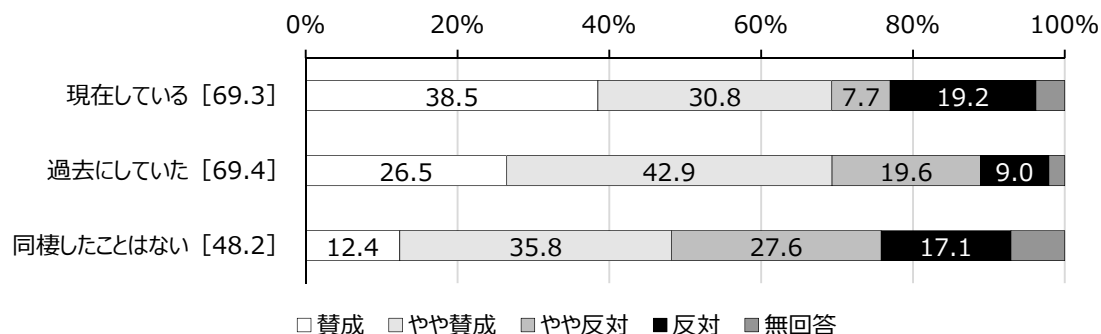
「結婚をしている」人びとと「死別した」人びとは、「結婚したことがない」人びとや「離別した」人びとと比べると、同性婚に対し「賛成」と回答する人が少なく、「反対」と回答する人が多い。

④ 異性との同棲状況・経験：同棲経験者の約7割が同性婚に[賛成]

本調査は、同棲の状況・経験についてもたずねている。質問文は「これまでに特定の異性と同棲（結婚の届け出なしで一緒に生活したこと）の経験がありますか。（○は1つ）」、選択肢は「現在している」「過去にしていた」「同棲したことはない」である。単純集計の結果は順に、26人（2.1%）、189人（15.0%）、998人（79.3%）、無回答46人（3.7%）であった。

図10-11が同性婚の賛否に関する同棲状況・経験別の結果である。「同棲したことはない」層では同性婚への[賛成]が48.2%、[反対]が44.7%と拮抗しているが、同棲を「現在している」「過去にしていた」層は、それぞれ約7割が同性婚に[賛成]している。

図10-11 同性婚の賛否：同棲状況・経験別



同棲状況・経験：無回答は図から省略。

[]内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合（%）。

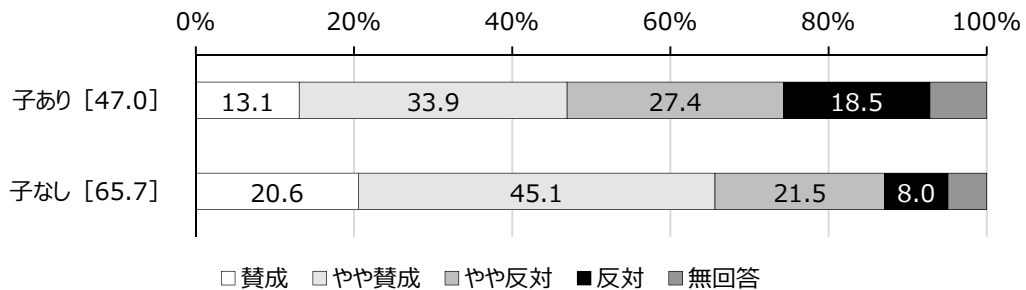
⑤ 子の有無：子がない層のおよそ3人に2人は同性婚に[賛成]

回答者の子の有無（「あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。お子さんの同居・別居は問いません。」）については、「いる」と答えた人が892人（70.8%）、「いない」と答えた人が326人（25.9%）、無回答が41人（3.3%）であった。

図10-12が同性婚の賛否に関する子の有無別にみた結果である。子が「いる」人びとでは同性婚の賛否の比率が拮抗しているが、子が「いない」人びとの場合には65.7%が[賛成]と答えている。また、「反対」と答えた層は8.0%にすぎなかった。ただしそもそも、未婚者や若年者に子がない状況も多いことから、年齢や結婚経験の条件を同一にする、ある

いは限定するなどしたうえで分析をする必要があるだろう。

図 10-12 同性婚の賛否：子の有無別



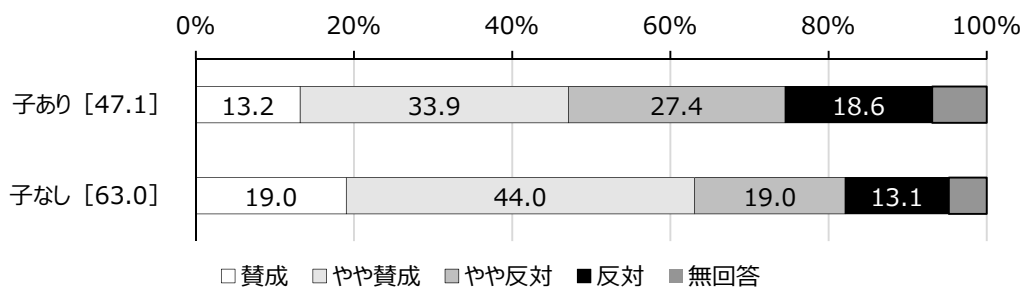
子の有無：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

⑥ 子の有無（結婚の経験者のみ）：結婚経験者でも子がいない層のおよそ3人に2人は同性婚に【賛成】

そこでさしあたり、結婚の経験者（「結婚している」「離別した」「死別した」）のみを対象とし、子の有無別の同性婚の賛否を確かめた。しかし、子の有無と同性婚の賛否については、結婚経験者のみに限定した場合としない場合とを比べた場合、明らかな違いはみられなかった。（図 10-13）

図 10-13 同性婚の賛否：子の有無別（結婚経験者のみ）



子の有無：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

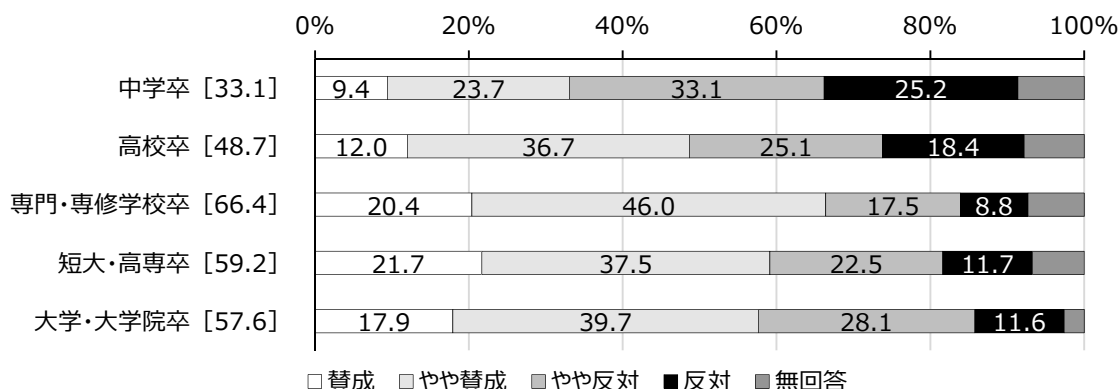
⑦ 最後に卒業した学校：同性婚への【反対】がもっとも少ない層は専修・専門学校卒

本調査では、「最後に在籍した（または在籍中の）学校」と、その学校の卒業状況（卒業、中退、在学中（休学を含む））についてたずねている。在学中や中退であった場合は、その一つ前の段階の学校として集計した。単純集計の結果は、順に、小学校卒（0人）、中学校卒（139人、11.0%）、高等学校・旧制中学校卒（510人、40.5%）、（高卒後の）専修・専門学校卒（137人、10.9%）、短大・高専卒（120人、9.5%）、大学卒（273人、21.7%）、大学院卒（29人、2.3%）、その他（5人、0.4%）、無回答46人（3.7%）であった。

図 10-14 が最後に卒業した学校別の結果である。「大学」と「大学院」は統合して「大学・大学院」とし、「その他」と無回答は分析から除いた。

「同性婚の賛否」でもっとも「反対」が多いのは、中学校卒で 58.3%、次に高等学校（旧制中学含む）卒で 43.5%、続いて大学・大学院卒で 39.7%、短大・高専卒で 34.2%、もっとも「反対」層が少なかったのは専修・専門学校卒の 26.3%であった。

図 10-14 同性婚の賛否：最後に卒業した学校別



最後に卒業した学校：「その他」と無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

⑧ 共学・別学：男子高出身者は同性婚への「賛成」が4割にとどまる

本調査では、通っていた中学校・高等学校・短大・大学が男女共学だったか別学だったのかについてもたずねている。表 10-1 がその単純集計の結果である。

表 10-1 回答者の共学・別学 (人)

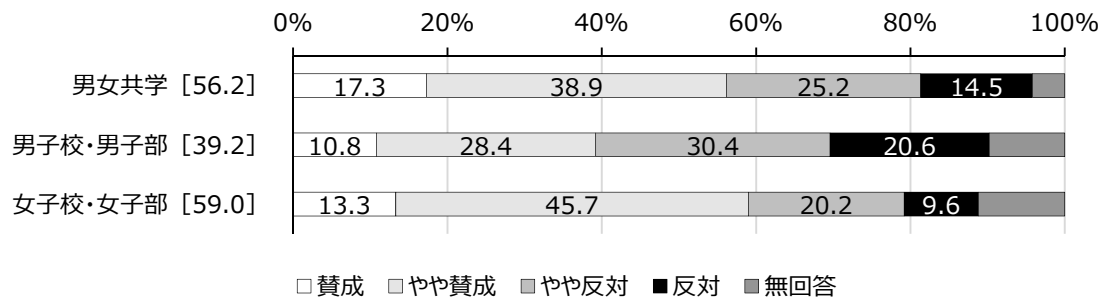
中学共学	1,158	高校共学	794	短大・大学共学	402
中学男子校 (部)	12	高校男子校 (部)	102	短大・大学男子校 (部)	8
中学女子校 (部)	17	高校女子校 (部)	188	短大・大学女子校 (部)	112

非該当 (通っていない)、無回答は除く。

中学校については男子校と女子校の出身者、短大・大学については男子校出身者の数が 10 人程度と少なかったため、ここでは高等学校のみにしぼって比較する。図 10-15 がその結果である。

「賛成」が過半数を上回るのは男女共学と女子校・女子部出身者であり、なかでも共学の出身者のほうが「賛成」を選ぶ割合は高いと言える。「反対」が「賛成」を上回ったのは男子校・男子部の出身者で、「反対」が約 4 割で、「賛成」より 1 割程度多かった。なお、男子校 (部) と女子校 (部) での無回答者は、それぞれ 9.8%、11.2%にのぼった。

図 10-15 同性婚の賛否：男女共学・別学別（高等学校のみ）



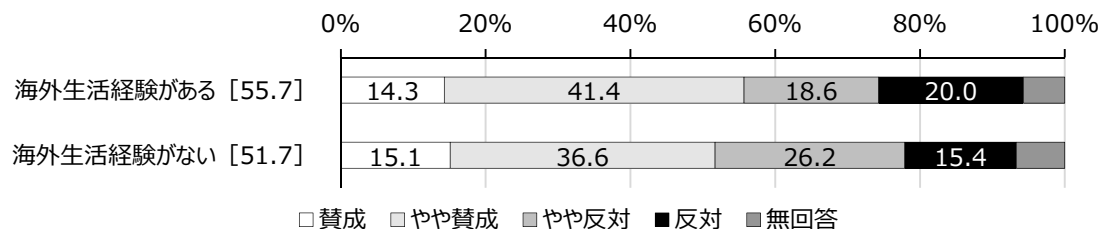
高等学校男女共学・別学の別：非該当と無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

⑨ 海外生活経験：海外生活経験の有無にかかわらず過半数が同性婚に [賛成]

本調査では、回答者の生活経験等についても質問している。その一つに、「日本以外の国・地域で1ヶ月以上生活したこと」の有無をたずねる質問項目がある。回答は「ある」が70人 (5.6%)、「ない」が1,150人 (91.3%)、無回答が39人 (3.1%) であった。

図 10-16 は海外生活経験別の同性婚賛否の結果である。海外生活経験がある者とないない者との間に若干の見解の差がみられたが、検定をしたところ統計的に有意な差ではなかった。

図 10-16 同性婚の賛否：海外生活経験別



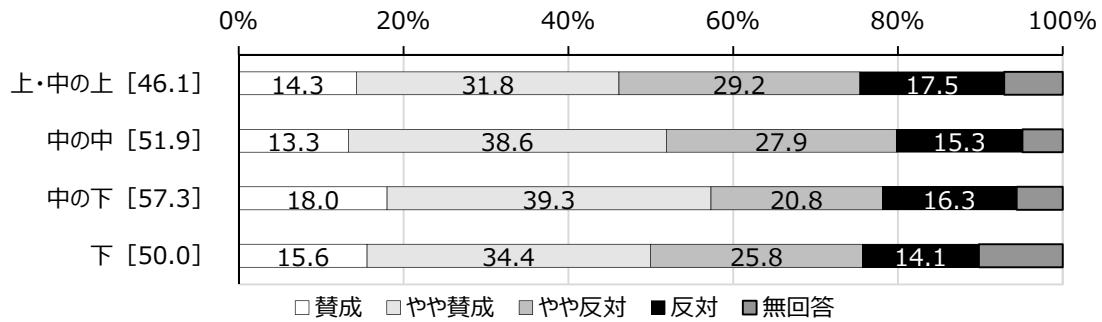
海外生活経験：無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

⑩ 階層帰属意識：目立った差はなし

回答者の自認する階層をたずねるために、本調査では、「仮に現在の日本の社会全体を、次の5つの層に分けるとすれば、あなたのお宅は、このどれに入りますか。(〇は1つ)」という質問をしている(階層帰属意識)。選択肢と集計の結果は、「上」が8人 (0.6%)、「中の上」が146人 (11.6%)、「中の中」が555人 (44.1%)、「中の下」が356人 (28.3%)、「下」が128人 (10.2%)、「その他」が9人 (0.7%)、無回答が57人 (4.5%) であった。

「上」を選択した人が8人と少なかったことから、「上」と「中の上」を「上・中の上」として統合したうえで、階層帰属意識別にみた同性婚賛否の結果が図 10-17 である。

図 10-17 同性婚の賛否：階層帰属意識別



階層帰属意識：「その他」と無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

階層帰属意識と同性婚の賛否に関して、直線的な関係はなさそうである。強いて言うならば、[賛成] が半数を割り、[反対] より少なかったのは、「上・中の上」層 (46.1%) であることと、「中の下」の層は他の層と比べて「賛成」が若干多く、また「やや反対」が若干少なかった。ただし、統計的検定をしたところ、有意な差ではなかった。

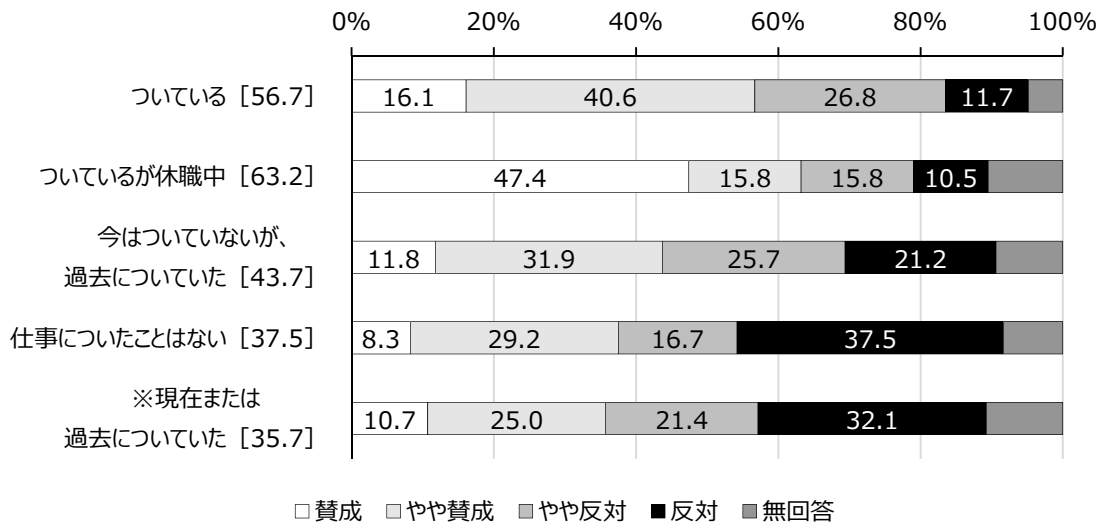
⑪ 就業状況：きわだって高い休職者の同性婚への「賛成」

本調査は、就業状況についてたずねており、選択肢と単純集計の結果は、現在仕事に「ついている」(788人、62.6%)、「ついているが休職中」である(19人、1.5%)、「今はついていないが、過去についていた」(339人、26.9%)、「仕事についたことがない」(48人、3.8%)、であった。

無回答は65人(5.2%)いたが、就業形態をたずねる次の問48(「その仕事は、次のどれにあたりますか(ましたか)。)」もしくは、仕事の種類をたずねる問49(「その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか(あたりましたか)。)」の少なくとも片方に回答していた人が28人(2.2%)いた。この回答者は、現在、または過去に仕事についている(ついていた)と仮定できるため、「※現在または過去についていた」というカテゴリーを新設し、無回答を65人から37人(2.9%)にまで減らした。

図 10-18 は就業状況別の同性婚の賛否の結果である。仕事に「ついているが休職中」である人が「同性婚」に「賛成」を示す者の割合がきわだって高かった。もっとも該当者は19人であり、1人の意見が全体の5.3%を占めるため、統計的に意味をもつかどうかは検討の余地がある。また、休職中の19名のうち、17名が女性、そのうち13名が20代から40代であり、休職者のプロフィールは特徴的であることに留意すべきである。

図 10-18 同性婚の賛否：就業状況別



就業状況：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合（％）。

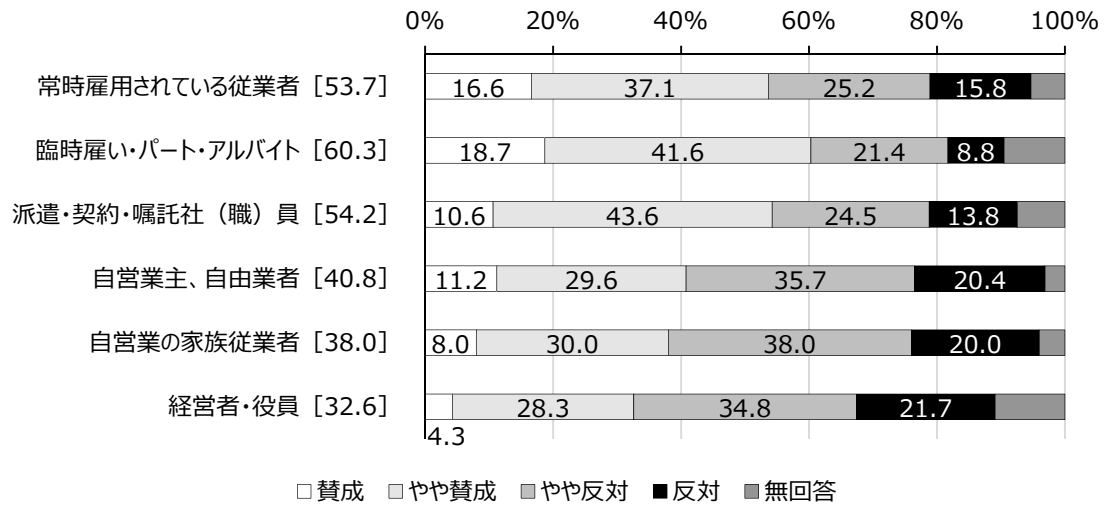
休職者を除いて比較すると、現在仕事に「ついている」と答えた者の過半数が同性婚に「賛成」であり、割合としてもっとも多いことがわかった。他方で、「今はついていないが、過去についていた」「仕事についたことがない」「※現在または過去についていた」の層は、過半数が同性婚に「反対」であることがわかった。とくに、「仕事についたことはない」人の3分の1以上が明確に「反対」と回答していた。

なお、「※現在または過去についていた」のカテゴリーを活かすために、現在仕事に「ついている」、「休職中」、「過去についていた」、「※現在または過去についていた」を統合して「就業経験あり」とし、「仕事についたことがない」を「就業経験なし」として傾向をみた（図は省略）。就業経験がある者の過半数（52.5％）が同性婚に「賛成」している一方、就業経験のない者の過半数（54.2％）が同性婚に「反対」していた。ただし、「就業経験なし」の該当者が48人にすぎないこと、性別比は男：女で約1：3であること、20代と70代に多くが集中する二極的な分布の形をとることから、慎重な分析が必要である。

⑫ 就業形態：自営業主とその家族成員、経営者役員の過半数が同性婚に「反対」

前述の質問で、就業経験がある者に対しては、その仕事が常勤雇用か、アルバイトか、自営業かなど、就業の形態についてもたずねている。選択肢と単純集計結果は、「常勤雇用されている従事者」が603人（47.9％）、「臨時雇い・パート・アルバイト」が262人（20.8％）、「派遣・契約・嘱託社（職）員」が94人（7.5％）、「自営業主・自由業者」が98人（7.8％）、「自営業の家族従事者」が50人（4.0％）、「経営者・役員」が46人（3.7％）、「その他」が8人（0.6％）、本質問に該当しない者（学生や専業主婦（夫）を含む就業経験なしの者）が85人（6.8％）、無回答が13人（1.0％）であった。図10-19が就業形態別の結果である。

図 10-19 同性婚の賛否：就業形態別



就業形態：「その他」、非該当、無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合（％）。

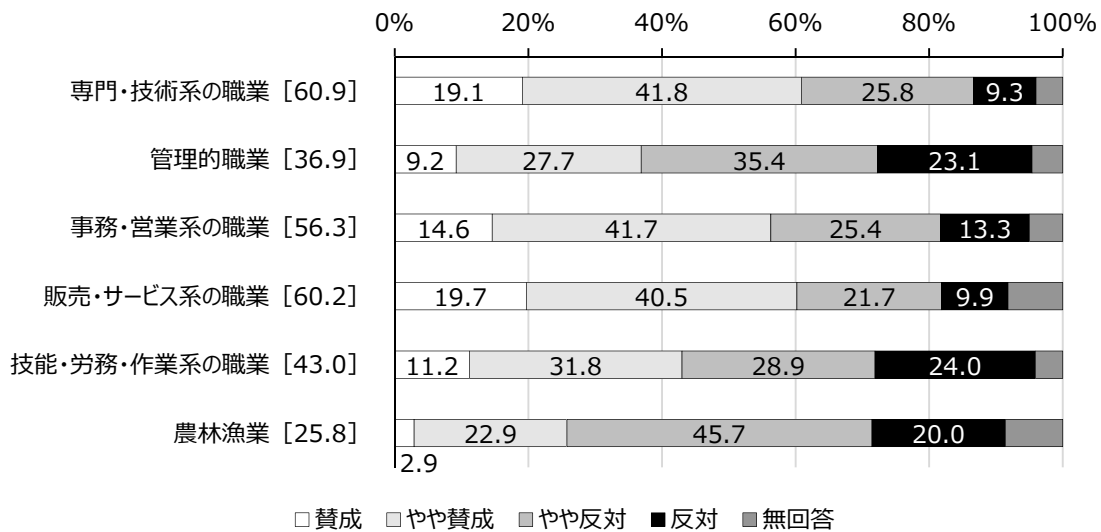
「その他」と「非該当」と無回答を除いて比較すると、同性婚に「賛成」する割合が高い層は「臨時雇い・パート・アルバイト」であり「賛成」が6割、次いで、派遣・契約・嘱託社（職）員、常勤雇用で、それぞれ5割強であった。これに対し、「反対」が過半数を占めたのは、割合が多い順に、「自営業の家族従事者」、「経営者・役員」、「自営業主・自由業者」であり、それぞれ58.0％、56.5％、56.1％であった。なお、「同性婚の賛否」に対する無回答を除いた場合、もっとも「反対」が多かったのは、経営者・役員員の63.4％であった。

⑬ 仕事の種類：管理、労務、農林漁業の過半数が同性婚に「反対」

就業経験のある層に対しては、仕事の種類についても「専門・技術系の職業」「管理的職業」「事務・営業系の職業」「販売・サービス系の職業」「技能・労務・作業系の職業」「農林漁業」「その他」の別でたずねている。単純集計の結果は、順に、225人（17.9％）、65人（5.2％）、240人（19.1％）、304人（24.1％）、242人（19.2％）、35人（2.8％）、27人（2.1％）であった。この他、学生・専業主婦（夫）など該当しない者が85人（6.8％）、無回答が36人（2.9％）いた。

図 10-20 は仕事の種類別の同性婚賛否の結果である。同性婚に過半数が「反対」していたのは管理、労務、農林漁業の仕事につく人びとであった。過半数が「賛成」するのは、専門・技術、事務・営業、販売・サービス系の仕事につく人びとであった。

図 10-20 同性婚の賛否：仕事の種類別



仕事の種類：「その他」、非該当、無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

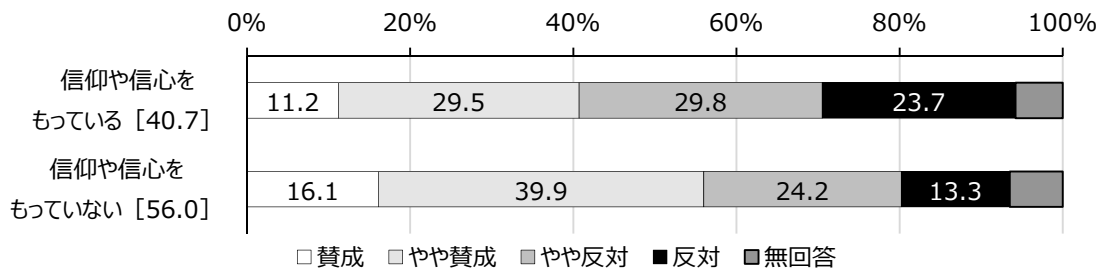
⑭ 信仰や信心：信仰や信心をもつ人の過半数が同性婚に [反対]

本調査は、宗教についての問いを2問用意している。「信仰や信心」の有無と、「宗教的な心」は大切であるかについての設問である。

単純集計の結果は、信仰や信心を「もっている」は329人(26.1%)、「もっていない」が893人(70.9%)、無回答が37人(2.9%)であった。

また、その問いに続けて「従来の宗教・宗派は別として、宗教的な心は大切だ、という意見がありますが、あなたはどう思いますか」とたずねた。選択肢と集計結果は「そう思う」が295人(23.4%)、「どちらかといえばそう思う」が430人(34.2%)、「どちらかといえばそう思わない」が290人(23.0%)、「そう思わない」が200人(15.9%)、無回答が44人(3.5%)であった。

図 10-21 同性婚の賛否：「信仰や信心」の有無別

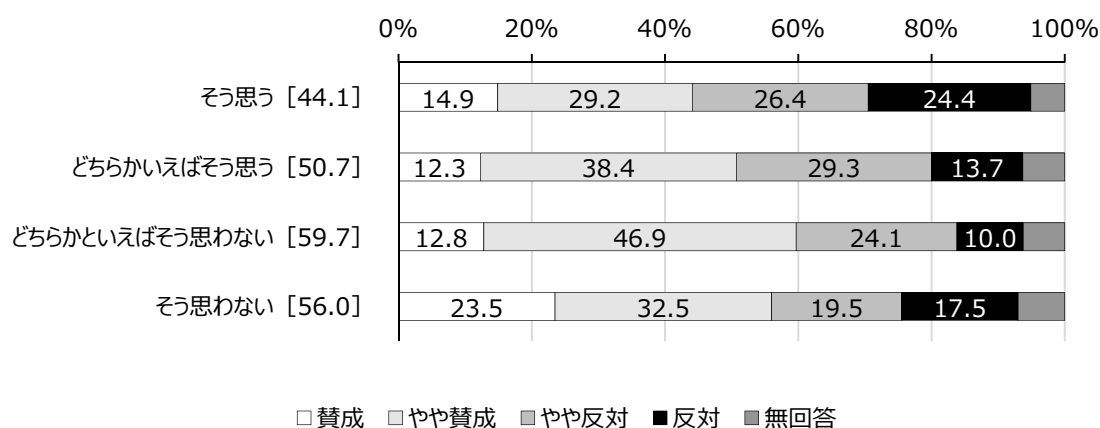


「信仰や信心」の有無：無回答は図から省略。
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

図 10-21 は宗教の有無別による同性婚の賛否の結果である。信仰・信心を「もっている」者の過半数が同性婚に反対しているが、「もっていない」者は過半数が同性婚に賛成している。ただし回答別の平均年齢をみると、信仰・信心を「もっている」者が 59.3 歳、「もっていない」者が 48.1 歳と明らかに差があるので、信仰・信心の有無は見かけの関連で、実際は年齢の影響を受けている可能性も考えられる。

⑮ 宗教的な心：宗教的な心を「大切に思う」人の過半数が同性婚に [反対]

図 10-22 同性婚の賛否：「宗教的な心は大切か」への意見別



「宗教的な心は大切か」への意見：無回答は図から省略。
[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

図 10-22 は、宗教的な心に対する態度別の同性婚賛否の結果であり、同性婚への [反対] がもっとも少ない層は「(宗教的な心が大切かについて) どちらかといえばそう思わない」と答える層であり、続いて「そう思わない」層、「どちらかといえばそう思う」層、「そう思う」層の順に、多くなる。回答層別の平均年齢は、上記の順に、47.3 歳、46.3 歳、51.3 歳、58.1 歳であり、この平均年齢を考慮に入れると、むしろ「(宗教的な心が大切かについて) そう思わない」層における同性婚への「反対」の意見が目立った。

⑯ 世帯年収：年収が低いほど同性婚への明確な「賛成」や「反対」が多い

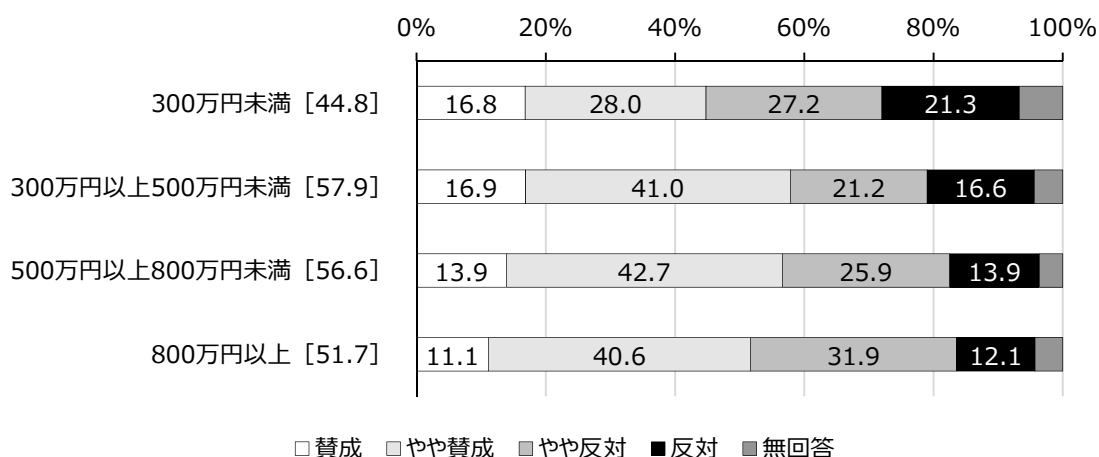
本調査は、対象者の世帯年収についてもたずねている（「去年 1 年間のあなたのお宅の収入は、税込みでは次の中のどれに近いでしょうか。生計をともにしているご家族の方の収入も含めてお答えください。」）。選択肢は「100 万円未満」「100～200 万円未満」から「1500 万円以上」の 12 カテゴリーであった。無回答は 131 票（10.4%）あった。

まずは上述のカテゴリーでクロス集計を試みたが、傾向をつかむことが難しいと判断し、無回答の 131 人を除き、それぞれのカテゴリーの該当者がだいたい同数になるように 4 分割した。結果、「300 万円未満」「300 万円以上 500 万円未満」「500 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上」へとカテゴリー化され、それぞれの該当者数と比率は、順に、268 人（21.3%）、344 人（30.5%）、309 人（27.4%）、207 人（18.4%）であった。

図 10-23 が世帯年収別の結果である。おおむね、年収が低いほうが、明確な「賛成」や明確な「反対」が多いことがわかる。300 万円以上をみる場合、「やや賛成」については、ほぼ 4 割と変わらないが、「やや反対」は、年収が高くなるにつれて多くなることがわかる。

「300 万円未満」の層は他の層と比べ、「やや賛成」を選ぶ割合が 13～15 ポイント程度下回った。また、明確に「反対」とする層は 21.3%と他と比べてもっとも多く、この層のみ「反対」が「賛成」を上回っていた。

図 10-23 同性婚の賛否：世帯年収別（4 分割）



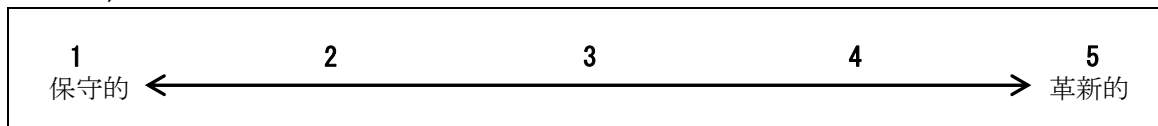
世帯年収：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

⑰ 政治観：革新層に多い同性婚への「賛成」

本調査では、回答者の政治観も下記のようにたずねている。

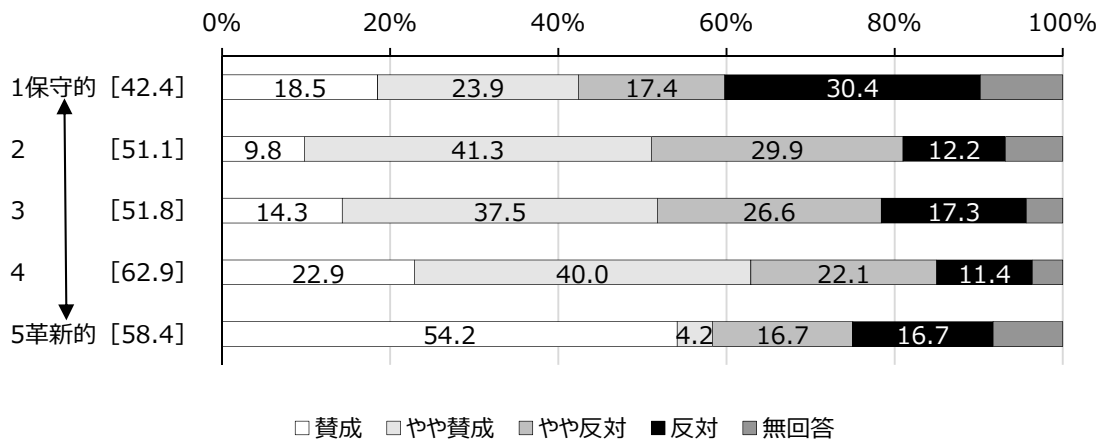
問 34 政治的な考え方全般を、保守的から革新的までの 5 段階にわけるとしたら、今のあなたはどれにあてはまりますか。あてはまる数字の上に○をつけてください。(○は 1 つ)



単純集計の結果は、「1 保守的」が 92 人 (7.3%)、「2」が 368 人 (29.2%)、「3」が 560 人 (44.5%)、「4」が 140 人 (11.1%)、「5 革新的」が 24 人 (1.9%)、無回答が 75 人 (6.0%)であった。

図 10-24 が政治観別の同性婚賛否の結果である。「無回答」(同性婚、政治観ともに)を除いて検定をかけたところ、有意差がみられなかったため、「1」と「2」、「4」と「5」を統合して再集計したのが図 10-25 である。「4・5 (革新的)」の層の 6 割強が同性婚に「賛成」と答えていることがわかる。なお、もっとも「反対」が多かったのは「3」の層であった。

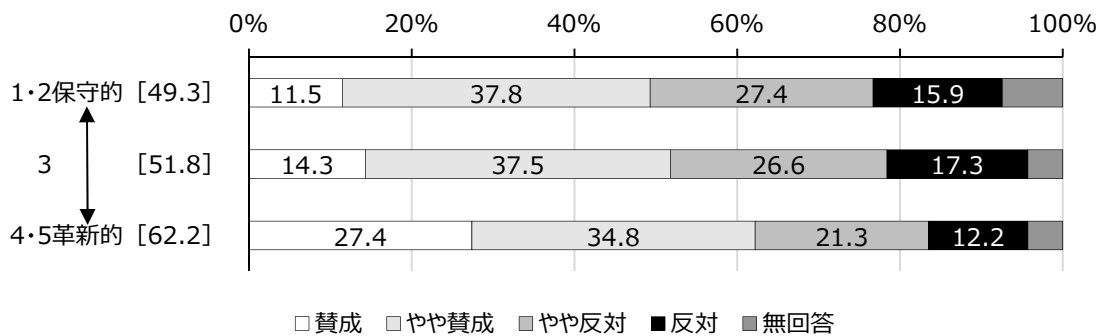
図 10-24 同性婚の賛否：政治観別



政治観：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

図 10-25 同性婚の賛否：政治観別（3分割）



政治観：無回答は図から省略。

[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

(2) 回答の傾向の要約

同性婚への「賛成」は、男性より女性のほうが、高齢層より若年層のほうが、現に結婚中の者や配偶者が死別した者より未婚者や離婚経験者のほうが、同棲経験がない層よりある層のほうが、子がいるよりいない者のほうが、専修・専門学校卒の者が、男子高出身者より共学高・女子高出身者のほうが、海外生活経験がない者よりある者のほうが、仕事をすることがない者よりしたことがある者のほうが、自営業主・経営者・役員より従業員のほうが、管理職、労務職、農林漁業についている者より専門・技術、事務・営業、販売・サービスに従事する者のほうが、信仰や信心をもつ者よりもたない者のほうが、政治観は革新的な考えをもつ者のほうが選ぶ割合が高かった。世帯収入では300万円以上500万円未満の層がもっとも選ぶ割合が高かった。階層帰属意識では差がみられなかった。

2. 同性婚への見解

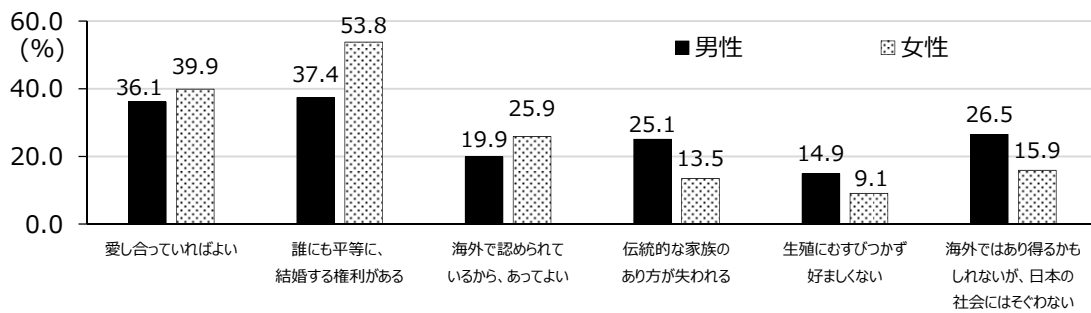
この第2節では、複数回答の設問である問21の「同性婚への見解」について、さまざまな属性との関連をみていく。ただし、本設問に対し、「この中にあてはまるものはない」を選択した109人(8.7%)と、すべてに無回答であった61人(4.8%)は分析や比較の対象から除いている。

(1) 回答の傾向

- ① 性別：女性は男性より[同性婚肯定関連項目]を選び、男性は女性より[否定項目]を選ぶ

図10-26は同性婚への見解についての性別による集計である。[同性婚肯定関連項目]の各項目について、女性は男性よりも選択する割合が高く、[同性婚否定関連項目]については、男性のほうが女性より選択する割合が高かった。

図10-26 同性婚への見解：性別



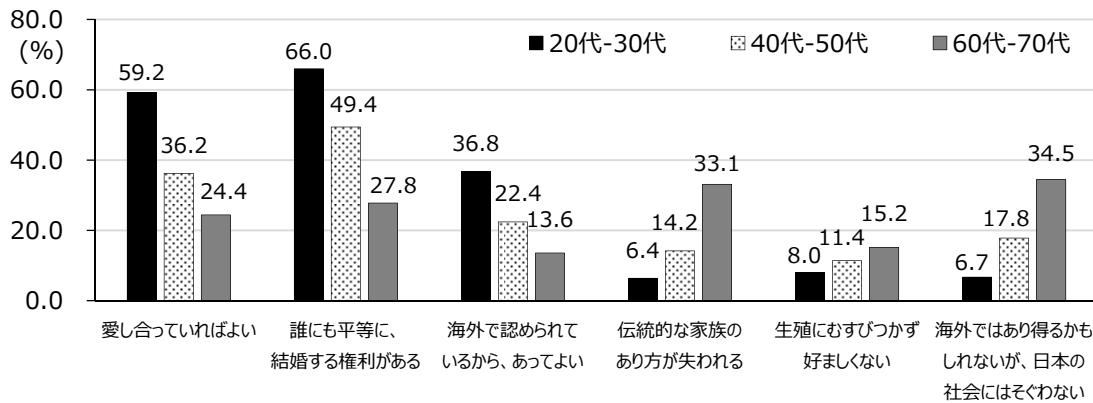
回答者数：男性 562 人、女性 636 人

男女の差が10ポイント以上みられたもののみとりあげていくと、「誰にも平等に、結婚する権利がある」を選ぶ割合は、男性より女性のほうが16.4ポイント高く、「伝統的な家族のあり方が失われる」、「海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」は、それぞれ11.6ポイント、10.6ポイント、男性で選ぶ割合が高かった。

- ② 年代別：若年であるほど[同性婚肯定関連項目]を選択。生殖を理由に否定するのは1割程度と少数

図10-27は同性婚への見解についての年代別の結果である。[同性婚肯定関連項目]については若年であるほど選択する割合が多く、[同性婚否定関連項目]については逆に、おおむね高齢になるほど選択する割合が高かった。ただし「生殖にむすびつかず好ましくない」は、60-70代で15%であるものの、20-30代では8%、40-60代でも11%であった。つまり、「生殖にむすびつかず好ましくない」は、どの年代においてもある一定程度を占める意見ではあるものの、1割程度にとどまる見解であったと言える。

図 10-27 同性婚への見解：年代別

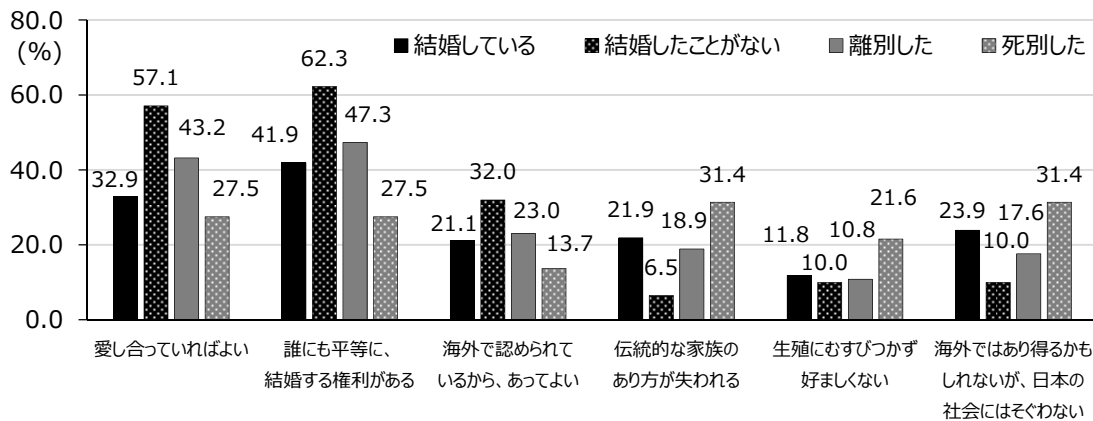


回答者数：20-30代 326人、40-50代 437人、60-70代 435人

③ 結婚状況・経験：結婚していない層に「同性婚肯定関連項目」を選ぶ割合が高い

図 10-28 は同性婚への見解についての結婚状況・経験別の集計である。

図 10-28 同性婚への見解：結婚状況・経験別



回答者数：結婚している 821人、結婚したことがない 231人、離別した 74人、死別した 51人
 (「その他」と無回答は省略)

「同性婚肯定関連項目」を選ぶ割合は、「結婚したことがない」層でもっとも高く、「結婚したことがない」「離別した」「結婚している」「死別した」の順に低かった。「同性婚否定関連項目」についてはおおむねこの逆の傾向にあり、「死別した」と答える層でもっとも高く、「結婚している」「離別した」「結婚したことがない」の順に低かった。

④ 異性との同棲の状況・経験：現在同棲している者は、他の者より「誰にも平等に結婚する権利がある」を選ぶ割合が高い

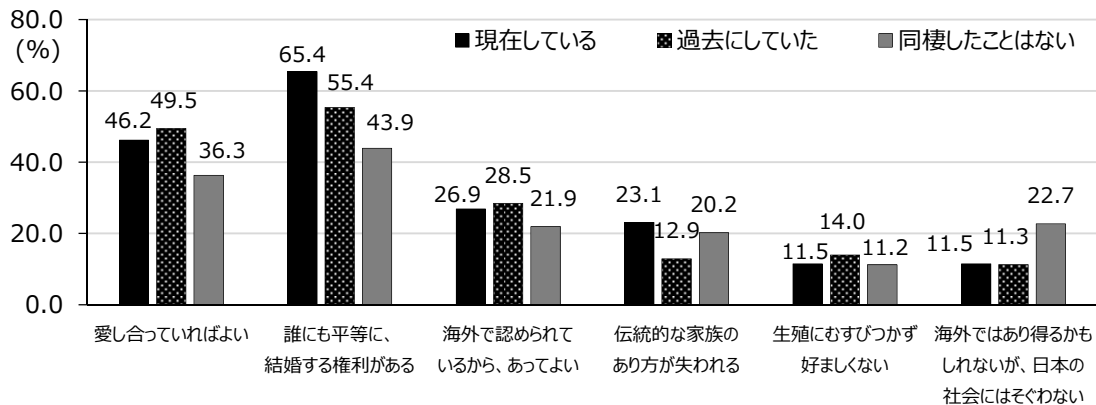
図 10-29 は同性婚への見解についての、異性との同棲の状況・経験別にみた集計である。性別、年代別、結婚状況・経験別では「同性婚肯定関連項目」と「同性婚否定関連項目」

とに回答傾向が二分できたが、この項目はそうでない点が特徴的であった。

「誰にも平等に結婚する権利がある」を選ぶ割合がもっとも高いのは、同棲を「現在している」層であり、「過去にしていた」層、「同棲したことはない」層に比べ、それぞれ10ポイント、20ポイント程度多い。しかしこの「現在している」層は、「伝統的な家族のあり方が失われる」を選ぶ割合についても他と比べてもっとも高く(23.1%)、同性婚に対して多義的な見解をもっていることがうかがえる。

それ以外の項目では、「海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」について、「同棲したことはない」層が、他の層より10ポイント程度高かった。

図 10-29 同性婚への見解：同棲状況・経験別

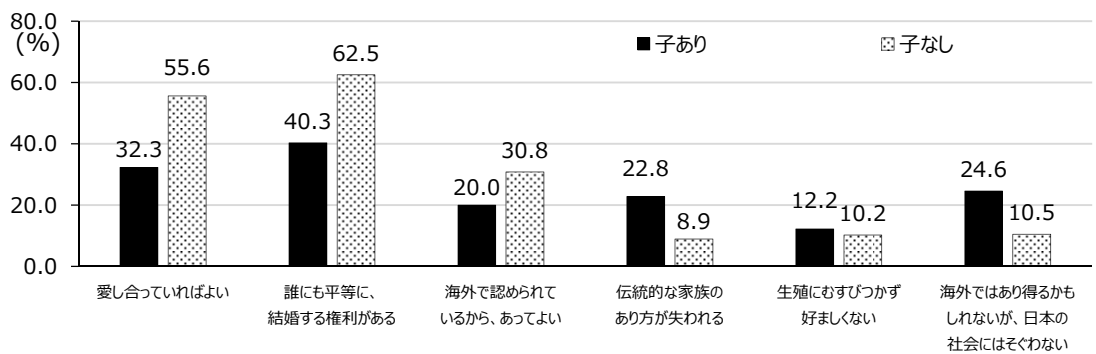


回答者数：現在している 26 人、過去にしていた 186 人、同棲したことはない 954 人（無回答は省略）

⑤ 子の有無：子がいない者はいる者より [同性婚肯定関連項目] を選ぶ割合が高い

図 10-30 は同性婚への見解についての子の有無別による結果である。[同性婚肯定関連項目] については、子が「いない」層より、子が「いる」層のほうが、それぞれ10ポイント～20数ポイント程度、選ぶ割合が高かった。[同性婚否定関連項目] については、「生殖にむすびつかず好ましくない」は子の有無による違いが2ポイントとほとんどみられなかったが、それ以外の項目について子がいる者のほうが14ポイント程度、選ぶ割合が高かった。

図 10-30 同性婚への見解：子の有無別



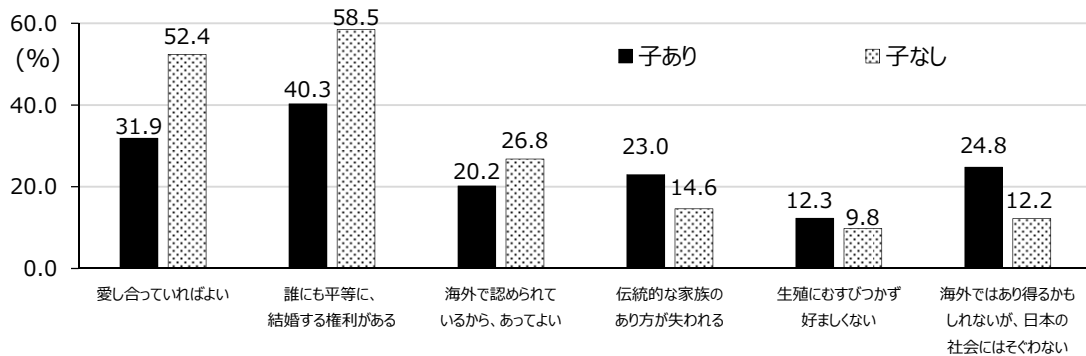
回答者数：子あり 854 人、子なし 315 人（無回答は省略）

ただし第1節でも述べたように、未婚者や若年者に子がない状況も多いことから、年齢や結婚状況の条件を同一にする、あるいは限定したうえで分析をする必要がある。

⑥ 子の有無（結婚の経験者のみ）：子のいない者はいる者より〔同性婚肯定関連項目〕を選ぶ割合が高い

そこで、結婚の経験者（「結婚している」「離別した」「死別した」）のみを対象とし、「同性婚の賛否」の賛否を確かめた。しかし、第1節の⑥と同様、結婚の経験者のみに限定した場合としない場合の間に違いはほとんどみられなかった。（図10-30、図10-31）

図10-31 同性婚への見解：子の有無別（結婚経験者のみ）



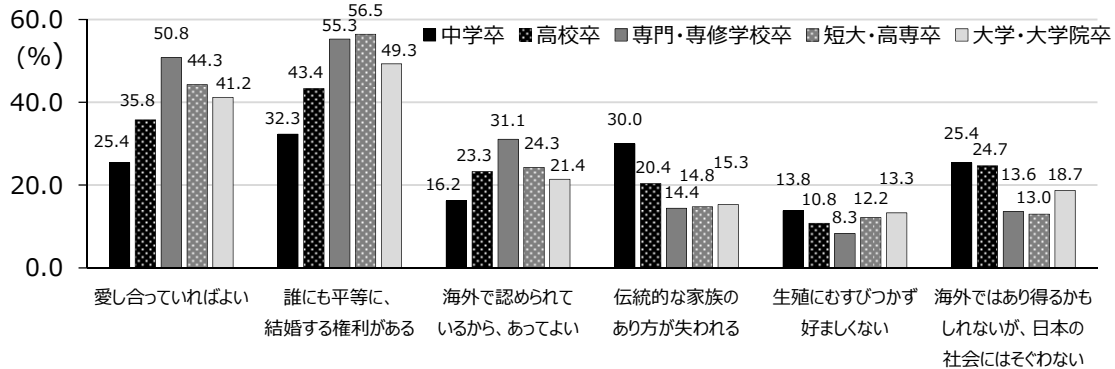
回答者数：子あり 847 人、子なし 82 人（無回答は省略）

⑦ 最後に卒業した学校：〔同性婚肯定関連項目〕について選ぶ割合がもっとも高いのは専門・専修学校卒。中学校卒は3割が「伝統的な家族のあり方が失われる」を選択

図10-32は、最後に卒業した学校別にみた同性婚への見解の集計結果である。「専門学校・専修学校卒」の層が、おおむね〔同性婚肯定関連項目〕を選ぶ割合がもっとも高く、〔同性婚否定関連項目〕を選ぶ割合が低い。その次に似たような傾向を示すのが「短大・高専」卒の層である。

「中学校卒」の層は、これらとは逆の傾向を示しており、たとえば「伝統的な家族のあり方が失われる」は3割の者が選択していた。ただ、「生殖にむすびつかず好ましくない」を選ぶ割合は、「中学校卒」が13.8%ともっとも多いものの、「大学・大学院卒」も13.3%とほぼ変わりなかった。学歴と見解との間には、学歴が高いほど、ある見解をもつ割合が高い、あるいは学歴が低いほど別の見解をもつ割合が高い、といったかたちでの“単線的”な関係はみられず、より精密な分析を必要とする。

図 10-32 同性婚への見解：最後に卒業した学校別

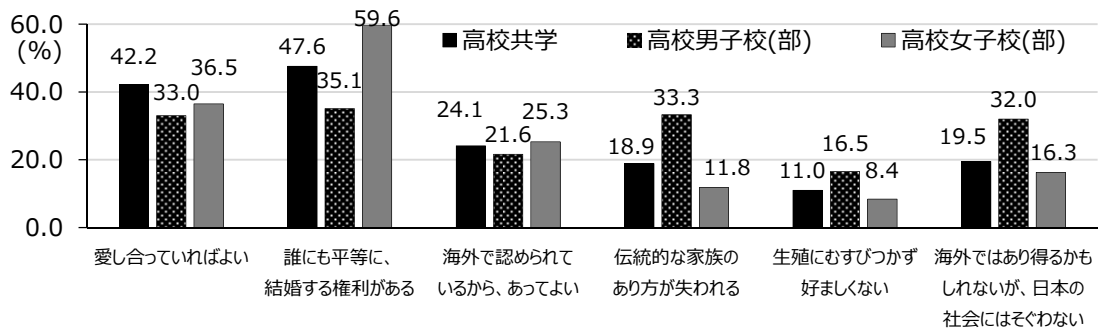


回答者数：中学校卒 130 人、高校卒 489 人、専門・専修学校卒 132 人、短大・高専卒 115 人、大学・大学院卒 294 人（「その他」と無回答は省略）

⑧ 共学・別学：男子高出身者と女子高出身者の間に見解の差

図 10-33 は同性婚への見解について高等学校の男女共学・男子校（男子部）・女子校（女子部）別で集計をした結果である。女子校（部）だった人びとは、共学や男子校（部）の人びとに比べ、「誰にも平等に結婚する権利がある」を選ぶ割合が 10 ポイントから 25 ポイント程度も高い。男子校（部）出身者は、他の出身者に比べ、[同性婚肯定関連項目] を選ぶ割合が低く、[同性婚否定関連項目] を選ぶ割合が高い。とりわけ、「伝統的な家族のあり方が失われる」「海外ではあり得るかもしれないが日本の社会にはそぐわない」を選んだ男子校（部）の人びとは約 3 分の 1 にのぼり、共学や女子校（部）出身者との間に大きく差がついている。

図 10-33 同性婚への見解：共学・別学別

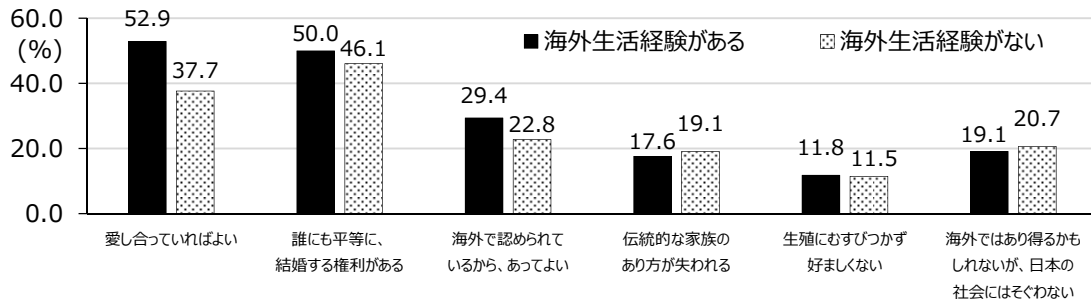


回答者数：高校共学 771 人、高校男子校（男子部）97 人、高校女子校（女子部）178 人（「通っていない」、無回答は省略）

⑨ 海外生活経験：海外生活経験者が「愛し合っていればよい」を選ぶ割合が高いが、その他はあまり差なし

図 10-34 は同性婚への見解についての 1 か月以上の海外生活経験の有無別でみた結果である。「愛し合っていればよい」では、海外生活経験のある者がいない者より選ぶ割合が 15 ポイント程度高かった。ただし、それ以外の項目についてはあまり差がみられなかった。

図 10-34 同性婚への見解：海外生活経験別



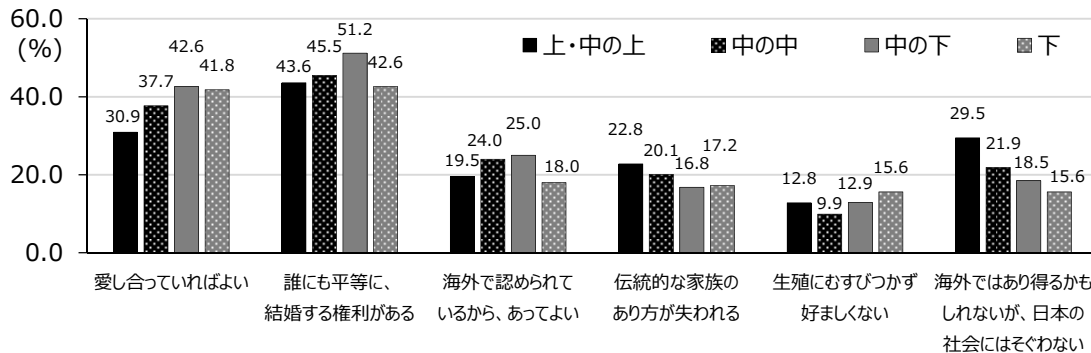
回答者数：海外生活経験がある 68 人、海外生活経験がない 1,102 人（無回答は省略）

⑩ 階層帰属意識：階層が高いほど同性婚は「日本にそぐわない」を選ぶ

図 10-35 は、同性婚への見解について、自分がどの階層に属しているか（階層帰属意識）別にみた結果である。第 1 節の⑩と同様に、「上」を選んだ回答者は 8 名にすぎなかったため、「上」と「中の上」を統合した。

「愛し合っていればよい」については、おおむね、階層が高いと自覚する層ほど選ぶ割合が少なかった。「海外であり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」についてはその逆で、その層ほど選ぶ割合が多かった。「誰にでも平等に結婚する権利がある」を選ぶ割合がもっとも多い層は「中の下」の意識をもつ人びとだった。それ以外の見解についてはあまり差がみられなかった。

図 10-35 同性婚への見解：階層帰属意識別

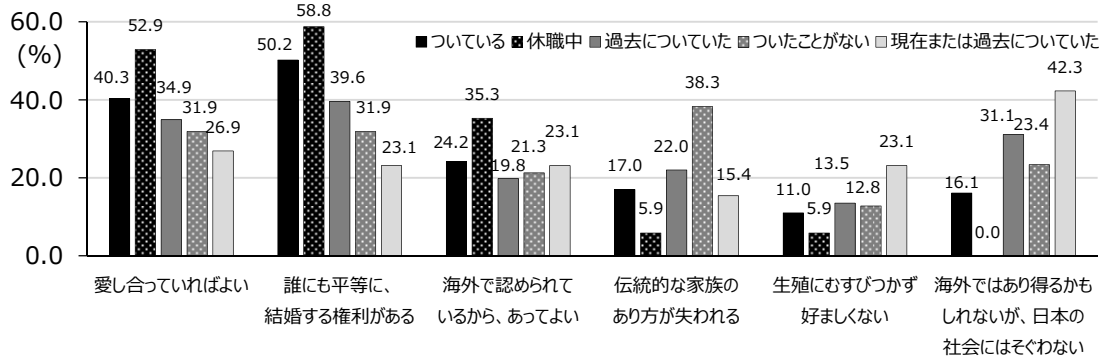


回答者数：上・中の上 149 人、中の中 538 人、中の下 340 人、下 122 人（「その他」と無回答は省略）

⑪ 就業状況：きわだって低い休職者の [同性婚否定関連項目] を選ぶ比率

図 10-36 は同性婚への見解についての就業状況別の結果である。[同性婚肯定関連項目] を選ぶ割合がもっとも高いのは「(現在、仕事に) ついてはいるが休職中」(17 名) の層であり、この層は [同性婚否定関連項目] を選ぶ割合が非常に低かった。

図 10-36 同性婚への見解：就業状況別



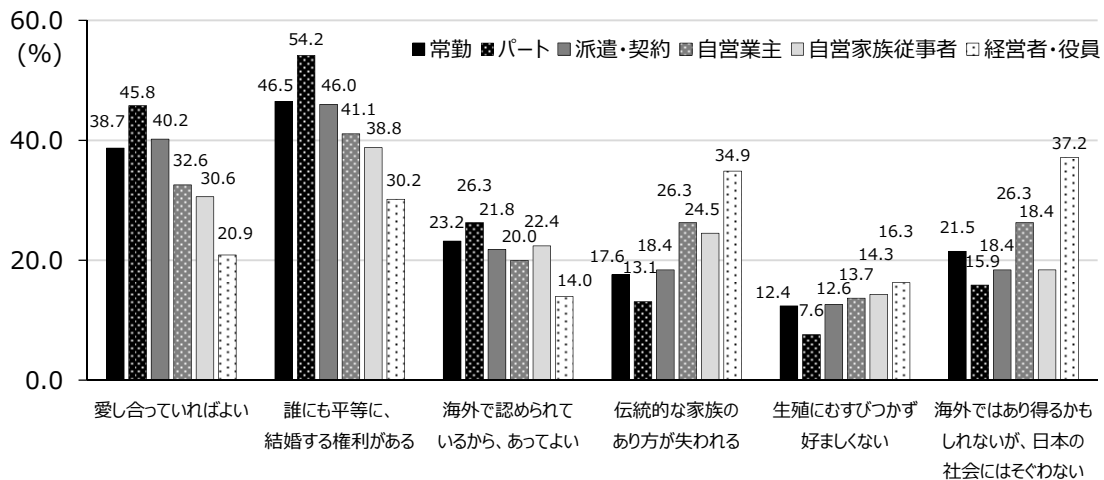
回答者数：働いている 765 人、働いているが休職中 17 人、今は働いていないが過去に働いていた 318 人、仕事についたことはない 47 人、現在または過去に働いていた 26 人（無回答は省略）

なお、第 1 節と同様に、上記の問いを就業経験の有無で集計を行った（図は省略）。就業経験のない者（47 名）は、ある者に比べ、「愛し合っていればよい」「誰にも平等に結婚する権利がある」を選ぶ割合がそれぞれ 6.7 ポイント、14.8 ポイント低く、「伝統的な家族のあり方が失われる」を選ぶ割合が 20 ポイント程度高かった。それ以外の項目はあまり差がみられなかった。ただし、第 1 節で述べたようにこの層は年齢が二極分布しており、また、該当者数もそれほど多くないことから、結果の解釈に関して慎重になるべきであろう。

⑫ 就業形態：経営者・役員で「同性婚否定関連項目」を選ぶ割合が高い

図 10-37 は同性婚への見解についての就業形態別の結果である。

図 10-37 同性婚への見解：就業形態別



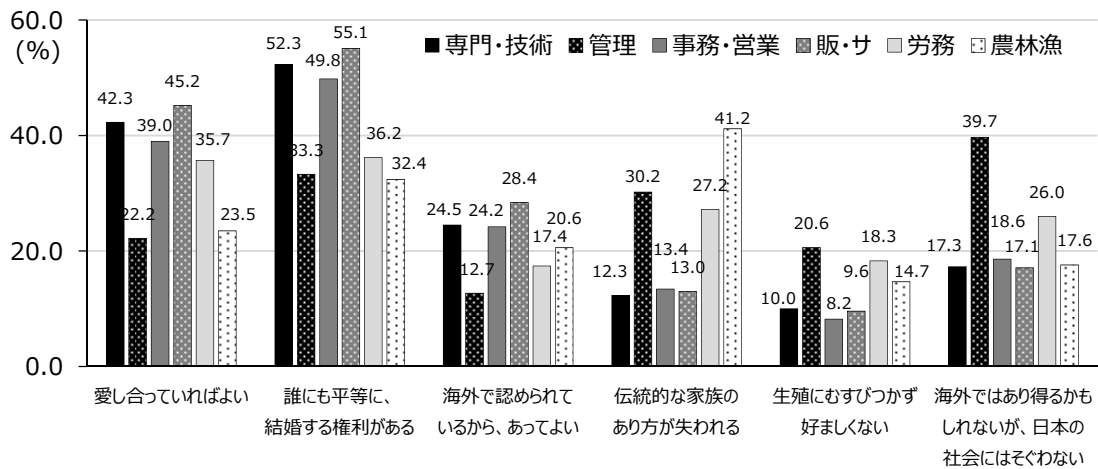
回答者数：常勤 581 人、臨時・パート・アルバイト 251 人、派遣・契約・嘱託 87 人、自営業主・自由業 95 人、自営業の家族従事者 49 人、経営者・役員 43 人（「その他」、非該当、無回答は省略）

[同性婚肯定関連項目]についてみると、選ぶ割合がもっとも高いのは「臨時・パート・アルバイト」であり、「常勤」と「派遣・契約・嘱託」で就業する者がそれに続いた。[同性婚否定関連項目]については、「自営業主・自由業」と「経営者・役員」に選ぶ割合が高かった。

⑬ 仕事の種類: こだわって高い農林漁業従事者の「伝統的な家族のあり方が失われる」を選ぶ割合と、経営者・役員の「海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」を選ぶ割合

図 10-38 は同性婚への見解についての仕事の種類別の結果である。[同性婚肯定関連項目]については、「専門・技術系の職業」「事務・営業系の職業」「販売・サービス系の職業」についている層はこの項目を選ぶ割合が高く、「管理的職業」「技能・労務・作業系の職業」「農林漁業」の層はこの項目を選ぶ割合が低かった。[同性婚否定関連項目]についてはその逆の傾向を示した。また、「農林漁業」従事者のうち約 4 割が「伝統的な家族のあり方が失われる」を選び、「管理的職業」のうち約 4 割が「海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない」を選ぶなど、そのこだわって高い数値がみとめられた。

図 10-38 同性婚への見解：仕事の種類別

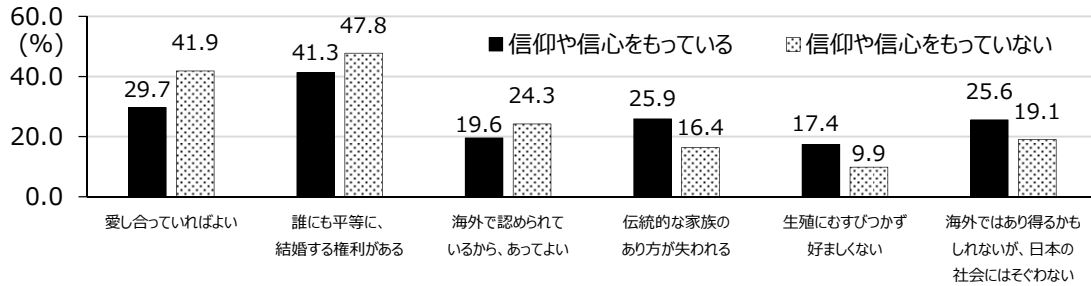


回答者数：専門・技術 220 人、管理 63 人、事務・営業 231 人、販売・サービス 292 人、技能・労務・作業 235 人、農林漁業 34 人（「その他」、非該当、無回答は省略）

⑭ 信仰や信心：信仰や信心をもつ人は [同性婚否定関連項目] を選ぶ割合が高い

図 10-39 は信仰や信心の有無別にみた同性婚への見解の集計結果である。[同性婚肯定関連項目]については、「信仰や信心」をもっていないと答える者が、もっていると答える者より、各設問で 5~12 ポイント程度選ぶ割合が高かった。[同性婚肯定関連項目]についてはその逆の傾向を示し、「信仰や信心」をもっていると答える者が、もっていないと答える者より、各設問で 7~10 ポイント程度、選ぶ割合が高かった。

図 10-39 同性婚への見解：「信仰や信心」の有無別

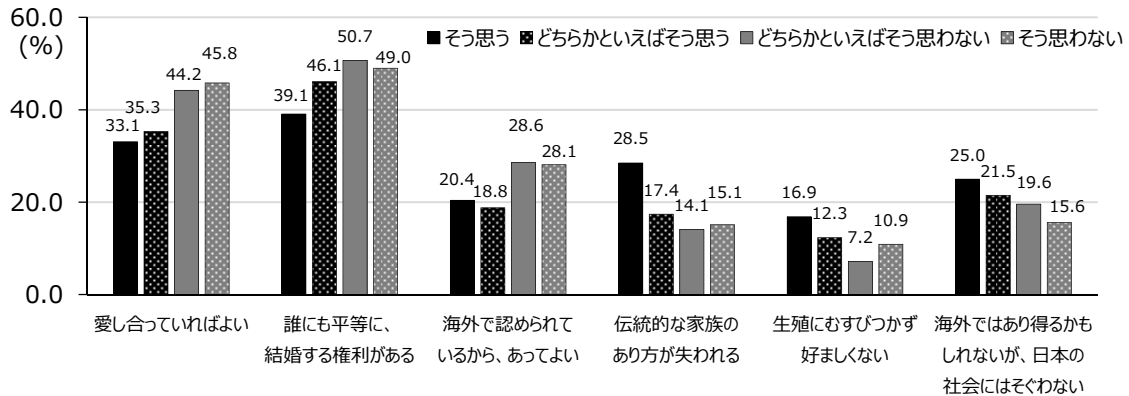


回答者数：信仰や信心をもっている 317 人、信仰や信心をもっていない 855 人（無回答は省略）

⑮ 宗教的な心：宗教的な心を「大切だ」と思う人のほうが〔同性婚肯定関連項目〕を選ぶ割合が高い

図 10-40 は宗教的な心は大切かどうかの別でみた同性婚への見解の集計結果である。おおむね、「(宗教的な心は大切かについて) そう思う」と答える層ほど、〔同性婚肯定関連項目〕を選ぶ割合が低く、また、〔同性婚否定関連項目〕を選ぶ割合が高かった。とりわけ、「伝統的な家族のあり方が失われる」については、「(宗教的な心は大切かについて) そう思う」と答える層の割合が、他の層に比べ、10～15 ポイント程度高かった。

図 10-40 同性婚への見解：「宗教的な心は大切か」への意見別



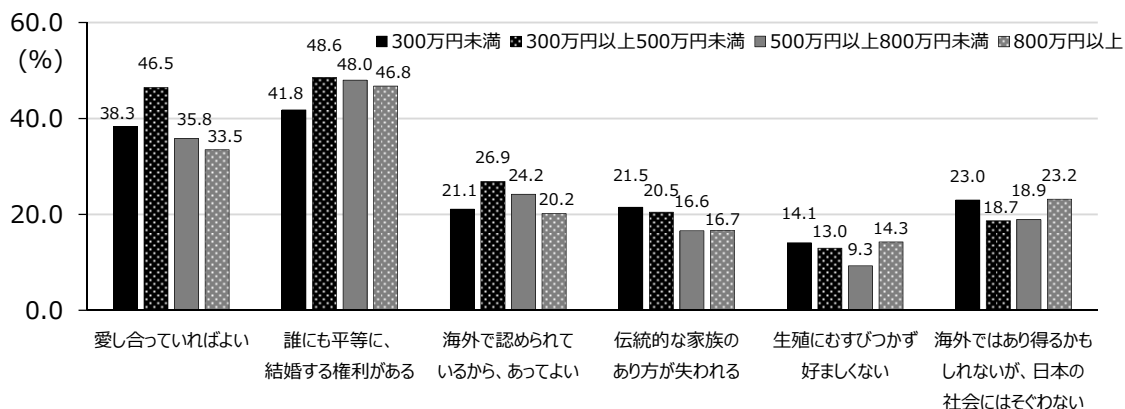
回答者数：そう思う 284 人、どちらかといえばそう思う 414 人、どちらかといえばそう思わない 276 人、そう思わない 192 人（無回答は省略）

⑯ 世帯年収：目立った差はなし

図 10-41 は、第 1 節の⑯と同様に、世帯年収について、それぞれの該当者数がだいたい同数になるよう全体を 4 分割した場合の、同性婚への見解についての結果である。〔同性婚肯定関連項目〕を選ぶ割合が高い層は「300 万円以上 500 万円未満」の層であり、他の層より数ポイント～10 ポイント程度高かった。とくにこの層は、「愛し合っていればよい」

を選ぶ割合が他の層より 10 ポイント程度高かった。これに対し、「生殖にむすびつかず好ましくない」は「500 万円以上 800 万円未満」の層に少ないのがやや特徴的であり、他の層より数ポイント～5 ポイント程度、選ぶ割合が低かった。ただし、年収全体としては、大きな差異はあまりみられなかった。

図 10-41 同性婚への見解：世帯年収別（4 分割）

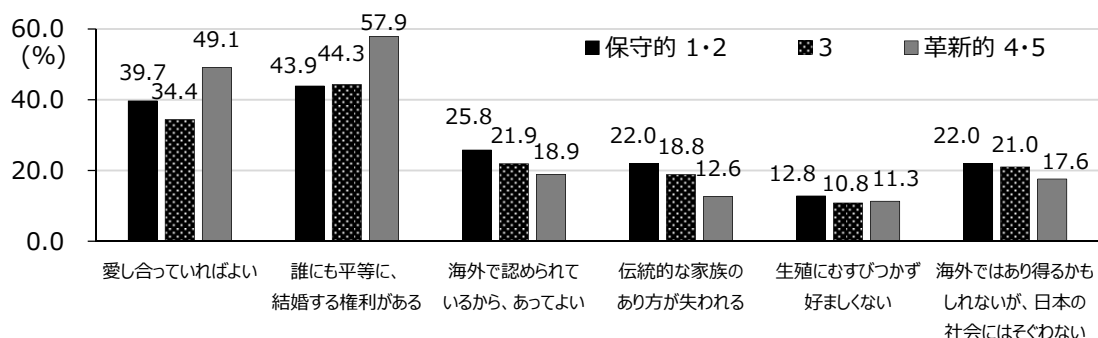


回答者数：300 万円未満 256 人、300 万円以上 500 万円未満 331 人、
500 万円以上 800 万円未満 302 人、800 万円以上 203 人（無回答は省略）

⑰ 政治観：革新層に多い「愛し合っていればよい」と「平等な権利」

図 10-42 は同性婚への見解についての政治観別の結果である。第 1 節と同様に、5 つの カテゴリーを「保守的 1・2」「3」「革新的 4・5」に 3 分割した。「愛し合っていればよい」「誰にも平等に結婚する権利がある」に関しては、「革新的 4・5」の層が、他の層より 10～15 ポイント程度高く選んでいた。またこの層は、「伝統的な家族のあり方が失われる」を選ぶ割合が、他の層と比べ 6～9 ポイント程度低かった。それ以外については政治観別で明確な差はみられなかった。

図 10-42 同性婚への見解：政治観別（3 分割）



回答者数：「保守的 1・2」446 人、「3」544 人、「革新的 4・5」159 人（無回答は省略）

(2) 回答の傾向の要約

同性婚への見解に関しては、男性より女性のほうが、高齢者より若年者のほうが、現在結婚しているほうが、子がいる者よりいない者のほうが、専修・専門学校卒の者が、男子校出身者より女子高出身者のほうが、海外生活の経験のない者よりある者のほうが、就業経験がない者よりある者のほうが、自営業主や経営者・役員より正規・非正規の従事者のほうが、管理職・労務職・農林漁業職についている者より専門・技術、事務・営業、販売・サービス業に従事する者のほうが、また、信仰や信心をもつ者よりもたない者のほうが、宗教的な心をもつのが大切だと考える者よりそうは考えない者のほうが、[同性婚肯定関連項目]を選ぶ割合が高いことが明らかとなった。世帯年収ではあまり差がみられなかった。

3. まとめ

(1) 全体的な回答傾向の要約

同性婚に賛成する、また、同性婚に肯定的な見解をもつ割合が高いのは、男性より女性、高齢者より若年者であった。

教育の面では、男子高校出身者より共学の高校・女子高出身者に、中学校を最後に卒業した者より専門・専修学校を最後に卒業した者に高かった。

宗教の面では、信仰や信心をもつ者よりもたない者の方に、宗教的な心をもつことを大切だと考える者よりそうは考えない者に高かった。

仕事の面では、自営業主や経営者・役員より正規・非正規の従事者に、管理職・労務職・農林漁業職についている者より専門・技術、事務・営業、販売・サービス業についている者に高かった。

(2) 他の調査との比較

① 調査の概要

第1節で言及した調査のうち、サンプルに代表性のある調査を限定的にとりあげ、調査どうしを比較しておく。表 10-2 は各調査の概要である。

表 10-2 各調査の概要

	実施時期	方法	対象数	回収数	回収率	同性婚賛否の設問の DKNA 率
世論調査会調査	2014年3月	面接	3,000	1,744	58.1%	5.7%
毎日新聞社調査	2015年3月	RDD	1,638	1,018	62.1%	17.0%
今回の調査	2015年3月	訪問留置	2,600	1,259	48.4%	7.5%

実施時期：世論調査会の調査は2014年の3月に行われた。毎日新聞社と今回の調査は2015年3月に行われており、その前月の2月に渋谷区の同性パートナー証明の報道が開始されたことから、結果は報道の影響を受けている可能性がある。

方法：世論調査会調査と今回の調査は訪問法という意味では類似している。毎日新聞社調査は電話番号をランダムに生成して電話をかける RDD の手法をもちいている。

テーマと回収率等：他の2つと比較すると、今回の調査の回収率は確かに低いかもしれないが、毎日新聞社調査は時事・政治問題を中心的にたずね、世論調査会調査は「結婚・恋愛観」（男性の草食化、シニアの恋愛、恋愛疲れなど）をたずねている。今回の調査も、タイトルこそは「男女のあり方と社会意識に関する調査」であるが、調査票をめくると、性、ことに周縁的とされるセクシュアリティを全面的に扱っていることが判然としている。また、他の2つは質問数が少なく、短時間で回答できるものであるが、今回の調査票は14ページである。テーマの特性や記入の負担を考慮すれば、今回の調査の回収率が低いとは一概には言えない。

同性婚賛否の設問に関する「分からない・無回答」（DKNA）率：毎日新聞社の調査のみ17.0%と高い。これは、毎日新聞社の調査は、(1)「賛成」か「反対」のいずれかでたずねていること、(2)同性婚の質問は内閣・政党支持、地方格差、献金問題、「戦後談話」の後に配置され、電話口の対象者に問いの内容が大きく変わったと思われたためではないかと考える。

② 同性婚の賛否について

3つの調査とも同性婚の賛否をたずねているので結果を比較する。各調査での質問文は次のとおりである。

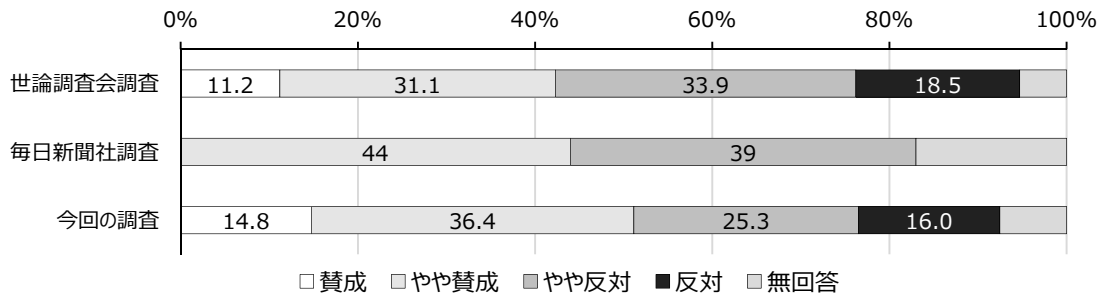
世論調査会調査…「同性婚は日本では法律上、認められていませんが、英国やフランスでは昨年合法化されました。あなたは日本で同性婚を法的に認めることについてどう思いますか」（賛成・どちらかといえば賛成・どちらかといえば反対・反対）

毎日新聞社調査…「あなたは、男性同士、女性同士で結婚する同性婚に賛成ですか、反対ですか」（賛成・反対）

今回の調査…「次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。（…） エ 同性どうしの結婚を法で認めること」（賛成・やや賛成・やや反対・反対）

2014年に行われた世論調査会の同性婚に関する質問は、海外で合法になった事実を述べたうえでたずねるものであり、「賛成」への誘導効果と言えるような質問であったにもかかわらず、「反対+どちらかといえば反対」が、「賛成+どちらかといえば賛成」より上回っていた。これに対し、2015年の毎日新聞社調査と今回の調査では、反対と賛成の比率が逆転し、賛成が多数となっている。また、無回答を除いて考えると、毎日新聞社調査と今回の調査は、賛否の比率がよく似ていることが指摘しうる。（図10-43）

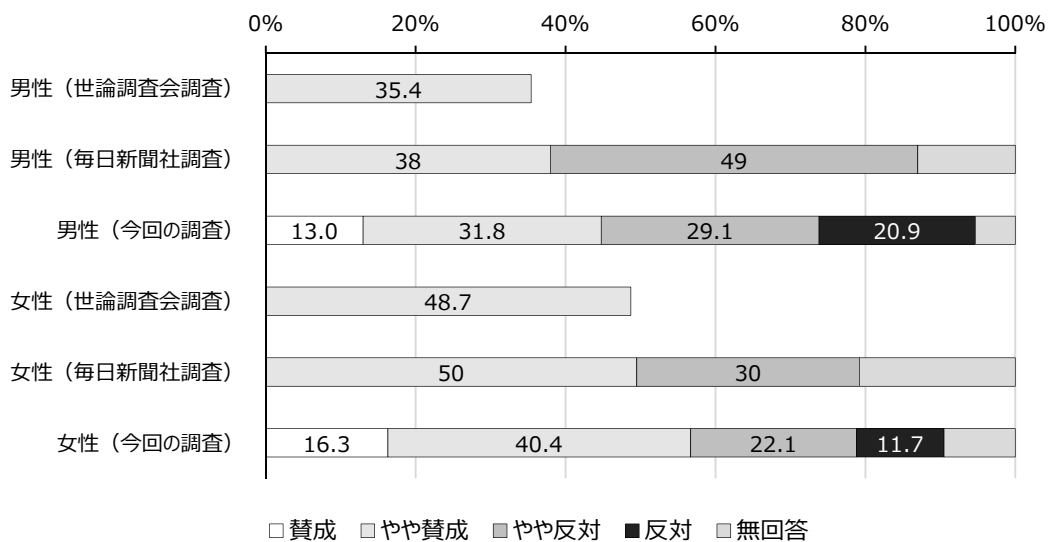
図 10-43 同性婚の賛否：各調査別



毎日新聞社調査の選択肢は賛成か反対かの2択。

男女別の比較は図 10-44 に示したとおりである。無回答を除いてみる場合、やはり、毎日新聞社と今回の調査は賛否の比率がよく似ている。なお、世論調査会の調査結果は（参照可能な資料からは）反対層と「分からない」「無回答」層の比率が明らかではなかった。

図 10-44 同性婚の賛否：各調査・男女別



世論調査会調査の「賛成」は「賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせた数（「草食化進行 69%：結婚・恋愛観世論調査」『西日本新聞』2014年3月16日）。

毎日新聞社調査の選択肢は賛成か反対かの2択。

2014年の調査と、2015年の調査との間にみられた賛成・反対の比率の反転は、同性婚に関する意識の変化を示していると言いうるだろうか。

言いうるという立場と、質問文と調査手法の異なる社会調査の結果を並べても継時的な変化があるとは言えない、とする立場があるだろう。仮に後者の立場をくみしつつ、同性婚に関する意識の変化を調べるためには、(1)今後も類似・同一の設問をもちいて全国標準サンプリング調査を定期的に行うことや、(2)パネル調査の手法で同一人物を対象に追跡調査を行うことなどが必要となるだろう。

(3) 意義と課題

① 意義

本調査では、日本に在住する者の同性婚に対する賛否・見解を、さまざまな属性から明らかにすることができた。たとえば同性婚の法制度化と、伝統的家族の崩壊や生殖不能とを関連づける立場の人びとが世の中にどの程度存在するかについて、はじめて明らかにできた。

同性婚の法制度化で「伝統的な家族のあり方が失われる」と考えた者は、男性では 25.1%であったが、女性では 13.5%であった。年代別では、60-70代では 33.1%と、3人に1人に迫ろうとするものの、40-50代では 14.2%、20-30代では 6.4%にすぎなかった。

また、「生殖にむすびつかず好ましくない」とする立場は、70代で 17.5%であるものの、そのほかの年代では1割前後、とくに20-30代では7%代の意見にすぎなかった。

「伝統的な家族のあり方が失われる」という選択肢を選ぶ理由は、第1節の手前で述べたように、伝統的家族に対する正負両面の評価から選ばれる可能性がある。このため解釈は慎重になるべきである。とはいえ、渋谷区の報道以降、生殖不能や、伝統的家族制度の崩壊を理由にしたヘイト・スピーチや発言が相次いでいることも確かである。また、本調査の結果は2015年11月28日に報告会の形で公表されたが、翌日の全国紙では一斉に記事になるなど高い関心が寄せられた反面、同性愛・同性婚に対する政治家の否定的な発言も相次いだ。

・渋谷区報道以降

「伝統的な家族制度に混乱をもたらす渋谷区条例」(2015.3.10 渋谷駅前街宣配布ビラ)

「生物としての宿命を制度化したものが結婚制度であると思う。それを考えると、同性婚とはまさに生物5億年の歴史に逆らう試みといえるでしょう」(長谷川三千子・NHK 経営委員、2015.3.8 産経ニュースウェブ)

・調査報告会以降

「一例が同性愛とやらだ！生物の根底を変える異常動物だということをしっかり考えろ！」(鶴指真澄・海老名市議発言、2015.11.30 朝日新聞)

「伝統的価値観でもある男らしさ、女らしさ、男女による結婚を尊重し、祝福する日本社会の価値観を否定する」(小泉純二・東京都練馬区議発言、2015.12.2 朝日新聞)

「本会議一般質問で(…)『同性愛者なんかは異常やぞ』とやじを飛ばした。散会後の取材に『同性愛を社会全体が認めていけば、人口減少につながる。(…)』と考え、発言を撤回しない考えを示した」(藤墳守・岐阜県議発言、2015.12.11 中日新聞)

こうした発言はメディアで繰り返しとりあげられるため、あたかもその主張内容が日本社会で広く受容されている対抗言説であるかのように映る。しかし実際は、同性婚の法制度化によって伝統的家族が崩壊すると回答した人は全体の2割弱の18.0%であった。生殖に結びつかず好ましくないと答えた人に至っては、1割程度の11.3%にすぎなかった。これは明記すべき事実である。

② 課題：選択肢の妥当性

このように社会調査を試みてはじめてわかった点があった反面、改善すべき点や考えるべき点もまた出てきた。

「同性婚への見解」を問う質問では、選択肢に「この中にあてはまるものはない」を設けていた。結果的にこの項目を選んだのは109人(8.7%)であった。この数は少なくない。今後同種の調査を行うならば、事前に予備的な調査を行い、自由回答や複数選択の形式で回答の傾向を見積もるなどして、選択肢の数と内容を精錬させる必要がある。改善の余地を残した設問であったと言える。

③ 課題：見かけの関連？

本章は、同性婚の賛否・見解とさまざまな属性とをクロス集計して得た知見をまとめたものである。しかし本章でのべた属性による回答の差が、実際の関連なのか、それとも他の事象を媒介にした見かけの関連なのかは、別の分析を必要とするであろう。

たとえば、仕事の種類のうち、管理職・労務職・農林漁業職についている者は、それ以外の仕事につく者に比べ、同性婚に「反対」の立場をとる者が多かったが、これは見かけの関連であり、本当は「高齢の者に同性婚への否定的見解が多い」という効果のあらわれかもしれない。というのも、「反対」が多数を占める仕事につく人びとは、「賛成」が多数を占める仕事につく人びとより、平均年齢が5～10歳程度高かったためである(表10-3の太字)。「管理職」についていることと同性婚に「反対」の立場をとることの間には、年齢という媒介的な要素が挟まった、見かけの関連の観察結果かもしれない。

表 10-3 回答者の平均年齢：仕事の種類別

専門・技術系の 職業	管理的職業	事務・営業系の 職業	販売・サービス 系の職業	技能・労務・作 業系の職業	農林漁業
47.3	58.5	50.3	48.5	54.1	55.8

属性が回答に直接的に関連しているかどうかを明らかにするためには、別の分析、たとえば他の要因の影響を排した分析などを行う必要がある。

ただし、企業・自治体などの事業体では基本的に上意下達であることを考えると、次の事実を踏まえることは重要である。すなわち、「管理職」や「役員」が同性婚に否定的であるという観察が、仮に見かけの関連であったとしても、「管理職」「役員」に同性婚へ「反対」を示す者が多く、それ以外の多くの立場における就業者の間では「賛成」を示す者が多く、管理職・役員と多くの領域の従業者との間に差がみとめられたという事実である。上層部の意思は部下の職場環境に影響を与える。誰にでも働きやすい職場環境を構築・維持するためには、管理職自体が、他の従業員との意識の差の可能性について自覚的になる必要がある。

④ 引き続き考える問題として

本章は同性婚の設問に対する回答の傾向を分析したものであるが、最後に、この分析は同性婚を無前提に推進するために行ったわけではないことを明記しておきたい。当事者や研究者は、これまでも、同性婚に対する議論や考察を繰り返してきており、賛否の知見を支える根拠にも歴史的な厚みがある。同性婚の法制化を無批判に推進することは、婚姻が戸籍制度に深く組み込まれてきた日本の史的な問題を看過し再生産させるとする立場がある。また、配偶関係を前提にすることは、その関係を基礎単位とする社会保障のはらむ課題を過少に見積もるとして疑問を提起する立場がある。さらに、同性「婚」という祝祭的な響きからか、市場、とりわけウェディング・ホテル・旅行業界等から経済効果を期待されているが、これはカップル単位かつ消費の局面に限定した“期待”である。独り身でありたい／あらざるをえない人びとの一層の暮らしにくさ、貧困やみえない格差、なお残るジェンダー問題などについては、“カップル消費”視点からは論じきれないことも多い。そうした課題にも引き続き眼を向けて、解決に取り組む必要がある。

そもそも同性どうしの結婚の法制度化を進めようとする人びとの中にも、さまざまな立場がある。その立場の中には、たとえば、「同性婚」という概念を無前提にもちいるのではなく、かつて存在した人種・階級・国籍などに基づく“婚姻に対する制限”を撤廃させてきた歴史的実践を踏まえていくのがよいとするという考え方もある。この考え方によれば、こうした実践こそが「婚姻」概念を変容・拡張させてきたのであり、婚姻における性別もまたその歴史的実践の延長に位置づけられる。換言すればそれは、「異性婚 (marriage) → 同性婚 (same-sex marriage)」という段階的進展（おうおうにして、その進展は“過ぎた要求”と誤解されることがある）としてではなく、「性別の婚姻平等 (marriage equality)」の思想のもとに、「同性婚」（と呼ばれてきたもの）がそれまでの婚姻を「異性婚 (different-sex marriage)」として遡及的に意味づけなおし、婚姻概念を再検討させる作用をもたらす政治的な実践である（谷口 2015 : 48 も参照）。こうした議論も踏まえつつ、今回の「同性婚」の調査結果が、傾聴すべき多面的な議論を均してしまわないようにしたいと願っている。

文献

『アニース』, 1997 年冬号, 「特集 Q&A のぎちゃんの♀♀人生相談」.

『薔薇族』, 1997 年 2 月号, 「オンラインアンケートの調査結果(2)」.

Ipsos, 2013, “Same-Sex Marriage: Citizens in 16 Countries Assess Their Views on Same-Sex Marriage for a Total Global Perspective,” Ipsos Global Advisor.

NHK, 2015, 「LGBT 当事者アンケート調査——2600 人の声から」

<http://www.nhk.or.jp/d-navi/link/lgbt/>

政策研, 2004, 「同性間パートナーシップの法的保障に関する当事者ニーズ調査」「血縁と婚姻を越えた関係に関する政策提言研究会」有志 ニーズ調査プロジェクト.

<http://www.geocities.jp/seisakuken2003/tyosa/tyosa.pdf>

谷口洋幸, 2015, 「『同性婚』は国家の義務か」『現代思想』43(16): 46-59.

第11章 教育¹

吉仲 崇

この章では、さまざまな性的マイノリティについて教育でとりあげること、および性的マイノリティが教員になることについての賛否の2点について、回答者のいくつかの属性との関連をみていく。

多くの児童生徒が小学校から始まる学校生活の中で、とくに思春期を中心にみずからの性のあり方（セクシュアリティ）を見つめる機会をもつ。その中で性的マイノリティである、もしくはそうかもしれないと気づいたとき、社会の偏向した否定的なイメージを一方的に内面化しないためにも、教育の果たす役割は非常に重要である。しかし教育の現状については、同性愛を一つ取っても依然としてどの年代でも「いっさい習ったことがない」人が最多であることが、日高ら（2011）の調査によって明らかになっている。

また性的マイノリティについて教えるとき、教員が何をどのように教えるかということが非常に重要になってくるが、実際の教育現場において、さまざまな性的マイノリティについて教える必要性を感じながら実際には教えていない現状が日高ら（2014）によって報告され、より一般向けに編さんされた『セクシュアル・マイノリティ白書 2015』（2015）においても紹介されている。

このように性的マイノリティと教育については、一般的なイメージ調査はおろか、授業でもほとんど扱われてこなかった経緯がある。それは性的マイノリティが公的に不可視の存在とされてきたことも挙げられるが、とくに2000年代に性教育についての是非をめぐる激しい議論がなされ（山口・斉藤・荻上 2012）、性教育の一環として扱われていた性的マイノリティはトピックとして扱うことそのものが困難な状況であったことも大きな一因である。この章の前半では、そのような事情で今までなされてこなかった性的マイノリティを教育でとりあげることについて、一般的にどのように受け止められているのかを明らかにする。

さらに、そもそも教育現場においては、児童生徒はもちろん教員が性的マイノリティであることはことさらに想定されておらず、性的マイノリティは生徒教員を含め学校のどこにも存在せず、メディアのフィクションのような遠い存在として扱われる危険性もっている。そこでこの章の後半では、性的マイノリティが教員になることへの賛否を通じて、性的マイノリティの教員の存在を想定することによって、一般的にどのような反応がみられるのかを明らかにする。そしてここでは、性的マイノリティには教員になってほしくないという感情・意識を、「抵抗感」と捉えて分析をする。

以上2点の結果により、教育現場においてさまざまな性的マイノリティについて教え、また性的マイノリティが教育に携わることの可能性を考察するための契機になることを期待する。

¹ この章の集計表については、「第11章付表」を参照。

1. 性的マイノリティについて義務教育で教えることの賛否

ここでは、性的マイノリティについて義務教育で教えることの賛否について、(自認する)性別、年代別、子どもの有無によってどのような回答の違いがあるのかを明らかにする。この調査では以下の設問をたずね、回答選択肢には「賛成～やや賛成～やや反対～反対」の4段階を設定した。また、以下の結果の記述では、「賛成」と「やや賛成」をあわせた割合を〔賛成〕と表記し、「反対」と「やや反対」をあわせた割合を〔反対〕と表記することがあることを、あらかじめ断っておく。

問 23 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

		1 賛 成	2 や や 賛 成	3 や や 反 対	4 反 対
(ア)	同性愛という性のあり方があることを、義務教育で教えること	1	2	3	4
(イ)	両性愛（男女両方に恋愛感情を持つ）という性のあり方があることを、義務教育で教えること	1	2	3	4
(ウ)	体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えること	1	2	3	4

ここで「義務教育」で教えることについてたずねた理由は、学習指導要領に基づくカリキュラムとして行われる公教育であることを回答者に意識してもらうためである。児童生徒本人や保護者の選択によって避けることができない義務教育の場において性的マイノリティを扱うことをたずねることで、自分や自分の子どもとかかわることを回答者に具体的に意識してもらえないのではないかと考えたからである。

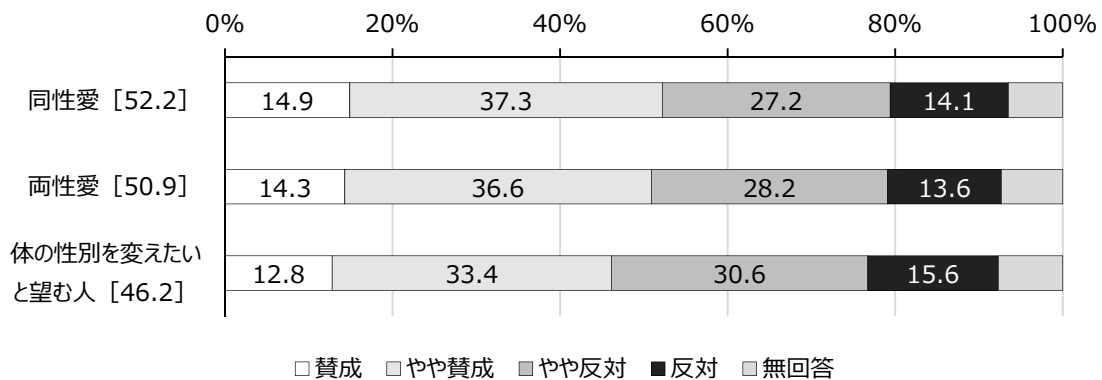
また、ここでは、一般的な用語である「同性愛」「両性愛」と比較してあまり使われていない「体の性別を変えたいと望む人」という表現をもちいて、いわゆる「性同一性障害」や「トランスジェンダー」にかかわる内容をたずねることとした。これは回答のさい、「性同一性障害」という、一般的かつ特定の目的で使用されてきた用語や、「トランスジェンダー」という、場合によってはあまり知られていないことばの文化的背景やイメージを引きずることを避けるためである。また、ほかの設問項目で「同性愛と性同一性障害は同じである」(問 22 カ) などがあることによって、調査票全体として「体の性別を変えたいと望む人」がどのような人のことをさしているかを間接的にイメージできるようになっている。このように、回答者が何について聞かれているのかわからないといった事態を避ける工夫をしている(第2章 2.(2)も参照のこと)。

(1) 全体の傾向：同性愛と両性愛を教えることについて[賛成]は半数を超えるが、体の性別を変えたいと望む人について教えることの[賛成]は半数を下回る

同性愛と両性愛を義務教育で教えることについては、「賛成」と「やや賛成」をあわせて半数をわずかに超えるが、体の性別を変えたいと望む人については、「やや反対」と「反対」がそれぞれ数パーセント多く、2つをあわせた[反対]が過半数であった。また、無回答の割合も同性愛と両性愛に比べて多かった。

同性愛について教えることに対する意見をみると、「賛成」(14.9%)と「やや賛成」(37.3%)をあわせて52.2%となり、両性愛については若干低く「賛成」(14.3%)と「やや賛成」(36.6%)をあわせて50.9%であった。体の性別を変えたいと望む人ではさらに少なく、「賛成」(12.8%)と「やや賛成」(33.4%)をあわせると46.2%となり、同性愛や両性愛より4-5ポイント程度低く、「賛成」が半数を割った。(図11-1)

図11-1 同性愛、両性愛、体の性別を変えたいと望む人について義務教育で教えることの賛否(全体)



回答者数：1,259人。[]内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合(%)。

(2) 性別でみた回答傾向：男性のほうが女性より「賛成」と「やや賛成」の合計は少ないが、「賛成」だけに絞ると男性のほうがわずかに多い

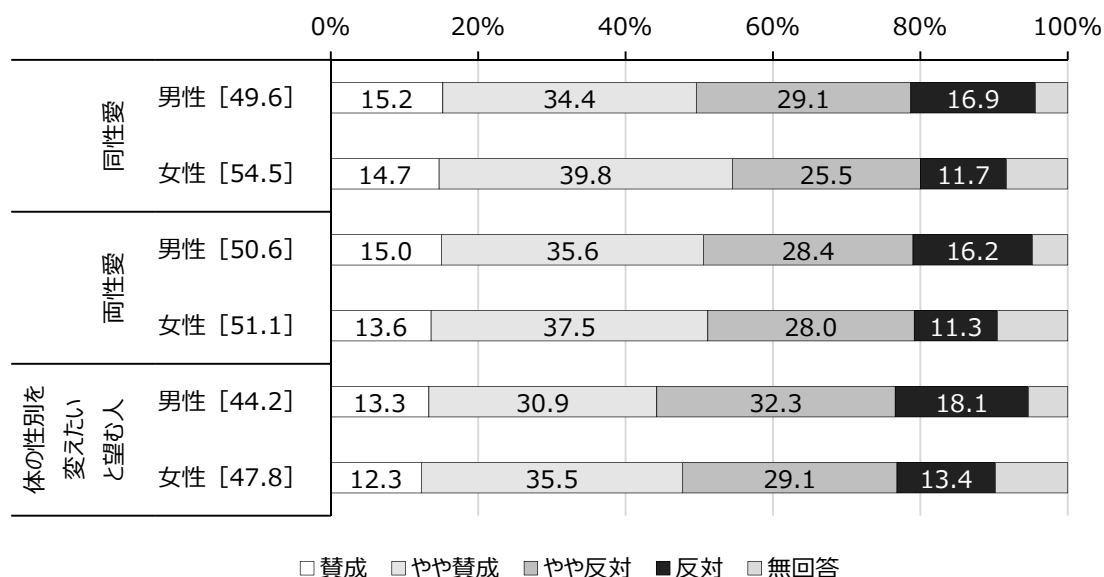
続いて回答者の性別による特徴を紹介する。もっとも特徴的なのは、女性のほうが「賛成」と「やや賛成」を足した割合が多かったことである。ただし、「賛成」だけをみると男性のほうがわずかに多かった。また、教えることに「賛成」または「やや賛成」と回答する割合は、男性では同性愛に比べ両性愛のほうがやや多かったのに対し、女性では両性愛のほうがやや少なかった。

詳しく述べると、同性愛について教えることへの「賛成」は男性が15.2%に対して女性は14.7%であるが、「やや賛成」は男性が34.4%に対して女性は39.8%であった。男性のほうが「賛成」が多いが、「やや賛成」で女性が大きく上回ったため、合計は男性49.6%、女性54.5%と逆転し女性のみ「賛成」が半数を超えた。

体の性別を変えたいと望む人についても、基本的な特徴は同性愛や両性愛と変わらなかったが、男女とも「賛成」が半数を下回った。具体的には、男性の「賛成」が13.3%に対

して女性は 12.3%であり、男女とも「賛成」が同性愛、両性愛より 2 ポイント前後少なく、男性の「やや賛成」が 30.9%に対して女性は 35.5%と、同性愛、両性愛の結果より 2～5 ポイント程度少なかった。教えることについての[賛成]は男性では 44.2%、女性では 47.8%といずれも半数を割った。また、男女を比べると、[賛成]の回答は男性のほうが女性より 4 ポイント程度少なかった。(図 11-2)

図 11-2 同性愛/両性愛/体の性別を変えたいと望む人について義務教育で教えることの賛否(性別)



回答者数：男性 585 人、女性 674 人。[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

(3) 年代別にみた回答の傾向：年代が高いほど「反対」

次に、年代別に性的マイノリティについて義務教育で教えることについての賛否を細かくみていく。まず、同性愛と両性愛を教えることについての回答をみると、もっとも特徴的なことは、どちらも年代が高いほど[反対]が多い点であり、60-70代は[反対]が過半数だった。ただし、「賛成」と答えた回答者の割合は年代によってそれほど変わらないのに対し、「反対」と答えた回答者の割合では年代による差が大きく、20-30代では5～6%であったが、60-70代では22～23%に達していた。

また、20-30代と40-50代の比較では、40-50代の「やや反対」が多いのに対し、40-50代と60-70代の比較では、60-70代の「反対」が多い。年代が高いほど「やや反対」より「反対」を選択する傾向があると考えられる。なお、同性愛と両性愛についての回答の特徴は、基本的には変わらなかった。両性愛と同性愛に大きなイメージの差はみられないようである。ただし、40代以上の回答者の[賛成]は両性愛のほうが低いのが特徴的である。

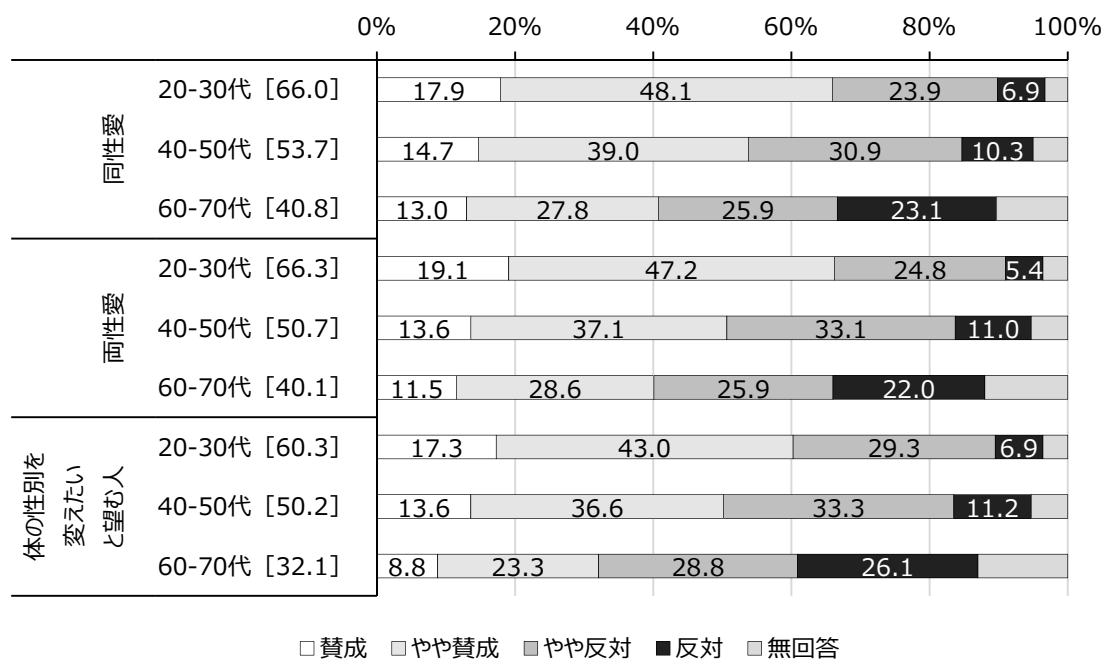
同性愛を義務教育で教えることについての回答の詳細をみると、「賛成」と「やや賛成」の合計は20-30代(66.0%)がもっとも多く、40-50代(53.7%)、60-70代(40.8%)と大きな差がみられた。「賛成」と「反対」のみを比べると、「賛成」は20-30代(17.9%)、40-50

代（14.7%）、60-70代（13.0%）と差は最大でも5ポイント程度であるのに対し、「反対」は20-30代（6.9%）、40-50代（10.3%）、60-70代（23.1%）と、差は最大16.2ポイントであった。また、「やや反対」は20-30代の23.9%と比較して40-50代は30.9%と7ポイント多いが、60-70代は25.9%であり、40-50代と比べて5ポイント少なかった。それに対して「反対」は20-30代の6.9%に対して40-50代は10.3%と3ポイント強の差だが、60-70代では23.1%と40-50代との差は10ポイント以上、20-30代との差は16ポイント以上だった。20-30代と40-50代では「やや反対」の割合に大きな差があり、40-50代と60-70代では「反対」回答に大きな差があったことを示唆している。

体の性別を変えたいと望む人について教えることについての回答をみると、基本的な特徴は同性愛や両性愛と変わらなかったが、すべての年代で「賛成」が同性愛や両性愛より少なく、逆に「反対」は多い傾向がみられた。とくに60-70代の「賛成」は同性愛や両性愛よりかなり少なく、20-30代も「やや反対」が同性愛や両性愛と比較して5ポイント程度多かった。

「賛成」の割合は20-30代（60.3%）でもっとも多く、次いで40-50代の50.2%、60-70代の32.1%で、年代による大きな差がみられた。また、60-70代の「賛成」は、同性愛や両性愛と比較すると8ポイント以上少なかった。さらに、20-30代の「賛成」（17.3%）と「反対」（6.9%）は同性愛や両性愛と比べてほとんど違いがなかったが、「やや賛成」（43.0%）が5ポイント程度少なく、代わりに「やや反対」（29.3%）が5ポイント程度多い結果となり、同性愛や両性愛よりも「やや反対」に傾く傾向がみられた。（図11-3）

図11-3 同性愛/両性愛/体の性別を変えたいと望む人について義務教育で教えることの賛否（年代別）



回答者数：20-30代335人、40-50代456人、60-70代468人
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合（%）。

(4) 子どもの有無別にみた、回答傾向

次に、子どもの有無によって、性的マイノリティを義務教育で教えることに対する考えがどのように違うのかをさぐる。その理由は、義務教育で習ったり教員に接したりするのは実際には子どもなので、子どもの有無が回答者の意識に影響をあたえる可能性があるとして予測したからである。まず、子どもの有無による回答の比較を行い、次に年代ごとに分けたうえで子どもの有無による違いがあるのかをみていく。

① 子どもが「いる」層のほうが「いない」層より [反対] が多い

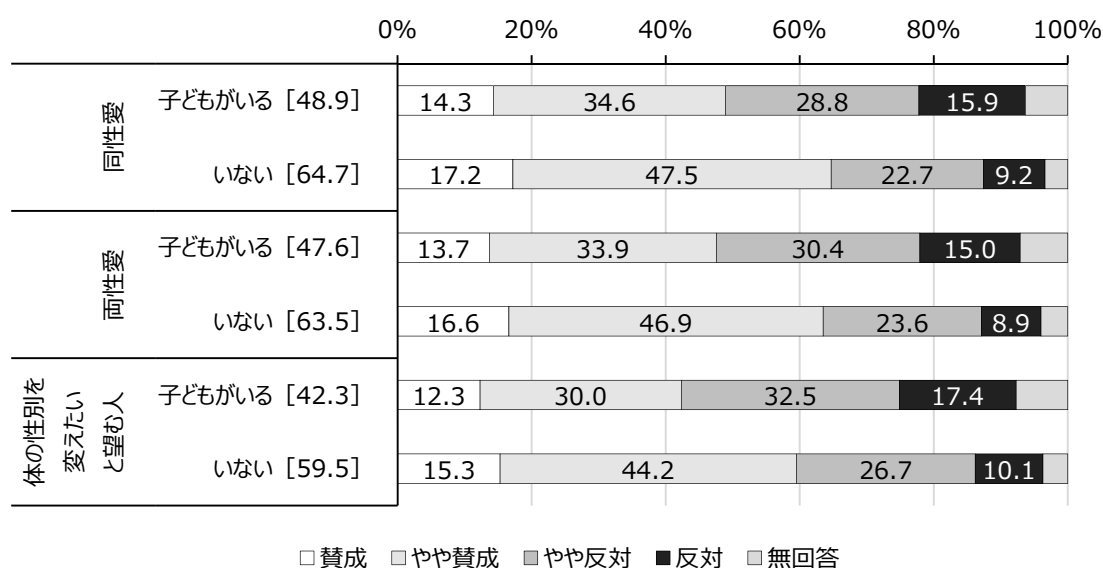
まず、同性愛、両性愛について教えることについての回答をみると、いずれも子どもが「いる」層より「いない」層のほうが、はるかに [賛成] が多かった。ただし細かくみると「賛成」を選択している回答者はどちらもそれほど多くないが、「やや賛成」が子どもの「いない」層で45%以上であり、ここで子どもの有無による差が生じていることがわかる。また同性愛、両性愛ともに、子どもが「いる」層は「いない」層と比較して、「反対」がおよそ1.7倍であった。「反対」の回答は、「賛成」の回答に比べると明確に差がみられる傾向にある。

同性愛を教えることについての「賛成」と「やや賛成」の合計は子どもが「いる」層で48.9%、「いない」層で64.7%、両性愛については、それぞれ47.6%と63.5%で、子どもの有無によって大きな差があり、「いる」層の [賛成] はいずれも半数を割った。「賛成」の差は同性愛、両性愛ともに「いない」層のほうが多かったが、「いる」層との差は2.9ポイントであったのに対して、「やや賛成」が同性愛では「いる」層で34.6%、「いない」層で47.5% (約13ポイント差)、両性愛では「いる」層で33.9%、「いない」層で46.9% (13ポイント差) と差が大きいことがわかる。「反対」の割合も、同性愛では「いる」層で15.9%、「いない」層で9.2%、両性愛では「いる」層で15.0%、「いない」層で8.9%と、やはり子どもの有無で大きな差がみられた。

性別を変えたいと望む人のことを教えることについての賛否をみると、年代別や性別で比べた場合と同じく、同性愛や両性愛より回答が [反対] に傾き、子どもが「いる」層では「賛成」と「やや賛成」の合計が半数を割った。しかし「賛成」回答のみをみると、同性愛や両性愛と同様に子どもの有無による差がそれほどなく、ほかの選択肢での差と比べると、もっとも小さいことがわかる。

「賛成」と「やや賛成」の合計は子どもが「いる」層で42.3%、「いない」層で59.5%と大きな差があり、同性愛や両性愛と同様に子どもが「いる」層の [賛成] は半数を割った。ただし「賛成」は、子どもが「いる」層で12.3%、「いない」層で15.3%と「いない」層のほうが多いものの、差は3ポイントであったのに対して、「やや賛成」については「いる」層で30.0%、「いない」層で44.2%と大きな差 (約14ポイント) がある。「やや反対」と「反対」についても、「やや賛成」ほどではないものの、子どもの有無によって6-7ポイント程度の差がみられた。これは同性愛や両性愛を教えることについても、みられた傾向である。同性愛、両性愛、性別を変えたいと望む人のいずれのセクシュアリティを教える場合でも、子どもの有無による差がもっとも小さいのは「賛成」を選ぶ割合、逆にもっとも大きいのは「やや賛成」を選ぶ割合であることは興味深い。(図11-4)

図 11-4 同性愛/両性愛/体の性別を変えたいと望む人について義務教育で教えることの賛否
(子どもの有無別)



回答者数：子どもがいる層 892 人、子どもがいない層 326 人
[] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

② 年代別にみた、子どもの有無別による回答傾向：すべての年代で、子どもが「いる」層のほうが「いない」層より [反対] が多い

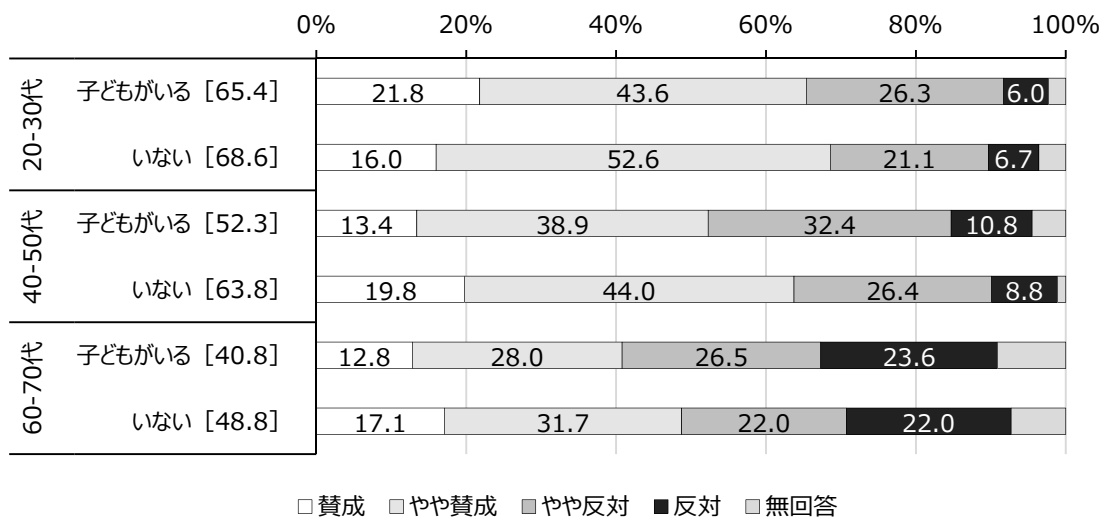
若い回答者は中高年の回答者に比べ、子どもがいる人が少ないため（第 2 章の回答者の属性を参照）、上でみられた子どもの有無による違いは、年代による違いの表れである可能性もある。そこで年代別に細分化したうえで子どもの有無による回答をみると、いずれのセクシュアリティについて教える場合でも、年代にかかわらず子どもが「いない」層の [賛成] が多い傾向がみられた。その差は子どもが義務教育を受けていると思われる 40-50 代が最大で、子どもが「いる」層の「賛成」と「やや賛成」の割合が「いない」層と比較して少なかった。ただし、20-30 代では、「いる」層の「賛成」の割合のほうが多かった。

同性愛について教えることへの [賛成] 割合は 20-30 代の子どもが「いる」層で 65.4%、「いない」層で 68.6%、40-50 代の「いる」層で 52.3%、「いない」層で 63.8%、60-70 代の「いる」層で 40.8%、「いない」層で 48.8%であった（図 11-5）。両性愛について教えることへの [賛成] 割合は 20-30 代の子どもが「いる」層で 65.5%、「いない」層で 69.1%、40-50 代の「いる」層で 49.1%、「いない」層で 59.1%、60-70 代の「いる」層で 40.3%、「いない」層で 46.3%であった（図 11-6）。体の性別を変えたいと望む人についての [賛成] 割合は、20-30 代ではそれぞれ 57.9%、63.4%、40-50 代では 48.6%、59.4%、60-70 代では 31.9%、41.4%であった（図 11-7）。

いずれのセクシュアリティについて教える場合でも、すべての年代で子どもが「いない」層の [賛成] が多く、その差は 40-50 代でもっとも大きく、同性愛が 11.5 ポイント、両性愛が 10.3 ポイント、体の性別を変えたいと望む人が 10.8 ポイントであった。しかし 20-30 代では、子どもが「いる」層のほうが「賛成」が多く、「いる」層で 21.8%（同性愛）、24.1%

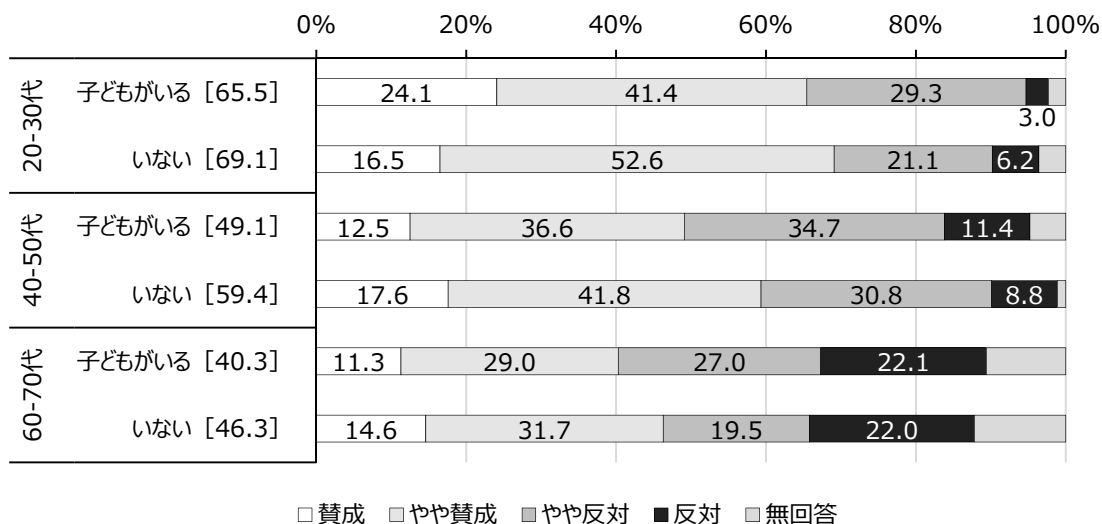
(両性愛)、22.6% (体の性別を変えたいと望む人)、「いない」層で 16.0% (同性愛)、16.5% (両性愛)、14.4% (体の性別を変えたいと望む人) であった。両性愛について教えることに「反対」する 60-70 代の割合では子どもの有無による差はみられず、いずれも 22% 台であった。ただし、いずれのセクシュアリティを教えることについても、年代別に子どもの有無と教えることへの賛否（[賛成] と [反対] 割合）との関連性の検定を行ったところ、統計的な有意差はみられなかった（第 11 章付表を参照）。

図 11-5 同性愛について義務教育で教えることの賛否（年代・子どもの有無別）



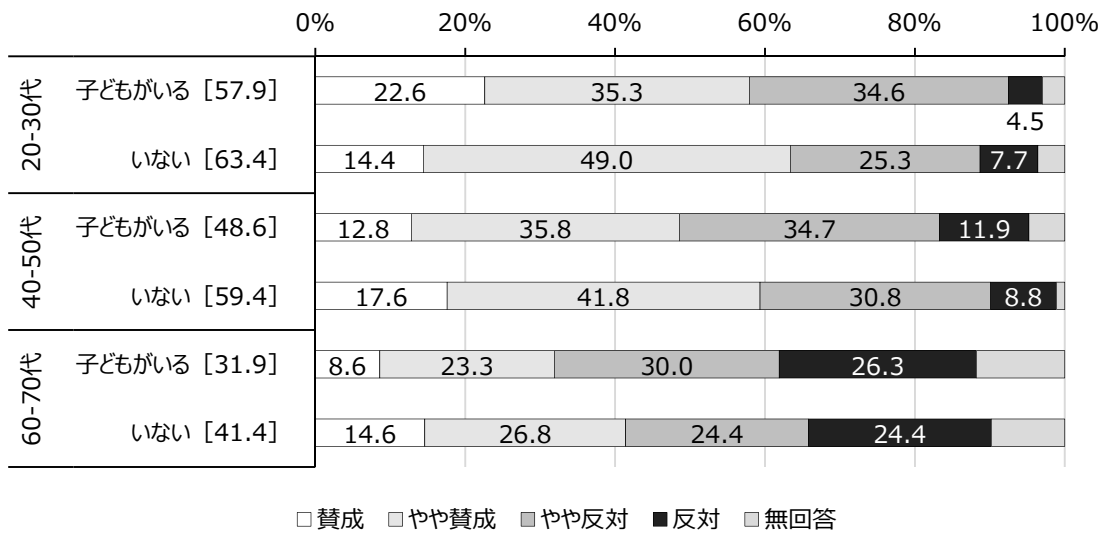
回答者数 [子どもがいる層]：20-30代 133人、40-50代 352人、60-70代 407人
 [子どもがいない層]：20-30代 194人、40-50代 91人、60-70代 41人
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

図 11-6 両性愛について義務教育で教えることの賛否（年代・子どもの有無別）



回答者数 [子どもがいる層]：20-30代 133人、40-50代 352人、60-70代 407人
 [子どもがいない層]：20-30代 194人、40-50代 91人、60-70代 41人
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

図 11-7 体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えることの賛否
(年代・子どもの有無別)



回答者数 [子どもがいる層]: 20-30代 133人、40-50代 352人、60-70代 407人
 [子どもがいない層]: 20-30代 194人、40-50代 91人、60-70代 41人
 [] 内の数値は「賛成」と「やや賛成」を足した割合 (%)。

(5) まとめ

以上から、性的マイノリティについて教えることについては、1) 男性より女性のほうが全体的には「賛成」が多く、2) 年齢が高いほど「反対」が多く、3) 年齢にかかわらず子どもが「いる」層より「いない」層のほうに「賛成」が多く、4) 同性愛や両性愛を教えることよりも、体の性別を変えたいと望む人のことを教えることへの「反対」が多くなる傾向があることがわかる。とくに後者では「反対」が半数を上回っている点が特徴的である。

2. 性的マイノリティが小学校の教員になることについての抵抗感の有無

ここでは性的マイノリティが小学校の教員になることについての抵抗感の有無が、性別、年代別、子どもの有無によってどのようにみられるのかを明らかにする。調査でもちいた問いは以下のとおりである。回答で「6. この中にはいない」を選んだ場合以外は複数の選択を可とした。

問 24 学校教育に関してのあなたの意見をおたずねします。以下の人たちの中で、小学校の教員になってほしくないと思う人に、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 同性愛の男性 | 4. 性別を、女性から男性に変えた人 |
| 2. 同性愛の女性 | 5. 性別を、男性から女性に変えた人 |
| 3. 男女両方に恋愛感情を抱く人(両性愛の人) | 6. この中にはいない |

ここで「小学校の教員」をとりあげた理由だが、1.で先述した「義務教育」を担う教員であることに意味があるからである。また、すべての教育段階についてたずねることができれば理想的であるが、第2章で述べたとおり、一つの調査で扱える質問数には限界がある。ここでは、子どもの人格がまだあまり確立されていない、いわゆる思春期前の小学生を教える教員についてたずねたほうが、回答者の性的マイノリティに対する意識がより明確に表れるのではないかと考え、「小学校」の教員に限定した。また、小学校の教員「であること」ではなく「になること」としたのは、すでに人物像などを知っているなじみの教員ではなく、未知の人を回答者に想定してもらうことで、性的マイノリティについてもっているイメージをより正確に捉えることができると考えたためである。

また、両性愛の教員については選択肢を男女に分けていない。これについては、第2章でもふれた本調査の前に行った大学生を対象にした予備調査にて両性愛を男性と女性に分けて質問したところ、結果に違いがみられなかったためである。

なお今回の調査では、小学校の教員という具体性のある特定の職業についてたずねているため、「なってほしくない」という否定的回答は、既存の小学校の教員やこれからなろうとする性的マイノリティを傷つけたり不快な思いをさせたりする危険性をはらんでいることを承知している。しかしながら同時に、今後の性的マイノリティの教育を考えると、現実のネガティブなイメージとどのように対峙していくかが非常に重要であるため、否定的反応について調査することに意義があると考え、この設問をもちいた。

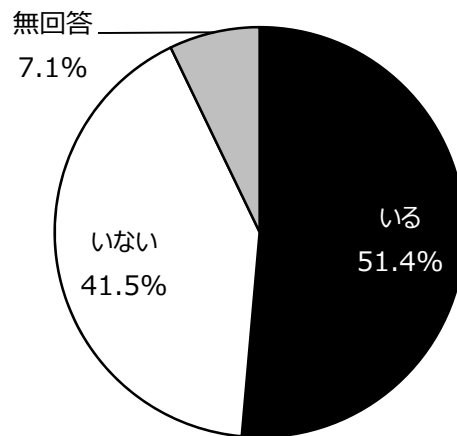
(1) 全体の傾向

- ① 小学校の教員になってほしくないなんらかの性的マイノリティが「いる」と回答した割合：全体の半数を超える

下の図は、問 24 の 1 から 5 の中で 1 つ以上を選択した回答者を、小学校の教員になってほしくない性的マイノリティが「いる」として集計し、6 を選択した回答者を「いない」として集計した結果である。その結果、小学校の教員になってほしくないなんらかの性的マイノリティが「いる」と回答した人が「いない」と回答した人より多く、半数を超えた。

小学校の教員になってほしくない性的マイノリティが「いる」と回答した人は全体の 51.4%、「いない」と回答した人が 41.5%、無回答は 7.1%であった。(図 11-8)

図 11-8 小学校の教員になってほしくない性的マイノリティがいるか否か（全体）



回答者数：1,259 人

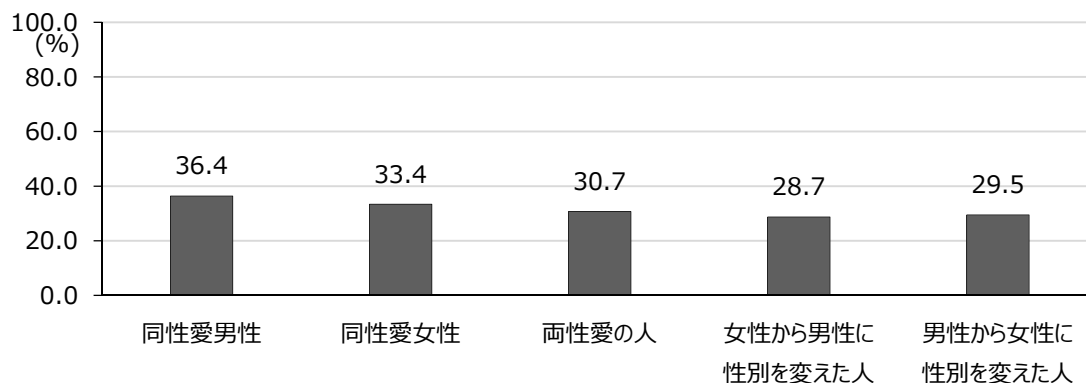
- ② 同性愛男性・女性、両性愛の人、性別を変えた人の中で、小学校の教員になってほしくない性的マイノリティ：同性愛男性が最多

次に、同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人、男性から女性に変えた人、女性から男性に変えた人のそれぞれについて、小学校の教員になってほしくないと答えた人の割合をみていく。ここで示すパーセンテージはこの問いに回答しなかった 90 人 (7.1%) を除く 1,169 人のうち、それぞれの性的マイノリティについて、小学校の教員になってほしくないと答えた人（複数回答あり）の割合である。

その結果をみると、小学校の教員になってほしくないとの回答がもっとも多い、つまり抵抗感を示す回答者がもっとも多いのは同性愛男性、次いで同性愛女性、両性愛の順となった。その割合はどの性的マイノリティについても、30%程度であり、これらの人が教員になることに抵抗感をもち回答者が半数を超えることはなかった。特徴的なのは、先の質問において義務教育で教えることに、同性愛や両性愛に比べて [反対] が多かった性別を変えた人に対しては、教員に「なってほしくない」と表明する人が逆に少なく、その中でも女性から男性に変えた人に対する抵抗感がもっとも少なかった点である。男性から女性に変えた人はその逆よりわずかに多いが、差はほとんどみられなかった。

それぞれの詳細は、同性愛男性に小学校の教員になってほしくないと回答した人が、426人（36.4%）で、同性愛女性が391人（33.4%）、両性愛の人が359人（30.7%）、女性から男性に性別を変えた人が335人（28.7%）、男性から女性に性別を変えた人が345人（29.5%）であった。（図 11-9）

図 11-9 同性愛男性・女性/両性愛の人/性別を変えた人に
小学校の教員になってほしくない割合（全体）



回答者数：1,169人

(2) 性別でみた、回答傾向：男性のほうが、性的マイノリティが教員になることに抵抗感をもつ人が多く、とくに同性愛男性に対して多い

続いて、小学校の教員になってほしくないという回答を性別によってみると、いずれの性的マイノリティでも、男性のほうが女性よりもなってほしくないと答えた回答者（＝抵抗感を示した回答者）の割合が多く、男性では34%から44%の範囲、女性では23%から30%の範囲であった。

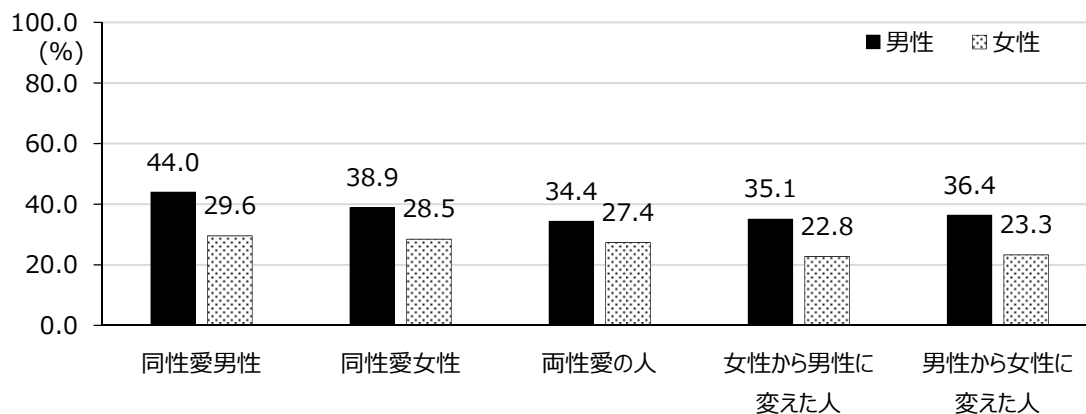
同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人の中では、男女ともに、同性愛男性に小学校の教員になってほしくないと思う回答者がもっとも多く、次いで同性愛女性、両性愛の人の順となった。先で述べた義務教育で教えることの結果との違いは、両性愛の人に対する女性の抵抗感も、同性愛に比べて少なかった点である。

同性愛男性に小学校の教員になってほしくないという男性は44.0%に対して、女性が29.6%であった。同性愛女性の場合は男性38.9%に対して女性が28.5%、両性愛の人の場合は男性34.4%に対して女性27.4%であった。男性と女性の回答の差は、同性愛男性でもっとも大きく、両性愛でもっとも小さかった。

性別を女性から男性に変えた人、および男性から女性に変えた人に小学校の教員になってほしくないという回答を性別でみたときの特徴を述べると、女性から男性に性別を変えた人よりも、男性から女性に性別を変えた人に抵抗感がある回答者が男女ともわずかに多かった。男性の回答のみで、同性愛男性や同性愛女性より少なかったが、両性愛の人よりは多かった。全体の結果（図 11-9）は両性愛の人に対する抵抗感を示す人のほうが多かったことを踏まえると、男性の回答が性別を変えた人に対する抵抗感の全体の割合を押し上げていることがうかがえる。

性別を女性から男性に変えた人に抵抗感がある割合は、男性では 35.1%に対して女性では 22.8%であった。男性から女性に変えた人の場合は、男性 36.4%に対して女性が 23.3%であった。女性の回答のほうがいずれも少なく、男性の回答との差は 12～13 ポイント程度であった。男性の回答はどちらも 35%を超えており、図 11-9 の全体と比較しても同性愛男性（36.4%）に次いで多い。性別を変えた人への抵抗感の全体割合は、女性から男性に性別を変えた人では 28.7%、男性から女性に変えた人では 29.5%であることから、性別を変えた人に抵抗感があるのは男性に多いことがうかがえる。（図 11-10）

図 11-10 同性愛男性・女性/両性愛の人/性別を変えた人/小学校の教員になってほしくない割合（性別）



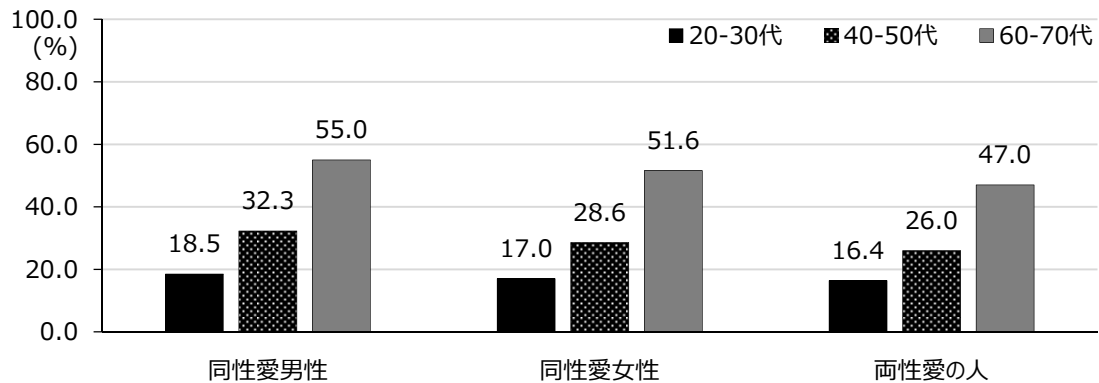
回答者数：男性 555 人、女性 614 人

（3）年代別にみた回答傾向：年代が高いほど抵抗感をもつ人が多く、60-70 代ではどの性的マイノリティについても半数近くまたは半数以上

性別に続いて、性的マイノリティが小学校の教員になることへの抵抗感を年代によってみていく。まず同性愛、両性愛すべてを通して、年齢が高い回答者には抵抗感を示す人が多く、60-70 代では同性愛男性、同性愛女性ともに半数を超えた。また同性愛女性は同性愛男性に比べすべての年代で若干抵抗感が少ないものの、60-70 代では半数を超えた。一方、両性愛の人に対しては 60-70 代でも半数を割ったことから、同性愛より両性愛のほうが、抵抗感もたれない傾向にあることがわかる。また、各年代で同性愛と両性愛を比較すると、すべての年代で同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人の順番で抵抗感の割合が少なくなった。

詳しくみると、同性愛男性に小学校の教員になってほしくないという回答者は、20-30 代は 18.5%であるが、40-50 代は 32.3%、60-70 代は 55.0%と年代が高いほど割合も多く、20-30 代と比べて 40-50 代は 2 倍近く、60-70 代は 3 倍近くであった。同性愛女性は、20-30 代が 17.0%、40-50 代が 28.6%、60-70 代は 51.6%であった。両性愛の人の場合は、20-30 代が 16.4%、40-50 代が 26.0%、60-70 代は 47.0%とすべての年代で半数未満となった。また、ここでも同性愛男性がすべての年代を通じてもっとも多かった。（図 11-11）

図 11-11 同性愛男性・女性/両性愛の人に小学校の教員になってほしくない割合（年代別）



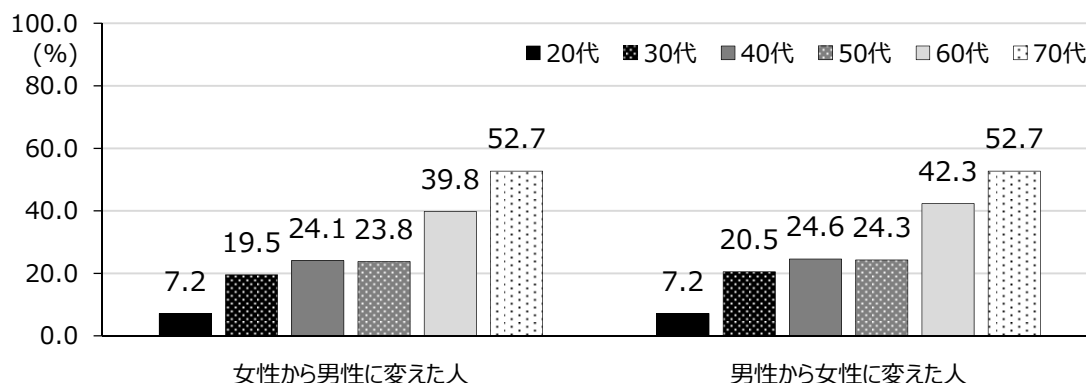
回答者数：20-30代 324人、40-50代 434人、60-70代 411人

次に性別を変えた人が小学校の教員になることへの抵抗感をみていく。ここでは同性愛や両性愛に比べて年代別の違いがさらに顕著にみられたので、10歳きざみでのグラフで表示した。性別を女性から男性に変えた人については、20代では非常に少ないのに対し、70代は多く、唯一半数を超えた。さらに20代と30代～50代、30～50代と60代、60代と70代の間でそれぞれの差異が顕著にあったことも特徴である。また40代より50代のほうが、割合が低く、「年齢が高いほど抵抗感をもつ人が多い」傾向の唯一の例外である。男性から女性に変えた人の場合も傾向は同じであり、どちらの性別に変えたかによる差も大きくなかった。

具体的に記述すると、女性から男性に変えた人に抵抗感がある人は、20代では7.2%と顕著に少なかった。30代（19.5%）、40代（24.1%）、50代（23.8%）まではほぼ横並びであるが、60代は39.8%、70代は52.7%と大きな差があった。

男性から女性に変えた人への抵抗感の場合も、20代では7.2%と同じく顕著に少なかった。30代（20.5%）、40代（24.6%）、50代（24.3%）の割合もほぼ横並びであるが、60代は42.3%、70代は52.7%と多くなった。どちらの性別に変えたかによる違いはほとんどなく、抵抗感をもつ人の割合は20代と70代では同じであり、その他すべての年代では男性から女性に変えた人のほうが多い傾向があるが、60代の2.5ポイントの差を除いてすべて1ポイント以下の微差であった。（図 11-12）

図 11-12 性別を変えた人に小学校の教員になってほしくない割合（年代別）



回答者数：20代 139人、30代 185人、40代 228人、50代 206人、60代 246人、70代 165人

（4）子どもの有無別にみた、回答傾向

義務教育で教えることの賛否と同様、性別と年代に続いて、子どもの有無による傾向をさぐる。まず子どもの有無別による全体像を示し、次に20-30代、40-50代、60-70代に分けて、子どもの有無による回答をみていく。

① 子どもの有無別にみた抵抗感：子どもが「いる」層の割合は、「いない」層に比べて顕著。同性愛や両性愛より性別を変えた人への抵抗感では「いる」層と「いない」層の差が大きい

いずれの性的マイノリティについても、小学校の教員になることへの抵抗感を示す割合は子どもが「いる」層では35%~42%、「いない」層では13~22%で、前者の方が少ない。

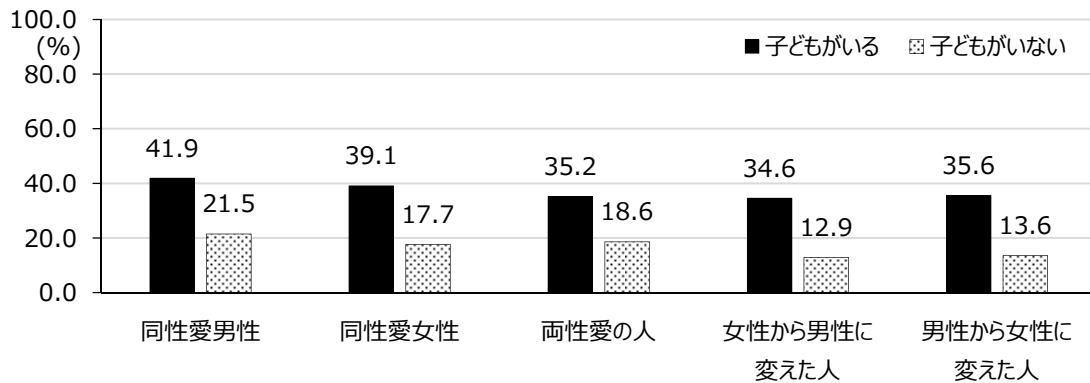
同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人についての結果をみると、子どもの有無によって2倍前後の差があった。また、抵抗感を示す割合は、子どもが「いる」層では多い順に同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人で、性別や年代別でみた場合と同じ順序となったが、子どもが「いない」層は同性愛男性、両性愛の人、同性愛女性の順であった。

同性愛男性に小学校の教員になってほしくないと回答した割合は、子どもが「いる」層41.9%に対して「いない」層は21.5%であった。同性愛女性の場合は「いる」層39.1%に対して「いない」層は17.7%、両性愛の人の場合は「いる」層35.2%に対して「いない」層は18.6%であった。子どもの有無別にみても、同性愛男性に対する抵抗感の割合がもっとも多かった。また、子どもの有無による抵抗感割合の差は同性愛男性で約2倍、同性愛女性で約2.2倍、両性愛の人で約1.9倍とどれも顕著であるが、中でも同性愛女性の差(21.4ポイント)がもっとも大きかった。

性別を変えた人については、男性から女性に変えた人についても、女性から男性に変えた人についても、子どもの有無による差は、同性愛や両性愛の人と比べてさらに大きく、約2.6~2.7倍だった。同性愛や両性愛の人よりも抵抗感が少ない点、男性から女性に変えた人のほうがわずかにその逆よりも抵抗感を示す人が多い点は性別や年代でみた場合と同じ結果であった。

性別を女性から男性に変えた人に抵抗感がある割合は、子どもが「いる」層 34.6%に対して「いない」層は 12.9%であった。男性から女性に変えた人の場合は「いる」層 35.6%に対して「いない」層は 13.6%であった。(図 11-13)

図 11-13 同性愛男性・女性/両性愛の人/性別を変えた人に
小学校教員になってほしくない割合（子どもの有無別）



回答者数：子どもがいる層 826 人、子どもがいない層 317 人

② 各年代で、子どもの有無別にみた抵抗感：ほぼすべての年代で子どもが「いる」層のほうが「いない」層に比べて抵抗感が顕著で、あらゆる性的マイノリティが小学校の教員になることに抵抗感を示す傾向

さらに子どもの有無による違いを年代別に細分化してみると、同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人では、義務教育の賛否と同じく、両性愛の人についての 60-70 代の回答以外はすべての年代で子どもが「いない」層より、「いる」層のほうが小学校の教員になってほしくないと回答する割合が多かった。

20-30 代の回答を子どもの有無別でみると、同性愛男性に対しては、子どもが「いる」層で 23.6% 「いない」層で 14.7%、同性愛女性についてはそれぞれ 22.0%と 13.1%、両性愛の人については 23.6%と 11.0%であった。基本的に子どもが「いる」層のほうが「いない」層より抵抗感を示す人が多く、その差は同性愛男性と同性愛女性については 9 ポイント、両性愛の人については 13 ポイントであった。(図 11-14)

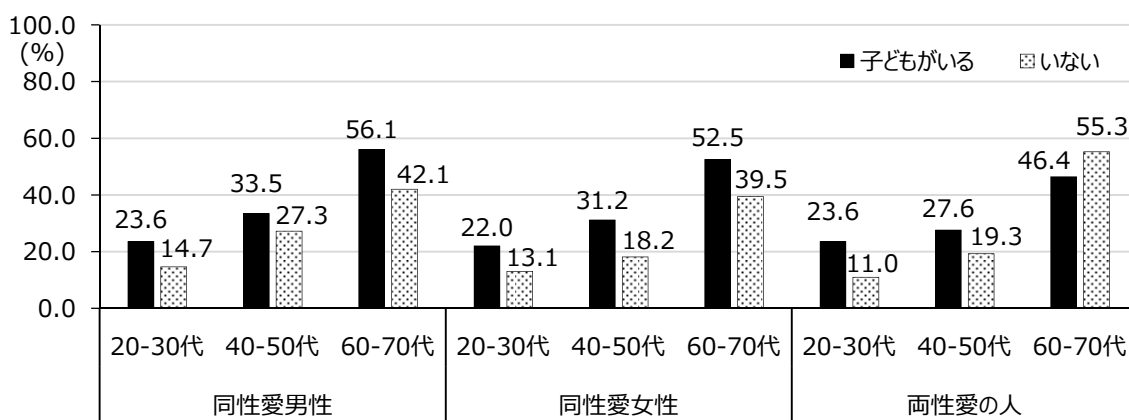
全般に、対象のセクシュアリティの抵抗感割合は多い順に同性愛男性、同性愛女性、両性愛の人であったが、多少の違いもみられた。40-50 代の子どもが「いない」層で同性愛女性に抵抗感がある回答者が 18.2%、両性愛の人が 19.3%と両性愛の人のほうが多くなり、60-70 代は同性愛女性が 39.5%、両性愛の人が 55.3%であった。(図 11-14)

図 11-15 の性別を変えた人についての子どもの有無と年代別の結果では、女性から男性に変えた人、男性から女性に変えた人のいずれでも、子どもが「いない」層より「いる」層のほうが抵抗感を示す割合は多かった。とくに 20-30 代と 60-70 代で子どもの有無による差が大きいのが特徴的である。

性別を変えた人に小学校の教員になってほしくないという 20-30 代の回答者は、女性か

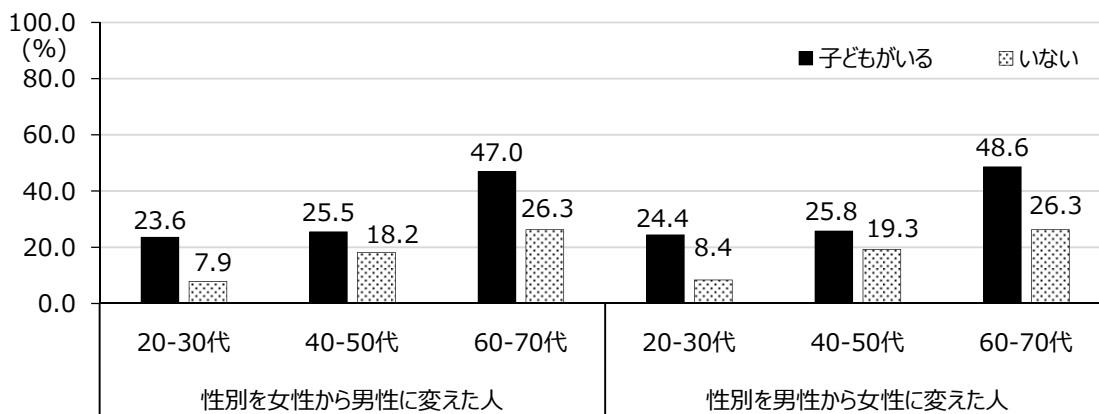
ら男性に変えた人については子どもが「いる」層で23.6%、「いない」層で7.9%、男性から女性に変えた人については、子どもが「いる」層で24.4%、「いない」層で8.4%であり、子どもの有無で約3倍の差がみられた。一方、40-50代では子どもの有無による差が小さく、1.3~1.4倍(6-7ポイント)の差だった。60-70代では約1.8倍(20ポイント以上の差)とまた大きくなっていった。つまり、子どもの有無による回答の差は40-50代ではやや小さいものの、どの年代でも最低1.3~1.4倍以上あり、程度の差や例外は多少みられるが、基本的に子どもが「いる」層は、「いない」層よりあらゆる性的マイノリティが小学校の教員になることに抵抗感があることが示唆された。(図11-15)

図 11-14 同性愛男性・女性/両性愛の人に小学校教員になってほしくない割合
(年代・子どもの有無別)



回答者数 [子どもがいる層]: 20-30代 127人、40-50代 337人、60-70代 362人
[子どもがいない層]: 20-30代 191人、40-50代 88人、60-70代 38人

図 11-15 性別を変えた人に小学校教員になってほしくない割合 (年代・子どもの有無別)



回答者数 [子どもがいる層]: 20-30代 127人、40-50代 337人、60-70代 362人
[子どもがいない層]: 20-30代 191人、40-50代 88人、60-70代 38人

(5) まとめ

以上から、性的マイノリティが小学校の教員になることについての抵抗感をまとめると、1) 小学校の教員になってほしくない性的マイノリティは、同性愛男性がもっとも多く、性別を変えた人のほうが少なかった。これは義務教育で教えることの賛否と逆の結果となっている。また、2) 男性より女性のほうが、全般的に抵抗感を示す人が少なく、3) 年齢が高い回答者は抵抗感を示す人が多く、4) 男性から女性に変えた人のほうが、女性から男性に変えた人に対してよりもわずかに抵抗感がみられたものの、差はほとんどなかった。また、5) 子どもが「いる」層は、「いない」層よりいずれの性的マイノリティが小学校の教員になることにも抵抗が多く示され、この傾向は年代に関係なくみられた。さらに性別を変えた人に対しては回答者の年代が低いほど子どもの有無による割合が大きく、年代が高いほどポイント差が大きいことも特出すべき特徴である。

3. まとめ

以上、性的マイノリティについて義務教育で教えることと、性的マイノリティが小学校の教員になることの2つの項目に共通する全体の特徴を総括すると、年代の高さ、男性、子どもがいるという属性は性的マイノリティについて義務教育で教えること、および性的マイノリティが小学校の教員になることに対して抵抗感をもつ傾向にあった。

義務教育で教えることへの賛否の特徴的な結果として、同性愛や両性愛を教えることより、性別を変えたいと望む人のことを教えることに「反対」の回答者が多いという傾向がみられた。

性的マイノリティが小学校の教員になることに対する意識の特徴的な結果としては、小学校の教員になってほしくない性的マイノリティは、同性愛男性が一番多く、性別を変えた人のほうが少ないことがわかったが、それは義務教育で教えることの賛否と逆の結果になっていることが興味深い。

子どもの有無との関連の特徴的な結果としては、子どもが「いる」層は、「いない」層より性的マイノリティが小学校の教員になってほしくないと回答する傾向がみられる点の特徴的である。

本報告では結果の特徴を指摘することを主な目的としているため、その原因や考えられる背景などの問題には踏み込んで議論していない。しかしながら、その中でも子どもの有無と性的マイノリティについての教育や性的マイノリティの教員への抵抗感の関連性など、教育を行ううえでの課題が垣間みえる。一般調査としてのデータの蓄積が少ない中、このような調査が増えていくことによって、教育と性的マイノリティについての意識がより確定的なものになり、その結果により学校教育の中で誰によってどのように性的マイノリティを身近なトピックとして扱えるようにするかの議論がなされることを期待したい。

文献

共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク監修・編集, 2015, 『セクシュアル・マイノリティ白書 2015』.

平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業, 2011 「HIV 感染予防対策の個別施策層を対象にしたインターネットによるモニタリング調査・認知行動理論による予防介入と多職種対人援職による支援体制構築に関する研究」総括・分担研究報告書(研究代表者 日高庸晴).

<http://www.gay-report.jp/2011/>

平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業, 2014 「個別施策層のインターネットによるモニタリング調査と教育・検査・臨床現場における予防・支援に関する研究」総括・分担研究報告書(研究代表者 日高庸晴).

山口智美・斉藤正美・荻上チキ, 2012, 『社会運動の戸惑い——フェミニズムの「失われた時代」と草の根保守運動』, 勁草書房.

コラム その1：戸籍上の性別と性自認に関する結果

この調査では、戸籍上の性別、戸籍と性自認は同じか否か、自身の性自認としてもっとも近いもの、の3つの問いで、性別を捉えた。まず、問54で戸籍の性別をたずね（選択肢：男、女）次に問55で自分の性別を戸籍上の性別と同じだと認識しているかをたずねた（選択肢：はい、いいえ）。後者への回答が

「いいえ」の場合には、問56で「自身の性自認としてもっとも近いもの」（選択肢：男、女、その他）をたずねた。これらの3項目への回答の組み合わせとして、下の表のとおり、戸籍上の男性ではM1からM9、戸籍上の女性ではF1からF9が考えられる。

性別/性自認をたずねる問い

問54 あなたの性別に○をつけてください。〔戸籍上の性別〕（○は1つ）

1. 男	2. 女
------	------

問55 あなたは、ご自分の性別を、戸籍上の性別と同じだと認識していますか。（○は1つ）

1. はい(→問57へ)	2. いいえ
--------------	--------

【問55で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。】

問56 あなたご自身の認識にもっとも近いものに○をつけてください。

1. 男	3. その他
2. 女	()

実際の回答をみると、戸籍上の性別（問54）が「男」は585人で、そのうち、自認（問55）が同じという人は558人、違う人は2人、無回答は25人であった。自認が「違う」と回答したうちの1人は、自認する性で近いものについては「女」を選択した。もう1人は「男」を選択した。性自認が同じか否かに無回答だった25人のうち4人は自認する性で近いものとして「男」を選択し、21人はこの問いにも無回答であった。戸籍上の性別（問54）が「女」は674人で、自認（問55）が同じという人は641人、「違う」人は3人、無回答は30人であった。「違う」人の1人は認識する性で近いものは「男」、残りの2人は「女」と回答した。無回答の30人のうち1人は自認する性で近いものとして「女」と回答した。

3項目の組み合わせのうち、M1は戸籍上「男」で性自認も同じだと答えているので、性自認を「男」とする。性自認が「違う」2人のうち、近い性が「男」であるM2も分類上「男」とみなす。一方、近い性は「女」と答えたM3は性自認を「女」とする。性自認が戸籍と同じか否かに無回答の25人は近い性が「男」（M6）でも無回答（M9）でもここでの性自認を「男」に分類した。戸籍上の性別が「女」で性自認も同じである641人（F1）は性自認を「女」と

し、性自認が「違う」人のうち、近い性が「女」（F3）の場合も「女」に分類した。もっとも近い性が「男」（F2）である1人は「男」に分類した。性自認と同じかに無回答のF7とF9は「女」とした。

その結果、自認する性が「男」であるのは585人、「女」であるのは674人である。戸籍上の「男」のうち、1人が「認識にもっとも近いもの」では「女」、戸籍上の「女」のうち1人が「認識にもっとも近いもの」では「男」と回答したため、結果的に「男」と「女」それぞれの人数は、戸籍上も自認上（「認識にもっとも近いもの」）でも同じである。

なお、上のM6を「男」ではなく「男に近い」、F2を「女」ではなく「女に近い」として扱うことも可能である。しかしこれらの回答者が問55の「自分の性別を、戸籍上の性別と同じと認識しているか」という質問の意味を理解せず、間違っ「いいえ」と回答した可能性も考えられる。そこで、間違っ回答したとは考えにくい戸籍上の性別と、自認する性別が違うと明確に回答し、かつ、「もっとも近いもの」として戸籍上とは異なる性別を選んだ2人のみについて、「戸籍上の性別」と異なる性別を「自認する性別」として扱うこととした。

さらに言えば、各項目の回答を性別に集計するさいに、1～2人からなる「男に近い」「女に近い」というカテゴリーを設けて「男」「女」と並列にすることは、統計データの処理として望ましくない。ここでは、これら3問に対する回答を詳細に示すに留めておく。

ここでは認識にもっとも近い性に「その他()」の選択肢を設け、カッコ内に記入できるようにしたが、今回の回答者には「その他」を選択した人はおらず、性自認の分類は「男」と「女」の2分類となった。

表：戸籍上の性別、戸籍上の性別が性自認と同じか、認識にもっとも近い性別の回答の組み合わせと、性別（性自認）の分類結果

問 54 戸籍上の性別	問 55 性自認と同じか	問 56 認識にもっとも近いもの [人数]	タイプ	性別（性自認）の分類			人数
				男	女	その他	
男 585人	はい 558人	(質問せず)	M1	558			558
		男 [1人]	M2	1			1
	いいえ 2人	女 [1人]	M3		1		1
		その他 [0人]	M4			0	0
		無回答 [0人]	M5			0	0
	無回答 25人	男 [0人]	M6	4			4
		女 [0人]	M7		0		0
		その他 [0人]	M8			0	0
		無回答 [21人]	M9	21			21
女 674人	はい 641人	(質問せず)	F1		641		641
		男 [1人]	F2	1			1
	いいえ 3人	女 [2人]	F3		2		2
		その他 [0人]	F4			0	0
		無回答 [0人]	F5			0	0
	無回答 30人	男 [0人]	F6	0			0
		女 [1人]	F7		1		1
		その他 [0人]	F8			0	0
		無回答 [29人]	F9		29		29
性自認 (人数)			合計	585人	674人	0人	1,259人

本調査に性自認と性的指向にかかわる項目を含めた背景

本調査の目的には、性的マイノリティの人数や割合を調べることを含めていなかったが、調査票の最後に性自認と性的指向を捉えうる項目をたずねた。その理由は主に次の3つである。

一つ目は、回答者本人が性的マイノリティであると認識しているか否かによって、性的マイノリティに対する意識の傾向が異なる可能性があるため、属性の一部として捉えておきたかったからである。先行研究の中には「異性愛者」の性的マイノリティに対する意識を分析するものもあり、それらの研究結果と照らし合わせるためにも、異性愛者だと認識している回答者を特定する可能性を残したかった。

二つ目は、このテーマを扱う研究グループとして、

(実際にどのような回答が得られるかは別としても)、通常の意識調査のように人びと(回答者)は異性愛者で戸籍・出生時の性別と自認する性別は同じであることを前提とした調査を実施することはありえないとの認識があったためである。

三つ目は「LGBT」関連施策が議論され始めている今、無作為抽出による社会調査を通して人びとの性的指向や性自認を捉えることが必要となってくると考えたからである。全国規模で、かつ対象者を無作為抽出した今回の調査でもちいた項目とそれによって得た結果(コラム その1とその2で紹介)を、一つのステップとして十分検討し、今後につなげていきたい。

コラム その2：性的指向に関する結果

性的指向に関しては、まず、問57で「あなたはご自身を、異性愛者(異性だけに恋愛感情を抱いたり、性的に惹かれたりする人)だと思いませんか」とたずねた。選択肢は「1. はい」「2. 考えたことがない」「3. いいえ」とし、「3. いいえ」と答えた人には、問58で「あなたご自身の認識にもっとも近いものに○をつけてください」とたずね、選択肢には、「同性愛・ゲイ・レズビアン」「両性愛・バイセクシュアル」「わからない」「決めたくない・決めていない」「その他」をもちいた。

1,259人中、「異性愛者」と回答した人は3人に2人(65.2%)「考えたことがない」が4人に1人(24.2%)であった。「考えたことがない」の回答も、この問いに回答しなかった人も、高齢者に多い傾向があった。

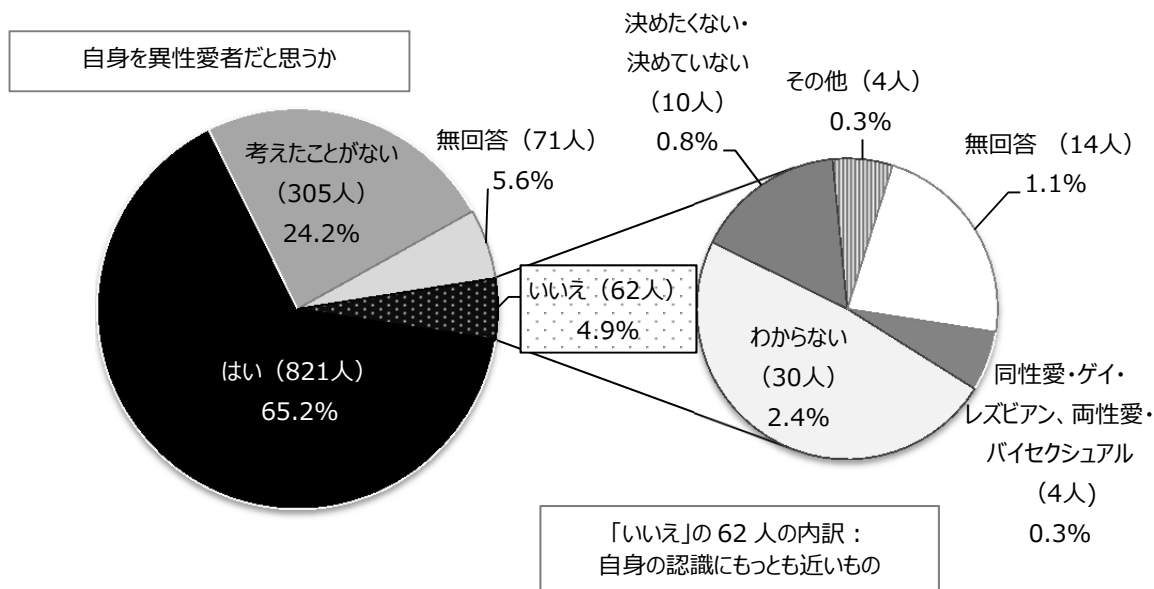
異性ではなく同性に惹かれたり性関係をもったりした経験があると、自分は同性愛者ではないか、両性愛者ではないかといったことを考えざるを得ないのが今の社会である。このことをかんがみると、性的指向について考えずにすむ状況にある(つまり「同性愛者」や「両性愛者」ではないかと考える必要なく生きてきた人)や、自らを「異性愛者」として、「同性愛者」などと並列される性的アイデンティテ

ィの用語では捉えられたくない人びとが、「考えたことがない」と回答した可能性がある。無回答についても、同じことが言える。今後、本調査でもちいた調査項目についてのヒアリング等を行い、回答の背後にある実態を把握して行くことが必要である。

「異性愛者だと思うか」の問いに「いいえ」と回答した62人に、「認識」をたずねたところ、「わからない」がもっとも多く30人、次いで無回答の14人であった。仮に「決めたくない・決めていない」「その他」「同性愛・ゲイ・レズビアン、両性愛・バイセクシュアル」を「非異性愛者」とみなすと、1,259人中18人(1.4%)となる。もし「わからない」も含めれば、1,259人中48人(3.8%)である。

また異性愛者だと思うかの問いに回答しなかった71人を除いて検討すると、「決めたくない・決めていない」「その他」「同性愛・ゲイ・レズビアン、両性愛・バイセクシュアル」の割合は1.5%、「わからない」人を含めれば4.0%である。

本調査では、恋愛感情をもったり性的に惹かれたりする相手の性別もたずねているので、今後、それらとの整合性等も含め、「性的指向」に関する結果を検討していきたい。



コラム その3：社会調査によって性自認・性的指向を捉えることの困難と課題

社会調査で性自認や性的指向を捉え、「性的マイノリティ」を特定することは単純ではない。性的指向に関していえば、本人のアイデンティティ、性経験、性的感情・欲望、パートナーの性別等、何をもって定義するのか、どのような質問によって捉えるのかという問題に加え、これらがある程度解決したとしても、実際の調査でどの程度の人が「ありのまま」の回答をするのか、という課題も残る。今回の調査では、対象者を訪問するさい、「アンケートをお願いすることになりましたのは、学術研究調査に認められている正式な手つづきを経て、住民基本台帳から統計的な手法により無作為に選ばせていただいた結果です。アンケートに記入していただいた回答は統計的に処理され、個人のお名前が表に出るようなことは絶対にありません」と説明し、協力を依頼している。しかし、住民基本台帳に記載されている住所と名前でその人を「特定」して訪問しているため、このような説明があってもなお、回答することに抵抗を感じ、回答しなかったり、真意とは異なる回答をしたりする人びとがいるであろうことは、容易に予想できる。それが人に知られたくない、あるいはデリケートなことだと回答者が思う内容の質問であったら、なおさらであろう。性自認や性的指向もその例である。したがって、社会調査を通じて「性的マイノリティ」を捉えることには、「50歳以上の人」「子どもをもっている人」「結婚している人」といった属性を捉えるようにはいかないのである。

アメリカにおいては、ゲイ男性、レズビアン、バイセクシュアルを調査によってどのように特定し、また実際にどれくらいの人々がこれらに当てはまるの

かを調べる研究が1990年代から蓄積され(Laumann, et al. 1994; Gates 2010)、性的指向と性自認の政策研究に特化したシンクタンクによって調査項目例や調査の留意点がまとめられている(The GenIUSS Group 2014)。その後も、さまざまな方法で性的指向を捉えた場合の結果を検証し、生涯一定とは限らない性的指向や性自認をどのように扱うかを検討するような研究も出てきている(Cherng 2012)。イギリスでも統計局が政府調査で性的指向や性自認をどのように扱うかを検討した経緯と、複数のパイロット調査の結果が報告されている(Joloza, et al. 2010)。このように、性的マイノリティの人口は何割、という研究には多くの留保が付き、簡単に求められるものではない。蓄積が少ない日本においては、なおのことである。

しかし、社会調査を通じてなんらかの形で性的指向や性自認を捉えることができれば、同一の条件で抽出して調査した人びとの状態や意識(たとえば経済状況、心身の健康、家族関係、仕事、学校、近隣など日常でのさまざまな経験)を、「性的マイノリティであるか否か」によって統計的に比較したり、性的マイノリティに特有な状況を明らかにすることができる。性的マイノリティのみを対象とした調査でその特徴をつかむことにも意義はあるが、一方で、性的マイノリティのおよその数が推定され、性的マイノリティでない人びととの違いを統計的に示すことができれば、性的マイノリティの置かれた状況の改善にむけた、より具体的な取り組みにつなげることができる。日本でも早急かつ学術的に調査がされるべきだと考える。

コラム その4：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー「人口」

アメリカ等で人口を代表する標本を抽出して行われた11の調査をもとにした推定結果をみると、「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル」の割合は、アメリカでは1.7%から5.6%の範囲、その他の国では、カナダ1.9%、オーストラリア2.1%、イギリス1.5%、ノルウェー1.2%である（すべて2000年代に実施）。またアメリカの調査では同性に性的魅力を感じた経験のある割合は11%、性関係をもった経験があるのは8.2%と報告されている（Gates 2011）。トランスジェンダーの割合は0.5%から2%と推定され、実際に移行する人の割合は0.1%から0.5%と言われている（Conway 2002）。また最近の調査レビューでは、電話調査か面接調査か、調査実施の機関、質問の仕方等が異なる2000年代後半以降の4つの調査の結果をもとに、18歳以上のLGBの割合は2.2%~3.0%（18~44歳では2.8%から4.2%）、トランスジェンダーも含めた場合の割合（LGB/T）は4.0%（18~44歳のみでは5.6%）と報告されている（Gates 2014）。

さらに、人口を代表する標本調査で「LGBT」の項目を含むものとしては過去最多である12万人以上が回答した「あなた自身はレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、あるいはトランスジェンダーだと自認していますか」の問いへの回答の集計に基づく、アメリカの人口に占める、「LGBT」であると自認する人の割合は3.4%であるという（Gates and Newport 2014）。同報告では、年齢、性別、人種等によってその割合は異なることも示されている。たとえば年齢別にみると、18~29歳では6.4%、30~49歳では3.2%、50~64歳では2.6%、65歳以上では1.9%であるという。

日本に目を向けると、公的統計や社会調査によって性的指向や性自認を捉える試みは数少なく、木原ら（2000）が1999年に実施した「HIV/STD関連知識、性行動、性意識についての全国調査」が、無作

為抽出による調査（回収率71.2%）で性的指向を調べる項目を含めた唯一のものであると思われる。この調査では男性の1.2%、女性の2.0%が「同性」または「男女両方」との性経験を報告している。複数の予備調査を重ね、実際の調査での回収率を予測したうえで実施したものである。

また、厳密には無作為抽出ではないが、塩野ら（2009）は、調査会社の保有するマスターサンプル（通常、過去の調査において無作為調査で選ばれて回答した人のうち、その後も別の調査があれば協力する意志を示した人を登録し、その中から無作為に対象者を抽出する）をもちいた調査で、男性に「これまでに性的魅力を感じたことのある人の性別」と「性交渉をもった相手の性別」をたずねた（回収率44.8%）。「同性のみ」または「同性異性どちらも」と回答したのは、「性的魅力」については3.7%、「性交渉」については2.0%、性的魅力を感じた経験と性交渉をもった経験の少なくともどちらか一方については4.3%であった。

なお、これらのどのデータにおいても、性的マイノリティと特定された人びとは、調査で自分のアイデンティティ、あるいは性経験や関心を公にした人に限られていることを念頭におく必要がある。さらに重要なのは、こうした結果は、「LGBT割合」として一人歩きする傾向があるが、調査実施側はその調査方法と集計方法（どのような調査に基づいているか、どのように対象者を選んだのか・集めたのか、どのような問い・選択肢をもちいたのか、その結果をどのように集計してたどり着いた割合なのかなど）を明確にして公表することが、最低限の責任であると考えられる。利用者の方も、そうした情報を求め、データの性質を吟味したうえで引用することが望ましい。

文献

- Cherng, Hua-Yu Sebastian, 2012, "What are Gay and Lesbian Populations? Definitions, Stability over Time, and Implications of Different Conceptualizations of Sexual Minority Status," Paper presented at Population Association of America 2012 Annual Meeting, San Francisco, May 5.
- Conway, Lynn, 2002, "How Frequently does Transsexualism Occur?" <http://ai.eecs.umich.edu/people/conway/TS/TSPrevalence.html>
- Gates, Gary J. 2010, *Sexual Minorities in the 2008 General Social Survey: Coming Out and Demographic Characteristics*, The Williams Institute, UCLA School of Law.
<http://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/Gates-Sexual-Minorities-2008-GSS-Oct-2010.pdf>
- . 2011. *How Many People are Lesbian, Gay, Bisexual and Transgender?*, The Williams Institute, UCLA School of Law.
<http://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/Gates-How-Many-People-LGBT-Apr-2011.pdf>
- . 2014. *LGBT Demographics: Comparisons among population-based surveys*, The Williams Institute, UCLA School of Law.
<http://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/lgbt-demogs-sep-2014.pdf>
- Gates, Gary J., Frank Newport, 2012, *Special Report: 3.4% of US Adults Identify as LGBT*, Gallup.
<http://www.gallup.com/poll/158066/special-report-adults-identify-lgbt.aspx>
- Joloza, Theodore, Joanne Evans, Rachel O'Brien, Angela Potter-Collins, 2010, "Measuring Sexual Identity: An Evaluation Report," Office for National Statistics.
<http://webarchive.nationalarchives.gov.uk/20120514042302/http://www.ons.gov.uk/ons/rel/ethnicity/measuring-sexual-identity--evaluation-report/index.html>
- Laumann, Edward O., John H. Gagnon, Robert T. Michael, Stuart Michaels, 1994, *The Social Organization of Sexuality: Sexual Practices in the United States*. Chicago: University of Chicago Press.
- The GenUSS Group, 2014, *Best Practices for Asking Questions to Identify Transgender and Other Gender Minority Respondents on Population-Based Surveys*, The Williams Institute, UCLA School of Law.
<http://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/geniuss-report-sep-2014.pdf>
- 木原正博・木原雅子・内野英幸・石塚智一・尾崎米厚・島崎継雄・杉森伸吉・土田昭司・中畝菜穂子・箕輪眞澄・山本太郎, 2000, 「日本人の HIV/STD 関連知識, 性行動, 性意識についての全国調査——日本人の HIV/STD 関連知識, 性行動, 性意識に関する性・年齢別分析」平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業『HIV 感染症の疫学研究』(主任研究者 木原正博)研究報告書, 565-583.
- 塩野徳史、市川誠一、金子典代、コーナ・ジェーン、新ヶ江章友、伊藤俊広, 2010, 「日本成人男性における MSM 人口の推定と HIV/AIDS に関する意識調査」厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業『男性同性間の HIV 感染対策とその介入効果に関する研究』(研究代表者 市川誠)平成 21 年度総括・分担研究報告書, 119-138.

調査票

男女のあり方と社会意識に関する調査

このアンケートは、文部科学省の科学研究費の助成を受け、日本における男女のあり方、性の多様性や社会に関する国民の意識や考えを把握するため、全国の20才から79才の男女2,600人の方にご協力をお願いしているものです。ここに回答された内容は、統計として取りまとめるだけですので、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に学術的見地からの質問となっておりますので、安心してありのままのことをできるだけ正確にお答えください。

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) この調査は、調査をお願いしたご本人様にご回答をお願いいたします。
- 2) アンケートは全部で15ページあります。ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 3) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 4) ○のつけかたは質問によって異なります。質問文の説明をお読みください。
- 5) ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 6) 「その他」にあてはまる場合は、自由回答欄に具体的にご記入ください。
- 7) どうしても答えたくない／答えられない質問がある場合は、飛ばして次の質問にお進みください。正確にあてはまる選択肢がない場合でも、ご自分で最も近いと思うものをお選びください。
- 8) なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、お伺いした調査員にお尋ねいただくか、調査の実施機関である下記の(一社)新情報センターにお問い合わせください。

〔回収日時〕

月 日 時頃に回収にお伺いします。それまでにご記入いただき、回収用封筒に密封してお渡しいただきますよう、お願い申し上げます。

平成27年3月

【調査主体】 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
基盤研究B「日本におけるクィアスタディーズの構築」研究班
研究代表者 河口 和也(広島修道大学人文学部 教授)
研究分担者 釜野 さおり(国立社会保障・人口問題研究所
人口動向研究部第二室長)

【調査実施機関】 一般社団法人 新 情 報 セ ン タ ー

東京都渋谷区恵比寿1-19-15

(お問い合わせ) 電話 : 0120-78-5231 (フリーダイヤル)

担当 : 平栗、牛島(平日9~17時、昼休み除く)

ホームページアドレス : <http://www.sjc.or.jp/>



調査員氏名

(地点番号)

(対象番号)

I 最初にあなたの子どものころやご両親についてお聞きします。

あなたが子どものころを思い出してお答えください。それぞれについて、あなたのご経験や状況にもっとも近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

問1 子どもの頃、男の子は男らしく、女の子は女らしく、と親から言われましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. よく言われた | 3. あまり言われなかった |
| 2. ときどき言われた | 4. 言われなかった |

問2 子どもの頃、家族の誰かがあなたに本を読んでくれましたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. よく読んでくれた | 3. あまり読んでくれなかった |
| 2. ときどき読んでくれた | 4. 読んでくれなかった |

問3 あなたが 15歳の頃、家の暮らしむきを総合的にみてどのように感じていましたか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 大変苦しかった | 3. 普通 | 4. ややゆとりがあった |
| 2. やや苦しかった | 5. 大変ゆとりがあった | |

問4 あなたの(ご両)親についておたずねします。お父さまとお母さまについて、最後に卒業した学校に、それぞれ○をつけてください。(「1. 小・中学校」には、旧制高等小学校、国民学校、尋常小学校等も含まれます。また「2. 高校」には旧制中学、高等女学校も含まれます。)

お父さま (○は1つ)	お母さま (○は1つ)
1. 小・中学校	1. 小・中学校
2. 高等学校	2. 高等学校
3. 専修・専門学校(高卒後)	3. 専修・専門学校(高卒後)
4. 短大・高専	4. 短大・高専
5. 大学・大学院	5. 大学・大学院
6. その他()	6. その他()

II 次に、あなたの現在の生活についてお聞きします。

問5 あなたは現在の家庭生活にどれくらい満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかといえば不満である |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. 不満である |

問6 あなたのまわりの人で、次のようなことをしてくれる人はいますか。(それぞれ○は1つ)

	1 いる	2 いない
(ア) あなたの心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人	1	2
(イ) あなたの能力や努力を評価してくれる人	1	2
(ウ) あなたや家族が病気で寝込んだときなどに看病や家事を頼める人	1	2

問7 次にあげるメディアや通信手段で、ふだんから利用するものにすべて○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. テレビ (報道・教養番組)	7. 女性向けマンガ・コミック
2. テレビ (娯楽番組)	8. 男性向けマンガ・コミック
3. テレビドラマ・映画	9. インターネット (メール、ウェブ)
4. 新聞・書籍	10. インターネット (フェイスブック、ツイッター、LINE など)
5. 雑誌	11. その他 ()
6. ラジオ	12. なし

Ⅲ ここからは、家族のあり方などに関するあなたのお考えについてお聞きします。

問8 一般的に、ある人にとって、次にあげる人たちなどは、その人の「家族」と言えると思いますか。一つ一つについて、同居・別居を考えた3つの選択肢 1、2、3のうち、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 同居・別居 にかかわ らず家族	2 同居し ていれ ば家族	3 同居して いても 家族では ない		1 同居・別居 にかかわ らず家族	2 同居し ていれ ば家族	3 同居して いても 家族では ない
配偶者	1	2	3	娘の夫	1	2	3
親	1	2	3	息子の子ども	1	2	3
配偶者の親	1	2	3	娘の子ども	1	2	3
きょうだい	1	2	3	祖父母	1	2	3
配偶者のきょうだい	1	2	3	配偶者の祖父母	1	2	3
20歳以上の未婚の子	1	2	3	異性の恋人	1	2	3
結婚している息子	1	2	3	同性の恋人	1	2	3
結婚している娘	1	2	3	再婚相手の子	1	2	3
息子の妻	1	2	3	ペット	1	2	3

問9 あなたのお母さまとの現在の関係についておたずねします。ア～オについて、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

お母さまがいらっしゃる方は5に○をつけてください。

	1 そう 思う	2 ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	3 ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い	5 母 は い な い
(ア) 母とコミュニケーションすることは、私にとって重要である	1	2	3	4	5
(イ) 私は、一人の女性としての母に、共感できる	1	2	3	4	
(ウ) 私は、母に悩みごとを打ち明けられる	1	2	3	4	
(エ) 私には、母とは異なる独立した考えがある	1	2	3	4	
(オ) 母は、私の考え方を尊重してくれている	1	2	3	4	

問 10 次にあげる生き方で、あなたが自分の子どもにしてほしくないと思うものを選んでください。実際に子どもがいない場合も、いるとすれば、としてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 一生独身でいる | 6. 性別を変える |
| 2. 結婚届を出さずに同居する | 7. 同性カップルで共同生活をする |
| 3. 結婚して、子どもを持たない | 8. 性別を変えた人とカップルになり、共同生活をする |
| 4. 子どもがいる状態で離婚する | 9. その他 () |
| 5. 未婚で子どもを持つ | 10. 子どもにしてほしくない生き方はない |

IV ここからは、男女のあり方や役割などに関するお考えについてお聞きします。

問 11 次のア～ウについてのあなたのお考えをおたずねします。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか そう思 えば	3 どちらか そう思 わな い	4 そう思 わな い
(ア) 男性は、女性のような服装をするべきではない	1	2	3	4
(イ) 女性は、男性のような服装をするべきではない	1	2	3	4
(ウ) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ	1	2	3	4

問 12 家庭や仕事、社会での男女の役割についておたずねします。次のア～ケのそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか そう思 えば	3 どちらか そう思 わな い	4 そう思 わな い
(ア) 男女が一緒にくらすなら結婚すべきである	1	2	3	4
(イ) なんとんでも女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
(ウ) 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
(エ) 結婚せずに、子どもを持ってもよい	1	2	3	4
(オ) 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
(カ) 働き口が少ない場合、女性より男性の方が先に仕事につけるようにすべきだ	1	2	3	4
(キ) 一般的に、女性より男性の方が政治の指導者として適している	1	2	3	4
(ク) 年老いた親の介護は家族が担うべきだ	1	2	3	4
(ケ) なんとんでも家族はいいものだ	1	2	3	4

問 13 男女の性のあり方についておたずねします。次のア～エのそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1	2	3	4	
	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	
(ア)	結婚していない相手と性行為(セックス)をするのはかまわない	1	2	3	4
(イ)	愛情がなくても性行為をすることはかまわない	1	2	3	4
(ウ)	性行為では男性の方が女性をリードすべきだ	1	2	3	4
(エ)	女性よりも男性の方が、性欲が強い	1	2	3	4

V ここからは、同性愛や性同一性障害などについてお聞きします。

問 14 あなたは、テレビ、新聞、書籍、雑誌、ラジオ、マンガ、インターネットなどで、同性愛、性別を変えた人、性同一性障害などが扱われているのを見聞きしたり読んだりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない(→ 問 17 へ)
-------	-----------------

【問 14 で「1」と答えた方に】

問 15 それはどのようなものですか。次の中からあてはまるものいくつかを○をつけてください。(○はいくつでも)

12. テレビ(報道・教養番組)	18. 女性向けマンガ・コミック
13. テレビ(娯楽番組)	19. 男性向けマンガ・コミック
14. テレビドラマ・映画	20. インターネット(メール、ウェブなど)
15. 新聞・書籍	21. インターネット(フェイスブック、ツイッター、LINE など)
16. 雑誌	22. その他 ()
17. ラジオ	

問 16 そこで見聞きしたり読んだりしたのは、どのような人・事ですか。あてはまるものいくつかを○をつけてください。(○はいくつでも)

5. 男性の同性愛	7. 男性から女性に変わった人・性同一性障害など
6. 女性の同性愛	8. 女性から男性に変わった人・性同一性障害など

【全員の方に】

問 17 同性愛や性同一性障害などに関する国や自治体の取り組み（イベント・講演会、啓発など）が行われるようになっていきます。あなたはこれらの取り組みや、それについての報道を見たり聞いたり、あるいは参加したりしたことがありますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|----------|------------------------|
| 1. ポスター・パンフレットから | 4. 新聞から | 7. インターネットから |
| 2. 電車・バス等での広告から | 5. ラジオから | 8. イベントや講演会に参加して |
| 3. 広報紙から | 6. テレビから | 9. その他の情報源から |
| | | 10. 聞きししたり参加したりしたことはない |

問 18 あなたのまわりの人びとについておたずねします。職場の同僚（現在過去を問わず）や、近い友人、親せきや家族に同性愛者はいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-----------------|-----------|--------|
| 1. いる | 2. そうかもしれない人がいる | 3. いないと思う | 4. いない |
|-------|-----------------|-----------|--------|

問 19 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近い友人、親せきや家族に性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-----------------|-----------|--------|
| 1. いる | 2. そうかもしれない人がいる | 3. いないと思う | 4. いない |
|-------|-----------------|-----------|--------|

VI ここからは、同性愛や性同一性障害などについてのあなたのお考えをお聞きします。

問 20 次のアとイについて述べられていることは正しいと思いますか、正しくないと思いますか。それぞれについて1、2、3から1つ選んで○をつけてください。

(ア)「日本では、同性愛は精神病とされている」(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 正しい | 2. 正しくない | 3. わからない |
|--------|----------|----------|

(イ)「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 正しい | 2. 正しくない | 3. わからない |
|--------|----------|----------|

問 21 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。あなたの気持ちやお考えにあてはまるものに、いくつでも○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| 8. 愛し合っていればよい | 11. 伝統的な家族のあり方が失われる |
| 9. 誰にも平等に、結婚する権利がある | 12. 生殖にむすびつかないから好ましくない |
| 10. 海外で認められているから、日本でもあってよい | 13. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない |
| | 14. この中にあてはまるものはない |

問 22 次のア～クについてのあなたのお考えをおたずねします。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

		1 そう 思う	2 ど ち ら か と い え ば	3 ど ち ら か と い え ば	4 そ う 思 わ な い
(ア)	同性愛は思春期の一時的なものである	1	2	3	4
(イ)	同性愛は、生まれつきのものである	1	2	3	4
(ウ)	同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある	1	2	3	4
(エ)	同性愛や性同一性障害に関しては欧米諸国が日本のお手本になる	1	2	3	4
(オ)	まっとうな愛の形は男女が惹かれ合うことのみである	1	2	3	4
(カ)	性同一性障害と同性愛は同じである	1	2	3	4
(キ)	欧米の国に比べ、日本には同性愛者が少ない	1	2	3	4
(ク)	日本には同性愛の伝統がある	1	2	3	4

問 23 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

		1 賛 成	2 や や 賛 成	3 や や 反 対	4 反 対
(ア)	同性愛という性のあり方があることを、義務教育で教えること	1	2	3	4
(イ)	両性愛（男女両方に恋愛感情を持つ）という性のあり方があることを、義務教育で教えること	1	2	3	4
(ウ)	体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えること	1	2	3	4
(エ)	同性どうしの結婚を法で認めること	1	2	3	4
(オ)	同性愛者が子どもを育てること	1	2	3	4
(カ)	性別を変えた人が子どもを育てること	1	2	3	4

問 24 学校教育に関してのあなたの意見をおたずねします。以下の人たちの中で、小学校の教員になってほしくないと思う人に、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 同性愛の男性	4. 性別を、女性から男性に変えた人
2. 同性愛の女性	5. 性別を、男性から女性に変えた人
3. 男女両方に恋愛感情を抱く人（両性愛の人）	6. この中にはいない

問 25 次の(1)と(2)について、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(1) 以下の人が同性愛者だったら、
あなたはどのように思いますか。

	1 嫌 では ない	2 嫌 では ない ど ち ら か と	3 ど ち ら か と い え ば 嫌 だ と	4 嫌 だ
同性愛者 だったら、				
近所の人	1	2	3	4
職場の同僚	1	2	3	4
きょうだい	1	2	3	4
自分の子ども	1	2	3	4

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、
あなたはどのように思いますか。

	1 嫌 では ない	2 嫌 では ない ど ち ら か と	3 ど ち ら か と い え ば 嫌 だ と	4 嫌 だ
性別を変えた 人だったら、				
近所の人	1	2	3	4
職場の同僚	1	2	3	4
きょうだい	1	2	3	4
自分の子ども	1	2	3	4

問 26 あなたの仲の良い人が、仮に、同(両)性愛者だったり性別を変えたりした場合についておたずねします。次のア～カのそれぞれについて、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 そ う 思 う	2 ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	3 ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い
(ア) 仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(イ) 仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(ウ) 仲の良い男性の友人が両性愛者（男女両方に恋愛感情を抱く男性）だとわかったら抵抗がある	1	2	3	4
(エ) 仲の良い女性の友人が両性愛者（男女両方に恋愛感情を抱く女性）だとわかったら、抵抗がある	1	2	3	4
(オ) 仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら抵抗がある	1	2	3	4
(カ) 仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら抵抗がある	1	2	3	4

問 27 あなたが仮に、仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら（カミングアウトされたとしたら）、どのような気持ちになると思いますか。仲の良い同性からと異性からの場合のそれぞれについて、①～⑭の選択肢の中から3つまで選び、その番号を回答欄に書いてください。

【選択肢】 (右の回答欄に番号を記入)	
① 言ってくれてうれしい	⑧ 気持ち悪い
② 理解したい	⑨ 迷惑だ
③ かわいそう	⑩ 大変なことになった
④ 同情する	⑪ 自分なら治してあげられる
⑤ 興味が出てくる	⑫ 聞かなかったことにしたい
⑥ 寄り添いたい	⑬ どうでもいい
⑦ 身の危険を感じる	⑭ この中であてはまるものはない

回答欄		
仲の良い同性からの場合		
仲の良い異性からの場合		

問 28 次のアとイについてのあなたのお気持ちをおたずねします。それぞれについて、あなたのお気持ちにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。

(ア) 女性のような男性をみると、不快になる。(○は1つ)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない

(イ) 男性のような女性をみると、不快になる。(○は1つ)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない

問 29 次のア～コについてのあなたのお考えやお気持ちをおたずねします。それぞれについて、あなたのお気持ちやお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

		1 そう 思う	2 どちら かとい え ば そう 思う	3 ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い
(ア)	街なかで男女が手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(イ)	街なかで男性どうしが手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ウ)	街なかで女性どうしが手をつないでいるのをみたら、気持ちが悪い	1	2	3	4
(エ)	男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(オ)	女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(カ)	男女両方に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(キ)	男性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ク)	女性どうしの性行為は、気持ちが悪い	1	2	3	4
(ケ)	異性と性行為をすることもあれば、同性と性行為をすることも、というのは気持ちが悪い	1	2	3	4
(コ)	男と女の間の性行為は気持ちが悪い	1	2	3	4

問 30 身体の性別を変えることについておたずねします。次のア～オについて、あなたのお気持ちやお考えにもっとも近いものを1、2、3、4から1つ選んで○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
(ア) 性別を男性から女性に変えるのはおかしい	1	2	3	4
(イ) 性別を女性から男性に変えるのはおかしい	1	2	3	4
(ウ) 性別を男性から女性に変えるのは気持ちが悪い	1	2	3	4
(エ) 性別を女性から男性に変えるのは気持ちが悪い	1	2	3	4
(オ) 性転換手術は道徳的にまちがっている	1	2	3	4

Ⅶ 次に、社会全般に関してのあなたのお考えについてお聞きします。

問 31 少子化対策として、結婚や出産を奨励しょうれいすべきだ、という考えについてどう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

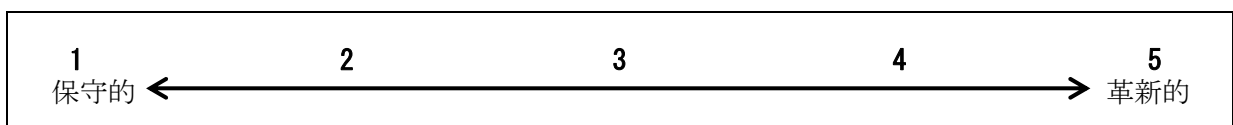
問 32 日本人は他の国民に比べて、すぐれた素質しうしつをもっている、という考えについてどう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 33 欧米で起こったことは日本でもいずれ起こる、という考えについて、どう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 34 政治的な考え方全般を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、今のあなたはどれにあてはまりますか。あてはまる数字の上に○をつけてください。(○は1つ)



問 35 あなたが生活している地域にア～キのような人々が増えることに賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、あなたの意見にもっとも近いものを 1、2、3、4 から 1つ選んで○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

		1 賛成	2 やや賛成	3 やや反対	4 反対
(ア)	アメリカ人が増えること	1	2	3	4
(イ)	中国人が増えること	1	2	3	4
(ウ)	韓国人が増えること	1	2	3	4
(エ)	中近東諸国の外国人が増えること	1	2	3	4
(オ)	東南アジア諸国の外国人が増えること	1	2	3	4
(カ)	西ヨーロッパ諸国の外国人が増えること	1	2	3	4
(キ)	南米諸国（ブラジルなど）の外国人が増えること	1	2	3	4

問 36 あなたが生活している地域にア～エのような人々が増えることに賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、あなたの意見にもっとも近いものを 1、2、3、4 から 1つ選んで○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

		1 賛成	2 やや賛成	3 やや反対	4 反対
(ア)	宗教の異なる人が増えること	1	2	3	4
(イ)	刑期を終えて出所した人が増えること	1	2	3	4
(ウ)	知的な障害を持つ人が増えること	1	2	3	4
(エ)	身体的な障害を持つ人が増えること	1	2	3	4

VIII 最後に、あなた自身のことについて、お聞きします。

問 37 あなたの出生年および現在の年齢をご記入ください。

昭和・平成・西暦

(↑どれか1つに○)

年生まれ

(満

歳)

問 38 あなたは現在ご結婚されていますか。(○は1つ)

1. 結婚している

3. 離別した

5. その他

2. 結婚したことがない

4. 死別した

()

問 39 これまでに特定の異性と同居（結婚の届け出なしで一緒に生活したこと）の経験がありますか。
 (○は1つ)

1. 現在している	2. 過去にしていた	3. 同居したことはない
-----------	------------	--------------

問 40 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。お子さんの同居・別居は問いません。(○は1つ)
 また、いる場合は、男、女の人数をそれぞれご記入ください。(たとえば、女が1人の場合は、男「0」人、女「1」人とご記入ください。)

1. いる	2. いない
-------	--------

男 人 女 人

問 41 あなたが現在、一緒に生活している方は、あなたを含めて何人いますか。
 (入院、留学、単身赴任等で長期（おおむね3ヶ月以上）にわたって不在の方は含めなくてください。)

あなたを含めて全部で 人

(ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。)

問 42 あなたと同居している方はどなたですか。あてはまる方すべてに○をつけてください。あなたからみた続き柄でお答えください。(おおむね3ヶ月以上不在の方は含めません。)(○はいくつでも)

1. なし(ひとり暮らし)	5. 息子の妻	9. 配偶者の父親	13. 孫
2. 配偶者	6. 娘の夫	10. 配偶者の母親	14. あなたのきょうだい
3. 息子	7. あなたの父親	11. あなたの祖父母	15. 配偶者のきょうだい
4. 娘	8. あなたの母親	12. 配偶者の祖父母	16. その他()
			17. ペット

問 43 あなたが(1)最後に在籍した(または在籍中の)学校、および(2)卒業・中退・在籍中の別について、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 最後に在籍した(または在籍中の)学校 (○は1つ)	(2) 卒業・在籍中・中退の別 (○は1つ)
1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校・旧制中学校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他()	1. 卒業した 2. 中退した 3. 現在、在籍中(休学等も含む) たとえば、高校を卒業した方は、 (1)では3に○をつけ、 (2)では1に○をつけます。

問 44 あなたの通った（あるいは在籍中の）学校は、男女共学でしたか、男女別学でしたか。(1)～(3)のそれぞれについて、あてはまる番号に1つ○をつけてください。(高等学校には、旧制中学も含みます。)

(1) 中学校 (○は1つ)	(2) 高等学校 (○は1つ)	(3) 短大・大学 (○は1つ)
1. 男女共学	1. 男女共学	1. 男女共学
2. 男子校・男子部	2. 男子校・男子部	2. 男子校・男子部
3. 女子校・女子部	3. 女子校・女子部	3. 女子校・女子部
4. 通っていない	4. 通っていない	4. 通っていない

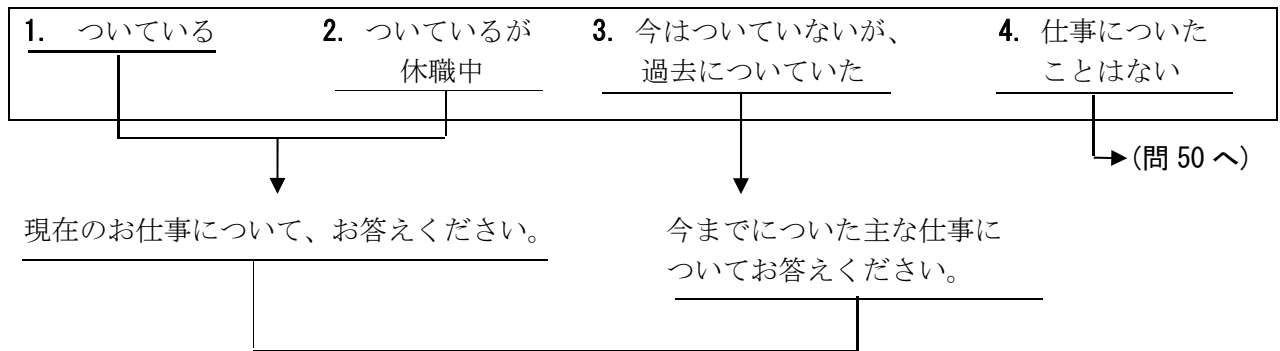
問 45 あなたは日本以外の国・地域で1ヶ月以上生活したことはありますか。「ある」方は、これまでに生活したことのある主な国・地域を（ ）に記入してください。

1. ある	→	生活したことのある主な国・地域
2. ない		()
(↑どちらかに○)		

問 46 仮に現在の日本の社会全体を、次の5つの層に分けるとすれば、あなたのお宅は、このどれに入るとお考えですか。(○は1つ)

1. 上	3. 中の中	5. 下
2. 中の上	4. 中の下	6. その他

問 47 現在、収入のともなう仕事についていますか。(○は1つ)



【問 47 で「1～3」と答えた方に】

問 48 その仕事は、次のどれにあたりますか(ましたか)。(○は1つ)

1. 常時雇用されている従業者 (公務員含む)	4. 自営業主、自由業者
2. 臨時雇い・パート・アルバイト	5. 自営業の家族従業者
3. 派遣・契約・嘱託社(職)員	6. 経営者・役員
	7. その他 ()

問 49 そのお仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか（あたりましたか）。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 専門・技術系の職業 | (医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、作家、デザイナー、編集者など) |
| 2. 管理的職業 | (課長相当以上の管理職、議員など) |
| 3. 事務・営業系の職業 | (事務員、営業社員、銀行員など) |
| 4. 販売・サービス系の職業 | (店主、店員、外交員、美容師、クリーニング、給仕、接客、清掃、ヘルパーなど) |
| 5. 技能・労務・作業系の職業 | (工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業員、運転手など) |
| 6. 農林漁業 | (植木職、造園業を含む) |
| 7. その他 (|) |

【全員の方に】

問 50 宗教についておたずねします。あなたは、何か信仰や信心などをもっていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. もっている | 2. もっていない |
|----------|-----------|

問 51 従来の宗教・宗派は別として、宗教的な心は大切だ、という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 52 これまでにあなたが恋愛感情を抱いた相手について、一番近いものに○をつけてください。

(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 男性のみ | 4. ほとんどが女性 |
| 2. ほとんどが男性 | 5. 女性のみ |
| 3. 男性と女性同じくらい | 6. どちらにも恋愛感情のような感情を抱いたことがない |

問 53 普段あなたが性的に惹かれるのは、次のうちどれですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 男性のみ | 4. ほとんどが女性 |
| 2. ほとんどが男性 | 5. 女性のみ |
| 3. 男性と女性同じくらい | 6. どちらにも惹かれない |

問 54 あなたの性別に○をつけてください。〔戸籍上の性別〕（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問 55 あなたは、ご自分の性別を、戸籍上の性別と同じだと認識していますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|--------|
| 1. はい(→問 57 へ) | 2. いいえ |
|----------------|--------|

↓
【問 55 で「2. いいえ」と答えた方におたずねします。】

問 56 あなたご自身の認識にもっとも近いものに○をつけてください。

- | | |
|------|--------|
| 1. 男 | 3. その他 |
| 2. 女 | () |

【全員の方に】

問 57 あなたはご自身を、異性愛者（異性だけに恋愛感情を抱いたり、性的に惹かれたりする人）だと思いますか。（○は1つ）

1. はい（→問 59 へ）	2. 考えたことがない（→問 59 へ）	3. いいえ
----------------	----------------------	--------

↓
【問 57 で「3. いいえ」と答えた方におたずねします。】

問 58 あなたご自身の認識にもっとも近いものに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 同性愛・ゲイ・レズビアン | 4. 決めたくない・決めていない |
| 2. 両性愛・バイセクシュアル | 5. その他 |
| 3. わからない | () |

【全員の方に】

問 59 去年 1 年間のあなたのお宅の収入は、税込みでは次の中のどれに近いでしょうか。生計をともにしているご家族の方の収入も含めてお答えください。年金や給付金も含みます。（○は1つ）

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|--------------------|
| 1. 100 万円未満 | 4. 300～400 万円未満 | 7. 600～700 万円未満 | 10. 1000～1200 万円未満 |
| 2. 100～200 万円未満 | 5. 400～500 万円未満 | 8. 700～800 万円未満 | 11. 1200～1500 万円未満 |
| 3. 200～300 万円未満 | 6. 500～600 万円未満 | 9. 800～1000 万円未満 | 12. 1500 万円以上 |

これで質問は終わりです。以下では、調査の感想をおたずねします。

今後の研究の参考とさせていただきますので、できる限りお答えいただけると幸いです。

調査についての感想

Q1. この調査全般について（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 関心をもてた | 3. あまり関心をもてなかった |
| 2. ある程度、関心をもてた | 4. 関心をもてなかった |

Q2. この調査の質問内容について（○は1つ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. わからない質問はなかった | 3. わからない質問がかなりあった |
| 2. わからない質問がいくつかあった | 4. わからない質問ばかりだった |

Q3. そのほか、この調査について、あるいはこの調査でおたずねしたことについて、ご意見などがありましたら、下の欄にご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

付 表

回答者の基本属性 [性別（性自認による）、年代別]

地域	性別		年代別						計		
	男性 %	女性 %	20代 %	30代 %	40代 %	50代 %	60代 %	70代 %	%	人数	
北海道	4.6	5.0	4.3	5.7	5.9	4.6	4.4	4.1	4.8	61	
東北	7.2	7.9	6.4	7.7	5.5	8.7	9.5	6.7	7.5	95	
関東	29.9	26.0	30.5	28.4	26.6	28.8	25.2	29.4	27.8	350	
北陸	5.0	5.6	5.7	2.1	4.6	6.4	7.7	4.6	5.3	67	
東山	5.5	4.9	4.3	4.6	4.2	5.5	6.6	5.2	5.2	65	
東海	11.1	11.7	9.9	17.0	12.2	11.9	9.5	8.2	11.4	144	
近畿	13.3	15.4	9.2	15.5	17.7	12.8	14.2	15.5	14.5	182	
中国	5.8	6.7	7.1	3.6	6.3	6.8	4.7	9.8	6.3	79	
四国	3.6	3.1	3.5	3.1	3.4	4.1	2.9	3.1	3.3	42	
北九州	8.7	7.3	10.6	7.2	9.7	5.5	6.9	8.8	7.9	100	
南九州	5.3	6.4	8.5	5.2	3.8	5.0	8.4	4.6	5.9	74	
都市規模											
大都市（23区含む）	25.3	24.0	24.8	33.5	26.6	26.0	16.4	23.2	24.6	310	
人口10万以上の市	42.9	43.2	44.0	34.0	45.6	39.3	47.1	46.9	43.1	542	
人口10万未満の市・郡部	31.8	32.8	31.2	32.5	27.8	34.7	36.5	29.9	32.3	407	
結婚状況・経験											
結婚している	69.7	66.9	20.6	64.4	75.1	74.9	78.8	75.8	68.2	859	
結婚したことがない	21.0	17.1	75.9	26.8	15.6	11.4	5.1	1.5	18.9	238	
離別した	4.3	7.3	0.7	6.2	7.6	8.7	5.1	5.2	5.9	74	
死別した	2.7	5.8	0.0	0.0	0.0	1.4	8.0	15.5	4.4	55	
その他	0.5	0.1	0.7	0.0	0.0	0.9	0.4	0.0	0.3	4	
無回答	1.7	2.8	2.1	2.6	1.7	2.7	2.6	2.1	2.3	29	
子の有無											
子あり	68.0	73.3	15.6	57.2	74.7	79.9	84.7	90.2	70.8	892	
子なし	28.9	23.3	81.6	40.7	22.8	16.9	11.7	4.6	25.9	326	
無回答	3.1	3.4	2.8	2.1	2.5	3.2	3.6	5.2	3.3	41	
最後に卒業した学校											
中学校卒	12.3	9.9	3.5	2.1	2.5	6.8	16.4	33.0	11.0	139	
高校卒	38.1	42.6	36.9	34.5	38.4	40.6	43.1	47.9	40.5	510	
専門・専修学校卒	8.4	13.1	15.6	16.0	17.7	9.1	5.8	3.1	10.9	137	
短大・高専卒	2.7	15.4	9.2	12.9	15.2	10.0	6.9	2.6	9.5	120	
大学・大学院卒	34.9	14.5	31.2	30.4	23.6	28.8	22.6	9.3	24.0	302	
その他	0.5	0.3	0.7	0.0	0.8	0.5	0.4	0.0	0.4	5	
無回答	3.1	4.2	2.8	4.1	1.7	4.1	4.7	4.1	3.7	46	
就業状況											
ついている	72.1	54.3	74.5	74.2	84.8	76.3	51.5	15.5	62.6	788	
ついているが休職中	0.3	2.5	2.1	4.1	1.7	0.5	0.4	1.0	1.5	19	
過去についていた	21.0	32.0	9.9	17.0	10.5	16.9	36.9	66.5	26.9	339	
仕事についていたことはない	2.2	5.2	9.9	1.0	0.4	1.4	3.3	9.8	3.8	48	
現在または過去についていた	2.2	2.2	1.4	0.5	1.7	1.8	4.0	3.1	2.2	28	
無回答	2.1	3.7	2.1	3.1	0.8	3.2	4.0	4.1	2.9	37	
計（回答者全員）	%	46.5	53.5	11.2	15.4	18.8	17.4	21.8	15.4	100.0	
	人数	585	674	141	194	237	219	274	194		1,259
（現在仕事についている・休職中の人のみ）											
就業形態											
常時雇用されている従業者	60.1	34.5	58.3	61.2	45.9	51.8	31.7	15.6	48.0	387	
臨時雇い・パート・アルバイト	9.2	38.9	22.2	22.4	25.9	20.8	22.5	31.3	23.3	188	
派遣・契約・嘱託社（職）員	7.8	10.4	10.2	7.2	8.8	7.7	13.4	3.1	9.0	73	
自営業主、自由業者	13.4	5.5	3.7	4.6	10.2	6.0	19.0	28.1	9.7	78	
自営業の家族従業者	3.3	5.5	2.8	3.3	2.9	5.4	5.6	12.5	4.3	35	
経営者・役員	5.9	3.1	0.9	1.3	4.4	7.7	6.3	9.4	4.6	37	
その他	0.2	1.0	1.9	0.0	1.0	0.0	0.7	0.0	0.6	5	
無回答	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.7	0.0	0.5	4	
（現在仕事についている・休職中の人のみ）											
仕事の種類											
専門・技術系の職業	21.7	22.2	27.8	28.3	20.0	19.6	17.6	15.6	21.9	177	
管理的職業	9.2	1.6	0.0	2.0	3.9	14.3	5.6	6.3	5.6	45	
事務・営業系の職業	15.3	22.2	18.5	23.7	23.9	17.3	10.6	3.1	18.6	150	
販売・サービス系の職業	15.6	36.6	33.3	22.4	25.4	22.0	28.9	18.8	25.5	206	
技能・労務・作業系の職業	29.7	9.7	16.7	19.1	19.0	19.6	23.2	34.4	20.2	163	
農林漁業	5.0	2.1	1.9	2.6	2.4	3.0	7.7	6.3	3.6	29	
その他	2.4	2.6	1.9	2.0	2.0	3.0	2.8	6.3	2.5	20	
無回答	1.2	3.1	0.0	0.0	3.4	1.2	3.5	9.4	2.1	17	
計（現在仕事についている・休職中の人全員）	%	52.5	47.5	13.4	18.8	25.4	20.8	17.6	4.0	100.0	
	人数	424	383	108	152	205	168	142	32		807

回答者の基本属性 [男性(性自認による)・年代別、女性(性自認による)・年代別]

	男性								女性							
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	人数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	人数
地域	%	%	%	%	%	%	%		%	%	%	%	%	%	%	
北海道	3.3	4.7	3.9	4.5	5.0	5.7	4.6	27	4.9	6.4	7.5	4.6	3.7	2.8	5.0	34
東北	6.7	5.9	6.8	9.1	7.9	5.7	7.2	42	6.2	9.2	4.5	8.3	11.1	7.5	7.9	53
関東	41.7	28.2	26.2	30.9	30.2	26.1	29.9	175	22.2	28.4	26.9	26.6	20.0	32.1	26.0	175
北陸	3.3	2.4	1.0	7.3	7.9	5.7	5.0	29	7.4	1.8	7.5	5.5	7.4	3.8	5.6	38
東山	3.3	7.1	2.9	5.5	6.5	6.8	5.5	32	4.9	2.8	5.2	5.5	6.7	3.8	4.9	33
東海	8.3	18.8	13.6	10.9	7.2	9.1	11.1	65	11.1	15.6	11.2	12.8	11.9	7.5	11.7	79
近畿	10.0	11.8	19.4	10.0	12.9	14.8	13.3	78	8.6	18.3	16.4	15.6	15.6	16.0	15.4	104
中国	5.0	4.7	6.8	6.4	5.0	6.8	5.8	34	8.6	2.8	6.0	7.3	4.4	12.3	6.7	45
四国	1.7	3.5	4.9	5.5	2.9	2.3	3.6	21	4.9	2.8	2.2	2.8	3.0	3.8	3.1	21
北九州	10.0	9.4	10.7	5.5	5.8	13.6	8.7	51	11.1	5.5	9.0	5.5	8.1	4.7	7.3	49
南九州	6.7	3.5	3.9	4.5	8.6	3.4	5.3	31	9.9	6.4	3.7	5.5	8.1	5.7	6.4	43
都市規模																
大都市(23区含む)	21.7	32.9	29.1	27.3	18.0	25.0	25.3	148	27.2	33.9	24.6	24.8	14.8	21.7	24.0	162
人口10万以上の市	48.3	32.9	47.6	40.0	46.8	40.9	42.9	251	40.7	34.9	44.0	38.5	47.4	51.9	43.2	291
人口10万未満の市・郡部	30.0	34.1	23.3	32.7	35.3	34.1	31.8	186	32.1	31.2	31.3	36.7	37.8	26.4	32.8	221
結婚状況・経験																
結婚している	15.0	57.6	72.8	75.5	82.7	87.5	69.7	408	24.7	69.7	76.9	74.3	74.8	66.0	66.9	451
結婚したことがない	80.0	35.3	18.4	14.5	5.8	2.3	21.0	123	72.8	20.2	13.4	8.3	4.4	0.9	17.1	115
離別した	0.0	3.5	7.8	5.5	3.6	3.4	4.3	25	1.2	8.3	7.5	11.9	6.7	6.6	7.3	49
死別した	0.0	0.0	0.0	0.9	6.5	6.8	2.7	16	0.0	0.0	0.0	1.8	9.6	22.6	5.8	39
その他	1.7	0.0	0.0	0.9	0.7	0.0	0.5	3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.1	1
無回答	3.3	3.5	1.0	2.7	0.7	0.0	1.7	10	1.2	1.8	2.2	2.8	4.4	3.8	2.8	19
子の有無																
子あり	10.0	48.2	69.9	73.6	85.6	89.8	68.0	398	19.8	64.2	78.4	86.2	83.7	90.6	73.3	494
子なし	86.7	49.4	28.2	21.8	12.9	4.5	28.9	169	77.8	33.9	18.7	11.9	10.4	4.7	23.3	157
無回答	3.3	2.4	1.9	4.5	1.4	5.7	3.1	18	2.5	1.8	3.0	1.8	5.9	4.7	3.4	23
最後に卒業した学校																
中学校卒	3.3	1.2	5.8	7.3	19.4	31.8	12.3	72	3.7	2.8	0.0	6.4	13.3	34.0	9.9	67
高校卒	35.0	28.2	41.7	38.2	39.6	43.2	38.1	223	38.3	39.4	35.8	43.1	46.7	51.9	42.6	287
専門・専修学校卒	15.0	20.0	11.7	5.5	2.2	2.3	8.4	49	16.0	12.8	22.4	12.8	9.6	3.8	13.1	88
短大・高専卒	3.3	4.7	3.9	2.7	0.7	2.3	2.7	16	13.6	19.3	23.9	17.4	13.3	2.8	15.4	104
大学・大学院卒	40.0	43.5	34.0	39.1	36.0	17.0	34.9	204	24.7	20.2	15.7	18.3	8.9	2.8	14.5	98
その他	0.0	0.0	1.0	0.9	0.7	0.0	0.5	3	1.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	2
無回答	3.3	2.4	1.9	6.4	1.4	3.4	3.1	18	2.5	5.5	1.5	1.8	8.1	4.7	4.2	28
就業状況																
ついている	81.7	88.2	89.3	82.7	66.9	25.0	72.1	422	69.1	63.3	81.3	69.7	35.6	7.5	54.3	366
ついているが休職中	0.0	1.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2	3.7	6.4	2.2	0.9	0.7	1.9	2.5	17
過去についていた	5.0	5.9	6.8	11.8	28.8	62.5	21.0	123	13.6	25.7	13.4	22.0	45.2	69.8	32.0	216
仕事についたことはない	8.3	1.2	0.0	0.9	1.4	4.5	2.2	13	11.1	0.9	0.7	1.8	5.2	14.2	5.2	35
現在または過去についていた	1.7	1.2	1.9	1.8	2.2	4.5	2.2	13	1.2	0.0	1.5	1.8	5.9	1.9	2.2	15
無回答	3.3	2.4	1.0	2.7	0.7	3.4	2.1	12	1.2	3.7	0.7	3.7	7.4	4.7	3.7	25
計(回答者全員)	%	10.3	14.5	17.6	18.8	23.8	15.0	100.0	12.0	16.2	19.9	16.2	20.0	15.7	100.0	
	人数	60	85	103	110	139	88	585	81	109	134	109	135	106	674	
(現在仕事についている・休職中の人のみ)																
就業形態																
常時雇用されている従業者	57.1	81.6	72.0	68.1	34.4	18.2	60.1	255	59.3	40.8	24.1	32.5	26.5	10.0	34.5	132
臨時雇い・パート・アルバイト	22.4	2.6	1.1	7.7	12.9	27.3	9.2	39	22.0	42.1	46.4	36.4	40.8	40.0	38.9	149
派遣・契約・嘱託社(職)員	8.2	3.9	5.4	2.2	19.4	4.5	7.8	33	11.9	10.5	11.6	14.3	2.0	0.0	10.4	40
自営業主・自由業者	4.1	6.6	15.1	8.8	22.6	31.8	13.4	57	3.4	2.6	6.3	2.6	12.2	20.0	5.5	21
自営業の家族従業者	4.1	3.9	1.1	4.4	3.2	4.5	3.3	14	1.7	2.6	4.5	6.5	10.2	30.0	5.5	21
経営者・役員	2.0	1.3	5.4	8.8	7.5	13.6	5.9	25	0.0	1.3	3.6	6.5	4.1	0.0	3.1	12
その他	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1	1.7	0.0	1.8	0.0	2.0	0.0	1.0	4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1.8	1.3	2.0	0.0	1.0	4
(現在仕事についている・休職中の人のみ)																
仕事の種類(同上)																
専門・技術系の職業	28.6	30.3	21.5	14.3	18.3	22.7	0.0	92	59.3	40.8	24.1	32.5	26.5	10.0	34.5	85
管理的職業	0.0	1.3	7.5	24.2	7.5	9.1	9.2	39	22.0	42.1	46.4	36.4	40.8	40.0	38.9	6
事務・営業系の職業	12.2	19.7	19.4	17.6	10.8	0.0	15.3	65	11.9	10.5	11.6	14.3	2.0	0.0	10.4	85
販売・サービス系の職業	32.7	10.5	14.0	11.0	17.2	13.6	15.6	66	3.4	2.6	6.3	2.6	12.2	20.0	5.5	140
技能・労務・作業系の職業	20.4	34.2	29.0	26.4	31.2	45.5	29.7	126	1.7	2.6	4.5	6.5	10.2	30.0	5.5	37
農林漁業	4.1	2.6	4.3	3.3	9.7	4.5	5.0	21	0.0	1.3	3.6	6.5	4.1	0.0	3.1	8
その他	2.0	1.3	2.2	2.2	3.2	4.5	2.4	10	1.7	0.0	1.8	0.0	2.0	0.0	1.0	10
無回答	0.0	0.0	0.0	1.1	2.2	0.0	1.2	5	0.0	0.0	1.8	1.3	2.0	0.0	1.0	12
計(現在仕事についている・休職中の人全員)	%	11.6	17.9	21.9	21.5	21.9	5.2	100.0	15.4	19.8	29.2	20.1	12.8	2.6	100.0	
	人数	49	76	93	91	93	22	424	59	76	112	77	49	10	383	

問20 次のアとイについて述べられていることは正しいと思いますか、正しくないと思いますか。

(ア)「日本では、同性愛は精神病とされている」(○は1つ)

	正しい					正しくない				カイニ乗検定	正しい				カイニ乗検定
	正しい	正しくない	わからない	無回答	計	正しい	正しくない	わからない	計		正しい	正しくない	わからない	計	
性別															
男性	22	297	251	15	585	22	297	251	570	$\chi^2 = 9.23$	297	273	570	$\chi^2 = 8.45$	
	3.8%	50.8%	42.9%	2.6%	100.0%	3.9%	52.1%	44.0%	100.0%		52.1%	47.9%	100.0%		
女性	17	397	242	18	674	17	397	242	656	$p = .0099$	397	259	656	$p = .0037$	
	2.5%	58.9%	35.9%	2.7%	100.0%	2.6%	60.5%	36.9%	100.0%		60.5%	39.5%	100.0%		
年代															
20-30代	13	201	115	6	335	13	201	115	329	$\chi^2 = 29.64$	201	128	329	$\chi^2 = 26.79$	
	3.9%	60.0%	34.3%	1.8%	100.0%	4.0%	61.1%	35.0%	100.0%		61.1%	38.9%	100.0%		
40-50代	13	283	154	6	456	13	283	154	450	$p < .0001$	283	167	450	$p < .0001$	
	2.9%	62.1%	33.8%	1.3%	100.0%	2.9%	62.9%	34.2%	100.0%		62.9%	37.1%	100.0%		
60-70代	13	210	224	21	468	13	210	224	447	$p < .0001$	210	237	447	$p < .0001$	
	2.8%	44.9%	47.9%	4.5%	100.0%	2.9%	47.0%	50.1%	100.0%		47.0%	53.0%	100.0%		
計	39	694	493	33	1,259	39	694	493	1,226		694	532	1,226		
	3.1%	55.1%	39.2%	2.6%	100.0%	3.2%	56.6%	40.2%	100.0%		56.6%	43.4%	100.0%		

(イ)「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」(○は1つ)

	正しい					正しくない				カイニ乗検定	正しい				カイニ乗検定
	正しい	正しくない	わからない	無回答	計	正しい	正しくない	わからない	計		正しい	正しくない	わからない	計	
性別															
男性	150	148	272	15	585	150	148	272	570	$\chi^2 = 18.00$	150	420	570	$\chi^2 = 9.68$	
	25.6%	25.3%	46.5%	2.6%	100.0%	26.3%	26.0%	47.7%	100.0%		26.3%	73.7%	100.0%		
女性	228	113	316	17	674	228	113	316	657	$p = .0001$	429	228	657	$p = .0019$	
	33.8%	16.8%	46.9%	2.5%	100.0%	34.7%	17.2%	48.1%	100.0%		34.7%	65.3%	100.0%		
年代															
20-30代	147	53	130	5	335	147	53	130	330	$\chi^2 = 78.79$	147	183	330	$\chi^2 = 71.98$	
	43.9%	15.8%	38.8%	1.5%	100.0%	44.5%	16.1%	39.4%	100.0%		44.5%	55.5%	100.0%		
40-50代	155	107	188	6	456	155	107	188	450	$p < .0001$	155	295	450	$p < .0001$	
	34.0%	23.5%	41.2%	1.3%	100.0%	34.4%	23.8%	41.8%	100.0%		34.4%	65.6%	100.0%		
60-70代	76	101	270	21	468	76	101	270	447	$p < .0001$	76	371	447	$p < .0001$	
	16.2%	21.6%	57.7%	4.5%	100.0%	17.0%	22.6%	60.4%	100.0%		17.0%	83.0%	100.0%		
計	378	261	588	32	1,259	378	261	588	1,227		378	849	1,227		
	30.0%	20.7%	46.7%	2.5%	100.0%	30.8%	21.3%	47.9%	100.0%		30.8%	69.2%	100.0%		

問20 次のアとイについて述べられていることは正しいと思いますか、正しくないと思いますか。

(ア)「日本では、同性愛は精神病とされている」(○は1つ)

	正しいと思います				計	正しいと思います				カイニ乗検定	正しいと思います			カイニ乗検定
	正しい	正しくない	わからない	無回答		正しい	正しくない	わからない	計		正しい	わからない	計	
最後に卒業した学校														
中学校卒	4	53	75	7	139	4	53	75	132		53	79	132	
	2.9%	38.1%	54.0%	5.0%	100.0%	3.0%	40.2%	56.8%	100.0%		40.2%	59.8%	100.0%	
高校卒	19	256	224	11	510	19	256	224	499		256	243	499	
	3.7%	50.2%	43.9%	2.2%	100.0%	3.8%	51.3%	44.9%	100.0%		51.3%	48.7%	100.0%	
専門・専修学校卒	5	82	48	2	137	5	82	48	135		82	53	135	
	3.6%	59.9%	35.0%	1.5%	100.0%	3.7%	60.7%	35.6%	100.0%		60.7%	39.3%	100.0%	
短大・高専卒	1	84	32	3	120	1	84	32	117		84	33	117	
	0.8%	70.0%	26.7%	2.5%	100.0%	0.9%	71.8%	27.4%	100.0%	$\chi^2 = 54.94$	71.8%	28.2%	100.0%	$\chi^2 = 51.97$
大学・大学院卒	10	207	81	4	302	10	207	81	298		207	91	298	
	3.3%	68.5%	26.8%	1.3%	100.0%	3.4%	69.5%	27.2%	100.0%	$p < .0001$	69.5%	30.5%	100.0%	$p < .0001$
計	39	682	460	27	1,208	39	682	460	1,181		682	499	1,181	
	3.2%	56.5%	38.1%	2.2%	100.0%	3.3%	57.7%	39.0%	100.0%		57.7%	42.3%	100.0%	

(イ)「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」(○は1つ)

	正しいと思います				計	正しいと思います				カイニ乗検定	正しいと思います			カイニ乗検定
	正しい	正しくない	わからない	無回答		正しい	正しくない	わからない	計		正しい	わからない	計	
最後に卒業した学校														
中学校卒	17	30	86	6	139	17	30	86	133		17	116	133	
	12.2%	21.6%	61.9%	4.3%	100.0%	12.8%	22.6%	64.7%	100.0%		12.8%	87.2%	100.0%	
高校卒	137	101	260	12	510	137	101	260	498		137	361	498	
	26.9%	19.8%	51.0%	2.4%	100.0%	27.5%	20.3%	52.2%	100.0%		27.5%	72.5%	100.0%	
専門・専修学校卒	54	26	55	2	137	54	26	55	135		54	81	135	
	39.4%	19.0%	40.1%	1.5%	100.0%	40.0%	19.3%	40.7%	100.0%		40.0%	60.0%	100.0%	
短大・高専卒	46	24	47	3	120	46	24	47	117		46	71	117	
	38.3%	20.0%	39.2%	2.5%	100.0%	39.3%	20.5%	40.2%	100.0%	$\chi^2 = 49.25$	39.3%	60.7%	100.0%	$\chi^2 = 40.19$
大学・大学院卒	115	72	111	4	302	115	72	111	298		115	183	298	
	38.1%	23.8%	36.8%	1.3%	100.0%	38.6%	24.2%	37.2%	100.0%	$p < .0001$	38.6%	61.4%	100.0%	$p < .0001$
計	369	253	559	27	1,208	369	253	559	1,181		369	812	1,181	
	30.5%	20.9%	46.3%	2.2%	100.0%	31.2%	21.4%	47.3%	100.0%		31.2%	68.8%	100.0%	

問20 次のアとイについて述べられていることは正しいと思いますか、正しくないと考えますか。

(ア)「日本では、同性愛は精神病とされている」(○は1つ)

(ア)					(イ)				(イ)					
正しい	正しくない	わからない	無回答	計	正しい	正しくない	わからない	計	カイ二乗検定	正しい	正しくない	わからない	計	カイ二乗検定
最後に卒業した学校 20-30代														
中学校卒	0	3	6	0	9	0	3	6	9		3	6	9	
	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%		33.3%	66.7%	100.0%	
高校卒	8	62	49	0	119	8	62	49	119		62	57	119	
	6.7%	52.1%	41.2%	0.0%	100.0%	6.7%	52.1%	41.2%	100.0%		52.1%	47.9%	100.0%	
専門・専修学校卒	3	31	19	0	53	3	31	19	53		31	22	53	
	5.7%	58.5%	35.8%	0.0%	100.0%	5.7%	58.5%	35.8%	100.0%		58.5%	41.5%	100.0%	
短大・高専卒	0	27	9	2	38	0	27	9	36	$\chi^2 = 19.60$	27	9	36	$\chi^2 = 16.38$
	0.0%	71.1%	23.7%	5.3%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%		75.0%	25.0%	100.0%	
大学・大学院卒	2	74	25	2	103	2	74	25	101	$p = .0120$	74	27	101	$p = .0025$
	1.9%	71.8%	24.3%	1.9%	100.0%	2.0%	73.3%	24.8%	100.0%		73.3%	26.7%	100.0%	
計	13	197	108	4	322	13	197	108	318		197	121	318	
	4.0%	61.2%	33.5%	1.2%	100.0%	4.1%	61.9%	34.0%	100.0%		61.9%	38.1%	100.0%	
最後に卒業した学校 40-50代														
中学校卒	1	9	10	1	21	1	9	10	20		9	11	20	
	4.8%	42.9%	47.6%	4.8%	100.0%	5.0%	45.0%	50.0%	100.0%		45.0%	55.0%	100.0%	
高校卒	5	103	70	2	180	5	103	70	178		103	75	178	
	2.8%	57.2%	38.9%	1.1%	100.0%	2.8%	57.9%	39.3%	100.0%		57.9%	42.1%	100.0%	
専門・専修学校卒	2	39	20	1	62	2	39	20	61		39	22	61	
	3.2%	62.9%	32.3%	1.6%	100.0%	3.3%	63.9%	32.8%	100.0%		63.9%	36.1%	100.0%	
短大・高専卒	0	43	15	0	58	0	43	15	58	$\chi^2 = 14.25$	43	15	58	$\chi^2 = 11.48$
	0.0%	74.1%	25.9%	0.0%	100.0%	0.0%	74.1%	25.9%	100.0%		74.1%	25.9%	100.0%	
大学・大学院卒	5	85	29	0	119	5	85	29	119	$p = .0754$	85	34	119	$p = .0217$
	4.2%	71.4%	24.4%	0.0%	100.0%	4.2%	71.4%	24.4%	100.0%		71.4%	28.6%	100.0%	
計	13	279	144	4	440	13	279	144	436		279	157	436	
	3.0%	63.4%	32.7%	0.9%	100.0%	3.0%	64.0%	33.0%	100.0%		64.0%	36.0%	100.0%	
最後に卒業した学校 60-70代														
中学校卒	3	41	59	6	109	3	41	59	103		41	62	103	
	2.8%	37.6%	54.1%	5.5%	100.0%	2.9%	39.8%	57.3%	100.0%		39.8%	60.2%	100.0%	
高校卒	6	91	105	9	211	6	91	105	202		91	111	202	
	2.8%	43.1%	49.8%	4.3%	100.0%	3.0%	45.0%	52.0%	100.0%		45.0%	55.0%	100.0%	
専門・専修学校卒	0	12	9	1	22	0	12	9	21		12	9	21	
	0.0%	54.5%	40.9%	4.5%	100.0%	0.0%	57.1%	42.9%	100.0%		57.1%	42.9%	100.0%	
短大・高専卒	1	14	8	1	24	1	14	8	23	$\chi^2 = 13.09$	14	9	23	$\chi^2 = 11.42$
	4.2%	58.3%	33.3%	4.2%	100.0%	4.3%	60.9%	34.8%	100.0%		60.9%	39.1%	100.0%	
大学・大学院卒	3	48	27	2	80	3	48	27	78	$p = .1087$	48	30	78	$p = .0222$
	3.8%	60.0%	33.8%	2.5%	100.0%	3.8%	61.5%	34.6%	100.0%		61.5%	38.5%	100.0%	
計	13	206	208	19	446	13	206	208	427		206	221	427	
	2.9%	46.2%	46.6%	4.3%	100.0%	3.0%	48.2%	48.7%	100.0%		48.2%	51.8%	100.0%	

(イ)「日本では、戸籍上の性別を変えることができる」(○は1つ)

(イ)					(イ)				(イ)					
正しい	正しくない	わからない	無回答	計	正しい	正しくない	わからない	計	カイ二乗検定	正しい	正しくない	わからない	計	カイ二乗検定
最後に卒業した学校 20-30代														
中学校卒	2	1	6	0	9	2	1	6	9		2	7	9	
	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%	100.0%	22.2%	11.1%	66.7%	100.0%		22.2%	77.8%	100.0%	
高校卒	50	18	51	0	119	50	18	51	119		50	69	119	
	42.0%	15.1%	42.9%	0.0%	100.0%	42.0%	15.1%	42.9%	100.0%		42.0%	58.0%	100.0%	
専門・専修学校卒	22	8	23	0	53	22	8	23	53		22	31	53	
	41.5%	15.1%	43.4%	0.0%	100.0%	41.5%	15.1%	43.4%	100.0%		41.5%	58.5%	100.0%	
短大・高専卒	18	6	12	2	38	18	6	12	36	$\chi^2 = 7.58$	18	18	36	$\chi^2 = 4.17$
	47.4%	15.8%	31.6%	5.3%	100.0%	50.0%	16.7%	33.3%	100.0%		50.0%	50.0%	100.0%	
大学・大学院卒	51	19	31	2	103	51	19	31	101	$p = .4756$	51	50	101	$p = .3833$
	49.5%	18.4%	30.1%	1.9%	100.0%	50.5%	18.8%	30.7%	100.0%		50.5%	49.5%	100.0%	
計	143	52	123	4	322	143	52	123	318		143	175	318	
	44.4%	16.1%	38.2%	1.2%	100.0%	45.0%	16.4%	38.7%	100.0%		45.0%	55.0%	100.0%	
最後に卒業した学校 40-50代														
中学校卒	5	6	9	1	21	5	6	9	20		5	15	20	
	23.8%	28.6%	42.9%	4.8%	100.0%	25.0%	30.0%	45.0%	100.0%		25.0%	75.0%	100.0%	
高校卒	55	37	86	2	180	55	37	86	178		55	123	178	
	30.6%	20.6%	47.8%	1.1%	100.0%	30.9%	20.8%	48.3%	100.0%		30.9%	69.1%	100.0%	
専門・専修学校卒	26	13	22	1	62	26	13	22	61		26	35	61	
	41.9%	21.0%	35.5%	1.6%	100.0%	42.6%	21.3%	36.1%	100.0%		42.6%	57.4%	100.0%	
短大・高専卒	24	13	21	0	58	24	13	21	58	$\chi^2 = 9.19$	24	34	58	$\chi^2 = 4.80$
	41.4%	22.4%	36.2%	0.0%	100.0%	41.4%	22.4%	36.2%	100.0%		41.4%	58.6%	100.0%	
大学・大学院卒	42	34	43	0	119	42	34	43	119	$p = .3269$	42	77	119	$p = .3084$
	35.3%	28.6%	36.1%	0.0%	100.0%	35.3%	28.6%	36.1%	100.0%		35.3%	64.7%	100.0%	
計	152	103	181	4	440	152	103	181	436		152	284	436	
	34.5%	23.4%	41.1%	0.9%	100.0%	34.9%	23.6%	41.5%	100.0%		34.9%	65.1%	100.0%	
最後に卒業した学校 60-70代														
中学校卒	10	23	71	5	109	10	23	71	104		10	94	104	
	9.2%	21.1%	65.1%	4.6%	100.0%	9.6%	22.1%	68.3%	100.0%		9.6%	90.4%	100.0%	
高校卒	32	46	123	10	211	32	46	123	201		32	169	201	
	15.2%	21.8%	58.3%	4.7%	100.0%	15.9%	22.9%	61.2%	100.0%		15.9%	84.1%	100.0%	
専門・専修学校卒	6	5	10	1	22	6	5	10	21		6	15	21	
	27.3%	22.7%	45.5%	4.5%	100.0%	28.6%	23.8%	47.6%	100.0%		28.6%	71.4%	100.0%	
短大・高専卒	4	5	14	1	24	4	5	14	23	$\chi^2 = 14.61$	4	19	23	$\chi^2 = 12.89$
	16.7%	20.8%	58.3%	4.2%	100.0%	17.4%	21.7%	60.9%	100.0%		17.4%	82.6%	100.0%	
大学・大学院卒	22	19	37	2	80	22	19	37	78	$p = .0671$	22	56	78	$p = .0118$
	27.5%	23.8%	46.3%	2.5%	100.0%	28.2%	24.4%	47.4%	100.0%		28.2%	71.8%	100.0%	
計	74	98	255	19	446	74	98	255	427		74	353	427	
	16.6%	22.0%	57.2%	4.3%	100.0%	17.3%	23.0%	59.7%	100.0%		17.3%	82.7%	100.0%	

問2 2 次のア〜クについてのあなたのお考えをおたずねします。

(ア) 同性愛は思春期の一時的なものである

	ア						イ						ロ							
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計		
性別																				
男性	18	40	145	350	32	585	18	40	145	350	553	553	58	495	553	553				
	3.1%	6.8%	24.8%	59.8%	5.5%	100.0%	3.3%	7.2%	26.2%	63.3%	100.0%	100.0%	10.5%	89.5%	100.0%	100.0%			$\chi^2 = 0.13$	
女性	14	46	181	379	54	674	14	46	181	379	620	620	60	560	620	620				$\chi^2 = 7.161$
	2.1%	6.8%	26.9%	56.2%	8.0%	100.0%	2.3%	7.4%	29.2%	61.1%	100.0%	100.0%	9.7%	90.3%	100.0%	100.0%				
年代																				
20-30代	3	13	108	202	9	335	3	13	108	202	326	326	16	310	326	326				
	0.9%	3.9%	32.2%	60.3%	2.7%	100.0%	0.9%	4.0%	33.1%	62.0%	100.0%	100.0%	4.9%	95.1%	100.0%	100.0%				
40-50代	8	22	135	274	17	456	8	22	135	274	439	439	30	409	439	439				
	1.8%	4.8%	29.6%	60.1%	3.7%	100.0%	1.8%	5.0%	30.8%	62.4%	100.0%	100.0%	6.8%	93.2%	100.0%	100.0%				$\chi^2 = 40.57$
60-70代	21	51	83	253	60	468	21	51	83	253	408	408	72	336	408	408				
	4.5%	10.9%	17.7%	54.1%	12.8%	100.0%	5.1%	12.5%	20.3%	62.0%	100.0%	100.0%	17.6%	82.4%	100.0%	100.0%				$p < .0001$
計	32	86	326	729	86	1,259	32	86	326	729	1,173	1,173	118	1,055	1,173	1,173				
	2.5%	6.8%	25.9%	57.9%	6.8%	100.0%	2.7%	7.3%	27.8%	62.1%	100.0%	100.0%	10.1%	89.9%	100.0%	100.0%				

(イ) 同性愛は、生まれつきのものである

	イ						ロ						ハ								
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計			
性別																					
男性	77	167	125	185	31	585	77	167	125	185	554	554	244	310	554	554					
	13.2%	28.5%	21.4%	31.6%	5.3%	100.0%	13.9%	30.1%	22.6%	33.4%	100.0%	100.0%	44.0%	56.0%	100.0%	100.0%				$\chi^2 = 16.43$	
女性	120	226	135	136	57	674	120	226	135	136	617	617	346	271	617	617					$p < .0001$
	17.8%	33.5%	20.0%	20.2%	8.5%	100.0%	19.4%	36.6%	21.9%	22.0%	100.0%	100.0%	56.1%	43.9%	100.0%	100.0%					
年代																					
20-30代	55	104	96	70	10	335	55	104	96	70	325	325	159	166	325	325					
	16.4%	31.0%	28.7%	20.9%	3.0%	100.0%	16.9%	32.0%	29.5%	21.5%	100.0%	100.0%	48.9%	51.1%	100.0%	100.0%					
40-50代	74	168	88	108	18	456	74	168	88	108	438	438	242	196	438	438					
	16.2%	36.8%	19.3%	23.7%	3.9%	100.0%	16.9%	38.4%	20.1%	24.7%	100.0%	100.0%	55.3%	44.7%	100.0%	100.0%					$\chi^2 = 7.12$
60-70代	68	121	76	143	60	468	68	121	76	143	408	408	189	219	408	408					
	14.5%	25.9%	16.2%	30.6%	12.8%	100.0%	16.7%	29.7%	18.6%	35.0%	100.0%	100.0%	46.3%	53.7%	100.0%	100.0%					$p = .0285$
計	197	393	260	321	88	1,259	197	393	260	321	1,171	1,171	590	581	1,171	1,171					
	15.6%	31.2%	20.7%	25.5%	7.0%	100.0%	16.8%	33.6%	22.2%	27.4%	100.0%	100.0%	50.4%	49.6%	100.0%	100.0%					

(ロ) 同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある

	ロ						ハ						ニ									
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計				
性別																						
男性	39	160	166	192	28	585	39	160	166	192	557	557	199	358	557	557						
	6.7%	27.4%	28.4%	32.8%	4.8%	100.0%	7.0%	28.7%	29.8%	34.5%	100.0%	100.0%	35.7%	64.3%	100.0%	100.0%					$\chi^2 = 43.46$	
女性	24	90	191	311	58	674	24	90	191	311	616	616	114	502	616	616						$p < .0001$
	3.6%	13.4%	28.3%	46.1%	8.6%	100.0%	3.9%	14.6%	31.0%	50.5%	100.0%	100.0%	18.5%	81.5%	100.0%	100.0%						
年代																						
20-30代	12	65	109	139	10	335	12	65	109	139	325	325	77	248	325	325						
	3.6%	19.4%	32.5%	41.5%	3.0%	100.0%	3.7%	20.0%	33.5%	42.8%	100.0%	100.0%	23.7%	76.3%	100.0%	100.0%						
40-50代	15	89	148	186	18	456	15	89	148	186	438	438	104	334	438	438						
	3.3%	19.5%	32.5%	40.8%	3.9%	100.0%	3.4%	20.3%	33.8%	42.5%	100.0%	100.0%	23.7%	76.3%	100.0%	100.0%					$\chi^2 = 9.79$	
60-70代	36	96	100	178	58	468	36	96	100	178	410	410	132	278	410	410						
	7.7%	20.5%	21.4%	38.0%	12.4%	100.0%	8.8%	23.4%	24.4%	43.4%	100.0%	100.0%	32.2%	67.8%	100.0%	100.0%					$p = .0075$	
計	63	250	357	503	86	1,259	63	250	357	503	1,173	1,173	313	860	1,173	1,173						
	5.0%	19.9%	28.4%	40.0%	6.8%	100.0%	5.4%	21.3%	30.4%	42.9%	100.0%	100.0%	26.7%	73.3%	100.0%	100.0%						

(ハ) 性同一性障害と同性愛は同じである

	ハ						ニ						ホ									
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計				
性別																						
男性	25	76	175	273	36	585	25	76	175	273	549	549	101	448	549	549						
	4.3%	13.0%	29.9%	46.7%	6.2%	100.0%	4.6%	13.8%	31.9%	49.7%	100.0%	100.0%	18.4%	81.6%	100.0%	100.0%					$\chi^2 = 0.00$	
女性	18	96	194	302	64	674	18	96	194	302	610	610	114	496	610	610						$p = .9587$
	2.7%	14.2%	28.8%	44.8%	9.5%	100.0%	3.0%	15.7%	31.8%	49.5%	100.0%	100.0%	18.7%	81.3%	100.0%	100.0%						
年代																						
20-30代	9	42	117	156	11	335	9	42	117	156	324	324	51	273	324	324						
	2.7%	12.5%	34.9%	46.6%	3.3%	100.0%	2.8%	13.0%	36.1%	48.1%	100.0%	100.0%	15.7%	84.3%	100.0%	100.0%						
40-50代	13	62	149	216	16	456	13	62	149	216	440	440	75	365	440	440						
	2.9%	13.6%	32.7%	47.4%	3.5%	100.0%	3.0%	14.1%	33.9%	49.1%	100.0%	100.0%	17.0%	83.0%	100.0%	100.0%					$\chi^2 = 6.50$	
60-70代	21	68	103	203	73	468	21	68	103	203	395	395	89	306	395	395						
	4.5%	14.5%	22.0%	43.4%	15.6%	100.0%	5.3%	17.2%	26.1%	51.4%	100.0%	100.0%	22.5%	77.5%	100.0%	100.0%					$p = .0388$	
計	43	172	369	575	100	1,259	43	172	369	575	1,159	1,159	215	944	1,159	1,159						
	3.4%	13.7%	29.3%	45.7%	7.9%	100.0%	3.7%	14.8%	31.8%	49.6%	100.0%	100.0%	18.6%	81.4%	100.0%	100.0%						

問2 2 次のア〜クについてのあなたのお考えをおたずねします。

(ア) 同性愛は思春期の一時的なものである

最後に卒業した学校	ア					イ					カイ二乗検定			
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定	
中学校卒	9	13	26	72	19	139	9	13	26	72	120	22	98	120
	6.5%	9.4%	18.7%	51.8%	13.7%	100.0%	7.5%	10.8%	21.7%	60.0%	100.0%	18.3%	81.7%	100.0%
高校卒	8	39	141	289	33	510	8	39	141	289	477	47	430	477
	1.6%	7.6%	27.6%	56.7%	6.5%	100.0%	1.7%	8.2%	29.6%	60.6%	100.0%	9.9%	90.1%	100.0%
専門・専修学校卒	7	8	38	79	5	137	7	8	38	79	132	15	117	132
	5.1%	5.8%	27.7%	57.7%	3.6%	100.0%	5.3%	6.1%	28.8%	59.8%	100.0%	11.4%	88.6%	100.0%
短大・高専卒	1	7	24	82	6	120	1	7	24	82	114	8	106	114
	0.8%	5.8%	20.0%	68.3%	5.0%	100.0%	0.9%	6.1%	21.1%	71.9%	100.0%	7.0%	93.0%	100.0%
大学・大学院卒	4	14	90	187	7	302	4	14	90	187	295	18	277	295
	1.3%	4.6%	29.8%	61.9%	2.3%	100.0%	1.4%	4.7%	30.5%	63.4%	100.0%	6.1%	93.9%	100.0%
計	29	81	319	709	70	1,208	29	81	319	709	1,138	110	1,028	1,138
	2.4%	6.7%	26.4%	58.7%	5.8%	100.0%	2.5%	7.1%	28.0%	62.3%	100.0%	9.7%	90.3%	100.0%

(イ) 同性愛は、生まれつきのものである

最後に卒業した学校	イ					ロ					カイ二乗検定			
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定	
中学校卒	18	28	24	52	17	139	18	28	24	52	122	46	76	122
	12.9%	20.1%	17.3%	37.4%	12.2%	100.0%	14.8%	23.0%	19.7%	42.6%	100.0%	37.7%	62.3%	100.0%
高校卒	83	159	103	133	32	510	83	159	103	133	478	242	236	478
	16.3%	31.2%	20.2%	26.1%	6.3%	100.0%	17.4%	33.3%	21.5%	27.8%	100.0%	50.6%	49.4%	100.0%
専門・専修学校卒	25	48	25	32	7	137	25	48	25	32	130	73	57	130
	18.2%	35.0%	18.2%	23.4%	5.1%	100.0%	19.2%	36.9%	19.2%	24.6%	100.0%	56.2%	43.8%	100.0%
短大・高専卒	25	39	27	23	6	120	25	39	27	23	114	64	50	114
	20.8%	32.5%	22.5%	19.2%	5.0%	100.0%	21.9%	34.2%	23.7%	20.2%	100.0%	56.1%	43.9%	100.0%
大学・大学院卒	41	108	72	73	8	302	41	108	72	73	294	149	145	294
	13.6%	35.8%	23.8%	24.2%	2.6%	100.0%	13.9%	36.7%	24.5%	24.8%	100.0%	50.7%	49.3%	100.0%
計	192	382	251	313	70	1,208	192	382	251	313	1,138	574	564	1,138
	15.9%	31.6%	20.8%	25.9%	5.8%	100.0%	16.9%	33.6%	22.1%	27.5%	100.0%	50.4%	49.6%	100.0%

(ロ) 同性愛者になるのは、育てられ方の影響がある

最後に卒業した学校	ロ					ハ					カイ二乗検定			
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定	
中学校卒	11	21	25	63	19	139	11	21	25	63	120	32	88	120
	7.9%	15.1%	18.0%	45.3%	13.7%	100.0%	9.2%	17.5%	20.8%	52.5%	100.0%	26.7%	73.3%	100.0%
高校卒	30	113	139	198	30	510	30	113	139	198	480	143	337	480
	5.9%	22.2%	27.3%	38.8%	5.9%	100.0%	6.3%	23.5%	29.0%	41.3%	100.0%	29.8%	70.2%	100.0%
専門・専修学校卒	12	26	37	56	6	137	12	26	37	56	131	38	93	131
	8.8%	19.0%	27.0%	40.9%	4.4%	100.0%	9.2%	19.8%	28.2%	42.7%	100.0%	29.0%	71.0%	100.0%
短大・高専卒	2	14	36	62	6	120	2	14	36	62	114	16	98	114
	1.7%	11.7%	30.0%	51.7%	5.0%	100.0%	1.8%	12.3%	31.6%	54.4%	100.0%	14.0%	86.0%	100.0%
大学・大学院卒	8	66	111	109	8	302	8	66	111	109	294	74	220	294
	2.6%	21.9%	36.8%	36.1%	2.6%	100.0%	2.7%	22.4%	37.8%	37.1%	100.0%	25.2%	74.8%	100.0%
計	63	240	348	488	69	1,208	63	240	348	488	1,139	303	836	1,139
	5.2%	19.9%	28.8%	40.4%	5.7%	100.0%	5.5%	21.1%	30.6%	42.8%	100.0%	26.6%	73.4%	100.0%

(ハ) 性同一性障害と同性愛は同じである

最後に卒業した学校	ハ					ニ					カイ二乗検定			
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定	
中学校卒	10	20	34	49	26	139	10	20	34	49	113	30	83	113
	7.2%	14.4%	24.5%	35.3%	18.7%	100.0%	8.8%	17.7%	30.1%	43.4%	100.0%	26.5%	73.5%	100.0%
高校卒	17	79	139	242	33	510	17	79	139	242	477	96	381	477
	3.3%	15.5%	27.3%	47.5%	6.5%	100.0%	3.6%	16.6%	29.1%	50.7%	100.0%	20.1%	79.9%	100.0%
専門・専修学校卒	5	16	50	59	7	137	5	16	50	59	130	21	109	130
	3.6%	11.7%	36.5%	43.1%	5.1%	100.0%	3.8%	12.3%	38.5%	45.4%	100.0%	16.2%	83.8%	100.0%
短大・高専卒	0	20	35	58	7	120	0	20	35	58	113	20	93	113
	0.0%	16.7%	29.2%	48.3%	5.8%	100.0%	0.0%	17.7%	31.0%	51.3%	100.0%	17.7%	82.3%	100.0%
大学・大学院卒	9	32	98	155	8	302	9	32	98	155	294	41	253	294
	3.0%	10.6%	32.5%	51.3%	2.6%	100.0%	3.1%	10.9%	33.3%	52.7%	100.0%	13.9%	86.1%	100.0%
計	41	167	356	563	81	1,208	41	167	356	563	1,127	208	919	1,127
	3.4%	13.8%	29.5%	46.6%	6.7%	100.0%	3.6%	14.8%	31.6%	50.0%	100.0%	18.5%	81.5%	100.0%

問14 あなたは、テレビ、新聞、書籍、雑誌、ラジオ、マンガ、インターネットなどで、同性愛、性別を変えた人、性同一性障害などが扱われているのを見聞したり読んだりしたことがありますか。(〇は1つ)

	ある	ない	無回答	計	ある	ない	計	カイ二乗検定
性別								
男性	497 85.0%	73 12.5%	15 2.6%	585 100.0%	497 87.2%	73 12.8%	570 100.0%	$\chi^2 = 4.54$
女性	605 89.8%	59 8.8%	10 1.5%	674 100.0%	605 91.1%	59 8.9%	664 100.0%	$p = .0332$
年代								
20-30代	309 92.2%	24 7.2%	2 0.6%	335 100.0%	309 92.8%	24 7.2%	333 100.0%	
40-50代	412 90.4%	37 8.1%	7 1.5%	456 100.0%	412 91.8%	37 8.2%	449 100.0%	$\chi^2 = 18.96$
60-70代	381 81.4%	71 15.2%	16 3.4%	468 100.0%	381 84.3%	71 15.7%	452 100.0%	$p < .0001$
計	1,102 87.5%	132 10.5%	25 2.0%	1,259 100.0%	1,102 89.3%	132 10.7%	1,234 100.0%	

問16 そこで見聞きしたり読んだりしたのは、どのような人・事ですか。(〇はい/つでも)

1. 男性の同性愛						見聞きなし ^a	見聞きあり	計 ^b	カイ二乗検定
性別	いいえ	はい	非該当	無回答	計				
男性	139 23.8%	353 60.3%	88 15.0%	5 0.9%	585 100.0%	212 37.5%	353 62.5%	565 100.0%	$\chi^2 = 9.55$
女性	132 19.6%	467 69.3%	69 10.2%	6 0.9%	674 100.0%	191 29.0%	467 71.0%	658 100.0%	$p = .0020$
年代									
20-30代	70 20.9%	238 71.0%	26 7.8%	1 0.3%	335 100.0%	94 28.3%	238 71.7%	332 100.0%	
40-50代	97 21.3%	314 68.9%	44 9.6%	1 0.2%	456 100.0%	134 29.9%	314 70.1%	448 100.0%	$\chi^2 = 13.72$
60-70代	104 22.2%	268 57.3%	87 18.6%	9 1.9%	468 100.0%	175 39.5%	268 60.5%	443 100.0%	$p = .0011$
計	271 21.5%	820 65.1%	157 12.5%	11 0.9%	1,259 100.0%	403 33.0%	820 67.0%	1,223 100.0%	
2. 女性の同性愛						見聞きなし	見聞きあり	計	カイ二乗検定
性別	いいえ	はい	非該当	無回答	計				
男性	158 27.0%	334 57.1%	88 15.0%	5 0.9%	585 100.0%	231 40.9%	334 59.1%	565 100.0%	$\chi^2 = 0.75$
女性	193 28.6%	406 60.2%	69 10.2%	6 0.9%	674 100.0%	252 38.3%	406 61.7%	658 100.0%	$p = .3876$
年代									
20-30代	88 26.3%	220 65.7%	26 7.8%	1 0.3%	335 100.0%	112 33.7%	220 66.3%	332 100.0%	
40-50代	117 25.7%	294 64.5%	44 9.6%	1 0.2%	456 100.0%	154 34.4%	294 65.6%	448 100.0%	$\chi^2 = 26.22$
60-70代	146 31.2%	226 48.3%	87 18.6%	9 1.9%	468 100.0%	217 49.0%	226 51.0%	443 100.0%	$p < .0001$
計	351 27.9%	740 58.8%	157 12.5%	11 0.9%	1,259 100.0%	483 39.5%	740 60.5%	1,223 100.0%	
3. 男性から女性に変わった人・性同一性障害など						見聞きなし	見聞きあり	計	カイ二乗検定
性別	いいえ	はい	非該当	無回答	計				
男性	52 8.9%	440 75.2%	88 15.0%	5 0.9%	585 100.0%	125 22.1%	440 77.9%	565 100.0%	$\chi^2 = 0.89$
女性	71 10.5%	528 78.3%	69 10.2%	6 0.9%	674 100.0%	130 19.8%	528 80.2%	658 100.0%	$p = .3445$
年代									
20-30代	45 13.4%	263 78.5%	26 7.8%	1 0.3%	335 100.0%	69 20.8%	263 79.2%	332 100.0%	
40-50代	33 7.2%	378 82.9%	44 9.6%	1 0.2%	456 100.0%	70 15.6%	378 84.4%	448 100.0%	$\chi^2 = 15.05$
60-70代	45 9.6%	327 69.9%	87 18.6%	9 1.9%	468 100.0%	116 26.2%	327 73.8%	443 100.0%	$p = .0005$
計	123 9.8%	968 76.9%	157 12.5%	11 0.9%	1,259 100.0%	255 20.9%	968 79.1%	1,223 100.0%	
4. 女性から男性に変わった人・性同一性障害など						見聞きなし	見聞きあり	計	カイ二乗検定
性別	いいえ	はい	非該当	無回答	計				
男性	131 22.4%	361 61.7%	88 15.0%	5 0.9%	585 100.0%	204 36.1%	361 63.9%	565 100.0%	$\chi^2 = 6.35$
女性	133 19.7%	466 69.1%	69 10.2%	6 0.9%	674 100.0%	192 29.2%	466 70.8%	658 100.0%	$p = .0117$
年代									
20-30代	55 16.4%	253 75.5%	26 7.8%	1 0.3%	335 100.0%	79 23.8%	253 76.2%	332 100.0%	
40-50代	70 15.4%	341 74.8%	44 9.6%	1 0.2%	456 100.0%	107 23.9%	341 76.1%	448 100.0%	$\chi^2 = 71.61$
60-70代	139 29.7%	233 49.8%	87 18.6%	9 1.9%	468 100.0%	210 47.4%	233 52.6%	443 100.0%	$p < .0001$
計	264 21.0%	827 65.7%	157 12.5%	11 0.9%	1,259 100.0%	396 32.4%	827 67.6%	1,223 100.0%	

a. 見聞きなし：選択なし・問14で見聞き経験なし

b. 計：問14の無回答25人と、問15の無回答11人を除く

問14 あなたは、テレビ、新聞、書籍、雑誌、ラジオ、マンガ、インターネットなどで、同性愛、性別を変えた人、性同一性障害などが扱われているのを見聞したり読んだりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

【問14で「1」と答えた方に】

問15 それほどのようなものですか。次の中からあてはまるものはいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

		各メディアで見聞した 人の数と割合(a)	カイ二乗検定	各メディアをふだんから 利用する人数(b)	(b)のうち、そのメディアで セクマイを見聞した 人の数と割合	カイ二乗検定
全体						
テレビ (報道・教養番組)		913 74.0%		1,092	852 78.0%	
テレビ (娯楽番組)		607 49.2%		915	519 56.7%	
テレビドラマ・映画		510 41.3%		812	413 50.9%	
新聞・書籍		498 40.4%		863	453 52.5%	
雑誌		362 29.3%		507	244 48.1%	
ラジオ		108 8.8%		392	96 24.5%	
女性向けマンガ・コミック		99 8.0%		89	49 55.1%	
男性向けマンガ・コミック		72 5.8%		159	45 28.3%	
インターネット (メール・ウェブ)		280 22.7%		782	271 34.7%	
インターネット (SNS)		85 6.9%		447	82 18.3%	
性別						
テレビ (報道・教養番組)	男性	411 72.1%	$\chi^2 = 1.77$ p = .1832	503	383 76.1%	$\chi^2 = 1.72$ p = .1894
	女性	502 75.6%		589	469 79.6%	
テレビ (娯楽番組)	男性	268 47.0%	$\chi^2 = 1.84$ p = .1748	403	215 53.3%	$\chi^2 = 3.09$ p = .0786
	女性	339 51.1%		512	304 59.4%	
テレビドラマ・映画	男性	231 40.5%	$\chi^2 = 0.22$ p = .6365	342	180 52.6%	$\chi^2 = 0.62$ p = .4299
	女性	279 42.0%		470	233 49.6%	
新聞・書籍	男性	248 43.5%	$\chi^2 = 4.13$ p = .0421	404	230 56.9%	$\chi^2 = 5.67$ p = .0172
	女性	250 37.7%		459	223 48.6%	
雑誌	男性	181 31.8%	$\chi^2 = 2.78$ p = .0956	217	120 55.3%	$\chi^2 = 7.33$ p = .0068
	女性	181 27.3%		290	124 42.8%	
ラジオ	男性	68 11.9%	$\chi^2 = 12.67$ p = .0004	209	58 27.8%	$\chi^2 = 2.21$ p = .1370
	女性	40 6.0%		183	38 20.8%	
女性向けマンガ・コミック	男性	25 4.4%	$\chi^2 = 18.08$ p < .0001	15	9 60.0%	$\chi^2 = 0.02$ p = .8906
	女性	74 11.1%		74	40 54.1%	
男性向けマンガ・コミック	男性	57 10.0%	$\chi^2 = 32.06$ p < .0001	106	34 32.1%	$\chi^2 = 1.71$ p = .1912
	女性	15 2.3%		53	11 20.8%	
インターネット (メール・ウェブ)	男性	169 29.6%	$\chi^2 = 28.51$ p < .0001	375	163 43.5%	$\chi^2 = 23.96$ p < .0001
	女性	111 16.7%		407	108 26.5%	
インターネット (SNS)	男性	45 7.9%	$\chi^2 = 1.39$ p = .2377	178	44 24.7%	$\chi^2 = 7.33$ p = .0068
	女性	40 6.0%		269	38 14.1%	

(a) : 1,259人から問14に無回答の25人を除いた1,234人に対する割合。問14に「ない」と回答した人は各メディアで「見ていない」として扱っている

(b) : 別途たずねた「ふだんから利用するメディア」についての問い (問7) で「利用する」と答えた人

問14 あなたは、テレビ、新聞、書籍、雑誌、ラジオ、マンガ、インターネットなどで、同性愛、性別を変えた人、性同一性障害などが扱われているのを見聞したり読んだりしたことがありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

【問14で「1」と答えた方に】

問15 それほどのようなものですか。次の中からあてはまるものはいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

年代	各メディアで見聞した人の数と割合(a)	カイ二乗検定	各メディアをふだんから利用する人数(b)		カイ二乗検定
			(b)のうち、そのメディアでセクマイを見聞した人の数と割合		
テレビ (報道・教養番組)	20-30代	241 72.4%	268	211 78.7%	$\chi^2 = 15.74$ p = .0002
	40-50代	362 80.6%	412	344 83.5%	
	60-70代	310 68.6%	412	297 72.1%	
テレビ (娯楽番組)	20-30代	157 47.1%	250	134 53.6%	$\chi^2 = 5.29$ p = .0710
	40-50代	244 54.3%	353	217 61.5%	
	60-70代	206 45.6%	312	168 53.8%	
テレビドラマ・映画	20-30代	150 45.0%	205	111 54.1%	$\chi^2 = 1.32$ p = .5162
	40-50代	194 43.2%	321	162 50.5%	
	60-70代	166 36.7%	286	140 49.0%	
新聞・書籍	20-30代	76 22.8%	134	59 44.0%	$\chi^2 = 4.88$ p = .0872
	40-50代	199 44.3%	342	181 52.9%	
	60-70代	223 49.3%	387	213 55.0%	
雑誌	20-30代	59 17.7%	135	41 30.4%	$\chi^2 = 32.65$ p < .0001
	40-50代	130 29.0%	192	90 46.9%	
	60-70代	173 38.3%	180	113 62.8%	
ラジオ	20-30代	18 5.4%	71	16 22.5%	$\chi^2 = 0.97$ p = .6156
	40-50代	35 7.8%	138	31 22.5%	
	60-70代	55 12.2%	183	49 26.8%	
女性向けマンガ・コミック	20-30代	56 16.8%	51	29 56.9%	$\chi^2 = 0.49$ p = .7832
	40-50代	33 7.3%	31	17 54.8%	
	60-70代	10 2.2%	7	3 42.9%	
男性向けマンガ・コミック	20-30代	39 11.7%	104	27 26.0%	$\chi^2 = 0.81$ p = .6655
	40-50代	22 4.9%	43	14 32.6%	
	60-70代	11 2.4%	12	4 33.3%	
インターネット (メール・ウェブ)	20-30代	120 36.0%	288	116 40.3%	$\chi^2 = 10.9$ p = .0043
	40-50代	121 26.9%	343	118 34.4%	
	60-70代	39 8.6%	151	37 24.5%	
インターネット (SNS)	20-30代	50 15.0%	251	49 19.5%	$\chi^2 = 1.18$ p = .5549
	40-50代	28 6.2%	164	26 15.9%	
	60-70代	7 1.5%	32	7 21.9%	

(a) : 1,259人から問14に無回答の25人を除いた1,234人に対する割合。問14に「ない」と回答した人は各メディアで「見ていない」として扱っている
 (b) : 別途たずねた「ふだんから利用するメディア」についての問い(問7)で「利用する」と答えた人

問18 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に同性愛者はいますか。（○は1つ）

	現在過去を問わず						近しい友人						カイ二乗検定
	いる	そうかも しれない 人	いないと 思う	いない	無回答	計	いる	そうかも しれない 人	いないと 思う	いない	計	カイ二乗検定	
性別													
男性	28 4.8%	23 3.9%	228 39.0%	286 48.9%	20 3.4%	585 100.0%	28 5.0%	23 4.1%	228 40.4%	286 50.6%	565 100.0%	$\chi^2 = 15.77$	
女性	39 5.8%	30 4.5%	195 28.9%	396 58.8%	14 2.1%	674 100.0%	39 5.9%	30 4.5%	195 29.5%	396 60.0%	660 100.0%	$p = .0013$	
年代													
20代	20 14.2%	12 8.5%	56 39.7%	52 36.9%	1 0.7%	141 100.0%	20 14.3%	12 8.6%	56 40.0%	52 37.1%	140 100.0%		
30代	20 10.3%	13 6.7%	72 37.1%	84 43.3%	5 2.6%	194 100.0%	20 10.6%	13 6.9%	72 38.1%	84 44.4%	189 100.0%		
40代	14 5.9%	14 5.9%	93 39.2%	113 47.7%	3 1.3%	237 100.0%	14 6.0%	14 6.0%	93 39.7%	113 48.3%	234 100.0%		
50代	2 0.9%	7 3.2%	96 43.8%	109 49.8%	5 2.3%	219 100.0%	2 0.9%	7 3.3%	96 44.9%	109 50.9%	214 100.0%		
60代	9 3.3%	6 2.2%	75 27.4%	174 63.5%	10 3.6%	274 100.0%	9 3.4%	6 2.3%	75 28.4%	174 65.9%	264 100.0%	$\chi^2 = 137.98$	
70代	2 1.0%	1 0.5%	31 16.0%	150 77.3%	10 5.2%	194 100.0%	2 1.1%	1 0.5%	31 16.8%	150 81.5%	184 100.0%	$p < .0001$	
計	67 5.3%	53 4.2%	423 33.6%	682 54.2%	34 2.7%	1,259 100.0%	67 5.5%	53 4.3%	423 34.5%	682 55.7%	1,225 100.0%		

問19 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。（○は1つ）

	現在過去を問わず						近しい友人						カイ二乗検定
	いる	そうかも しれない 人	いないと 思う	いない	無回答	計	いる	そうかも しれない 人	いないと 思う	いない	計	カイ二乗検定	
性別													
男性	7 1.2%	8 1.4%	184 31.5%	368 62.9%	18 3.1%	585 100.0%	7 1.2%	8 1.4%	184 32.5%	368 64.9%	567 100.0%	$\chi^2 = 8.89$	
女性	16 2.4%	9 1.3%	168 24.9%	465 69.0%	16 2.4%	674 100.0%	16 2.4%	9 1.4%	168 25.5%	465 70.7%	658 100.0%	$p = .0308$	
年代													
20代	7 5.0%	3 2.1%	56 39.7%	74 52.5%	1 0.7%	141 100.0%	7 5.0%	3 2.1%	56 40.0%	74 52.9%	140 100.0%		
30代	9 4.6%	6 3.1%	61 31.4%	113 58.2%	5 2.6%	194 100.0%	9 4.8%	6 3.2%	61 32.3%	113 59.8%	189 100.0%		
40代	2 0.8%	3 1.3%	79 33.3%	151 63.7%	2 0.8%	237 100.0%	2 0.9%	3 1.3%	79 33.6%	151 64.3%	235 100.0%		
50代	3 1.4%	4 1.8%	76 34.7%	132 60.3%	4 1.8%	219 100.0%	3 1.4%	4 1.9%	76 35.3%	132 61.4%	215 100.0%		
60代	0 0.0%	1 0.4%	59 21.5%	205 74.8%	9 3.3%	274 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	59 22.3%	205 77.4%	265 100.0%	$\chi^2 = 88.89$	
70代	2 1.0%	0 0.0%	21 10.8%	158 81.4%	13 6.7%	194 100.0%	2 1.1%	0 0.0%	21 11.6%	158 87.3%	181 100.0%	$p < .0001$	
計	23 1.8%	17 1.4%	352 28.0%	833 66.2%	34 2.7%	1,259 100.0%	23 1.9%	17 1.4%	352 28.7%	833 68.0%	1,225 100.0%		

問18 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に同性愛者はいますか。（○は1つ）

問19 職場の同僚（現在過去を問わず）や、近しい友人、親せきや家族に性別を変えた、あるいはそうしようと考えている人はいますか。（○は1つ）

	問18				計	問19				カイ二乗検定
	周りに いない a	わから ない b	いる c	無回答 d		周りに いない e	わから ない f	いる g	計	
性別										
男性	276 47.2%	263 45.0%	31 5.3%	15 2.6%	585 100.0%	276 48.4%	263 51.6%	31 5.4%	570 100.0%	$\chi^2 = 14.60$
女性	380 56.4%	234 34.7%	46 6.8%	14 2.1%	674 100.0%	380 57.6%	234 35.5%	46 7.0%	660 100.0%	$p = .0007$
年代										
20代	46 32.6%	73 51.8%	21 14.9%	1 0.7%	141 100.0%	46 32.9%	73 52.1%	21 15.0%	140 100.0%	
30代	81 41.8%	86 44.3%	22 11.3%	5 2.6%	194 100.0%	81 42.9%	86 57.1%	22 11.6%	189 100.0%	
40代	111 46.8%	108 45.6%	16 6.8%	2 0.8%	237 100.0%	111 47.2%	108 52.8%	16 6.8%	235 100.0%	
50代	103 47.0%	107 48.9%	5 2.3%	4 1.8%	219 100.0%	103 47.9%	107 49.8%	5 2.3%	215 100.0%	
60代	168 61.3%	89 32.5%	9 3.3%	8 2.9%	274 100.0%	168 63.2%	89 36.8%	9 3.4%	266 100.0%	$\chi^2 = 123.78$
70代	147 75.8%	34 17.5%	4 2.1%	9 4.6%	194 100.0%	147 79.5%	38 20.5%	4 2.2%	185 100.0%	$p < .0001$
計	656 52.1%	497 39.5%	77 6.1%	29 2.3%	1,259 100.0%	656 53.3%	574 46.7%	77 6.3%	1,230 100.0%	

- a. 【周りにいない】：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても「いない」と回答した人（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- b. 【わからない】：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と答えている回答者等の人（aとc以外のすべての組み合わせ）
- c. 【いる】：同性愛者または性別を変えた人の少なくともどちらか一方が「いる」と答えた人
- d. 無回答：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても回答しなかった人

問29 次のア～コについてのあなたのお考えやお気持ちをおたずねします。

(ア) 街なかで男女が手をつないでいるのを見たら、気持ちが悪い

	ア						カ								
	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	
性別															
男性	8	23	114	419	21	585	8	23	114	419	21	564	31	533	564
	1.4%	3.9%	19.5%	71.6%	3.6%	100.0%	1.4%	4.1%	20.2%	74.3%	3.7%	100.0%	5.5%	94.5%	100.0%
女性	10	25	157	455	27	674	10	25	157	455	27	647	35	612	647
	1.5%	3.7%	23.3%	67.5%	4.0%	100.0%	1.5%	3.9%	24.3%	70.3%	4.3%	100.0%	5.4%	94.6%	100.0%
年代															
20-30代	3	11	52	262	7	335	3	11	52	262	7	328	14	314	328
	0.9%	3.3%	15.5%	78.2%	2.1%	100.0%	0.9%	3.4%	15.9%	79.9%	2.1%	100.0%	4.3%	95.7%	100.0%
40-50代	3	14	103	322	14	456	3	14	103	322	14	442	17	425	442
	0.7%	3.1%	22.6%	70.6%	3.1%	100.0%	0.7%	3.2%	23.3%	72.9%	3.1%	100.0%	3.8%	96.2%	100.0%
60-70代	12	23	116	290	27	468	12	23	116	290	27	441	35	406	441
	2.6%	4.9%	24.8%	62.0%	5.8%	100.0%	2.7%	5.2%	26.3%	65.8%	6.1%	100.0%	7.9%	92.1%	100.0%
計	18	48	271	874	48	1,259	18	48	271	874	48	1,211	66	1,145	1,211
	1.4%	3.8%	21.5%	69.4%	3.8%	100.0%	1.5%	4.0%	22.4%	72.2%	4.0%	100.0%	5.5%	94.5%	100.0%

(イ) 街なかで男性どうしが手をつないでいるのを見たら、気持ちが悪い

	ア						カ								
	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	
性別															
男性	183	234	88	56	24	585	183	234	88	56	24	561	417	144	561
	31.3%	40.0%	15.0%	9.6%	4.1%	100.0%	32.6%	41.7%	15.7%	10.0%	4.1%	100.0%	74.3%	25.7%	100.0%
女性	154	266	135	87	32	674	154	266	135	87	32	642	420	222	642
	22.8%	39.5%	20.0%	12.9%	4.7%	100.0%	24.0%	41.4%	21.0%	13.6%	4.9%	100.0%	65.4%	34.6%	100.0%
年代															
20-30代	58	133	81	55	8	335	58	133	81	55	8	327	191	136	327
	17.3%	39.7%	24.2%	16.4%	2.4%	100.0%	17.7%	40.7%	24.8%	16.8%	2.5%	100.0%	58.4%	41.6%	100.0%
40-50代	117	185	82	56	16	456	117	185	82	56	16	440	302	138	440
	25.7%	40.6%	18.0%	12.3%	3.5%	100.0%	26.6%	42.0%	18.6%	12.7%	3.6%	100.0%	68.6%	31.4%	100.0%
60-70代	162	182	60	32	32	468	162	182	60	32	32	436	344	92	436
	34.6%	38.9%	12.8%	6.8%	6.8%	100.0%	37.2%	41.7%	13.8%	7.3%	7.3%	100.0%	78.9%	21.1%	100.0%
計	337	500	223	143	56	1,259	337	500	223	143	56	1,203	837	366	1,203
	26.8%	39.7%	17.7%	11.4%	4.4%	100.0%	28.0%	41.6%	18.5%	11.9%	4.5%	100.0%	69.6%	30.4%	100.0%

(ウ) 街なかで女性どうしが手をつないでいるのを見たら、気持ちが悪い

	ア						カ								
	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	そう思う	そう思わない	どちらかわからない	どちらかともない	そう思わない	無回答	計	
性別															
男性	25	83	237	216	24	585	25	83	237	216	24	561	108	453	561
	4.3%	14.2%	40.5%	36.9%	4.1%	100.0%	4.5%	14.8%	42.2%	38.5%	4.1%	100.0%	19.3%	80.7%	100.0%
女性	22	106	274	238	34	674	22	106	274	238	34	640	128	512	640
	3.3%	15.7%	40.7%	35.3%	5.0%	100.0%	3.4%	16.6%	42.8%	37.2%	5.3%	100.0%	20.0%	80.0%	100.0%
年代															
20-30代	9	57	120	140	9	335	9	57	120	140	9	326	66	260	326
	2.7%	17.0%	35.8%	41.8%	2.7%	100.0%	2.8%	17.5%	36.8%	42.9%	2.8%	100.0%	20.2%	79.8%	100.0%
40-50代	19	68	202	151	16	456	19	68	202	151	16	440	87	353	440
	4.2%	14.9%	44.3%	33.1%	3.5%	100.0%	4.3%	15.5%	45.9%	34.3%	3.5%	100.0%	19.8%	80.2%	100.0%
60-70代	19	64	189	163	33	468	19	64	189	163	33	435	83	352	435
	4.1%	13.7%	40.4%	34.8%	7.1%	100.0%	4.4%	14.7%	43.4%	37.5%	7.9%	100.0%	19.1%	80.9%	100.0%
計	47	189	511	454	58	1,259	47	189	511	454	58	1,201	236	965	1,201
	3.7%	15.0%	40.6%	36.1%	4.6%	100.0%	3.9%	15.7%	42.5%	37.8%	4.8%	100.0%	19.7%	80.3%	100.0%

本文では、(ア)～(ウ) (手つなぎ)の設問に対する回答のうち「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を【気持ち悪い】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【気持ち悪くない】として表記している。

問29 次のア～コについてのあなたのお考えやお気持ちをおたずねします。

(工) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい

	ア						イ						計			カイ二乗検定	
	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定			
性別																	
男性	123	200	142	99	21	585	123	200	142	99	564	21.8%	35.5%	25.2%	17.6%	100.0%	$\chi^2 = 65.12$
女性	64	164	210	200	36	674	64	164	210	200	638	10.0%	25.7%	32.9%	31.3%	100.0%	$\chi^2 = 55.04$
計	187	364	352	299	57	1,259	187	364	352	299	1,202	15.6%	30.3%	29.3%	24.9%	100.0%	$p < .0001$
年代																	
20-30代	19	63	108	136	9	335	19	63	108	136	326	5.8%	19.3%	33.1%	41.7%	100.0%	
40-50代	44	123	158	114	17	456	44	123	158	114	439	10.0%	28.0%	36.0%	26.0%	100.0%	$\chi^2 = 196.39$
60-70代	124	178	86	49	31	468	124	178	86	49	437	26.5%	38.0%	18.4%	10.5%	100.0%	$\chi^2 = 162.24$
計	187	364	352	299	57	1,259	187	364	352	299	1,202	14.9%	28.9%	28.0%	23.7%	100.0%	$p < .0001$

(オ) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい

	ア						イ						計			カイ二乗検定	
	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定			
性別																	
男性	91	189	172	107	26	585	91	189	172	107	559	16.3%	33.8%	30.8%	19.1%	100.0%	$\chi^2 = 42.11$
女性	56	154	228	198	38	674	56	154	228	198	636	8.3%	22.8%	33.8%	29.4%	100.0%	$\chi^2 = 35.14$
計	147	343	400	305	64	1,259	147	343	400	305	1,195	11.7%	27.2%	31.8%	24.2%	100.0%	$p < .0001$
年代																	
20-30代	16	59	111	139	10	335	16	59	111	139	325	4.8%	17.6%	33.1%	41.5%	100.0%	
40-50代	33	110	179	117	17	456	33	110	179	117	439	7.2%	24.1%	39.3%	25.7%	100.0%	$\chi^2 = 182.89$
60-70代	98	174	110	49	37	468	98	174	110	49	431	20.9%	37.2%	23.5%	10.5%	100.0%	$\chi^2 = 143.13$
計	147	343	400	305	64	1,259	147	343	400	305	1,195	11.7%	27.2%	31.8%	24.2%	100.0%	$p < .0001$

(カ) 男女両方に恋愛感情を抱くのはおかしい

	ア						イ						計			カイ二乗検定	
	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	そう思う	そう思わない	どちらか	どちらか	そう思わない	無回答	計	カイ二乗検定			
性別																	
男性	86	201	162	109	27	585	86	201	162	109	558	14.7%	34.4%	27.7%	18.6%	100.0%	$\chi^2 = 26.33$
女性	71	160	210	192	41	674	71	160	210	192	633	10.5%	23.7%	31.2%	28.5%	100.0%	$\chi^2 = 90.99$
計	157	361	372	301	68	1,259	157	361	372	301	1,191	12.5%	28.7%	29.5%	23.9%	100.0%	$p < .0001$
年代																	
20-30代	27	65	99	135	9	335	27	65	99	135	326	8.1%	19.4%	29.6%	40.3%	100.0%	
40-50代	37	128	165	108	18	456	37	128	165	108	438	8.1%	28.1%	36.2%	23.7%	100.0%	$\chi^2 = 128.03$
60-70代	93	168	108	58	41	468	93	168	108	58	427	19.9%	35.9%	23.1%	12.4%	100.0%	$p < .0001$
計	157	361	372	301	68	1,259	157	361	372	301	1,191	12.5%	28.7%	29.5%	23.9%	100.0%	$p < .0001$

本文では、(工)～(カ) (恋愛感情)の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を「おかしい」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「おたくない」と表記している。

問29 次のア～コについてのあなたのお考えやお気持ちをおたずねします。

(キ) 男性どうしの性行為は、気持ちが悪い

	ア						カ						カイ二乗検定	
	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	計		
計	585	347	150	115	62	1,259	585	347	150	115	1,197	932	265	1,197
	46.5%	27.6%	11.9%	9.1%	4.9%	100.0%	48.9%	29.0%	12.5%	9.6%	100.0%	77.9%	22.1%	100.0%
性別														
男性	346	135	46	36	22	585	346	135	46	36	563	481	82	563
	59.1%	23.1%	7.9%	6.2%	3.8%	100.0%	61.5%	24.0%	8.2%	6.4%	100.0%	85.4%	14.6%	100.0%
女性	239	212	104	79	40	674	239	212	104	79	634	451	183	634
	35.5%	31.5%	15.4%	11.7%	5.9%	100.0%	37.7%	33.4%	16.4%	12.5%	100.0%	71.1%	28.9%	100.0%
年代														
20-30代	119	100	50	56	10	335	119	100	50	56	325	219	106	325
	35.5%	29.9%	14.9%	16.7%	3.0%	100.0%	36.6%	30.8%	15.4%	17.2%	100.0%	67.4%	32.6%	100.0%
40-50代	185	141	70	40	20	456	185	141	70	40	436	326	110	436
	40.6%	30.9%	15.4%	8.8%	4.4%	100.0%	42.4%	32.3%	16.1%	9.2%	100.0%	74.8%	25.2%	100.0%
60-70代	281	106	30	19	32	468	281	106	30	19	436	387	49	436
	60.0%	22.6%	6.4%	4.1%	6.8%	100.0%	64.4%	24.3%	6.9%	4.4%	100.0%	88.8%	11.2%	100.0%
計	585	347	150	115	62	1,259	585	347	150	115	1,197	932	265	1,197
	46.5%	27.6%	11.9%	9.1%	4.9%	100.0%	48.9%	29.0%	12.5%	9.6%	100.0%	77.9%	22.1%	100.0%

(ク) 女性どうしの性行為は、気持ちが悪い

	ア						カ						カイ二乗検定	
	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	計		
計	398	364	278	155	64	1,259	398	364	278	155	1,195	762	433	1,195
	31.6%	28.9%	22.1%	12.3%	5.1%	100.0%	33.3%	30.5%	23.3%	13.0%	100.0%	63.8%	36.2%	100.0%
性別														
男性	179	144	157	81	24	585	179	144	157	81	561	323	238	561
	30.6%	24.6%	26.8%	13.8%	4.1%	100.0%	31.9%	25.7%	28.0%	14.4%	100.0%	57.6%	42.4%	100.0%
女性	219	220	121	74	40	674	219	220	121	74	634	439	195	634
	32.5%	32.6%	18.0%	11.0%	5.9%	100.0%	34.5%	34.7%	19.1%	11.7%	100.0%	69.2%	30.8%	100.0%
年代														
20-30代	67	95	87	76	10	335	67	95	87	76	325	162	163	325
	20.0%	28.4%	26.0%	22.7%	3.0%	100.0%	20.6%	29.2%	26.8%	23.4%	100.0%	49.8%	50.2%	100.0%
40-50代	113	133	132	58	20	456	113	133	132	58	436	246	190	436
	24.8%	29.2%	28.9%	12.7%	4.4%	100.0%	25.9%	30.5%	30.3%	13.3%	100.0%	56.4%	43.6%	100.0%
60-70代	218	136	59	21	34	468	218	136	59	21	434	354	80	434
	46.6%	29.1%	12.6%	4.5%	7.3%	100.0%	50.2%	31.3%	13.6%	4.8%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%
計	398	364	278	155	64	1,259	398	364	278	155	1,195	762	433	1,195
	31.6%	28.9%	22.1%	12.3%	5.1%	100.0%	33.3%	30.5%	23.3%	13.0%	100.0%	63.8%	36.2%	100.0%

(ケ) 異性と性行為をすることもあれば、同性と性行為をすることも、というのは気持ちが悪い

	ア						カ						カイ二乗検定	
	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	計		
計	445	400	218	121	75	1,259	445	400	218	121	1,184	845	339	1,184
	35.3%	31.8%	17.3%	9.6%	6.0%	100.0%	37.6%	33.8%	18.4%	10.2%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%
性別														
男性	228	187	97	47	26	585	228	187	97	47	559	415	144	559
	39.0%	32.0%	16.6%	8.0%	4.4%	100.0%	40.8%	33.5%	17.4%	8.4%	100.0%	74.2%	25.8%	100.0%
女性	217	213	121	74	49	674	217	213	121	74	625	430	195	625
	32.2%	31.6%	18.0%	11.0%	7.3%	100.0%	34.7%	34.1%	19.4%	11.8%	100.0%	68.8%	31.2%	100.0%
年代														
20-30代	81	104	78	60	12	335	81	104	78	60	323	185	138	323
	24.2%	31.0%	23.3%	17.9%	3.6%	100.0%	25.1%	32.2%	24.1%	18.6%	100.0%	57.3%	42.7%	100.0%
40-50代	130	158	102	44	22	456	130	158	102	44	434	288	146	434
	28.5%	34.6%	22.4%	9.6%	4.8%	100.0%	30.0%	36.4%	23.5%	10.1%	100.0%	66.4%	33.6%	100.0%
60-70代	234	138	38	17	41	468	234	138	38	17	427	372	55	427
	50.0%	29.5%	8.1%	3.6%	8.8%	100.0%	54.8%	32.3%	8.9%	4.0%	100.0%	87.1%	12.9%	100.0%
計	445	400	218	121	75	1,259	445	400	218	121	1,184	845	339	1,184
	35.3%	31.8%	17.3%	9.6%	6.0%	100.0%	37.6%	33.8%	18.4%	10.2%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%

(コ) 男と女の間の性行為は気持ちが悪い

	ア						カ						カイ二乗検定	
	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	無回答	そう思う	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思う	そう思わない	計		
計	31	38	221	907	62	1,259	31	38	221	907	1,197	69	1,128	1,197
	2.5%	3.0%	17.6%	72.0%	4.9%	100.0%	2.6%	3.2%	18.5%	75.8%	100.0%	5.8%	94.2%	100.0%
性別														
男性	11	13	67	472	22	585	11	13	67	472	563	24	539	563
	1.9%	2.2%	11.5%	80.7%	3.8%	100.0%	2.0%	2.3%	11.9%	83.8%	100.0%	4.3%	95.7%	100.0%
女性	20	25	154	435	40	674	20	25	154	435	634	45	589	634
	3.0%	3.7%	22.8%	64.5%	5.9%	100.0%	3.2%	3.9%	24.3%	68.6%	100.0%	7.1%	92.9%	100.0%
年代														
20-30代	8	11	55	252	9	335	8	11	55	252	326	19	307	326
	2.4%	3.3%	16.4%	75.2%	2.7%	100.0%	2.5%	3.4%	16.9%	77.3%	100.0%	5.8%	94.2%	100.0%
40-50代	6	12	95	324	19	456	6	12	95	324	437	18	419	437
	1.3%	2.6%	20.8%	71.1%	4.2%	100.0%	1.4%	2.7%	21.7%	74.1%	100.0%	4.1%	95.9%	100.0%
60-70代	17	15	71	331	34	468	17	15	71	331	434	32	402	434
	3.6%	3.2%	15.2%	70.7%	7.3%	100.0%	3.9%	3.5%	16.4%	76.3%	100.0%	7.4%	92.6%	100.0%
計	31	38	221	907	62	1,259	31	38	221	907	1,197	69	1,128	1,197
	2.5%	3.0%	17.6%	72.0%	4.9%	100.0%	2.6%	3.2%	18.5%	75.8%	100.0%	5.8%	94.2%	100.0%

本文では、(キ)～(コ) (性行為)の設問に対する回答のうち「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を「気持ち悪い」に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を「気持ち悪くない」として表記している。

問30 身体の性別を変えることについておたずねします。

(ア) 性別を男性から女性に変えるのはおかしい

性別	性別を男性から女性に変えるのはおかしい						性別を女性から男性に変えるのはおかしい					カイ二乗検定	
	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	そう思わない	計		
男性	147	165	107	143	23	585	144	166	109	141	25	585	$\chi^2 = 56.57$
女性	25.1%	28.2%	18.3%	24.4%	3.9%	100.0%	25.7%	29.6%	19.5%	25.2%	100.0%	560	
計	12.3%	19.9%	29.2%	30.7%	7.9%	100.0%	13.0%	21.9%	31.6%	33.5%	100.0%	1,183	$p < .0001$
年代													
20-30代	20	58	92	154	11	335	21	55	94	154	11	335	$\chi^2 = 185.05$
40-50代	6.0%	17.3%	27.5%	46.0%	3.3%	100.0%	6.5%	17.0%	29.0%	47.5%	100.0%	324	
60-70代	13.6%	22.6%	29.4%	29.4%	5.0%	100.0%	13.9%	24.2%	30.7%	31.2%	100.0%	433	$p < .0001$
計	18.3%	23.7%	24.1%	27.8%	6.0%	100.0%	19.4%	25.3%	25.7%	29.6%	100.0%	1,183	

(イ) 性別を女性から男性に変えるのはおかしい

性別	性別を女性から男性に変えるのはおかしい						性別を男性から女性に変えるのはおかしい					カイ二乗検定	
	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	そう思わない	計		
男性	144	166	109	141	25	585	147	165	107	143	23	585	$\chi^2 = 55.30$
女性	24.6%	28.4%	18.6%	24.1%	4.3%	100.0%	26.2%	29.4%	19.0%	25.4%	100.0%	562	
計	12.0%	20.2%	29.1%	30.9%	7.9%	100.0%	13.4%	21.6%	31.7%	33.3%	100.0%	1,183	$p < .0001$
年代													
20-30代	21	55	94	154	11	335	20	58	92	154	11	335	$\chi^2 = 186.75$
40-50代	6.3%	16.4%	28.1%	46.0%	3.3%	100.0%	6.2%	17.9%	28.4%	47.5%	100.0%	433	
60-70代	13.2%	23.0%	29.2%	29.6%	5.0%	100.0%	14.3%	23.8%	30.9%	30.9%	100.0%	426	$p < .0001$
計	17.9%	24.0%	24.2%	27.7%	6.2%	100.0%	19.4%	25.3%	25.7%	29.6%	100.0%	1,181	

本文では、(ア)と(イ) (性別移行)の設問に対する回答のうち「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を【おかしい】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【おかしくない】と表記している。

問29(エ) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしいと 問29(キ) 男性どうしの性行為は、気持ちが悪い のクロス集計

		問29(キ) 男性どうしの性行為は、気持ちが悪い			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問29(エ)	<そう思う>	539	10	549	$\chi^2 = 243.51$ p < .0001
男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	<そう思わない>	98.2%	1.8%	100.0%	
		387	255	642	
計		60.3%	39.7%	100.0%	
		926	265	1,191	
		77.7%	22.3%	100.0%	

問29(オ) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしいと 問29(ク) 女性どうしの性行為は、気持ちが悪い のクロス集計

		問29(ク) 女性どうしの性行為は、気持ちが悪い			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問29(オ)	<そう思う>	441	49	490	$\chi^2 = 251.84$ p < .0001
女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	<そう思わない>	90.0%	10.0%	100.0%	
		311	384	695	
計		44.7%	55.3%	100.0%	
		752	433	1,185	
		63.5%	36.5%	100.0%	

問29(カ) 男女両方に恋愛感情を抱くのはおかしいと 問29(ケ) 異性と性行為をすることもあれば、同性と性行為をすることもある、というのは気持ちが悪い のクロス集計

		問29(ケ) 異性と性行為をすることもあれば、同性と性行為をすることもある、 というのは気持ちが悪い			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問29(カ)	<そう思う>	497	17	514	$\chi^2 = 290.03$ p < .0001
男女両方に恋愛感情を抱くのはおかしい	<そう思わない>	96.7%	3.3%	100.0%	
		336	322	658	
計		51.1%	48.9%	100.0%	
		833	339	1,172	
		71.1%	28.9%	100.0%	

本文では、(エ)～(カ) (恋愛感情) の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【おかしい】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【おかしくない】と表記している。
また、(キ)～(ク) (性行為) の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【気持ち悪い】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【気持ち悪くない】として表記している。

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはどう思いますか。(自分の子ども)

性別	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計	カイ二乗検定	
																	嫌ではない
男性	56	62	146	297	24	585	56	62	146	297	561	$\chi^2 = 12.10$	118	443	561	$\chi^2 = 4.65$	
女性	91	78	191	277	37	674	91	78	191	277	637	$p = .0071$	169	468	637	$p = .0311$	
13.5%	11.6%	25.0%	50.8%	4.1%	100.0%	14.3%	12.2%	26.0%	52.9%	100.0%	26.5%	73.5%	100.0%	100.0%	100.0%		
年代																	
20代	37	22	40	38	4	141	37	22	40	38	137		59	78	137		
30代	35	30	67	57	5	194	35	30	67	57	189		65	124	189		
40代	39	27	63	101	7	237	39	27	63	101	230		66	164	230		
50代	16	30	69	94	10	219	16	30	69	94	209		46	163	209		
60代	13	22	70	149	20	274	13	22	70	149	254		35	219	254		
70代	7	9	28	135	15	194	7	9	28	135	179	$\chi^2 = 148.95$	16	163	179	$\chi^2 = 78.63$	
計	147	140	337	574	61	1,259	147	140	337	574	1,198	$p < .0001$	287	911	1,198	$p < .0001$	
	11.7%	11.1%	26.8%	45.6%	4.8%	100.0%	12.3%	11.7%	28.1%	47.9%	100.0%		24.0%	76.0%	100.0%		

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(近所の人)

性別	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計	カイ二乗検定	
																	嫌ではない
男性	167	147	157	89	25	585	167	147	157	89	560	$\chi^2 = 25.51$	314	246	560	$\chi^2 = 20.69$	
女性	258	180	138	59	39	674	258	180	138	59	635	$p < .0001$	438	197	635	$p < .0001$	
38.3%	26.7%	20.5%	8.8%	5.8%	100.0%	40.6%	28.3%	21.7%	9.3%	100.0%	69.0%	31.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
年代																	
20代	76	37	17	7	4	141	76	37	17	7	137		113	24	137		
30代	114	47	24	5	4	194	114	47	24	5	190		161	29	190		
40代	96	71	43	22	5	237	96	71	43	22	232		167	65	232		
50代	67	74	47	20	11	219	67	74	47	20	208		141	67	208		
60代	47	68	92	48	19	274	47	68	92	48	255		115	140	255		
70代	25	30	72	46	21	194	25	30	72	46	173	$\chi^2 = 222.67$	55	118	173	$\chi^2 = 178.10$	
計	425	327	295	148	64	1,259	425	327	295	148	1,195	$p < .0001$	752	443	1,195	$p < .0001$	
	33.8%	26.0%	23.4%	11.8%	5.1%	100.0%	35.6%	27.4%	24.7%	12.4%	100.0%		62.9%	37.1%	100.0%		

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(職場の同僚)

性別	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計	カイ二乗検定	
																	嫌ではない
男性	155	139	166	95	30	585	155	139	166	95	555	$\chi^2 = 30.62$	294	261	555	$\chi^2 = 28.21$	
女性	239	194	139	63	39	674	239	194	139	63	635	$p < .0001$	433	202	635	$p < .0001$	
35.5%	28.8%	20.6%	9.3%	5.8%	100.0%	37.6%	30.6%	21.9%	9.9%	100.0%	68.2%	31.8%	100.0%	100.0%	100.0%		
年代																	
20代	74	37	18	8	4	141	74	37	18	8	137		111	26	137		
30代	106	51	26	7	4	194	106	51	26	7	190		157	33	190		
40代	96	71	40	25	5	237	96	71	40	25	232		167	65	232		
50代	58	77	53	19	12	219	58	77	53	19	207		135	72	207		
60代	39	68	93	53	21	274	39	68	93	53	253		107	146	253		
70代	21	29	75	46	23	194	21	29	75	46	171	$\chi^2 = 232.26$	50	121	171	$\chi^2 = 183.64$	
計	394	333	305	158	69	1,259	394	333	305	158	1,190	$p < .0001$	727	463	1,190	$p < .0001$	
	31.3%	26.4%	24.2%	12.5%	5.5%	100.0%	33.1%	28.0%	25.6%	13.3%	100.0%		61.1%	38.9%	100.0%		

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(きょうだい)

	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計	カイ二乗検定	
性別																	
男性	78	78	159	244	26	585	78	78	159	244	559	$\chi^2 = 11.74$	156	403	559	$\chi^2 = 3.78$	
女性	118	93	204	219	40	674	118	93	204	219	634	$p = .0083$	211	423	634	$p = .0519$	
計	196	171	363	463	66	1,259	196	171	363	463	1,193		367	826	1,193		
年代																	
20代	44	19	43	31	4	141	44	19	43	31	137		63	74	137		
30代	56	33	62	39	4	194	56	33	62	39	190		89	101	190		
40代	41	40	63	87	6	237	41	40	63	87	231		81	150	231		
50代	22	36	76	73	12	219	22	36	76	73	207		58	149	207		
60代	19	34	72	129	20	274	19	34	72	129	254		53	201	254		
70代	14	9	47	104	20	194	14	9	47	104	174	$\chi^2 = 139.15$	23	151	174	$\chi^2 = 77.53$	
計	196	171	363	463	66	1,259	196	171	363	463	1,193	$p < .0001$	367	826	1,193	$p < .0001$	

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(自分の子ども)

	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計	カイ二乗検定	
性別																	
男性	65	64	142	286	28	585	65	64	142	286	557	$\chi^2 = 12.68$	129	428	557	$\chi^2 = 4.00$	
女性	103	78	191	265	37	674	103	78	191	265	637	$p = .0054$	181	456	637	$p = .0455$	
計	168	142	333	551	65	1,259	168	142	333	551	1,194		310	884	1,194		
年代																	
20代	38	19	44	36	4	141	38	19	44	36	137		57	80	137		
30代	43	28	58	60	5	194	43	28	58	60	189		71	118	189		
40代	38	28	63	101	7	237	38	28	63	101	230		66	164	230		
50代	18	34	69	86	12	219	18	34	69	86	207		52	155	207		
60代	17	27	64	145	21	274	17	27	64	145	253		44	209	253		
70代	14	6	35	123	16	194	14	6	35	123	178	$\chi^2 = 121.84$	20	158	178	$\chi^2 = 61.40$	
計	168	142	333	551	65	1,259	168	142	333	551	1,194	$p < .0001$	310	884	1,194	$p < .0001$	

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ	ど ち ち 嫌 嫌 嫌 で だ だ は だ だ な だ だ い だ だ え だ だ ば だ だ						ど ち ち 嫌 嫌 嫌 で だ だ は だ だ な だ だ い だ だ え だ だ ば だ だ					カイニ乗検定	Λ 嫌 嫌 で だ は だ な だ い だ え だ ば だ			カイニ乗検定
	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ	無 回 答	計	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ	計		Λ 嫌 だ V	計		
性別																
男性	112	102	124	73	13	424	112	102	124	73	411	$\chi^2 = 43.43$	214	197	411	$\chi^2 = 39.55$
女性	26.4%	24.1%	29.2%	17.2%	3.1%	100.0%	27.3%	24.8%	30.2%	17.8%	100.0%		52.1%	47.9%	100.0%	
計	156	119	69	27	12	383	156	119	69	27	371		275	96	371	
	40.7%	31.1%	18.0%	7.0%	3.1%	100.0%	42.0%	32.1%	18.6%	7.3%	100.0%	$p < .0001$	74.1%	25.9%	100.0%	$p < .0001$
年代																
20代	58	22	20	6	2	108	58	22	20	6	106	$\chi^2 = 148.38$	80	26	106	$\chi^2 = 86.40$
30代	53.7%	20.4%	18.5%	5.6%	1.9%	100.0%	54.7%	20.8%	18.9%	5.7%	100.0%		75.5%	24.5%	100.0%	
40代	72	46	23	9	2	152	72	46	23	9	150		118	32	150	
50代	47.4%	30.3%	15.1%	5.9%	1.3%	100.0%	48.0%	30.7%	15.3%	6.0%	100.0%		78.7%	21.3%	100.0%	
60代	79	62	37	22	5	205	79	62	37	22	200		141	59	200	
70代	38.5%	30.2%	18.0%	10.7%	2.4%	100.0%	39.5%	31.0%	18.5%	11.0%	100.0%		70.5%	29.5%	100.0%	
計	36	56	53	17	6	168	36	56	53	17	162		92	70	162	
	21.4%	33.3%	31.5%	10.1%	3.6%	100.0%	22.2%	34.6%	32.7%	10.5%	100.0%		56.8%	43.2%	100.0%	
	20	32	54	30	6	142	20	32	54	30	136		52	84	136	
	14.1%	22.5%	38.0%	21.1%	4.2%	100.0%	14.7%	23.5%	39.7%	22.1%	100.0%		38.2%	61.8%	100.0%	
	3	3	6	16	4	32	3	3	6	16	28		6	22	28	
	9.4%	9.4%	18.8%	50.0%	12.5%	100.0%	10.7%	10.7%	21.4%	57.1%	100.0%		21.4%	78.6%	100.0%	
計	268	221	193	100	25	807	268	221	193	100	782		489	293	782	
	33.2%	27.4%	23.9%	12.4%	3.1%	100.0%	34.3%	28.3%	24.7%	12.8%	100.0%		62.5%	37.5%	100.0%	

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ	ど ち ち 嫌 嫌 嫌 で だ だ は だ だ な だ だ い だ だ え だ だ ば だ だ						ど ち ち 嫌 嫌 嫌 で だ だ は だ だ な だ だ い だ だ え だ だ ば だ だ					カイニ乗検定	Λ 嫌 嫌 で だ は だ な だ い だ え だ ば だ			カイニ乗検定
	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ	無 回 答	計	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ	計		Λ 嫌 だ V	計		
性別																
男性	123	111	116	61	13	424	123	111	116	61	411	$\chi^2 = 37.07$	234	177	411	$\chi^2 = 34.37$
女性	29.0%	26.2%	27.4%	14.4%	3.1%	100.0%	29.9%	27.0%	28.2%	14.8%	100.0%		56.9%	43.1%	100.0%	
計	159	126	62	23	13	383	159	126	62	23	370		285	85	370	
	41.5%	32.9%	16.2%	6.0%	3.4%	100.0%	43.0%	34.1%	16.8%	6.2%	100.0%	$p < .0001$	77.0%	23.0%	100.0%	$p < .0001$
年代																
20代	59	30	13	4	2	108	59	30	13	4	106	$\chi^2 = 153.07$	89	17	106	$\chi^2 = 97.02$
30代	54.6%	27.8%	12.0%	3.7%	1.9%	100.0%	55.7%	28.3%	12.3%	3.8%	100.0%		84.0%	16.0%	100.0%	
40代	81	41	21	7	2	152	81	41	21	7	150		122	28	150	
50代	53.3%	27.0%	13.8%	4.6%	1.3%	100.0%	54.0%	27.3%	14.0%	4.7%	100.0%		81.3%	18.7%	100.0%	
60代	84	63	35	20	3	205	84	63	35	20	202		147	55	202	
70代	41.0%	30.7%	17.1%	9.8%	1.5%	100.0%	41.6%	31.2%	17.3%	9.9%	100.0%		72.8%	27.2%	100.0%	
計	39	61	44	16	8	168	39	61	44	16	160		100	60	160	
	23.2%	36.3%	26.2%	9.5%	4.8%	100.0%	24.4%	38.1%	27.5%	10.0%	100.0%		62.5%	37.5%	100.0%	
	16	37	58	24	7	142	16	37	58	24	135		53	82	135	
	11.3%	26.1%	40.8%	16.9%	4.9%	100.0%	11.9%	27.4%	43.0%	17.8%	100.0%		39.3%	60.7%	100.0%	
	3	5	7	13	4	32	3	5	7	13	28		8	20	28	
	9.4%	15.6%	21.9%	40.6%	12.5%	100.0%	10.7%	17.9%	25.0%	46.4%	100.0%		28.6%	71.4%	100.0%	
計	282	237	178	84	26	807	282	237	178	84	781		519	262	781	
	34.9%	29.4%	22.1%	10.4%	3.2%	100.0%	36.1%	30.3%	22.8%	10.8%	100.0%		66.5%	33.5%	100.0%	

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ 男性	嫌	嫌い	どちら	どちら	嫌	無回答	計	嫌	嫌い	どちら	どちら	嫌	計	カイ二乗検定	嫌	嫌い	計	カイ二乗検定	
	ではない	ではない	ばかり	ばかり				ではない	ではない	ばかり	ばかり				ではない	ではない	計		
仕事の種類																			
専門・技術系の職業	29	25	21	14	3	92	29	25	21	14	89				54	35	89		
	31.5%	27.2%	22.8%	15.2%	3.3%	100.0%	32.6%	28.1%	23.6%	15.7%	100.0%				60.7%	39.3%	100.0%		
管理的職業	3	11	15	9	1	39	3	11	15	9	38				14	24	38		
	7.7%	28.2%	38.5%	23.1%	2.6%	100.0%	7.9%	28.9%	39.5%	23.7%	100.0%				36.8%	63.2%	100.0%		
事務・営業系の職業	21	18	22	4	0	65	21	18	22	4	65				39	26	65		
	32.3%	27.7%	33.8%	6.2%	0.0%	100.0%	32.3%	27.7%	33.8%	6.2%	100.0%				60.0%	40.0%	100.0%		
販売・サービス系の職業	20	11	17	14	4	66	20	11	17	14	62				31	31	62		
	30.3%	16.7%	25.8%	21.2%	6.1%	100.0%	32.3%	17.7%	27.4%	22.6%	100.0%				50.0%	50.0%	100.0%		
技能・労務・作業系の職業	35	33	29	27	2	126	35	33	29	27	124				68	56	124		
	27.8%	26.2%	23.0%	21.4%	1.6%	100.0%	28.2%	26.6%	23.4%	21.8%	100.0%	$\chi^2 = 30.91$			54.8%	45.2%	100.0%	$\chi^2 = 14.05$	
農林漁業	3	2	12	3	1	21	3	2	12	3	20				5	15	20		
	14.3%	9.5%	57.1%	14.3%	4.8%	100.0%	15.0%	10.0%	60.0%	15.0%	100.0%	$p = .0090$			25.0%	75.0%	100.0%	$p = .0153$	
その他	0	1	7	2	0	10													
	0.0%	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	100.0%													
無回答	1	1	1	0	2	5													
	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	100.0%													
計	112	102	124	73	13	424	111	100	116	71	398				211	187	398		
	26.4%	24.1%	29.2%	17.2%	3.1%	100.0%	27.9%	25.1%	29.1%	17.8%	100.0%				53.0%	47.0%	100.0%		

就業者のみ 女性	嫌	嫌い	どちら	どちら	嫌	無回答	計	嫌	嫌い	どちら	どちら	嫌	計	カイ二乗検定	嫌	嫌い	計	カイ二乗検定	
	ではない	ではない	ばかり	ばかり				ではない	ではない	ばかり	ばかり				ではない	ではない	計		
仕事の種類																			
専門・技術系の職業	38	31	11	4	1	85	38	31	11	4	84				69	15	84		
	44.7%	36.5%	12.9%	4.7%	1.2%	100.0%	45.2%	36.9%	13.1%	4.8%	100.0%				82.1%	17.9%	100.0%		
管理的職業	2	3	0	1	0	6	2	3	0	1	6				5	1	6		
	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	100.0%				83.3%	16.7%	100.0%		
事務・営業系の職業	42	22	14	4	3	85	42	22	14	4	82				64	18	82		
	49.4%	25.9%	16.5%	4.7%	3.5%	100.0%	51.2%	26.8%	17.1%	4.9%	100.0%				78.0%	22.0%	100.0%		
販売・サービス系の職業	61	38	26	9	6	140	61	38	26	9	134				99	35	134		
	43.6%	27.1%	18.6%	6.4%	4.3%	100.0%	45.5%	28.4%	19.4%	6.7%	100.0%				73.9%	26.1%	100.0%		
技能・労務・作業系の職業	5	15	13	4	0	37	5	15	13	4	37				20	17	37		
	13.5%	40.5%	35.1%	10.8%	0.0%	100.0%	13.5%	40.5%	35.1%	10.8%	100.0%	$\chi^2 = 29.16$			54.1%	45.9%	100.0%	$\chi^2 = 14.01$	
農林漁業	1	3	2	2	0	8	1	3	2	2	8				4	4	8		
	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	100.0%	$p = .0154$			50.0%	50.0%	100.0%	$p = .0155$	
その他	2	7	1	0	0	10													
	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%													
無回答	5	0	2	3	2	12													
	41.7%	0.0%	16.7%	25.0%	16.7%	100.0%													
計	156	119	69	27	12	383	149	112	66	24	351				261	90	351		
	40.7%	31.1%	18.0%	7.0%	3.1%	100.0%	42.5%	31.9%	18.8%	6.8%	100.0%				74.4%	25.6%	100.0%		

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。〔職場の同僚〕

就業者のみ 男性	嫌					無回答	計	嫌					カイ二乗検定	^			カイ二乗検定		
	ではない	嫌いではない	どちらでもない	どちらか	嫌だ			ではない	嫌いではない	どちらでもない	どちらか	嫌だ		計	嫌ではない	^		嫌だ	計
仕事の種類																			
専門・技術系の職業	32	25	21	11	3	92	32	25	21	11	89								
	34.8%	27.2%	22.8%	12.0%	3.3%	100.0%	36.0%	28.1%	23.6%	12.4%	100.0%								
管理的職業	2	12	14	10	1	39	2	12	14	10	38								
	5.1%	30.8%	35.9%	25.6%	2.6%	100.0%	5.3%	31.6%	36.8%	26.3%	100.0%								
事務・営業系の職業	25	19	18	3	0	65	25	19	18	3	65								
	38.5%	29.2%	27.7%	4.6%	0.0%	100.0%	38.5%	29.2%	27.7%	4.6%	100.0%								
販売・サービス系の職業	21	17	16	8	4	66	21	17	16	8	62								
	31.8%	25.8%	24.2%	12.1%	6.1%	100.0%	33.9%	27.4%	25.8%	12.9%	100.0%								
技能・労務・作業系の職業	39	32	30	23	2	126	39	32	30	23	124	$\chi^2=31.01$							
	31.0%	25.4%	23.8%	18.3%	1.6%	100.0%	31.5%	25.8%	24.2%	18.5%	100.0%								
農林漁業	3	3	11	3	1	21	3	3	11	3	20	$p=.0087$							
	14.3%	14.3%	52.4%	14.3%	4.8%	100.0%	15.0%	15.0%	55.0%	15.0%	100.0%								
その他	0	3	4	3	0	10													
	0.0%	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%	100.0%													
無回答	1	0	2	0	2	5													
	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	100.0%													
計	123	111	116	61	13	424	122	108	110	58	398								
	29.0%	26.2%	27.4%	14.4%	3.1%	100.0%	30.7%	27.1%	27.6%	14.6%	100.0%								

就業者のみ 女性	嫌					無回答	計	嫌					カイ二乗検定	^			カイ二乗検定		
	ではない	嫌いではない	どちらでもない	どちらか	嫌だ			ではない	嫌いではない	どちらでもない	どちらか	嫌だ		計	嫌ではない	^		嫌だ	計
仕事の種類																			
専門・技術系の職業	39	31	12	3	0	85	39	31	12	3	85								
	45.9%	36.5%	14.1%	3.5%	0.0%	100.0%	45.9%	36.5%	14.1%	3.5%	100.0%								
管理的職業	1	4	0	1	0	6	1	4	0	1	6								
	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	100.0%								
事務・営業系の職業	44	21	14	4	2	85	44	21	14	4	83								
	51.8%	24.7%	16.5%	4.7%	2.4%	100.0%	53.0%	25.3%	16.9%	4.8%	100.0%								
販売・サービス系の職業	63	39	24	8	6	140	63	39	24	8	134								
	45.0%	27.9%	17.1%	5.7%	4.3%	100.0%	47.0%	29.1%	17.9%	6.0%	100.0%								
技能・労務・作業系の職業	8	18	7	3	1	37	8	18	7	3	36	$\chi^2=21.92$							
	21.6%	48.6%	18.9%	8.1%	2.7%	100.0%	22.2%	50.0%	19.4%	8.3%	100.0%								
農林漁業	1	4	2	1	0	8	1	4	2	1	8	$p=.1100$							
	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	100.0%								
その他	1	7	1	1	0	10													
	10.0%	70.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%													
無回答	2	2	2	2	4	12													
	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%													
計	159	126	62	23	13	383	156	117	59	20	352								
	41.5%	32.9%	16.2%	6.0%	3.4%	100.0%	44.3%	33.2%	16.8%	5.7%	100.0%								

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはどう思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ 男性	ど ち ら か と い え ば					無 回 答	計	ど ち ら か と い え ば					カ イ ニ 乗 検 定	カ イ ニ 乗 検 定				
	嫌 で は な い	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ			嫌 で は な い	嫌 で は な い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	嫌 だ		計	嫌 で は な い	嫌 だ	計	
仕事の種類 20-30代																		
専門・技術系の職業	17	10	5	4	1	37	17	10	5	4	36							
	45.9%	27.0%	13.5%	10.8%	2.7%	100.0%	47.2%	27.8%	13.9%	11.1%	100.0%							
管理的職業	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1							
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%							
事務・営業系の職業	8	3	9	1	0	21	8	3	9	1	21							
	38.1%	14.3%	42.9%	4.8%	0.0%	100.0%	38.1%	14.3%	42.9%	4.8%	100.0%							
販売・サービス系の職業	11	5	5	2	1	24	11	5	5	2	23							
	45.8%	20.8%	20.8%	8.3%	4.2%	100.0%	47.8%	21.7%	21.7%	8.7%	100.0%							
技能・労務・作業系の職業	16	13	3	4	0	36	16	13	3	4	36							
	44.4%	36.1%	8.3%	11.1%	0.0%	100.0%	44.4%	36.1%	8.3%	11.1%	100.0%	$\chi^2 = 22.47$						$\chi^2 = 9.77$
農林漁業	1	0	3	0	0	4	1	0	3	0	4	$p = .0960$						$p = .0819$
	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%							
その他	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	2							
	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%							
計	53	33	26	11	2	125	53	32	25	11	121							
	42.4%	26.4%	20.8%	8.8%	1.6%	100.0%	43.8%	26.4%	20.7%	9.1%	100.0%							
仕事の種類 40-50代																		
専門・技術系の職業	9	10	10	2	2	33	9	10	10	2	31							
	27.3%	30.3%	30.3%	6.1%	6.1%	100.0%	29.0%	32.3%	32.3%	6.5%	100.0%							
管理的職業	3	9	11	6	0	29	3	9	11	6	29							
	10.3%	31.0%	37.9%	20.7%	0.0%	100.0%	10.3%	31.0%	37.9%	20.7%	100.0%							
事務・営業系の職業	10	13	9	2	0	34	10	13	9	2	34							
	29.4%	38.2%	26.5%	5.9%	0.0%	100.0%	29.4%	38.2%	26.5%	5.9%	100.0%							
販売・サービス系の職業	6	5	4	6	2	23	6	5	4	6	21							
	26.1%	21.7%	17.4%	26.1%	8.7%	100.0%	28.6%	23.8%	19.0%	28.6%	100.0%							
技能・労務・作業系の職業	13	11	14	12	1	51	13	11	14	12	50							
	25.5%	21.6%	27.5%	23.5%	2.0%	100.0%	26.0%	22.0%	28.0%	24.0%	100.0%	$\chi^2 = 17.53$						$\chi^2 = 7.54$
農林漁業	1	1	4	1	0	7	1	1	4	1	7	$p = .2880$						$p = .1838$
	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	100.0%	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	100.0%							
その他	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	4							
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%							
無回答	1	0	1	0	1	3	1	0	1	0	2							
	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%							
計	43	49	57	29	6	184	42	49	52	29	172							
	23.4%	26.6%	31.0%	15.8%	3.3%	100.0%	24.4%	28.5%	30.2%	16.9%	100.0%							
仕事の種類 60-70代																		
専門・技術系の職業	3	5	6	8	0	22	3	5	6	8	22							
	13.6%	22.7%	27.3%	36.4%	0.0%	100.0%	13.6%	22.7%	27.3%	36.4%	100.0%							
管理的職業	0	1	4	3	1	9	0	1	4	3	8							
	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	100.0%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	100.0%							
事務・営業系の職業	3	2	4	1	0	10	3	2	4	1	10							
	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%	100.0%							
販売・サービス系の職業	3	1	8	6	1	19	3	1	8	6	18							
	15.8%	5.3%	42.1%	31.6%	5.3%	100.0%	16.7%	5.6%	44.4%	33.3%	100.0%							
技能・労務・作業系の職業	6	9	12	11	1	39	6	9	12	11	38							
	15.4%	23.1%	30.8%	28.2%	2.6%	100.0%	15.8%	23.7%	31.6%	28.9%	100.0%	$\chi^2 = 10.12$						$\chi^2 = 5.05$
農林漁業	1	1	5	2	1	10	1	1	5	2	9	$p = .8122$						$p = .4100$
	10.0%	10.0%	50.0%	20.0%	10.0%	100.0%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%	100.0%							
その他	0	0	2	2	0	4	0	0	2	2	4							
	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%							
無回答	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	1							
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%							
計	16	20	41	33	5	115	16	19	39	31	105							
	13.9%	17.4%	35.7%	28.7%	4.3%	100.0%	15.2%	18.1%	37.1%	29.5%	100.0%							
計	112	102	124	73	13	424	111	100	116	71	398							
	26.4%	24.1%	29.2%	17.2%	3.1%	100.0%	27.9%	25.1%	29.1%	17.8%	100.0%							

問25 あなたの気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の方が同性愛者だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ 女性	どちらかといえば						無回答	計	どちらかといえ						カイ二乗検定	
	嫌ではない	嫌ではない	嫌だ	嫌だ	嫌だ	嫌だ			嫌ではない	嫌ではない	嫌だ	嫌だ	嫌だ	嫌だ		
仕事の種類 20-30代																
専門・技術系の職業	23	9	3	1	0	36	23	9	3	1	36					
	63.9%	25.0%	8.3%	2.8%	0.0%	100.0%	63.9%	25.0%	8.3%	2.8%	100.0%					
管理的職業	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2					
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%					
事務・営業系の職業	21	8	6	0	0	35	21	8	6	0	35					
	60.0%	22.9%	17.1%	0.0%	0.0%	100.0%	60.0%	22.9%	17.1%	0.0%	100.0%					
販売・サービス系の職業	27	11	4	2	2	46	27	11	4	2	44					
	58.7%	23.9%	8.7%	4.3%	4.3%	100.0%	61.4%	25.0%	9.1%	4.5%	100.0%					
技能・労務・作業系の職業	2	4	4	1	0	11	2	4	4	1	11					
	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0%	100.0%	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	100.0%	$\chi^2 = 15.02$				
農林漁業	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2					
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	$p = .4500$				
その他	1	2	0	0	0	3										
	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%										
計	77	35	17	4	2	135	76	33	17	4	130					
	57.0%	25.9%	12.6%	3.0%	1.5%	100.0%	58.5%	25.4%	13.1%	3.1%	100.0%					
仕事の種類 40-50代																
専門・技術系の職業	14	19	5	2	1	41	14	19	5	2	40					
	34.1%	46.3%	12.2%	4.9%	2.4%	100.0%	35.0%	47.5%	12.5%	5.0%	100.0%					
管理的職業	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	3					
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%					
事務・営業系の職業	21	13	4	3	3	44	21	13	4	3	41					
	47.7%	29.5%	9.1%	6.8%	6.8%	100.0%	51.2%	31.7%	9.8%	7.3%	100.0%					
販売・サービス系の職業	31	19	14	1	1	66	31	19	14	1	65					
	47.0%	28.8%	21.2%	1.5%	1.5%	100.0%	47.7%	29.2%	21.5%	1.5%	100.0%					
技能・労務・作業系の職業	3	8	8	2	0	21	3	8	8	2	21					
	14.3%	38.1%	38.1%	9.5%	0.0%	100.0%	14.3%	38.1%	38.1%	9.5%	100.0%	$\chi^2 = 26.33$				
農林漁業	0	2	1	0	0	3	0	2	1	0	3					
	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	$p = .0347$				
その他	0	5	0	0	0	5										
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%										
無回答	3	0	1	2	0	6										
	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	100.0%										
計	72	69	33	10	5	189	69	64	32	8	173					
	38.1%	36.5%	17.5%	5.3%	2.6%	100.0%	39.9%	37.0%	18.5%	4.6%	100.0%					
仕事の種類 60-70代																
専門・技術系の職業	1	3	3	1	0	8	1	3	3	1	8					
	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	100.0%					
管理的職業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1					
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%					
事務・営業系の職業	0	1	4	1	0	6	0	1	4	1	6					
	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	100.0%					
販売・サービス系の職業	3	8	8	6	3	28	3	8	8	6	25					
	10.7%	28.6%	28.6%	21.4%	10.7%	100.0%	12.0%	32.0%	32.0%	24.0%	100.0%					
技能・労務・作業系の職業	0	3	1	1	0	5	0	3	1	1	5					
	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	100.0%	$\chi^2 = 12.41$				
農林漁業	0	0	1	2	0	3	0	0	1	2	3					
	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%	$p = .6481$				
その他	1	0	1	0	0	2										
	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%										
無回答	2	0	1	1	2	6										
	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%										
計	7	15	19	13	5	59	4	15	17	12	48					
	11.9%	25.4%	32.2%	22.0%	8.5%	100.0%	8.3%	31.3%	35.4%	25.0%	100.0%					
計	156	119	69	27	12	383	149	112	66	24	351					
	40.7%	31.1%	18.0%	7.0%	3.1%	100.0%	42.5%	31.9%	18.8%	6.8%	100.0%					

問25 あなたの気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ 男性	あなた						職場の同僚					カイ二乗検定			
	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計
仕事の種類 20-30代															
専門・技術系の職業	22	9	4	1	1	37	22	9	4	1	36				
	59.5%	24.3%	10.8%	2.7%	2.7%	100.0%	61.1%	25.0%	11.1%	2.8%	100.0%	$\chi^2=18.42$	31	5	36
管理的職業	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	p=.2410	86.1%	13.9%	100.0%
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		1	0	1
事務・営業系の職業	11	3	7	0	0	21	11	3	7	0	21		100.0%	0.0%	100.0%
	52.4%	14.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	52.4%	14.3%	33.3%	0.0%	100.0%		14	7	21
販売・サービス系の職業	10	7	4	2	1	24	10	7	4	2	23		66.7%	33.3%	100.0%
	41.7%	29.2%	16.7%	8.3%	4.2%	100.0%	43.5%	30.4%	17.4%	8.7%	100.0%		17	6	23
技能・労務・作業系の職業	18	9	4	5	0	36	18	9	4	5	36		73.9%	26.1%	100.0%
	50.0%	25.0%	11.1%	13.9%	0.0%	100.0%	50.0%	25.0%	11.1%	13.9%	100.0%		27	9	36
農林漁業	1	1	2	0	0	4	1	1	2	0	4		75.0%	25.0%	100.0%
	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%	$\chi^2=4.90$	2	2	4
その他	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2		50.0%	50.0%	100.0%
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		2	2	4
計	62	32	21	8	2	125	62	30	21	8	121		92	29	121
	49.6%	25.6%	16.8%	6.4%	1.6%	100.0%	51.2%	24.8%	17.4%	6.6%	100.0%		76.0%	24.0%	100.0%
仕事の種類 40-50代															
専門・技術系の職業	9	10	10	2	2	33	9	10	10	2	31				
	27.3%	30.3%	30.3%	6.1%	6.1%	100.0%	29.0%	32.3%	32.3%	6.5%	100.0%	$\chi^2=16.99$	19	12	31
管理的職業	2	11	10	6	0	29	2	11	10	6	29	p=.3193	61.3%	38.7%	100.0%
	6.9%	37.9%	34.5%	20.7%	0.0%	100.0%	6.9%	37.9%	34.5%	20.7%	100.0%		13	16	29
事務・営業系の職業	11	13	8	2	0	34	11	13	8	2	34		44.8%	55.2%	100.0%
	32.4%	38.2%	23.5%	5.9%	0.0%	100.0%	32.4%	38.2%	23.5%	5.9%	100.0%		24	10	34
販売・サービス系の職業	7	5	4	5	2	23	7	5	4	5	21		70.6%	29.4%	100.0%
	30.4%	21.7%	17.4%	21.7%	8.7%	100.0%	33.3%	23.8%	19.0%	23.8%	100.0%		12	9	21
技能・労務・作業系の職業	16	12	14	8	1	51	16	12	14	8	50		57.1%	42.9%	100.0%
	31.4%	23.5%	27.5%	15.7%	2.0%	100.0%	32.0%	24.0%	28.0%	16.0%	100.0%		28	22	50
農林漁業	1	1	3	2	0	7	1	1	3	2	7		56.0%	44.0%	100.0%
	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	100.0%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	100.0%	$\chi^2=6.88$	2	5	7
その他	0	1	2	1	0	4	0	1	2	1	4		28.6%	71.4%	100.0%
	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%	p=.2301	2	5	7
無回答	1	0	1	0	1	3	1	0	1	0	3				
	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%				
計	47	53	52	26	6	184	46	52	49	25	172		98	74	172
	25.5%	28.8%	28.3%	14.1%	3.3%	100.0%	26.7%	30.2%	28.5%	14.5%	100.0%		57.0%	43.0%	100.0%
仕事の種類 60-70代															
専門・技術系の職業	1	6	7	8	0	22	1	6	7	8	22				
	4.5%	27.3%	31.8%	36.4%	0.0%	100.0%	4.5%	27.3%	31.8%	36.4%	100.0%	$\chi^2=19.72$	7	15	22
管理的職業	0	0	4	4	1	9	0	0	4	4	8	p=.1831	31.8%	68.2%	100.0%
	0.0%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%		0	8	8
事務・営業系の職業	3	3	3	1	0	10	3	3	3	1	10		0.0%	100.0%	100.0%
	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	100.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	100.0%		6	4	10
販売・サービス系の職業	4	5	8	1	1	19	4	5	8	1	18		60.0%	40.0%	100.0%
	21.1%	26.3%	42.1%	5.3%	5.3%	100.0%	22.2%	27.8%	44.4%	5.6%	100.0%		9	9	18
技能・労務・作業系の職業	5	11	12	10	1	39	5	11	12	10	38		50.0%	50.0%	100.0%
	12.8%	28.2%	30.8%	25.6%	2.6%	100.0%	13.2%	28.9%	31.6%	26.3%	100.0%		16	22	38
農林漁業	1	1	6	1	1	10	1	1	6	1	9		42.1%	57.9%	100.0%
	10.0%	10.0%	60.0%	10.0%	10.0%	100.0%	11.1%	11.1%	66.7%	11.1%	100.0%	$\chi^2=9.63$	2	7	9
その他	0	0	2	2	0	4	0	0	2	2	4		22.2%	77.8%	100.0%
	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	p=.0865			
無回答	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	2				
	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%				
計	14	26	43	27	5	115	14	26	40	25	105		40	65	105
	12.2%	22.6%	37.4%	23.5%	4.3%	100.0%	13.3%	24.8%	38.1%	23.8%	100.0%		38.1%	61.9%	100.0%
計	123	111	116	61	13	424	122	108	110	58	398		230	168	398
	29.0%	26.2%	27.4%	14.4%	3.1%	100.0%	30.7%	27.1%	27.6%	14.6%	100.0%		57.8%	42.2%	100.0%

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(職場の同僚)

就業者のみ 女性	ど ち ら か と い え ば					計	ど ち ら か と い え ば					カイ二乗検定	^			カイ二乗検定	
	嫌ではない	嫌ではない	どちらかといえば	嫌だ	無回答		嫌ではない	嫌ではない	どちらかといえば	嫌だ	計		嫌ではない	嫌だ	計		
仕事の種類 20-30代																	
専門・技術系の職業	23	10	2	1	0	36	23	10	2	1	36				33	3	36
管理的職業	63.9%	27.8%	5.6%	2.8%	0.0%	100.0%	63.9%	27.8%	5.6%	2.8%	100.0%				91.7%	8.3%	100.0%
事務・営業系の職業	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2				2	0	2
販売・サービス系の職業	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%				100.0%	0.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	22	7	6	0	0	35	22	7	6	0	35				29	6	35
農林漁業	62.9%	20.0%	17.1%	0.0%	0.0%	100.0%	62.9%	20.0%	17.1%	0.0%	100.0%				82.9%	17.1%	100.0%
その他	26	12	4	2	2	46	26	12	4	2	44				38	6	44
計	56.5%	26.1%	8.7%	4.3%	4.3%	100.0%	59.1%	27.3%	9.1%	4.5%	100.0%				86.4%	13.6%	100.0%
専門・技術系の職業	4	6	1	0	0	11	4	6	1	0	11				10	1	11
管理的職業	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 10.51$			90.9%	9.1%	100.0%
事務・営業系の職業	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2	$p = .7863$			2	0	2
販売・サービス系の職業	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%				100.0%	0.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	1	2	0	0	0	3	1	2	0	0	3				1	2	3
農林漁業	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%				33.3%	66.7%	100.0%
その他	78	39	13	3	2	135	77	37	13	3	130				114	16	130
計	57.8%	28.9%	9.6%	2.2%	1.5%	100.0%	59.2%	28.5%	10.0%	2.3%	100.0%				87.7%	12.3%	100.0%
仕事の種類 40-50代																	
専門・技術系の職業	16	18	6	1	0	41	16	18	6	1	41				34	7	41
管理的職業	39.0%	43.9%	14.6%	2.4%	0.0%	100.0%	39.0%	43.9%	14.6%	2.4%	100.0%				82.9%	17.1%	100.0%
事務・営業系の職業	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	3				3	0	3
販売・サービス系の職業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				100.0%	0.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	22	13	4	3	2	44	22	13	4	3	42				35	7	42
農林漁業	50.0%	29.5%	9.1%	6.8%	4.5%	100.0%	52.4%	31.0%	9.5%	7.1%	100.0%				83.3%	16.7%	100.0%
その他	34	18	11	2	1	66	34	18	11	2	65				52	13	65
計	51.5%	27.3%	16.7%	3.0%	1.5%	100.0%	52.3%	27.7%	16.9%	3.1%	100.0%				80.0%	20.0%	100.0%
専門・技術系の職業	3	10	5	2	1	21	3	10	5	2	20				13	7	20
管理的職業	14.3%	47.6%	23.8%	9.5%	4.8%	100.0%	15.0%	50.0%	25.0%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 24.37$			65.0%	35.0%	100.0%
事務・営業系の職業	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	3	$p = .0591$			3	0	3
販売・サービス系の職業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				100.0%	0.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	0	5	0	0	0	5	0	5	0	0	5				0	5	5
農林漁業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				0.0%	100.0%	100.0%
その他	0	5	0	0	0	5	0	5	0	0	5				0	5	5
計	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%				16.7%	16.7%	100.0%
仕事の種類 60-70代																	
専門・技術系の職業	0	3	4	1	0	8	0	3	4	1	8				3	5	8
管理的職業	0.0%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%	0.0%	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%				37.5%	62.5%	100.0%
事務・営業系の職業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1				0	1	1
販売・サービス系の職業	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%				0.0%	100.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	0	1	4	1	0	6	0	1	4	1	6				1	5	6
農林漁業	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	100.0%				16.7%	83.3%	100.0%
その他	3	9	9	4	3	28	3	9	9	4	25				12	13	25
計	10.7%	32.1%	32.1%	14.3%	10.7%	100.0%	12.0%	36.0%	36.0%	16.0%	100.0%				48.0%	52.0%	100.0%
専門・技術系の職業	1	2	1	1	0	5	1	2	1	1	5				3	2	5
管理的職業	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	100.0%	$\chi^2 = 11.58$			60.0%	40.0%	100.0%
事務・営業系の職業	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	3	$p = .7102$			0	3	3
販売・サービス系の職業	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%				0.0%	100.0%	100.0%
技能・労務・作業系の職業	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	2				0	2	2
農林漁業	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%				0.0%	100.0%	100.0%
その他	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	2				0	2	2
計	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	100.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%				16.7%	16.7%	100.0%
計	5	16	22	10	6	59	4	15	20	9	48				19	29	48
計	8.5%	27.1%	37.3%	16.9%	10.2%	100.0%	8.3%	31.3%	41.7%	18.8%	100.0%				39.6%	60.4%	100.0%
計	159	126	62	23	13	383	156	117	59	20	352				273	79	352
計	41.5%	32.9%	16.2%	6.0%	3.4%	100.0%	44.3%	33.2%	16.8%	5.7%	100.0%				77.6%	22.4%	100.0%

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはと思いますか。(自分の子ども)

子どものいる人のみ	ど ち ち ら ち ち か か か だ とい え ば						無 回 答	計	ど ち ち ら ち ち か か か だ とい え ば					カ イ 二 乗 検 定	カ イ 二 乗 検 定		
	嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 だ	嫌 だ	嫌 だ			嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 だ	嫌 だ	計		嫌 で は な い	嫌 だ	計
性別																	
男性	30	34	91	233	10	398		30	34	91	233	388		64	324	388	$\chi^2 = 3.21$
女性	7.5%	8.5%	22.9%	58.5%	2.5%	100.0%		7.7%	8.8%	23.5%	60.1%	100.0%	$\chi^2 = 9.22$	16.5%	83.5%	100.0%	
計	50	51	134	233	26	494		50	51	134	233	468		101	367	468	$p = .0733$
年代																	
20代	7	2	5	8	0	22		7	2	5	8	22		9	13	22	$\chi^2 = 38.38$
30代	31.8%	9.1%	22.7%	36.4%	0.0%	100.0%		31.8%	9.1%	22.7%	36.4%	100.0%		40.9%	59.1%	100.0%	
40代	18.9%	14.4%	29.7%	35.1%	1.8%	100.0%		19.3%	14.7%	30.3%	35.8%	100.0%		33.9%	66.1%	100.0%	
50代	24	17	45	85	6	177		24	17	45	85	171		41	130	171	
60代	13.6%	9.6%	25.4%	48.0%	3.4%	100.0%		14.0%	9.9%	26.3%	49.7%	100.0%		24.0%	76.0%	100.0%	
70代	10	21	58	81	5	175		10	21	58	81	170		31	139	170	
計	5.7%	12.0%	33.1%	46.3%	2.9%	100.0%		5.9%	12.4%	34.1%	47.6%	100.0%		18.2%	81.8%	100.0%	
20代	12	20	59	127	14	232		12	20	59	127	218		32	186	218	
30代	5.2%	8.6%	25.4%	54.7%	6.0%	100.0%		5.5%	9.2%	27.1%	58.3%	100.0%	$\chi^2 = 83.68$	14.7%	85.3%	100.0%	
40代	6	9	25	126	9	175		6	9	25	126	166		15	151	166	
50代	3.4%	5.1%	14.3%	72.0%	5.1%	100.0%		3.6%	5.4%	15.1%	75.9%	100.0%	$p < .0001$	9.0%	91.0%	100.0%	
60代	80	85	225	466	36	892		80	85	225	466	856		165	691	856	
70代	9.0%	9.5%	25.2%	52.2%	4.0%	100.0%		9.3%	9.9%	26.3%	54.4%	100.0%		19.3%	80.7%	100.0%	
計																	

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはと思いますか。(自分の子ども)

子どものいる人のみ	ど ち ち ら ち ち か か か だ とい え ば						無 回 答	計	ど ち ち ら ち ち か か か だ とい え ば					カ イ 二 乗 検 定	カ イ 二 乗 検 定		
	嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 だ	嫌 だ	嫌 だ			嫌 で は な い	嫌 で は な い	嫌 だ	嫌 だ	計		嫌 で は な い	嫌 だ	計
性別																	
男性	35	36	89	224	14	398		35	36	89	224	384		71	313	384	$\chi^2 = 2.88$
女性	8.8%	9.0%	22.4%	56.3%	3.5%	100.0%		9.1%	9.4%	23.2%	58.3%	100.0%	$\chi^2 = 8.74$	18.5%	81.5%	100.0%	
計	62	48	130	228	26	494		62	48	130	228	468		110	358	468	$p = .0898$
年代																	
20代	7	1	6	8	0	22		7	1	6	8	22		8	14	22	$\chi^2 = 26.67$
30代	31.8%	4.5%	27.3%	36.4%	0.0%	100.0%		31.8%	4.5%	27.3%	36.4%	100.0%		36.4%	63.6%	100.0%	
40代	23.4%	10.8%	25.2%	38.7%	1.8%	100.0%		23.9%	11.0%	25.7%	39.4%	100.0%		34.9%	65.1%	100.0%	
50代	25	17	45	84	6	177		25	17	45	84	171		42	129	171	
60代	14.1%	9.6%	25.4%	47.5%	3.4%	100.0%		14.6%	9.9%	26.3%	49.1%	100.0%		24.6%	75.4%	100.0%	
70代	11	23	58	76	7	175		11	23	58	76	168		34	134	168	
計	6.3%	13.1%	33.1%	43.4%	4.0%	100.0%		6.5%	13.7%	34.5%	45.2%	100.0%		20.2%	79.8%	100.0%	
20代	15	25	51	126	15	232		15	25	51	126	217		40	177	217	
30代	6.5%	10.8%	22.0%	54.3%	6.5%	100.0%		6.9%	11.5%	23.5%	58.1%	100.0%	$\chi^2 = 69.58$	18.4%	81.6%	100.0%	
40代	13	6	31	115	10	175		13	6	31	115	165		19	146	165	
50代	7.4%	3.4%	17.7%	65.7%	5.7%	100.0%		7.9%	3.6%	18.8%	69.7%	100.0%	$p < .0001$	11.5%	88.5%	100.0%	
60代	97	84	219	452	40	892		97	84	219	452	852		181	671	852	
70代	10.9%	9.4%	24.6%	50.7%	4.5%	100.0%		11.4%	9.9%	25.7%	53.1%	100.0%		21.2%	78.8%	100.0%	
計																	

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはと思いますか。(職場の同僚)

	ど ち ら					計	ど ち ら					カイニ乗検定	^			カイニ乗検定	
	嫌	嫌	嫌	嫌	無		嫌	嫌	嫌	嫌	計		嫌	嫌	計		
	ではない	ではない	か	か	回答		ではない	ではない	か	か			ではない	嫌	計		
	い	い	とい	とい			い	い	え	え			い	だ			
	え	え	え	え			え	え	え	え			え	だ			
性的マイノリティが周りにいるか否か																	
周りにいない ^a	136	139	202	139	40	656	136	139	202	139	616						
	20.7%	21.2%	30.8%	21.2%	6.1%	100.0%	22.1%	22.6%	32.8%	22.6%	100.0%						
わからない ^b	173	146	126	39	13	497	173	146	126	39	484						
	34.8%	29.4%	25.4%	7.8%	2.6%	100.0%	35.7%	30.2%	26.0%	8.1%	100.0%	$\chi^2 = 120.58$					
いる ^c	52	11	8	4	2	77	52	11	8	4	75						
	67.5%	14.3%	10.4%	5.2%	2.6%	100.0%	69.3%	14.7%	10.7%	5.3%	100.0%	$p < .0001$					
無回答 ^d	6	3	3	6	11	29	6	3	3	6	11						
	20.7%	10.3%	10.3%	20.7%	37.9%	100.0%	20.7%	10.3%	10.3%	20.7%	37.9%						
計	367	299	339	188	66	1,259	361	296	336	182	1,175						
	29.2%	23.7%	26.9%	14.9%	5.2%	100.0%	30.7%	25.2%	28.6%	15.5%	100.0%						
性的マイノリティが周りにいるか否か 20-30代																	
周りにいない	50	36	27	12	2	127	50	36	27	12	125						
	39.4%	28.3%	21.3%	9.4%	1.6%	100.0%	40.0%	28.8%	21.6%	9.6%	100.0%						
わからない	80	42	26	7	4	159	80	42	26	7	155						
	50.3%	26.4%	16.4%	4.4%	2.5%	100.0%	51.6%	27.1%	16.8%	4.5%	100.0%	$\chi^2 = 21.60$					
いる	33	5	4	0	1	43	33	5	4	0	42						
	76.7%	11.6%	9.3%	0.0%	2.3%	100.0%	78.6%	11.9%	9.5%	0.0%	100.0%	$p = .0014$					
無回答	3	1	0	1	1	6	3	1	0	1	6						
	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%						
計	166	84	57	20	8	335	163	83	57	19	322						
	49.6%	25.1%	17.0%	6.0%	2.4%	100.0%	50.6%	25.8%	17.7%	5.9%	100.0%						
性的マイノリティが周りにいるか否か 40-50代																	
周りにいない	53	58	60	34	9	214	53	58	60	34	205						
	24.8%	27.1%	28.0%	15.9%	4.2%	100.0%	25.9%	28.3%	29.3%	16.6%	100.0%						
わからない	74	74	49	13	5	215	74	74	49	13	210						
	34.4%	34.4%	22.8%	6.0%	2.3%	100.0%	35.2%	35.2%	23.3%	6.2%	100.0%	$\chi^2 = 28.13$					
いる	14	3	2	2	0	21	14	3	2	2	21						
	66.7%	14.3%	9.5%	9.5%	0.0%	100.0%	66.7%	14.3%	9.5%	9.5%	100.0%	$p < .0001$					
無回答	1	1	0	2	2	6	1	1	0	2	6						
	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%						
計	142	136	111	51	16	456	141	135	111	49	436						
	31.1%	29.8%	24.3%	11.2%	3.5%	100.0%	32.3%	31.0%	25.5%	11.2%	100.0%						
性的マイノリティが周りにいるか否か 60-70代																	
周りにいない	33	45	115	93	29	315	33	45	115	93	286						
	10.5%	14.3%	36.5%	29.5%	9.2%	100.0%	11.5%	15.7%	40.2%	32.5%	100.0%						
わからない	19	30	51	19	4	123	19	30	51	19	119						
	15.4%	24.4%	41.5%	15.4%	3.3%	100.0%	16.0%	25.2%	42.9%	16.0%	100.0%	$\chi^2 = 23.38$					
いる	5	3	2	2	1	13	5	3	2	2	12						
	38.5%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	100.0%	41.7%	25.0%	16.7%	16.7%	100.0%	$p = .0007$					
無回答	2	1	3	3	8	17	2	1	3	3	17						
	11.8%	5.9%	17.6%	17.6%	47.1%	100.0%	11.8%	5.9%	17.6%	17.6%	47.1%						
計	59	79	171	117	42	468	57	78	168	114	417						
	12.6%	16.9%	36.5%	25.0%	9.0%	100.0%	13.7%	18.7%	40.3%	27.3%	100.0%						

- a. 【周りにいない】：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても「いない」と回答した人（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- b. 【わからない】：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と答えている回答者等の人（aとc以外のすべての組み合わせ）
- c. 【いる】：同性愛者または性別を変えた人の少なくともどちらか一方に「いる」と答えた人
- d. 無回答：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても回答しなかった人

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(職場の同僚)

	性的マイノリティが周りにいるか否か					性的マイノリティが周りにいるか否か					カイ二乗検定	カイ二乗検定		
	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば	どちらかといえば	嫌だ		計	嫌ではない	嫌だ
性的マイノリティが周りにいるか否か														
周りにいない ^a	156	157	180	124	39	656	156	157	180	124	617	313	304	617
	23.8%	23.9%	27.4%	18.9%	5.9%	100.0%	25.3%	25.4%	29.2%	20.1%	100.0%	50.7%	49.3%	100.0%
わからない ^b	182	151	117	30	17	497	182	151	117	30	480	333	147	480
	36.6%	30.4%	23.5%	6.0%	3.4%	100.0%	37.9%	31.5%	24.4%	6.3%	100.0%	69.4%	30.6%	100.0%
いる ^c	50	18	6	1	2	77	50	18	6	1	75	68	7	75
	64.9%	23.4%	7.8%	1.3%	2.6%	100.0%	66.7%	24.0%	8.0%	1.3%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%
無回答 ^d	6	7	2	3	11	29								
	20.7%	24.1%	6.9%	10.3%	37.9%	100.0%								
計	394	333	305	158	69	1,259	388	326	303	155	1,172	714	458	1,172
	31.3%	26.4%	24.2%	12.5%	5.5%	100.0%	33.1%	27.8%	25.9%	13.2%	100.0%	60.9%	39.1%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 20-30代														
周りにいない	56	35	24	10	2	127	56	35	24	10	125	91	34	125
	44.1%	27.6%	18.9%	7.9%	1.6%	100.0%	44.8%	28.0%	19.2%	8.0%	100.0%	72.8%	27.2%	100.0%
わからない	89	42	19	5	4	159	89	42	19	5	155	131	24	155
	56.0%	26.4%	11.9%	3.1%	2.5%	100.0%	57.4%	27.1%	12.3%	3.2%	100.0%	84.5%	15.5%	100.0%
いる	33	8	1	0	1	43	33	8	1	0	42	41	1	42
	76.7%	18.6%	2.3%	0.0%	2.3%	100.0%	78.6%	19.0%	2.4%	0.0%	100.0%	97.6%	2.4%	100.0%
無回答	2	3	0	0	1	6								
	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%								
計	180	88	44	15	8	335	178	85	44	15	322	263	59	322
	53.7%	26.3%	13.1%	4.5%	2.4%	100.0%	55.3%	26.4%	13.7%	4.7%	100.0%	81.7%	18.3%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 40-50代														
周りにいない	66	62	48	31	7	214	66	62	48	31	207	128	79	207
	30.8%	29.0%	22.4%	14.5%	3.3%	100.0%	31.9%	30.0%	23.2%	15.0%	100.0%	61.8%	38.2%	100.0%
わからない	74	78	44	11	8	215	74	78	44	11	207	152	55	207
	34.4%	36.3%	20.5%	5.1%	3.7%	100.0%	35.7%	37.7%	21.3%	5.3%	100.0%	73.4%	26.6%	100.0%
いる	13	7	1	0	0	21	13	7	1	0	21	20	1	21
	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	100.0%	95.2%	4.8%	100.0%
無回答	1	1	0	2	2	6								
	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%								
計	154	148	93	44	17	456	153	147	93	42	435	300	135	435
	33.8%	32.5%	20.4%	9.6%	3.7%	100.0%	35.2%	33.8%	21.4%	9.7%	100.0%	69.0%	31.0%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 60-70代														
周りにいない	34	60	108	83	30	315	34	60	108	83	285	94	191	285
	10.8%	19.0%	34.3%	26.3%	9.5%	100.0%	11.9%	21.1%	37.9%	29.1%	100.0%	33.0%	67.0%	100.0%
わからない	19	31	54	14	5	123	19	31	54	14	118	50	68	118
	15.4%	25.2%	43.9%	11.4%	4.1%	100.0%	16.1%	26.3%	45.8%	11.9%	100.0%	42.4%	57.6%	100.0%
いる	4	3	4	1	1	13	4	3	4	1	12	7	5	12
	30.8%	23.1%	30.8%	7.7%	7.7%	100.0%	33.3%	25.0%	33.3%	8.3%	100.0%	58.3%	41.7%	100.0%
無回答	3	3	2	1	8	17								
	17.6%	17.6%	11.8%	5.9%	47.1%	100.0%								
計	60	97	168	99	44	468	57	94	166	98	415	151	264	415
	12.8%	20.7%	35.9%	21.2%	9.4%	100.0%	13.7%	22.7%	40.0%	23.6%	100.0%	36.4%	63.6%	100.0%

- a. 【周りにいない】：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても「いない」と回答した人（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- b. 【わからない】：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と答えている回答者等の人（aとc以外のすべての組み合わせ）
- c. 【いる】：同性愛者または性別を変えた人の少なくともどちらか一方が「いる」と答えた人
- d. 無回答：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても回答しなかった人

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(1) 以下の人が同性愛者だったら、あなたはどう思いますか。(自分の子ども)

	ど ちら か と い え ば						計	ど ちら か と い え ば						カイニ乗検定	^			カイニ乗検定
	嫌ではない	嫌ではない	嫌ではない	嫌だ	無回答	計		嫌ではない	嫌ではない	嫌ではない	嫌だ	計	嫌ではない		嫌だ	計		
性的マイノリティが周りにいるか否か																		
周りにいない ^a	43	50	163	366	34	656	43	50	163	366	622	93	529	622				
	6.6%	7.6%	24.8%	55.8%	5.2%	100.0%	6.9%	8.0%	26.2%	58.8%	100.0%	15.0%	85.0%	100.0%				
わからない ^b	77	75	155	176	14	497	77	75	155	176	483	152	331	483				
	15.5%	15.1%	31.2%	35.4%	2.8%	100.0%	15.9%	15.5%	32.1%	36.4%	100.0%	31.5%	68.5%	100.0%	$\chi^2 = 74.78$			
いる ^c	25	14	14	22	2	77	25	14	14	22	75	39	36	75				
	32.5%	18.2%	18.2%	28.6%	2.6%	100.0%	33.3%	18.7%	18.7%	29.3%	100.0%	52.0%	48.0%	100.0%	$p < .0001$			
無回答 ^d	2	1	5	10	11	29												
	6.9%	3.4%	17.2%	34.5%	37.9%	100.0%												
計	147	140	337	574	61	1,259	145	139	332	564	1,180	284	896	1,180				
	11.7%	11.1%	26.8%	45.6%	4.8%	100.0%	12.3%	11.8%	28.1%	47.8%	100.0%	24.1%	75.9%	100.0%				
性的マイノリティが周りにいるか否か 20-30代																		
周りにいない	16	12	46	51	2	127	16	12	46	51	125	28	97	125				
	12.6%	9.4%	36.2%	40.2%	1.6%	100.0%	12.8%	9.6%	36.8%	40.8%	100.0%	22.4%	77.6%	100.0%				
わからない	37	31	51	35	5	159	37	31	51	35	154	68	86	154				
	23.3%	19.5%	32.1%	22.0%	3.1%	100.0%	24.0%	20.1%	33.1%	22.7%	100.0%	44.2%	55.8%	100.0%	$\chi^2 = 29.80$			
いる	19	9	6	8	1	43	19	9	6	8	42	28	14	42				
	44.2%	20.9%	14.0%	18.6%	2.3%	100.0%	45.2%	21.4%	14.3%	19.0%	100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	$p < .0001$			
無回答	0	0	4	1	1	6												
	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	100.0%												
計	72	52	107	95	9	335	72	52	103	94	321	124	197	321				
	21.5%	15.5%	31.9%	28.4%	2.7%	100.0%	22.4%	16.2%	32.1%	29.3%	100.0%	38.6%	61.4%	100.0%				
性的マイノリティが周りにいるか否か 40-50代																		
周りにいない	17	23	55	109	10	214	17	23	55	109	204	40	164	204				
	7.9%	10.7%	25.7%	50.9%	4.7%	100.0%	8.3%	11.3%	27.0%	53.4%	100.0%	19.6%	80.4%	100.0%				
わからない	32	30	73	75	5	215	32	30	73	75	210	62	148	210				
	14.9%	14.0%	34.0%	34.9%	2.3%	100.0%	15.2%	14.3%	34.8%	35.7%	100.0%	29.5%	70.5%	100.0%	$\chi^2 = 8.84$			
いる	5	4	4	8	0	21	5	4	4	8	21	9	12	21				
	23.8%	19.0%	19.0%	38.1%	0.0%	100.0%	23.8%	19.0%	19.0%	38.1%	100.0%	42.9%	57.1%	100.0%	$p = .0120$			
無回答	1	0	0	3	2	6												
	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	100.0%												
計	55	57	132	195	17	456	54	57	132	192	435	111	324	435				
	12.1%	12.5%	28.9%	42.8%	3.7%	100.0%	12.4%	13.1%	30.3%	44.1%	100.0%	25.5%	74.5%	100.0%				
性的マイノリティが周りにいるか否か 60-70代																		
周りにいない	10	15	62	206	22	315	10	15	62	206	293	25	268	293				
	3.2%	4.8%	19.7%	65.4%	7.0%	100.0%	3.4%	5.1%	21.2%	70.3%	100.0%	8.5%	91.5%	100.0%				
わからない	8	14	31	66	4	123	8	14	31	66	119	22	97	119				
	6.5%	11.4%	25.2%	53.7%	3.3%	100.0%	6.7%	11.8%	26.1%	55.5%	100.0%	18.5%	81.5%	100.0%	$\chi^2 = 8.52$			
いる	1	1	4	6	1	13	1	1	4	6	12	2	10	12				
	7.7%	7.7%	30.8%	46.2%	7.7%	100.0%	8.3%	8.3%	33.3%	50.0%	100.0%	16.7%	83.3%	100.0%	$p = .0141$			
無回答	1	1	1	6	8	17												
	5.9%	5.9%	5.9%	35.3%	47.1%	100.0%												
計	20	31	98	284	35	468	19	30	97	278	424	49	375	424				
	4.3%	6.6%	20.9%	60.7%	7.5%	100.0%	4.5%	7.1%	22.9%	65.6%	100.0%	11.6%	88.4%	100.0%				

- a. 【周りにいない】：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても「いない」と回答した人（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- b. 【わからない】：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と答えている回答者等の人（aとc以外のすべての組み合わせ）
- c. 【いる】：同性愛者または性別を変えた人の少なくともどちらか一方が「いる」と答えた人
- d. 無回答：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても回答しなかった人

問25 あなたのお気持ちにもっとも近いものを選んで○をつけてください。

(2) 以下の人が性別を変えた人だったら、あなたはどう思いますか。(自分の子ども)

	性的マイノリティが周りにいるか否か						性的マイノリティが周りにいるか否か					性的マイノリティが周りにいるか否か			
	嫌ではない	どちらかといえば嫌ではない	どちらかといえば嫌だ	嫌だ	無回答	計	嫌ではない	どちらかといえば嫌ではない	どちらかといえば嫌だ	嫌だ	計	カイ二乗検定	嫌ではない	嫌だ	計
性的マイノリティが周りにいるか否か															
周りにいない ^a	58	62	152	348	36	656	58	62	152	348	620		120	500	620
	8.8%	9.5%	23.2%	53.0%	5.5%	100.0%	9.4%	10.0%	24.5%	56.1%	100.0%		19.4%	80.6%	100.0%
わからない ^b	85	68	156	172	16	497	85	68	156	172	481		153	328	481
	17.1%	13.7%	31.4%	34.6%	3.2%	100.0%	17.7%	14.1%	32.4%	35.8%	100.0%	$\chi^2 = 70.04$	31.8%	68.2%	100.0%
いる ^c	23	12	19	21	2	77	23	12	19	21	75		35	40	75
	29.9%	15.6%	24.7%	27.3%	2.6%	100.0%	30.7%	16.0%	25.3%	28.0%	100.0%	$p < .0001$	46.7%	53.3%	100.0%
無回答 ^d	2	0	6	10	11	29									
	6.9%	0.0%	20.7%	34.5%	37.9%	100.0%									
計	168	142	333	551	65	1,259	166	142	327	541	1,176		308	868	1,176
	13.3%	11.3%	26.4%	43.8%	5.2%	100.0%	14.1%	12.1%	27.8%	46.0%	100.0%		26.2%	73.8%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 20-30代															
周りにいない	20	13	40	52	2	127	20	13	40	52	125		33	92	125
	15.7%	10.2%	31.5%	40.9%	1.6%	100.0%	16.0%	10.4%	32.0%	41.6%	100.0%		26.4%	73.6%	100.0%
わからない	45	26	48	35	5	159	45	26	48	35	154		71	83	154
	28.3%	16.4%	30.2%	22.0%	3.1%	100.0%	29.2%	16.9%	31.2%	22.7%	100.0%	$\chi^2 = 21.94$	46.1%	53.9%	100.0%
いる	16	8	11	7	1	43	16	8	11	7	42		24	18	42
	37.2%	18.6%	25.6%	16.3%	2.3%	100.0%	38.1%	19.0%	26.2%	16.7%	100.0%	$p = .0012$	57.1%	42.9%	100.0%
無回答	0	0	3	2	1	6									
	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%									
計	81	47	102	96	9	335	81	47	99	94	321		128	193	321
	24.2%	14.0%	30.4%	28.7%	2.7%	100.0%	25.2%	14.6%	30.8%	29.3%	100.0%		39.9%	60.1%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 40-50代															
周りにいない	18	32	53	102	9	214	18	32	53	102	205		50	155	205
	8.4%	15.0%	24.8%	47.7%	4.2%	100.0%	8.8%	15.6%	25.9%	49.8%	100.0%		24.4%	75.6%	100.0%
わからない	31	28	74	74	8	215	31	28	74	74	207		59	148	207
	14.4%	13.0%	34.4%	34.4%	3.7%	100.0%	15.0%	13.5%	35.7%	35.7%	100.0%	$\chi^2 = 16.64$	28.5%	71.5%	100.0%
いる	6	2	5	8	0	21	6	2	5	8	21		8	13	21
	28.6%	9.5%	23.8%	38.1%	0.0%	100.0%	28.6%	9.5%	23.8%	38.1%	100.0%	$p = .0107$	38.1%	61.9%	100.0%
無回答	1	0	0	3	2	6									
	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	100.0%									
計	56	62	132	187	19	456	55	62	132	184	433		117	316	433
	12.3%	13.6%	28.9%	41.0%	4.2%	100.0%	12.7%	14.3%	30.5%	42.5%	100.0%		27.0%	73.0%	100.0%
性的マイノリティが周りにいるか否か 60-70代															
周りにいない	20	17	59	194	25	315	20	17	59	194	290		37	253	290
	6.3%	5.4%	18.7%	61.6%	7.9%	100.0%	6.9%	5.9%	20.3%	66.9%	100.0%		12.8%	87.2%	100.0%
わからない	9	14	34	63	3	123	9	14	34	63	120		23	97	120
	7.3%	11.4%	27.6%	51.2%	2.4%	100.0%	7.5%	11.7%	28.3%	52.5%	100.0%	$\chi^2 = 10.50$	19.2%	80.8%	100.0%
いる	1	2	3	6	1	13	1	2	3	6	12		3	9	12
	7.7%	15.4%	23.1%	46.2%	7.7%	100.0%	8.3%	16.7%	25.0%	50.0%	100.0%	$p = .1053$	25.0%	75.0%	100.0%
無回答	1	0	3	5	8	17									
	5.9%	0.0%	17.6%	29.4%	47.1%	100.0%									
計	31	33	99	268	37	468	30	33	96	263	422		63	359	422
	6.6%	7.1%	21.2%	57.3%	7.9%	100.0%	7.1%	7.8%	22.7%	62.3%	100.0%		14.9%	85.1%	100.0%

- a. 【周りにいない】：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても「いない」と回答した人（一方に「いない」と回答し、もう一方に無回答の場合も含む）
- b. 【わからない】：どちらについても、「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と回答しているか、一方は「いない」、もう一方は「いないと思う」「そうかもしれない人がある」と答えている回答者等の人（aとc以外のすべての組み合わせ）
- c. 【いる】：同性愛者または性別を変えた人の少なくともどちらか一方が「いる」と答えた人
- d. 無回答：「同性愛者」と「性別を変えた人」のどちらについても回答しなかった人

問26 あなたの仲の良い人が、仮に、同(両)性愛者だったり性別を変えたりした場合についておたずねします。

(ア) 仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある												
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	計	カイ二乗検定
性別												
男性	137	244	106	74	24	585	137	244	106	74	561	$\chi^2 = 62.28$
女性	112	177	183	162	40	674	112	177	183	162	634	$\chi^2 = 59.35$
計	249	421	289	236	64	1,259	249	421	289	236	1,195	$p < .0001$
年代												
20-30代	28	90	97	114	6	335	28	90	97	114	329	
40-50代	61	173	121	84	17	456	61	173	121	84	439	
60-70代	160	158	71	38	41	468	160	158	71	38	427	$\chi^2 = 177.69$
計	249	421	289	236	64	1,259	249	421	289	236	1,195	$p < .0001$
	19.8%	33.4%	23.0%	18.7%	5.1%	100.0%	20.8%	35.2%	24.2%	19.7%	100.0%	
	8.4%	26.9%	29.0%	34.0%	1.8%	100.0%	8.5%	27.4%	29.5%	34.7%	100.0%	
	13.4%	37.9%	26.5%	18.4%	3.7%	100.0%	13.9%	39.4%	27.6%	19.1%	100.0%	$\chi^2 = 177.69$
	34.2%	33.8%	15.2%	8.1%	8.8%	100.0%	37.5%	37.0%	16.6%	8.9%	100.0%	$p < .0001$
	19.8%	33.4%	23.0%	18.7%	5.1%	100.0%	20.8%	35.2%	24.2%	19.7%	100.0%	
	56.1%	54.4%	100.0%				45.6%	54.4%	100.0%			$p < .0001$
	35.9%	64.1%	100.0%				35.9%	64.1%	100.0%			
	53.3%	46.7%	100.0%				53.3%	46.7%	100.0%			$\chi^2 = 114.60$
	74.5%	25.5%	100.0%				74.5%	25.5%	100.0%			$p < .0001$
	56.1%	43.9%	100.0%				56.1%	43.9%	100.0%			

(イ) 仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある												
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	計	カイ二乗検定
性別												
男性	107	197	145	110	26	585	107	197	145	110	559	$\chi^2 = 0.63$
女性	116	215	169	134	40	674	116	215	169	134	634	$p = .8890$
計	223	412	314	244	66	1,259	223	412	314	244	1,193	
年代												
20-30代	19	94	94	122	6	335	19	94	94	122	329	
40-50代	58	160	137	85	16	456	58	160	137	85	440	
60-70代	146	158	83	37	44	468	146	158	83	37	424	$\chi^2 = 182.56$
計	223	412	314	244	66	1,259	223	412	314	244	1,193	$p < .0001$
	17.7%	32.7%	24.9%	19.4%	5.2%	100.0%	18.7%	34.5%	26.3%	20.5%	100.0%	
	5.7%	28.1%	28.1%	36.4%	1.8%	100.0%	5.8%	28.6%	28.6%	37.1%	100.0%	
	12.7%	35.1%	30.0%	18.6%	3.5%	100.0%	13.2%	36.4%	31.1%	19.3%	100.0%	$\chi^2 = 182.56$
	31.2%	33.8%	17.7%	7.9%	9.4%	100.0%	34.4%	37.3%	19.6%	8.7%	100.0%	$p < .0001$
	17.7%	32.7%	24.9%	19.4%	5.2%	100.0%	18.7%	34.5%	26.3%	20.5%	100.0%	
	53.2%	46.8%	100.0%				53.2%	46.8%	100.0%			$p = .4883$
	61.9%	45.6%	100.0%				61.9%	45.6%	100.0%			$\chi^2 = 0.48$
	49.5%	50.5%	100.0%				49.5%	50.5%	100.0%			$\chi^2 = 107.61$
	71.7%	28.3%	100.0%				71.7%	28.3%	100.0%			$p < .0001$
	53.2%	46.8%	100.0%				53.2%	46.8%	100.0%			

(ウ) 仲の良い男性の友人が両性愛者(男女両方に恋愛感情を抱く男性)だとわかったら抵抗がある												
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	計	カイ二乗検定
性別												
男性	118	228	136	77	26	585	118	228	136	77	559	$\chi^2 = 24.00$
女性	117	192	181	141	43	674	117	192	181	141	631	$p < .0001$
計	235	420	317	218	69	1,259	235	420	317	218	1,190	
年代												
20-30代	20	95	105	109	6	335	20	95	105	109	329	
40-50代	65	157	143	73	18	456	65	157	143	73	438	
60-70代	143	168	69	36	45	468	143	168	69	36	423	$\chi^2 = 184.15$
計	235	420	317	218	69	1,259	235	420	317	218	1,190	$p < .0001$
	18.7%	33.4%	25.2%	17.3%	5.5%	100.0%	19.7%	35.3%	26.6%	18.3%	100.0%	
	6.0%	28.4%	31.3%	32.5%	1.8%	100.0%	6.1%	28.9%	31.9%	33.1%	100.0%	
	14.3%	34.4%	31.4%	16.0%	3.9%	100.0%	14.8%	35.8%	32.6%	16.7%	100.0%	$\chi^2 = 184.15$
	32.1%	35.9%	14.7%	7.7%	9.6%	100.0%	35.5%	39.7%	16.3%	8.5%	100.0%	$p < .0001$
	18.7%	33.4%	25.2%	17.3%	5.5%	100.0%	19.7%	35.3%	26.6%	18.3%	100.0%	
	55.0%	45.0%	100.0%				55.0%	45.0%	100.0%			$\chi^2 = 19.50$
	61.9%	38.1%	100.0%				61.9%	38.1%	100.0%			$\chi^2 = 19.50$
	49.0%	51.0%	100.0%				49.0%	51.0%	100.0%			$p < .0001$
	55.0%	45.0%	100.0%				55.0%	45.0%	100.0%			

(エ) 仲の良い女性の友人が両性愛者(男女両方に恋愛感情を抱く女性)だとわかったら抵抗がある												
	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	無回答	計	そう思う	どちらか思う	どちらか思わない	そう思わない	計	カイ二乗検定
性別												
男性	101	186	160	107	31	585	101	186	160	107	554	$\chi^2 = 0.67$
女性	117	214	170	130	43	674	117	214	170	130	631	$p = .8805$
計	218	400	330	237	74	1,259	218	400	330	237	1,185	
年代												
20-30代	18	88	102	120	7	335	18	88	102	120	328	
40-50代	61	148	150	80	17	456	61	148	150	80	439	
60-70代	139	164	78	37	50	468	139	164	78	37	418	$\chi^2 = 185.07$
計	218	400	330	237	74	1,259	218	400	330	237	1,185	$p < .0001$
	17.3%	31.8%	26.2%	18.8%	5.9%	100.0%	18.4%	33.8%	27.8%	20.0%	100.0%	
	5.4%	26.3%	30.4%	35.8%	2.1%	100.0%	5.5%	26.8%	31.1%	36.6%	100.0%	
	13.4%	32.5%	32.9%	17.5%	3.7%	100.0%	13.9%	33.7%	34.2%	18.2%	100.0%	$\chi^2 = 185.07$
	29.7%	35.0%	16.7%	7.9%	10.7%	100.0%	33.3%	39.2%	18.7%	8.9%	100.0%	$p < .0001$
	17.3%	31.8%	26.2%	18.8%	5.9%	100.0%	18.4%	33.8%	27.8%	20.0%	100.0%	
	52.2%	47.5%	100.0%				52.2%	47.5%	100.0%			$p = .8684$
	51.8%	48.2%	100.0%				51.8%	48.2%	100.0%			$\chi^2 = 0.03$
	47.5%	47.5%	100.0%				47.5%	47.5%	100.0%			$p = .8684$
	52.2%	47.8%	100.0%				52.2%	47.8%	100.0%			

本文では、各々の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【抵抗がある】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【抵抗がない】と表記している。

問26 あなたの仲の良い人が、仮に、同（両）性愛者だったり性別を変えたりした場合についておたずねします。

(オ) 仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら抵抗がある

	ど ち そ う 思 う	ど ち ら か 思 う い え ば	ど ち ら か 思 わ な い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	計	ど ち ら か 思 う い え ば	ど ち ら か 思 わ な い え ば	そ う 思 わ な い	計	カイ 二 乗 検 定	ハ そ う 思 う V	ハ そ う 思 わ な い V	計	カイ 二 乗 検 定		
性別																	
男性	142	197	132	89	25	585	142	197	132	89	560			339	221	560	
	24.3%	33.7%	22.6%	15.2%	4.3%	100.0%	25.4%	35.2%	23.6%	15.9%	100.0%	$\chi^2 = 25.87$		60.5%	39.5%	100.0%	$\chi^2 = 23.91$
女性	112	181	193	148	40	674	112	181	193	148	634			293	341	634	
	16.6%	26.9%	28.6%	22.0%	5.9%	100.0%	17.7%	28.5%	30.4%	23.3%	100.0%	$p < .0001$		46.2%	53.8%	100.0%	$p < .0001$
年代																	
20-30代	30	87	104	108	6	335	30	87	104	108	329			117	212	329	
	9.0%	26.0%	31.0%	32.2%	1.8%	100.0%	9.1%	26.4%	31.6%	32.8%	100.0%			35.6%	64.4%	100.0%	
40-50代	64	144	148	85	15	456	64	144	148	85	441			208	233	441	
	14.0%	31.6%	32.5%	18.6%	3.3%	100.0%	14.5%	32.7%	33.6%	19.3%	100.0%	$\chi^2 = 162.10$		47.2%	52.8%	100.0%	$\chi^2 = 110.27$
60-70代	160	147	73	44	44	468	160	147	73	44	424			307	117	424	
	34.2%	31.4%	15.6%	9.4%	9.4%	100.0%	37.7%	34.7%	17.2%	10.4%	100.0%	$p < .0001$		72.4%	27.6%	100.0%	$p < .0001$
計	254	378	325	237	65	1,259	254	378	325	237	1,194			632	562	1,194	
	20.2%	30.0%	25.8%	18.8%	5.2%	100.0%	21.3%	31.7%	27.2%	19.8%	100.0%			52.9%	47.1%	100.0%	

(カ) 仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら抵抗がある

	ど ち そ う 思 う	ど ち ら か 思 う い え ば	ど ち ら か 思 わ な い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	計	ど ち ら か 思 う い え ば	ど ち ら か 思 わ な い え ば	そ う 思 わ な い	計	カイ 二 乗 検 定	ハ そ う 思 う V	ハ そ う 思 わ な い V	計	カイ 二 乗 検 定		
性別																	
男性	134	194	133	97	27	585	134	194	133	97	558			328	230	558	
	22.9%	33.2%	22.7%	16.6%	4.6%	100.0%	24.0%	34.8%	23.8%	17.4%	100.0%	$\chi^2 = 15.15$		58.8%	41.2%	100.0%	$\chi^2 = 14.56$
女性	120	181	188	144	41	674	120	181	188	144	633			301	332	633	
	17.8%	26.9%	27.9%	21.4%	6.1%	100.0%	19.0%	28.6%	29.7%	22.7%	100.0%	$p = .0017$		47.6%	52.4%	100.0%	$p = .0001$
年代																	
20-30代	31	88	99	111	6	335	31	88	99	111	329			119	210	329	
	9.3%	26.3%	29.6%	33.1%	1.8%	100.0%	9.4%	26.7%	30.1%	33.7%	100.0%			36.2%	63.8%	100.0%	
40-50代	66	142	147	86	15	456	66	142	147	86	441			208	233	441	
	14.5%	31.1%	32.2%	18.9%	3.3%	100.0%	15.0%	32.2%	33.3%	19.5%	100.0%	$\chi^2 = 154.72$		47.2%	52.8%	100.0%	$\chi^2 = 102.69$
60-70代	157	145	75	44	47	468	157	145	75	44	421			302	119	421	
	33.5%	31.0%	16.0%	9.4%	10.0%	100.0%	37.3%	34.4%	17.8%	10.5%	100.0%	$p < .0001$		71.7%	28.3%	100.0%	$p < .0001$
計	254	375	321	241	68	1,259	254	375	321	241	1,191			629	562	1,191	
	20.2%	29.8%	25.5%	19.1%	5.4%	100.0%	21.3%	31.5%	27.0%	20.2%	100.0%			52.8%	47.2%	100.0%	

本文では、各々の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【抵抗がある】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【抵抗がない】と表記している。

問29(エ) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしいと 問26(ア) 仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある のクロス集計

		問26(ア) 仲の良い男性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問29(エ) 男性が男性に恋愛感情を 抱くのはおかしい	<そう思う>	458	80	538	$\chi^2 = 335.14$ $p < .0001$
	<そう思わない>	205	438	643	
計		663	518	1,181	
		56.1%	43.9%	100.0%	

問29(オ) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしいと 問26(イ) 仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある のクロス集計

		問26(イ) 仲の良い女性の友人が同性愛者だとわかったら抵抗がある			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問29(オ) 女性が女性に恋愛感情を 抱くのはおかしい	<そう思う>	396	85	481	$\chi^2 = 273.05$ $p < .0001$
	<そう思わない>	232	465	697	
計		628	550	1,178	
		53.3%	46.7%	100.0%	

問30(ア) 性別を男性から女性に変えるのはおかしいと 問26(オ) 仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら抵抗がある のクロス集計

		問26(オ) 仲の良い友人が性別を男性から女性に変えたら抵抗がある			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問30(ア) 性別を男性から女性に 変えるのはおかしい	<そう思う>	428	87	515	$\chi^2 = 338.93$ $p < .0001$
	<そう思わない>	183	458	641	
計		611	545	1,156	
		52.9%	47.1%	100.0%	

問30(イ) 性別を女性から男性に変えるのはおかしいと 問26(カ) 仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら抵抗がある のクロス集計

		問26(カ) 仲の良い友人が性別を女性から男性に変えたら抵抗がある			カイ二乗検定
		<そう思う>	<そう思わない>	計	
問30(イ) 性別を女性から男性に 変えるのはおかしい	<そう思う>	420	93	513	$\chi^2 = 311.66$ $p < .0001$
	<そう思わない>	189	452	641	
計		609	545	1,154	
		52.8%	47.2%	100.0%	

本文では、問26(ア)(イ)(オ)(カ)に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【抵抗がある】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【抵抗がない】と表記している。
また、問29(エ)(オ)問30(ア)(イ)の設問に対する回答のうち「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を【おかしい】に、そして「3. どちらかといえばそう思わない」と「4. そう思わない」を【おかしくない】と表記している。

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いませんか。

〔仲の良い同性からの場合〕

①言ってくれてうれしい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	378	161	46	585	378	161	539	$\chi^2 = 34.96$
女性	325	289	60	674	325	289	614	
計	703	450	106	1,259	703	450	1,153	p < .0001
年代								$\chi^2 = 36.09$
20-30代	158	166	11	335	158	166	324	
40-50代	263	167	26	456	263	167	430	
60-70代	282	117	69	468	282	117	399	p < .0001
計	703	450	106	1,259	703	450	1,153	
	55.8%	35.7%	8.4%	100.0%	61.0%	39.0%	100.0%	

②理解したい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	234	305	46	585	234	305	539	$\chi^2 = 29.83$
女性	171	443	60	674	171	443	614	
計	405	748	106	1,259	405	748	1,153	p < .0001
年代								$\chi^2 = 84.87$
20-30代	79	245	11	335	79	245	324	
40-50代	115	315	26	456	115	315	430	
60-70代	211	188	69	468	211	188	399	p < .0001
計	405	748	106	1,259	405	748	1,153	
	32.2%	59.4%	8.4%	100.0%	35.1%	64.9%	100.0%	

③かわいそう

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	483	56	46	585	483	56	539	$\chi^2 = 0.67$
女性	560	54	60	674	560	54	614	
計	1,043	110	106	1,259	1,043	110	1,153	p = .4126
年代								$\chi^2 = 64.33$
20-30代	312	12	11	335	312	12	324	
40-50代	408	22	26	456	408	22	430	
60-70代	323	76	69	468	323	76	399	p < .0001
計	1,043	110	106	1,259	1,043	110	1,153	
	82.8%	8.7%	8.4%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	

④同情する

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	453	86	46	585	453	86	539	$\chi^2 = 7.28$
女性	550	64	60	674	550	64	614	
計	1,003	150	106	1,259	1,003	150	1,153	p = .0070
年代								$\chi^2 = 31.58$
20-30代	304	20	11	335	304	20	324	
40-50代	380	50	26	456	380	50	430	
60-70代	319	80	69	468	319	80	399	p < .0001
計	1,003	150	106	1,259	1,003	150	1,153	
	79.7%	11.9%	8.4%	100.0%	87.0%	13.0%	100.0%	

〔仲の良い異性からの場合〕

①言ってくれてうれしい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	355	179	51	585	355	179	534	$\chi^2 = 9.40$
女性	347	257	70	674	347	257	604	
計	702	436	121	1,259	702	436	1,138	p = .0022
年代								$\chi^2 = 41.05$
20-30代	159	165	11	335	159	165	324	
40-50代	263	165	28	456	263	165	428	
60-70代	280	106	82	468	280	106	386	p < .0001
計	702	436	121	1,259	702	436	1,138	
	55.8%	34.6%	9.6%	100.0%	61.7%	38.3%	100.0%	

②理解したい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	215	319	51	585	215	319	534	$\chi^2 = 6.54$
女性	198	406	70	674	198	406	604	
計	413	725	121	1,259	413	725	1,138	p = .0105
年代								$\chi^2 = 85.37$
20-30代	85	239	11	335	85	239	324	
40-50代	117	311	28	456	117	311	428	
60-70代	211	175	82	468	211	175	386	p < .0001
計	413	725	121	1,259	413	725	1,138	
	32.8%	57.6%	9.6%	100.0%	36.3%	63.7%	100.0%	

③かわいそう

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	466	68	51	585	466	68	534	$\chi^2 = 14.86$
女性	568	36	70	674	568	36	604	
計	1,034	104	121	1,259	1,034	104	1,138	p = .0001
年代								$\chi^2 = 41.72$
20-30代	307	17	11	335	307	17	324	
40-50代	406	22	28	456	406	22	428	
60-70代	321	65	82	468	321	65	386	p < .0001
計	1,034	104	121	1,259	1,034	104	1,138	
	82.1%	8.3%	9.6%	100.0%	90.9%	9.1%	100.0%	

④同情する

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	439	95	51	585	439	95	534	$\chi^2 = 28.20$
女性	560	44	70	674	560	44	604	
計	999	139	121	1,259	999	139	1,138	p < .0001
年代								$\chi^2 = 26.56$
20-30代	304	20	11	335	304	20	324	
40-50代	381	47	28	456	381	47	428	
60-70代	314	72	82	468	314	72	386	p < .0001
計	999	139	121	1,259	999	139	1,138	
	79.3%	11.0%	9.6%	100.0%	87.8%	12.2%	100.0%	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

⑤興味が出てくる

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男性	498	41	46	585	498	41	539	$\chi^2 = 1.89$
女性	552	62	60	674	552	62	614	
計	1,050	103	106	1,259	1,050	103	1,153	p = .1688
年代								
20-30代	277	47	11	335	277	47	324	$\chi^2 = 27.17$
40-50代	388	42	26	456	388	42	430	
60-70代	385	14	69	468	385	14	399	
計	1,050	103	106	1,259	1,050	103	1,153	p < .0001
	83.4%	8.2%	8.4%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%	

⑥寄り添いたい

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男性	527	12	46	585	527	12	539	$\chi^2 = 34.32$
女性	545	69	60	674	545	69	614	
計	1,072	81	106	1,259	1,072	81	1,153	p < .0001
年代								
20-30代	296	28	11	335	296	28	324	$\chi^2 = 2.26$
40-50代	405	25	26	456	405	25	430	
60-70代	371	28	69	468	371	28	399	
計	1,072	81	106	1,259	1,072	81	1,153	p = .3226
	85.1%	6.4%	8.4%	100.0%	93.0%	7.0%	100.0%	

⑦身の危険を感じる

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男性	482	57	46	585	482	57	539	$\chi^2 = 4.64$
女性	572	42	60	674	572	42	614	
計	1,054	99	106	1,259	1,054	99	1,153	p = .0313
年代								
20-30代	283	41	11	335	283	41	324	$\chi^2 = 10.99$
40-50代	395	35	26	456	395	35	430	
60-70代	376	23	69	468	376	23	399	
計	1,054	99	106	1,259	1,054	99	1,153	p = .0041
	83.7%	7.9%	8.4%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%	

⑧気持ち悪い

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
計	987	166	106	1,259	987	166	1,153	
性別								
男性	424	115	46	585	424	115	539	$\chi^2 = 38.49$
女性	563	51	60	674	563	51	614	
計	987	166	106	1,259	987	166	1,153	p < .0001
年代								
20-30代	303	21	11	335	303	21	324	$\chi^2 = 61.10$
40-50代	386	44	26	456	386	44	430	
60-70代	298	101	69	468	298	101	399	
計	987	166	106	1,259	987	166	1,153	p < .0001
	78.4%	13.2%	8.4%	100.0%	85.6%	14.4%	100.0%	

〔仲の良い異性からの場合〕

⑤興味が出てくる

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男	470	64	51	585	470	64	534	$\chi^2 = 0.30$
女	524	80	70	674	524	80	604	
計	994	144	121	1,259	994	144	1,138	p = .5832
年代								
20-30代	256	68	11	335	256	68	324	$\chi^2 = 54.23$
40-50代	364	64	28	456	364	64	428	
60-70代	374	12	82	468	374	12	386	
計	994	144	121	1,259	994	144	1,138	p < .0001
	79.0%	11.4%	9.6%	100.0%	87.3%	12.7%	100.0%	

⑥寄り添いたい

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男	519	15	51	585	519	15	534	$\chi^2 = 19.91$
女	547	57	70	674	547	57	604	
計	1,066	72	121	1,259	1,066	72	1,138	p < .0001
年代								
20-30代	299	25	11	335	299	25	324	$\chi^2 = 1.48$
40-50代	403	25	28	456	403	25	428	
60-70代	364	22	82	468	364	22	386	
計	1,066	72	121	1,259	1,066	72	1,138	p = .4767
	84.7%	5.7%	9.6%	100.0%	93.7%	6.3%	100.0%	

⑦身の危険を感じる

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男	522	12	51	585	522	12	534	$\chi^2 = 0.00$
女	591	13	70	674	591	13	604	
計	1,113	25	121	1,259	1,113	25	1,138	p = 1.0000
年代								
20-30代	321	3	11	335	321	3	324	$\chi^2 = 4.92$
40-50代	419	9	28	456	419	9	428	
60-70代	373	13	82	468	373	13	386	
計	1,113	25	121	1,259	1,113	25	1,138	p = .0856
	88.4%	2.0%	9.6%	100.0%	97.8%	2.2%	100.0%	

⑧気持ち悪い

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
計	1,001	137	121	1,259	1,001	137	1,138	
性別								
男	469	65	51	585	469	65	534	$\chi^2 = 0.00$
女	532	72	70	674	532	72	604	
計	1,001	137	121	1,259	1,001	137	1,138	p = .9689
年代								
20-30代	312	12	11	335	312	12	324	$\chi^2 = 62.95$
40-50代	389	39	28	456	389	39	428	
60-70代	300	86	82	468	300	86	386	
計	1,001	137	121	1,259	1,001	137	1,138	p < .0001
	79.5%	10.9%	9.6%	100.0%	88.0%	12.0%	100.0%	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになるとお考えですか。

〔仲の良い同性からの場合〕

⑨迷惑だ

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	478	61	46	585	478	61	539	$\chi^2 = 28.80$
女性	595	19	60	674	595	19	614	
計	1,073	80	106	1,259	1,073	80	1,153	$p < .0001$
年代								
20-30代	320	4	11	335	320	4	324	$\chi^2 = 48.10$
40-50代	409	21	26	456	409	21	430	
60-70代	344	55	69	468	344	55	399	
計	1,073	80	106	1,259	1,073	80	1,153	$p < .0001$
	85.2%	6.4%	8.4%	100.0%	93.1%	6.9%	100.0%	

⑩大変なことになった

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	440	99	46	585	440	99	539	$\chi^2 = 0.73$
女性	514	100	60	674	514	100	614	
計	954	199	106	1,259	954	199	1,153	$p = .3927$
年代								
20-30代	279	45	11	335	279	45	324	$\chi^2 = 3.59$
40-50代	350	80	26	456	350	80	430	
60-70代	325	74	69	468	325	74	399	
計	954	199	106	1,259	954	199	1,153	$p = .1665$
	75.8%	15.8%	8.4%	100.0%	82.7%	17.3%	100.0%	

⑪自分なら治してあげられる

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	529	10	46	585	529	10	539	$\chi^2 = 3.66$
女性	611	3	60	674	611	3	614	
計	1,140	13	106	1,259	1,140	13	1,153	$p = .0557$
年代								
20-30代	324	0	11	335	324	0	324	$\chi^2 = 5.38$
40-50代	424	6	26	456	424	6	430	
60-70代	392	7	69	468	392	7	399	
計	1,140	13	106	1,259	1,140	13	1,153	$p = .0679$
	90.5%	1.0%	8.4%	100.0%	98.9%	1.1%	100.0%	

⑫聞かなかったことにしたい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	423	116	46	585	423	116	539	$\chi^2 = 2.83$
女性	507	107	60	674	507	107	614	
計	930	223	106	1,259	930	223	1,153	$p = .0926$
年代								
20-30代	286	38	11	335	286	38	324	$\chi^2 = 27.87$
40-50代	353	77	26	456	353	77	430	
60-70代	291	108	69	468	291	108	399	
計	930	223	106	1,259	930	223	1,153	$p < .0001$
	73.9%	17.7%	8.4%	100.0%	80.7%	19.3%	100.0%	

〔仲の良い異性からの場合〕

⑨迷惑だ

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	490	44	51	585	490	44	534	$\chi^2 = 4.47$
女性	574	30	70	674	574	30	604	
計	1,064	74	121	1,259	1,064	74	1,138	$p = .0345$
年代								
20-30代	319	5	11	335	319	5	324	$\chi^2 = 39.80$
40-50代	408	20	28	456	408	20	428	
60-70代	337	49	82	468	337	49	386	
計	1,064	74	121	1,259	1,064	74	1,138	$p < .0001$
	84.5%	5.9%	9.6%	100.0%	93.5%	6.5%	100.0%	

⑩大変なことになった

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	448	86	51	585	448	86	534	$\chi^2 = 0.76$
女性	519	85	70	674	519	85	604	
計	967	171	121	1,259	967	171	1,138	$p = .3820$
年代								
20-30代	292	32	11	335	292	32	324	$\chi^2 = 10.41$
40-50代	360	68	28	456	360	68	428	
60-70代	315	71	82	468	315	71	386	
計	967	171	121	1,259	967	171	1,138	$p = .0055$
	76.8%	13.6%	9.6%	100.0%	85.0%	15.0%	100.0%	

⑪自分なら治してあげられる

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	524	10	51	585	524	10	534	$\chi^2 = 3.61$
女性	601	3	70	674	601	3	604	
計	1,125	13	121	1,259	1,125	13	1,138	$p = .0574$
年代								
20-30代	324	0	11	335	324	0	324	$\chi^2 = 5.54$
40-50代	422	6	28	456	422	6	428	
60-70代	379	7	82	468	379	7	386	
計	1,125	13	121	1,259	1,125	13	1,138	$p = .0627$
	89.4%	1.0%	9.6%	100.0%	98.9%	1.1%	100.0%	

⑫聞かなかったことにしたい

性別	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
男性	432	102	51	585	432	102	534	$\chi^2 = 0.44$
女性	478	126	70	674	478	126	604	
計	910	228	121	1,259	910	228	1,138	$p = .5054$
年代								
20-30代	289	35	11	335	289	35	324	$\chi^2 = 42.53$
40-50代	351	77	28	456	351	77	428	
60-70代	270	116	82	468	270	116	386	
計	910	228	121	1,259	910	228	1,138	$p < .0001$
	72.3%	18.1%	9.6%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

③どうでもいい

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男性	420 71.8%	119 20.3%	46 7.9%	585 100.0%	420 77.9%	119 22.1%	539 100.0%	$\chi^2 = 27.41$
女性	549 81.5%	65 9.6%	60 8.9%	674 100.0%	549 89.4%	65 10.6%	614 100.0%	$p < .0001$
年代								
20-30代	269 80.3%	55 16.4%	11 3.3%	335 100.0%	269 83.0%	55 17.0%	324 100.0%	
40-50代	360 78.9%	70 15.4%	26 5.7%	456 100.0%	360 83.7%	70 16.3%	430 100.0%	$\chi^2 = 0.69$
60-70代	340 72.6%	59 12.6%	69 14.7%	468 100.0%	340 85.2%	59 14.8%	399 100.0%	$p = .7079$
計	969 77.0%	184 14.6%	106 8.4%	1,259 100.0%	969 84.0%	184 16.0%	1,153 100.0%	

④この中にあてはまるものはない

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男性	528 90.3%	11 1.9%	46 7.9%	585 100.0%	528 98.0%	11 2.0%	539 100.0%	$\chi^2 = 0.01$
女性	600 89.0%	14 2.1%	60 8.9%	674 100.0%	600 97.7%	14 2.3%	614 100.0%	$p = .9396$
年代								
20-30代	319 95.2%	5 1.5%	11 3.3%	335 100.0%	319 98.5%	5 1.5%	324 100.0%	
40-50代	420 92.1%	10 2.2%	26 5.7%	456 100.0%	420 97.7%	10 2.3%	430 100.0%	$\chi^2 = 0.86$
60-70代	389 83.1%	10 2.1%	69 14.7%	468 100.0%	389 97.5%	10 2.5%	399 100.0%	$p = .6499$
計	1,128 89.6%	25 2.0%	106 8.4%	1,259 100.0%	1,128 97.8%	25 2.2%	1,153 100.0%	

〔仲の良い異性からの場合〕

③どうでもいい

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男	396 67.7%	138 23.6%	51 8.7%	585 100.0%	396 74.2%	138 25.8%	534 100.0%	$\chi^2 = 19.81$
女	513 76.1%	91 13.5%	70 10.4%	674 100.0%	513 84.9%	91 15.1%	604 100.0%	$p < .0001$
年代								
20-30代	253 75.5%	71 21.2%	11 3.3%	335 100.0%	253 78.1%	71 21.9%	324 100.0%	
40-50代	348 76.3%	80 17.5%	28 6.1%	456 100.0%	348 81.3%	80 18.7%	428 100.0%	$\chi^2 = 1.19$
60-70代	308 65.8%	78 16.7%	82 17.5%	468 100.0%	308 79.8%	78 20.2%	386 100.0%	$p = .5506$
計	909 72.2%	229 18.2%	121 9.6%	1,259 100.0%	909 79.9%	229 20.1%	1,138 100.0%	

④この中にあてはまるものはない

	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	カイ二乗検定
性別								
男	525 89.7%	9 1.5%	51 8.7%	585 100.0%	525 98.3%	9 1.7%	534 100.0%	$\chi^2 = 1.95$
女	585 86.8%	19 2.8%	70 10.4%	674 100.0%	585 96.9%	19 3.1%	604 100.0%	$p = .1629$
年代								
20-30代	319 95.2%	5 1.5%	11 3.3%	335 100.0%	319 98.5%	5 1.5%	324 100.0%	
40-50代	420 92.1%	10 2.2%	26 5.7%	456 100.0%	420 97.7%	10 2.3%	430 100.0%	$\chi^2 = 5.03$
60-70代	371 79.3%	15 3.2%	82 17.5%	468 100.0%	371 96.1%	15 3.9%	386 100.0%	$p = .0809$
計	1,110 88.2%	28 2.2%	121 9.6%	1,259 100.0%	1,110 97.5%	28 2.5%	1,138 100.0%	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

①言ってくれてうれしい

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	86	53	6	145	86	53		139		
	59.3%	36.6%	4.1%	100.0%	61.9%	38.1%		100.0%		
40-50代	136	62	15	213	136	62		198		
	63.8%	29.1%	7.0%	100.0%	68.7%	31.3%		100.0%	$\chi^2 = 9.58$	
60-70代	156	46	25	227	156	46		202		
	68.7%	20.3%	11.0%	100.0%	77.2%	22.8%		100.0%	$p = .0083$	
計	378	161	46	585	378	161		539		
	64.6%	27.5%	7.9%	100.0%	70.1%	29.9%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	72	113	5	190	72	113		185		
	37.9%	59.5%	2.6%	100.0%	38.9%	61.1%		100.0%		
40-50代	127	105	11	243	127	105		232		
	52.3%	43.2%	4.5%	100.0%	54.7%	45.3%		100.0%	$\chi^2 = 24.50$	
60-70代	126	71	44	241	126	71		197		
	52.3%	29.5%	18.3%	100.0%	64.0%	36.0%		100.0%	$p < .0001$	
計	325	289	60	674	325	289		614		
	48.2%	42.9%	8.9%	100.0%	52.9%	47.1%		100.0%		

②理解したい

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	40	99	6	145	40	99		139		
	27.6%	68.3%	4.1%	100.0%	28.8%	71.2%		100.0%		
40-50代	75	123	15	213	75	123		198		
	35.2%	57.7%	7.0%	100.0%	37.9%	62.1%		100.0%	$\chi^2 = 34.34$	
60-70代	119	83	25	227	119	83		202		
	52.4%	36.6%	11.0%	100.0%	58.9%	41.1%		100.0%	$p < .0001$	
計	234	305	46	585	234	305		539		
	40.0%	52.1%	7.9%	100.0%	43.4%	56.6%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	39	146	5	190	39	146		185		
	20.5%	76.8%	2.6%	100.0%	21.1%	78.9%		100.0%		
40-50代	40	192	11	243	40	192		232		
	16.5%	79.0%	4.5%	100.0%	17.2%	82.8%		100.0%	$\chi^2 = 52.05$	
60-70代	92	105	44	241	92	105		197		
	38.2%	43.6%	18.3%	100.0%	46.7%	53.3%		100.0%	$p < .0001$	
計	171	443	60	674	171	443		614		
	25.4%	65.7%	8.9%	100.0%	27.9%	72.1%		100.0%		

③かわいそう

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	133	6	6	145	133	6		139		
	91.7%	4.1%	4.1%	100.0%	95.7%	4.3%		100.0%		
40-50代	185	13	15	213	185	13		198		
	86.9%	6.1%	7.0%	100.0%	93.4%	6.6%		100.0%	$\chi^2 = 22.25$	
60-70代	165	37	25	227	165	37		202		
	72.7%	16.3%	11.0%	100.0%	81.7%	18.3%		100.0%	$p < .0001$	
計	483	56	46	585	483	56		539		
	82.6%	9.6%	7.9%	100.0%	89.6%	10.4%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	179	6	5	190	179	6		185		
	94.2%	3.2%	2.6%	100.0%	96.8%	3.2%		100.0%		
40-50代	223	9	11	243	223	9		232		
	91.8%	3.7%	4.5%	100.0%	96.1%	3.9%		100.0%	$\chi^2 = 48.83$	
60-70代	158	39	44	241	158	39		197		
	65.5%	16.2%	18.3%	100.0%	80.2%	19.8%		100.0%	$p < .0001$	
計	560	54	60	674	560	54		614		
	83.1%	8.0%	8.9%	100.0%	91.2%	8.8%		100.0%		

〔仲の良い異性からの場合〕

①言ってくれてうれしい

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	77	62	6	145	77	62		139		
	53.1%	42.8%	4.1%	100.0%	55.4%	44.6%		100.0%		
40-50代	132	67	14	213	132	67		199		
	62.0%	31.5%	6.6%	100.0%	66.3%	33.7%		100.0%	$\chi^2 = 13.31$	
60-70代	146	50	31	227	146	50		196		
	64.3%	22.0%	13.7%	100.0%	74.5%	25.5%		100.0%	$p = .0013$	
計	355	179	51	585	355	179		534		
	60.7%	30.6%	8.7%	100.0%	66.5%	33.5%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	82	103	5	190	82	103		185		
	43.2%	54.2%	2.6%	100.0%	44.3%	55.7%		100.0%		
40-50代	131	98	14	243	131	98		229		
	53.9%	40.3%	5.8%	100.0%	57.2%	42.8%		100.0%	$\chi^2 = 26.33$	
60-70代	134	56	51	241	134	56		190		
	55.6%	23.2%	21.2%	100.0%	70.5%	29.5%		100.0%	$p < .0001$	
計	347	257	70	674	347	257		604		
	51.5%	38.1%	10.4%	100.0%	57.5%	42.5%		100.0%		

②理解したい

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	42	97	6	145	42	97		139		
	29.0%	66.9%	4.1%	100.0%	30.2%	69.8%		100.0%		
40-50代	70	129	14	213	70	129		199		
	32.9%	60.6%	6.6%	100.0%	35.2%	64.8%		100.0%	$\chi^2 = 20.28$	
60-70代	103	93	31	227	103	93		196		
	45.4%	41.0%	13.7%	100.0%	52.6%	47.4%		100.0%	$p < .0001$	
計	215	319	51	585	215	319		534		
	36.8%	54.5%	8.7%	100.0%	40.3%	59.7%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	43	142	5	190	43	142		185		
	22.6%	74.7%	2.6%	100.0%	23.2%	76.8%		100.0%		
40-50代	47	182	14	243	47	182		229		
	19.3%	74.9%	5.8%	100.0%	20.5%	79.5%		100.0%	$\chi^2 = 73.17$	
60-70代	108	82	51	241	108	82		190		
	44.8%	34.0%	21.2%	100.0%	56.8%	43.2%		100.0%	$p < .0001$	
計	198	406	70	674	198	406		604		
	29.4%	60.2%	10.4%	100.0%	32.8%	67.2%		100.0%		

③かわいそう

性別 年代	選択なし				選択あり				計	カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計		
男性 年代										
20-30代	130	9	6	145	130	9		139		
	89.7%	6.2%	4.1%	100.0%	93.5%	6.5%		100.0%		
40-50代	183	16	14	213	183	16		199		
	85.9%	7.5%	6.6%	100.0%	92.0%	8.0%		100.0%	$\chi^2 = 23.79$	
60-70代	153	43	31	227	153	43		196		
	67.4%	18.9%	13.7%	100.0%	78.1%	21.9%		100.0%	$p < .0001$	
計	466	68	51	585	466	68		534		
	79.7%	11.6%	8.7%	100.0%	87.3%	12.7%		100.0%		
女性 年代										
20-30代	177	8	5	190	177	8		185		
	93.2%	4.2%	2.6%	100.0%	95.7%	4.3%		100.0%		
40-50代	223	6	14	243	223	6		229		
	91.8%	2.5%	5.8%	100.0%	97.4%	2.6%		100.0%	$\chi^2 = 16.14$	
60-70代	168	22	51	241	168	22		190		
	69.7%	9.1%	21.2%	100.0%	88.4%	11.6%		100.0%	$p = .0003$	
計	568	36	70	674	568	36		604		
	84.3%	5.3%	10.4%	100.0%	94.0%	6.0%		100.0%		

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

④同情する

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	129	10	6	145	129	10	139	$\chi^2 = 17.62$
	89.0%	6.9%	4.1%	100.0%	92.8%	7.2%	100.0%	
40-50代	170	28	15	213	170	28	198	
	79.8%	13.1%	7.0%	100.0%	85.9%	14.1%	100.0%	p = .0001
60-70代	154	48	25	227	154	48	202	
	67.8%	21.1%	11.0%	100.0%	76.2%	23.8%	100.0%	
計	453	86	46	585	453	86	539	
	77.4%	14.7%	7.9%	100.0%	84.0%	16.0%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	175	10	5	190	175	10	185	$\chi^2 = 12.36$
	92.1%	5.3%	2.6%	100.0%	94.6%	5.4%	100.0%	
40-50代	210	22	11	243	210	22	232	
	86.4%	9.1%	4.5%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	p = .0021
60-70代	165	32	44	241	165	32	197	
	68.5%	13.3%	18.3%	100.0%	83.8%	16.2%	100.0%	
計	550	64	60	674	550	64	614	
	81.6%	9.5%	8.9%	100.0%	89.6%	10.4%	100.0%	

⑤興味が出てくる

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	117	22	6	145	117	22	139	$\chi^2 = 18.97$
	80.7%	15.2%	4.1%	100.0%	84.2%	15.8%	100.0%	
40-50代	186	12	15	213	186	12	198	
	87.3%	5.6%	7.0%	100.0%	93.9%	6.1%	100.0%	p < .0001
60-70代	195	7	25	227	195	7	202	
	85.9%	3.1%	11.0%	100.0%	96.5%	3.5%	100.0%	
計	498	41	46	585	498	41	539	
	85.1%	7.0%	7.9%	100.0%	92.4%	7.6%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	160	25	5	190	160	25	185	$\chi^2 = 13.72$
	84.2%	13.2%	2.6%	100.0%	86.5%	13.5%	100.0%	
40-50代	202	30	11	243	202	30	232	
	83.1%	12.3%	4.5%	100.0%	87.1%	12.9%	100.0%	p = .0010
60-70代	190	7	44	241	190	7	197	
	78.8%	2.9%	18.3%	100.0%	96.4%	3.6%	100.0%	
計	552	62	60	674	552	62	614	
	81.9%	9.2%	8.9%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%	

⑥寄り添いたい

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	138	1	6	145	138	1	139	$\chi^2 = 2.04$
	95.2%	0.7%	4.1%	100.0%	99.3%	0.7%	100.0%	
40-50代	193	5	15	213	193	5	198	
	90.6%	2.3%	7.0%	100.0%	97.5%	2.5%	100.0%	p = .3597
60-70代	196	6	25	227	196	6	202	
	86.3%	2.6%	11.0%	100.0%	97.0%	3.0%	100.0%	
計	527	12	46	585	527	12	539	
	90.1%	2.1%	7.9%	100.0%	97.8%	2.2%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	158	27	5	190	158	27	185	$\chi^2 = 3.68$
	83.2%	14.2%	2.6%	100.0%	85.4%	14.6%	100.0%	
40-50代	212	20	11	243	212	20	232	
	87.2%	8.2%	4.5%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%	p = .1585
60-70代	175	22	44	241	175	22	197	
	72.6%	9.1%	18.3%	100.0%	88.8%	11.2%	100.0%	
計	545	69	60	674	545	69	614	
	80.9%	10.2%	8.9%	100.0%	88.8%	11.2%	100.0%	

〔仲の良い異性からの場合〕

④同情する

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	127	12	6	145	127	12	139	$\chi^2 = 17.44$
	87.6%	8.3%	4.1%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%	
40-50代	167	32	14	213	167	32	199	
	78.4%	15.0%	6.6%	100.0%	83.9%	16.1%	100.0%	p = .0002
60-70代	145	51	31	227	145	51	196	
	63.9%	22.5%	13.7%	100.0%	74.0%	26.0%	100.0%	
計	439	95	51	585	439	95	534	
	75.0%	16.2%	8.7%	100.0%	82.2%	17.8%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	177	8	5	190	177	8	185	$\chi^2 = 6.58$
	93.2%	4.2%	2.6%	100.0%	95.7%	4.3%	100.0%	
40-50代	214	15	14	243	214	15	229	
	88.1%	6.2%	5.8%	100.0%	93.4%	6.6%	100.0%	p = .0373
60-70代	169	21	51	241	169	21	190	
	70.1%	8.7%	21.2%	100.0%	88.9%	11.1%	100.0%	
計	560	44	70	674	560	44	604	
	83.1%	6.5%	10.4%	100.0%	92.7%	7.3%	100.0%	

⑤興味が出てくる

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	104	35	6	145	104	35	139	$\chi^2 = 37.77$
	71.7%	24.1%	4.1%	100.0%	74.8%	25.2%	100.0%	
40-50代	176	23	14	213	176	23	199	
	82.6%	10.8%	6.6%	100.0%	88.4%	11.6%	100.0%	p < .0001
60-70代	190	6	31	227	190	6	196	
	83.7%	2.6%	13.7%	100.0%	96.9%	3.1%	100.0%	
計	470	64	51	585	470	64	534	
	80.3%	10.9%	8.7%	100.0%	88.0%	12.0%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	152	33	5	190	152	33	185	$\chi^2 = 24.55$
	80.0%	17.4%	2.6%	100.0%	82.2%	17.8%	100.0%	
40-50代	188	41	14	243	188	41	229	
	77.4%	16.9%	5.8%	100.0%	82.1%	17.9%	100.0%	p < .0001
60-70代	184	6	51	241	184	6	190	
	76.3%	2.5%	21.2%	100.0%	96.8%	3.2%	100.0%	
計	524	80	70	674	524	80	604	
	77.7%	11.9%	10.4%	100.0%	86.8%	13.2%	100.0%	

⑥寄り添いたい

性別 年代	選択 なし	選択 あり	無 回答	計	選択 なし	選択 あり	計	カイ 二 乗 検 定
男性 年代								
20-30代	137	2	6	145	137	2	139	$\chi^2 = 1.40$
	94.5%	1.4%	4.1%	100.0%	98.6%	1.4%	100.0%	
40-50代	193	6	14	213	193	6	199	
	90.6%	2.8%	6.6%	100.0%	97.0%	3.0%	100.0%	p = .4956
60-70代	189	7	31	227	189	7	196	
	83.3%	3.1%	13.7%	100.0%	96.4%	3.6%	100.0%	
計	519	15	51	585	519	15	534	
	88.7%	2.6%	8.7%	100.0%	97.2%	2.8%	100.0%	
女性 年代								
20-30代	162	23	5	190	162	23	185	$\chi^2 = 2.82$
	85.3%	12.1%	2.6%	100.0%	87.6%	12.4%	100.0%	
40-50代	210	19	14	243	210	19	229	
	86.4%	7.8%	5.8%	100.0%	91.7%	8.3%	100.0%	p = .2442
60-70代	175	15	51	241	175	15	190	
	72.6%	6.2%	21.2%	100.0%	92.1%	7.9%	100.0%	
計	547	57	70	674	547	57	604	
	81.2%	8.5%	10.4%	100.0%	90.6%	9.4%	100.0%	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思えますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

⑦身の危険を感じる

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	115	24	6	145	115	24		139	$\chi^2 = 11.17$ $p = .0038$
40-50代	79.3%	16.6%	4.1%	100.0%	82.7%	17.3%		100.0%	
60-70代	83.1%	9.9%	7.0%	100.0%	89.4%	10.6%		100.0%	
計	482	57	46	585	482	57		539	
女性 年代									
20-30代	168	17	5	190	168	17		185	$\chi^2 = 2.33$ $p = .3125$
40-50代	88.4%	8.9%	2.6%	100.0%	90.8%	9.2%		100.0%	
60-70代	218	14	11	243	218	14		232	
計	572	42	60	674	572	42		614	

⑧気持ち悪い

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	126	13	6	145	126	13		139	$\chi^2 = 34.25$ $p < .0001$
40-50代	86.9%	9.0%	4.1%	100.0%	90.6%	9.4%		100.0%	
60-70代	165	33	15	213	165	33		198	
計	424	115	46	585	424	115		539	
女性 年代									
20-30代	177	8	5	190	177	8		185	$\chi^2 = 24.02$ $p < .0001$
40-50代	93.2%	4.2%	2.6%	100.0%	95.7%	4.3%		100.0%	
60-70代	221	11	11	243	221	11		232	
計	563	51	60	674	563	51		614	

⑨迷惑だ

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	136	3	6	145	136	3		139	$\chi^2 = 34.39$ $p < .0001$
40-50代	93.8%	2.1%	4.1%	100.0%	97.8%	2.2%		100.0%	
60-70代	183	15	15	213	183	15		198	
計	478	61	46	585	478	61		539	
女性 年代									
20-30代	184	1	5	190	184	1		185	$\chi^2 = 10.12$ $p = .0063$
40-50代	96.8%	0.5%	2.6%	100.0%	99.5%	0.5%		100.0%	
60-70代	226	6	11	243	226	6		232	
計	595	19	60	674	595	19		614	

〔仲の良い異性からの場合〕

⑦身の危険を感じる

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	138	1	6	145	138	1		139	$\chi^2 = 2.13$ $p = .3444$
40-50代	95.2%	0.7%	4.1%	100.0%	99.3%	0.7%		100.0%	
60-70代	194	5	14	213	194	5		199	
計	522	12	51	585	522	12		534	
女性 年代									
20-30代	183	2	5	190	183	2		185	$\chi^2 = 3.30$ $p = .1917$
40-50代	96.3%	1.1%	2.6%	100.0%	98.9%	1.1%		100.0%	
60-70代	225	4	14	243	225	4		229	
計	591	13	70	674	591	13		604	

⑧気持ち悪い

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	134	5	6	145	134	5		139	$\chi^2 = 22.83$ $p < .0001$
40-50代	92.4%	3.4%	4.1%	100.0%	96.4%	3.6%		100.0%	
60-70代	179	20	14	213	179	20		199	
計	469	65	51	585	469	65		534	
女性 年代									
20-30代	178	7	5	190	178	7		185	$\chi^2 = 41.86$ $p < .0001$
40-50代	93.7%	3.7%	2.6%	100.0%	96.2%	3.8%		100.0%	
60-70代	210	19	14	243	210	19		229	
計	532	72	70	674	532	72		604	

⑨迷惑だ

性別 年代	選択なし				選択あり				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	無回答	計	
男性 年代									
20-30代	136	3	6	145	136	3		139	$\chi^2 = 21.68$ $p < .0001$
40-50代	93.8%	2.1%	4.1%	100.0%	97.8%	2.2%		100.0%	
60-70代	188	11	14	213	188	11		199	
計	490	44	51	585	490	44		534	
女性 年代									
20-30代	183	2	5	190	183	2		185	$\chi^2 = 16.64$ $p = .0002$
40-50代	96.3%	1.1%	2.6%	100.0%	98.9%	1.1%		100.0%	
60-70代	220	9	14	243	220	9		229	
計	574	30	70	674	574	30		604	

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

(仲の良い同性からの場合)

◎大変なことになった

性別 年代	◎大変なことになった				◎大変なことになった				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	119	20	6	145	119	20	139		
	82.1%	13.8%	4.1%	100.0%	85.6%	14.4%	100.0%		
40-50代	150	48	15	213	150	48	198		
	70.4%	22.5%	7.0%	100.0%	75.8%	24.2%	100.0%	$\chi^2 = 7.26$	
60-70代	171	31	25	227	171	31	202		
	75.3%	13.7%	11.0%	100.0%	84.7%	15.3%	100.0%	$p = .0266$	
計	440	99	46	585	440	99	539		
	75.2%	16.9%	7.9%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	160	25	5	190	160	25	185		
	84.2%	13.2%	2.6%	100.0%	86.5%	13.5%	100.0%		
40-50代	200	32	11	243	200	32	232		
	82.3%	13.2%	4.5%	100.0%	86.2%	13.8%	100.0%	$\chi^2 = 6.54$	
60-70代	154	43	44	241	154	43	197		
	63.9%	17.8%	18.3%	100.0%	78.2%	21.8%	100.0%	$p = .0381$	
計	514	100	60	674	514	100	614		
	76.3%	14.8%	8.9%	100.0%	83.7%	16.3%	100.0%		

①自分なら治してあげられる

性別 年代	①自分なら治してあげられる				①自分なら治してあげられる				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	139	0	6	145	139	0	139		
	95.9%	0.0%	4.1%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
40-50代	193	5	15	213	193	5	198		
	90.6%	2.3%	7.0%	100.0%	97.5%	2.5%	100.0%	$\chi^2 = 3.54$	
60-70代	197	5	25	227	197	5	202		
	86.8%	2.2%	11.0%	100.0%	97.5%	2.5%	100.0%	$p = .1702$	
計	529	10	46	585	529	10	539		
	90.4%	1.7%	7.9%	100.0%	98.1%	1.9%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	185	0	5	190	185	0	185		
	97.4%	0.0%	2.6%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
40-50代	231	1	11	243	231	1	232		
	95.1%	0.4%	4.5%	100.0%	99.6%	0.4%	100.0%	$\chi^2 = 2.05$	
60-70代	195	2	44	241	195	2	197		
	80.9%	0.8%	18.3%	100.0%	99.0%	1.0%	100.0%	$p = .3592$	
計	611	3	60	674	611	3	614		
	90.7%	0.4%	8.9%	100.0%	99.5%	0.5%	100.0%		

◎聞かなかったことにしたい

性別 年代	◎聞かなかったことにしたい				◎聞かなかったことにしたい				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	117	22	6	145	117	22	139		
	80.7%	15.2%	4.1%	100.0%	84.2%	15.8%	100.0%		
40-50代	146	52	15	213	146	52	198		
	68.5%	24.4%	7.0%	100.0%	73.7%	26.3%	100.0%	$\chi^2 = 5.37$	
60-70代	160	42	25	227	160	42	202		
	70.5%	18.5%	11.0%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%	$p = .0683$	
計	423	116	46	585	423	116	539		
	72.3%	19.8%	7.9%	100.0%	78.5%	21.5%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	169	16	5	190	169	16	185		
	88.9%	8.4%	2.6%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%		
40-50代	207	25	11	243	207	25	232		
	85.2%	10.3%	4.5%	100.0%	89.2%	10.8%	100.0%	$\chi^2 = 52.42$	
60-70代	131	66	44	241	131	66	197		
	54.4%	27.4%	18.3%	100.0%	66.5%	33.5%	100.0%	$p < .0001$	
計	507	107	60	674	507	107	614		
	75.2%	15.9%	8.9%	100.0%	82.6%	17.4%	100.0%		

(仲の良い異性からの場合)

◎大変なことになった

性別 年代	◎大変なことになった				◎大変なことになった				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	126	13	6	145	126	13	139		
	86.9%	9.0%	4.1%	100.0%	90.6%	9.4%	100.0%		
40-50代	161	38	14	213	161	38	199		
	75.6%	17.8%	6.6%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%	$\chi^2 = 6.45$	
60-70代	161	35	31	227	161	35	196		
	70.9%	15.4%	13.7%	100.0%	82.1%	17.9%	100.0%	$p = .0397$	
計	448	86	51	585	448	86	534		
	76.6%	14.7%	8.7%	100.0%	83.9%	16.1%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	166	19	5	190	166	19	185		
	87.4%	10.0%	2.6%	100.0%	89.7%	10.3%	100.0%		
40-50代	199	30	14	243	199	30	229		
	81.9%	12.3%	5.8%	100.0%	86.9%	13.1%	100.0%	$\chi^2 = 6.12$	
60-70代	154	36	51	241	154	36	190		
	63.9%	14.9%	21.2%	100.0%	81.1%	18.9%	100.0%	$p = .0468$	
計	519	85	70	674	519	85	604		
	77.0%	12.6%	10.4%	100.0%	85.9%	14.1%	100.0%		

①自分なら治してあげられる

性別 年代	①自分なら治してあげられる				①自分なら治してあげられる				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	139	0	6	145	139	0	139		
	95.9%	0.0%	4.1%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
40-50代	195	4	14	213	195	4	199		
	91.5%	1.9%	6.6%	100.0%	98.0%	2.0%	100.0%	$\chi^2 = 4.18$	
60-70代	190	6	31	227	190	6	196		
	83.7%	2.6%	13.7%	100.0%	96.9%	3.1%	100.0%	$p = .1237$	
計	524	10	51	585	524	10	534		
	89.6%	1.7%	8.7%	100.0%	98.1%	1.9%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	185	0	5	190	185	0	185		
	97.4%	0.0%	2.6%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
40-50代	227	2	14	243	227	2	229		
	93.4%	0.8%	5.8%	100.0%	99.1%	0.9%	100.0%	$\chi^2 = 1.58$	
60-70代	189	1	51	241	189	1	190		
	78.4%	0.4%	21.2%	100.0%	99.5%	0.5%	100.0%	$p = .4529$	
計	601	3	70	674	601	3	604		
	89.2%	0.4%	10.4%	100.0%	99.5%	0.5%	100.0%		

◎聞かなかったことにしたい

性別 年代	◎聞かなかったことにしたい				◎聞かなかったことにしたい				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	120	19	6	145	120	19	139		
	82.8%	13.1%	4.1%	100.0%	86.3%	13.7%	100.0%		
40-50代	153	46	14	213	153	46	199		
	71.8%	21.6%	6.6%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%	$\chi^2 = 4.74$	
60-70代	159	37	31	227	159	37	196		
	70.0%	16.3%	13.7%	100.0%	81.1%	18.9%	100.0%	$p = .0937$	
計	432	102	51	585	432	102	534		
	73.8%	17.4%	8.7%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	169	16	5	190	169	16	185		
	88.9%	8.4%	2.6%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%		
40-50代	198	31	14	243	198	31	229		
	81.5%	12.8%	5.8%	100.0%	86.5%	13.5%	100.0%	$\chi^2 = 73.55$	
60-70代	111	79	51	241	111	79	190		
	46.1%	32.8%	21.2%	100.0%	58.4%	41.6%	100.0%	$p < .0001$	
計	478	126	70	674	478	126	604		
	70.9%	18.7%	10.4%	100.0%	79.1%	20.9%	100.0%		

問27 仲の良い友人から「同性愛者」であると告げられたとしたら、どのような気持ちになると思いますか。

〔仲の良い同性からの場合〕

③どうでもいい

性別 年代	③どうでもいい				③どうでもいい				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	107	32	6	145	107	32	139		
	73.8%	22.1%	4.1%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%		
40-50代	150	48	15	213	150	48	198		
	70.4%	22.5%	7.0%	100.0%	75.8%	24.2%	100.0%	$\chi^2 = 1.51$	
60-70代	163	39	25	227	163	39	202		
	71.8%	17.2%	11.0%	100.0%	80.7%	19.3%	100.0%	$p = .4694$	
計	420	119	46	585	420	119	539		
	71.8%	20.3%	7.9%	100.0%	77.9%	22.1%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	162	23	5	190	162	23	185		
	85.3%	12.1%	2.6%	100.0%	87.6%	12.4%	100.0%		
40-50代	210	22	11	243	210	22	232		
	86.4%	9.1%	4.5%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	$\chi^2 = 1.00$	
60-70代	177	20	44	241	177	20	197		
	73.4%	8.3%	18.3%	100.0%	89.8%	10.2%	100.0%	$p = .6054$	
計	549	65	60	674	549	65	614		
	81.5%	9.6%	8.9%	100.0%	89.4%	10.6%	100.0%		

④この中にあてはまるものはない

性別 年代	④この中にあてはまるものはない				④この中にあてはまるものはない				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	137	2	6	145	137	2	139		
	94.5%	1.4%	4.1%	100.0%	98.6%	1.4%	100.0%		
40-50代	193	5	15	213	193	5	198		
	90.6%	2.3%	7.0%	100.0%	97.5%	2.5%	100.0%	$\chi^2 = 0.49$	
60-70代	198	4	25	227	198	4	202		
	87.2%	1.8%	11.0%	100.0%	98.0%	2.0%	100.0%	$p = .7835$	
計	528	11	46	585	528	11	539		
	90.3%	1.9%	7.9%	100.0%	98.0%	2.0%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	182	3	5	190	182	3	185		
	95.8%	1.6%	2.6%	100.0%	98.4%	1.6%	100.0%		
40-50代	227	5	11	243	227	5	232		
	93.4%	2.1%	4.5%	100.0%	97.8%	2.2%	100.0%	$\chi^2 = 0.89$	
60-70代	191	6	44	241	191	6	197		
	79.3%	2.5%	18.3%	100.0%	97.0%	3.0%	100.0%	$p = .6394$	
計	600	14	60	674	600	14	614		
	89.0%	2.1%	8.9%	100.0%	97.7%	2.3%	100.0%		

〔仲の良い異性からの場合〕

③どうでもいい

性別 年代	③どうでもいい				③どうでもいい				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	102	37	6	145	102	37	139		
	70.3%	25.5%	4.1%	100.0%	73.4%	26.6%	100.0%		
40-50代	142	57	14	213	142	57	199		
	66.7%	26.8%	6.6%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%	$\chi^2 = 2.04$	
60-70代	152	44	31	227	152	44	196		
	67.0%	19.4%	13.7%	100.0%	77.6%	22.4%	100.0%	$p = .3613$	
計	396	138	51	585	396	138	534		
	67.7%	23.6%	8.7%	100.0%	74.2%	25.8%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	151	34	5	190	151	34	185		
	79.5%	17.9%	2.6%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%		
40-50代	206	23	14	243	206	23	229		
	84.8%	9.5%	5.8%	100.0%	90.0%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 7.29$	
60-70代	156	34	51	241	156	34	190		
	64.7%	14.1%	21.2%	100.0%	82.1%	17.9%	100.0%	$p = .0261$	
計	513	91	70	674	513	91	604		
	76.1%	13.5%	10.4%	100.0%	84.9%	15.1%	100.0%		

④この中にあてはまるものはない

性別 年代	④この中にあてはまるものはない				④この中にあてはまるものはない				カイニ乗検定
	選択なし	選択あり	無回答	計	選択なし	選択あり	計	計	
男性 年代									
20-30代	137	2	6	145	137	2	139		
	94.5%	1.4%	4.1%	100.0%	98.6%	1.4%	100.0%		
40-50代	197	2	14	213	197	2	199		
	92.5%	0.9%	6.6%	100.0%	99.0%	1.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.49$	
60-70代	191	5	31	227	191	5	196		
	84.1%	2.2%	13.7%	100.0%	97.4%	2.6%	100.0%	$p = .4740$	
計	525	9	51	585	525	9	534		
	89.7%	1.5%	8.7%	100.0%	98.3%	1.7%	100.0%		
女性 年代									
20-30代	182	3	5	190	182	3	185		
	95.8%	1.6%	2.6%	100.0%	98.4%	1.6%	100.0%		
40-50代	223	6	14	243	223	6	229		
	91.8%	2.5%	5.8%	100.0%	97.4%	2.6%	100.0%	$\chi^2 = 4.41$	
60-70代	180	10	51	241	180	10	190		
	74.7%	4.1%	21.2%	100.0%	94.7%	5.3%	100.0%	$p = .1100$	
計	585	19	70	674	585	19	604		
	86.8%	2.8%	10.4%	100.0%	96.9%	3.1%	100.0%		

問2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの意見ですか。(〇はいくつでも)
 問2 3 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

問2 1 1. 愛し合っていればよい と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 1. 愛し合っていればよい	いいえ	49	206	259	188	39	741	49	206	259	188	702	$\chi^2 = 289.43$ $p < .0001$	255	447	702	$\chi^2 = 259.67$ $p < .0001$
	はい	6.6%	27.8%	35.0%	25.4%	5.3%	100.0%	7.0%	29.3%	36.9%	26.8%	100.0%		36.3%	63.7%	100.0%	
		137	245	56	12	7	457	137	245	56	12	450		382	68	450	
	無回答	30.0%	53.6%	12.3%	2.6%	1.5%	100.0%	30.4%	54.4%	12.4%	2.7%	100.0%		84.9%	15.1%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 2. 誰にも平等に、結婚する権利があると 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 2. 誰にも平等に、結婚する権利がある	いいえ	27	158	234	188	39	646	27	158	234	188	607	$\chi^2 = 360.99$ $p < .0001$	185	422	607	$\chi^2 = 317.56$ $p < .0001$
	はい	4.2%	24.5%	36.2%	29.1%	6.0%	100.0%	4.4%	26.0%	38.6%	31.0%	100.0%		30.5%	69.5%	100.0%	
		159	293	81	12	7	552	159	293	81	12	545		452	93	545	
	無回答	28.8%	53.1%	14.7%	2.2%	1.3%	100.0%	29.2%	53.8%	14.9%	2.2%	100.0%		82.9%	17.1%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 3. 海外で認められているから、日本でもあってよい と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 3. 海外で認められているから、日本でもあってよい	いいえ	119	296	270	194	42	921	119	296	270	194	879	$\chi^2 = 106.84$ $p < .0001$	415	464	879	$\chi^2 = 96.65$ $p < .0001$
	はい	12.9%	32.1%	29.3%	21.1%	4.6%	100.0%	13.5%	33.7%	30.7%	22.1%	100.0%		47.2%	52.8%	100.0%	
		67	155	45	6	4	277	67	155	45	6	273		222	51	273	
	無回答	24.2%	56.0%	16.2%	2.2%	1.4%	100.0%	24.5%	56.8%	16.5%	2.2%	100.0%		81.3%	18.7%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 4. 伝統的な家族のあり方が失われる と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 4. 伝統的な家族のあり方が失われる	いいえ	185	426	231	96	33	971	185	426	231	96	938	$\chi^2 = 252.01$ $p < .0001$	611	327	938	$\chi^2 = 195.78$ $p < .0001$
	はい	19.1%	43.9%	23.8%	9.9%	3.4%	100.0%	19.7%	45.4%	24.6%	10.2%	100.0%		65.1%	34.9%	100.0%	
		1	25	84	104	13	227	1	25	84	104	214		26	188	214	
	無回答	0.4%	11.0%	37.0%	45.8%	5.7%	100.0%	0.5%	11.7%	39.3%	48.6%	100.0%		12.1%	87.9%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 5. 生殖にむすびつかないから好ましくない と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 5. 生殖にむすびつかないから好ましくない	いいえ	184	432	264	134	42	1056	184	432	264	134	1014	$\chi^2 = 135.88$ $p < .0001$	616	398	1014	$\chi^2 = 100.04$ $p < .0001$
	はい	17.4%	40.9%	25.0%	12.7%	4.0%	100.0%	18.1%	42.6%	26.0%	13.2%	100.0%		60.7%	39.3%	100.0%	
		2	19	51	66	4	142	2	19	51	66	138		21	117	138	
	無回答	1.4%	13.4%	35.9%	46.5%	2.8%	100.0%	1.4%	13.8%	37.0%	47.8%	100.0%		15.2%	84.8%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

		問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること															
		賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	Λ	Λ	計	カイ二乗
		成	成	対	対	答		成	成	対	対			成	対		成
問2 1 6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない	いいえ	184	422	211	98	33	948	184	422	211	98	915	$\chi^2 = 241.64$ $p < .0001$	606	309	915	$\chi^2 = 212.97$ $p < .0001$
	はい	19.4%	44.5%	22.3%	10.3%	3.5%	100.0%	20.1%	46.1%	23.1%	10.7%	100.0%		66.2%	33.8%	100.0%	
		2	29	104	102	13	250	2	29	104	102	237		31	206	237	
	無回答	0.8%	11.6%	41.6%	40.8%	5.2%	100.0%	0.8%	12.2%	43.9%	43.0%	100.0%		13.1%	86.9%	100.0%	
計	0	7	4	1	49	61											
	0.0%	11.5%	6.6%	1.6%	80.3%	100.0%											
	186	458	319	201	95	1,259	186	451	315	200	1,152		637	515	1,152		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.1%	39.1%	27.3%	17.4%	100.0%		55.3%	44.7%	100.0%		

問2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はい/□でも)
 問2 3 次のア〜カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

問2 1 7. この中であてはまるものはない と 問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること のクロス集計

	問2 3 (工) 同性どうしの結婚を法で認めること						計	カ イ 二 乗	計	カ イ 二 乗						
	賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	無 回 答	計					賛 成 v	反 対 v	計	カ イ 二 乗		
問2 1 7.	183 16.8%	420 38.6%	277 25.4%	173 15.9%	36 3.3%	1089 100.0%	183 17.4%	420 39.9%	277 26.3%	173 16.4%	1053 100.0%	$\chi^2 = 24.19$	603 57.3%	450 42.7%	1053 100.0%	$\chi^2 = 18.32$
この中であてはまるものはない	3 2.8%	31 28.4%	38 34.9%	27 24.8%	10 9.2%	109 100.0%	3 3.0%	31 31.3%	38 38.4%	27 27.3%	99 100.0%	$p < .0001$	34 34.3%	65 65.7%	99 100.0%	$p < .0001$
無回答	0 0.0%	7 11.5%	4 6.6%	1 1.6%	49 80.3%	61 100.0%										
計	186 14.8%	458 36.4%	319 25.3%	201 16.0%	95 7.5%	1,259 100.0%	186 16.1%	451 39.1%	315 27.3%	200 17.4%	1,152 100.0%		637 55.3%	515 44.7%	1,152 100.0%	

問 2 3 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(工) 同性どうしの結婚を法で認めること

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗
性別																
男性	76	186	170	122	31	585	76	186	170	122	554	$\chi^2 = 30.32$	262	292	554	$\chi^2 = 26.99$
女性	110	272	149	79	64	674	110	272	149	79	610	$p < .0001$	382	228	610	$p < .0001$
計	186	458	319	201	95	1,259	186	458	319	201	1,164		644	520	1,164	
年代																
20-30代	87	155	63	16	14	335	87	155	63	16	321	$\chi^2 = 161.89$	242	79	321	$\chi^2 = 113.57$
40-50代	66	185	127	51	27	456	66	185	127	51	429	$p < .0001$	251	178	429	$p < .0001$
60-70代	33	118	129	134	54	468	33	118	129	134	414		151	263	414	
計	186	458	319	201	95	1,259	186	458	319	201	1,164		644	520	1,164	

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗
結婚状況・経験																
結婚している	109	299	232	158	61	859	109	299	232	158	798	$\chi^2 = 49.32$	408	390	798	$\chi^2 = 31.27$
結婚したことがない	50	108	53	15	12	238	50	108	53	15	226	$p < .0001$	158	68	226	$p < .0001$
離別した	19	25	17	8	5	74	19	25	17	8	69		44	25	69	
死別した	4	16	13	16	6	55	4	16	13	16	49		20	29	49	
その他	1	1	1	1	0	4	1	1	1	1	4		1	1	4	
無回答	3	9	3	3	11	29	3	9	3	3	29		3	9	29	
計	186	458	319	201	95	1,259	182	448	315	197	1,142		630	512	1,142	
(現在結婚しているか否か)																
<結婚している>	109	299	232	158	61	859	109	299	232	158	798	$\chi^2 = 22.83$	408	390	798	$\chi^2 = 16.93$
<結婚していない>	73	149	83	39	23	367	73	149	83	39	344	$p < .0001$	222	122	344	$p < .0001$
計	182	448	315	197	84	1,116	182	448	315	197	1,142		630	512	1,142	
(結婚経験の有無)																
<結婚経験有>	132	340	262	182	72	988	132	340	262	182	916	$\chi^2 = 32.17$	472	444	916	$\chi^2 = 24.03$
<結婚経験無>	50	108	53	15	12	238	50	108	53	15	226	$p < .0001$	158	68	226	$p < .0001$
計	182	448	315	197	84	1,116	182	448	315	197	1,142		630	512	1,142	

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗
同棲状況・経験																
現在している	10	8	2	5	1	26	10	8	2	5	25	$\chi^2 = 44.85$	18	7	25	$\chi^2 = 25.20$
過去にしていた	50	81	37	17	4	189	50	81	37	17	185	$p < .0001$	131	54	185	$p < .0001$
同棲したことはない	124	357	275	171	71	998	124	357	275	171	927		481	446	927	
無回答	2	12	5	8	19	46	2	12	5	8	46		2	12	46	
計	186	458	319	201	95	1,259	184	446	314	193	1,137		630	507	1,137	
同棲経験の有無																
<同棲経験有>	60	89	39	22	5	215	60	89	39	22	210	$\chi^2 = 39.12$	149	61	210	$\chi^2 = 24.42$
<同棲経験無>	124	357	275	171	71	998	124	357	275	171	927	$p < .0001$	481	446	927	$p < .0001$
計	184	446	314	193	76	1,113	184	446	314	193	1,137		630	507	1,137	

問23 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(工) 同性どうしの結婚を法で認めること

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
子の有無																	
子あり	117	302	244	165	64	892	117	302	244	165	828	$\chi^2 = 36.44$ $p < .0001$	419	409	828	$\chi^2 = 30.29$ $p < .0001$	
子なし	67	147	70	26	16	326	67	147	70	26	310		50.6%	49.4%	100.0%		310
無回答	2	9	5	10	15	41	21.6%	47.4%	22.6%	8.4%	100.0%		69.0%	31.0%	100.0%		100.0%
計	186	458	319	201	95	1,259	184	449	314	191	1,138		633	505	1,138		
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.2%	39.5%	27.6%	16.8%	100.0%		55.6%	44.4%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
子の有無 (結婚経験者のみ)																	
子あり	116	299	242	164	61	882	116	299	242	164	821	$\chi^2 = 7.34$ $p = .0617$	415	406	821	$\chi^2 = 6.58$ $p = .0103$	
子なし	16	37	16	11	4	84	16	37	16	11	80		50.5%	49.5%	100.0%		80
無回答	0	4	4	7	7	22	20.0%	46.3%	20.0%	13.8%	100.0%		66.3%	33.8%	100.0%		100.0%
計	132	340	262	182	72	988	132	336	258	175	901		468	433	901		
	13.4%	34.4%	26.5%	18.4%	7.3%	100.0%	14.7%	37.3%	28.6%	19.4%	100.0%		51.9%	48.1%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
最後に卒業した学校																	
中学校卒	13	33	46	35	12	139	13	33	46	35	127	$\chi^2 = 50.82$ $p < .0001$	46	81	127	$\chi^2 = 38.41$ $p < .0001$	
高校卒	61	187	128	94	40	510	61	187	128	94	470		36.2%	63.8%	100.0%		470
専門・専修学校卒	28	63	24	12	10	137	28	63	24	12	127		52.8%	47.2%	100.0%		127
短大・高専卒	26	45	27	14	8	120	26	45	27	14	112		71.7%	28.3%	100.0%		112
大学・大学院卒	54	170	85	35	8	302	54	120	85	35	294		63.4%	36.6%	100.0%		294
計	182	448	310	190	78	1,208	182	448	310	190	1,130		59.2%	40.8%	100.0%		1,130
	15.1%	37.1%	25.7%	15.7%	6.5%	100.0%	16.1%	39.6%	27.4%	16.8%	100.0%		55.8%	44.2%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
共学別学 (中学校)																	
男女共学	173	428	303	181	73	1,158	173	428	303	181	1,085	$\chi^2 = 4.80$ $p = .5693$	601	484	1,085	$\chi^2 = 3.74$ $p = .1539$	
男子校・男子部	2	6	1	2	1	12	2	6	1	2	11		72.7%	27.3%	100.0%		11
女子校・女子部	4	8	2	2	1	17	18.2%	54.5%	9.1%	18.2%	100.0%		75.0%	25.0%	100.0%		16
計	179	442	306	185	75	1,187	179	442	306	185	1,112		55.8%	44.2%	100.0%		1,112
	15.1%	37.2%	25.8%	15.6%	6.3%	100.0%	16.1%	39.7%	27.5%	16.6%	100.0%		55.8%	44.2%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
共学別学 (高等学校)																	
男女共学	137	309	200	115	33	794	137	309	200	115	761	$\chi^2 = 17.01$ $p = .0093$	446	315	761	$\chi^2 = 12.92$ $p = .0016$	
男子校・男子部	11	29	31	21	10	102	11	29	31	21	92		43.5%	56.5%	100.0%		92
女子校・女子部	25	86	38	18	21	188	25	86	38	18	167		66.5%	33.5%	100.0%		167
計	173	424	269	154	64	1,084	173	424	269	154	1,020		597	423	1,020		
	16.0%	39.1%	24.8%	14.2%	5.9%	100.0%	17.0%	41.6%	26.4%	15.1%	100.0%		58.5%	41.5%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	賛成	反対	計	カイ二乗	
共学別学 (短大・大学)																	
男女共学	80	162	99	49	12	402	80	162	99	49	390	$\chi^2 = 4.55$ $p = .0628$	242	148	390	$\chi^2 = 0.39$ $p = .8220$	
男子校・男子部	0	5	1	1	1	8	0	5	1	1	7		71.4%	28.6%	100.0%		7
女子校・女子部	19	49	28	10	6	112	19	49	28	10	106		64.2%	35.8%	100.0%		106
計	99	216	128	60	19	522	99	216	128	60	503		315	188	503		
	19.0%	41.4%	24.5%	11.5%	3.6%	100.0%	19.7%	42.9%	25.4%	11.9%	100.0%		62.6%	37.4%	100.0%		

問 2 3 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(工) 同性どうしの結婚を法で認めること

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p		
海外生活経験																
ある	10	29	13	14	4	70	10	29	13	14	66	χ ² = 2.79 p = .4250	59.1%	40.9%	100.0%	χ ² = 0.20
ない	174	421	301	177	77	1,150	174	421	301	177	1,073					
無回答	2	8	5	10	14	39	16.2%	39.2%	28.1%	16.5%	100.0%					
計	186	458	319	201	95	1,259	184	450	314	191	1,139		55.7%	44.3%	100.0%	

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p			
帰属階層意識																	
上	1	1	2	2	2	8	1	1	2	2	6	χ ² = 12.11 p = .4372	60.7%	39.3%	100.0%	χ ² = 6.50	
中の上	21	48	43	25	9	146	21	48	43	25	137						
中の中	74	214	155	85	27	555	74	214	155	85	528						
中の下	64	140	74	58	20	356	64	140	74	58	336	χ ² = 10.82 p = .2879	60.7%	39.3%	100.0%	χ ² = 5.82	
下	20	44	33	18	13	128	20	44	33	18	115						
その他	2	2	4	1	0	9	17.4%	38.3%	28.7%	15.7%	100.0%						
無回答	4	9	8	12	24	57	7.0%	15.8%	14.0%	21.1%	42.1%	100.0%		55.7%	44.3%	100.0%	
計	186	458	319	201	95	1,259	180	447	307	188	1,122		55.9%	44.1%	100.0%		

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p		
就業状況																
ついている	127	320	211	92	38	788	127	320	211	92	750	χ ² = 65.36 p < .0001	40.9%	59.1%	100.0%	χ ² = 19.51
ついているが、休職中	9	3	3	2	2	19	9	3	3	2	17					
今はついでないが、過去についていた	40	108	87	72	32	339	40	108	87	72	307					
仕事についてはない	4	14	8	18	4	48	4	14	8	18	44	χ ² = 65.36 p < .0001	40.9%	59.1%	100.0%	χ ² = 19.51
現在または過去についていた	3	7	6	9	3	28	3	7	6	9	25					
無回答	3	6	4	8	16	37	12.0%	28.0%	24.0%	36.0%	100.0%					
計	186	458	319	201	95	1,259	183	452	315	193	1,143		55.6%	44.4%	100.0%	

	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p		
就業形態																
常勤雇用されている従業員	100	224	152	95	32	603	100	224	152	95	571	χ ² = 37.07 p = .0012	39.6%	60.4%	100.0%	χ ² = 30.29
臨時雇い・パート・アルバイト	49	109	56	23	25	262	49	109	56	23	237					
派遣・契約・嘱託社（職）員	10	41	23	13	7	94	10	41	23	13	87					
自営業主、自由業者	11	29	35	20	3	98	11	29	35	20	95	χ ² = 37.07 p = .0012	39.6%	60.4%	100.0%	χ ² = 30.29
自営業の家族従業者	4	15	19	10	2	50	4	15	19	10	48					
経営者・役員	2	13	16	10	5	46	2	13	16	10	41					
その他	1	3	4	0	0	8	4.9%	31.7%	39.0%	24.4%	100.0%		36.6%	63.4%	100.0%	
非該当	7	20	12	26	20	85	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	100.0%		36.6%	63.4%	100.0%	
無回答	2	4	2	4	1	13	8.2%	23.5%	14.1%	30.6%	100.0%		36.6%	63.4%	100.0%	
計	186	458	319	201	95	1,259	176	431	301	171	1,079		56.3%	43.7%	100.0%	

問 2 3 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(工) 同性どうしの結婚を法で認めること

仕事の種類	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗				
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗				
専門・技術系の職業	43	94	58	21	9	225	43	94	58	21	216	χ ² =59.78 p <.0001	44.8%	55.2%	100.0%	χ ² =45.59 p <.0001			
19.1%	41.8%	25.8%	9.3%	4.0%	100.0%	19.9%	43.5%	26.9%	9.7%	100.0%	63.4%						36.6%	100.0%	
管理的職業	6	18	23	15	3	65	6	18	23	15	62						38.7%	61.3%	100.0%
9.2%	27.7%	35.4%	23.1%	4.6%	100.0%	9.7%	29.0%	37.1%	24.2%	100.0%	135						93	228	
事務・営業系の職業	35	100	61	32	12	240	35	100	61	32	228						59.2%	40.8%	100.0%
14.6%	41.7%	25.4%	13.3%	5.0%	100.0%	15.4%	43.9%	26.8%	14.0%	100.0%	183						96	279	
販売・サービス系の職業	60	123	66	30	25	304	60	123	66	30	279						65.6%	34.4%	100.0%
19.7%	40.5%	21.7%	9.9%	8.2%	100.0%	21.5%	44.1%	23.7%	10.8%	100.0%	104						128	232	
技能・労務・作業系の職業	27	77	70	58	10	242	27	77	70	58	232						44.8%	55.2%	100.0%
11.2%	31.8%	28.9%	24.0%	4.1%	100.0%	11.6%	33.2%	30.2%	25.0%	100.0%	1						8	32	
農林漁業	1	8	16	7	3	35	1	8	16	7	32	28.1%	71.9%	100.0%					
2.9%	22.9%	45.7%	20.0%	8.6%	100.0%	3.1%	25.0%	50.0%	21.9%	100.0%	計	592	457	1,049					
3	11	7	5	1	27	11.1%	40.7%	25.9%	18.5%	3.7%	100.0%	56.4%	43.6%	100.0%					
その他	7	20	12	26	20	85	8.2%	23.5%	14.1%	30.6%	23.5%	100.0%							
非該当	7	20	12	26	20	85	8.2%	23.5%	14.1%	30.6%	23.5%	100.0%							
無回答	4	7	6	7	12	36	11.1%	19.4%	16.7%	19.4%	33.3%	100.0%							
計	186	458	319	201	95	1,259	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	16.4%	40.0%	28.0%	15.5%	100.0%		

「信仰や信心」の有無	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗			
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗			
もっている	37	97	98	78	19	329	37	97	98	78	310	χ ² =29.75 p <.0001	43.2%	56.8%	100.0%	χ ² =25.37 p <.0001		
11.2%	29.5%	29.8%	23.7%	5.8%	100.0%	11.9%	31.3%	31.6%	25.2%	100.0%	134						176	310
もっていない	144	356	216	119	58	893	144	356	216	119	835						59.9%	40.1%
16.1%	39.9%	24.2%	13.3%	6.5%	100.0%	17.2%	42.6%	25.9%	14.3%	100.0%	500	335	835					
無回答	5	5	5	4	18	37	13.5%	13.5%	13.5%	10.8%	48.6%	100.0%						
計	186	458	319	201	95	1,259	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	15.8%	39.6%	27.4%	17.2%	100.0%	

「宗教的な心は大切か」への意見	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗				
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	χ ²	カイ二乗				
そう思う	44	86	78	72	15	295	44	86	78	72	280	χ ² =53.13 p <.0001	60.2%	39.8%	100.0%	χ ² =18.56 p =.0003			
14.9%	29.2%	26.4%	24.4%	5.1%	100.0%	15.7%	30.7%	27.9%	25.7%	100.0%	130						150	280	
どちらかといえばそう思う	53	165	126	59	27	430	53	165	126	59	403						46.4%	53.6%	100.0%
12.3%	38.4%	29.3%	13.7%	6.3%	100.0%	13.2%	40.9%	31.3%	14.6%	100.0%	218						185	403	
どちらかといえばそう思わない	37	136	70	29	18	290	37	136	70	29	272						54.1%	45.9%	100.0%
12.8%	46.9%	24.1%	10.0%	6.2%	100.0%	13.6%	50.0%	25.7%	10.7%	100.0%	173	99	272						
そう思わない	47	65	39	35	14	200	47	65	39	35	186	63.6%	36.4%	100.0%					
23.5%	32.5%	19.5%	17.5%	7.0%	100.0%	25.3%	34.9%	21.0%	18.8%	100.0%	112	74	186						
無回答	5	6	6	6	21	44	11.4%	13.6%	13.6%	13.6%	47.7%	100.0%							
計	186	458	319	201	95	1,259	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	15.9%	39.6%	27.4%	17.1%	100.0%		

問23 次のア～カの意見についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(工) 同性どうしの結婚を法で認めること

	ア					計	カ					カイニ乗	χ ²					
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答		賛成	やや賛成	やや反対	反対	計		賛成	反対	計	カイニ乗		
世帯年収																		
100万円未満	8	8	11	1	4	32	8	8	11	1	28	16	12	28				
	25.0%	25.0%	34.4%	3.1%	12.5%	100.0%	28.6%	28.6%	39.3%	3.6%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%				
100～200万円未満	14	32	24	25	8	103	14	32	24	25	95	46	49	95				
	13.6%	31.1%	23.3%	24.3%	7.8%	100.0%	14.7%	33.7%	25.3%	26.3%	100.0%	48.4%	51.6%	100.0%				
200～300万円未満	23	35	38	31	6	133	23	35	38	31	127	58	69	127				
	17.3%	26.3%	28.6%	23.3%	4.5%	100.0%	18.1%	27.6%	29.9%	24.4%	100.0%	45.7%	54.3%	100.0%				
300～400万円未満	26	79	48	32	11	196	26	79	48	32	185	105	80	185				
	13.3%	40.3%	24.5%	16.3%	5.6%	100.0%	14.1%	42.7%	25.9%	17.3%	100.0%	56.8%	43.2%	100.0%				
400～500万円未満	32	62	25	25	4	148	32	62	25	25	144	94	50	144				
	21.6%	41.9%	16.9%	16.9%	2.7%	100.0%	22.2%	43.1%	17.4%	17.4%	100.0%	65.3%	34.7%	100.0%				
500～600万円未満	16	38	30	18	5	107	16	38	30	18	102	54	48	102				
	15.0%	35.5%	28.0%	16.8%	4.7%	100.0%	15.7%	37.3%	29.4%	17.6%	100.0%	52.9%	47.1%	100.0%				
600～700万円未満	15	54	29	13	4	115	15	54	29	13	111	69	42	111				
	13.0%	47.0%	25.2%	11.3%	3.5%	100.0%	13.5%	48.6%	26.1%	11.7%	100.0%	62.2%	37.8%	100.0%				
700～800万円未満	12	40	21	12	2	87	12	40	21	12	85	52	33	85				
	13.8%	46.0%	24.1%	13.8%	2.3%	100.0%	14.1%	47.1%	24.7%	14.1%	100.0%	61.2%	38.8%	100.0%				
800～1000万円未満	13	35	31	10	2	91	13	35	31	10	89	48	41	89				
	14.3%	38.5%	34.1%	11.0%	2.2%	100.0%	14.6%	39.3%	34.8%	11.2%	100.0%	53.9%	46.1%	100.0%				
1000～1200万円未満	5	28	19	8	3	63	5	28	19	8	60	33	27	60				
	7.9%	44.4%	30.2%	12.7%	4.8%	100.0%	8.3%	46.7%	31.7%	13.3%	100.0%	55.0%	45.0%	100.0%				
1200～1500万円未満	3	11	9	5	4	32	3	11	9	5	28	14	14	28				
	9.4%	34.4%	28.1%	15.6%	12.5%	100.0%	10.7%	39.3%	32.1%	17.9%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	χ ² = 16.41			
1500万円以上	2	10	7	2	0	21	2	10	7	2	21	12	9	21				
	9.5%	47.6%	33.3%	9.5%	0.0%	100.0%	9.5%	47.6%	33.3%	9.5%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%	p = .1265			
無回答	17	26	27	19	42	131												
	13.0%	19.8%	20.6%	14.5%	32.1%	100.0%												
計	186	458	319	201	95	1,259	169	432	292	182	1,075	601	474	1,075				
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	15.7%	40.2%	27.2%	16.9%	100.0%	55.9%	44.1%	100.0%				
世帯年収 (4分割)																		
300万円未満	45	75	73	57	18	268	45	75	73	57	250	120	130	250				
	16.8%	28.0%	27.2%	21.3%	6.7%	100.0%	18.0%	30.0%	29.2%	22.8%	100.0%	48.0%	52.0%	100.0%				
300万円以上500万円未満	58	141	73	57	15	344	58	141	73	57	329	199	130	329				
	16.9%	41.0%	21.2%	16.6%	4.4%	100.0%	17.6%	42.9%	22.2%	17.3%	100.0%	60.5%	39.5%	100.0%				
500万円以上800万円未満	43	132	80	43	11	309	43	132	80	43	298	175	123	298				
	13.9%	42.7%	25.9%	13.9%	3.6%	100.0%	14.4%	44.3%	26.8%	14.4%	100.0%	58.7%	41.3%	100.0%	χ ² = 10.38			
800万円以上	23	84	66	25	9	207	23	84	66	25	198	107	91	198				
	11.1%	40.6%	31.9%	12.1%	4.3%	100.0%	11.6%	42.4%	33.3%	12.6%	100.0%	54.0%	46.0%	100.0%	p = .0156			
無回答	17	26	27	19	42	131												
	13.0%	19.8%	20.6%	14.5%	32.1%	100.0%												
計	186	458	319	201	95	1,259	169	432	292	182	1,075	601	474	1,075				
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	15.7%	40.2%	27.2%	16.9%	100.0%	55.9%	44.1%	100.0%				
政治観																		
1 保守的	17	22	16	28	9	92	17	22	16	28	83	39	44	83				
	18.5%	23.9%	17.4%	30.4%	9.8%	100.0%	20.5%	26.5%	19.3%	33.7%	100.0%	47.0%	53.0%	100.0%				
2	36	152	110	45	25	368	36	152	110	45	343	188	155	343				
	9.8%	41.3%	29.9%	12.2%	6.8%	100.0%	10.5%	44.3%	32.1%	13.1%	100.0%	54.8%	45.2%	100.0%				
3	80	210	149	97	24	560	80	210	149	97	536	290	246	536				
	14.3%	37.5%	26.6%	17.3%	4.3%	100.0%	14.9%	39.2%	27.8%	18.1%	100.0%	54.1%	45.9%	100.0%				
4	32	56	31	16	5	140	32	56	31	16	135	88	47	135				
	22.9%	40.0%	22.1%	11.4%	3.6%	100.0%	23.7%	41.5%	23.0%	11.9%	100.0%	65.2%	34.8%	100.0%	χ ² = 8.62			
5 革新的	13	1	4	4	2	24	13	1	4	4	22	14	8	22				
	54.2%	4.2%	16.7%	16.7%	8.3%	100.0%	59.1%	4.5%	18.2%	18.2%	100.0%	63.6%	36.4%	100.0%	p = .0714			
無回答	8	17	9	11	30	75												
	10.7%	22.7%	12.0%	14.7%	40.0%	100.0%												
政治観 (3分割)																		
1・2 保守的	53	174	126	73	34	460	53	174	126	73	426	227	199	426				
	11.5%	37.8%	27.4%	15.9%	7.4%	100.0%	12.4%	40.8%	29.6%	17.1%	100.0%	53.3%	46.7%	100.0%				
3	80	210	149	97	24	560	80	210	149	97	536	290	246	536				
	14.3%	37.5%	26.6%	17.3%	4.3%	100.0%	14.9%	39.2%	27.8%	18.1%	100.0%	54.1%	45.9%	100.0%	χ ² = 6.95			
4・5 革新的	45	57	35	20	7	164	45	57	35	20	157	102	55	157				
	27.4%	34.8%	21.3%	12.2%	4.3%	100.0%	28.7%	36.3%	22.3%	12.7%	100.0%	65.0%	35.0%	100.0%	p = .0310			
無回答	8	17	9	11	30	75												
	10.7%	22.7%	12.0%	14.7%	40.0%	100.0%												
計	186	458	319	201	95	1,259	178	441	310	190	1,119	619	500	1,119				
	14.8%	36.4%	25.3%	16.0%	7.5%	100.0%	15.9%	39.4%	27.7%	17.0%	100.0%	55.3%	44.7%	100.0%				

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(〇はい×つでも)

1. 愛し合っただけでいい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	359	203	23	585	359	203	23	585	$\chi^2 = 1.68$	
女性	61.4%	34.7%	3.9%	100.0%	63.9%	36.1%	3.9%	100.0%		
計	382	254	38	674	382	254	38	674	$p = .1945$	
年代										
20-30代	133	193	9	335	133	193	9	335	$\chi^2 = 96.99$	
40-50代	279	158	19	456	279	158	19	456		
60-70代	329	106	33	468	329	106	33	468		
計	741	457	61	1,259	741	457	61	1,259	$p < .0001$	
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.9%	38.1%	4.8%	100.0%		

3. 海外で認められてから、日本でもあってよ

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	450	112	23	585	450	112	23	585	$\chi^2 = 5.74$	
女性	76.9%	19.1%	3.9%	100.0%	80.1%	19.9%	3.9%	100.0%		
計	471	165	38	674	471	165	38	674	$p = .0166$	
年代										
20-30代	206	120	9	335	206	120	9	335	$\chi^2 = 56.84$	
40-50代	339	98	19	456	339	98	19	456		
60-70代	376	59	33	468	376	59	33	468		
計	921	277	61	1,259	921	277	61	1,259	$p < .0001$	
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.9%	23.1%	4.8%	100.0%		

5. 生殖にむすびつかないから好ましくない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	478	84	23	585	478	84	23	585	$\chi^2 = 9.15$	
女性	81.7%	14.4%	3.9%	100.0%	85.1%	14.9%	3.9%	100.0%		
計	578	58	38	674	578	58	38	674	$p = .0025$	
年代										
20-30代	300	26	9	335	300	26	9	335	$\chi^2 = 9.35$	
40-50代	387	50	19	456	387	50	19	456		
60-70代	369	66	33	468	369	66	33	468		
計	1,056	142	61	1,259	1,056	142	61	1,259	$p = .0093$	
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.1%	11.9%	4.8%	100.0%		

7. この中であてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	517	45	23	585	517	45	23	585	$\chi^2 = 1.29$	
女性	88.4%	7.7%	3.9%	100.0%	92.0%	8.0%	3.9%	100.0%		
計	572	64	38	674	572	64	38	674	$p = .2568$	
年代										
20-30代	307	19	9	335	307	19	9	335	$\chi^2 = 5.84$	
40-50代	391	46	19	456	391	46	19	456		
60-70代	391	44	33	468	391	44	33	468		
計	1,089	109	61	1,259	1,089	109	61	1,259	$p = .0540$	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	90.9%	9.1%	4.8%	100.0%		

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	352	210	23	585	352	210	23	585	$\chi^2 = 31.67$	
女性	60.2%	35.9%	3.9%	100.0%	62.6%	37.4%	3.9%	100.0%		
計	294	342	38	674	294	342	38	674	$p < .0001$	
年代										
20-30代	111	215	9	335	111	215	9	335	$\chi^2 = 112.18$	
40-50代	221	216	19	456	221	216	19	456		
60-70代	314	121	33	468	314	121	33	468		
計	646	552	61	1,259	646	552	61	1,259	$p < .0001$	
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.9%	46.1%	4.8%	100.0%		

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	421	141	23	585	421	141	23	585	$\chi^2 = 25.24$	
女性	72.0%	24.1%	3.9%	100.0%	74.9%	25.1%	3.9%	100.0%		
計	550	86	38	674	550	86	38	674	$p < .0001$	
年代										
20-30代	305	21	9	335	305	21	9	335	$\chi^2 = 96.40$	
40-50代	375	62	19	456	375	62	19	456		
60-70代	291	144	33	468	291	144	33	468		
計	971	227	61	1,259	971	227	61	1,259	$p < .0001$	
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	81.1%	18.9%	4.8%	100.0%		

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
性別										
男性	413	149	23	585	413	149	23	585	$\chi^2 = 19.78$	
女性	70.6%	25.5%	3.9%	100.0%	73.5%	26.5%	3.9%	100.0%		
計	535	101	38	674	535	101	38	674	$p < .0001$	
年代										
20-30代	304	22	9	335	304	22	9	335	$\chi^2 = 90.60$	
40-50代	359	78	19	456	359	78	19	456		
60-70代	285	150	33	468	285	150	33	468		
計	948	250	61	1,259	948	250	61	1,259	$p < .0001$	
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.1%	20.9%	4.8%	100.0%		

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの意見ですか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っただけでいい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
結婚状況・経験										
結婚している	551	270	38	859	551	270	38	859		
	64.1%	31.4%	4.4%	100.0%	67.1%	32.9%	4.4%	100.0%		
結婚したことがない	99	132	7	238	99	132	7	238		
	41.6%	55.5%	2.9%	100.0%	42.9%	57.1%	2.9%	100.0%		
離別した	42	32	0	74	42	32	0	74		
	56.8%	43.2%	0.0%	100.0%	56.8%	43.2%	0.0%	100.0%		$\chi^2 = 48.28$
死別した	37	14	4	55	37	14	4	55		
	67.3%	25.5%	7.3%	100.0%	72.5%	27.5%	100.0%			$p < .0001$
その他	1	3	0	4						
	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%						
無回答	11	6	12	29						
	37.9%	20.7%	41.4%	100.0%						
計	741	457	61	1,259	729	448	1,177			
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.9%	38.1%	100.0%			
(現在結婚しているか否か)										
<結婚している>	551	270	38	859	551	270	38	859		
	64.1%	31.4%	4.4%	100.0%	67.1%	32.9%	4.4%	100.0%		$\chi^2 = 30.13$
<結婚していない>	178	178	11	367	178	178	11	367		
	48.5%	48.5%	3.0%	100.0%	50.0%	50.0%	3.0%	100.0%		$p < .0001$
(結婚経験の有無)										
<結婚経験有>	630	316	42	988	630	316	42	988		
	63.8%	32.0%	4.3%	100.0%	66.6%	33.4%	4.3%	100.0%		$\chi^2 = 43.38$
<結婚経験無>	99	132	7	238	99	132	7	238		
	41.6%	55.5%	2.9%	100.0%	42.9%	57.1%	2.9%	100.0%		$p < .0001$

3. 海外で認められているから、日本でもあつていい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
結婚状況・経験										
結婚している	648	173	38	859	648	173	38	859		
	75.4%	20.1%	4.4%	100.0%	78.9%	21.1%	4.4%	100.0%		
結婚したことがない	157	74	7	238	157	74	7	238		
	66.0%	31.1%	2.9%	100.0%	68.0%	32.0%	2.9%	100.0%		
離別した	57	17	0	74	57	17	0	74		
	77.0%	23.0%	0.0%	100.0%	77.0%	23.0%	0.0%	100.0%		$\chi^2 = 14.84$
死別した	44	7	4	55	44	7	4	55		
	80.0%	12.7%	7.3%	100.0%	86.3%	13.7%	100.0%			$p = .0020$
その他	3	1	0	4						
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%						
無回答	12	5	12	29						
	41.4%	17.2%	41.4%	100.0%						
計	921	277	61	1,259	906	271	1,177			
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%			
(現在結婚しているか否か)										
<結婚している>	648	173	38	859	648	173	38	859		
	75.4%	20.1%	4.4%	100.0%	78.9%	21.1%	4.4%	100.0%		$\chi^2 = 5.48$
<結婚していない>	258	98	11	367	258	98	11	367		
	70.3%	26.7%	3.0%	100.0%	72.5%	27.5%	3.0%	100.0%		$p = .0192$
(結婚経験の有無)										
<結婚経験有>	749	197	42	988	749	197	42	988		
	75.8%	19.9%	4.3%	100.0%	79.2%	20.8%	4.3%	100.0%		$\chi^2 = 12.54$
<結婚経験無>	157	74	7	238	157	74	7	238		
	66.0%	31.1%	2.9%	100.0%	68.0%	32.0%	2.9%	100.0%		$p = .0004$

5. 生殖にむすびつかないから好まない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
結婚状況・経験										
結婚している	724	97	38	859	724	97	38	859		
	84.3%	11.3%	4.4%	100.0%	88.2%	11.8%	4.4%	100.0%		
結婚したことがない	208	23	7	238	208	23	7	238		
	87.4%	9.7%	2.9%	100.0%	90.0%	10.0%	2.9%	100.0%		
離別した	66	8	0	74	66	8	0	74		
	89.2%	10.8%	0.0%	100.0%	89.2%	10.8%	0.0%	100.0%		$\chi^2 = 5.50$
死別した	40	11	4	55	40	11	4	55		
	72.7%	20.0%	7.3%	100.0%	78.4%	21.6%	100.0%			$p = .1389$
その他	3	1	0	4						
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%						
無回答	15	2	12	29						
	51.7%	6.9%	41.4%	100.0%						
計	1,056	142	61	1,259	1,038	139	1,177			
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.2%	11.8%	100.0%			
(現在結婚しているか否か)										
<結婚している>	724	97	38	859	724	97	38	859		
	84.3%	11.3%	4.4%	100.0%	88.2%	11.8%	4.4%	100.0%		$\chi^2 = 0.00$
<結婚していない>	314	42	11	367	314	42	11	367		
	85.6%	11.4%	3.0%	100.0%	88.2%	11.8%	3.0%	100.0%		$p = 1.0000$
(結婚経験の有無)										
<結婚経験有>	830	116	42	988	830	116	42	988		
	84.0%	11.7%	4.3%	100.0%	87.7%	12.3%	4.3%	100.0%		$\chi^2 = 0.74$
<結婚経験無>	208	23	7	238	208	23	7	238		
	87.4%	9.7%	2.9%	100.0%	90.0%	10.0%	2.9%	100.0%		$p = .3900$

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
結婚状況・経験										
結婚している	477	344	38	859	477	344	38	859		
	55.5%	40.0%	4.4%	100.0%	58.1%	41.9%	4.4%	100.0%		
結婚したことがない	87	144	7	238	87	144	7	238		
	36.6%	60.5%	2.9%	100.0%	37.7%	62.3%	2.9%	100.0%		
離別した	39	35	0	74	39	35	0	74		
	52.7%	47.3%	0.0%	100.0%	52.7%	47.3%	0.0%	100.0%		$\chi^2 = 37.47$
死別した	37	14	4	55	37	14	4	55		
	67.3%	25.5%	7.3%	100.0%	72.5%	27.5%	100.0%			$p < .0001$
その他	2	2	0	4						
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%						
無回答	4	13	12	29						
	13.8%	44.8%	41.4%	100.0%						
計	646	552	61	1,259	640	537	1,177			
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	54.4%	45.6%	100.0%			
(現在結婚しているか否か)										
<結婚している>	477	344	38	859	477	344	38	859		
	55.5%	40.0%	4.4%	100.0%	58.1%	41.9%	4.4%	100.0%		$\chi^2 = 14.68$
<結婚していない>	163	193	11	367	163	193	11	367		
	44.4%	52.6%	3.0%	100.0%	45.8%	54.2%	3.0%	100.0%		$p = .0001$
(結婚経験の有無)										
<結婚経験有>	553	393	42	988	553	393	42	988		
	56.0%	39.8%	4.3%	100.0%	58.5%	41.5%	4.3%	100.0%		$\chi^2 = 31.53$
<結婚経験無>	87	144	7	238	87	144	7	238		
	36.6%	60.5%	2.9%	100.0%	37.7%	62.3%	2.9%	100.0%		$p < .0001$

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
結婚状況・経験										
結婚している	641	180	38	859	641	180	38	859		
	74.6%	21.0%	4.4%	100.0%	78.1%	21.9%	4.4%	100.0%		
結婚したことがない	216	15	7	238	216	15	7	238		
	90.8%	6.3%	2.9%	100.0%	93.5%	6.5%	2.9%	100.0%		
離別した	60	14	0	74	60	14	0	74		
	81.1%	18.9%	0.0%	100.0%	81.1%	18.9%	0.0%	100.0%		$\chi^2 = 32.95$
死別した	35	16	4	55	35	16	4	55		
	63.6%	29.1%	7.3%	100.0%	68.6%	31.4%	100.0%			$p < .0001$
その他	3	1	0	4						
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%						
無回答	16	1	12	29						
	55.2%	3.4%	41.4%	100.0%						
計	971	227	61	1,259	952	225	1,177			
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			
(現在結婚しているか否か)										
<結婚している>	641	180	38	859	641	180	38	859		
	74.6%	21.0%	4.4%	100.0%	78.1%	21.9%	4.4%	100.0%		$\chi^2 = 13.25$
<結婚していない>										

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの思いますか。(〇はいくつでも)

7. この中にあてはまるものはない

	はい				いいえ			カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	
結婚状況・経験								
結婚している	738	83	38	859	738	83	821	
	85.9%	9.7%	4.4%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%	
結婚したことがない	214	17	7	238	214	17	231	
	89.9%	7.1%	2.9%	100.0%	92.6%	7.4%	100.0%	
離別した	67	7	0	74	67	7	74	
	90.5%	9.5%	0.0%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	$\chi^2 = 3.43$
死別した	49	2	4	55	49	2	51	
	89.1%	3.6%	7.3%	100.0%	96.1%	3.9%	100.0%	$p = .3298$
その他	4	0	0	4				
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				
無回答	17	0	12	29				
	58.6%	0.0%	41.4%	100.0%				
計	1,089	109	61	1,259	1,068	109	1,177	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%	
(現在結婚しているか否か)								
<結婚している>	738	83	38	859	738	83	821	
	85.9%	9.7%	4.4%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%	$\chi^2 = 2.01$
<結婚していない>	330	26	11	367	330	26	356	
	89.9%	7.1%	3.0%	100.0%	92.7%	7.3%	100.0%	$p = .1568$
(結婚経験の有無)								
<結婚経験有>	854	92	42	988	854	92	946	
	86.4%	9.3%	4.3%	100.0%	90.3%	9.7%	100.0%	$\chi^2 = 0.97$
<結婚経験無>	214	17	7	238	214	17	231	
	89.9%	7.1%	2.9%	100.0%	92.6%	7.4%	100.0%	$p = .3244$

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのようになりますか。(〇はい、×はいいえ)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	14	12	0	26	14	12	26	
	53.8%	46.2%	0.0%	100.0%	53.8%	46.2%	100.0%	
過去にしていた	94	92	3	189	94	92	186	
	49.7%	48.7%	1.6%	100.0%	50.5%	49.5%	100.0%	$\chi^2 = 12.07$
同棲したことはない	608	346	44	998	608	346	954	
	60.9%	34.7%	4.4%	100.0%	63.7%	36.3%	100.0%	$p = .0024$
無回答	25	7	14	46				
	54.3%	15.2%	30.4%	100.0%				
計	741	457	61	1,259	716	450	1,166	
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.4%	38.6%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	108	104	3	215	108	104	212	
	50.2%	48.4%	1.4%	100.0%	50.9%	49.1%	100.0%	$\chi^2 = 11.44$
<同棲経験無>	608	346	44	998	608	346	954	
	60.9%	34.7%	4.4%	100.0%	63.7%	36.3%	100.0%	$p = .0007$

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	19	7	0	26	19	7	26	
	73.1%	26.9%	0.0%	100.0%	73.1%	26.9%	100.0%	
過去にしていた	133	53	3	189	133	53	186	
	70.4%	28.0%	1.6%	100.0%	71.5%	28.5%	100.0%	$\chi^2 = 4.03$
同棲したことはない	745	209	44	998	745	209	954	
	74.6%	20.9%	4.4%	100.0%	78.1%	21.9%	100.0%	$p = .1335$
無回答	24	8	14	46				
	52.2%	17.4%	30.4%	100.0%				
計	921	277	61	1,259	897	269	1,166	
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	152	60	3	215	152	60	212	
	70.7%	27.9%	1.4%	100.0%	71.7%	28.3%	100.0%	$\chi^2 = 3.64$
<同棲経験無>	745	209	44	998	745	209	954	
	74.6%	20.9%	4.4%	100.0%	78.1%	21.9%	100.0%	$p = .0563$

5. 生殖にむずつかないから好まない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	23	3	0	26	23	3	26	
	88.5%	11.5%	0.0%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%	
過去にしていた	160	26	3	189	160	26	186	
	84.7%	13.8%	1.6%	100.0%	86.0%	14.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.15$
同棲したことはない	847	107	44	998	847	107	954	
	84.9%	10.7%	4.4%	100.0%	88.8%	11.2%	100.0%	$p = .5618$
無回答	26	6	14	46				
	56.5%	13.0%	30.4%	100.0%				
計	1,056	142	61	1,259	1,030	136	1,166	
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.3%	11.7%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	183	29	3	215	183	29	212	
	85.1%	13.5%	1.4%	100.0%	86.3%	13.7%	100.0%	$\chi^2 = 0.80$
<同棲経験無>	847	107	44	998	847	107	954	
	84.9%	10.7%	4.4%	100.0%	88.8%	11.2%	100.0%	$p = .3722$

7. この中であてはまるものはない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	23	3	0	26	23	3	26	
	88.5%	11.5%	0.0%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%	
過去にしていた	177	9	3	189	177	9	186	
	93.7%	4.8%	1.6%	100.0%	95.2%	4.8%	100.0%	$\chi^2 = 4.65$
同棲したことはない	862	92	44	998	862	92	954	
	86.4%	9.2%	4.4%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%	$p = .0979$
無回答	27	5	14	46				
	58.7%	10.9%	30.4%	100.0%				
計	1,089	109	61	1,259	1,062	104	1,166	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	200	12	3	215	200	12	212	
	93.0%	5.6%	1.4%	100.0%	94.3%	5.7%	100.0%	$\chi^2 = 2.92$
<同棲経験無>	862	92	44	998	862	92	954	
	86.4%	9.2%	4.4%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%	$p = .0878$

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	9	17	0	26	9	17	26	
	34.6%	65.4%	0.0%	100.0%	34.6%	65.4%	100.0%	
過去にしていた	83	103	3	189	83	103	186	
	43.9%	54.5%	1.6%	100.0%	44.6%	55.4%	100.0%	$\chi^2 = 12.14$
同棲したことはない	535	419	44	998	535	419	954	
	53.6%	42.0%	4.4%	100.0%	56.1%	43.9%	100.0%	$p = .0023$
無回答	19	13	14	46				
	41.3%	28.3%	30.4%	100.0%				
計	646	552	61	1,259	627	539	1,166	
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.8%	46.2%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	92	120	3	215	92	120	212	
	42.8%	55.8%	1.4%	100.0%	43.4%	56.6%	100.0%	$\chi^2 = 10.72$
<同棲経験無>	535	419	44	998	535	419	954	
	53.6%	42.0%	4.4%	100.0%	56.1%	43.9%	100.0%	$p = .0011$

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	20	6	0	26	20	6	26	
	76.9%	23.1%	0.0%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%	
過去にしていた	162	24	3	189	162	24	186	
	85.7%	12.7%	1.6%	100.0%	87.1%	12.9%	100.0%	$\chi^2 = 5.67$
同棲したことはない	761	193	44	998	761	193	954	
	76.3%	19.3%	4.4%	100.0%	79.8%	20.2%	100.0%	$p = .0587$
無回答	28	4	14	46				
	60.9%	8.7%	30.4%	100.0%				
計	971	227	61	1,259	943	223	1,166	
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	182	30	3	215	182	30	212	
	84.7%	14.0%	1.4%	100.0%	85.8%	14.2%	100.0%	$\chi^2 = 3.76$
<同棲経験無>	761	193	44	998	761	193	954	
	76.3%	19.3%	4.4%	100.0%	79.8%	20.2%	100.0%	$p = .0525$

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
同棲状況・経験								
現在している	23	3	0	26	23	3	26	
	88.5%	11.5%	0.0%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%	
過去にしていた	165	21	3	189	165	21	186	
	87.3%	11.1%	1.6%	100.0%	88.7%	11.3%	100.0%	$\chi^2 = 13.81$
同棲したことはない	737	217	44	998	737	217	954	
	73.8%	21.7%	4.4%	100.0%	77.3%	22.7%	100.0%	$p = .0010$
無回答	23	9	14	46				
	50.0%	19.6%	30.4%	100.0%				
計	948	250	61	1,259	925	241	1,166	
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.3%	20.7%	100.0%	
同棲経験の有無								
<同棲経験有>	188	24	3	215	188	24	212	
	87.4%	11.2%	1.4%	100.0%	88.7%	11.3%	100.0%	$\chi^2 = 13.12$
<同棲経験無>	737	217	44	998	737	217	954	
	73.8%	21.7%	4.4%	100.0%	77.3%	22.7%	100.0%	$p = .0003$

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの思いますか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	578	276	38	892	578	276	38	854	$\chi^2 = 51.46$ $p < .0001$	
	64.8%	30.9%	4.3%	100.0%	67.7%	32.3%	100.0%			
子なし	140	175	11	326	140	175	11	315		
	42.9%	53.7%	3.4%	100.0%	44.4%	55.6%	100.0%			
無回答	23	6	12	41						
	56.1%	14.6%	29.3%	100.0%						
計	741	457	61	1,259	718	451	1,169			
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.4%	38.6%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	577	270	35	882	577	270	35	847	$\chi^2 = 13.24$ $p = .0003$	
	65.4%	30.6%	4.0%	100.0%	68.1%	31.9%	100.0%			
子なし	39	43	2	84	39	43	2	82		
	46.4%	51.2%	2.4%	100.0%	47.6%	52.4%	100.0%			
無回答	14	3	5	22						
	63.6%	13.6%	22.7%	100.0%						
計	630	316	42	988	616	313	929			
	63.8%	32.0%	4.3%	100.0%	66.3%	33.7%	100.0%			

3. 海外で認められてから、日本でもあってよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	683	171	38	892	683	171	38	854	$\chi^2 = 14.50$ $p = .0001$	
	76.6%	19.2%	4.3%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%			
子なし	218	97	11	326	218	97	11	315		
	66.9%	29.8%	3.4%	100.0%	69.2%	30.8%	100.0%			
無回答	20	9	12	41						
	48.8%	22.0%	29.3%	100.0%						
計	921	277	61	1,259	901	268	1,169			
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	77.1%	22.9%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	676	171	35	882	676	171	35	847	$\chi^2 = 1.62$ $p = .2031$	
	76.6%	19.4%	4.0%	100.0%	79.8%	20.2%	100.0%			
子なし	60	22	2	84	60	22	2	82		
	71.4%	26.2%	2.4%	100.0%	73.2%	26.8%	100.0%			
無回答	13	4	5	22						
	59.1%	18.2%	22.7%	100.0%						
計	749	197	42	988	736	193	929			
	75.8%	19.9%	4.3%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%			

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	750	104	38	892	750	104	38	854	$\chi^2 = 0.73$ $p = .3939$	
	84.1%	11.7%	4.3%	100.0%	87.8%	12.2%	100.0%			
子なし	283	32	11	326	283	32	11	315		
	86.8%	9.8%	3.4%	100.0%	89.8%	10.2%	100.0%			
無回答	23	6	12	41						
	56.1%	14.6%	29.3%	100.0%						
計	1,056	142	61	1,259	1,033	136	1,169			
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.4%	11.6%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	743	104	35	882	743	104	35	847	$\chi^2 = 0.24$ $p = .6225$	
	84.2%	11.8%	4.0%	100.0%	87.7%	12.3%	100.0%			
子なし	74	8	2	84	74	8	2	82		
	88.1%	9.5%	2.4%	100.0%	90.2%	9.8%	100.0%			
無回答	13	4	5	22						
	59.1%	18.2%	22.7%	100.0%						
計	830	116	42	988	817	112	929			
	84.0%	11.7%	4.3%	100.0%	87.9%	12.1%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	510	344	38	892	510	344	38	854	$\chi^2 = 44.97$ $p < .0001$	
	57.2%	38.6%	4.3%	100.0%	59.7%	40.3%	100.0%			
子なし	118	197	11	326	118	197	11	315		
	36.2%	60.4%	3.4%	100.0%	37.5%	62.5%	100.0%			
無回答	18	11	12	41						
	43.9%	26.8%	29.3%	100.0%						
計	646	552	61	1,259	628	541	1,169			
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.7%	46.3%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	506	341	35	882	506	341	35	847	$\chi^2 = 9.52$ $p = .0020$	
	57.4%	38.7%	4.0%	100.0%	59.7%	40.3%	100.0%			
子なし	34	48	2	84	34	48	2	82		
	40.5%	57.1%	2.4%	100.0%	41.5%	58.5%	100.0%			
無回答	13	4	5	22						
	59.1%	18.2%	22.7%	100.0%						
計	553	393	42	988	540	389	929			
	56.0%	39.8%	4.3%	100.0%	58.1%	41.9%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	659	195	38	892	659	195	38	854	$\chi^2 = 28.09$ $p < .0001$	
	73.9%	21.9%	4.3%	100.0%	77.2%	22.8%	100.0%			
子なし	287	28	11	326	287	28	11	315		
	88.0%	8.6%	3.4%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%			
無回答	25	4	12	41						
	61.0%	9.8%	29.3%	100.0%						
計	971	227	61	1,259	946	223	1,169			
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	652	195	35	882	652	195	35	847	$\chi^2 = 2.57$ $p = .1087$	
	73.9%	22.1%	4.0%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%			
子なし	70	12	2	84	70	12	2	82		
	83.3%	14.3%	2.4%	100.0%	85.4%	14.6%	100.0%			
無回答	14	3	5	22						
	63.6%	13.6%	22.7%	100.0%						
計	736	210	42	988	722	207	929			
	74.5%	21.3%	4.3%	100.0%	77.7%	22.3%	100.0%			

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無										
子あり	644	210	38	892	644	210	38	854	$\chi^2 = 26.99$ $p < .0001$	
	72.2%	23.5%	4.3%	100.0%	75.4%	24.6%	100.0%			
子なし	282	33	11	326	282	33	11	315		
	86.5%	10.1%	3.4%	100.0%	89.5%	10.5%	100.0%			
無回答	22	7	12	41						
	53.7%	17.1%	29.3%	100.0%						
計	948	250	61	1,259	926	243	1,169			
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%			

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子の有無 (結婚経験者のみ)										
子あり	637	210	35	882	637	210	35	847	$\chi^2 = 5.89$ $p = .0153$	
	72.2%	23.8%	4.0%	100.0%	75.2%	24.8%	100.0%			
子なし	72	10	2	84	72	10	2	82		
	85.7%	11.9%	2.4%	100.0%	87.8%	12.2%	100.0%			
無回答	12	5	5	22						
	54.5%	22.7%	22.7%	100.0%						
計	721	225	42	988	709	220	929			
	73.0%	22.8%	4.3%	100.0%	76.3%	23.7%	100.0%			

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどお思いますか。(〇はいくつでも)

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
子の有無								
子あり	768	86	38	892	768	86	854	$\chi^2 = 4.11$ p = .0426
	86.1%	9.6%	4.3%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%	
子なし	296	19	11	326	296	19	315	
	90.8%	5.8%	3.4%	100.0%	94.0%	6.0%	100.0%	
無回答	25	4	12	41				
	61.0%	9.8%	29.3%	100.0%				
計	1,089	109	61	1,259	1,064	105	1,169	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
子の有無 (結婚経験者のみ)								
子あり	761	86	35	882	761	86	847	$\chi^2 = 2.93$ p = .0870
	86.3%	9.8%	4.0%	100.0%	89.8%	10.2%	100.0%	
子なし	79	3	2	84	79	3	82	
	94.0%	3.6%	2.4%	100.0%	96.3%	3.7%	100.0%	
無回答	14	3	5	22				
	63.6%	13.6%	22.7%	100.0%				
計	854	92	42	988	840	89	929	
	86.4%	9.3%	4.3%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%	

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はいつでも)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	97	33	9	139	97	33		130		
	69.8%	23.7%	6.5%	100.0%	74.6%	25.4%		100.0%		
高校卒	314	175	21	510	314	175		489		
	61.6%	34.3%	4.1%	100.0%	64.2%	35.8%		100.0%		
専門・専修学校卒	65	67	5	137	65	67		132		
	47.4%	48.9%	3.6%	100.0%	49.2%	50.8%		100.0%		
短大・高専卒	64	51	5	120	64	51		115		
	53.3%	42.5%	4.2%	100.0%	55.7%	44.3%		100.0%	$\chi^2 = 21.87$	
大学・大学院卒	173	121	8	302	173	121		294		
	57.3%	40.1%	2.6%	100.0%	58.8%	41.2%		100.0%	$p = .0002$	
計	713	447	48	1,208	713	447		1,160		
	59.0%	37.0%	4.0%	100.0%	61.5%	38.5%		100.0%		

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	109	21	9	139	109	21		130		
	78.4%	15.1%	6.5%	100.0%	83.8%	16.2%		100.0%		
高校卒	375	114	21	510	375	114		489		
	73.5%	22.4%	4.1%	100.0%	76.7%	23.3%		100.0%		
専門・専修学校卒	91	41	5	137	91	41		132		
	66.4%	29.9%	3.6%	100.0%	68.9%	31.1%		100.0%		
短大・高専卒	87	28	5	120	87	28		115		
	72.5%	23.3%	4.2%	100.0%	75.7%	24.3%		100.0%	$\chi^2 = 8.83$	
大学・大学院卒	231	63	8	302	231	63		294		
	76.5%	20.9%	2.6%	100.0%	78.6%	21.4%		100.0%	$p = .0654$	
計	893	267	48	1,208	893	267		1,160		
	73.9%	22.1%	4.0%	100.0%	77.0%	23.0%		100.0%		

5. 生殖にむすびつかないから好ましくない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	112	18	9	139	112	18		130		
	80.6%	12.9%	6.5%	100.0%	86.2%	13.8%		100.0%		
高校卒	436	53	21	510	436	53		489		
	85.5%	10.4%	4.1%	100.0%	89.2%	10.8%		100.0%		
専門・専修学校卒	121	11	5	137	121	11		132		
	88.3%	8.0%	3.6%	100.0%	91.7%	8.3%		100.0%		
短大・高専卒	101	14	5	120	101	14		115		
	84.2%	11.7%	4.2%	100.0%	87.8%	12.2%		100.0%	$\chi^2 = 3.11$	
大学・大学院卒	255	39	8	302	255	39		294		
	84.4%	12.9%	2.6%	100.0%	86.7%	13.3%		100.0%	$p = .5394$	
計	1,025	135	48	1,208	1,025	135		1,160		
	84.9%	11.2%	4.0%	100.0%	88.4%	11.6%		100.0%		

7. この中であてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	115	15	9	139	115	15		130		
	82.7%	10.8%	6.5%	100.0%	88.5%	11.5%		100.0%		
高校卒	443	46	21	510	443	46		489		
	86.9%	9.0%	4.1%	100.0%	90.6%	9.4%		100.0%		
専門・専修学校卒	124	8	5	137	124	8		132		
	90.5%	5.8%	3.6%	100.0%	93.9%	6.1%		100.0%		
短大・高専卒	101	14	5	120	101	14		115		
	84.2%	11.7%	4.2%	100.0%	87.8%	12.2%		100.0%	$\chi^2 = 5.18$	
大学・大学院卒	273	21	8	302	273	21		294		
	90.4%	7.0%	2.6%	100.0%	92.9%	7.1%		100.0%	$p = .2690$	
計	1,056	104	48	1,208	1,056	104		1,160		
	87.4%	8.6%	4.0%	100.0%	91.0%	9.0%		100.0%		

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	88	42	9	139	88	42		130		
	63.3%	30.2%	6.5%	100.0%	67.7%	32.3%		100.0%		
高校卒	277	212	21	510	277	212		489		
	54.3%	41.6%	4.1%	100.0%	56.6%	43.4%		100.0%		
専門・専修学校卒	59	73	5	137	59	73		132		
	43.1%	53.3%	3.6%	100.0%	44.7%	55.3%		100.0%		
短大・高専卒	50	65	5	120	50	65		115		
	41.7%	54.2%	4.2%	100.0%	43.5%	56.5%		100.0%	$\chi^2 = 22.16$	
大学・大学院卒	149	145	8	302	149	145		294		
	49.3%	48.0%	2.6%	100.0%	50.7%	49.3%		100.0%	$p = .0002$	
計	623	537	48	1,208	623	537		1,160		
	51.6%	44.5%	4.0%	100.0%	53.7%	46.3%		100.0%		

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	91	39	9	139	91	39		130		
	65.5%	28.1%	6.5%	100.0%	70.0%	30.0%		100.0%		
高校卒	389	100	21	510	389	100		489		
	76.3%	19.6%	4.1%	100.0%	79.6%	20.4%		100.0%		
専門・専修学校卒	113	19	5	137	113	19		132		
	82.5%	13.9%	3.6%	100.0%	85.6%	14.4%		100.0%		
短大・高専卒	98	17	5	120	98	17		115		
	81.7%	14.2%	4.2%	100.0%	85.2%	14.8%		100.0%	$\chi^2 = 16.67$	
大学・大学院卒	249	45	8	302	249	45		294		
	82.5%	14.9%	2.6%	100.0%	84.7%	15.3%		100.0%	$p = .0022$	
計	940	220	48	1,208	940	220		1,160		
	77.8%	18.2%	4.0%	100.0%	81.0%	19.0%		100.0%		

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
最後に卒業した学校										
中学校卒	97	33	9	139	97	33		130		
	69.8%	23.7%	6.5%	100.0%	74.6%	25.4%		100.0%		
高校卒	368	121	21	510	368	121		489		
	72.2%	23.7%	4.1%	100.0%	75.3%	24.7%		100.0%		
専門・専修学校卒	114	18	5	137	114	18		132		
	83.2%	13.1%	3.6%	100.0%	86.4%	13.6%		100.0%		
短大・高専卒	100	15	5	120	100	15		115		
	83.3%	12.5%	4.2%	100.0%	87.0%	13.0%		100.0%	$\chi^2 = 15.33$	
大学・大学院卒	239	55	8	302	239	55		294		
	79.1%	18.2%	2.6%	100.0%	81.3%	18.7%		100.0%	$p = .0041$	
計	918	242	48	1,208	918	242		1,160		
	76.0%	20.0%	4.0%	100.0%	79.1%	20.9%		100.0%		

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (中学校)										
男女共学	685	426	47	1,158	685	426	47	1,111		
	59.2%	36.8%	4.1%	100.0%	61.7%	38.3%	4.1%	100.0%		
男子校・男子部	7	5	0	12	7	5	0	12		
	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 3.01$	
女子校・女子部	7	10	0	17	7	10	0	17		
	41.2%	58.8%	0.0%	100.0%	41.2%	58.8%	0.0%	100.0%	$p = .2224$	
計	699	441	47	1,187	699	441	47	1,140		
	58.9%	37.2%	4.0%	100.0%	61.3%	38.7%	4.0%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (高等学校)										
男女共学	446	325	23	794	446	325	23	771		
	56.2%	40.9%	2.9%	100.0%	57.8%	42.2%	2.9%	100.0%		
男子校・男子部	65	32	5	102	65	32	5	102		
	63.7%	31.4%	4.9%	100.0%	67.0%	33.0%	4.9%	100.0%	$\chi^2 = 4.31$	
女子校・女子部	113	65	10	188	113	65	10	178		
	60.1%	34.6%	5.3%	100.0%	63.5%	36.5%	5.3%	100.0%	$p = .1158$	
計	624	422	38	1,084	624	422	38	1,046		
	57.6%	38.9%	3.5%	100.0%	59.7%	40.3%	3.5%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (短大・大学)										
男女共学	222	171	9	402	222	171	9	393		
	55.2%	42.5%	2.2%	100.0%	56.5%	43.5%	2.2%	100.0%		
男子校・男子部	3	4	1	8	3	4	1	8		
	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%	42.9%	57.1%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 0.74$	
女子校・女子部	58	50	4	112	58	50	4	108		
	51.8%	44.6%	3.6%	100.0%	53.7%	46.3%	3.6%	100.0%	$p = .6903$	
計	283	225	14	522	283	225	14	508		
	54.2%	43.1%	2.7%	100.0%	55.7%	44.3%	2.7%	100.0%		

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (中学校)										
男女共学	852	259	47	1,158	852	259	47	1,111		
	73.6%	22.4%	4.1%	100.0%	76.7%	23.3%	4.1%	100.0%		
男子校・男子部	8	4	0	12	8	4	0	12		
	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 0.98$	
女子校・女子部	14	3	0	17	14	3	0	17		
	82.4%	17.6%	0.0%	100.0%	82.4%	17.6%	0.0%	100.0%	$p = .6131$	
計	874	266	47	1,187	874	266	47	1,140		
	73.6%	22.4%	4.0%	100.0%	76.7%	23.3%	4.0%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (高等学校)										
男女共学	585	186	23	794	585	186	23	771		
	73.7%	23.4%	2.9%	100.0%	75.9%	24.1%	2.9%	100.0%		
男子校・男子部	76	21	5	102	76	21	5	102		
	74.5%	20.6%	4.9%	100.0%	78.4%	21.6%	4.9%	100.0%	$\chi^2 = 0.45$	
女子校・女子部	133	45	10	188	133	45	10	178		
	70.7%	23.9%	5.3%	100.0%	74.7%	25.3%	5.3%	100.0%	$p = .7967$	
計	794	252	38	1,084	794	252	38	1,046		
	73.2%	23.2%	3.5%	100.0%	75.9%	24.1%	3.5%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (短大・大学)										
男女共学	302	91	9	402	302	91	9	393		
	75.1%	22.6%	2.2%	100.0%	76.8%	23.2%	2.2%	100.0%		
男子校・男子部	4	3	1	8	4	3	1	8		
	50.0%	37.5%	12.5%	100.0%	57.1%	42.9%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.74$	
女子校・女子部	80	28	4	112	80	28	4	108		
	71.4%	25.0%	3.6%	100.0%	74.1%	25.9%	3.6%	100.0%	$p = .4195$	
計	386	122	14	522	386	122	14	508		
	73.9%	23.4%	2.7%	100.0%	76.0%	24.0%	2.7%	100.0%		

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (中学校)										
男女共学	598	513	47	1,158	598	513	47	1,111		
	51.6%	44.3%	4.1%	100.0%	53.8%	46.2%	4.1%	100.0%		
男子校・男子部	6	6	0	12	6	6	0	12		
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 6.23$	
女子校・女子部	4	13	0	17	4	13	0	17		
	23.5%	76.5%	0.0%	100.0%	23.5%	76.5%	0.0%	100.0%	$p = .0444$	
計	608	532	47	1,187	608	532	47	1,140		
	51.2%	44.8%	4.0%	100.0%	53.3%	46.7%	4.0%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (高等学校)										
男女共学	404	367	23	794	404	367	23	771		
	50.9%	46.2%	2.9%	100.0%	52.4%	47.6%	2.9%	100.0%		
男子校・男子部	63	34	5	102	63	34	5	102		
	61.8%	33.3%	4.9%	100.0%	64.9%	35.1%	4.9%	100.0%	$\chi^2 = 15.98$	
女子校・女子部	72	106	10	188	72	106	10	178		
	38.3%	56.4%	5.3%	100.0%	40.4%	59.6%	5.3%	100.0%	$p = .0003$	
計	539	507	38	1,084	539	507	38	1,046		
	49.7%	46.8%	3.5%	100.0%	51.5%	48.5%	3.5%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (短大・大学)										
男女共学	191	202	9	402	191	202	9	393		
	47.5%	50.2%	2.2%	100.0%	48.6%	51.4%	2.2%	100.0%		
男子校・男子部	3	4	1	8	3	4	1	8		
	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%	42.9%	57.1%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 2.67$	
女子校・女子部	43	65	4	112	43	65	4	108		
	38.4%	58.0%	3.6%	100.0%	39.8%	60.2%	3.6%	100.0%	$p = .2633$	
計	237	271	14	522	237	271	14	508		
	45.4%	51.9%	2.7%	100.0%	46.7%	53.3%	2.7%	100.0%		

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (中学校)										
男女共学	901	210	47	1,158	901	210	47	1,111		
	77.8%	18.1%	4.1%	100.0%	81.1%	18.9%	4.1%	100.0%		
男子校・男子部	8	4	0	12	8	4	0	12		
	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 2.19$	
女子校・女子部	15	2	0	17	15	2	0	17		
	88.2%	11.8%	0.0%	100.0%	88.2%	11.8%	0.0%	100.0%	$p = .3346$	
計	924	216	47	1,187	924	216	47	1,140		
	77.8%	18.2%	4.0%	100.0%	81.1%	18.9%	4.0%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (高等学校)										
男女共学	638	133	23	794	638	133	23	771		
	80.4%	16.8%	2.9%	100.0%	82.7%	17.3%	2.9%	100.0%		
男子校・男子部	72	25	5	102	72	25	5	102		
	70.6%	24.5%	4.9%	100.0%	74.2%	25.8%	4.9%	100.0%	$\chi^2 = 6.10$	
女子校・女子部	153	25	10	188	153	25	10	178		
	81.4%	13.3%	5.3%	100.0%	86.0%	14.0%	5.3%	100.0%	$p = .0472$	
計	863	183	38	1,084	863	183	38	1,046		
	79.6%	16.9%	3.5%	100.0%	82.5%	17.5%	3.5%	100.0%		

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
共学別学 (短大・大学)										
男女共学	335	58	9	402	335	58	9	393		
	83.3%	14.4%	2.2%	100.0%	85.2%	14.8%	2.2%	100.0%		
男子校・男子部	5	2	1	8	5	2	1	8		
	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.13$	
女子校・女子部	93	15	4	112	93	15	4	108		
	83.0%	13.4%	3.6%	100.0%	86.1%	13.9%	3.6%	100.0%	$p = .5694$	
計	433	75	14	522	433	75	14	508		
	83.0%	14.4%	2.7%	100.0%	85.2%	14.8%	2.7%	100.0%		

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(〇はいつくても)

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (中学校)								
男女共学	980	131	47	1,158	980	131	1,111	
	84.6%	11.3%	4.1%	100.0%	88.2%	11.8%	100.0%	
男子校・男子部	11	1	0	12	11	1	12	
	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%	91.7%	8.3%	100.0%	$\chi^2 = 2.40$
女子校・女子部	17	0	0	17	17	0	17	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	$p = .3014$
計	1,008	132	47	1,187	1,008	132	1,140	
	84.9%	11.1%	4.0%	100.0%	88.4%	11.6%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (高等学校)								
男女共学	686	85	23	794	686	85	771	
	86.4%	10.7%	2.9%	100.0%	89.0%	11.0%	100.0%	
男子校・男子部	81	16	5	102	81	16	97	
	79.4%	15.7%	4.9%	100.0%	83.5%	16.5%	100.0%	$\chi^2 = 4.16$
女子校・女子部	163	15	10	188	163	15	178	
	86.7%	8.0%	5.3%	100.0%	91.6%	8.4%	100.0%	$p = .1251$
計	930	116	38	1,084	930	116	1,046	
	85.8%	10.7%	3.5%	100.0%	88.9%	11.1%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (短大・大学)								
男女共学	342	51	9	402	342	51	393	
	85.1%	12.7%	2.2%	100.0%	87.0%	13.0%	100.0%	
男子校・男子部	7	0	1	8	7	0	7	
	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 2.08$
女子校・女子部	98	10	4	112	98	10	108	
	87.5%	8.9%	3.6%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%	$p = .3540$
計	447	61	14	522	447	61	508	
	85.6%	11.7%	2.7%	100.0%	88.0%	12.0%	100.0%	

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (中学校)								
男女共学	1009	102	47	1,158	1009	102	1,111	
	87.1%	8.8%	4.1%	100.0%	90.8%	9.2%	100.0%	
男子校・男子部	11	1	0	12	11	1	12	
	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%	91.7%	8.3%	100.0%	$\chi^2 = 1.72$
女子校・女子部	17	0	0	17	17	0	17	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	$p = .4222$
計	1,037	103	47	1,187	1,037	103	1,140	
	87.4%	8.7%	4.0%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (高等学校)								
男女共学	704	67	23	794	704	67	771	
	88.7%	8.4%	2.9%	100.0%	91.3%	8.7%	100.0%	
男子校・男子部	89	8	5	102	89	8	97	
	87.3%	7.8%	4.9%	100.0%	91.8%	8.2%	100.0%	$\chi^2 = 0.17$
女子校・女子部	161	17	10	188	161	17	178	
	85.6%	9.0%	5.3%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%	$p = .9169$
計	954	92	38	1,084	954	92	1,046	
	88.0%	8.5%	3.5%	100.0%	91.2%	8.8%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (短大・大学)								
男女共学	364	29	9	402	364	29	393	
	90.5%	7.2%	2.2%	100.0%	92.6%	7.4%	100.0%	
男子校・男子部	7	0	1	8	7	0	7	
	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.01$
女子校・女子部	98	10	4	112	98	10	108	
	87.5%	8.9%	3.6%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%	$p = .6027$
計	469	39	14	522	469	39	508	
	89.8%	7.5%	2.7%	100.0%	92.3%	7.7%	100.0%	

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (中学校)								
男女共学	880	231	47	1,158	880	231	1,111	
	76.0%	19.9%	4.1%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%	
男子校・男子部	10	2	0	12	10	2	12	
	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%	83.3%	16.7%	100.0%	$\chi^2 = 0.22$
女子校・女子部	14	3	0	17	14	3	17	
	82.4%	17.6%	0.0%	100.0%	82.4%	17.6%	100.0%	$p = .8953$
計	904	236	47	1,187	904	236	1,140	
	76.2%	19.9%	4.0%	100.0%	79.3%	20.7%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (高等学校)								
男女共学	621	150	23	794	621	150	771	
	78.2%	18.9%	2.9%	100.0%	80.5%	19.5%	100.0%	
男子校・男子部	66	31	5	102	66	31	97	
	64.7%	30.4%	4.9%	100.0%	68.0%	32.0%	100.0%	$\chi^2 = 10.31$
女子校・女子部	149	29	10	188	149	29	178	
	79.3%	15.4%	5.3%	100.0%	83.7%	16.3%	100.0%	$p = .0058$
計	836	210	38	1,084	836	210	1,046	
	77.1%	19.4%	3.5%	100.0%	79.9%	20.1%	100.0%	

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
共学別学 (短大・大学)								
男女共学	325	68	9	402	325	68	393	
	80.8%	16.9%	2.2%	100.0%	82.7%	17.3%	100.0%	
男子校・男子部	5	2	1	8	5	2	7	
	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%	$\chi^2 = 1.90$
女子校・女子部	94	14	4	112	94	14	108	
	83.9%	12.5%	3.6%	100.0%	87.0%	13.0%	100.0%	$p = .3865$
計	424	84	14	522	424	84	508	
	81.2%	16.1%	2.7%	100.0%	83.5%	16.5%	100.0%	

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどう思いますか。(○はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	32	36	2	70	32	36	68		$\chi^2 = 5.61$ $p = .0179$	
	45.7%	51.4%	2.9%	100.0%	47.1%	52.9%	100.0%			
ない	686	416	48	1,150	686	416	1,102			
	59.7%	36.2%	4.2%	100.0%	62.3%	37.7%	100.0%			
無回答	23	5	11	39						
	59.0%	12.8%	28.2%	100.0%						
計	741	457	61	1,259	718	452	1,170			
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.4%	38.6%	100.0%			

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	48	20	2	70	48	20	68		$\chi^2 = 1.23$ $p = .2667$	
	68.6%	28.6%	2.9%	100.0%	70.6%	29.4%	100.0%			
ない	851	251	48	1,150	851	251	1,102			
	74.0%	21.8%	4.2%	100.0%	77.2%	22.8%	100.0%			
無回答	22	6	11	39						
	56.4%	15.4%	28.2%	100.0%						
計	921	277	61	1,259	899	271	1,170			
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.8%	23.2%	100.0%			

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	60	8	2	70	60	8	68		$\chi^2 = 0.00$ $p = 1.0000$	
	85.7%	11.4%	2.9%	100.0%	88.2%	11.8%	100.0%			
ない	975	127	48	1,150	975	127	1,102			
	84.8%	11.0%	4.2%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%			
無回答	21	7	11	39						
	53.8%	17.9%	28.2%	100.0%						
計	1,056	142	61	1,259	1,035	135	1,170			
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%			

7. この中であてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	63	5	2	70	63	5	68		$\chi^2 = 0.08$ $p = .7736$	
	90.0%	7.1%	2.9%	100.0%	92.6%	7.4%	100.0%			
ない	1001	101	48	1,150	1001	101	1,102			
	87.0%	8.8%	4.2%	100.0%	90.8%	9.2%	100.0%			
無回答	25	3	11	39						
	64.1%	7.7%	28.2%	100.0%						
計	1,089	109	61	1,259	1,064	106	1,170			
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	90.9%	9.1%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	34	34	2	70	34	34	68		$\chi^2 = 0.25$ $p = .6164$	
	48.6%	48.6%	2.9%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%			
ない	594	508	48	1,150	594	508	1,102			
	51.7%	44.2%	4.2%	100.0%	53.9%	46.1%	100.0%			
無回答	18	10	11	39						
	46.2%	25.6%	28.2%	100.0%						
計	646	552	61	1,259	628	542	1,170			
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.7%	46.3%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	56	12	2	70	56	12	68		$\chi^2 = 0.02$ $p = .8835$	
	80.0%	17.1%	2.9%	100.0%	82.4%	17.6%	100.0%			
ない	891	211	48	1,150	891	211	1,102			
	77.5%	18.3%	4.2%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			
無回答	24	4	11	39						
	61.5%	10.3%	28.2%	100.0%						
計	971	227	61	1,259	947	223	1,170			
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
海外生活経験										
ある	55	13	2	70	55	13	68		$\chi^2 = 0.02$ $p = .8756$	
	78.6%	18.6%	2.9%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			
ない	874	228	48	1,150	874	228	1,102			
	76.0%	19.8%	4.2%	100.0%	79.3%	20.7%	100.0%			
無回答	19	9	11	39						
	48.7%	23.1%	28.2%	100.0%						
計	948	250	61	1,259	929	241	1,170			
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.4%	20.6%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの思いますか。(〇はい×つても)

1. 愛し合っていればよい

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	5	2	1	8	5	2	1	8		
中の上	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%			
中の中	335	203	17	555	335	203	17	555		
中の中	67.1%	30.1%	2.7%	100.0%	69.0%	31.0%	100.0%			
中の下	195	145	16	356	195	145	16	356		
中の下	60.4%	36.6%	3.1%	100.0%	62.3%	37.7%	100.0%			$\chi^2 = 6.80$
下	71	51	6	128	71	51	6	128		
下	55.5%	39.8%	4.7%	100.0%	58.2%	41.8%	100.0%			$p = .1467$
その他	3	5	1	9						
その他	33.3%	55.6%	11.1%	100.0%						
無回答	34	7	16	57						
無回答	59.6%	12.3%	28.1%	100.0%						
計	741	457	61	1,259	704	445	61	1,149		
計	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.3%	38.7%	100.0%			

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	5	2	1	8	5	2	1	8		
上	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%			
中の上	115	27	4	146	115	27	4	146		
中の上	78.8%	18.5%	2.7%	100.0%	81.0%	19.0%	100.0%			
中の中	409	129	17	555	409	129	17	555		
中の中	73.7%	23.2%	3.1%	100.0%	76.0%	24.0%	100.0%			
中の下	255	85	16	356	255	85	16	356		
中の下	71.6%	23.9%	4.5%	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%			$\chi^2 = 4.14$
下	100	22	6	128	100	22	6	128		
下	78.1%	17.2%	4.7%	100.0%	82.0%	18.0%	100.0%			$p = .3869$
その他	6	2	1	9						
その他	66.7%	22.2%	11.1%	100.0%						
無回答	31	10	16	57						
無回答	54.4%	17.5%	28.1%	100.0%						
計	921	277	61	1,259	884	265	61	1,149		
計	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%			

5. 生殖にむすびつかないから好まない

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	6	1	1	8	6	1	1	8		
上	75.0%	12.5%	12.5%	100.0%	85.7%	14.3%	100.0%			
中の上	124	18	4	146	124	18	4	146		
中の上	84.9%	12.3%	2.7%	100.0%	87.3%	12.7%	100.0%			
中の中	485	53	17	555	485	53	17	555		
中の中	87.4%	9.5%	3.1%	100.0%	90.1%	9.9%	100.0%			
中の下	296	44	16	356	296	44	16	356		
中の下	83.1%	12.4%	4.5%	100.0%	87.1%	12.9%	100.0%			$\chi^2 = 4.22$
下	103	19	6	128	103	19	6	128		
下	80.5%	14.8%	4.7%	100.0%	84.4%	15.6%	100.0%			$p = .3774$
その他	7	1	1	9						
その他	77.8%	11.1%	11.1%	100.0%						
無回答	35	6	16	57						
無回答	61.4%	10.5%	28.1%	100.0%						
計	1,056	142	61	1,259	1,014	135	61	1,149		
計	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.3%	11.7%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	5	2	1	8	5	2	1	8		
上	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%			
中の上	79	63	4	146	79	63	4	146		
中の上	54.1%	43.2%	2.7%	100.0%	55.6%	44.4%	100.0%			
中の中	293	245	17	555	293	245	17	555		
中の中	52.8%	44.1%	3.1%	100.0%	54.5%	45.5%	100.0%			
中の下	166	174	16	356	166	174	16	356		
中の下	46.6%	48.9%	4.5%	100.0%	48.8%	51.2%	100.0%			$\chi^2 = 5.08$
下	70	52	6	128	70	52	6	128		
下	54.7%	40.6%	4.7%	100.0%	57.4%	42.6%	100.0%			$p = .2794$
その他	7	1	1	9						
その他	77.8%	11.1%	11.1%	100.0%						
無回答	26	15	16	57						
無回答	45.6%	26.3%	28.1%	100.0%						
計	646	552	61	1,259	613	536	61	1,149		
計	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.4%	46.6%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	4	3	1	8	4	3	1	8		
上	50.0%	37.5%	12.5%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%			
中の上	111	31	4	146	111	31	4	146		
中の上	76.0%	21.2%	2.7%	100.0%	78.2%	21.8%	100.0%			
中の中	430	108	17	555	430	108	17	555		
中の中	77.5%	19.5%	3.1%	100.0%	79.9%	20.1%	100.0%			
中の下	283	57	16	356	283	57	16	356		
中の下	79.5%	16.0%	4.5%	100.0%	83.2%	16.8%	100.0%			$\chi^2 = 5.04$
下	101	21	6	128	101	21	6	128		
下	78.9%	16.4%	4.7%	100.0%	82.8%	17.2%	100.0%			$p = .2829$
その他	8	0	1	9						
その他	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%						
無回答	34	7	16	57						
無回答	59.6%	12.3%	28.1%	100.0%						
計	971	227	61	1,259	929	220	61	1,149		
計	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%			

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

所属階層意識	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
上	5	2	1	8	5	2	1	8		
上	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%			
中の上	100	42	4	146	100	42	4	146		
中の上	68.5%	28.8%	2.7%	100.0%	70.4%	29.6%	100.0%			
中の中	420	118	17	555	420	118	17	555		
中の中	75.7%	21.3%	3.1%	100.0%	78.1%	21.9%	100.0%			
中の下	277	63	16	356	277	63	16	356		
中の下	77.8%	17.7%	4.5%	100.0%	81.5%	18.5%	100.0%			$\chi^2 = 10.12$
下	103	19	6	128	103	19	6	128		
下	80.5%	14.8%	4.7%	100.0%	84.4%	15.6%	100.0%			$p = .0385$
その他	8	0	1	9						
その他	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%						
無回答	35	6	16	57						
無回答	61.4%	10.5%	28.1%	100.0%						
計	948	250	61	1,259	905	244	61	1,149		
計	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	78.8%	21.2%	100.0%			

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はい/×でも)

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
婦属階層意識										
上	7	0	1	8	7	0	7			
	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%			
中の上	127	15	4	146	127	15	142			
	87.0%	10.3%	2.7%	100.0%	89.4%	10.6%	100.0%			
中の中	487	51	17	555	487	51	538			
	87.7%	9.2%	3.1%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%			
中の下	317	23	16	356	317	23	340			
	89.0%	6.5%	4.5%	100.0%	93.2%	6.8%	100.0%		$\chi^2 = 4.27$	
下	108	14	6	128	108	14	122			
	84.4%	10.9%	4.7%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%		$p = .3710$	
その他	8	0	1	9						
	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%						
無回答	35	6	16	57						
	61.4%	10.5%	28.1%	100.0%						
婦属階層意識										
上・中の上	134	15	5	154	134	15	149			
	87.0%	9.7%	3.2%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%			
中の中	487	51	17	555	487	51	538			
	87.7%	9.2%	3.1%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%			
中の下	317	23	16	356	317	23	340			
	89.0%	6.5%	4.5%	100.0%	93.2%	6.8%	100.0%		$\chi^2 = 3.36$	
下	108	14	6	128	108	14	122			
	84.4%	10.9%	4.7%	100.0%	88.5%	11.5%	100.0%		$p = .3400$	
その他	8	0	1	9						
	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%						
無回答	35	6	16	57						
	61.4%	10.5%	28.1%	100.0%						
計	1,089	109	61	1,259	1,046	103	1,149			
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどう思いますか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

就業状況	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業者	457	308	23	788	457	308	765			
ついている	58.0%	39.1%	2.9%	100.0%	59.7%	40.3%	100.0%			
ついているが、休職中	8	9	2	19	8	9	17			
42.1%	47.4%	10.5%	100.0%	47.1%	52.9%	100.0%				
今はついでないが、過去についていた	207	111	21	339	207	111	318			
61.1%	32.7%	6.2%	100.0%	65.1%	34.9%	100.0%				
仕事についたことはない	32	15	1	48	32	15	47			
66.7%	31.3%	2.1%	100.0%	68.1%	31.9%	100.0%		$\chi^2 = 6.57$		
現在または過去についていた	19	7	2	28	19	7	26			
67.9%	25.0%	7.1%	100.0%	73.1%	26.9%	100.0%		$p = .1606$		
無回答	18	7	12	37						
48.6%	18.9%	32.4%	100.0%							
計	741	457	61	1,259	723	450	1,173			
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.6%	38.4%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

就業状況	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業者	381	384	23	788	381	384	765			
ついている	48.4%	48.7%	2.9%	100.0%	49.8%	50.2%	100.0%			
ついているが、休職中	7	10	2	19	7	10	17			
36.8%	52.6%	10.5%	100.0%	41.2%	58.8%	100.0%				
今はついでないが、過去についていた	192	126	21	339	192	126	318			
56.6%	37.2%	6.2%	100.0%	60.4%	39.6%	100.0%				
仕事についたことはない	32	15	1	48	32	15	47			
66.7%	31.3%	2.1%	100.0%	68.1%	31.9%	100.0%		$\chi^2 = 20.99$		
現在または過去についていた	20	6	2	28	20	6	26			
71.4%	21.4%	7.1%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%		$p = .0003$		
無回答	14	11	12	37						
37.8%	29.7%	32.4%	100.0%							
計	646	552	61	1,259	632	541	1,173			
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.9%	46.1%	100.0%			

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

就業状況	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業者	580	185	23	788	580	185	765			
ついている	73.6%	23.5%	2.9%	100.0%	75.8%	24.2%	100.0%			
ついているが、休職中	11	6	2	19	11	6	17			
57.9%	31.6%	10.5%	100.0%	64.7%	35.3%	100.0%				
今はついでないが、過去についていた	255	63	21	339	255	63	318			
75.2%	18.6%	6.2%	100.0%	80.2%	19.8%	100.0%				
仕事についたことはない	37	10	1	48	37	10	47			
77.1%	20.8%	2.1%	100.0%	78.7%	21.3%	100.0%		$\chi^2 = 3.96$		
現在または過去についていた	20	6	2	28	20	6	26			
71.4%	21.4%	7.1%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%		$p = .4118$		
無回答	18	7	12	37						
48.6%	18.9%	32.4%	100.0%							
計	921	277	61	1,259	903	270	1,173			
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

就業状況	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業者	635	130	23	788	635	130	765			
ついている	80.6%	16.5%	2.9%	100.0%	83.0%	17.0%	100.0%			
ついているが、休職中	16	1	2	19	16	1	17			
84.2%	5.3%	10.5%	100.0%	94.1%	5.9%	100.0%				
今はついでないが、過去についていた	248	70	21	339	248	70	318			
73.2%	20.6%	6.2%	100.0%	78.0%	22.0%	100.0%				
仕事についたことはない	29	18	1	48	29	18	47			
60.4%	37.5%	2.1%	100.0%	61.7%	38.3%	100.0%		$\chi^2 = 17.36$		
現在または過去についていた	22	4	2	28	22	4	26			
78.6%	14.3%	7.1%	100.0%	84.6%	15.4%	100.0%		$p = .0016$		
無回答	21	4	12	37						
56.8%	10.8%	32.4%	100.0%							
計	971	227	61	1,259	950	223	1,173			
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	81.0%	19.0%	100.0%			

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

就業状況	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業者	681	84	23	788	681	84	765			
ついている	86.4%	10.7%	2.9%	100.0%	89.0%	11.0%	100.0%			
ついているが、休職中	16	1	2	19	16	1	17			
84.2%	5.3%	10.5%	100.0%	94.1%	5.9%	100.0%				
今はついでないが、過去についていた	275	43	21	339	275	43	318			
81.1%	12.7%	6.2%	100.0%	86.5%	13.5%	100.0%				
仕事についたことはない	41	6	1	48	41	6	47			
85.4%	12.5%	2.1%	100.0%	87.2%	12.8%	100.0%		$\chi^2 = 5.12$		
現在または過去についていた	20	6	2	28	20	6	26			
71.4%	21.4%	7.1%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%		$p = .2753$		
無回答	23	2	12	37						
62.2%	5.4%	32.4%	100.0%							
計	1,056	142	61	1,259	1,033	140	1,173			
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.1%	11.9%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はいくつでも)

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業状況										
ついている	642	123	23	788	642	123	765			
ついているが、休職中	17	0	2	19	17	0	17			
今はついでないが、過去についていた	219	99	21	339	219	99	318			
仕事についたことはない	36	11	1	48	36	11	47			
現在または過去についていた	15	11	2	28	15	11	26		$\chi^2 = 42.92$	
無回答	19	6	12	37	19	6	26		$p < .0001$	
計	948	250	61	1,259	929	244	1,173			
計	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%			

7. この中にはあてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
就業状況										
ついている	702	63	23	788	702	63	765			
ついているが、休職中	14	3	2	19	14	3	17			
今はついでないが、過去についていた	286	32	21	339	286	32	318			
仕事についたことはない	43	4	1	48	43	4	47			
現在または過去についていた	23	3	2	28	23	3	26		$\chi^2 = 2.77$	
無回答	21	4	12	37	21	4	26		$p = .5978$	
計	1,089	109	61	1,259	1,068	105	1,173			
計	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの意見ですか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

就業形態	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
常勤雇用されている従業者	356	225	22	603	356	225	581			
	59.0%	37.3%	3.6%	100.0%	61.3%	38.7%	100.0%			
臨時雇い・パート・アルバイト	136	115	11	262	136	115	251			
	51.9%	43.9%	4.2%	100.0%	54.2%	45.8%	100.0%			
派遣・契約・嘱託社(職)員	52	35	7	94	52	35	87			
	55.3%	37.2%	7.4%	100.0%	59.8%	40.2%	100.0%			
自営業主、自由業者	64	31	3	98	64	31	95			
	65.3%	31.6%	3.1%	100.0%	67.4%	32.6%	100.0%			
自営業の家族従業者	34	15	1	50	34	15	49			
	68.0%	30.0%	2.0%	100.0%	69.4%	30.6%	100.0%	$\chi^2 = 13.96$		
経営者・役員	34	9	3	46	34	9	43			
	73.9%	19.6%	6.5%	100.0%	79.1%	20.9%	100.0%	$p = .0159$		
その他	6	2	0	8						
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%						
非該当	50	22	13	85						
	58.8%	25.9%	15.3%	100.0%						
無回答	9	3	1	13						
	69.2%	23.1%	7.7%	100.0%						
計	741	457	61	1,259	676	430	1,106			
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.1%	38.9%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

就業形態	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
常勤雇用されている従業者	311	270	22	603	311	270	581			
	51.6%	44.8%	3.6%	100.0%	53.5%	46.5%	100.0%			
臨時雇い・パート・アルバイト	115	136	11	262	115	136	251			
	43.9%	51.9%	4.2%	100.0%	45.8%	54.2%	100.0%			
派遣・契約・嘱託社(職)員	47	40	7	94	47	40	87			
	50.0%	42.6%	7.4%	100.0%	54.0%	46.0%	100.0%			
自営業主、自由業者	56	39	3	98	56	39	95			
	57.1%	39.8%	3.1%	100.0%	58.9%	41.1%	100.0%			
自営業の家族従業者	30	19	1	50	30	19	49			
	60.0%	38.0%	2.0%	100.0%	61.2%	38.8%	100.0%	$\chi^2 = 12.81$		
経営者・役員	30	13	3	46	30	13	43			
	65.2%	28.3%	6.5%	100.0%	69.8%	30.2%	100.0%	$p = .0252$		
その他	4	4	0	8						
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%						
非該当	46	26	13	85						
	54.1%	30.6%	15.3%	100.0%						
無回答	7	5	1	13						
	53.8%	38.5%	7.7%	100.0%						
計	646	552	61	1,259	589	517	1,106			
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.3%	46.7%	100.0%			

3. 海外で認められてから、日本でもあってよい

就業形態	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
常勤雇用されている従業者	446	135	22	603	446	135	581			
	74.0%	22.4%	3.6%	100.0%	76.8%	23.2%	100.0%			
臨時雇い・パート・アルバイト	185	66	11	262	185	66	251			
	70.6%	25.2%	4.2%	100.0%	73.7%	26.3%	100.0%			
派遣・契約・嘱託社(職)員	68	19	7	94	68	19	87			
	72.3%	20.2%	7.4%	100.0%	78.2%	21.8%	100.0%			
自営業主、自由業者	76	19	3	98	76	19	95			
	77.6%	19.4%	3.1%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%			
自営業の家族従業者	38	11	1	50	38	11	49			
	76.0%	22.0%	2.0%	100.0%	77.6%	22.4%	100.0%	$\chi^2 = 4.07$		
経営者・役員	37	6	3	46	37	6	43			
	80.4%	13.0%	6.5%	100.0%	86.0%	14.0%	100.0%	$p = .5394$		
その他	6	2	0	8						
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%						
非該当	55	17	13	85						
	64.7%	20.0%	15.3%	100.0%						
無回答	10	2	1	13						
	76.9%	15.4%	7.7%	100.0%						
計	921	277	61	1,259	850	256	1,106			
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

就業形態	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
常勤雇用されている従業者	479	102	22	603	479	102	581			
	79.4%	16.9%	3.6%	100.0%	82.4%	17.6%	100.0%			
臨時雇い・パート・アルバイト	218	33	11	262	218	33	251			
	83.2%	12.6%	4.2%	100.0%	86.9%	13.1%	100.0%			
派遣・契約・嘱託社(職)員	71	16	7	94	71	16	87			
	75.5%	17.0%	7.4%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%			
自営業主、自由業者	70	25	3	98	70	25	95			
	71.4%	25.5%	3.1%	100.0%	73.7%	26.3%	100.0%			
自営業の家族従業者	37	12	1	50	37	12	49			
	74.0%	24.0%	2.0%	100.0%	75.5%	24.5%	100.0%	$\chi^2 = 17.88$		
経営者・役員	28	15	3	46	28	15	43			
	60.9%	32.6%	6.5%	100.0%	65.1%	34.9%	100.0%	$p = .0031$		
その他	7	1	0	8						
	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%						
非該当	50	22	13	85						
	58.8%	25.9%	15.3%	100.0%						
無回答	11	1	1	13						
	84.6%	7.7%	7.7%	100.0%						
計	971	227	61	1,259	903	203	1,106			
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%			

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどう思いますか。(○はいくつでも)

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
就業形態								
常勤雇用されている従業者	508	73	22	603	508	73	581	
	84.2%	12.1%	3.6%	100.0%	87.4%	12.6%	100.0%	
臨時雇い・パート・アルバイト	232	19	11	262	232	19	251	
	88.5%	7.3%	4.2%	100.0%	92.4%	7.6%	100.0%	
派遣・契約・嘱託社（職）員	76	11	7	94	76	11	87	
	80.9%	11.7%	7.4%	100.0%	87.4%	12.6%	100.0%	
自営業主、自由業者	82	13	3	98	82	13	95	
	83.7%	13.3%	3.1%	100.0%	86.3%	13.7%	100.0%	
自営業の家族従業者	42	7	1	50	42	7	49	
	84.0%	14.0%	2.0%	100.0%	85.7%	14.3%	100.0%	$\chi^2 = 6.16$
経営者・役員	36	7	3	46	36	7	43	
	78.3%	15.2%	6.5%	100.0%	83.7%	16.3%	100.0%	$p = .2906$
その他	8	0	0	8				
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				
非該当	64	8	13	85				
	75.3%	9.4%	15.3%	100.0%				
無回答	8	4	1	13				
	61.5%	30.8%	7.7%	100.0%				
計	1,056	142	61	1,259	976	130	1,106	
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.2%	11.8%	100.0%	

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
就業形態								
常勤雇用されている従業者	456	125	22	603	456	125	581	
	75.6%	20.7%	3.6%	100.0%	78.5%	21.5%	100.0%	
臨時雇い・パート・アルバイト	211	40	11	262	211	40	251	
	80.5%	15.3%	4.2%	100.0%	84.1%	15.9%	100.0%	
派遣・契約・嘱託社（職）員	71	16	7	94	71	16	87	
	75.5%	17.0%	7.4%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%	
自営業主、自由業者	70	25	3	98	70	25	95	
	71.4%	25.5%	3.1%	100.0%	73.7%	26.3%	100.0%	
自営業の家族従業者	40	9	1	50	40	9	49	
	80.0%	18.0%	2.0%	100.0%	81.6%	18.4%	100.0%	$\chi^2 = 13.01$
経営者・役員	27	16	3	46	27	16	43	
	58.7%	34.8%	6.5%	100.0%	62.8%	37.2%	100.0%	$p = .0233$
その他	7	1	0	8				
	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%				
非該当	55	17	13	85				
	64.7%	20.0%	15.3%	100.0%				
無回答	11	1	1	13				
	84.6%	7.7%	7.7%	100.0%				
計	948	250	61	1,259	875	231	1,106	
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.1%	20.9%	100.0%	

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
就業形態								
常勤雇用されている従業者	531	50	22	603	531	50	581	
	88.1%	8.3%	3.6%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%	
臨時雇い・パート・アルバイト	225	26	11	262	225	26	251	
	85.9%	9.9%	4.2%	100.0%	89.6%	10.4%	100.0%	
派遣・契約・嘱託社（職）員	81	6	7	94	81	6	87	
	86.2%	6.4%	7.4%	100.0%	93.1%	6.9%	100.0%	
自営業主、自由業者	86	9	3	98	86	9	95	
	87.8%	9.2%	3.1%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	
自営業の家族従業者	44	5	1	50	44	5	49	
	88.0%	10.0%	2.0%	100.0%	89.8%	10.2%	100.0%	$\chi^2 = 1.26$
経営者・役員	39	4	3	46	39	4	43	
	84.8%	8.7%	6.5%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%	$p = .9394$
その他	8	0	0	8				
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%				
非該当	64	8	13	85				
	75.3%	9.4%	15.3%	100.0%				
無回答	11	1	1	13				
	84.6%	7.7%	7.7%	100.0%				
計	1,089	109	61	1,259	1,006	100	1,106	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%	

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのようになりますか。(○はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
仕事の種類								
専門・技術系の職業	127	93	5	225	127	93	220	
	56.4%	41.3%	2.2%	100.0%	57.7%	42.3%	100.0%	
管理的職業	49	14	2	65	49	14	63	
	75.4%	21.5%	3.1%	100.0%	77.8%	22.2%	100.0%	
事務・営業系の職業	141	90	9	240	141	90	231	
	58.8%	37.5%	3.8%	100.0%	61.0%	39.0%	100.0%	
販売・サービス系の職業	160	132	12	304	160	132	292	
	52.6%	43.4%	3.9%	100.0%	54.8%	45.2%	100.0%	
技能・労務・作業系の職業	151	84	7	242	151	84	235	
	62.4%	34.7%	2.9%	100.0%	64.3%	35.7%	100.0%	$\chi^2 = 17.60$
農林漁業	26	8	1	35	26	8	34	$p = .0035$
	74.3%	22.9%	2.9%	100.0%	76.5%	23.5%	100.0%	
その他	16	8	3	27				
	59.3%	29.6%	11.1%	100.0%				
非該当	50	22	13	85				
	58.8%	25.9%	15.3%	100.0%				
無回答	21	6	9	36				
	58.3%	16.7%	25.0%	100.0%				
計	741	457	61	1,259	654	421	1,075	
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	60.8%	39.2%	100.0%	
2. 誰にも平等に、結婚する権利がある								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
仕事の種類								
専門・技術系の職業	105	115	5	225	105	115	220	
	46.7%	51.1%	2.2%	100.0%	47.7%	52.3%	100.0%	
管理的職業	42	21	2	65	42	21	63	
	64.6%	32.3%	3.1%	100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	
事務・営業系の職業	116	115	9	240	116	115	231	
	48.3%	47.9%	3.8%	100.0%	50.2%	49.8%	100.0%	
販売・サービス系の職業	131	161	12	304	131	161	292	
	43.1%	53.0%	3.9%	100.0%	44.9%	55.1%	100.0%	
技能・労務・作業系の職業	150	85	7	242	150	85	235	
	62.0%	35.1%	2.9%	100.0%	63.8%	36.2%	100.0%	$\chi^2 = 29.61$
農林漁業	23	11	1	35	23	11	34	$p < .0001$
	65.7%	31.4%	2.9%	100.0%	67.6%	32.4%	100.0%	
その他	14	10	3	27				
	51.9%	37.0%	11.1%	100.0%				
非該当	46	26	13	85				
	54.1%	30.6%	15.3%	100.0%				
無回答	19	8	9	36				
	52.8%	22.2%	25.0%	100.0%				
計	646	552	61	1,259	567	508	1,075	
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	52.7%	47.3%	100.0%	
3. 海外で認められてから、日本でもあってよい								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
仕事の種類								
専門・技術系の職業	166	54	5	225	166	54	220	
	73.8%	24.0%	2.2%	100.0%	75.5%	24.5%	100.0%	
管理的職業	55	8	2	65	55	8	63	
	84.6%	12.3%	3.1%	100.0%	87.3%	12.7%	100.0%	
事務・営業系の職業	175	56	9	240	175	56	231	
	72.9%	23.3%	3.8%	100.0%	75.8%	24.2%	100.0%	
販売・サービス系の職業	209	83	12	304	209	83	292	
	68.8%	27.3%	3.9%	100.0%	71.6%	28.4%	100.0%	
技能・労務・作業系の職業	194	41	7	242	194	41	235	
	80.2%	16.9%	2.9%	100.0%	82.6%	17.4%	100.0%	$\chi^2 = 13.25$
農林漁業	27	7	1	35	27	7	34	$p = .0212$
	77.1%	20.0%	2.9%	100.0%	79.4%	20.6%	100.0%	
その他	16	8	3	27				
	59.3%	29.6%	11.1%	100.0%				
非該当	55	17	13	85				
	64.7%	20.0%	15.3%	100.0%				
無回答	24	3	9	36				
	66.7%	8.3%	25.0%	100.0%				
計	921	277	61	1,259	826	249	1,075	
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.8%	23.2%	100.0%	
4. 伝統的な家族のあり方が失われる								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
仕事の種類								
専門・技術系の職業	193	27	5	225	193	27	220	
	85.8%	12.0%	2.2%	100.0%	87.7%	12.3%	100.0%	
管理的職業	44	19	2	65	44	19	63	
	67.7%	29.2%	3.1%	100.0%	69.8%	30.2%	100.0%	
事務・営業系の職業	200	31	9	240	200	31	231	
	83.3%	12.9%	3.8%	100.0%	86.6%	13.4%	100.0%	
販売・サービス系の職業	254	38	12	304	254	38	292	
	83.6%	12.5%	3.9%	100.0%	87.0%	13.0%	100.0%	
技能・労務・作業系の職業	171	64	7	242	171	64	235	
	70.7%	26.4%	2.9%	100.0%	72.8%	27.2%	100.0%	$\chi^2 = 45.44$
農林漁業	20	14	1	35	20	14	34	$p < .0001$
	57.1%	40.0%	2.9%	100.0%	58.8%	41.2%	100.0%	
その他	20	4	3	27				
	74.1%	14.8%	11.1%	100.0%				
非該当	50	22	13	85				
	58.8%	25.9%	15.3%	100.0%				
無回答	19	8	9	36				
	52.8%	22.2%	25.0%	100.0%				
計	971	227	61	1,259	882	193	1,075	
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	82.0%	18.0%	100.0%	

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はいくつでも)

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

仕事の種類	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
専門・技術系の職業	198	22	5	225	198	22	220			
	88.0%	9.8%	2.2%	100.0%	90.0%	10.0%	100.0%			
管理的職業	50	13	2	65	50	13	63			
	76.9%	20.0%	3.1%	100.0%	79.4%	20.6%	100.0%			
事務・営業系の職業	212	19	9	240	212	19	231			
	88.3%	7.9%	3.8%	100.0%	91.8%	8.2%	100.0%			
販売・サービス系の職業	264	28	12	304	264	28	292			
	86.8%	9.2%	3.9%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%			
技能・労務・作業系の職業	192	43	7	242	192	43	235			
	79.3%	17.8%	2.9%	100.0%	81.7%	18.3%	100.0%	$\chi^2 = 18.93$		
農林漁業	29	5	1	35	29	5	34			
	82.9%	14.3%	2.9%	100.0%	85.3%	14.7%	100.0%	$p = .0020$		
その他	21	3	3	27						
	77.8%	11.1%	11.1%	100.0%						
非該当	64	8	13	85						
	75.3%	9.4%	15.3%	100.0%						
無回答	26	1	9	36						
	72.2%	2.8%	25.0%	100.0%						
計	1,056	142	61	1,259	945	130	1,075			
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	87.9%	12.1%	100.0%			

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

仕事の種類	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
専門・技術系の職業	182	38	5	225	182	38	220			
	80.9%	16.9%	2.2%	100.0%	82.7%	17.3%	100.0%			
管理的職業	38	25	2	65	38	25	63			
	58.5%	38.5%	3.1%	100.0%	60.3%	39.7%	100.0%			
事務・営業系の職業	188	43	9	240	188	43	231			
	78.3%	17.9%	3.8%	100.0%	81.4%	18.6%	100.0%			
販売・サービス系の職業	242	50	12	304	242	50	292			
	79.6%	16.4%	3.9%	100.0%	82.9%	17.1%	100.0%			
技能・労務・作業系の職業	174	61	7	242	174	61	235			
	71.9%	25.2%	2.9%	100.0%	74.0%	26.0%	100.0%	$\chi^2 = 22.40$		
農林漁業	28	6	1	35	28	6	34			
	80.0%	17.1%	2.9%	100.0%	82.4%	17.6%	100.0%	$p = .0004$		
その他	18	6	3	27						
	66.7%	22.2%	11.1%	100.0%						
非該当	55	17	13	85						
	64.7%	20.0%	15.3%	100.0%						
無回答	23	4	9	36						
	63.9%	11.1%	25.0%	100.0%						
計	948	250	61	1,259	852	223	1,075			
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.3%	20.7%	100.0%			

7. この中であてはまるものはない

仕事の種類	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計			
専門・技術系の職業	198	22	5	225	198	22	220			
	88.0%	9.8%	2.2%	100.0%	90.0%	10.0%	100.0%			
管理的職業	62	1	2	65	62	1	63			
	95.4%	1.5%	3.1%	100.0%	98.4%	1.6%	100.0%			
事務・営業系の職業	207	24	9	240	207	24	231			
	86.3%	10.0%	3.8%	100.0%	89.6%	10.4%	100.0%			
販売・サービス系の職業	267	25	12	304	267	25	292			
	87.8%	8.2%	3.9%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%			
技能・労務・作業系の職業	214	21	7	242	214	21	235			
	88.4%	8.7%	2.9%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%	$\chi^2 = 5.41$		
農林漁業	30	4	1	35	30	4	34			
	85.7%	11.4%	2.9%	100.0%	88.2%	11.8%	100.0%	$p = .3675$		
その他	24	0	3	27						
	88.9%	0.0%	11.1%	100.0%						
非該当	64	8	13	85						
	75.3%	9.4%	15.3%	100.0%						
無回答	23	4	9	36						
	63.9%	11.1%	25.0%	100.0%						
計	1,089	109	61	1,259	978	97	1,075			
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどう思いますか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	223	94	12	329	223	94	12	317	$\chi^2 = 14.06$ $p = .0002$	
もっていない	67.8%	28.6%	3.6%	100.0%	70.3%	29.7%	100.0%	85		
無回答	497	358	38	893	497	358	38	855		
計	55.7%	40.1%	4.3%	100.0%	58.1%	41.9%	100.0%	1,172		
	21	5	11	37	720	452	1,172			
	56.8%	13.5%	29.7%	100.0%	61.4%	38.6%	100.0%			

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	255	62	12	329	255	62	12	317	$\chi^2 = 2.70$ $p = .1001$	
もっていない	77.5%	18.8%	3.6%	100.0%	80.4%	19.6%	100.0%	855		
無回答	647	208	38	893	647	208	38	855		
計	72.5%	23.3%	4.3%	100.0%	75.7%	24.3%	100.0%	1,172		
	19	7	11	37	902	270	1,172			
	51.4%	18.9%	29.7%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%			

5. 生殖にむずびつかないから好ましくない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	262	55	12	329	262	55	12	317	$\chi^2 = 11.37$ $p = .0007$	
もっていない	79.6%	16.7%	3.6%	100.0%	82.6%	17.4%	100.0%	855		
無回答	770	85	38	893	770	85	38	855		
計	86.2%	9.5%	4.3%	100.0%	90.1%	9.9%	100.0%	1,172		
	24	2	11	37	1,032	140	1,172			
	64.9%	5.4%	29.7%	100.0%	88.1%	11.9%	100.0%			

7. この中であてはまるものはない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	294	23	12	329	294	23	12	317	$\chi^2 = 1.27$ $p = .2592$	
もっていない	89.4%	7.0%	3.6%	100.0%	92.7%	7.3%	100.0%	855		
無回答	773	82	38	893	773	82	38	855		
計	86.6%	9.2%	4.3%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%	1,172		
	22	4	11	37	1,067	105	1,172			
	59.5%	10.8%	29.7%	100.0%	91.0%	9.0%	100.0%			

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	186	131	12	329	186	131	12	317	$\chi^2 = 3.69$ $p = .0548$	
もっていない	56.5%	39.8%	3.6%	100.0%	58.7%	41.3%	100.0%	855		
無回答	446	409	38	893	446	409	38	855		
計	49.9%	45.8%	4.3%	100.0%	52.2%	47.8%	100.0%	1,172		
	14	12	11	37	632	540	1,172			
	37.8%	32.4%	29.7%	100.0%	53.9%	46.1%	100.0%			

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	235	82	12	329	235	82	12	317	$\chi^2 = 12.96$ $p = .0003$	
もっていない	71.4%	24.9%	3.6%	100.0%	74.1%	25.9%	100.0%	855		
無回答	715	140	38	893	715	140	38	855		
計	80.1%	15.7%	4.3%	100.0%	83.6%	16.4%	100.0%	1,172		
	21	5	11	37	950	222	1,172			
	56.8%	13.5%	29.7%	100.0%	81.1%	18.9%	100.0%			

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
「信仰や信心」の有無										
もっている	236	81	12	329	236	81	12	317	$\chi^2 = 5.52$ $p = .0188$	
もっていない	71.7%	24.6%	3.6%	100.0%	74.4%	25.6%	100.0%	855		
無回答	692	163	38	893	692	163	38	855		
計	77.5%	18.3%	4.3%	100.0%	80.9%	19.1%	100.0%	1,172		
	20	6	11	37	928	244	1,172			
	54.1%	16.2%	29.7%	100.0%	79.2%	20.8%	100.0%			

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの意見ですか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	190	94	11	295	190	94	284	
	64.4%	31.9%	3.7%	100.0%	66.9%	33.1%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	268	146	16	430	268	146	414	
	62.3%	34.0%	3.7%	100.0%	64.7%	35.3%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	154	122	14	290	154	122	276	
	53.1%	42.1%	4.8%	100.0%	55.8%	44.2%	100.0%	$\chi^2 = 13.46$
そう思わない	104	88	8	200	104	88	192	
	52.0%	44.0%	4.0%	100.0%	54.2%	45.8%	100.0%	$p = .0037$
無回答	25	7	12	44				
	56.8%	15.9%	27.3%	100.0%				
計	741	457	61	1,259	716	450	1,166	
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.4%	38.6%	100.0%	
2. 誰にも平等に、結婚する権利がある								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	173	111	11	295	173	111	284	
	58.6%	37.6%	3.7%	100.0%	60.9%	39.1%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	223	191	16	430	223	191	414	
	51.9%	44.4%	3.7%	100.0%	53.9%	46.1%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	136	140	14	290	136	140	276	
	46.9%	48.3%	4.8%	100.0%	49.3%	50.7%	100.0%	$\chi^2 = 8.63$
そう思わない	98	94	8	200	98	94	192	
	49.0%	47.0%	4.0%	100.0%	51.0%	49.0%	100.0%	$p = .0347$
無回答	16	16	12	44				
	36.4%	36.4%	27.3%	100.0%				
計	646	552	61	1,259	630	536	1,166	
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	54.0%	46.0%	100.0%	
3. 海外で認められているから、日本でもあってよい								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	226	58	11	295	226	58	284	
	76.6%	19.7%	3.7%	100.0%	79.6%	20.4%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	336	78	16	430	336	78	414	
	78.1%	18.1%	3.7%	100.0%	81.2%	18.8%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	197	79	14	290	197	79	276	
	67.9%	27.2%	4.8%	100.0%	71.4%	28.6%	100.0%	$\chi^2 = 12.85$
そう思わない	138	54	8	200	138	54	192	
	69.0%	27.0%	4.0%	100.0%	71.9%	28.1%	100.0%	$p = .0050$
無回答	24	8	12	44				
	54.5%	18.2%	27.3%	100.0%				
計	921	277	61	1,259	897	269	1,166	
	73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	76.9%	23.1%	100.0%	
4. 伝統的な家族のあり方が失われる								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	203	81	11	295	203	81	284	
	68.8%	27.5%	3.7%	100.0%	71.5%	28.5%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	342	72	16	430	342	72	414	
	79.5%	16.7%	3.7%	100.0%	82.6%	17.4%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	237	39	14	290	237	39	276	
	81.7%	13.4%	4.8%	100.0%	85.9%	14.1%	100.0%	$\chi^2 = 23.61$
そう思わない	163	29	8	200	163	29	192	
	81.5%	14.5%	4.0%	100.0%	84.9%	15.1%	100.0%	$p < .0001$
無回答	26	6	12	44				
	59.1%	13.6%	27.3%	100.0%				
計	971	227	61	1,259	945	221	1,166	
	77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	81.0%	19.0%	100.0%	
5. 生殖にむすびつかないから好ましくない								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	236	48	11	295	236	48	284	
	80.0%	16.3%	3.7%	100.0%	83.1%	16.9%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	363	51	16	430	363	51	414	
	84.4%	11.9%	3.7%	100.0%	87.7%	12.3%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	256	20	14	290	256	20	276	
	88.3%	6.9%	4.8%	100.0%	92.8%	7.2%	100.0%	$\chi^2 = 12.61$
そう思わない	171	21	8	200	171	21	192	
	85.5%	10.5%	4.0%	100.0%	89.1%	10.9%	100.0%	$p = .0056$
無回答	30	2	12	44				
	68.2%	4.5%	27.3%	100.0%				
計	1,056	142	61	1,259	1,026	140	1,166	
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.0%	12.0%	100.0%	
6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない								
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
「宗教的な心は大切か」への意見								
そう思う	213	71	11	295	213	71	284	
	72.2%	24.1%	3.7%	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	
どちらかといえばそう思う	325	89	16	430	325	89	414	
	75.6%	20.7%	3.7%	100.0%	78.5%	21.5%	100.0%	
どちらかといえばそう思わない	222	54	14	290	222	54	276	
	76.6%	18.6%	4.8%	100.0%	80.4%	19.6%	100.0%	$\chi^2 = 6.50$
そう思わない	162	30	8	200	162	30	192	
	81.0%	15.0%	4.0%	100.0%	84.4%	15.6%	100.0%	$p = .0897$
無回答	26	6	12	44				
	59.1%	13.6%	27.3%	100.0%				
計	948	250	61	1,259	922	244	1,166	

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はい×でも)

75.3% 19.9% 4.8% 100.0% | 79.1% 20.9% 100.0%

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ				はい			計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計		
「宗教的な心は大切か」への意見									
そう思う	261	23	11	295	261	23	284		
	88.5%	7.8%	3.7%	100.0%	91.9%	8.1%	100.0%		
どちらかといえばそう思う	372	42	16	430	372	42	414		
	86.5%	9.8%	3.7%	100.0%	89.9%	10.1%	100.0%		
どちらかといえばそう思わない	257	19	14	290	257	19	276		
	88.6%	6.6%	4.8%	100.0%	93.1%	6.9%	100.0%	$\chi^2 = 2.94$	
そう思わない	172	20	8	200	172	20	192		$p = .4013$
	86.0%	10.0%	4.0%	100.0%	89.6%	10.4%	100.0%		
無回答	27	5	12	44					
	61.4%	11.4%	27.3%	100.0%					
計	1,089	109	61	1,259	1,062	104	1,166		
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%		

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい									
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	
世帯年収									
100万円未満	11	19	2	32	11	19	30		
	34.4%	59.4%	6.3%	100.0%	36.7%	63.3%	100.0%		
100～200万円未満	59	39	5	103	59	39	98		
	57.3%	37.9%	4.9%	100.0%	60.2%	39.8%	100.0%		
200～300万円未満	88	40	5	133	88	40	128		
	66.2%	30.1%	3.8%	100.0%	68.8%	31.3%	100.0%		
300～400万円未満	98	90	8	196	98	90	188		
	50.0%	45.9%	4.1%	100.0%	52.1%	47.9%	100.0%		
400～500万円未満	79	64	5	148	79	64	143		
	53.4%	43.2%	3.4%	100.0%	55.2%	44.8%	100.0%		
500～600万円未満	73	31	3	107	73	31	104		
	68.2%	29.0%	2.8%	100.0%	70.2%	29.8%	100.0%		
600～700万円未満	69	44	2	115	69	44	113		
	60.0%	38.3%	1.7%	100.0%	61.1%	38.9%	100.0%		
700～800万円未満	52	33	2	87	52	33	85		
	59.8%	37.9%	2.3%	100.0%	61.2%	38.8%	100.0%		
800～1000万円未満	62	28	1	91	62	28	90		
	68.1%	30.8%	1.1%	100.0%	68.9%	31.1%	100.0%		
1000～1200万円未満	42	20	1	63	42	20	62		
	66.7%	31.7%	1.6%	100.0%	67.7%	32.3%	100.0%		
1200～1500万円未満	19	11	2	32	19	11	30		
	59.4%	34.4%	6.3%	100.0%	63.3%	36.7%	100.0%	$\chi^2 = 26.31$	
1500万円以上	12	9	0	21	12	9	21		
	57.1%	42.9%	0.0%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%	$p = .0058$	
無回答	77	29	25	131					
	58.8%	22.1%	19.1%	100.0%					
世帯年収 (4分割)									
300万円未満	158	98	12	268	158	98	256		
	59.0%	36.6%	4.5%	100.0%	61.7%	38.3%	100.0%		
300万円以上500万円未満	177	154	13	344	177	154	331		
	51.5%	44.8%	3.8%	100.0%	53.5%	46.5%	100.0%		
500万円以上800万円未満	194	108	7	309	194	108	302		
	62.8%	35.0%	2.3%	100.0%	64.2%	35.8%	100.0%	$\chi^2 = 11.81$	
800万円以上	135	68	4	207	135	68	203		
	65.2%	32.9%	1.9%	100.0%	66.5%	33.5%	100.0%	$p = .0081$	
無回答	77	29	25	131					
	58.8%	22.1%	19.1%	100.0%					
計	741	457	61	1,259	664	428	1,092		
	58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	60.8%	39.2%	100.0%		
2. 誰にも平等に、結婚する権利がある									
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	
世帯年収									
100万円未満	13	17	2	32	13	17	30		
	40.6%	53.1%	6.3%	100.0%	43.3%	56.7%	100.0%		
100～200万円未満	58	40	5	103	58	40	98		
	56.3%	38.8%	4.9%	100.0%	59.2%	40.8%	100.0%		
200～300万円未満	78	50	5	133	78	50	128		
	58.6%	37.6%	3.8%	100.0%	60.9%	39.1%	100.0%		
300～400万円未満	92	96	8	196	92	96	188		
	46.9%	49.0%	4.1%	100.0%	48.9%	51.1%	100.0%		
400～500万円未満	78	65	5	148	78	65	143		
	52.7%	43.9%	3.4%	100.0%	54.5%	45.5%	100.0%		
500～600万円未満	61	43	3	107	61	43	104		
	57.0%	40.2%	2.8%	100.0%	58.7%	41.3%	100.0%		
600～700万円未満	54	59	2	115	54	59	113		
	47.0%	51.3%	1.7%	100.0%	47.8%	52.2%	100.0%		
700～800万円未満	42	43	2	87	42	43	85		
	48.3%	49.4%	2.3%	100.0%	49.4%	50.6%	100.0%		
800～1000万円未満	48	42	1	91	48	42	90		
	52.7%	46.2%	1.1%	100.0%	53.3%	46.7%	100.0%		
1000～1200万円未満	31	31	1	63	31	31	62		
	49.2%	49.2%	1.6%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%		
1200～1500万円未満	19	11	2	32	19	11	30		
	59.4%	34.4%	6.3%	100.0%	63.3%	36.7%	100.0%	$\chi^2 = 11.93$	
1500万円以上	10	11	0	21	10	11	21		
	47.6%	52.4%	0.0%	100.0%	47.6%	52.4%	100.0%	$p = .3690$	
無回答	62	44	25	131					
	47.3%	33.6%	19.1%	100.0%					
世帯年収 (4分割)									
300万円未満	149	107	12	268	149	107	256		
	55.6%	39.9%	4.5%	100.0%	58.2%	41.8%	100.0%		
300万円以上500万円未満	170	161	13	344	170	161	331		
	49.4%	46.8%	3.8%	100.0%	51.4%	48.6%	100.0%		
500万円以上800万円未満	157	145	7	309	157	145	302		
	50.8%	46.9%	2.3%	100.0%	52.0%	48.0%	100.0%	$\chi^2 = 3.17$	
800万円以上	108	95	4	207	108	95	203		
	52.2%	45.9%	1.9%	100.0%	53.2%	46.8%	100.0%	$p = .3661$	
無回答	62	44	25	131					
	47.3%	33.6%	19.1%	100.0%					
計	646	552	61	1,259	584	508	1,092		
	51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	53.5%	46.5%	100.0%		

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(〇はいくつでも)

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

	はい				いいえ			カイ二乗検定
	はい	無回答	計	いいえ	はい	計		
世帯年収								
100万円未満	21 65.6%	9 28.1%	2 6.3%	32 100.0%	21 70.0%	9 30.0%	30 100.0%	
100～200万円未満	83 80.6%	15 14.6%	5 4.9%	103 100.0%	83 84.7%	15 15.3%	98 100.0%	
200～300万円未満	98 73.7%	30 22.6%	5 3.8%	133 100.0%	98 76.6%	30 23.4%	128 100.0%	
300～400万円未満	131 66.8%	57 29.1%	8 4.1%	196 100.0%	131 69.7%	57 30.3%	188 100.0%	
400～500万円未満	111 75.0%	32 21.6%	5 3.4%	148 100.0%	111 77.6%	32 22.4%	143 100.0%	
500～600万円未満	84 78.5%	20 18.7%	3 2.8%	107 100.0%	84 80.8%	20 19.2%	104 100.0%	
600～700万円未満	85 73.9%	28 24.3%	2 1.7%	115 100.0%	85 75.2%	28 24.8%	113 100.0%	
700～800万円未満	60 69.0%	25 28.7%	2 2.3%	87 100.0%	60 70.6%	25 29.4%	85 100.0%	
800～1000万円未満	72 79.1%	18 19.8%	1 1.1%	91 100.0%	72 80.0%	18 20.0%	90 100.0%	
1000～1200万円未満	49 77.8%	13 20.6%	1 1.6%	63 100.0%	49 79.0%	13 21.0%	62 100.0%	
1200～1500万円未満	25 78.1%	5 15.6%	2 6.3%	32 100.0%	25 83.3%	5 16.7%	30 100.0%	$\chi^2 = 13.74$
1500万円以上	16 76.2%	5 23.8%	0 0.0%	21 100.0%	16 76.2%	5 23.8%	21 100.0%	$p = .2478$
無回答	86 65.6%	20 15.3%	25 19.1%	131 100.0%				
世帯年収 (4分割)								
300万円未満	202 75.4%	54 20.1%	12 4.5%	268 100.0%	202 78.9%	54 21.1%	256 100.0%	
300万円以上500万円未満	242 70.3%	89 25.9%	13 3.8%	344 100.0%	242 73.1%	89 26.9%	331 100.0%	
500万円以上800万円未満	229 74.1%	73 23.6%	7 2.3%	309 100.0%	229 75.8%	73 24.2%	302 100.0%	$\chi^2 = 4.24$
800万円以上	162 78.3%	41 19.8%	4 1.9%	207 100.0%	162 79.8%	41 20.2%	203 100.0%	$p = .2366$
無回答	86 65.6%	20 15.3%	25 19.1%	131 100.0%				
計	921 73.2%	277 22.0%	61 4.8%	1,259 100.0%	835 76.5%	257 23.5%	1,092 100.0%	

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

	はい				いいえ			カイ二乗検定
	はい	無回答	計	いいえ	はい	計		
世帯年収								
100万円未満	29 90.6%	1 3.1%	2 6.3%	32 100.0%	29 96.7%	1 3.3%	30 100.0%	
100～200万円未満	77 74.8%	21 20.4%	5 4.9%	103 100.0%	77 78.6%	21 21.4%	98 100.0%	
200～300万円未満	95 71.4%	33 24.8%	5 3.8%	133 100.0%	95 74.2%	33 25.8%	128 100.0%	
300～400万円未満	152 77.6%	36 18.4%	8 4.1%	196 100.0%	152 80.9%	36 19.1%	188 100.0%	
400～500万円未満	111 75.0%	32 21.6%	5 3.4%	148 100.0%	111 77.6%	32 22.4%	143 100.0%	
500～600万円未満	83 77.6%	21 19.6%	3 2.8%	107 100.0%	83 79.8%	21 20.2%	104 100.0%	
600～700万円未満	95 82.6%	18 15.7%	2 1.7%	115 100.0%	95 84.1%	18 15.9%	113 100.0%	
700～800万円未満	74 85.1%	11 12.6%	2 2.3%	87 100.0%	74 87.1%	11 12.9%	85 100.0%	
800～1000万円未満	76 83.5%	14 15.4%	1 1.1%	91 100.0%	76 84.4%	14 15.6%	90 100.0%	
1000～1200万円未満	51 81.0%	11 17.5%	1 1.6%	63 100.0%	51 82.3%	11 17.7%	62 100.0%	
1200～1500万円未満	26 81.3%	4 12.5%	2 6.3%	32 100.0%	26 86.7%	4 13.3%	30 100.0%	$\chi^2 = 14.59$
1500万円以上	16 76.2%	5 23.8%	0 0.0%	21 100.0%	16 76.2%	5 23.8%	21 100.0%	$p = .2022$
無回答	86 65.6%	20 15.3%	25 19.1%	131 100.0%				
世帯年収 (4分割)								
300万円未満	201 75.0%	55 20.5%	12 4.5%	268 100.0%	201 78.5%	55 21.5%	256 100.0%	
300万円以上500万円未満	263 76.5%	68 19.8%	13 3.8%	344 100.0%	263 79.5%	68 20.5%	331 100.0%	
500万円以上800万円未満	252 81.6%	50 16.2%	7 2.3%	309 100.0%	252 83.4%	50 16.6%	302 100.0%	$\chi^2 = 3.38$
800万円以上	169 81.6%	34 16.4%	4 1.9%	207 100.0%	169 83.3%	34 16.7%	203 100.0%	$p = .3361$
無回答	86 65.6%	20 15.3%	25 19.1%	131 100.0%				
計	971 77.1%	227 18.0%	61 4.8%	1,259 100.0%	885 81.0%	207 19.0%	1,092 100.0%	

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(〇はいくつでも)

5. 生殖にむすびつかないから好ましくない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
世帯年収								
100万円未満	26	4	2	32	26	4	30	
	81.3%	12.5%	6.3%	100.0%	86.7%	13.3%	100.0%	
100～200万円未満	85	13	5	103	85	13	98	
	82.5%	12.6%	4.9%	100.0%	86.7%	13.3%	100.0%	
200～300万円未満	109	19	5	133	109	19	128	
	82.0%	14.3%	3.8%	100.0%	85.2%	14.8%	100.0%	
300～400万円未満	165	23	8	196	165	23	188	
	84.2%	11.7%	4.1%	100.0%	87.8%	12.2%	100.0%	
400～500万円未満	123	20	5	148	123	20	143	
	83.1%	13.5%	3.4%	100.0%	86.0%	14.0%	100.0%	
500～600万円未満	95	9	3	107	95	9	104	
	88.8%	8.4%	2.8%	100.0%	91.3%	8.7%	100.0%	
600～700万円未満	101	12	2	115	101	12	113	
	87.8%	10.4%	1.7%	100.0%	89.4%	10.6%	100.0%	
700～800万円未満	78	7	2	87	78	7	85	
	89.7%	8.0%	2.3%	100.0%	91.8%	8.2%	100.0%	
800～1000万円未満	79	11	1	91	79	11	90	
	86.8%	12.1%	1.1%	100.0%	87.8%	12.2%	100.0%	
1000～1200万円未満	49	13	1	63	49	13	62	
	77.8%	20.6%	1.6%	100.0%	79.0%	21.0%	100.0%	
1200～1500万円未満	27	3	2	32	27	3	30	
	84.4%	9.4%	6.3%	100.0%	90.0%	10.0%	100.0%	$\chi^2 = 8.64$
1500万円以上	19	2	0	21	19	2	21	
	90.5%	9.5%	0.0%	100.0%	90.5%	9.5%	100.0%	$p = .6553$
無回答	100	6	25	131				
	76.3%	4.6%	19.1%	100.0%				
世帯年収 (4分割)								
300万円未満	220	36	12	268	220	36	256	
	82.1%	13.4%	4.5%	100.0%	85.9%	14.1%	100.0%	
300万円以上500万円未満	288	43	13	344	288	43	331	
	83.7%	12.5%	3.8%	100.0%	87.0%	13.0%	100.0%	
500万円以上800万円未満	274	28	7	309	274	28	302	
	88.7%	9.1%	2.3%	100.0%	90.7%	9.3%	100.0%	$\chi^2 = 4.13$
800万円以上	174	29	4	207	174	29	203	
	84.1%	14.0%	1.9%	100.0%	85.7%	14.3%	100.0%	$p = .2483$
無回答	100	6	25	131				
	76.3%	4.6%	19.1%	100.0%				
計	1,056	142	61	1,259	956	136	1,092	
	83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	87.5%	12.5%	100.0%	

6. 海外ではあり得るかもしれないが、日本の社会にはそぐわない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
世帯年収								
100万円未満	27	3	2	32	27	3	30	
	84.4%	9.4%	6.3%	100.0%	90.0%	10.0%	100.0%	
100～200万円未満	73	25	5	103	73	25	98	
	70.9%	24.3%	4.9%	100.0%	74.5%	25.5%	100.0%	
200～300万円未満	97	31	5	133	97	31	128	
	72.9%	23.3%	3.8%	100.0%	75.8%	24.2%	100.0%	
300～400万円未満	156	32	8	196	156	32	188	
	79.6%	16.3%	4.1%	100.0%	83.0%	17.0%	100.0%	
400～500万円未満	113	30	5	148	113	30	143	
	76.4%	20.3%	3.4%	100.0%	79.0%	21.0%	100.0%	
500～600万円未満	81	23	3	107	81	23	104	
	75.7%	21.5%	2.8%	100.0%	77.9%	22.1%	100.0%	
600～700万円未満	94	19	2	115	94	19	113	
	81.7%	16.5%	1.7%	100.0%	83.2%	16.8%	100.0%	
700～800万円未満	70	15	2	87	70	15	85	
	80.5%	17.2%	2.3%	100.0%	82.4%	17.6%	100.0%	
800～1000万円未満	71	19	1	91	71	19	90	
	78.0%	20.9%	1.1%	100.0%	78.9%	21.1%	100.0%	
1000～1200万円未満	49	13	1	63	49	13	62	
	77.8%	20.6%	1.6%	100.0%	79.0%	21.0%	100.0%	
1200～1500万円未満	22	8	2	32	22	8	30	
	68.8%	25.0%	6.3%	100.0%	73.3%	26.7%	100.0%	$\chi^2 = 10.38$
1500万円以上	14	7	0	21	14	7	21	
	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	$p = .4967$
無回答	81	25	25	131				
	61.8%	19.1%	19.1%	100.0%				
世帯年収 (4分割)								
300万円未満	197	59	12	268	197	59	256	
	73.5%	22.0%	4.5%	100.0%	77.0%	23.0%	100.0%	
300万円以上500万円未満	269	62	13	344	269	62	331	
	78.2%	18.0%	3.8%	100.0%	81.3%	18.7%	100.0%	
500万円以上800万円未満	245	57	7	309	245	57	302	
	79.3%	18.4%	2.3%	100.0%	81.1%	18.9%	100.0%	$\chi^2 = 3.00$
800万円以上	156	47	4	207	156	47	203	
	75.4%	22.7%	1.9%	100.0%	76.8%	23.2%	100.0%	$p = .3913$
無回答	81	25	25	131				
	61.8%	19.1%	19.1%	100.0%				
計	948	250	61	1,259	867	225	1,092	
	75.3%	19.9%	4.8%	100.0%	79.4%	20.6%	100.0%	

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどのように思いますか。(○はいくつでも)

7. この中にあてはまるものはない

	はい				いいえ				カイ二乗検定
	はい	いいえ	無回答	計	はい	いいえ	無回答	計	
世帯年収									
100万円未満	27	3	2	32	27	3		30	
	84.4%	9.4%	6.3%	100.0%	90.0%	10.0%		100.0%	
100～200万円未満	87	11	5	103	87	11		98	
	84.5%	10.7%	4.9%	100.0%	88.8%	11.2%		100.0%	
200～300万円未満	113	15	5	133	113	15		128	
	85.0%	11.3%	3.8%	100.0%	88.3%	11.7%		100.0%	
300～400万円未満	178	10	8	196	178	10		188	
	90.8%	5.1%	4.1%	100.0%	94.7%	5.3%		100.0%	
400～500万円未満	137	6	5	148	137	6		143	
	92.6%	4.1%	3.4%	100.0%	95.8%	4.2%		100.0%	
500～600万円未満	94	10	3	107	94	10		104	
	87.9%	9.3%	2.8%	100.0%	90.4%	9.6%		100.0%	
600～700万円未満	101	12	2	115	101	12		113	
	87.8%	10.4%	1.7%	100.0%	89.4%	10.6%		100.0%	
700～800万円未満	78	7	2	87	78	7		85	
	89.7%	8.0%	2.3%	100.0%	91.8%	8.2%		100.0%	
800～1000万円未満	82	8	1	91	82	8		90	
	90.1%	8.8%	1.1%	100.0%	91.1%	8.9%		100.0%	
1000～1200万円未満	58	4	1	63	58	4		62	
	92.1%	6.3%	1.6%	100.0%	93.5%	6.5%		100.0%	
1200～1500万円未満	24	6	2	32	24	6		30	
	75.0%	18.8%	6.3%	100.0%	80.0%	20.0%		100.0%	$\chi^2 = 14.70$
1500万円以上	19	2	0	21	19	2		21	
	90.5%	9.5%	0.0%	100.0%	90.5%	9.5%		100.0%	$p = .1966$
無回答	91	15	25	131					
	69.5%	11.5%	19.1%	100.0%					
世帯年収 (4分割)									
300万円未満	227	29	12	268	227	29		256	
	84.7%	10.8%	4.5%	100.0%	88.7%	11.3%		100.0%	
300万円以上500万円未満	315	16	13	344	315	16		331	
	91.6%	4.7%	3.8%	100.0%	95.2%	4.8%		100.0%	
500万円以上800万円未満	273	29	7	309	273	29		302	
	88.3%	9.4%	2.3%	100.0%	90.4%	9.6%		100.0%	$\chi^2 = 9.18$
800万円以上	183	20	4	207	183	20		203	
	88.4%	9.7%	1.9%	100.0%	90.1%	9.9%		100.0%	$p = .0270$
無回答	91	15	25	131					
	69.5%	11.5%	19.1%	100.0%					
計	1,089	109	61	1,259	998	94		1,092	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	91.4%	8.6%		100.0%	

問 2-1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどの意見ですか。(〇はいくつでも)

1. 愛し合っていればよい

		いいえ	はい	無回答	計			いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観											
1	保守的	58	31	3	92	58	31	3	92		
		63.0%	33.7%	3.3%	100.0%	65.2%	34.8%	3.3%	100.0%		
2	↑	211	146	11	368	211	146	11	368		
		57.3%	39.7%	3.0%	100.0%	59.1%	40.9%	3.0%	100.0%		
3		357	187	16	560	357	187	16	544		
		63.8%	33.4%	2.9%	100.0%	65.6%	34.4%	2.9%	100.0%		
4	↓	69	67	4	140	69	67	4	136		
		49.3%	47.9%	2.9%	100.0%	50.7%	49.3%	2.9%	100.0%	$\chi^2 = 12.79$	
5	革新的	12	11	1	24	12	11	2	23		
		50.0%	45.8%	4.2%	100.0%	52.2%	47.8%	4.2%	100.0%	$p = .0124$	
	無回答	34	15	26	75						
		45.3%	20.0%	34.7%	100.0%						
政治観 (3分割)											
1・2	保守的	269	177	14	460	269	177	14	446		
		58.5%	38.5%	3.0%	100.0%	60.3%	39.7%	3.0%	100.0%		
3	↑	357	187	16	560	357	187	16	544		
		63.8%	33.4%	2.9%	100.0%	65.6%	34.4%	2.9%	100.0%	$\chi^2 = 11.66$	
4・5	革新的	81	78	5	164	81	78	5	159		
		49.4%	47.6%	3.0%	100.0%	50.9%	49.1%	3.0%	100.0%	$p = .0029$	
	無回答	34	15	26	75						
		45.3%	20.0%	34.7%	100.0%						
計		741	457	61	1,259	707	442	61	1,149		
		58.9%	36.3%	4.8%	100.0%	61.5%	38.5%	4.8%	100.0%		

3. 海外で認められているから、日本でもあってよい

		いいえ	はい	無回答	計			いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観											
1	保守的	69	20	3	92	69	20	3	92		
		75.0%	21.7%	3.3%	100.0%	77.5%	22.5%	3.3%	100.0%		
2	↑	262	95	11	368	262	95	11	357		
		71.2%	25.8%	3.0%	100.0%	73.4%	26.6%	3.0%	100.0%		
3		425	119	16	560	425	119	16	544		
		75.9%	21.3%	2.9%	100.0%	78.1%	21.9%	3.0%	100.0%		
4	↓	109	27	4	140	109	27	4	136		
		77.9%	19.3%	2.9%	100.0%	80.1%	19.9%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 5.08$	
5	革新的	20	3	1	24	20	3	2	23		
		83.3%	12.5%	4.2%	100.0%	87.0%	13.0%	4.2%	100.0%	$p = .2790$	
	無回答	36	13	26	75						
		48.0%	17.3%	34.7%	100.0%						
政治観 (3分割)											
1・2	保守的	331	115	14	460	331	115	14	446		
		72.0%	25.0%	3.0%	100.0%	74.2%	25.8%	3.0%	100.0%		
3	↑	425	119	16	560	425	119	16	544		
		75.9%	21.3%	2.9%	100.0%	78.1%	21.9%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 3.88$	
4・5	革新的	129	30	5	164	129	30	5	159		
		78.7%	18.3%	3.0%	100.0%	81.1%	18.9%	3.0%	100.0%	$p = .1439$	
	無回答	36	13	26	75						
		48.0%	17.3%	34.7%	100.0%						
計		921	277	61	1,259	885	264	61	1,149		
		73.2%	22.0%	4.8%	100.0%	77.0%	23.0%	4.8%	100.0%		

5. 生類にむすびつかないから好ましくない

		いいえ	はい	無回答	計			いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観											
1	保守的	76	13	3	92	76	13	3	92		
		82.6%	14.1%	3.3%	100.0%	85.4%	14.6%	3.0%	100.0%		
2	↑	313	44	11	368	313	44	11	357		
		85.1%	12.0%	3.0%	100.0%	87.7%	12.3%	3.0%	100.0%		
3		485	59	16	560	485	59	16	544		
		86.6%	10.5%	2.9%	100.0%	89.2%	10.8%	3.0%	100.0%		
4	↓	120	16	4	140	120	16	4	136		
		85.7%	11.4%	2.9%	100.0%	88.2%	11.8%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 1.45$	
5	革新的	21	2	1	24	21	2	2	23		
		87.5%	8.3%	4.2%	100.0%	91.3%	8.7%	4.2%	100.0%	$p = .8352$	
	無回答	41	8	26	75						
		54.7%	10.7%	34.7%	100.0%						
政治観 (3分割)											
1・2	保守的	389	57	14	460	389	57	14	446		
		84.6%	12.4%	3.0%	100.0%	87.2%	12.8%	3.0%	100.0%		
3	↑	485	59	16	560	485	59	16	544		
		86.6%	10.5%	2.9%	100.0%	89.2%	10.8%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 0.91$	
4・5	革新的	141	18	5	164	141	18	5	159		
		86.0%	11.0%	3.0%	100.0%	88.7%	11.3%	3.0%	100.0%	$p = .6340$	
	無回答	41	8	26	75						
		54.7%	10.7%	34.7%	100.0%						
計		1,056	142	61	1,259	1,015	134	61	1,149		
		83.9%	11.3%	4.8%	100.0%	88.3%	11.7%	4.8%	100.0%		

2. 誰にも平等に、結婚する権利がある

		いいえ	はい	無回答	計			いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観											
1	保守的	57	32	3	92	57	32	3	92		
		62.0%	34.8%	3.3%	100.0%	64.0%	36.0%	3.3%	100.0%		
2	↑	193	164	11	368	193	164	11	357		
		52.4%	44.6%	3.0%	100.0%	54.1%	45.9%	3.0%	100.0%		
3		303	241	16	560	303	241	16	544		
		54.1%	43.0%	2.9%	100.0%	55.7%	44.3%	2.9%	100.0%		
4	↓	56	80	4	140	56	80	4	136		
		40.0%	57.1%	2.9%	100.0%	41.2%	58.8%	2.9%	100.0%	$\chi^2 = 13.60$	
5	革新的	11	12	1	24	11	12	2	23		
		45.8%	50.0%	4.2%	100.0%	47.8%	52.2%	4.2%	100.0%	$p = .0087$	
	無回答	26	23	26	75						
		34.7%	30.7%	34.7%	100.0%						
政治観 (3分割)											
1・2	保守的	250	196	14	460	250	196	14	446		
		54.3%	42.6%	3.0%	100.0%	56.1%	43.9%	3.0%	100.0%		
3	↑	303	241	16	560	303	241	16	544		
		54.1%	43.0%	2.9%	100.0%	55.7%	44.3%	2.9%	100.0%	$\chi^2 = 10.39$	
4・5	革新的	67	92	5	164	67	92	5	159		
		40.9%	56.1%	3.0%	100.0%	42.1%	57.9%	3.0%	100.0%	$p = .0055$	
	無回答	26	23	26	75						
		34.7%	30.7%	34.7%	100.0%						
計		646	552	61	1,259	620	529	61	1,149		
		51.3%	43.8%	4.8%	100.0%	54.0%	46.0%	4.8%	100.0%		

4. 伝統的な家族のあり方が失われる

		いいえ	はい	無回答	計			いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観											
1	保守的	63	26	3	92	63	26	3	92		
		68.5%	28.3%	3.3%	100.0%	70.8%	29.2%	3.3%	100.0%		
2	↑	285	72	11	368	285	72	11	357		
		77.4%	19.6%	3.0%	100.0%	79.8%	20.2%	3.0%	100.0%		
3		442	102	16	560	442	102	16	544		
		78.9%	18.2%	2.9%	100.0%	81.3%	18.8%	3.0%	100.0%		
4	↓	121	15	4	140	121	15	4	136		
		86.4%	10.7%	2.9%	100.0%	89.0%	11.0%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 12.01$	
5	革新的	18	5	1	24	18	5	2	23		
		75.0%	20.8%	4.2%	100.0%	78.3%	21.7%	4.2%	100.0%	$p = .0173$	
	無回答	42	7	26	75						
		56.0%	9.3%	34.7%	100.0%						
政治観 (3分割)											
1・2	保守的	348	98	14	460	348	98	14	446		
		75.7%	21.3%	3.0%	100.0%	78.0%	22.0%	3.0%	100.0%		
3	↑	442	102	16	560	442	102	16	544		
		78.9%	18.2%	2.9%	100.0%	81.3%	18.8%	3.0%	100.0%	$\chi^2 = 6.79$	
4・5	革新的	139	20	5	164	139	20	5	159		
		84.8%	12.2%	3.0%	100.0%	87.4%	12.6%	3.0%	100.0%	$p = .0336$	
	無回答	42	7	26	75						
		56.0%	9.3%	34.7%	100.0%						
計		971	227	61	1,259	929	220	61	1,149		
		77.1%	18.0%	4.8%	100.0%	80.9%	19.1%	4.8%	100.0%		

問 2 1 同性どうしの結婚を法で認めるかどうかについて、さまざまな意見がありますが、あなたはどお思いますか。(○はいくつでも)

7. この中にあてはまるものはない

	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	計	カイ二乗検定
政治観								
1 保守的	84	5	3	92	84	5	89	
2	91.3%	5.4%	3.3%	100.0%	94.4%	5.6%	100.0%	
3	329	28	11	368	329	28	357	
4	89.4%	7.6%	3.0%	100.0%	92.2%	7.8%	100.0%	
5 革新的	482	62	16	560	482	62	544	
無回答	86.1%	11.1%	2.9%	100.0%	88.6%	11.4%	100.0%	$\chi^2 = 7.13$
	128	8	4	140	128	8	136	
	91.4%	5.7%	2.9%	100.0%	94.1%	5.9%	100.0%	$p = .1290$
	21	2	1	24	21	2	23	
	87.5%	8.3%	4.2%	100.0%	91.3%	8.7%	100.0%	
	45	4	26	75				
	60.0%	5.3%	34.7%	100.0%				
政治観 (3分割)								
1・2 保守的	413	33	14	460	413	33	446	
3	89.8%	7.2%	3.0%	100.0%	92.6%	7.4%	100.0%	
4・5 革新的	482	62	16	560	482	62	544	
無回答	86.1%	11.1%	2.9%	100.0%	88.6%	11.4%	100.0%	$\chi^2 = 6.52$
	149	10	5	164	149	10	159	
	90.9%	6.1%	3.0%	100.0%	93.7%	6.3%	100.0%	$p = .0384$
	45	4	26	75				
	60.0%	5.3%	34.7%	100.0%				
計	1,089	109	61	1,259	1,044	105	1,149	
	86.5%	8.7%	4.8%	100.0%	90.9%	9.1%	100.0%	

問23 次のア～カの見解についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(ア) 同性愛という性のあり方があることを、義務教育で教えること

	ア					計	イ					計	カ 検 定 二 乗	
	賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	無 回 答		賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	計			カ 検 定 二 乗
性別														
男性	89	201	170	99	26	585	89	201	170	99	559	290	269	559
	15.2%	34.4%	29.1%	16.9%	4.4%	100.0%	15.9%	36.0%	30.4%	17.7%	100.0%	51.9%	48.1%	100.0%
女性	99	268	172	79	56	674	99	268	172	79	618	367	251	618
	14.7%	39.8%	25.5%	11.7%	8.3%	100.0%	16.0%	43.4%	27.8%	12.8%	100.0%	59.4%	40.6%	100.0%
年代														
20-30代	60	161	80	23	11	335	60	161	80	23	324	221	103	324
	17.9%	48.1%	23.9%	6.9%	3.3%	100.0%	18.5%	49.7%	24.7%	7.1%	100.0%	68.2%	31.8%	100.0%
40-50代	67	178	141	47	23	456	67	178	141	47	433	245	188	433
	14.7%	39.0%	30.9%	10.3%	5.0%	100.0%	15.5%	41.1%	32.6%	10.9%	100.0%	56.6%	43.4%	100.0%
60-70代	61	130	121	108	48	468	61	130	121	108	420	191	229	420
	13.0%	27.8%	25.9%	23.1%	10.3%	100.0%	14.5%	31.0%	28.8%	25.7%	100.0%	45.5%	54.5%	100.0%
計	188	469	342	178	82	1,259	188	469	342	178	1,177	657	520	1,177
	14.9%	37.3%	27.2%	14.1%	6.5%	100.0%	16.0%	39.8%	29.1%	15.1%	100.0%	55.8%	44.2%	100.0%

(イ) 両性愛（男女両方に恋愛感情を持つ）という性のあり方があることを、義務教育で教えること

	イ					計	ロ					計	カ 検 定 二 乗	
	賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	無 回 答		賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	計			カ 検 定 二 乗
性別														
男性	88	208	166	95	28	585	88	208	166	95	557	296	261	557
	15.0%	35.6%	28.4%	16.2%	4.8%	100.0%	15.8%	37.3%	29.8%	17.1%	100.0%	53.1%	46.9%	100.0%
女性	92	253	189	76	64	674	92	253	189	76	610	345	265	610
	13.6%	37.5%	28.0%	11.3%	9.5%	100.0%	15.1%	41.5%	31.0%	12.5%	100.0%	56.6%	43.4%	100.0%
年代														
20-30代	64	158	83	18	12	335	64	158	83	18	323	222	101	323
	19.1%	47.2%	24.8%	5.4%	3.6%	100.0%	19.8%	48.9%	25.7%	5.6%	100.0%	68.7%	31.3%	100.0%
40-50代	62	169	151	50	24	456	62	169	151	50	432	231	201	432
	13.6%	37.1%	33.1%	11.0%	5.3%	100.0%	14.4%	39.1%	35.0%	11.6%	100.0%	53.5%	46.5%	100.0%
60-70代	54	134	121	103	56	468	54	134	121	103	412	188	224	412
	11.5%	28.6%	25.9%	22.0%	12.0%	100.0%	13.1%	32.5%	29.4%	25.0%	100.0%	45.6%	54.4%	100.0%
計	180	461	355	171	92	1,259	180	461	355	171	1,167	641	526	1,167
	14.3%	36.6%	28.2%	13.6%	7.3%	100.0%	15.4%	39.5%	30.4%	14.7%	100.0%	54.9%	45.1%	100.0%

(ロ) 体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えること

	ロ					計	ハ					計	カ 検 定 二 乗	
	賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	無 回 答		賛 成	や や 賛 成	や や 反 対	反 対	計			カ 検 定 二 乗
性別														
男性	78	181	189	106	31	585	78	181	189	106	554	259	295	554
	13.3%	30.9%	32.3%	18.1%	5.3%	100.0%	14.1%	32.7%	34.1%	19.1%	100.0%	46.8%	53.2%	100.0%
女性	83	239	196	90	66	674	83	239	196	90	608	322	286	608
	12.3%	35.5%	29.1%	13.4%	9.8%	100.0%	13.7%	39.3%	32.2%	14.8%	100.0%	53.0%	47.0%	100.0%
年代														
20-30代	58	144	98	23	12	335	58	144	98	23	323	202	121	323
	17.3%	43.0%	29.3%	6.9%	3.6%	100.0%	18.0%	44.6%	30.3%	7.1%	100.0%	62.5%	37.5%	100.0%
40-50代	62	167	152	51	24	456	62	167	152	51	432	229	203	432
	13.6%	36.6%	33.3%	11.2%	5.3%	100.0%	14.4%	38.7%	35.2%	11.8%	100.0%	53.0%	47.0%	100.0%
60-70代	41	109	135	122	61	468	41	109	135	122	407	150	257	407
	8.8%	23.3%	28.8%	26.1%	13.0%	100.0%	10.1%	26.8%	33.2%	30.0%	100.0%	36.9%	63.1%	100.0%
計	161	420	385	196	97	1,259	161	420	385	196	1,162	581	581	1,162
	12.8%	33.4%	30.6%	15.6%	7.7%	100.0%	13.9%	36.1%	33.1%	16.9%	100.0%	50.0%	50.0%	100.0%

問23 次のア～カの見解についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(ア) 同性愛という性のあり方があることを、義務教育で教えること						
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計
子どもの有無						
いる	128 14.3%	309 34.6%	257 28.8%	142 15.9%	56 6.3%	892 100.0%
いない	56 17.2%	155 47.5%	74 22.7%	30 9.2%	11 3.4%	326 100.0%
無回答	4 9.8%	5 12.2%	11 26.8%	6 14.6%	15 36.6%	41 100.0%
計	188 14.9%	469 37.3%	342 27.2%	178 14.1%	82 6.5%	1,259 100.0%
(イ) 両性愛（男女両方に恋愛感情を持つ）という性のあり方があることを、義務教育で教えること						
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計
子どもの有無						
いる	122 13.7%	302 33.9%	271 30.4%	134 15.0%	63 7.1%	892 100.0%
いない	54 16.6%	153 46.9%	77 23.6%	29 8.9%	13 4.0%	326 100.0%
無回答	4 9.8%	6 14.6%	7 17.1%	8 19.5%	16 39.0%	41 100.0%
計	180 14.3%	461 36.6%	355 28.2%	171 13.6%	92 7.3%	1,259 100.0%
(ウ) 体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えること						
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計
子どもの有無						
いる	110 12.3%	268 30.0%	290 32.5%	155 17.4%	69 7.7%	892 100.0%
いない	50 15.3%	144 44.2%	87 26.7%	33 10.1%	12 3.7%	326 100.0%
無回答	1 2.4%	8 19.5%	8 19.5%	8 19.5%	16 39.0%	41 100.0%
計	161 12.8%	420 33.4%	385 30.6%	196 15.6%	97 7.7%	1,259 100.0%

問23 次のア～カの見解についてあなたは賛成ですか、反対ですか。

(ア) 同性愛という性のあり方があることを、義務教育で教えること																		
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p	賛成	反対	計	カイ二乗
子どもの有無 20-30代																		
いる	29	58	35	8	3	133	29	58	35	8	130	χ ² =3.70 p=.2956	66.9%	43	130	100.0%	χ ² =0.45	
いない	31	102	41	13	7	194	31	102	41	13	187							
無回答	0	1	4	2	1	8	16.6%	54.5%	21.9%	7.0%	100.0%							
計	60	161	80	23	11	335	60	160	76	21	317				220	97	317	
子どもの有無 40-50代																		
いる	47	137	114	38	16	352	47	137	114	38	336	χ ² =3.45 p=.3270	54.8%	45.2%	100.0%	χ ² =2.33		
いない	18	40	24	8	1	91	18	40	24	8	90							
無回答	2	1	3	1	6	13	20.0%	44.4%	26.7%	8.9%	100.0%							
計	67	178	141	47	23	456	65	177	138	46	426				242	184	426	
子どもの有無 60-70代																		
いる	52	114	108	96	37	407	52	114	108	96	370	χ ² =1.02 p=.7976	44.9%	55.1%	100.0%	χ ² =0.55		
いない	7	13	9	9	3	41	7	13	9	9	38							
無回答	2	3	4	3	8	20	18.4%	34.2%	23.7%	23.7%	100.0%							
計	61	130	121	108	48	468	59	127	117	105	408				186	222	408	
(イ) 両性愛(男女両方に恋愛感情を持つ)という性のあり方があることを、義務教育で教えること																		
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p	賛成	反対	計	カイ二乗
子どもの有無 20-30代																		
いる	32	55	39	4	3	133	32	55	39	4	130	χ ² =8.13 p=.0433	66.9%	33.1%	100.0%	χ ² =0.61		
いない	32	102	41	12	7	194	32	102	41	12	187							
無回答	0	1	3	2	2	8	17.1%	54.5%	21.9%	6.4%	100.0%							
計	64	158	83	18	12	335	64	157	80	16	317				221	96	317	
子どもの有無 40-50代																		
いる	44	129	122	40	17	352	44	129	122	40	335	χ ² =2.48 p=.4783	51.6%	48.4%	100.0%	χ ² =1.67		
いない	16	38	28	8	1	91	16	38	28	8	90							
無回答	2	2	1	2	6	13	17.8%	42.2%	31.1%	8.9%	100.0%							
計	62	169	151	50	24	456	60	167	150	48	425				227	198	425	
子どもの有無 60-70代																		
いる	46	118	110	90	43	407	46	118	110	90	364	χ ² =1.26 p=.7394	45.1%	54.9%	100.0%	χ ² =0.51		
いない	6	13	8	9	5	41	6	13	8	9	36							
無回答	2	3	3	4	8	20	16.7%	36.1%	22.2%	25.0%	100.0%							
計	54	134	121	103	56	468	52	131	118	99	400				183	217	400	
(ウ) 体の性別を変えたいと望む人のことを義務教育で教えること																		
	賛成	やや賛成	やや反対	反対	無回答	計	賛成	やや賛成	やや反対	反対	計	カイ二乗	χ ²	p	賛成	反対	計	カイ二乗
子どもの有無 20-30代																		
いる	30	47	46	6	4	133	30	47	46	6	129	χ ² =9.94 p=.0191	59.7%	40.3%	100.0%	χ ² =0.97		
いない	28	95	49	15	7	194	28	95	49	15	187							
無回答	0	2	3	2	1	8	15.0%	50.8%	26.2%	8.0%	100.0%							
計	58	144	98	23	12	335	58	142	95	21	316				200	116	316	
子どもの有無 40-50代																		
いる	45	126	122	42	17	352	45	126	122	42	335	χ ² =2.69 p=.4415	51.0%	49.0%	100.0%	χ ² =1.94		
いない	16	38	28	8	1	91	16	38	28	8	90							
無回答	1	3	2	1	6	13	17.8%	42.2%	31.1%	8.9%	100.0%							
計	62	167	152	51	24	456	61	164	150	50	425				225	200	425	
子どもの有無 60-70代																		
いる	35	95	122	107	48	407	35	95	122	107	359	χ ² =2.06 p=.5594	36.2%	63.8%	100.0%	χ ² =0.98		
いない	6	11	10	10	4	41	6	11	10	10	37							
無回答	0	3	3	5	9	20	16.2%	29.7%	27.0%	27.0%	100.0%							
計	41	109	135	122	61	468	41	106	132	117	396				147	249	396	

問24 以下の人たちの中で、小学校の教員になってほしくないと思う人に、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

性別	「はい」がない人				「はい」とも「いい」がある人				計	カイ二乗検定
	はい	いい	無回答	計	はい	いい	無回答	計		
男性	263	292	30	585	263	292	30	585	$\chi^2 = 26.48$ p < .0001	
女性	384	230	60	674	384	230	60	674		
年代									$\chi^2 = 129.45$ p < .0001	
20-30代	245	79	11	335	245	79	11	335		
40-50代	260	174	22	456	260	174	22	456		
60-70代	142	269	57	468	142	269	57	468	$\chi^2 = 129.45$ p < .0001	
計	647	522	90	1,259	647	522	90	1,259		
	51.4%	41.5%	7.1%	100.0%	55.3%	44.7%	7.1%	100.0%		

1. 同性愛の男性

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	311	244	30	585	311	244	30	585	$\chi^2 = 25.20$ p < .0001	
女性	432	182	60	674	432	182	60	674		
年代									$\chi^2 = 109.25$ p < .0001	
20-30代	264	60	11	335	264	60	11	335		
40-50代	294	140	22	456	294	140	22	456		
60-70代	185	226	57	468	185	226	57	468	$\chi^2 = 109.25$ p < .0001	
計	743	426	90	1,259	743	426	90	1,259		
	59.0%	33.8%	7.1%	100.0%	63.6%	36.4%	7.1%	100.0%		

3. 男女両方に恋愛感情を抱く人(両性愛の人)

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	364	191	30	585	364	191	30	585	$\chi^2 = 6.49$ p = .0109	
女性	446	168	60	674	446	168	60	674		
年代									$\chi^2 = 86.81$ p < .0001	
20-30代	271	53	11	335	271	53	11	335		
40-50代	321	113	22	456	321	113	22	456		
60-70代	218	193	57	468	218	193	57	468	$\chi^2 = 86.81$ p < .0001	
計	810	359	90	1,259	810	359	90	1,259		
	64.3%	28.5%	7.1%	100.0%	69.3%	30.7%	7.1%	100.0%		

4. 性別を、女性から男性に変えた人

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	360	195	30	585	360	195	30	585	$\chi^2 = 21.09$ p < .0001	
女性	474	140	60	674	474	140	60	674		
年代									$\chi^2 = 105.46$ p < .0001	
20代	129	10	2	141	129	10	2	141		
30代	149	36	9	194	149	36	9	194		
40代	173	55	9	237	173	55	9	237		
50代	157	49	13	219	157	49	13	219		
60代	148	98	28	274	148	98	28	274		
70代	78	87	29	194	78	87	29	194		
計	834	335	90	1,259	834	335	90	1,259		
	66.2%	26.6%	7.1%	100.0%	71.3%	28.7%	7.1%	100.0%		

6. この中にはいない

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	292	263	30	585	292	263	30	585	$\chi^2 = 26.47$ p < .0001	
女性	230	384	60	674	230	384	60	674		
年代									$\chi^2 = 129.45$ p < .0001	
20-30代	79	245	11	335	79	245	11	335		
40-50代	174	260	22	456	174	260	22	456		
60-70代	269	142	57	468	269	142	57	468	$\chi^2 = 129.45$ p < .0001	
計	522	647	90	1,259	522	647	90	1,259		
	41.5%	51.4%	7.1%	100.0%	44.7%	55.3%	7.1%	100.0%		

2. 同性愛の女性

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	339	216	30	585	339	216	30	585	$\chi^2 = 13.75$ p = .0002	
女性	439	175	60	674	439	175	60	674		
年代									$\chi^2 = 104.84$ p < .0001	
20-30代	269	55	11	335	269	55	11	335		
40-50代	310	124	22	456	310	124	22	456		
60-70代	199	212	57	468	199	212	57	468	$\chi^2 = 104.84$ p < .0001	
計	778	391	90	1,259	778	391	90	1,259		
	61.8%	31.1%	7.1%	100.0%	66.6%	33.4%	7.1%	100.0%		

5. 性別を、男性から女性に変えた人

性別	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
男性	353	202	30	585	353	202	30	585	$\chi^2 = 23.45$ p < .0001	
女性	471	143	60	674	471	143	60	674		
年代									$\chi^2 = 107.86$ p < .0001	
20代	129	10	2	141	129	10	2	141		
30代	147	38	9	194	147	38	9	194		
40代	172	56	9	237	172	56	9	237		
50代	156	50	13	219	156	50	13	219		
60代	142	104	28	274	142	104	28	274		
70代	78	87	29	194	78	87	29	194		
計	824	345	90	1,259	824	345	90	1,259		
	65.4%	27.4%	7.1%	100.0%	70.5%	29.5%	7.1%	100.0%		

問24 以下の人たちの中で、小学校の教員になってほしくないと思う人に、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 同性愛の男性

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	480	346	66	892	480	346	66	826	$\chi^2 = 40.54$ $p < .0001$	
	53.8%	38.8%	7.4%	100.0%	58.1%	41.9%	7.4%	100.0%		
いない	249	68	9	326	249	68	9	317		
	76.4%	20.9%	2.8%	100.0%	78.5%	21.5%	2.8%	100.0%		
無回答	14	12	15	41						
	34.1%	29.3%	36.6%	100.0%						
計	743	426	90	1,259	729	414	90	1,143		
	59.0%	33.8%	7.1%	100.0%	63.8%	36.2%	7.1%	100.0%		

2. 同性愛の女性

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	503	323	66	826	503	323	66	826	$\chi^2 = 46.54$ $p < .0001$	
	56.4%	36.2%	7.4%	100.0%	60.9%	39.1%	7.4%	100.0%		
いない	261	56	9	326	261	56	9	317		
	80.1%	17.2%	2.8%	100.0%	82.3%	17.7%	2.8%	100.0%		
無回答	14	12	15	41						
	34.1%	29.3%	36.6%	100.0%						
計	778	391	90	1,259	764	379	90	1,143		
	61.8%	31.1%	7.1%	100.0%	66.8%	33.2%	7.1%	100.0%		

3. 男女両方に恋愛感情を抱く人(両性愛の人)

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	535	291	66	826	535	291	66	826	$\chi^2 = 29.00$ $p < .0001$	
	60.0%	32.6%	7.4%	100.0%	64.8%	35.2%	7.4%	100.0%		
いない	258	59	9	326	258	59	9	317		
	79.1%	18.1%	2.8%	100.0%	81.4%	18.6%	2.8%	100.0%		
無回答	17	9	15	41						
	41.5%	22.0%	36.6%	100.0%						
計	810	359	90	1,259	793	350	90	1,143		
	64.3%	28.5%	7.1%	100.0%	69.4%	30.6%	7.1%	100.0%		

4. 性別を、女性から男性に変えた人

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	540	286	66	826	540	286	66	826	$\chi^2 = 51.72$ $p < .0001$	
	60.5%	32.1%	7.4%	100.0%	65.4%	34.6%	7.4%	100.0%		
いない	276	41	9	326	276	41	9	317		
	84.7%	12.6%	2.8%	100.0%	87.1%	12.9%	2.8%	100.0%		
無回答	18	8	15	41						
	43.9%	19.5%	36.6%	100.0%						
計	834	335	90	1,259	816	327	90	1,143		
	66.2%	26.6%	7.1%	100.0%	71.4%	28.6%	7.1%	100.0%		

5. 性別を、男性から女性に変えた人

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	532	294	66	826	532	294	66	826	$\chi^2 = 52.41$ $p < .0001$	
	59.6%	33.0%	7.4%	100.0%	64.4%	35.6%	7.4%	100.0%		
いない	274	43	9	326	274	43	9	317		
	84.0%	13.2%	2.8%	100.0%	86.4%	13.6%	2.8%	100.0%		
無回答	18	8	15	41						
	43.9%	19.5%	36.6%	100.0%						
計	824	345	90	1,259	806	337	90	1,143		
	65.4%	27.4%	7.1%	100.0%	70.5%	29.5%	7.1%	100.0%		

6. この中にはいない

	いいえ				はい				計	カイ二乗検定
	いいえ	はい	無回答	計	いいえ	はい	無回答	計		
子どもの有無										
いる	416	410	66	826	416	410	66	826	$\chi^2 = 40.15$ $p < .0001$	
	46.6%	46.0%	7.4%	100.0%	50.4%	49.6%	7.4%	100.0%		
いない	93	224	9	326	93	224	9	317		
	28.5%	68.7%	2.8%	100.0%	29.3%	70.7%	2.8%	100.0%		
無回答	13	13	15	41						
	31.7%	31.7%	36.6%	100.0%						
計	522	647	90	1,259	509	634	90	1,143		
	41.5%	51.4%	7.1%	100.0%	44.5%	55.5%	7.1%	100.0%		

問24 以下の人たちの中で、小学校の教員になってほしくないと思う人に、いくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 同性愛の男性

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				72.9%				22.6%				4.5%				100.0%				76.4%				23.6%				100.0%				$\chi^2 = 3.53$			
いない				84.0%				14.4%				1.5%				100.0%				85.3%				14.7%				100.0%				$p = .0603$			
無回答				50.0%				25.0%				25.0%				100.0%																			
計				78.8%				17.9%				3.3%				100.0%				81.8%				18.2%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				63.6%				32.1%				4.3%				100.0%				66.5%				33.5%				100.0%				$\chi^2 = 0.98$			
いない				70.3%				26.4%				3.3%				100.0%				72.7%				27.3%				100.0%				$p = .3219$			
無回答				46.2%				23.1%				30.8%				100.0%																			
計				64.5%				30.7%				4.8%				100.0%				67.8%				32.2%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				39.1%				49.9%				11.1%				100.0%				43.9%				56.1%				100.0%				$\chi^2 = 2.18$			
いない				53.7%				39.0%				7.3%				100.0%				57.9%				42.1%				100.0%				$p = .1402$			
無回答				20.0%				35.0%				45.0%				100.0%																			
計				39.5%				48.3%				12.2%				100.0%				45.3%				54.8%				100.0%							

3. 男女両方に恋愛感情を抱く人(両性愛の人)

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				72.9%				22.6%				4.5%				100.0%				76.4%				23.6%				100.0%				$\chi^2 = 8.12$			
いない				87.6%				10.8%				1.5%				100.0%				89.0%				11.0%				100.0%				$p = .0044$			
無回答				50.0%				25.0%				25.0%				100.0%																			
計				80.9%				15.8%				3.3%				100.0%				84.0%				16.0%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				69.3%				26.4%				4.3%				100.0%				72.4%				27.6%				100.0%				$\chi^2 = 2.08$			
いない				78.0%				18.7%				3.3%				100.0%				80.7%				19.3%				100.0%				$p = .1493$			
無回答				46.2%				23.1%				30.8%				100.0%																			
計				70.4%				24.8%				4.8%				100.0%				74.1%				25.9%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				47.7%				41.3%				11.1%				100.0%				53.6%				46.4%				100.0%				$\chi^2 = 0.76$			
いない				41.5%				51.2%				7.3%				100.0%				44.7%				55.3%				100.0%				$p = .3847$			
無回答				35.0%				20.0%				45.0%				100.0%																			
計				46.6%				41.2%				12.2%				100.0%				52.8%				47.3%				100.0%							

5. 性別を、男性から女性に変えた人

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				72.2%				23.3%				4.5%				100.0%				75.6%				24.4%				100.0%				$\chi^2 = 14.32$			
いない				90.2%				8.2%				1.5%				100.0%				91.6%				8.4%				100.0%				$p = .0002$			
無回答				62.5%				12.5%				25.0%				100.0%																			
計				82.4%				14.3%				3.3%				100.0%				85.2%				14.8%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				71.0%				24.7%				4.3%				100.0%				74.2%				25.8%				100.0%				$\chi^2 = 1.26$			
いない				78.0%				18.7%				3.3%				100.0%				80.7%				19.3%				100.0%				$p = .2613$			
無回答				53.8%				15.4%				30.8%				100.0%																			
計				71.9%				23.2%				4.8%				100.0%				75.5%				24.5%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				45.7%				43.2%				11.1%				100.0%				51.4%				48.6%				100.0%				$\chi^2 = 6.01$			
いない				68.3%				24.4%				7.3%				100.0%				73.7%				26.3%				100.0%				$p = .0142$			
無回答				30.0%				25.0%				45.0%				100.0%																			
計				47.0%				40.8%				12.2%				100.0%				53.5%				46.5%				100.0%							

2. 同性愛の女性

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				74.4%				21.1%				4.5%				100.0%				78.0%				22.0%				100.0%				$\chi^2 = 3.79$			
いない				85.6%				12.9%				1.5%				100.0%				86.9%				13.1%				100.0%				$p = .0517$			
無回答				50.0%				25.0%				25.0%				100.0%																			
計				80.3%				16.4%				3.3%				100.0%				83.3%				16.7%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				65.9%				29.8%				4.3%				100.0%				68.8%				31.2%				100.0%				$\chi^2 = 5.15$			
いない				79.1%				17.6%				3.3%				100.0%				81.8%				18.2%				100.0%				$p = .0233$			
無回答				46.2%				23.1%				30.8%				100.0%																			
計				68.0%				27.2%				4.8%				100.0%				71.5%				28.5%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				42.3%				46.7%				11.1%				100.0%				47.5%				52.5%				100.0%				$\chi^2 = 1.84$			
いない				56.1%				36.6%				7.3%				100.0%				60.5%				39.5%				100.0%				$p = .1751$			
無回答				20.0%				35.0%				45.0%				100.0%																			
計				42.5%				45.3%				12.2%				100.0%				48.8%				51.3%				100.0%							

4. 性別を、女性から男性に変えた人

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				72.9%				22.6%				4.5%				100.0%				76.4%				23.6%				100.0%				$\chi^2 = 14.34$			
いない				90.7%				7.7%				1.5%				100.0%				92.1%				7.9%				100.0%				$p = .0002$			
無回答				62.5%				12.5%				25.0%				100.0%																			
計				83.0%				13.7%				3.3%				100.0%				85.8%				14.2%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				71.3%				24.4%				4.3%				100.0%				74.5%				25.5%				100.0%				$\chi^2 = 1.68$			
いない				79.1%				17.6%				3.3%				100.0%				81.8%				18.2%				100.0%				$p = .1953$			
無回答				53.8%				15.4%				30.8%				100.0%																			
計				72.4%				22.8%				4.8%				100.0%				76.0%				24.0%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				47.2%				41.8%				11.1%				100.0%				53.0%				47.0%				100.0%				$\chi^2 = 5.12$			
いない				68.3%				24.4%				7.3%				100.0%				73.7%				26.3%				100.0%				$p = .0237$			
無回答				30.0%				25.0%				45.0%				100.0%																			
計				48.3%				39.5%				12.2%				100.0%				55.0%				45.0%				100.0%							

6. この中にはいない

いいえ				はい				無回答				計																							
いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定	いいえ	はい	計	カイ二乗検定																				
子どもの有無 20-30代																																			
いる				30.8%				64.7%				4.5%				100.0%				32.3%				67.7%				100.0%				$\chi^2 = 6.79$			
いない				18.6%				79.9%				1.5%				100.0%				18.8%				81.2%				100.0%				$p = .0092$			
無回答				25.0%				50.0%				25.0%				100.0%																			
計				23.6%				73.1%				3.3%				100.0%				24.2%				75.8%				100.0%							
子どもの有無 40-50代																																			
いる				39.2%				56.5%				4.3%				100.0%				40.9%				59.1%				100.0%				$\chi^2 = 0.22$			
いない				36.3%				60.4%				3.3%				100.0%				37.5%				62.5%				100.0%				$p = .6415$			
無回答				23.1%				46.2%				30.8%				100.0%																			
計				38.2%				57.0%				4.8%				100.0%				40.2%				59.8%				100.0%							
子どもの有無 60-70代																																			
いる				58.2%				30.7%				11.1%				100.0%				65.5%				34.5%				100.0%				$\chi^2 = 0.01$			
いない				58.5%				34.1%				7.3%				100.0%				63.2%				36.8%				100.0%				$p = .9159$			
無回答				40.0%				15.0%				45.0%				100.0%																			
計				57.5%				30.3%				12.2%				100.0%				65.3%				34.8%				100.0%							